

生活実態調査
小学生・中学生編

3. 生活実態調査（小学生・中学生）

3.1 調査回答者の基本属性等

問1. あなたの性別を教えてください。

調査回答者の性別は、小学生では「男」が49.8%、「女」が48.3%、「その他・答えたくない」が1.0%、中学生では「男」が48.9%、「女」が49.0%、「その他・答えたくない」が1.3%となっている。

図表 3.1.1 子どもの性別

		男	女	その他・ 答えたくない	無回答	全体
小学生	件数	1,454	1,410	28	28	2,920
	割合	49.8%	48.3%	1.0%	1.0%	100.0%
中学生	件数	1,369	1,372	37	22	2,800
	割合	48.9%	49.0%	1.3%	0.8%	100.0%
(県)小学生	件数	371	452	10	3	836
	割合	44.4%	54.1%	1.2%	0.4%	100.0%
(県)中学生	件数	335	345	4	3	687
	割合	48.8%	50.2%	0.6%	0.4%	100.0%

図表 3.1.2 子どもの性別(等価世帯収入別)

		男	女	その他・ 答えたくない	全体	
小学生	中央値以上	件数	726	704	12	1,442
		割合	50.3%	48.8%	0.8%	100.0%
	中央値の2分 の1以上中央 値未満	件数	519	490	9	1,018
		割合	51.0%	48.1%	0.9%	100.0%
	中央値の2分 の1未満	件数	92	95	5	192
		割合	47.9%	49.5%	2.6%	100.0%
中学生	中央値以上	件数	591	592	21	1,204
		割合	49.1%	49.2%	1.7%	100.0%
	中央値の2分 の1以上中央 値未満	件数	442	445	9	896
		割合	49.3%	49.7%	1.0%	100.0%
	中央値の2分 の1未満	件数	98	81	1	180
		割合	54.4%	45.0%	0.6%	100.0%

※等価世帯収入別の表は無回答を含まないため、小学生・中学生別の各項目の合計値は、それぞれの総和と一致しない。

図表 3.1.3 子どもとの続柄(世帯別)

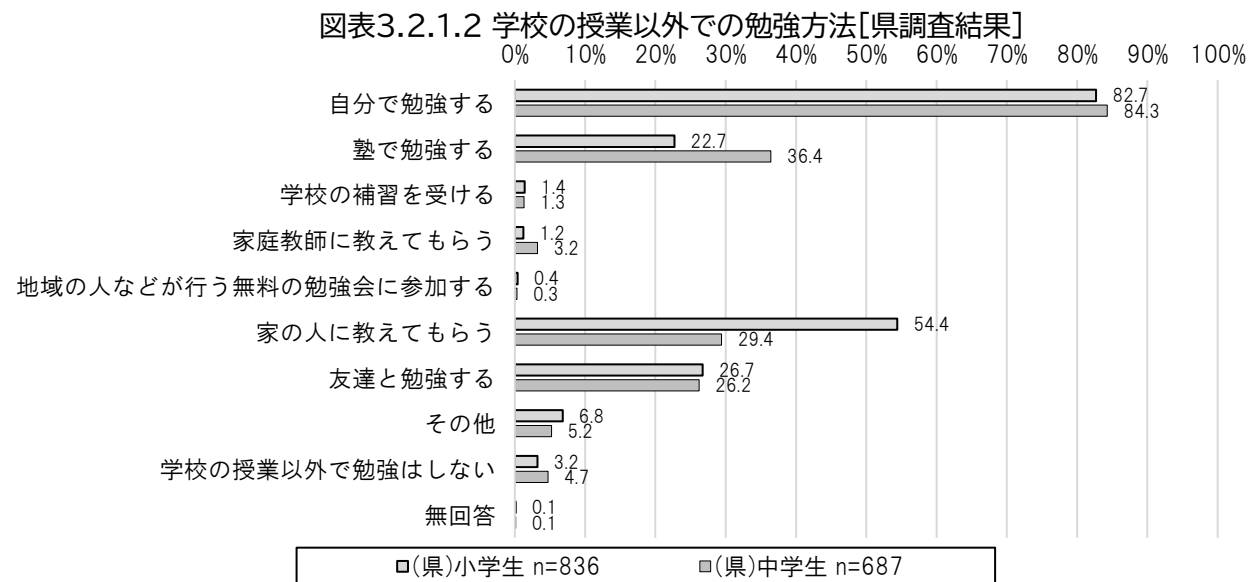
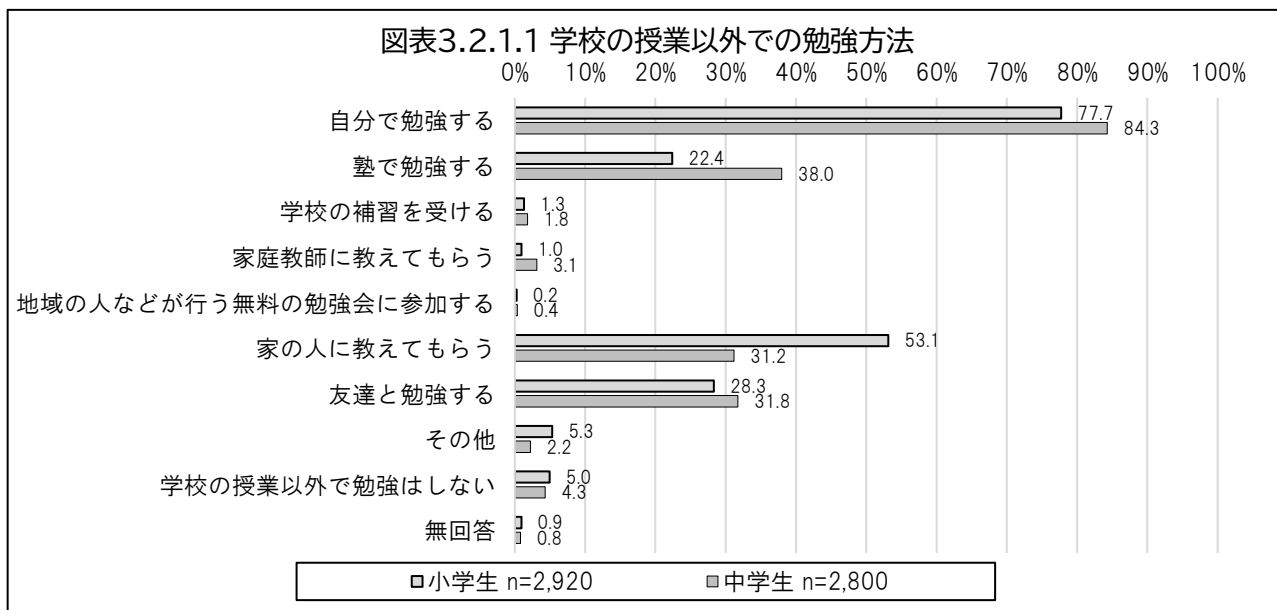
			男	女	その他・ 答えたくない	全体
小学生	ふたり親	件数	1,294	1,277	26	2,597
		割合	49.8%	49.2%	1.0%	100.0%
	ひとり親	件数	137	117	2	256
		割合	53.5%	45.7%	0.8%	100.0%
	母子世帯	件数	116	98	2	216
		割合	53.7%	45.4%	0.9%	100.0%
中学生	ふたり親	件数	1,047	1,059	30	2,136
		割合	49.0%	49.6%	1.4%	100.0%
	ひとり親	件数	146	133	1	280
		割合	52.1%	47.5%	0.4%	100.0%
	母子世帯	件数	121	115	1	237
		割合	51.1%	48.5%	0.4%	100.0%

※世帯別の表は無回答を含まないため、小学生・中学生別の各項目の合計値は、それぞれの総和と一致しない。

問2. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

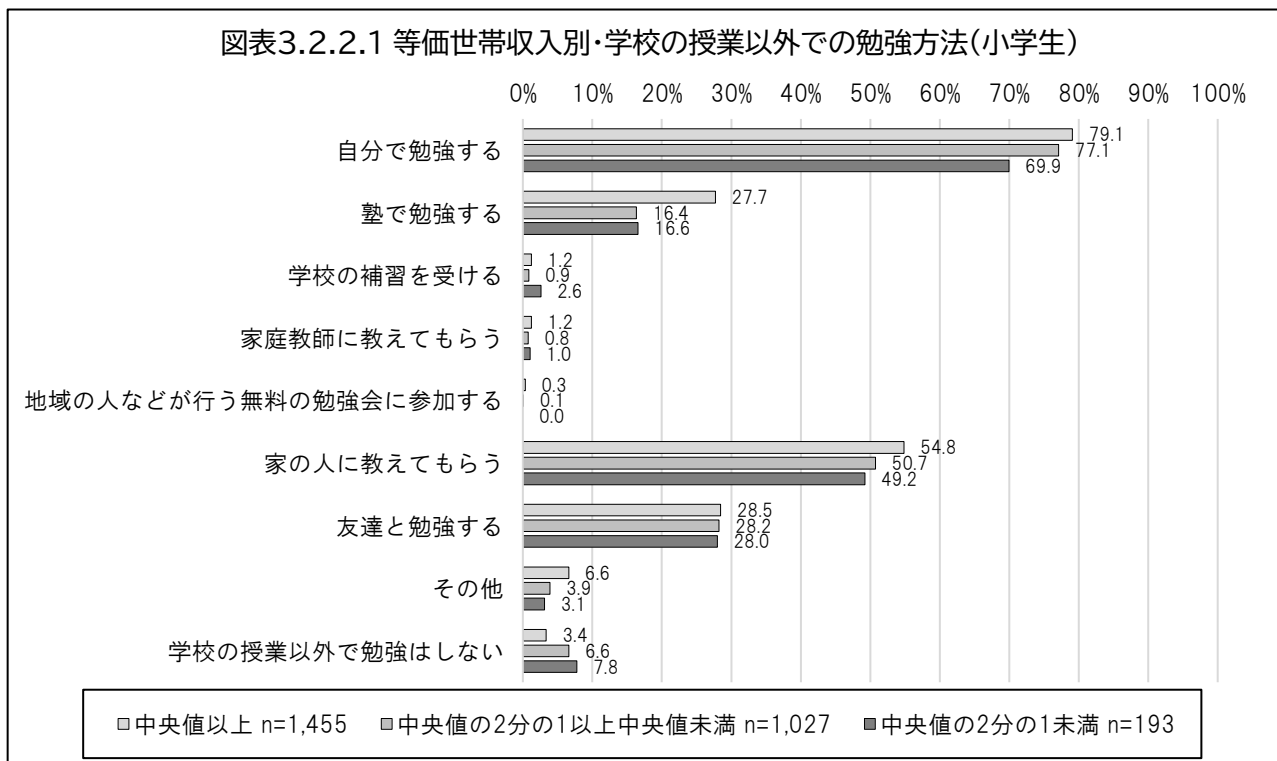
(1)全体

普段学校の授業以外での勉強方法について、小学生では「自分で勉強する」が77.7%、「家の人に教えてもらう」が53.1%、中学生では「自分で勉強する」が84.3%、「塾で勉強する」が38.0%となっています。小学生と中学生を比較すると、小学生は「家の人に教えてもらう」が21.9ポイント高く、中学生は「塾で勉強する」が15.6ポイント高くなっています。



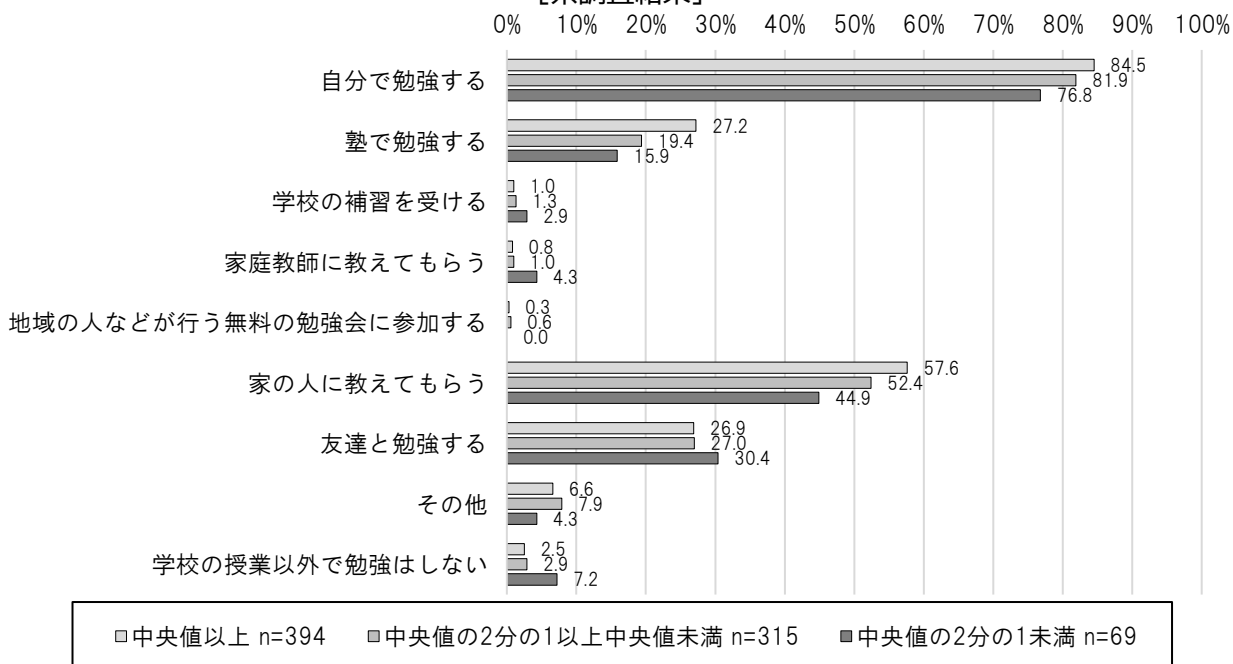
(2)等価世帯収入別・小学生（問2.授業以外での勉強方法）

普段学校の授業以外での勉強方法について、等価世帯収入別にみると、小学生は、「中央値以上の世帯」では、「自分で勉強する」（79.1%）、「塾で勉強する」（27.7%）、「家の人に教えてもらう」（54.8%）が、他の世帯と比較して高くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「学校の授業以外で勉強はしない」（7.8%）が他の世帯と比較して高くなっています。



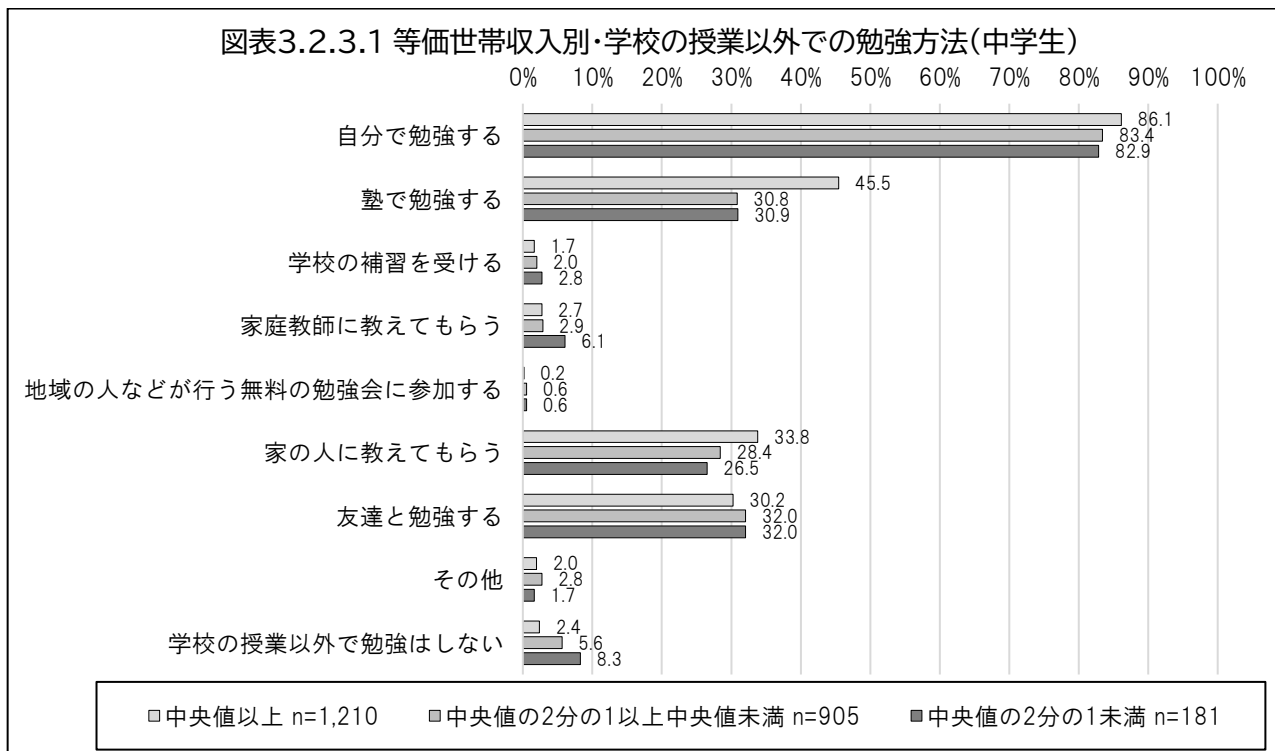
図表3.2.2.2 等価世帯収入別・学校の授業以外での勉強方法(小学生)

【県調査結果】



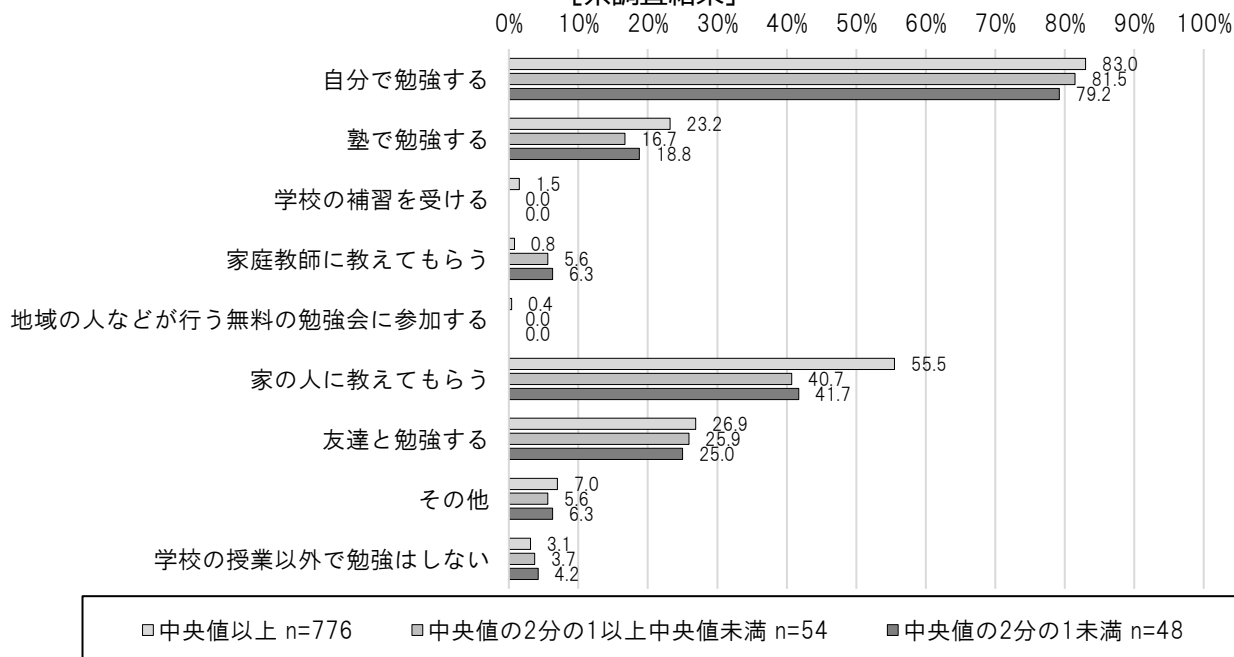
(3)等価世帯収入別・中学生（問 2. 授業以外での勉強方法）

普段学校の授業以外での勉強方法について、等価世帯収入別にみると、中学生は、「中央値以上の世帯」では、「自分で勉強する」（86.1%）、「塾で勉強する」（45.5%）、「家の人に教えてもらう」（33.8%）が、他の世帯と比較して高くなっています。また、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「学校の授業以外で勉強はしない」（8.3%）、「家庭教師に教えてもらう」（6.1%）が他の世帯と比較して高くなっています。



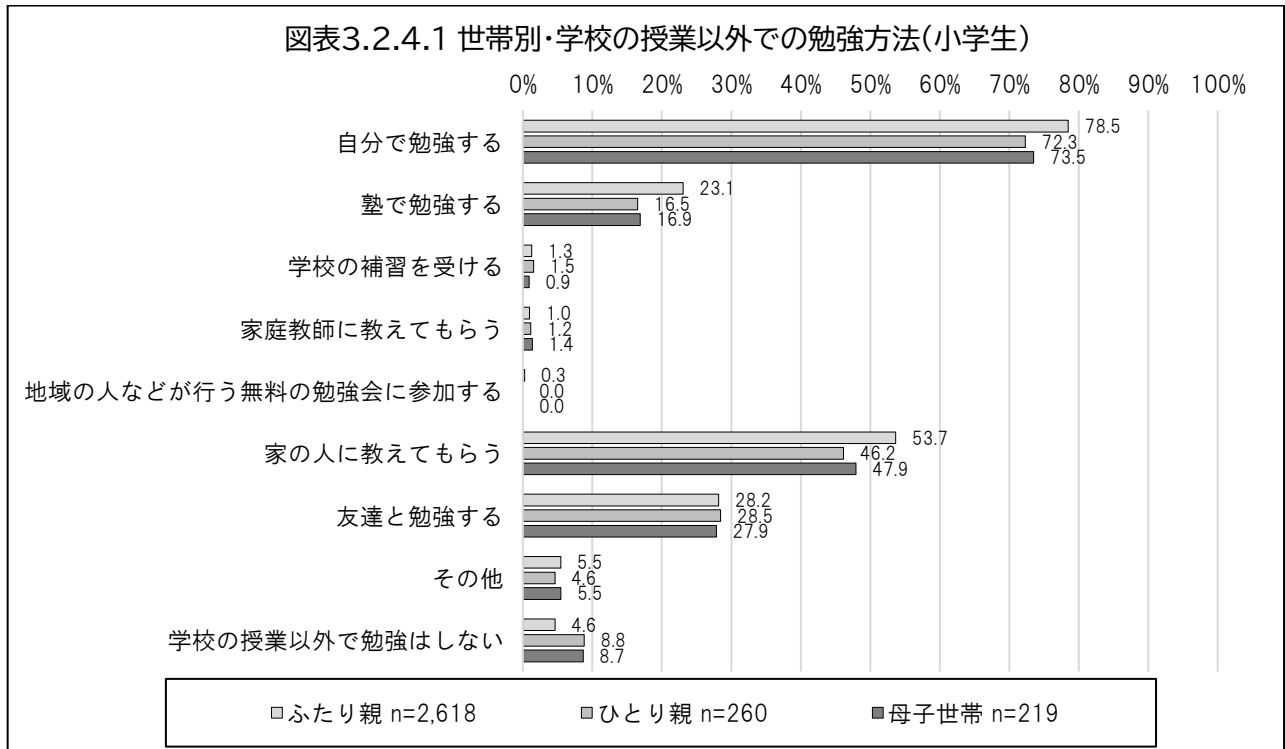
図表3.2.3.2 等価世帯収入別・学校の授業以外での勉強方法(中学生)

【県調査結果】

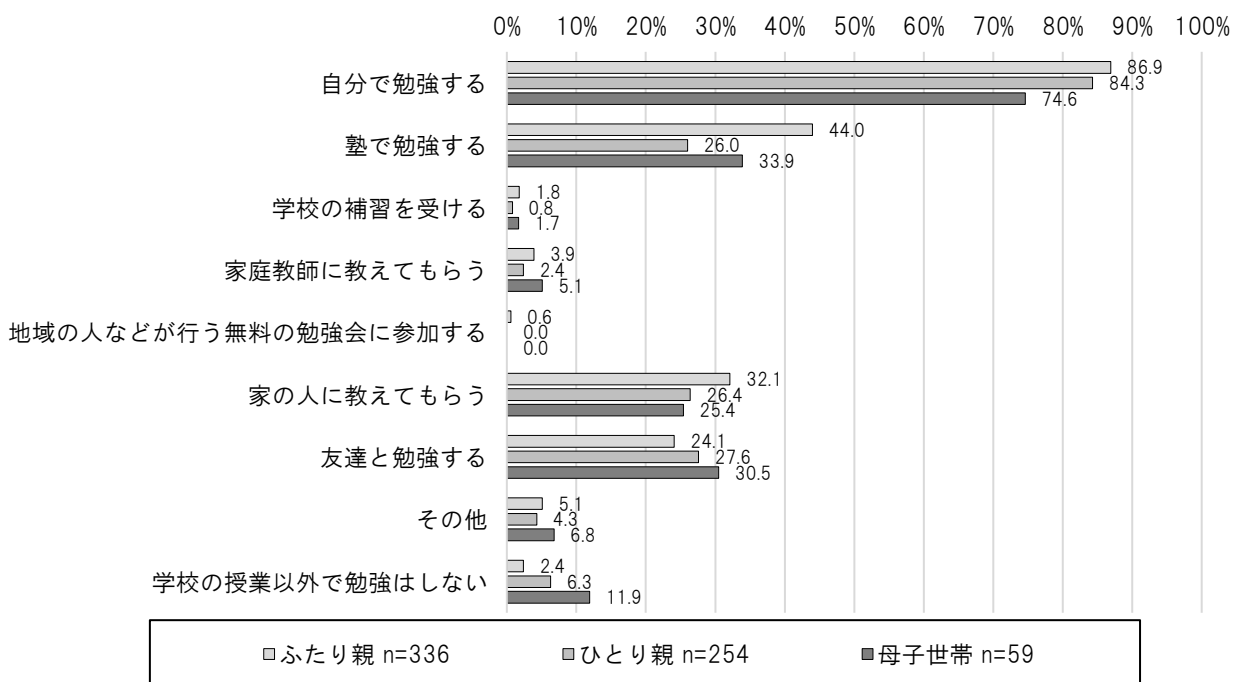


(4)世帯別・小学生（問2. 授業以外での勉強方法）

普通学校の授業以外での勉強方法について、世帯別にみると、小学生は、ひとり親世帯では、「自分で勉強する」が72.3%、「塾で勉強する」が16.5%、「家の人に教えてもらう」が46.2%で、ふたり親世帯と比較して低くなっています。一方、「学校の授業以外で勉強はしない」が8.8%は、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

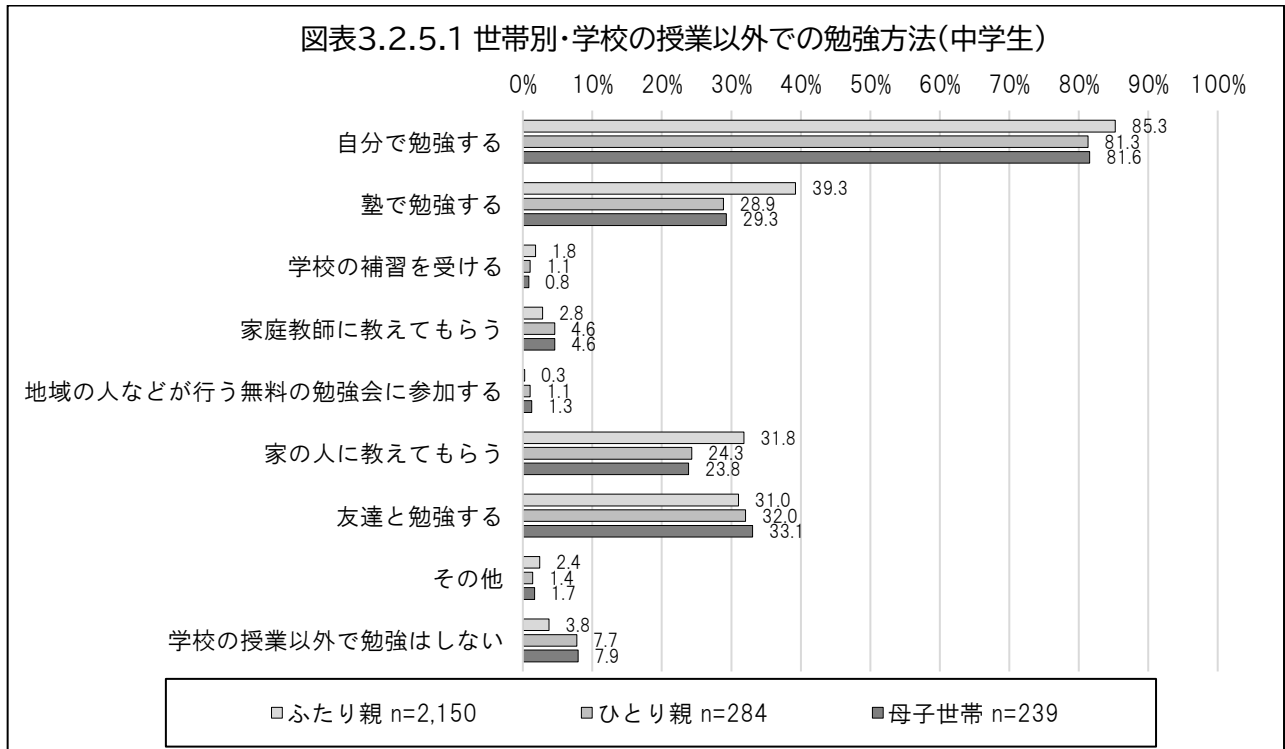


図表3.2.4.2 世帯別・学校の授業以外での勉強方法(小学生)[県調査結果]

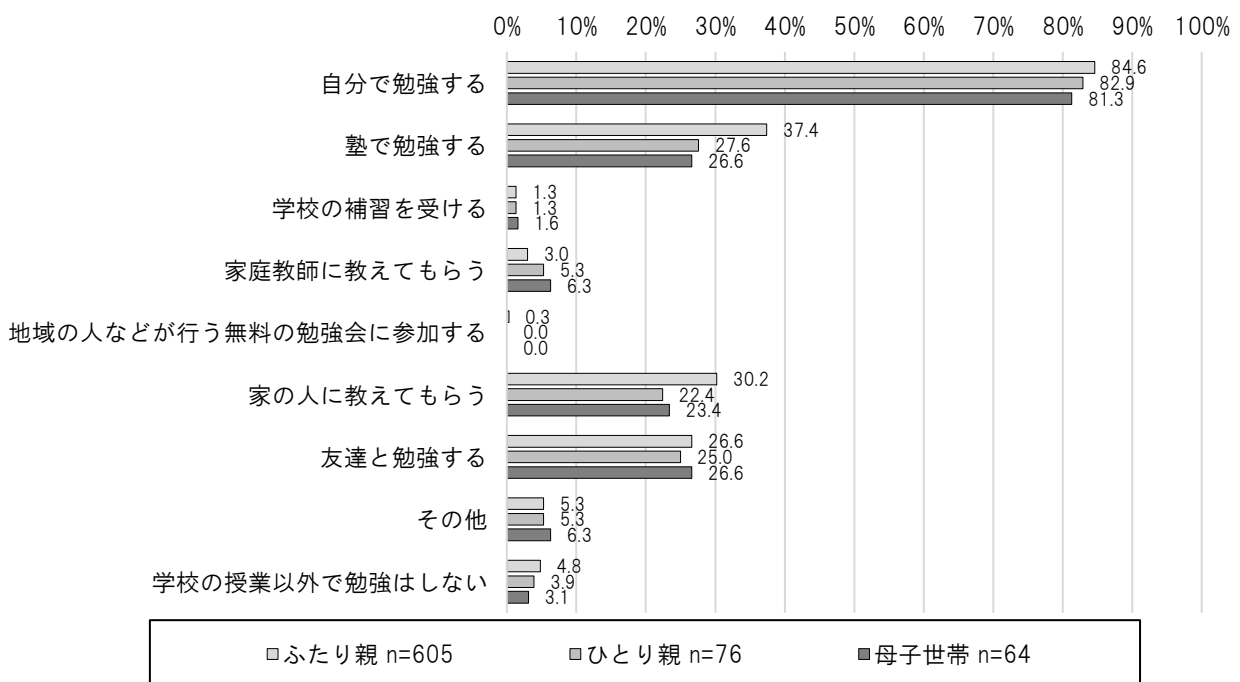


(5)世帯別・中学生（問2.授業以外での勉強方法）

普段学校の授業以外での勉強方法について、世帯別にみると、中学生は、ひとり親世帯では、「自分で勉強する」が81.3%、「塾で勉強する」が28.9%、「家の人に教えてもらう」が24.3%で、ふたり親世帯と比較して低くなっています。一方、「学校の授業以外で勉強はしない」が7.7%、「家庭教師に教えてもらう」(4.6%)で、ふたり親世帯と比較して高くなっています。



図表3.2.5.2 世帯別・学校の授業以外での勉強方法(中学生)[県調査結果]

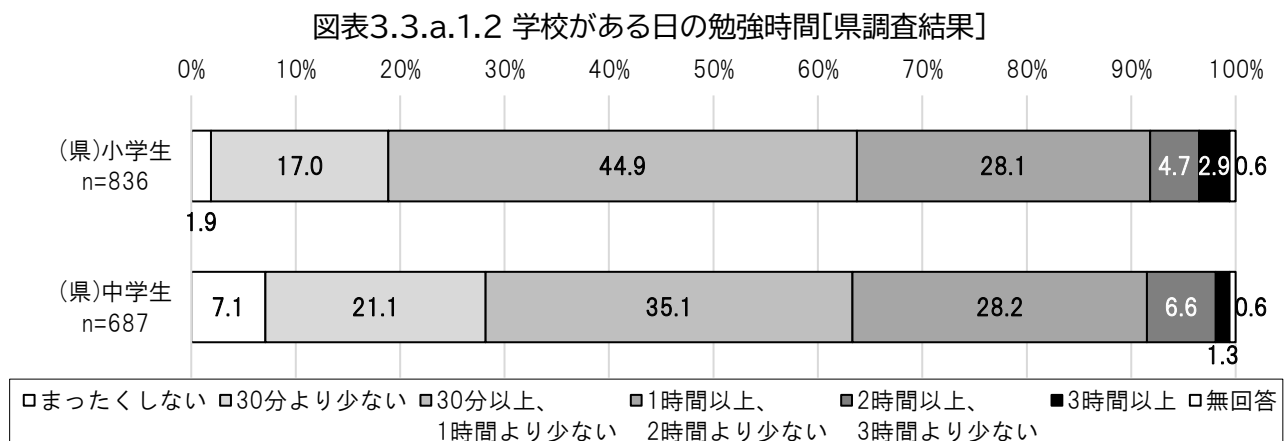
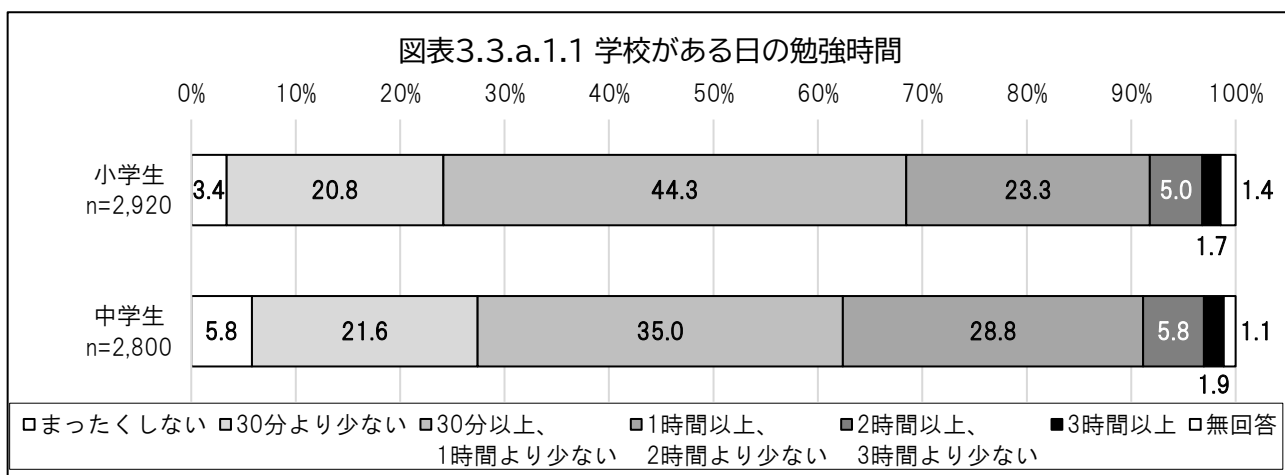


問3. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

a) 学校がある日（月～金曜日）

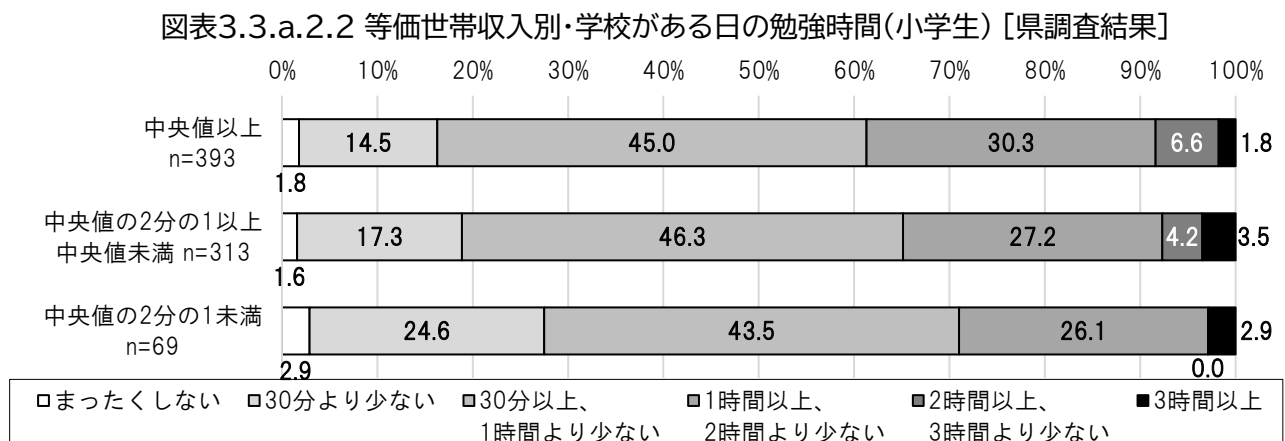
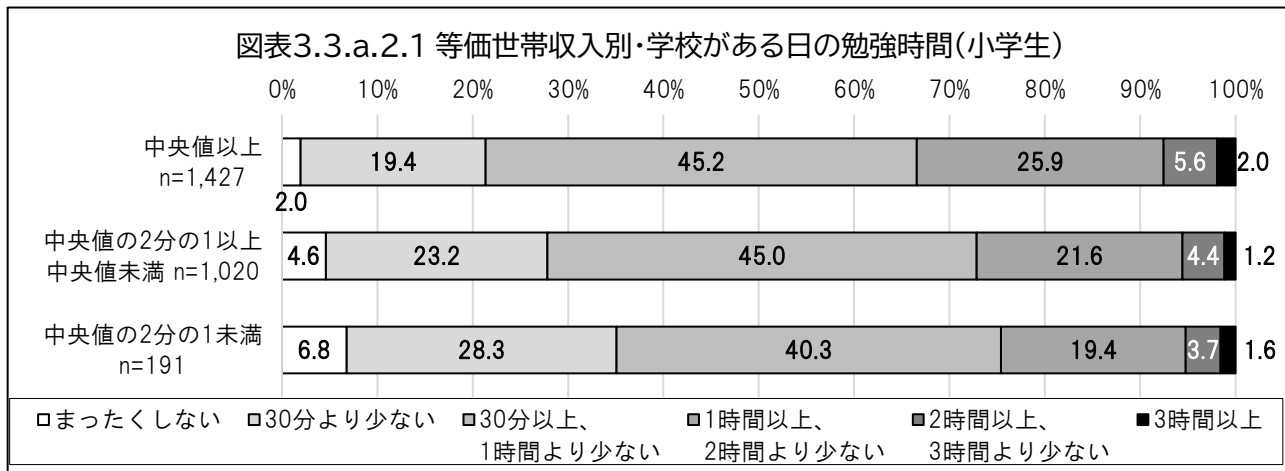
(1)全体

普段学校がある日の勉強時間は、小学生・中学生ともに、「30分以上、1時間より少ない」が44.3%、35.0%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が23.3%、28.8%、「30分より少ない」が20.8%、21.6%となっています。また、学校がある日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、小学生が3.4%で、県調査（1.9%）と比較してやや高く、中学生が5.8%で、県調査（7.1%）と比較してやや低くなっています。



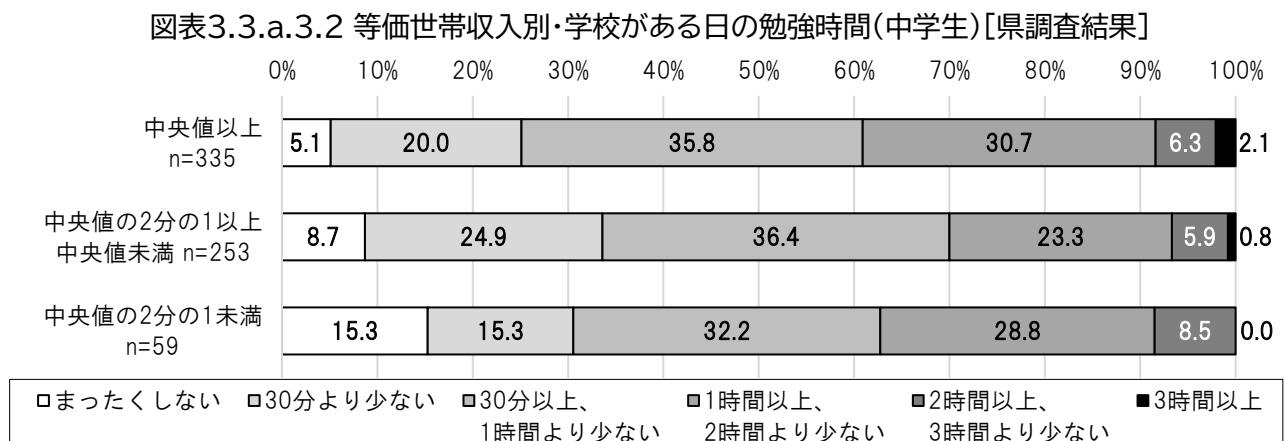
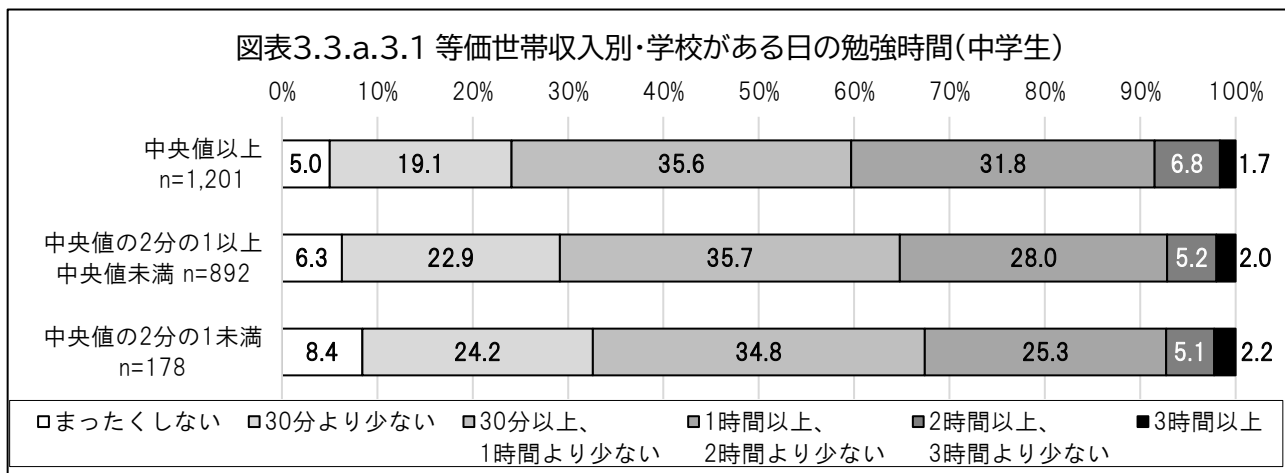
(2)等価世帯収入別・小学生（問 3.a 学校がある日の授業以外での勉強時間）

普通学校がある日の勉強時間について、等価世帯収入別にみると、小学生では、学校がある日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では3.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では6.8%と高くなっています。また、県調査（2.9%）と比較してやや高くなっています。



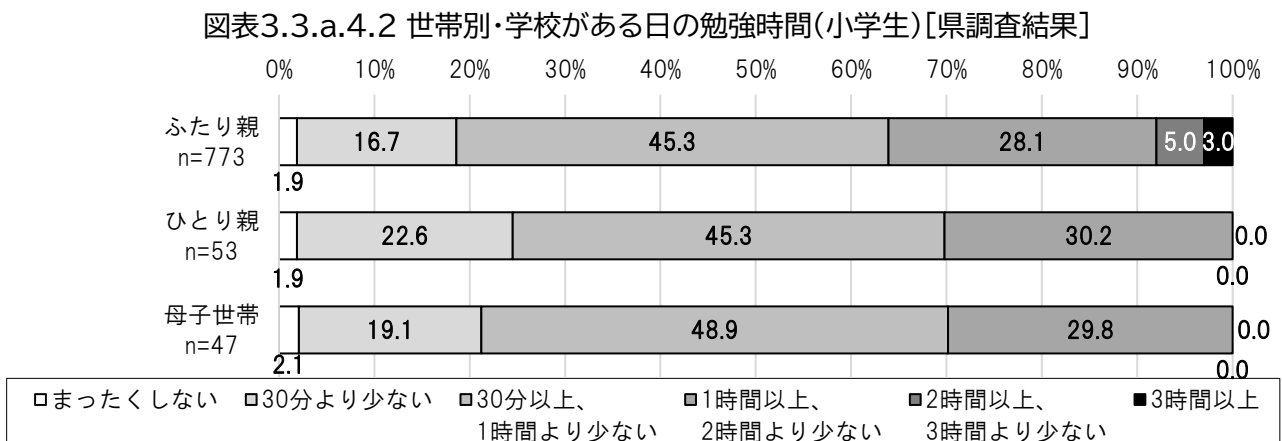
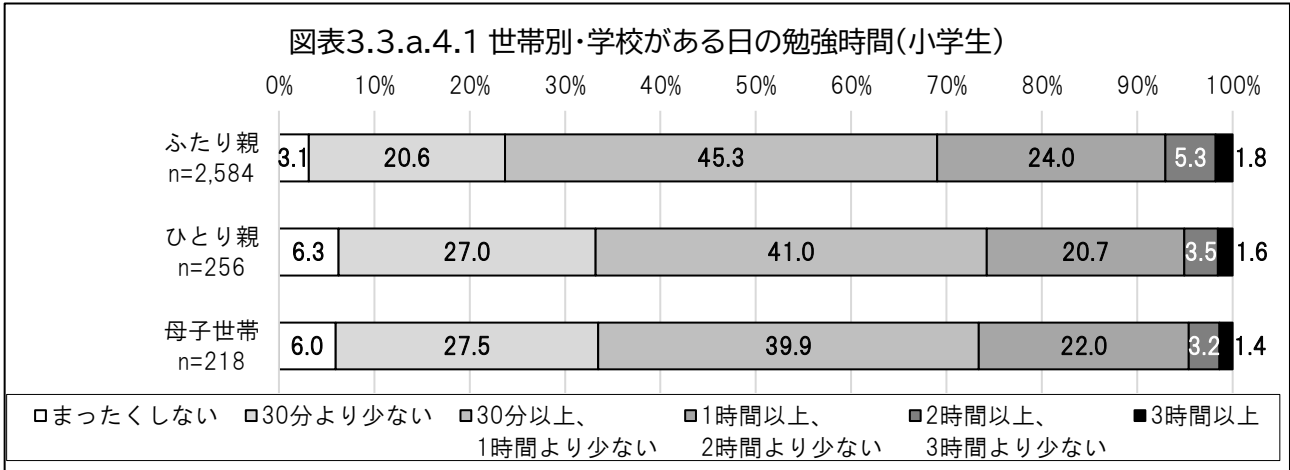
(3)等価世帯収入別・中学生（問 3.a 学校がある日の授業以外での勉強時間）

普通学校がある日の勉強時間について、等価世帯収入別にみると、中学生では、学校がある日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では5.8%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では8.4%と高くなっています。また、県調査（15.3%）と比較して低くなっています。



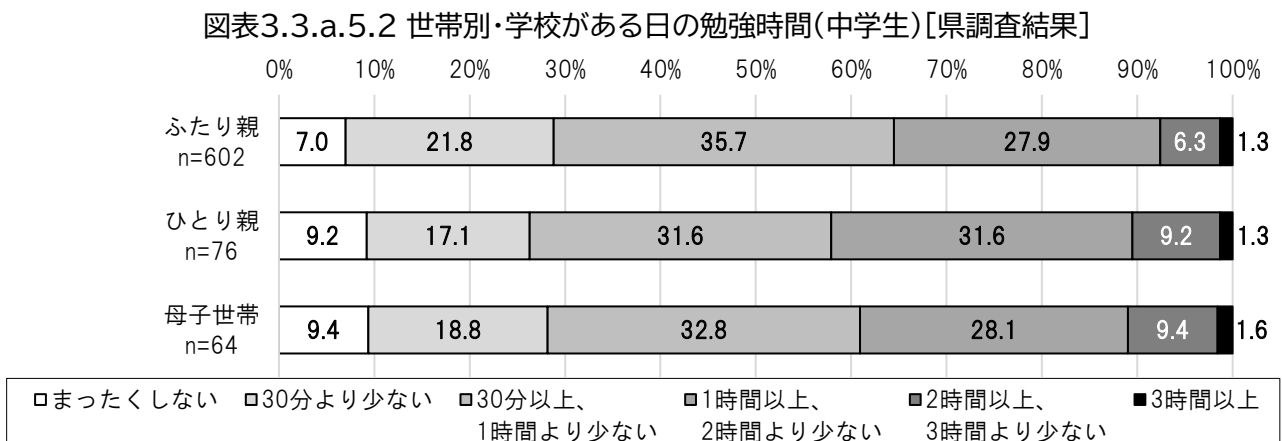
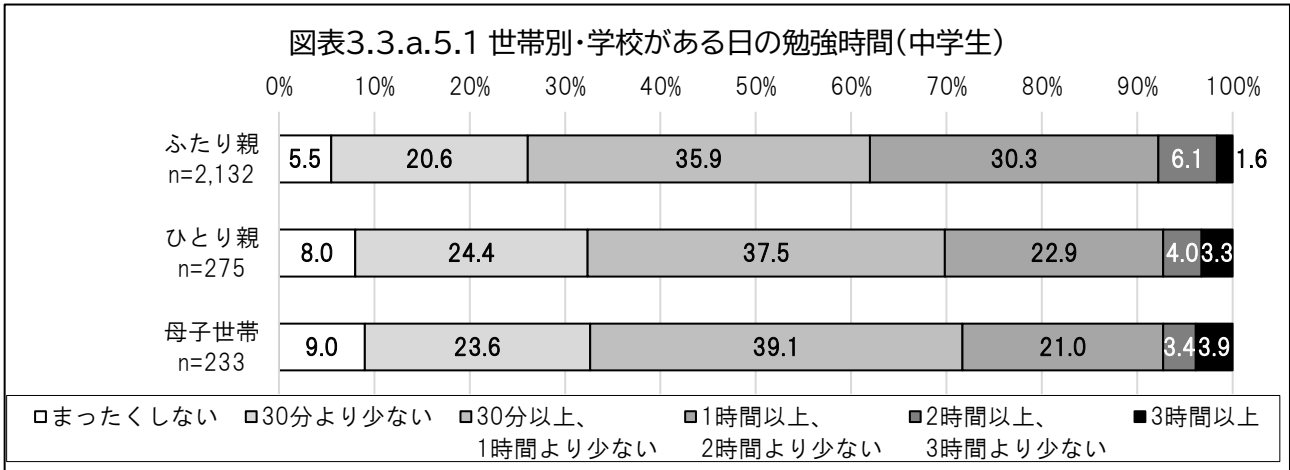
(4)世帯別・小学生（問 3.a 学校がある日の授業以外での勉強時間）

普段学校がある日の勉強時間について、世帯別にみると、小学生では、学校がある日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では 3.4%であったのに対し、ひとり親世帯では 6.3%と高くなっています。また、県調査（1.9%）と比較して高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 3.a 学校がある日の授業以外での勉強時間）

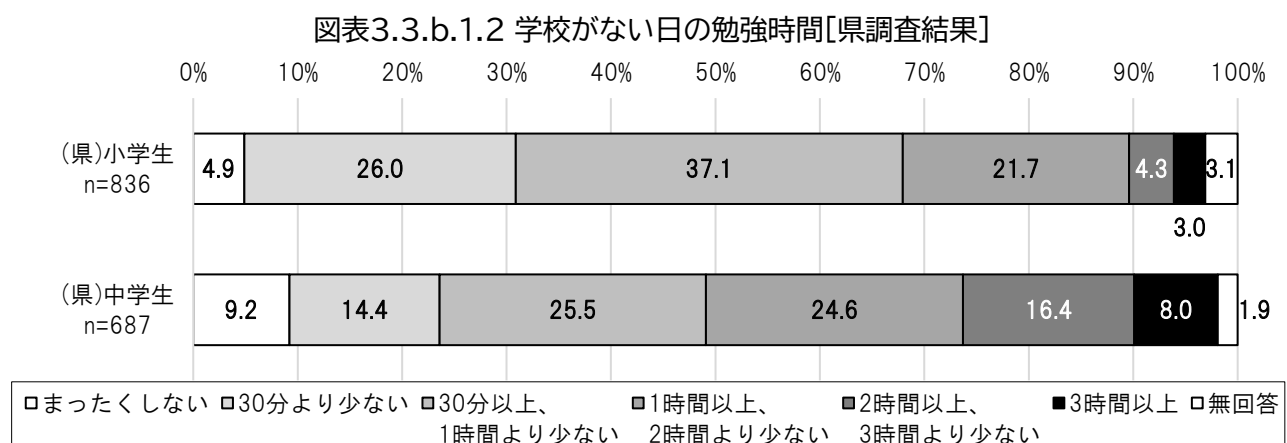
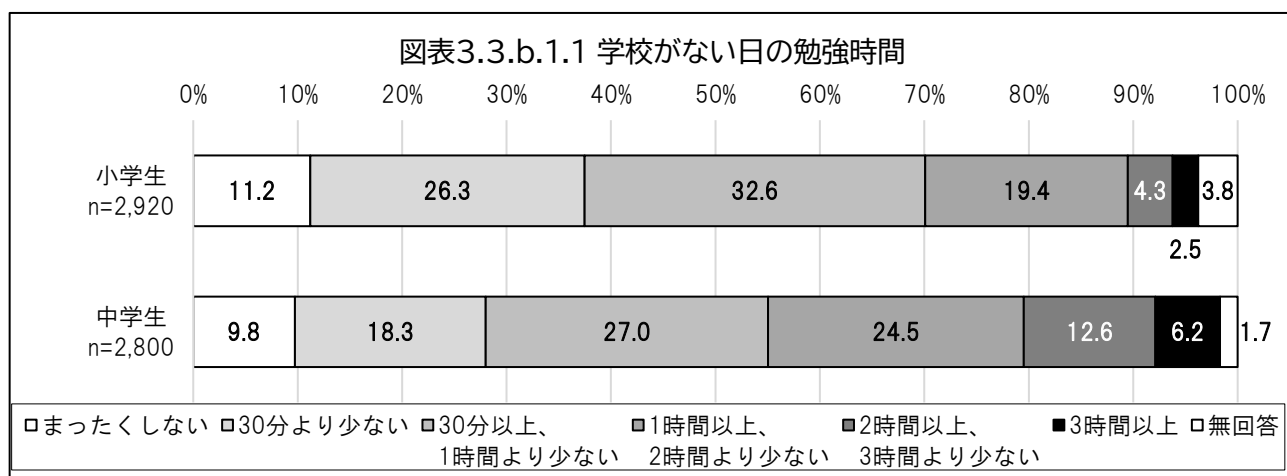
普段学校がある日の勉強時間について、世帯別にみると、中学生では、学校がある日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では 5.8%であったのに対し、ひとり親世帯では 8.0%と高くなっています。また、県調査（9.2%）と比較して低くなっています。



b) 学校がない日（土・日曜日・祝日）

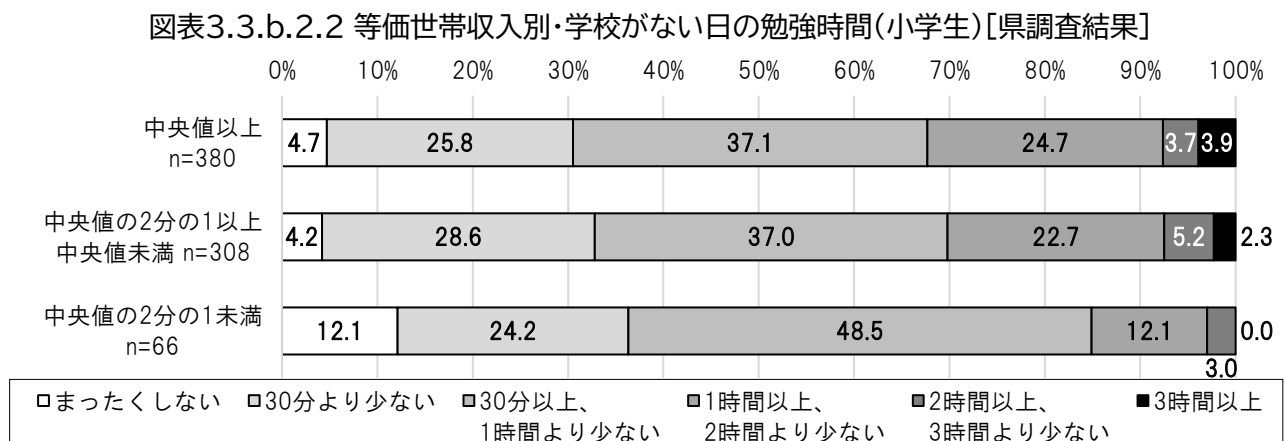
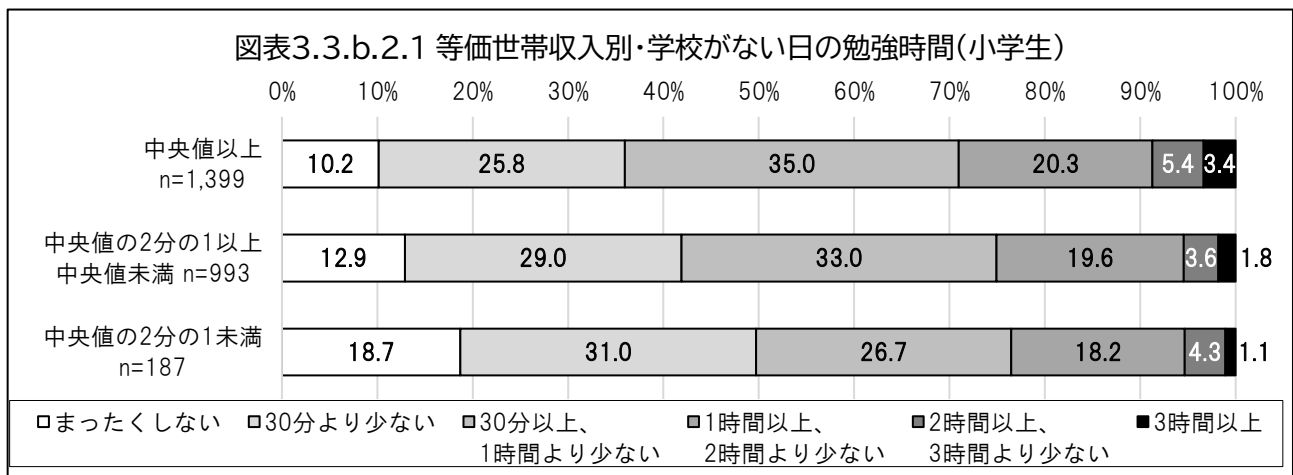
(1)全体

学校がない日の勉強時間は、小学生・中学生ともに、「30分以上、1時間より少ない」が32.6%、27.0%と最も高くなっています。次いで、小学生では「30分より少ない」が26.3%、「1時間以上、2時間より少ない」が19.4%となっており、中学生では、「1時間以上、2時間より少ない」が24.5%、「30分より少ない」が18.3%となっています。また、学校がない日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、小学生が11.2%で、県調査（4.9%）と比較して高くなっており、中学生は9.8%で、県調査（9.2%）比較してやや高くなっています。



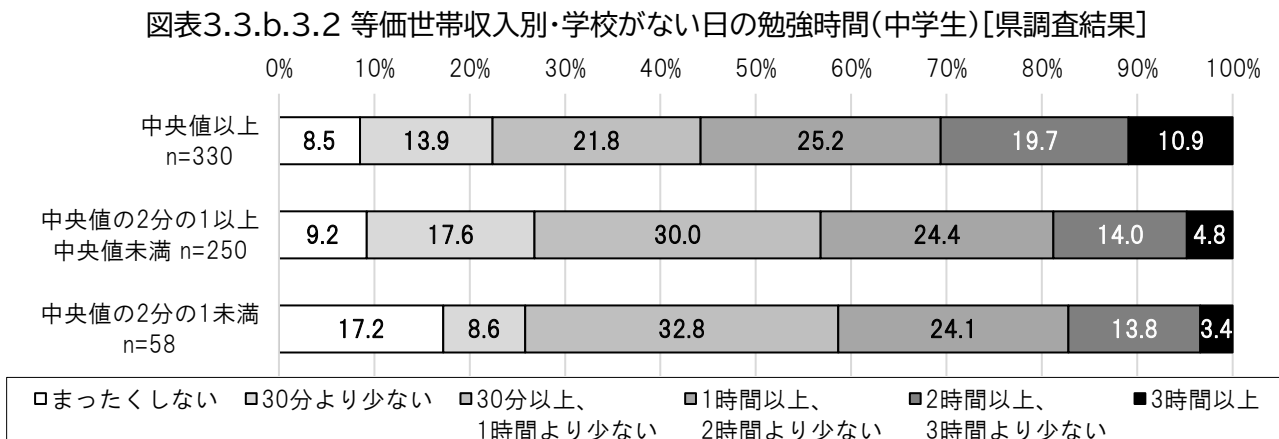
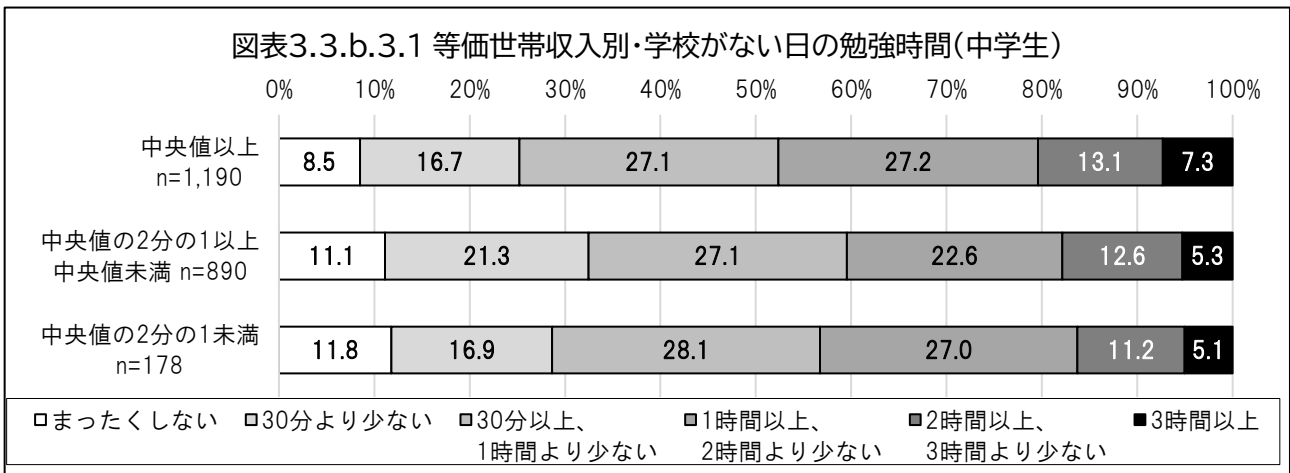
(2)等価世帯収入別・小学生（問 3. b 学校がない日の勉強時間）

学校がない日の勉強時間について、等価世帯収入別にみると、小学生では、学校がない日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では11.2%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では18.7%と高くなっています。また、県調査（12.1%）と比較して高くなっています。



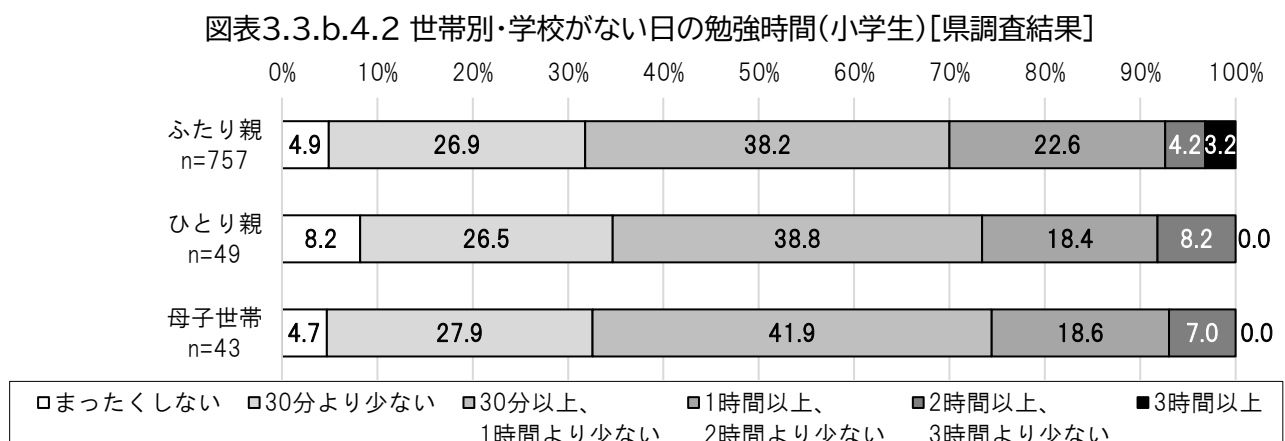
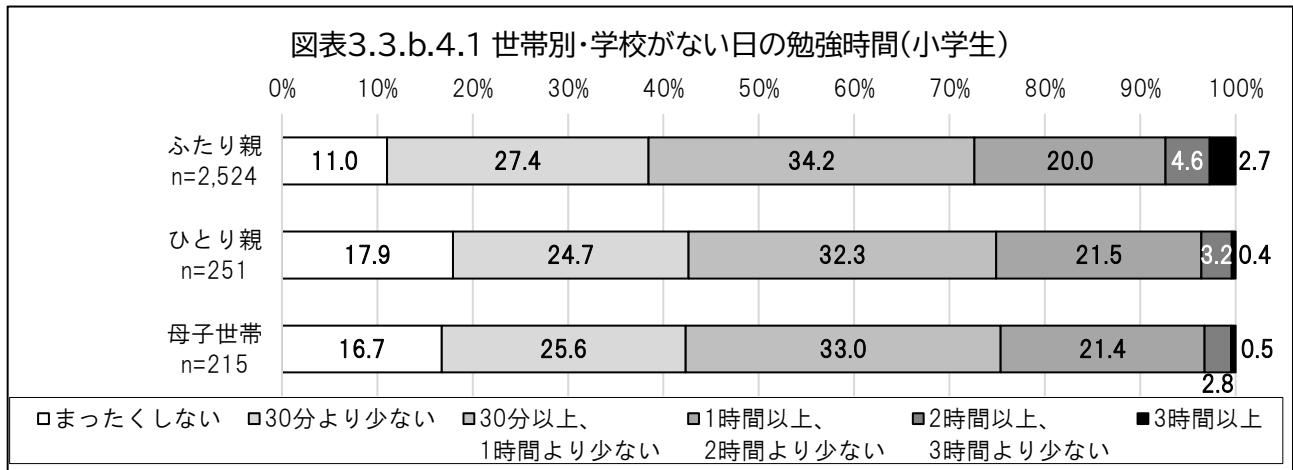
(3)等価世帯収入別・中学生（問 3. b 学校がない日の勉強時間）

学校がない日の勉強時間について、等価世帯収入別にみると、中学生では、学校がない日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では9.8%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では11.8%とやや高くなっています。また、県調査（17.2%）と比較して低くなっています。



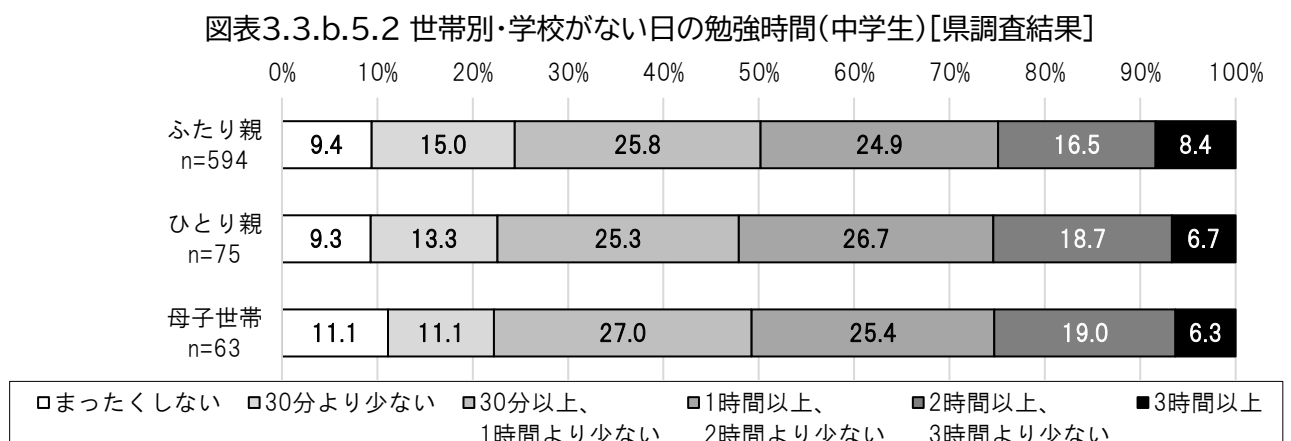
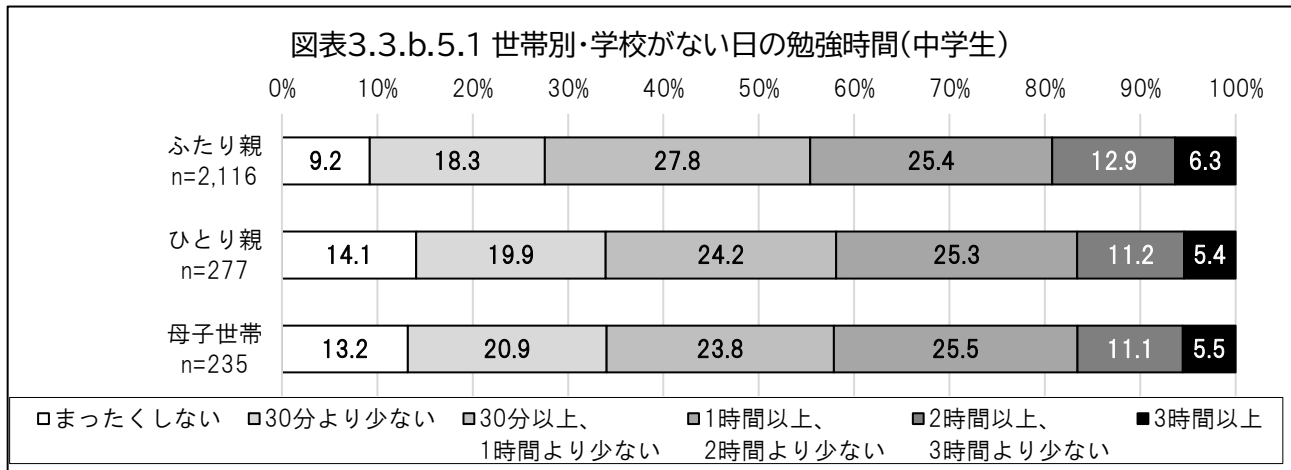
(4)世帯別・小学生（問 3. b 学校がない日の勉強時間）

学校がない日の勉強時間について、世帯別にみると、小学生では、学校がない日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では 11.2%であったのに対し、ひとり親世帯では 17.9%と高くなっています。また、県調査（8.2%）と比較して高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 3. b 学校がない日の勉強時間）

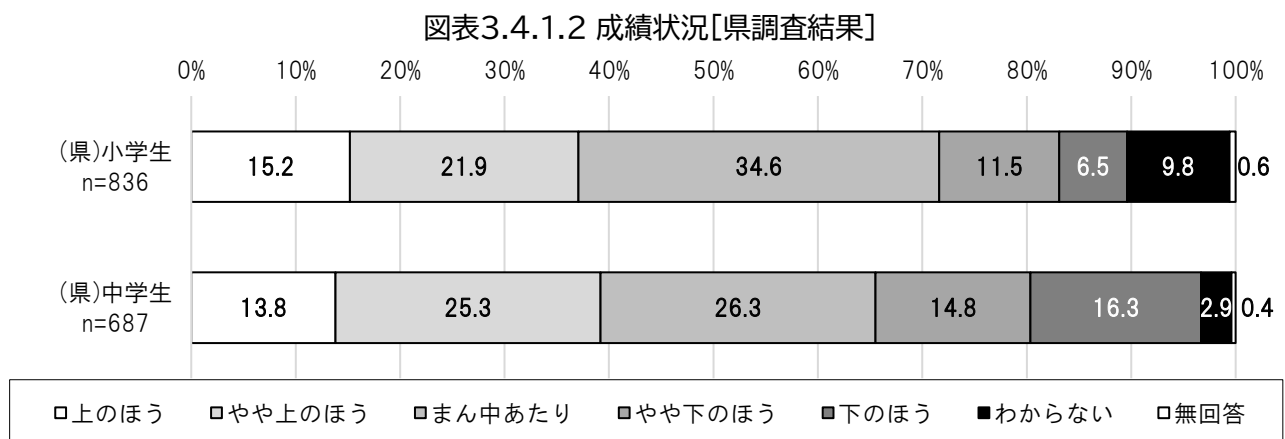
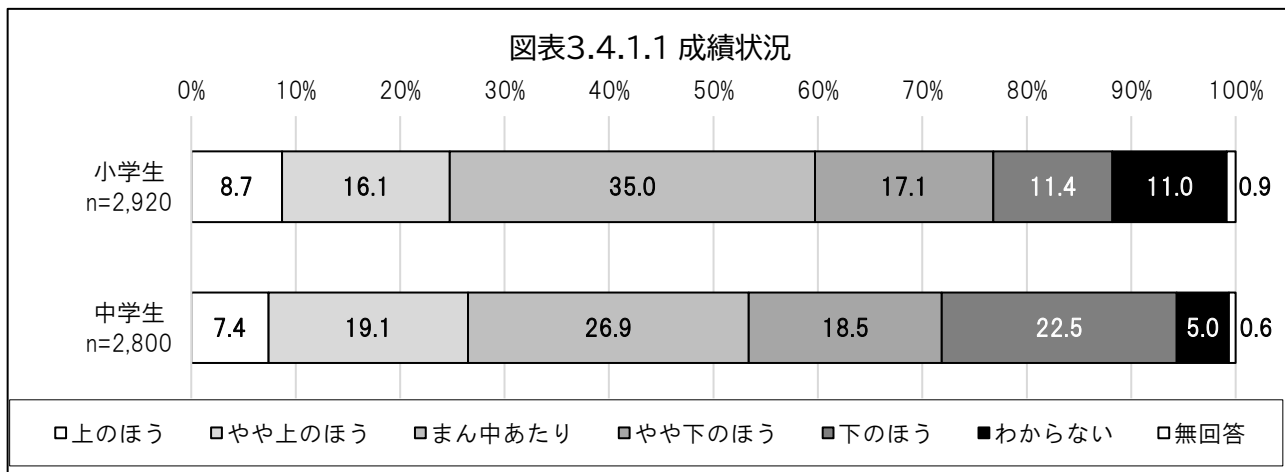
学校がない日の勉強時間について、世帯別にみると、中学生では、学校がない日に勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では 9.8%であったのに対し、ひとり親世帯では 14.1%と高くなっています。また、県調査（9.3%）と比較して高くなっています。



問4. あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

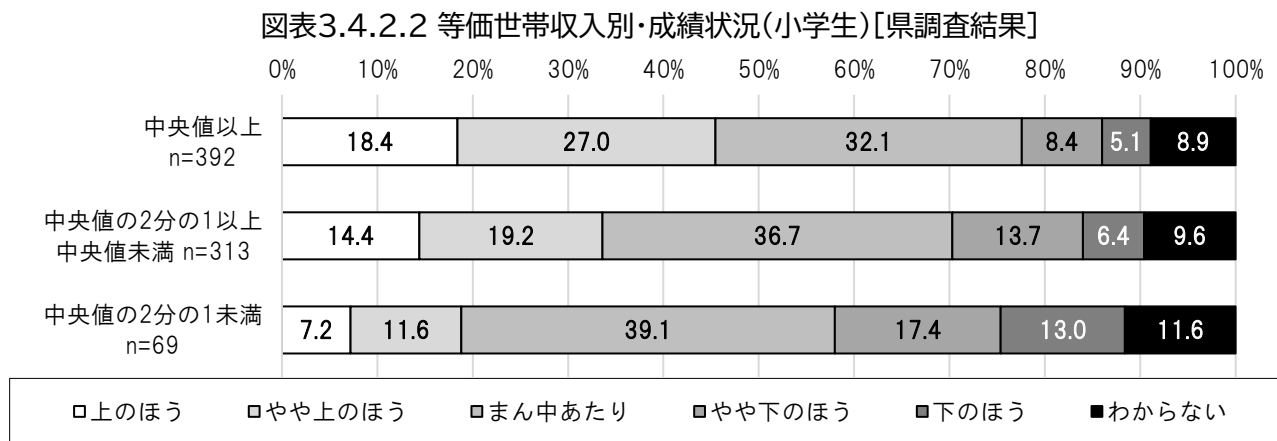
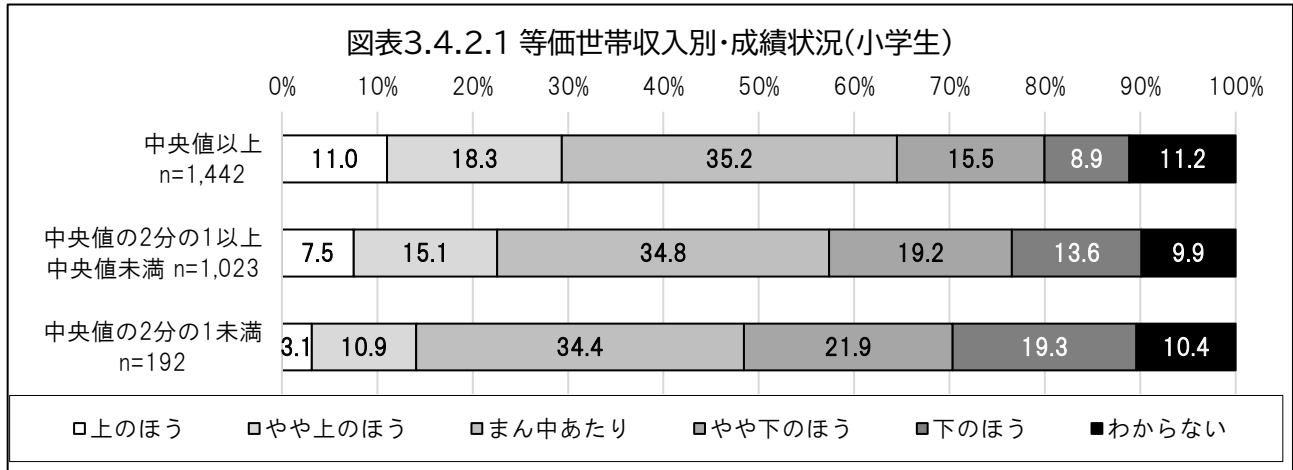
(1) 全体

クラスの中での成績について、「やや下のほう」又は「下のほう」と回答した割合は、小学生が28.5%、中学生が41.0%となっています。小学生、中学生(28.5%、41.0%)ともに、県調査(18.0%、31.1%)と比較して高くなっています。



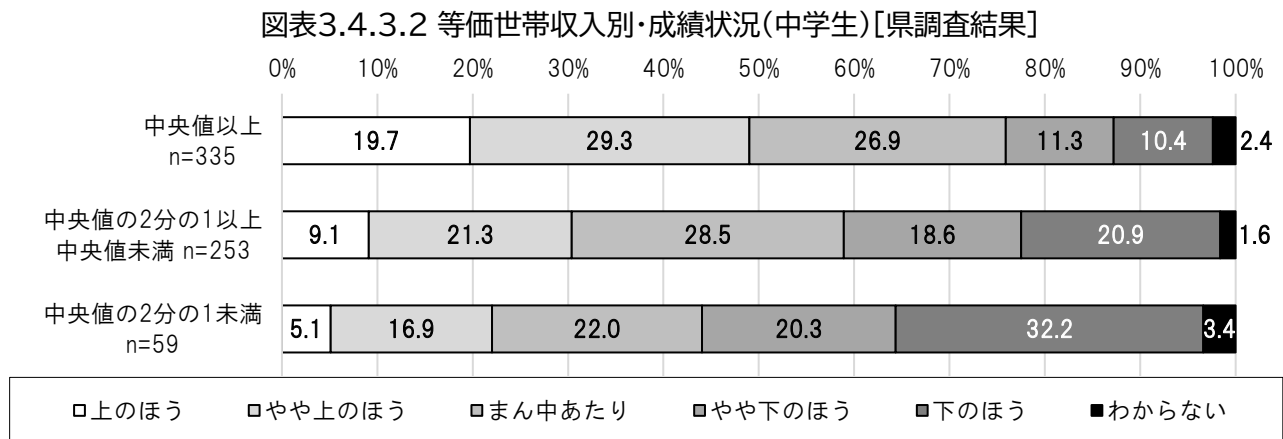
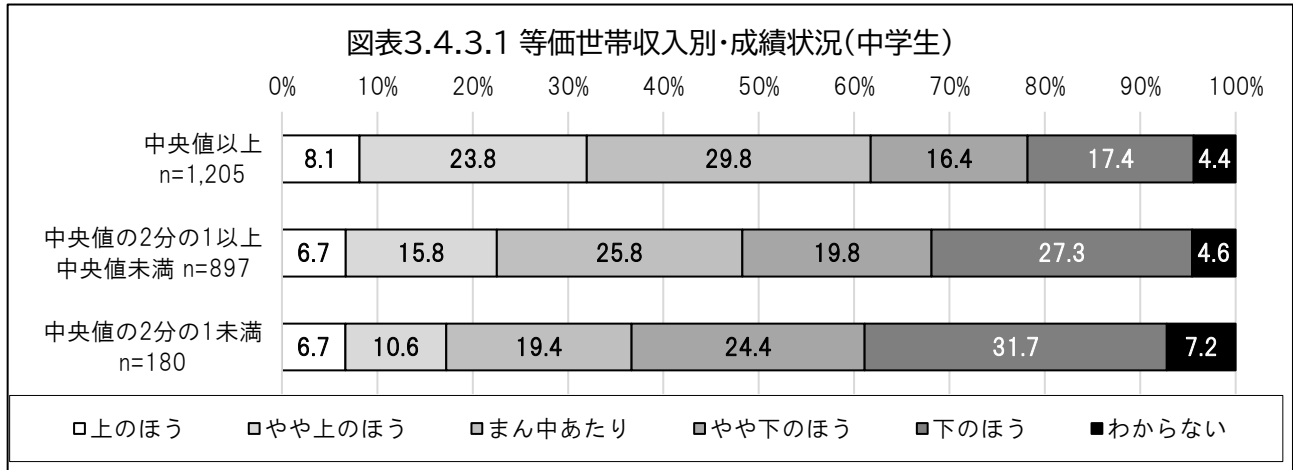
(2) 等価世帯収入別・小学生（問 4. クラスの中での成績状況）

クラスの中での成績状況について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「やや下のほう」又は「下のほう」と回答した割合は、全体では小学生が 28.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が41.2%と高くなっています。また、県調査（30.4%）と比較して高くなっています。



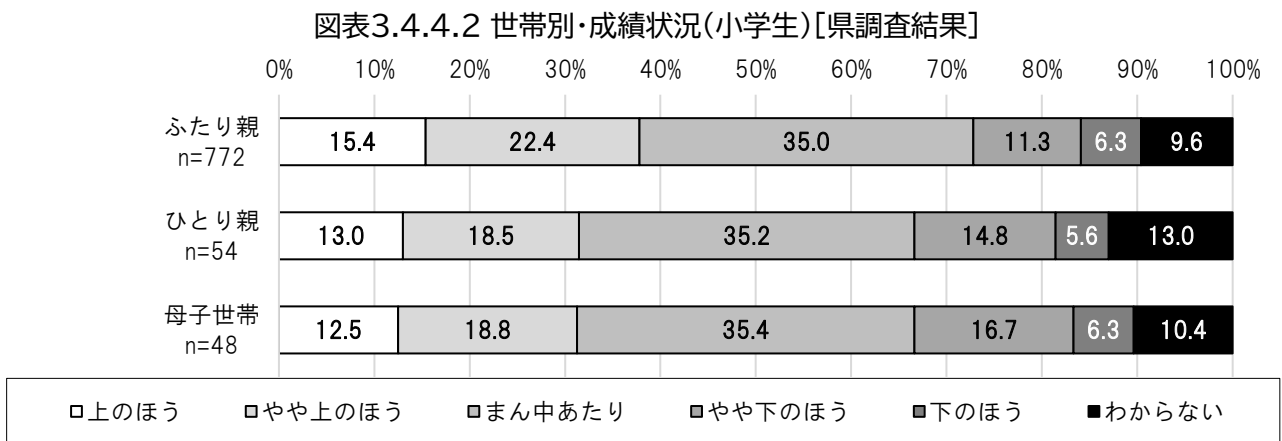
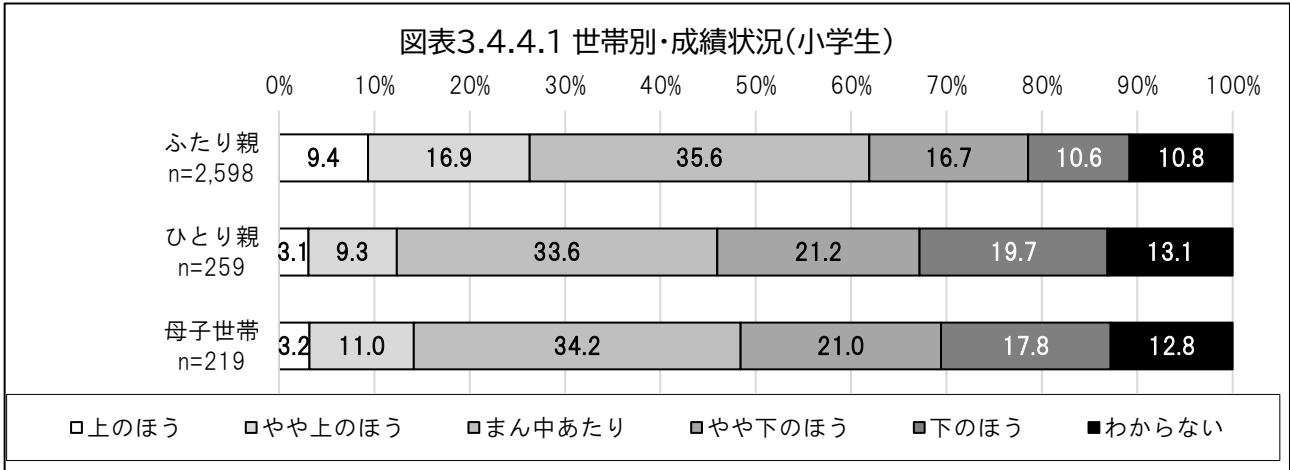
(3) 等価世帯収入別・中学生（問 4. クラスの中での成績状況）

クラスの中での成績状況について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「やや下のほう」又は「下のほう」と回答した割合は、全体では 41.0%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の 2 分の 1 未満）」では 56.1%と高くなっています。また、県調査（52.5%）と比較して高くなっています。



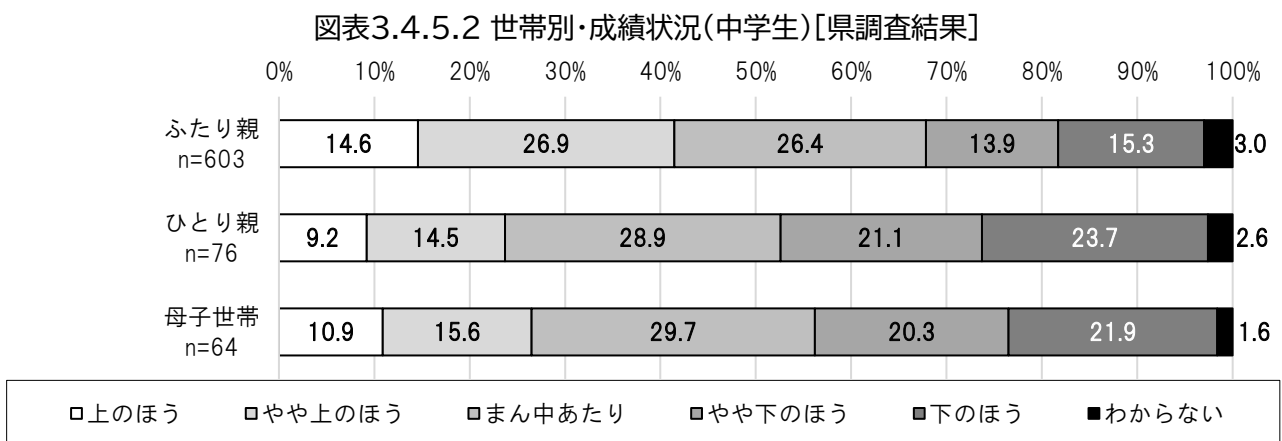
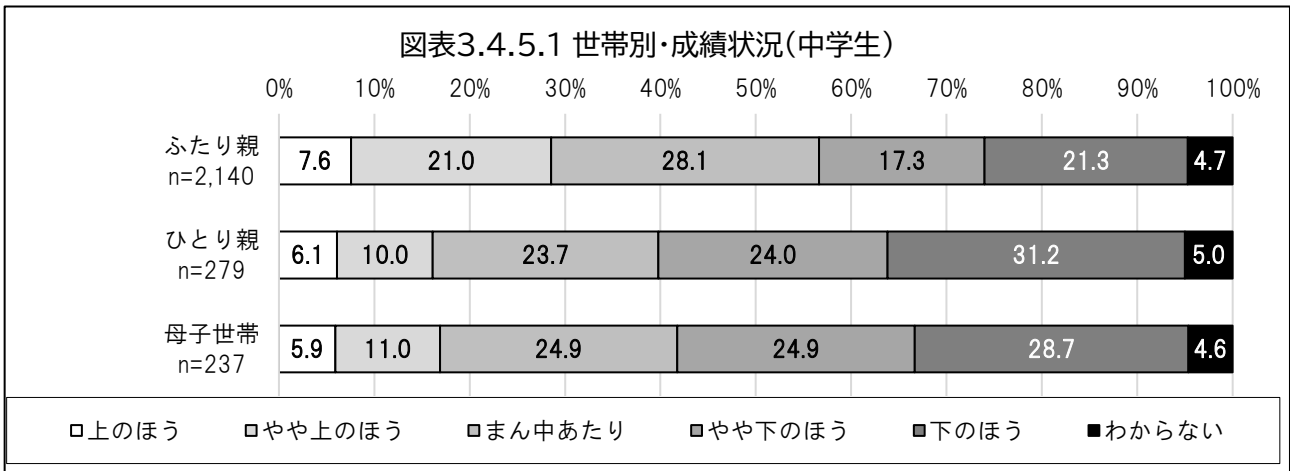
(4) 世帯別・小学生（問 4. クラスの中での成績状況）

クラスの中での成績状況について、世帯別にみると、小学生では、「やや下のほう」又は「下のほう」と回答した割合は、全体では 28.5%あったのに対し、ひとり親世帯では 40.9%と高くなっています。また、県調査（20.4%）と比較して高くなっています。



(5) 世帯別・中学生（問 4. クラスの中での成績状況）

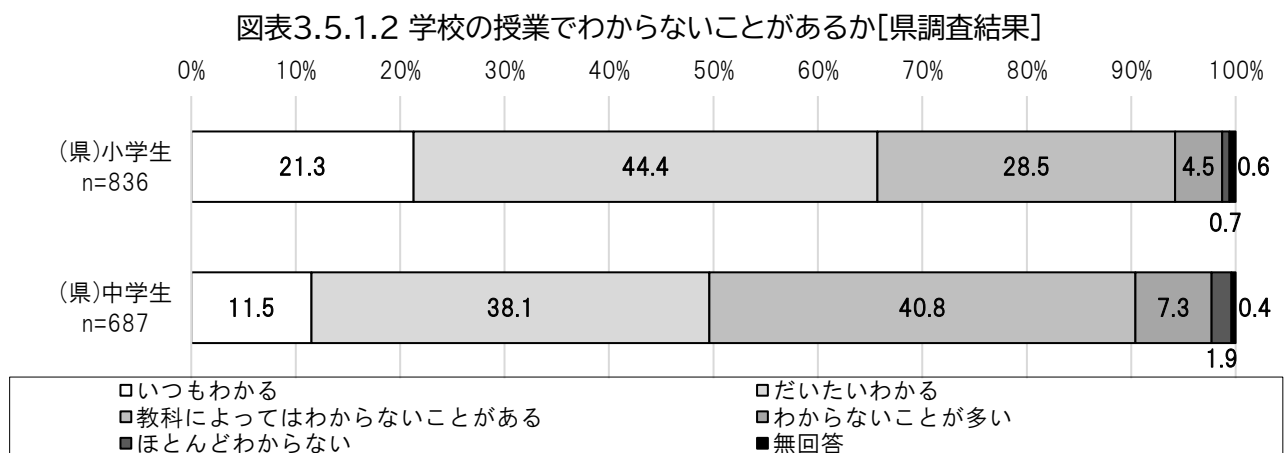
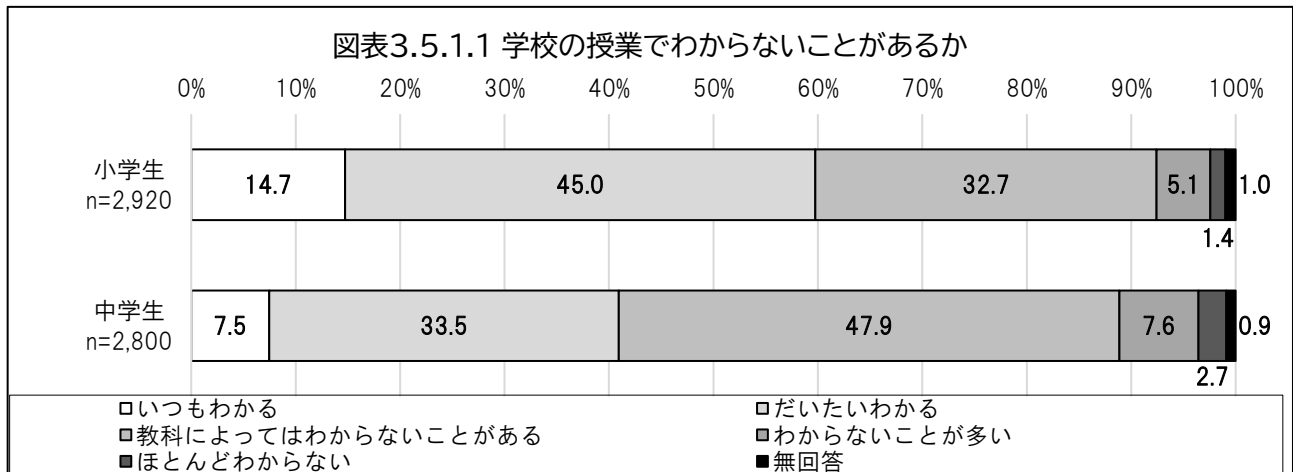
クラスの中での成績状況について、世帯別にみると、中学生では、「やや下のほう」又は「下のほう」と回答した割合は、全体では 41.0%であったのに対し、ひとり親世帯では 55.2%と高くなっています。また、県調査（44.8%）と比較して高くなっています。



問5. あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

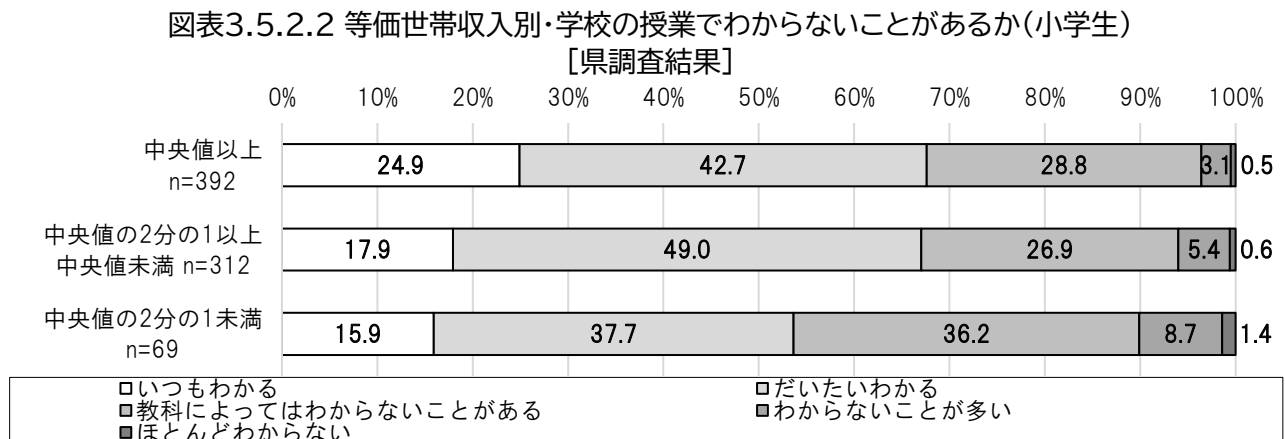
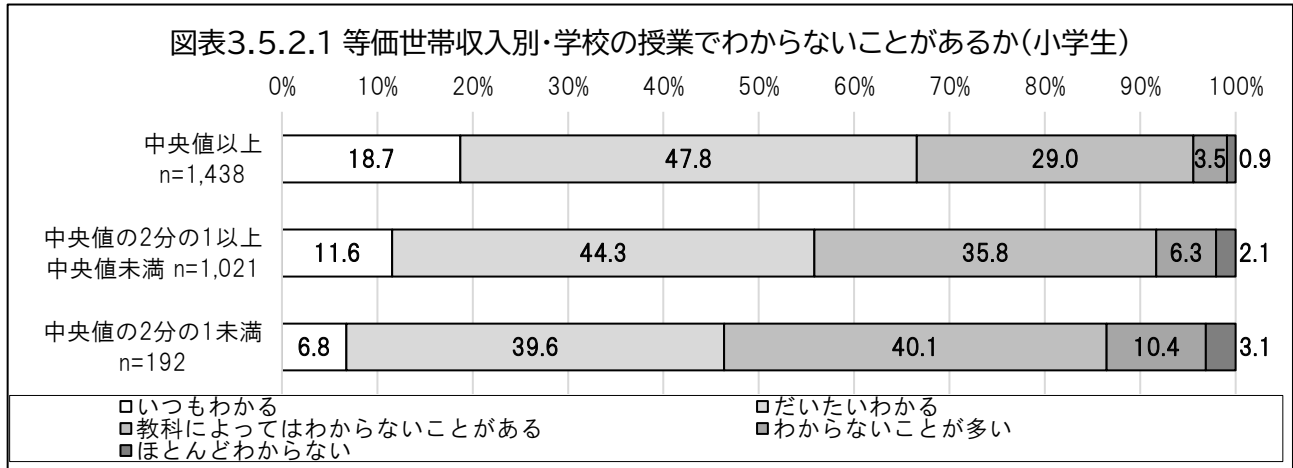
(1) 全体

学校の授業の理解状況について、「ほとんどわからない」又は「わからないことが多い」と回答した割合は、小学生が6.5%、中学生が10.3%となっています。小学生・中学生ともに、県調査(5.2%、9.2%)と比較して高くなっています。



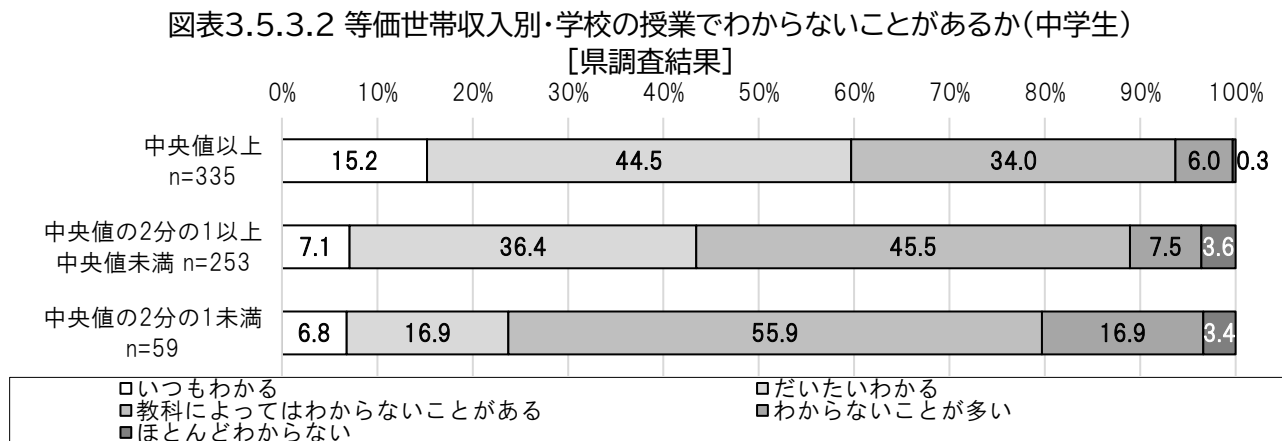
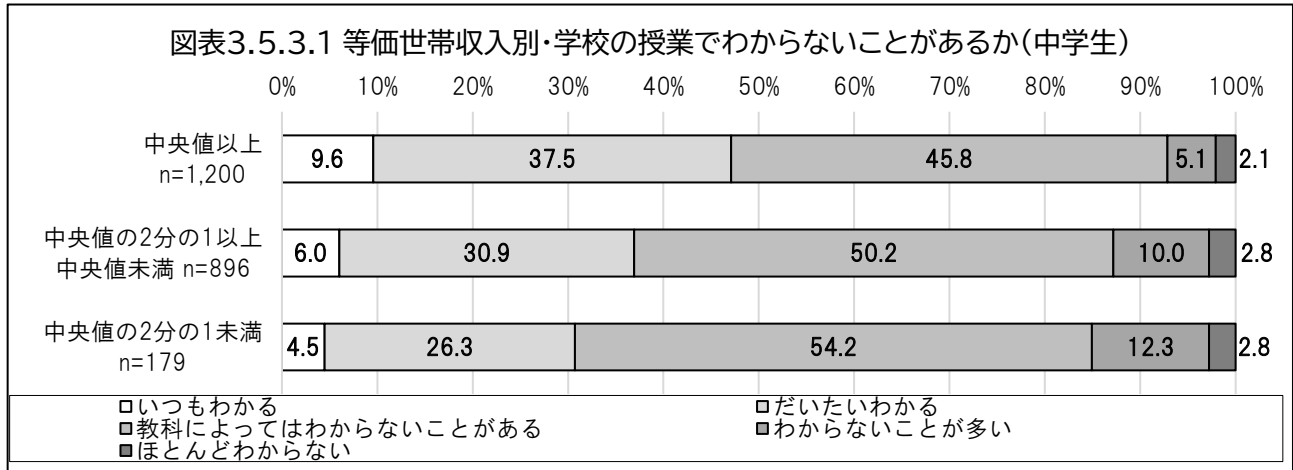
(2) 等価世帯収入別・小学生（問 5. 授業でわからないことがあるか）

学校の授業の理解状況について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「ほとんどわからない」又は「わからないことが多い」と回答した割合は、全体では6.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では13.5%と高くなっています。また、県調査（10.1%）と比較して高くなっています。



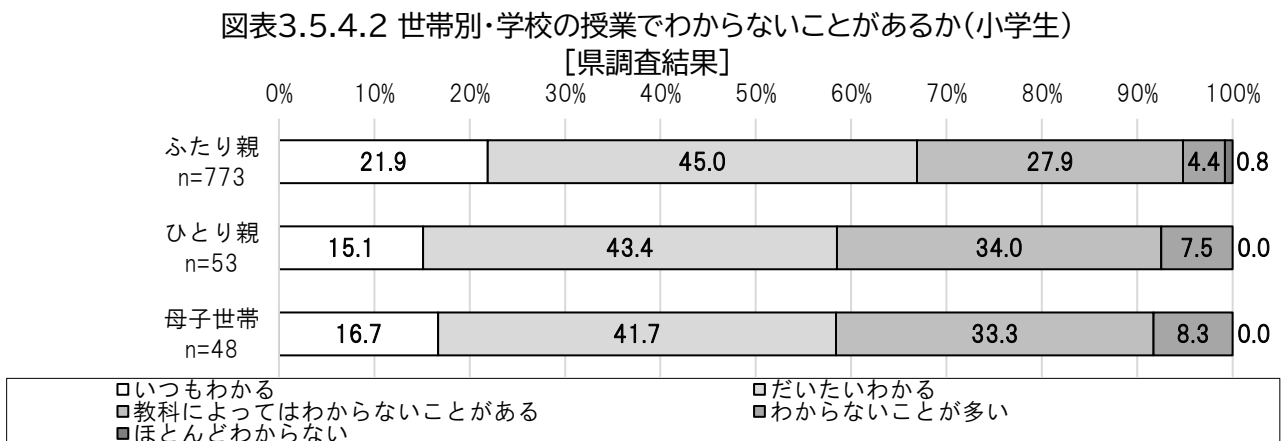
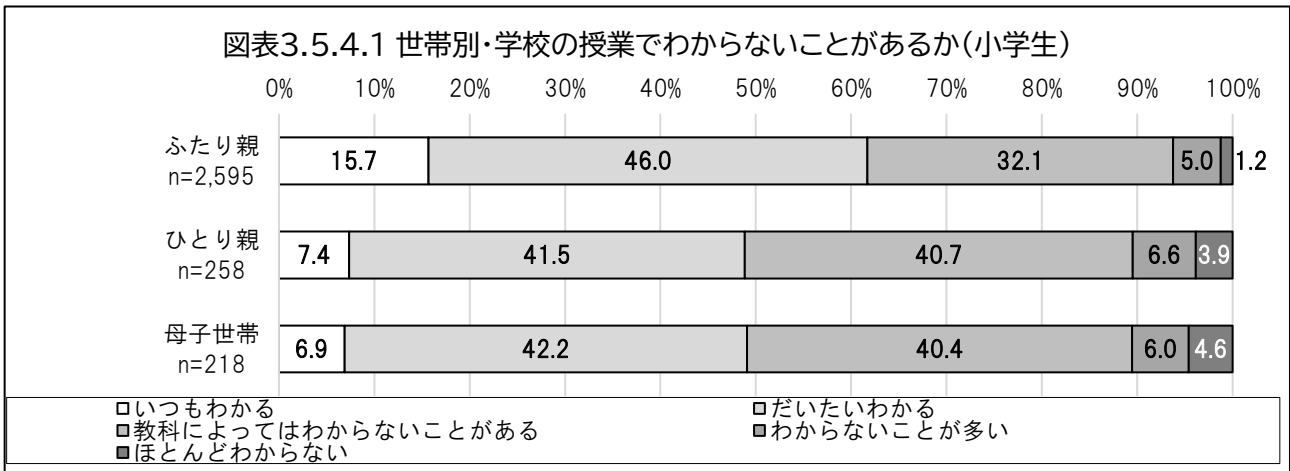
(3) 等価世帯収入別・中学生（問 5. 授業でわからないことがあるか）

学校の授業の理解状況について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「ほとんどわからない」又は「わからないことが多い」と回答した割合は、全体では 10.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の 2 分の 1 未満）」では 15.1%と高くなっています。また、県調査（20.3%）と比較して低くなっています。



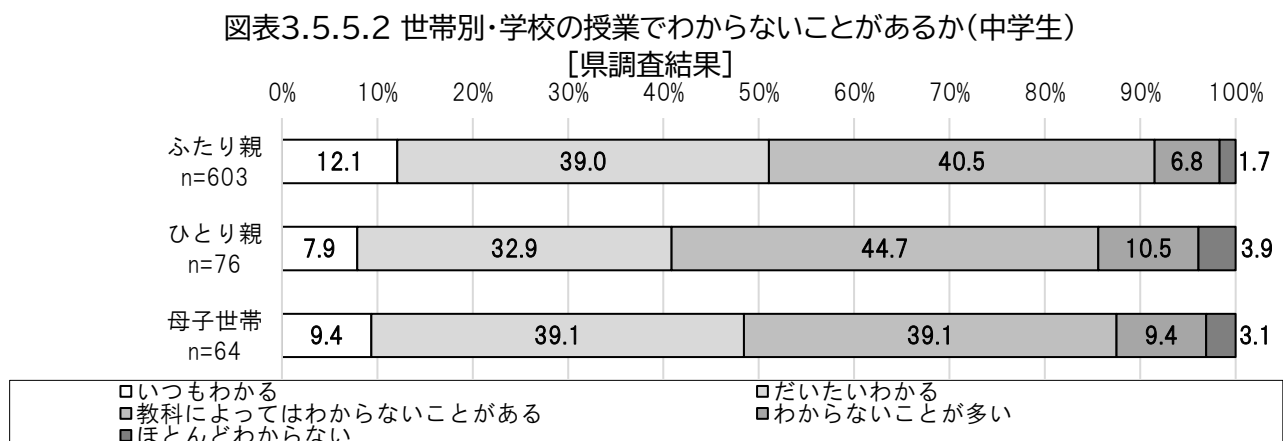
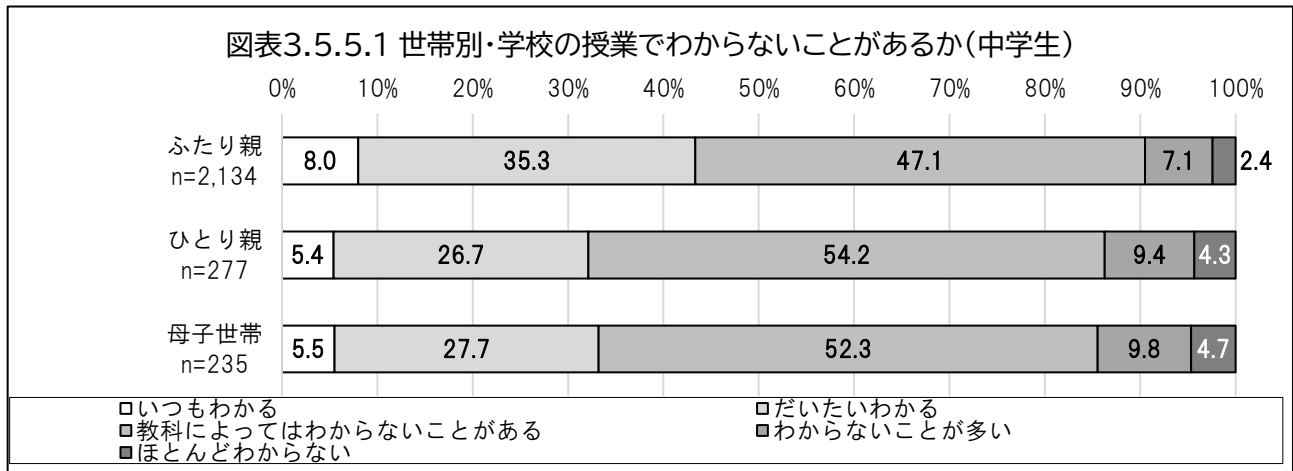
(4) 世帯別・小学生（問 5. 授業でわからないことがあるか）

学校の授業の理解状況について、世帯別にみると、小学生では、「ほとんどわからない」又は「わからないことが多い」と回答した割合は、全体では 6.5%であったのに対し、ひとり親では 10.5%と高くなっています。また、県調査（7.5%）と比較して高くなっています。



(5) 世帯別・中学生（問 5. 授業でわからないことがあるか）

学校の授業について、世帯別にみると、中学生では、「ほとんどわからない」又は「わからないことが多い」と回答した割合は、全体では 10.3%であったのに対し、ひとり親では 13.7%と高くなっています。また、県調査（14.4%）と比較して低くなっています。

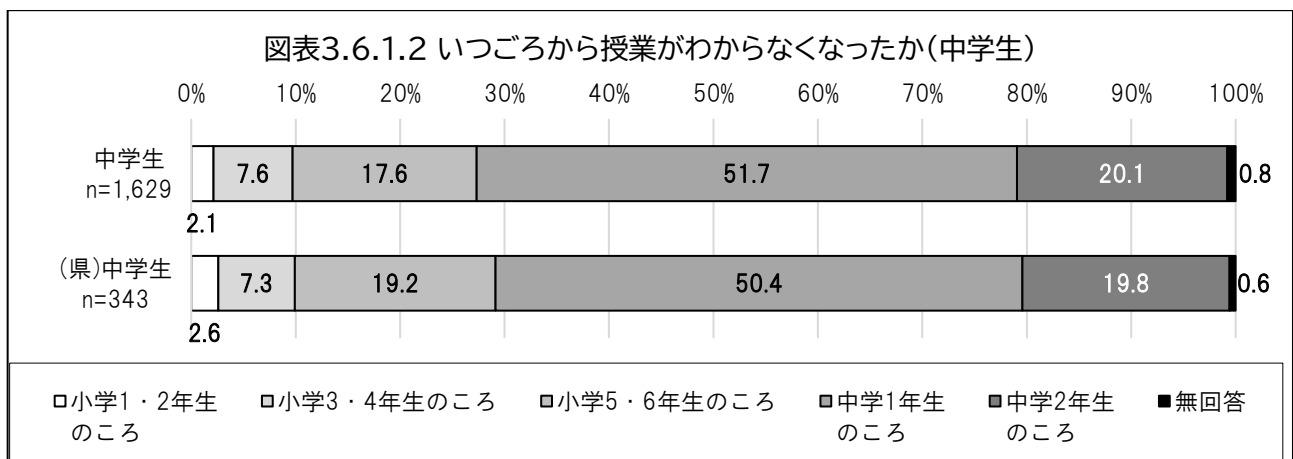
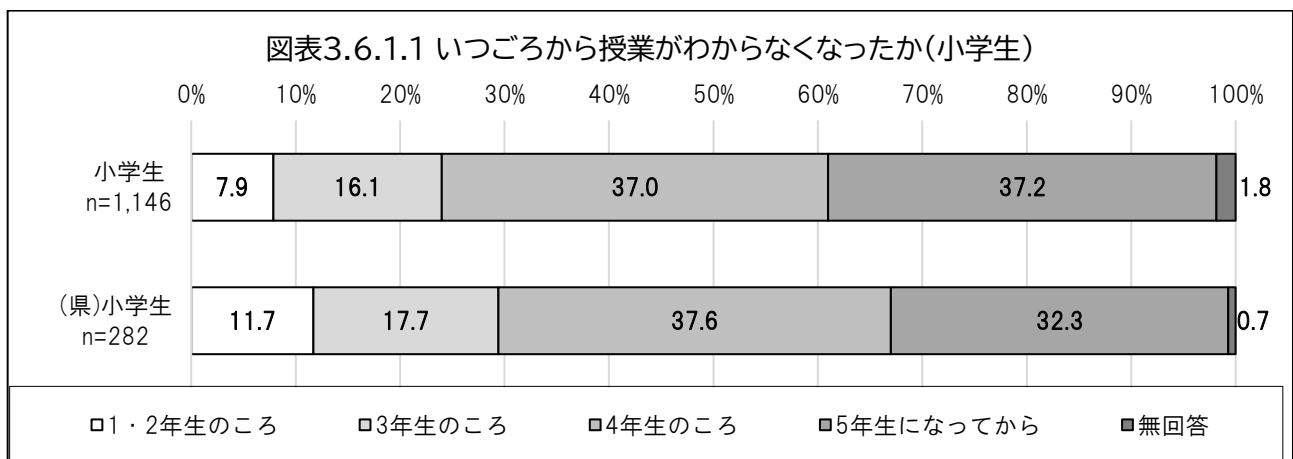


問6. 前の質問で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

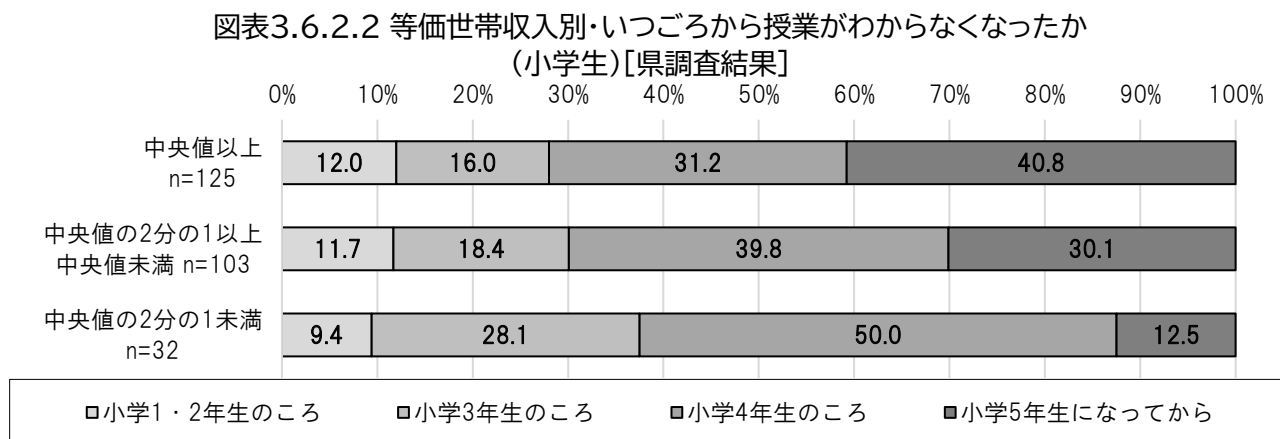
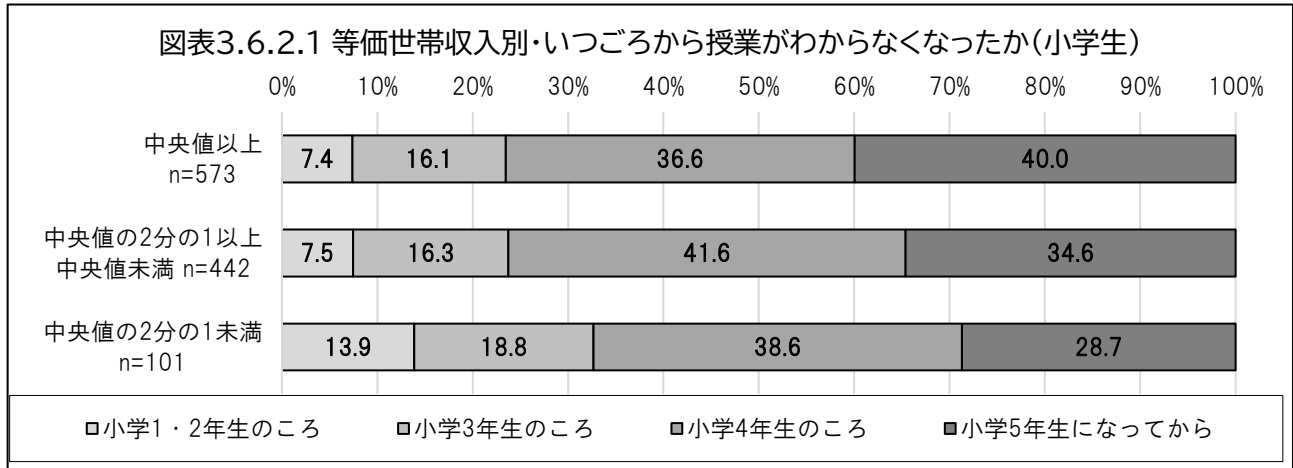
(1) 全体

いつごろ授業がわからなくなったかについて、小学生では「5年生になってから」が37.2%、「4年生のころ」が37.0%、「3年生のころ」が16.1%、「1・2年生のころ」が7.9%となっています。また、中学生では「中学1年生のころ」が51.7%、「中学2年生のころ」が20.1%、「小学5・6年生のころ」が17.6%の順となっており、「小学生のころ」と回答した割合（「小学1・2年生のころ」「小学3・4年生のころ」「小学5・6年生のころ」の合計）は27.3%となっています。



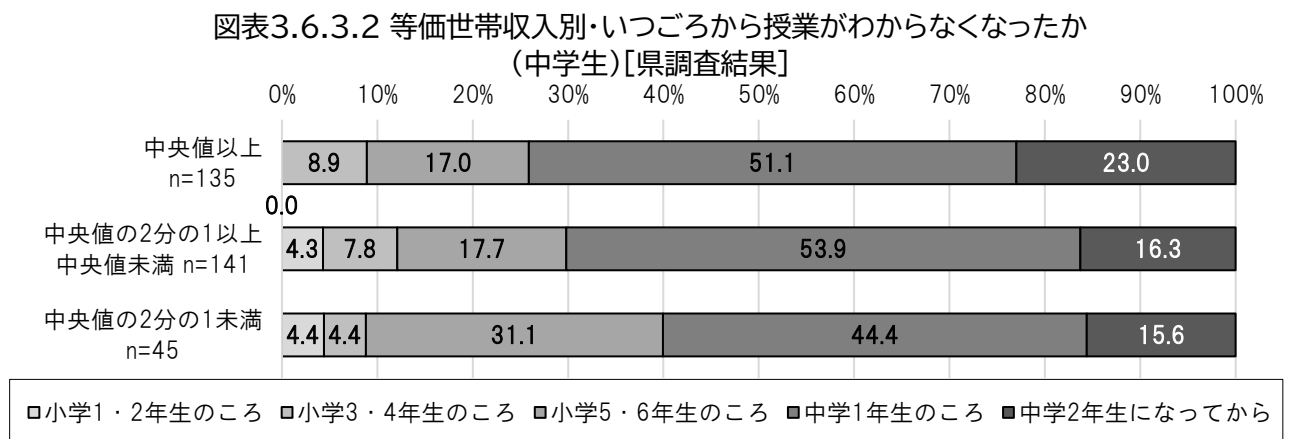
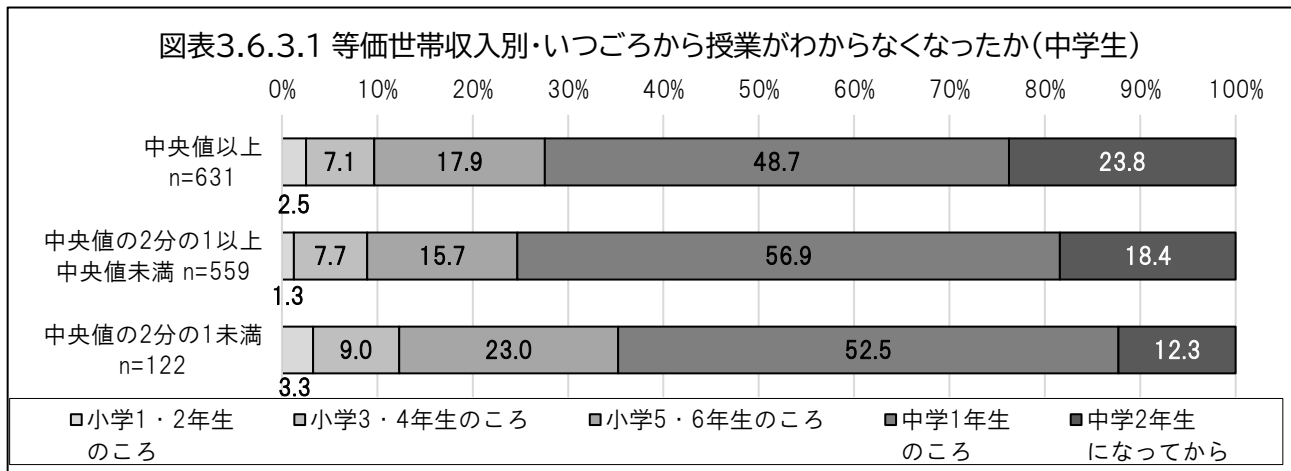
(2) 等価世帯収入別・小学生（問 6. いつごろ授業がわからなくなったか）

いつごろ授業がわからなくなったかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「小学1・2年生のころ」と回答した割合は、全体では7.9%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では13.9%と高くなっています。また、県調査（9.4%）と比較して高くなっています。



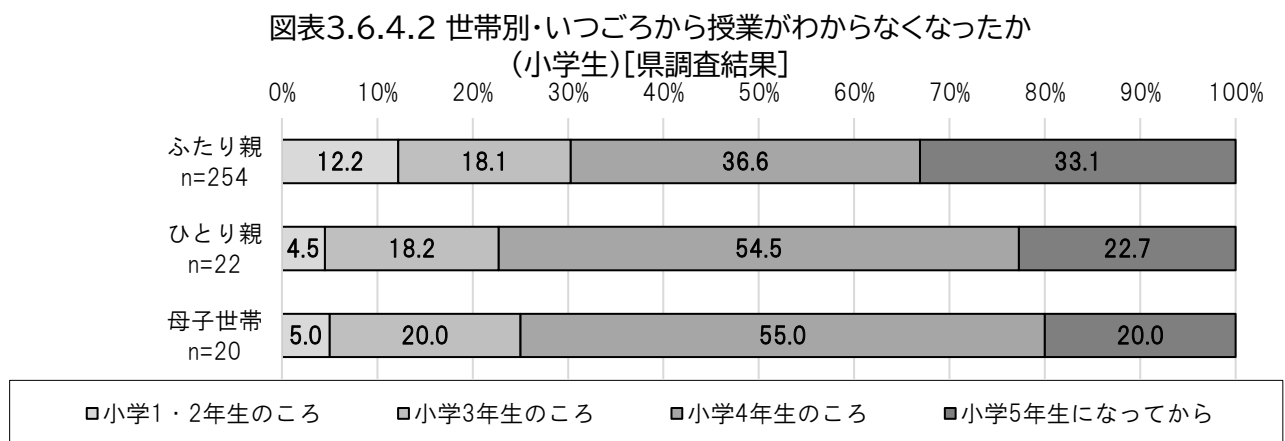
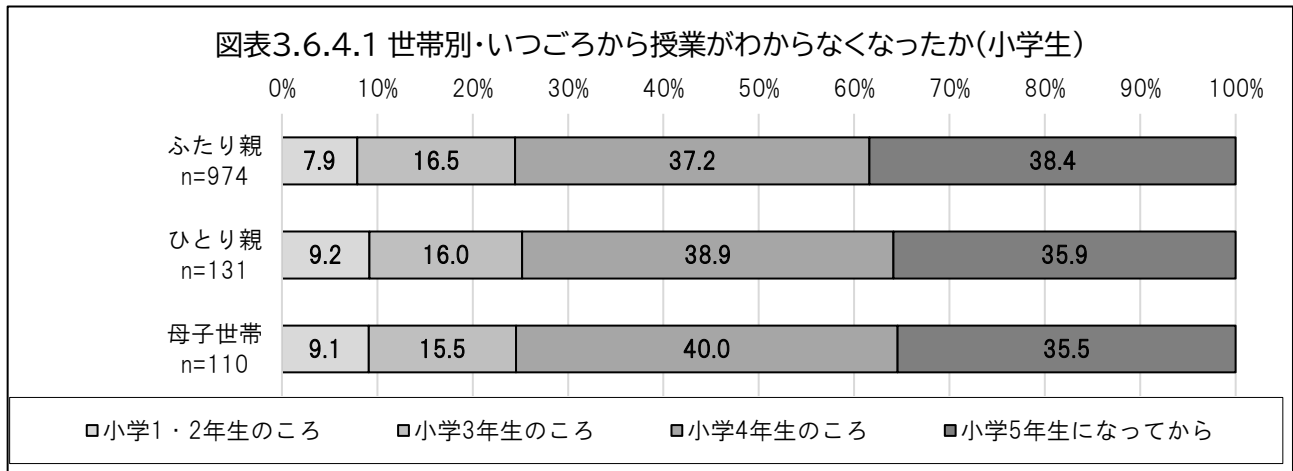
(3) 等価世帯収入別・中学生（問 6. いろいろ授業がわからなくなったか）

いろいろ授業がわからなくなったかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「小学生のころ」と回答した割合（「小学1・2年生のころ」「小学3・4年生のころ」「小学5・6年生のころ」の合計）は、全体では27.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では35.3%と高くなっています。また、県調査（39.9%）と比較して低くなっています。



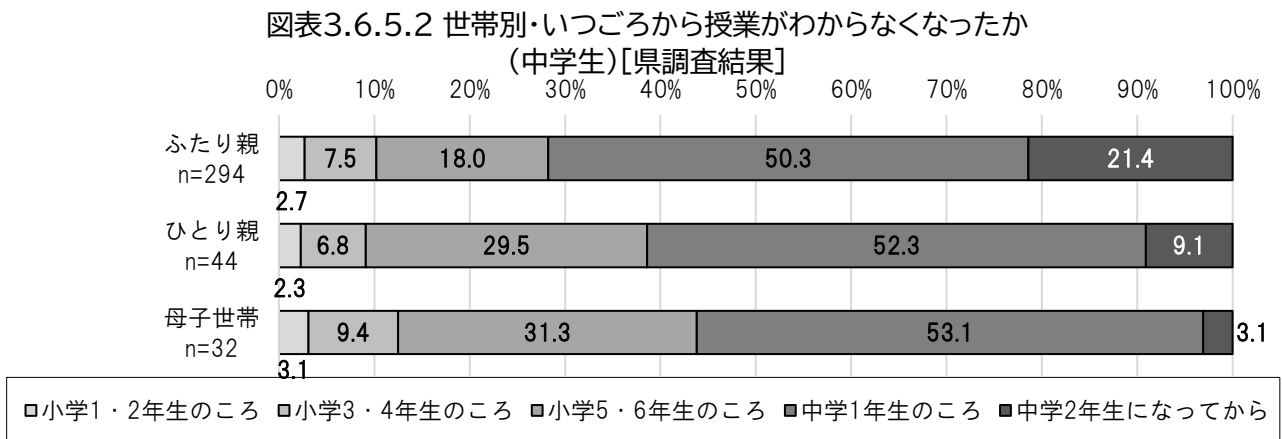
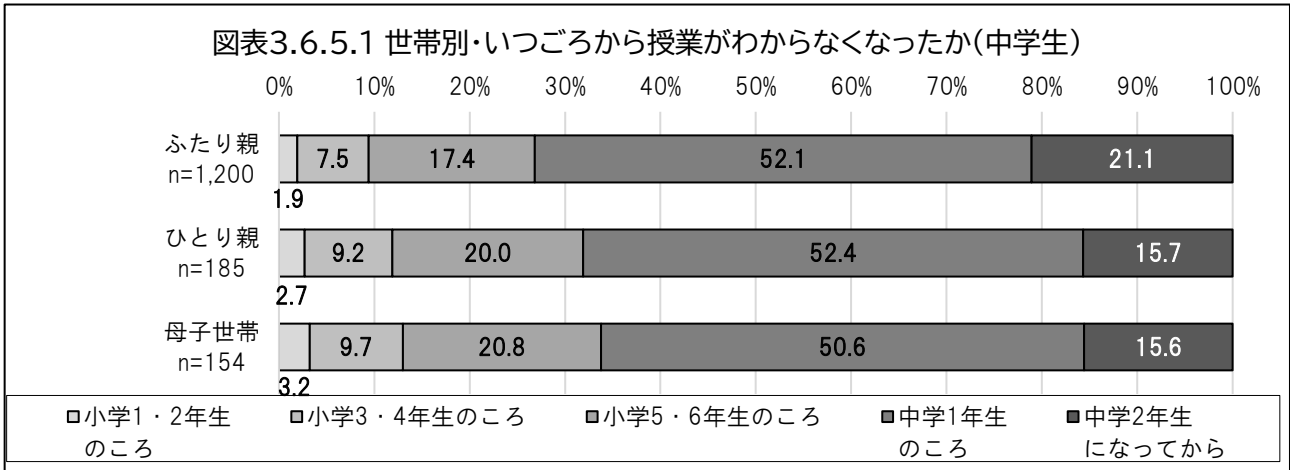
(4) 世帯別・小学生（問 6. いつごろ授業が分からなくなったか）

いつごろ授業がわからなくなったかについて、世帯別にみると、小学生では、「小学1・2年生のころ」と回答した割合は、全体では7.9%であったのに対し、ひとり親世帯では9.2%と高くなっています。また、県調査（4.5%）と比較して高くなっています。



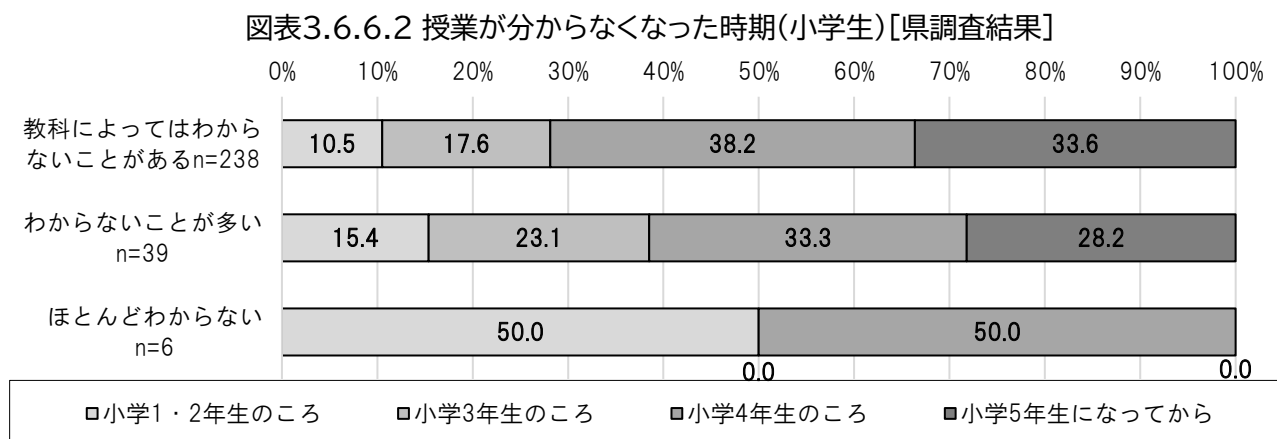
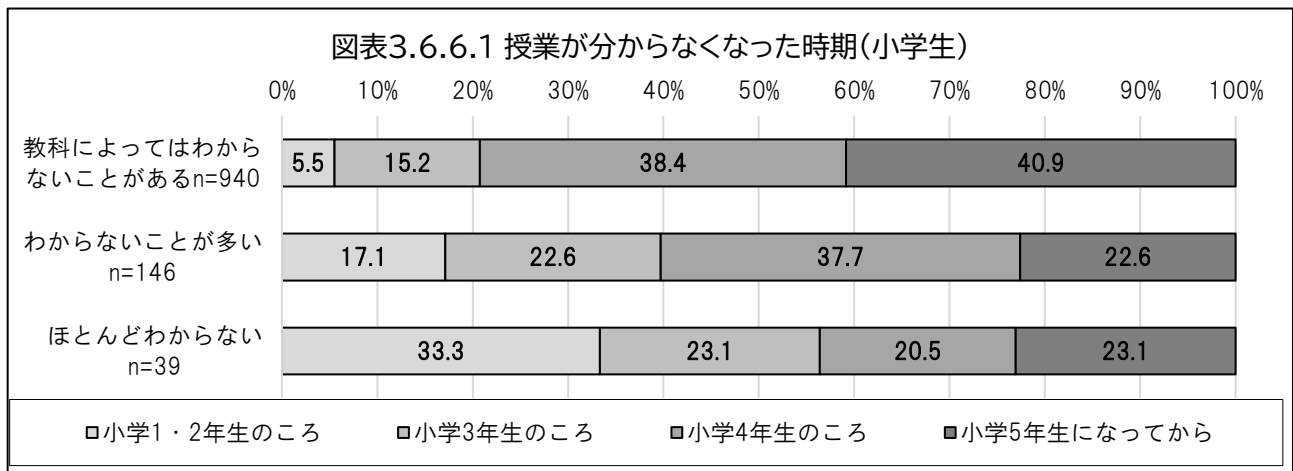
(5) 世帯別・中学生（問 6. いろいろ授業がわからなくなったか）

いろいろ授業がわからなくなったかについて、世帯別にみると、中学生では、「小学生のころ」と回答した割合（「小学1・2年生のころ」「小学3・4年生のころ」「小学5・6年生のころ」の合計）は、全体では27.3%であったのに対し、ひとり親世帯では31.9%と高くなっています。また、県調査(38.6%)と比較して低くなっています。



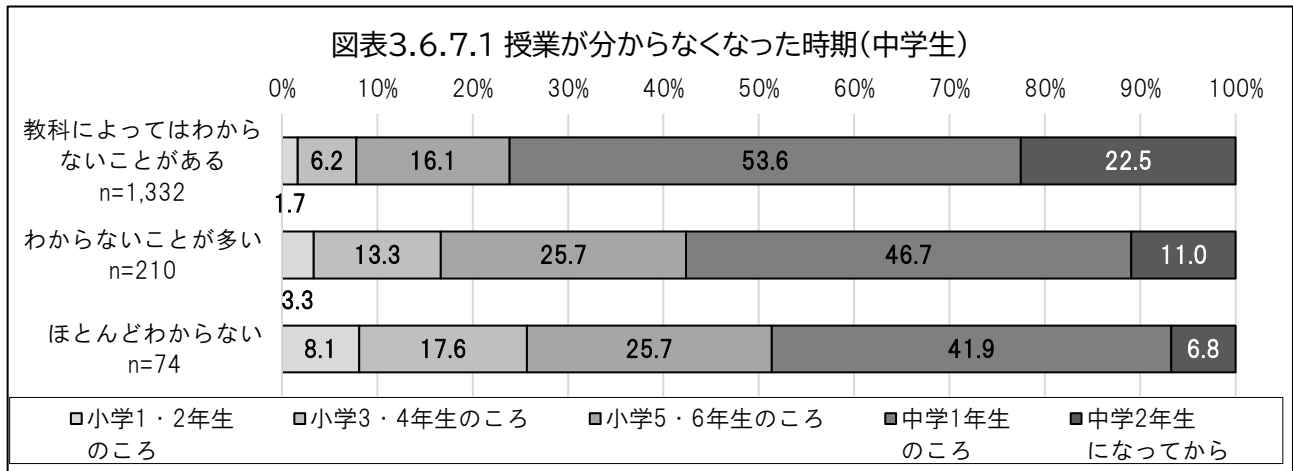
(6)理解度別・小学生（問 6. izzoo授業が分からなくなったか）

izzoo授業がわからなくなったかについて、理解度別にみると、小学生では、「教科書によってはわからないことがある」と回答した場合には「小学5年生になってから」が40.9%、「小学4年生のころ」が38.4%と高く、「わからないことが多い」と回答した場合には「小学4年生のころ」が37.7%と最も高くなっています。また、「ほとんどわからない」と回答した場合には、「小学1・2年生のころ」が33.3%と最も高くなっています。

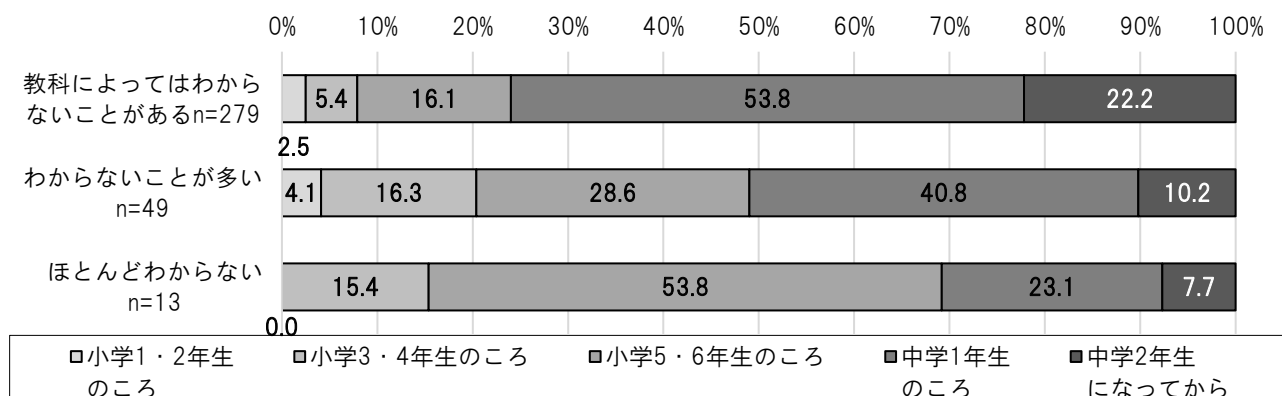


(7)理解度別・中学生（問 6. いろいろ授業が分からなくなったか）

いろいろ授業がわからなくなったかについて、理解度別にみると、中学生では、「教科書によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答したいずれの場合も、「中学1年生のころ」が最も高くなっています。

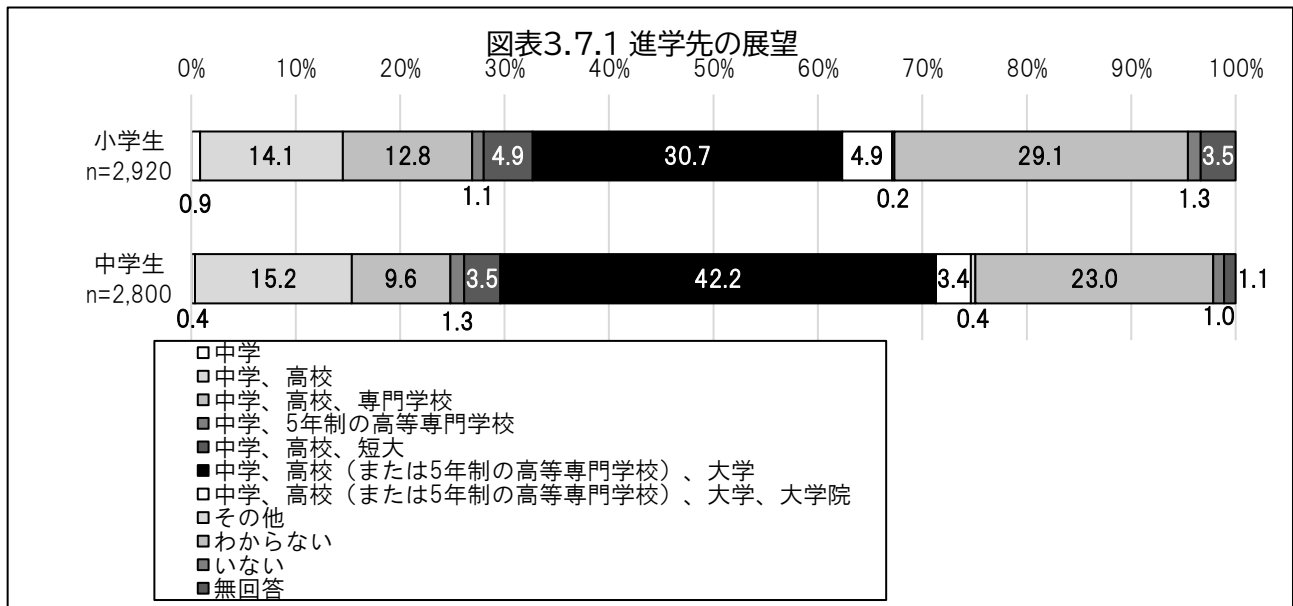


図表3.6.7.2 授業が分からなくなった時期(中学生)[県調査結果]



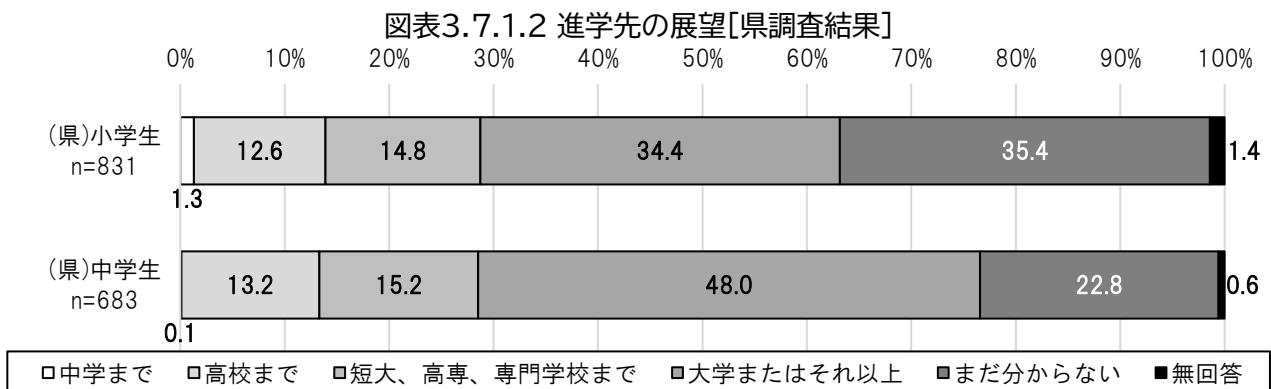
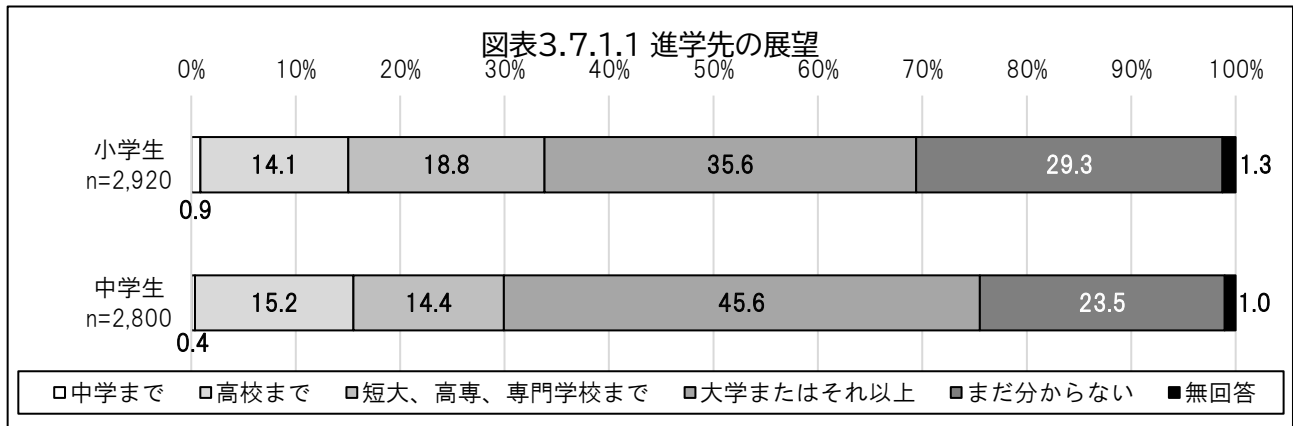
問7. あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。

進学先の展望について、小学生・中学生ともに「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が30.7%、42.2%と最も高く、次いで「わからない」が29.1%、23.0%、「中学、高校」が14.1%、15.2%となっています。



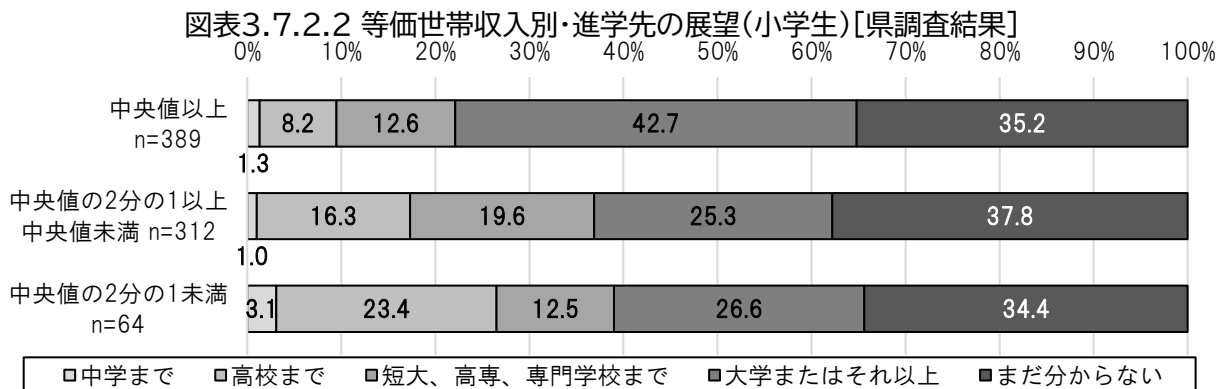
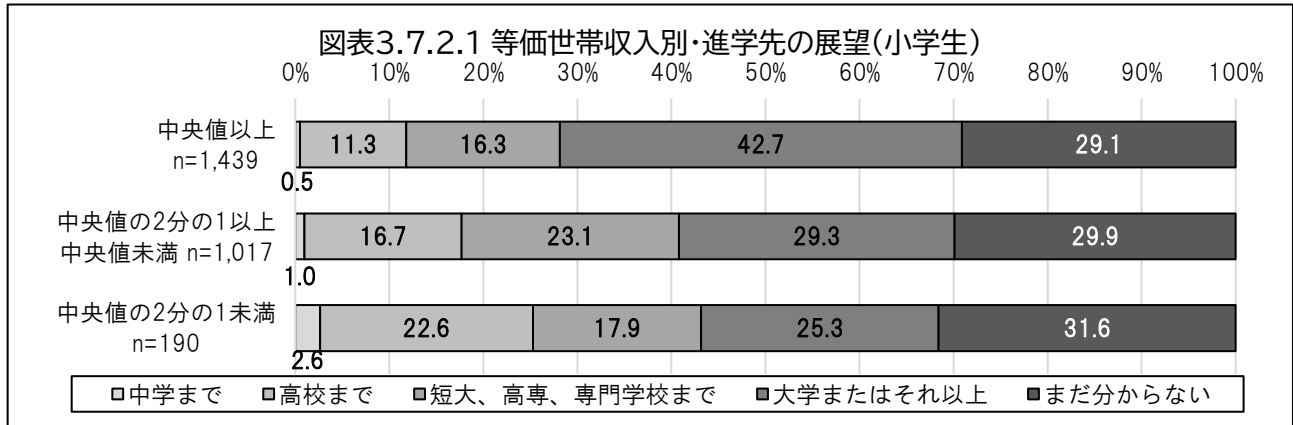
(1) 全体

進学先の展望について、進学したいと思う教育段階を「大学またはそれ以上」と回答した割合は、小学生が35.6%で、県調査（34.4%）と同程度、中学生が45.6%で、県調査（48.0%）と比較してやや低くなっています。



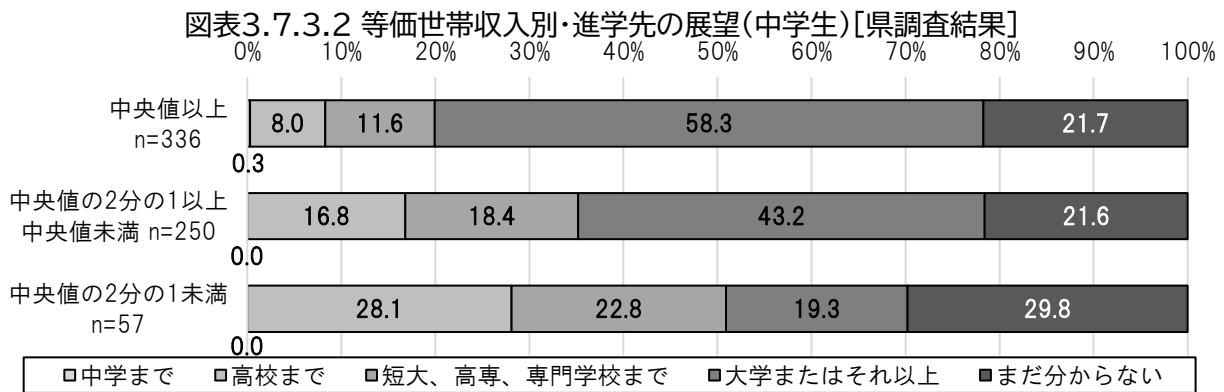
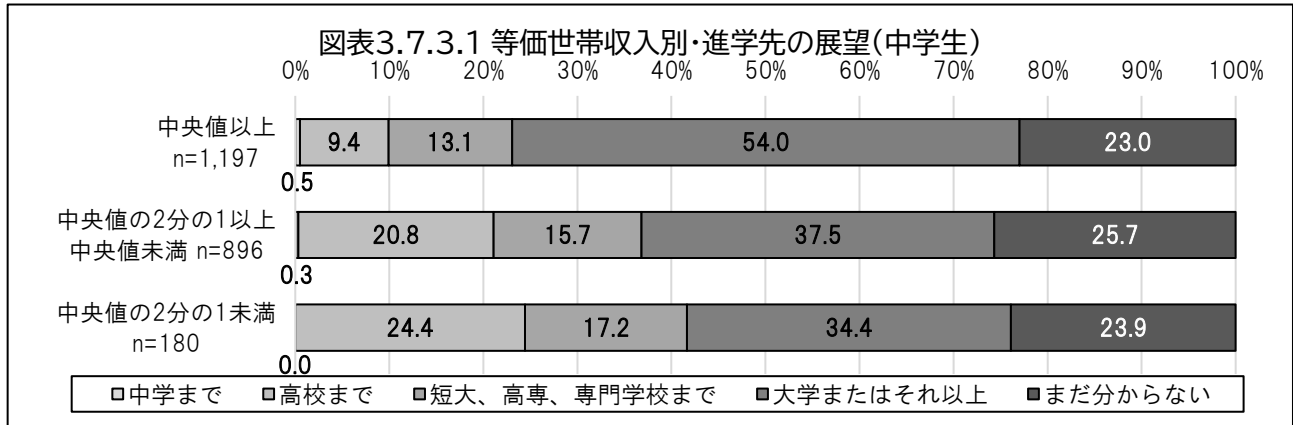
(2) 等価世帯収入別・小学生（問 7. 希望の進学先）

進学先の展望について、等価世帯収入別にみると、小学生では、進学したいと思う教育段階を「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では 35.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の 2 分の 1 未満）」では 25.3%と低くなっています。また、県調査（26.6%）と同程度となっています。



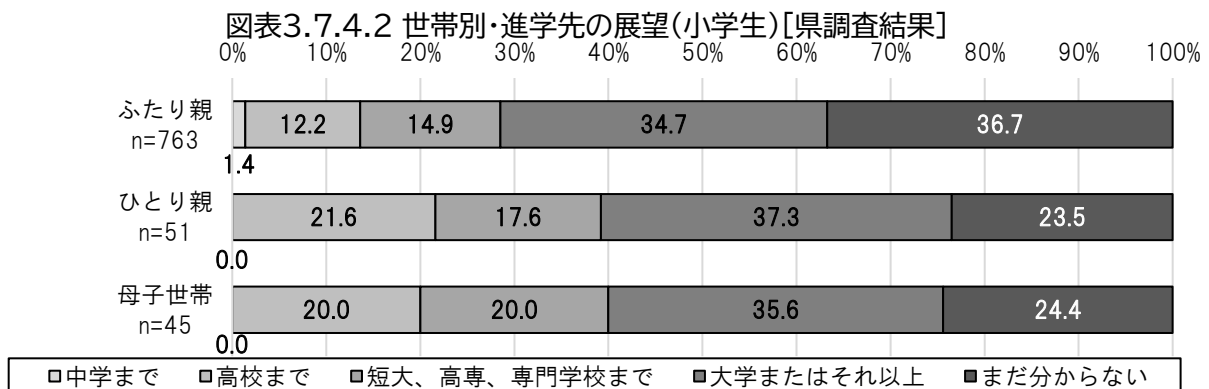
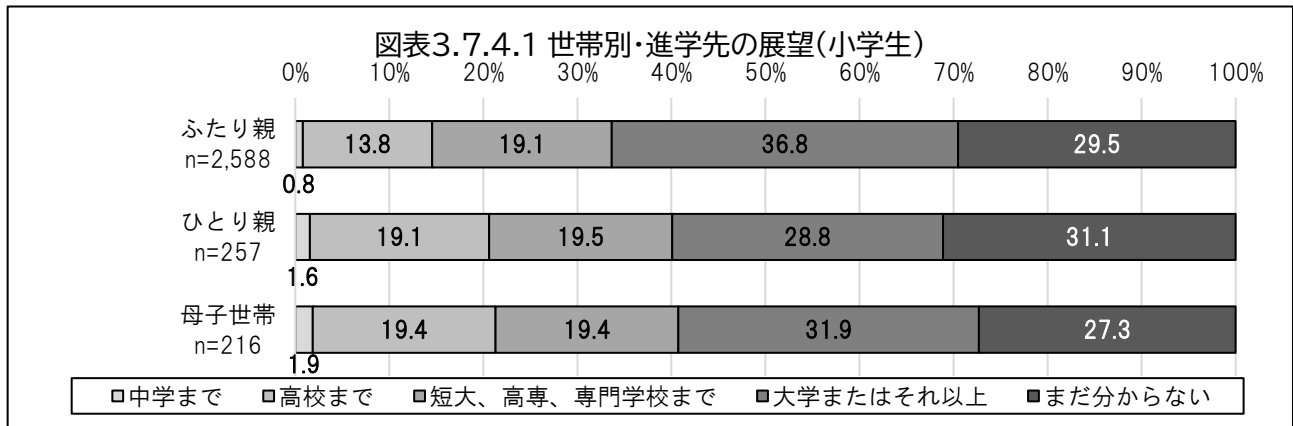
(3) 等価世帯収入別・中学生（問 7. 希望の進学先）

進学先の展望について、等価世帯収入別にみると、中学生では、進学したいと思う教育段階を「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では 45.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では 34.4%と低くなっています。また、県調査（19.3%）と比較して高くなっています。



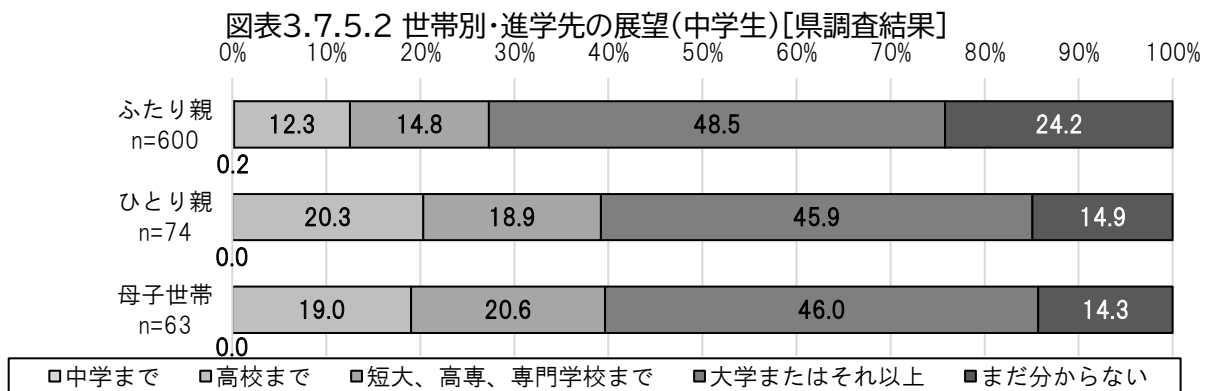
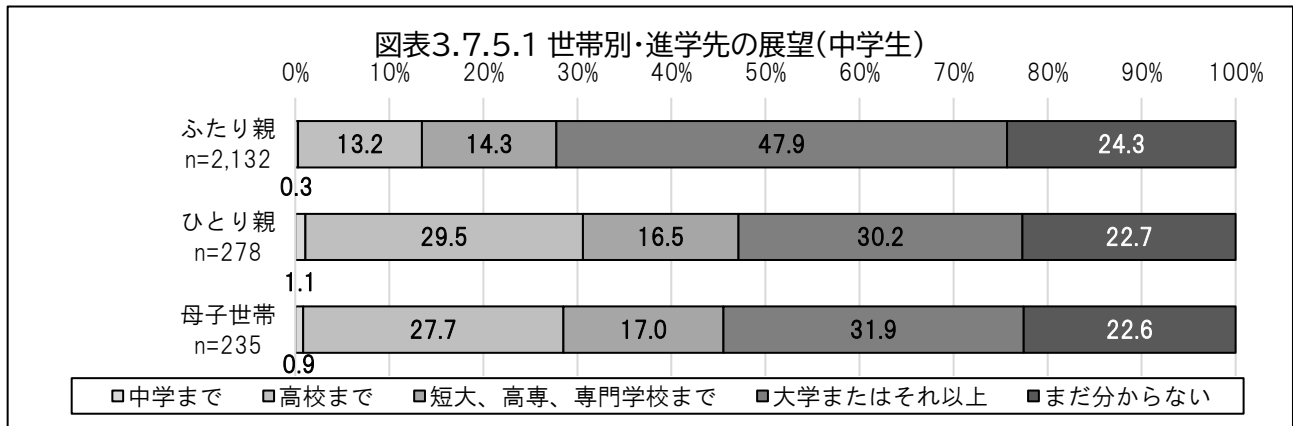
(4) 世帯別・小学生（問 7. 希望の進学先）

進学先の展望について、世帯別にみると、小学生では、進学したいと思う教育段階を「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では 35.6%であったのに対し、ひとり親世帯では 28.8%と低くなっています。また、県調査（37.3%）と比較して低くなっています。



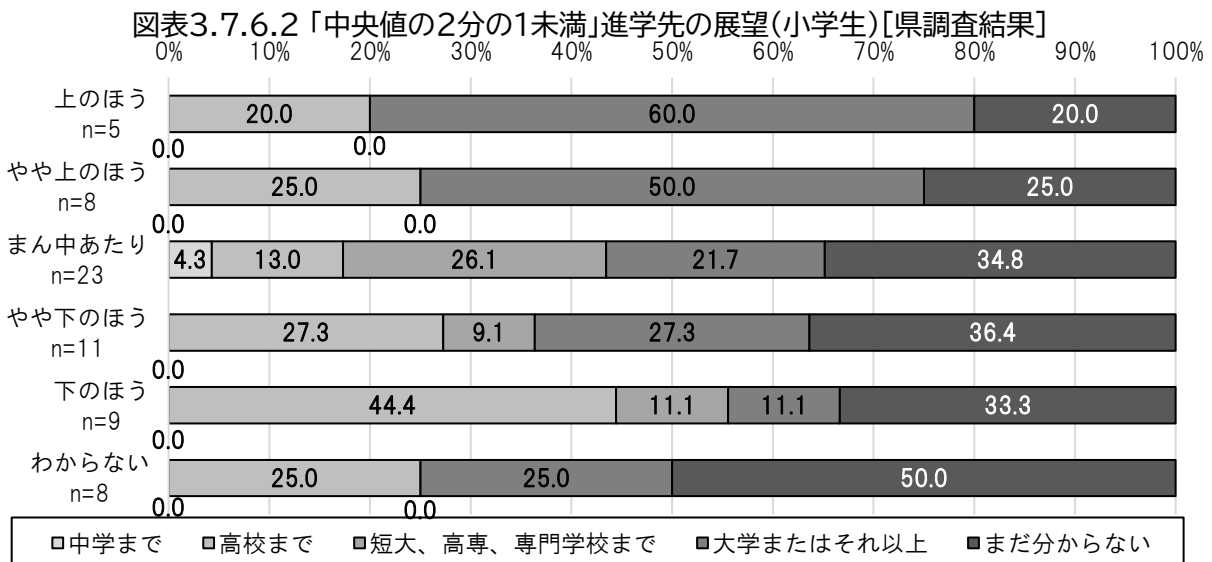
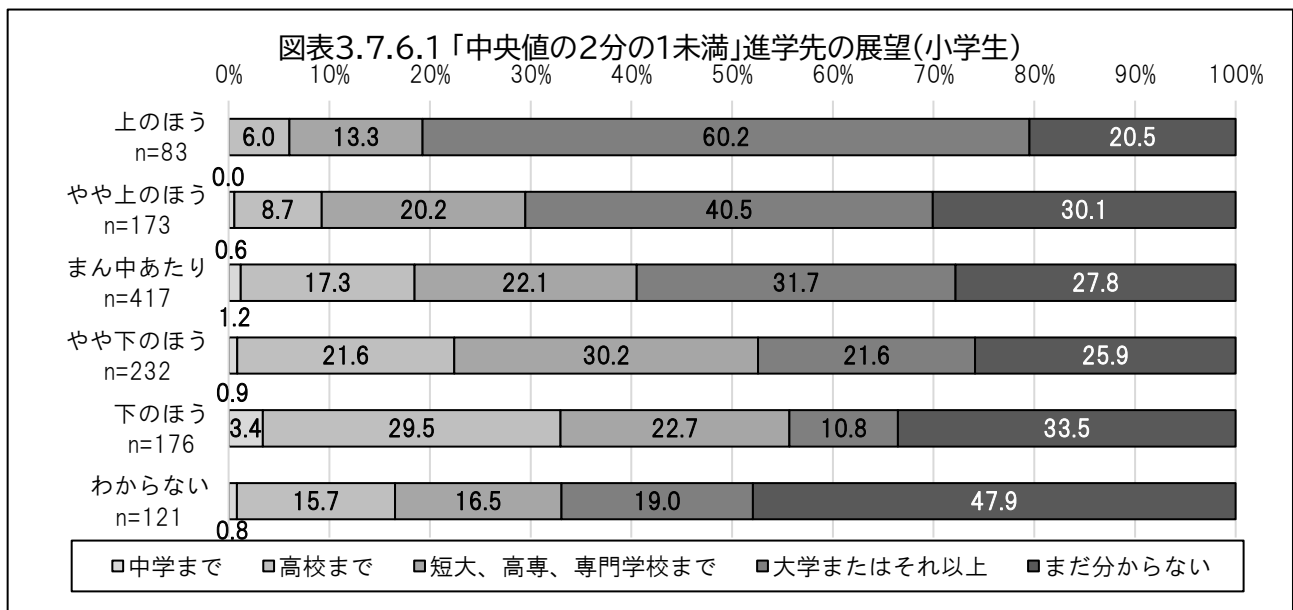
(5) 世帯別・中学生（問7.希望の進学先）

進学先の展望について、世帯別にみると、中学生では、進学したいと思う教育段階を「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では45.6%であったのに対し、ひとり親世帯では30.2%と低くなっています。また、県調査（45.9%）と比較して低くなっています。



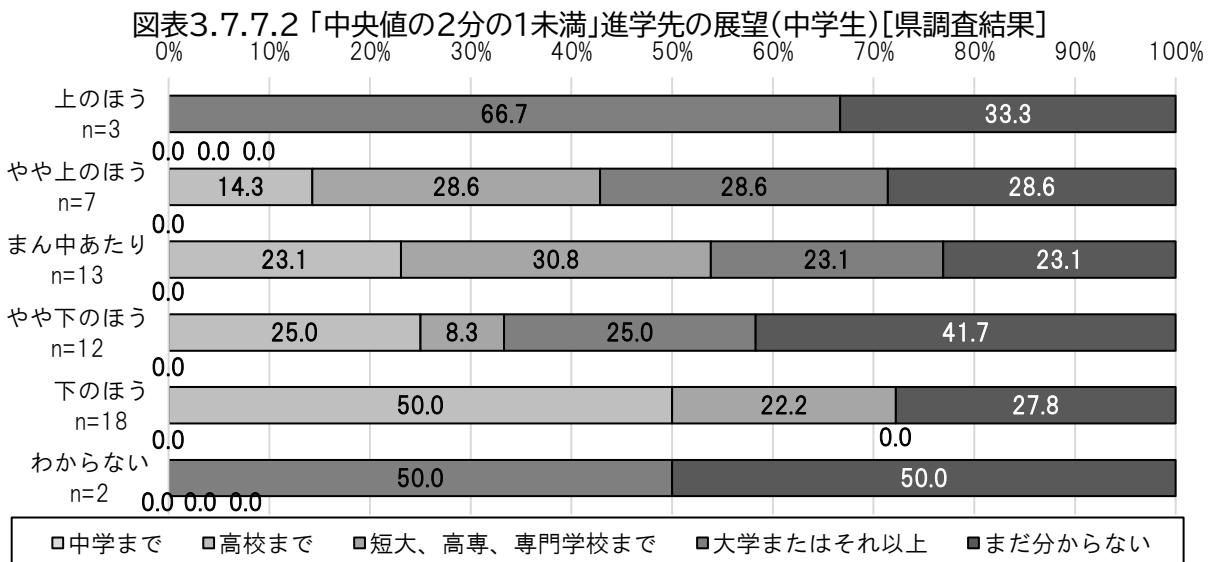
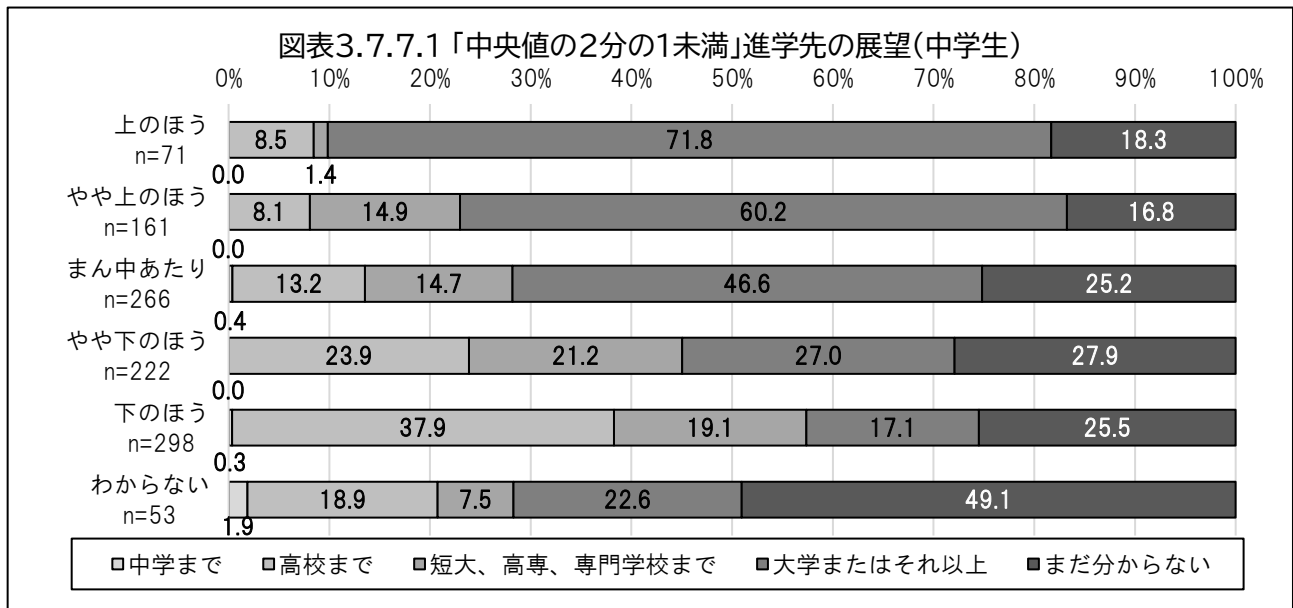
(6) 世帯収入「中央値の2分の1未満」成績状況別・小学生（問7.希望の進学先）

「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の進学先の展望について、成績状況別にみると、小学生では、成績が「上のほう」、「やや上のほう」、「まん中あたり」では、「大学またはそれ以上」がそれぞれ60.2%、40.5%、31.7%と最も高くなっています。また、「やや下のほう」では「短大、高専、専門学校まで」が30.2%と最も高く、「下のほう」と「わからない」では、「まだ分からない」がそれぞれ33.5%、47.9%と最も高くなっています。



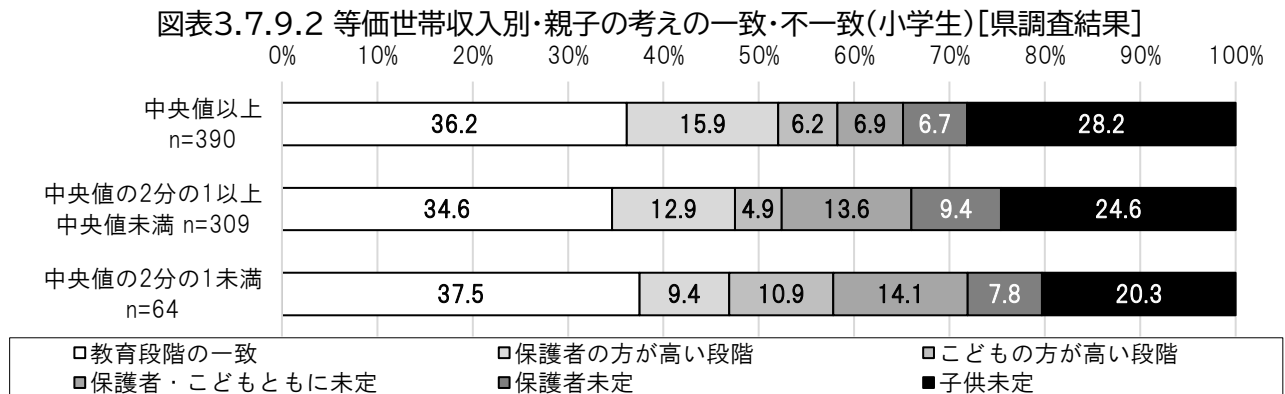
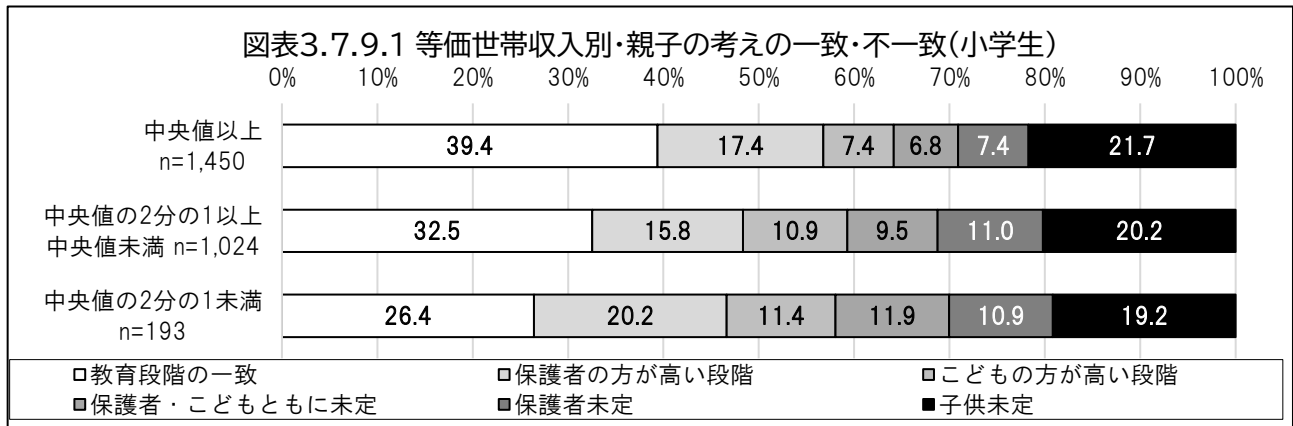
(7) 世帯収入「中央値の2分の1未満」成績状況別・中学生（問7.希望の進学先）

「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の進学先の展望について、成績状況別にみると、中学生では、成績が「上のほう」、「やや上のほう」、「まん中あたり」では「大学またはそれ以上」がそれぞれ71.8%、60.2%、46.6%と最も高くなっています。また、「やや下のほう」と「わからない」では「まだ分からない」が27.9%、49.1%とそれぞれ最も高く、「下のほう」では「高校まで」が37.9%と最も高くなっています。



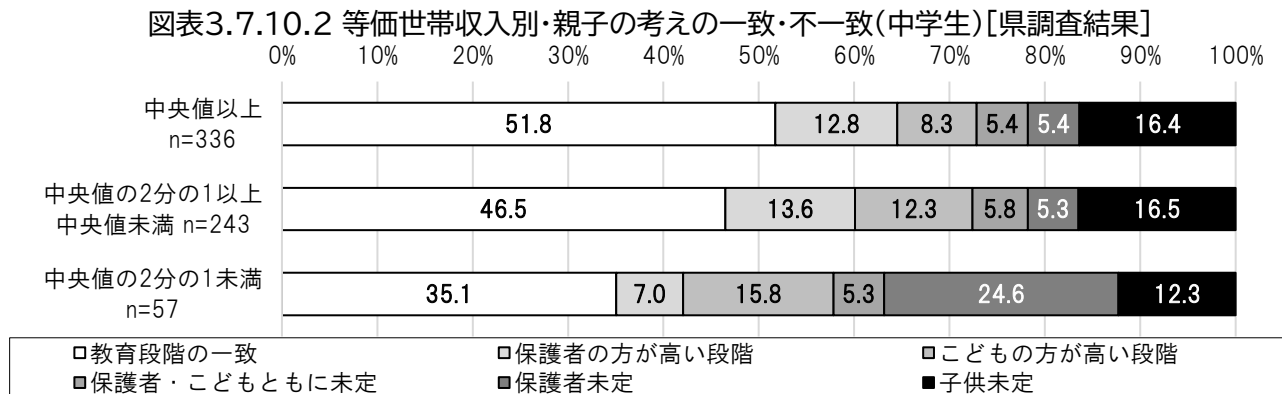
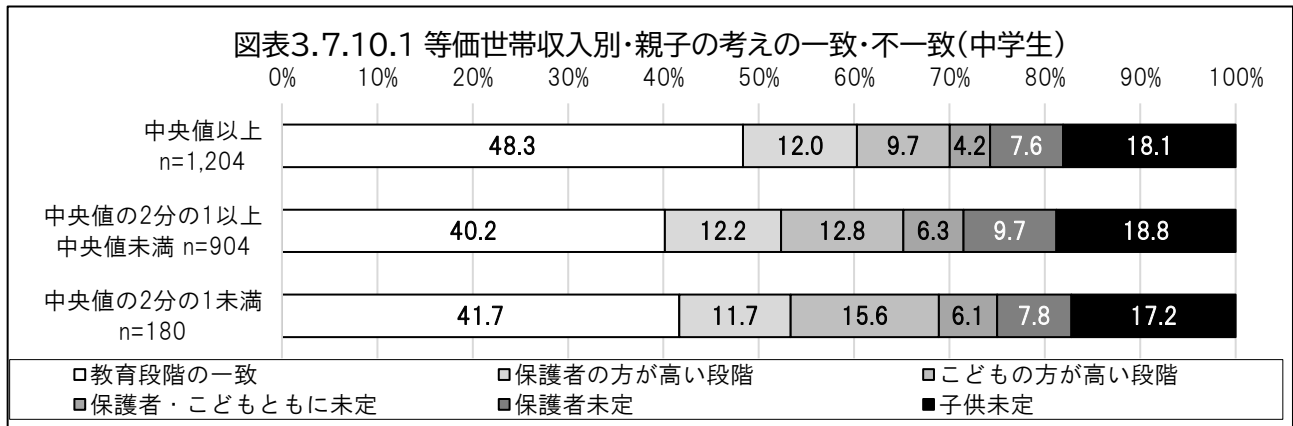
(9) 等価世帯収入別・保護者と子どもの将来像の一致・不一致・小学生（問7.希望の進学先）

保護者と子どもの将来像の一致・不一致について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「教育段階の一致」が、全体では35.8%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では26.4%と低くなっています。また、県調査（37.5%）と比較して低くなっています。



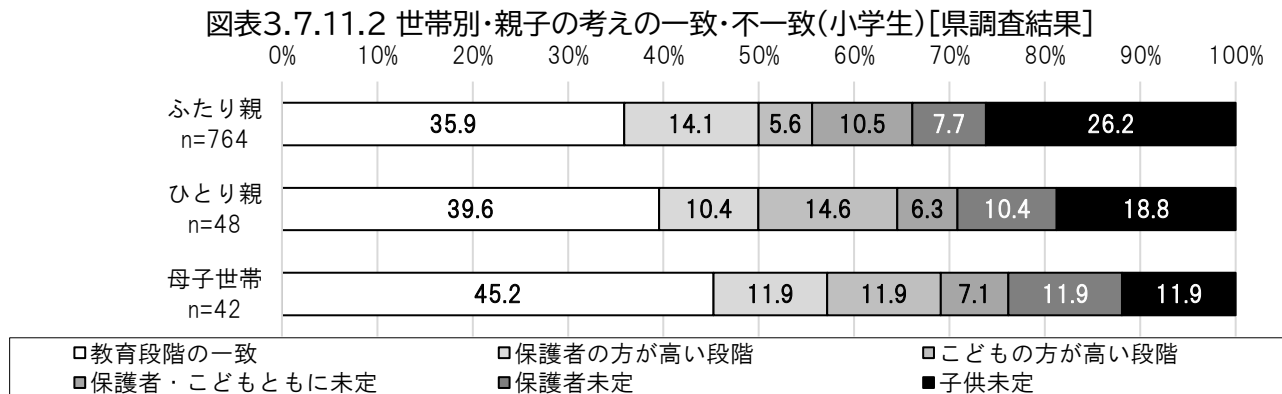
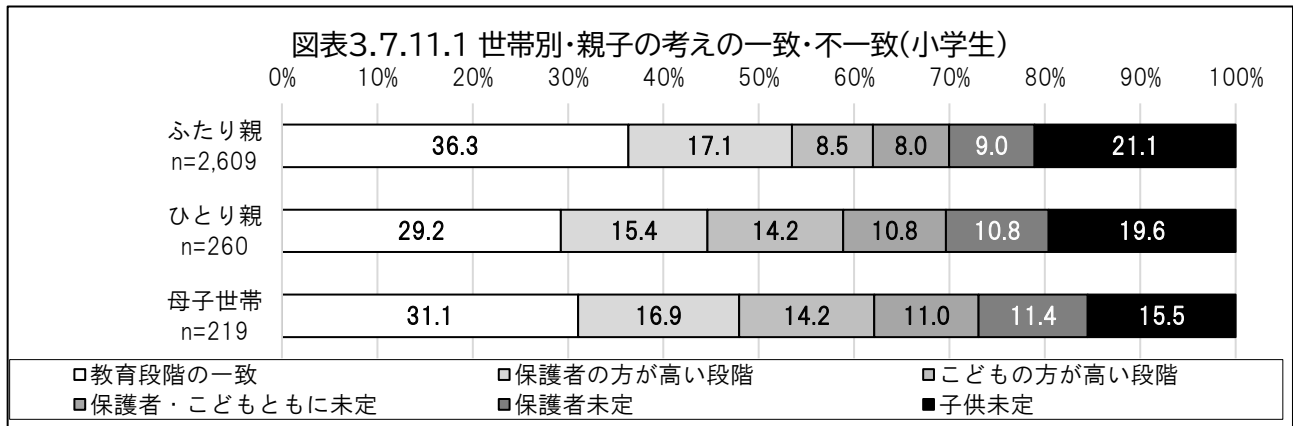
(10)等価世帯収入別・保護者と子どもの将来像の一致・不一致・中学生（問7.希望の進学先）

保護者と子どもの将来像の一致・不一致について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「教育段階の一致」が、全体では44.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では41.7%と低くなっています。また、県調査（35.1%）と比較して高くなっています。



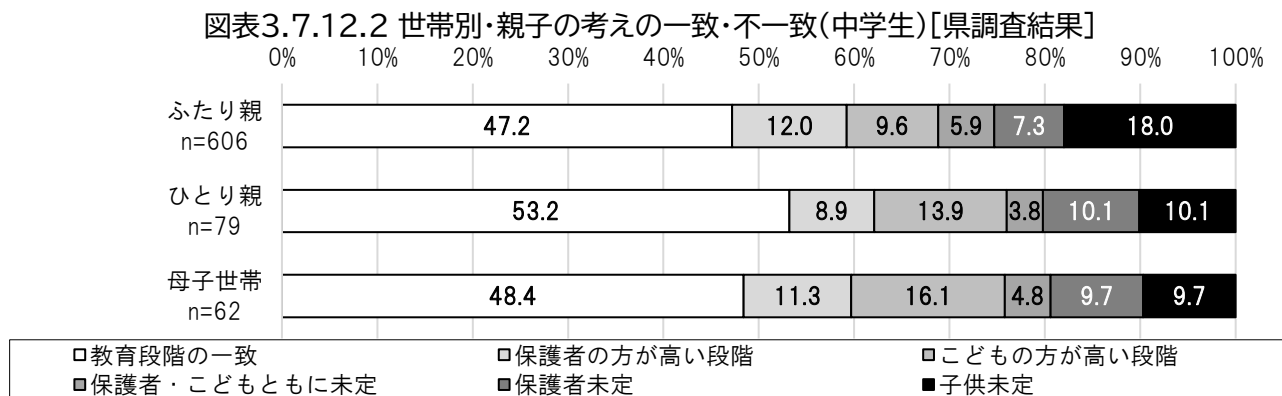
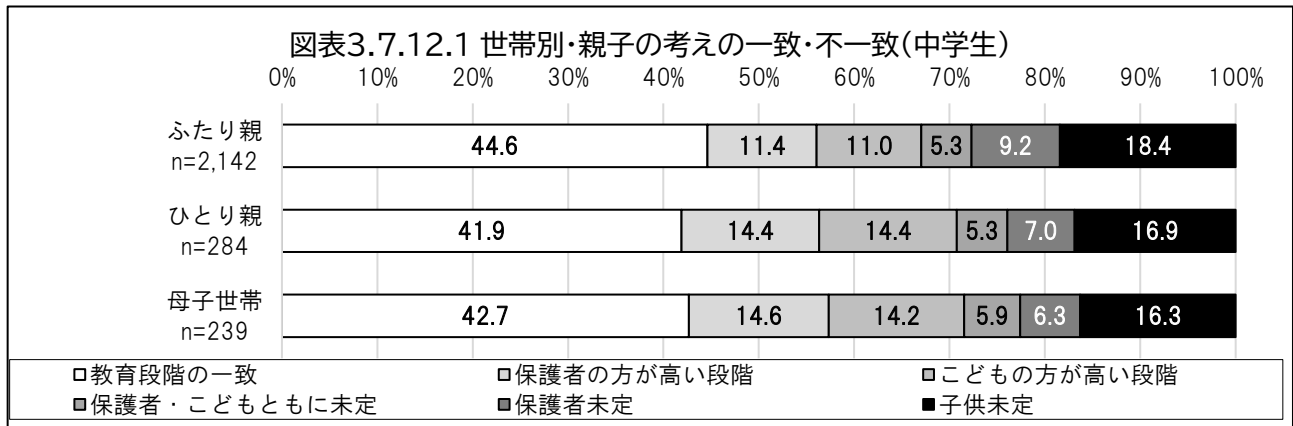
(11)世帯別・保護者と子どもの将来像の一致・不一致・小学生（問7.希望の進学先）

保護者と子どもの将来像の一致・不一致について、世帯別にみると、小学生では、「教育段階の一致」が、全体では35.8%であったのに対し、ひとり親世帯では29.2%と低くなっています。また、県調査（39.6%）と比較して低くなっています。



(12)世帯別・保護者と子どもの将来像の一致・不一致・中学生（問7.希望の進学先）

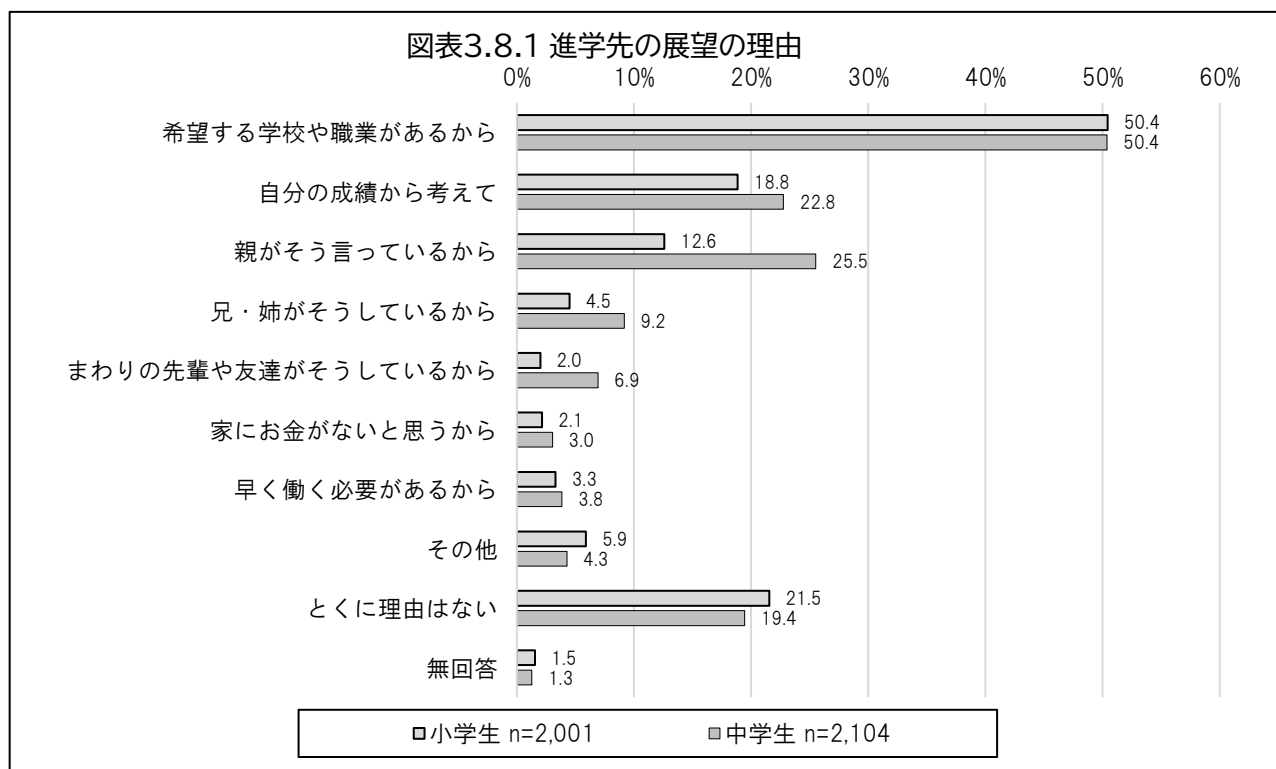
保護者と子どもの将来像の一致・不一致について、世帯別にみると、中学生では、「教育段階の一致」が、全体では44.1%であったのに対し、ひとり親世帯では41.9%と低くなっています。また、県調査（53.2%）と比較して低くなっています。



問8. 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

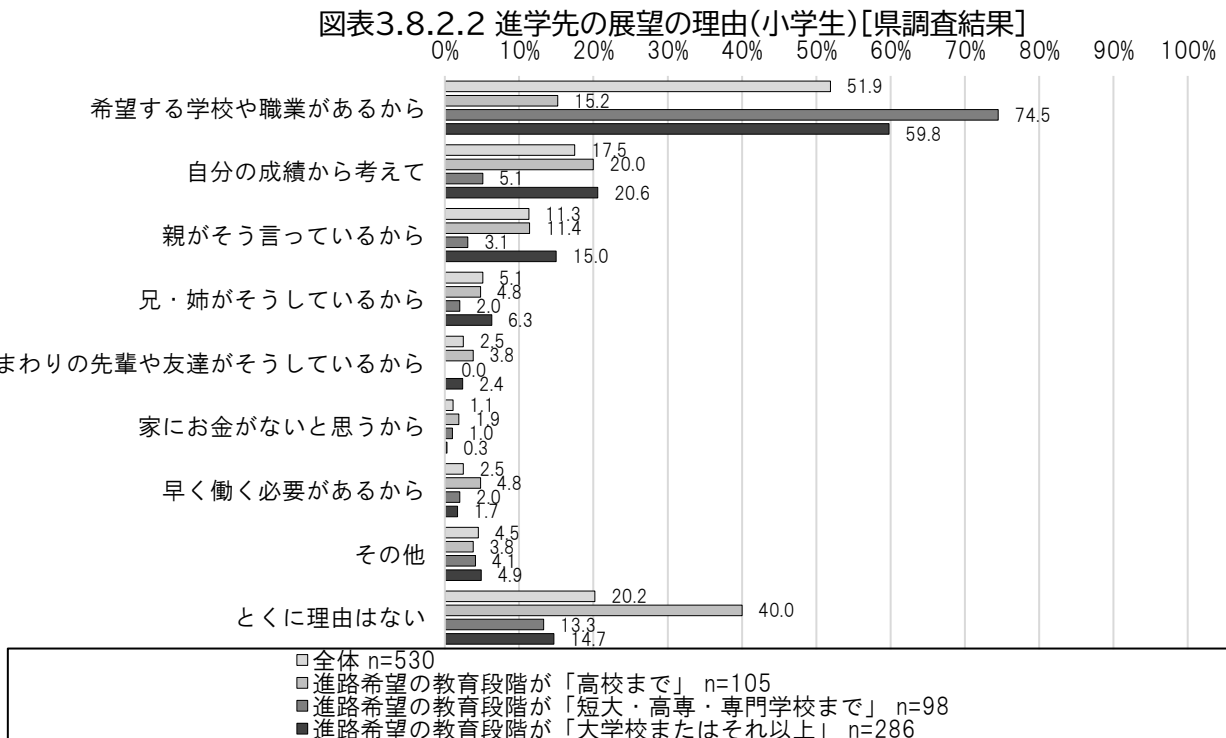
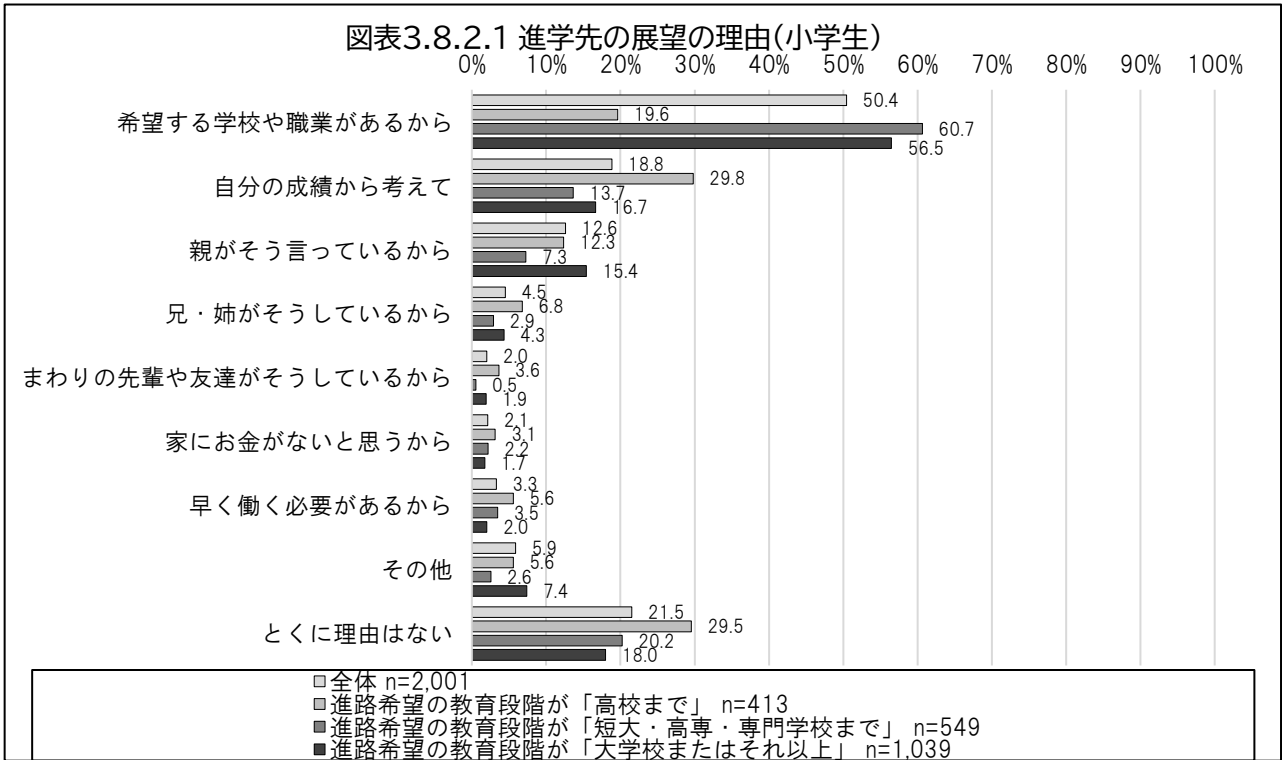
(1) 全体

進学先を希望する理由について、小学生・中学生ともに「希望する学校や職業があるから」が50.4%と最も高く、次いで、小学生は「とくに理由はない」が21.5%、「自分の成績から考えて」が18.8%、中学生では「親がそう言っているから」が25.5%、「自分の成績から考えて」が22.8%となっています。



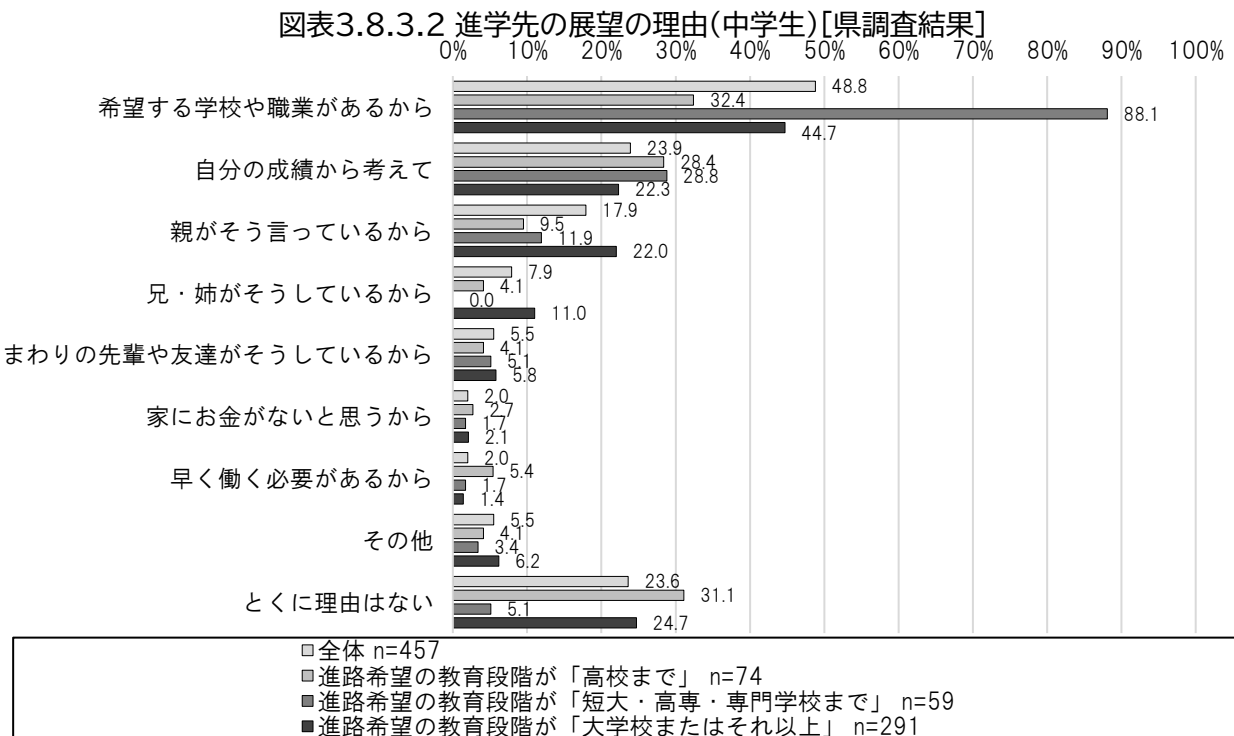
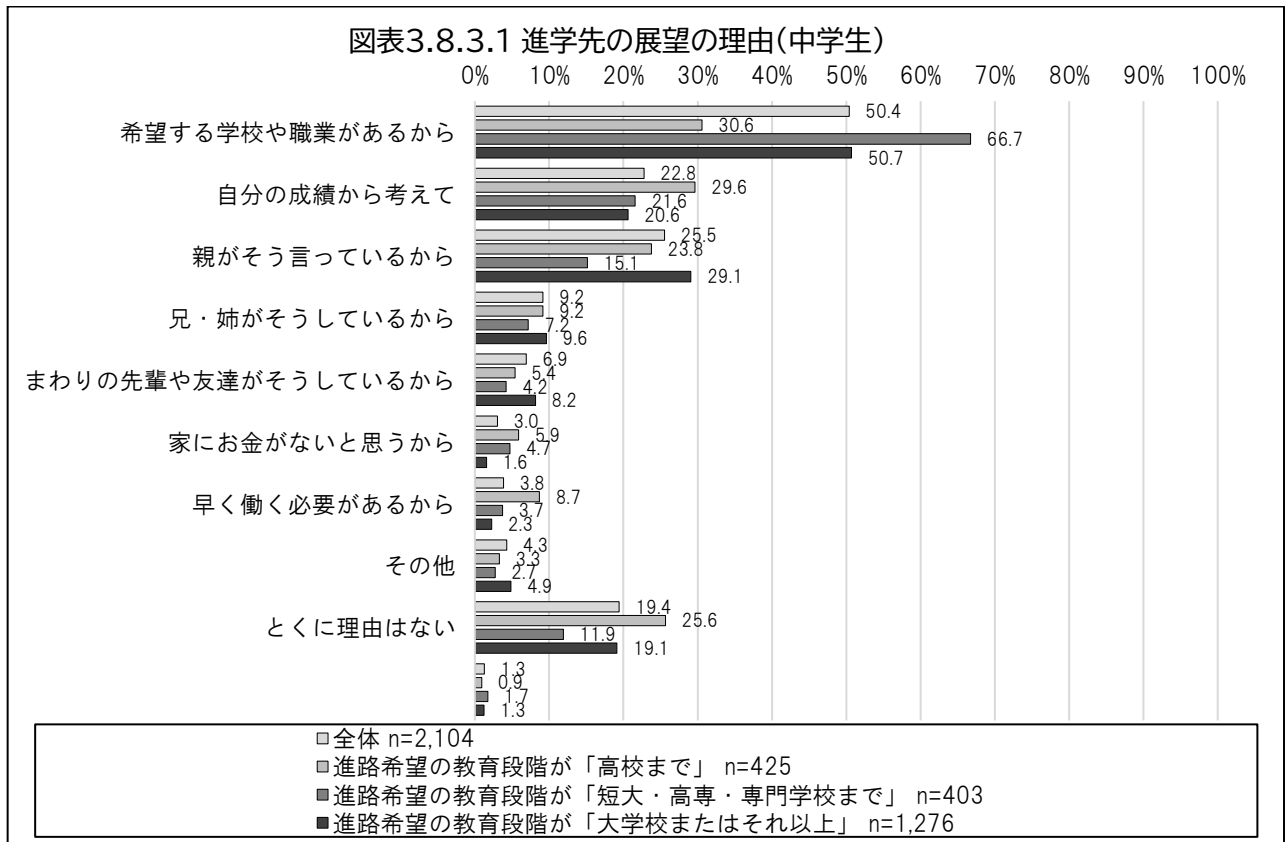
(2)進学希望別・小学生（問 8. 進学先を希望する理由）

進学先を希望する理由について、進学希望別にみると、小学生では、「進路希望の教育段階が「短大・高専・専門学校まで」、「進路希望の教育段階が「大学またはそれ以上」では、「希望する学校や職業があるから」がそれぞれ60.7%、56.5%、「進路希望の教育段階が「高校まで」では「自分の成績から考えて」が29.8%とそれぞれ最も高くなっています。



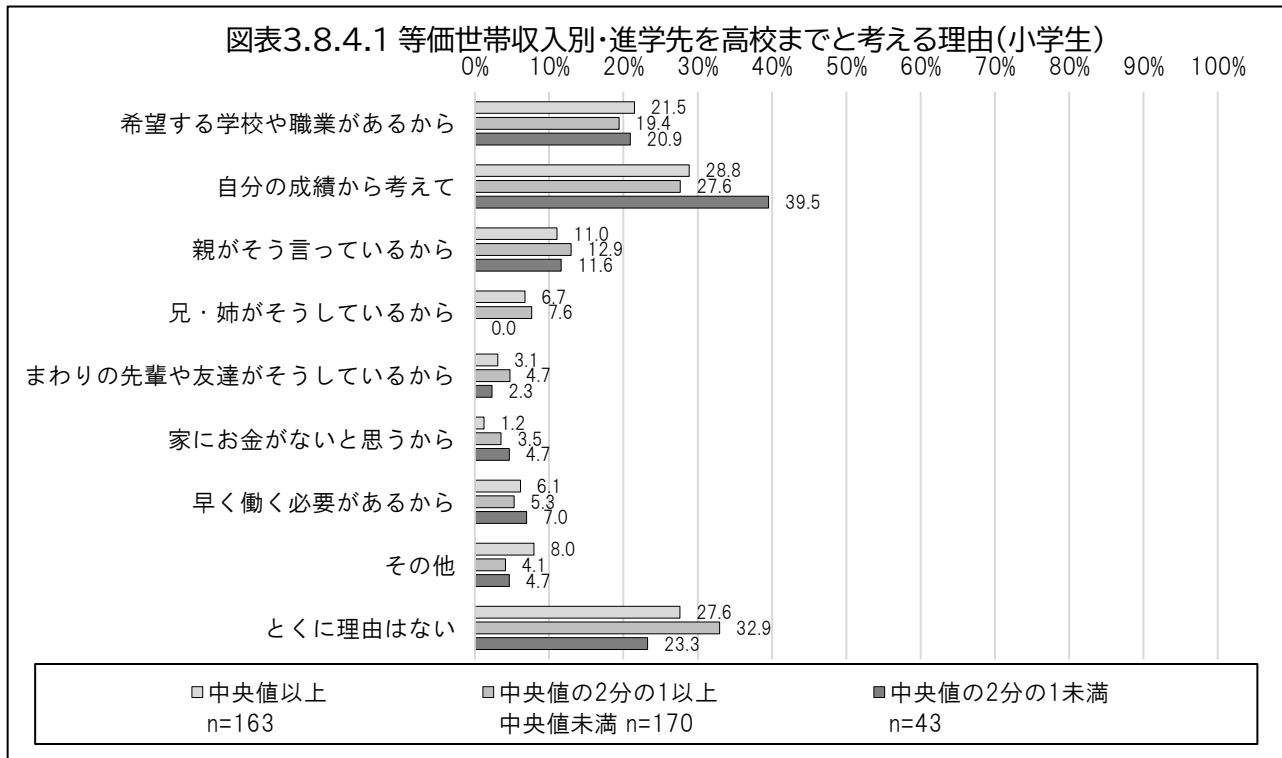
(3)進学希望別・中学生（問 8. 進学先を希望する理由）

進学先を希望する理由について、進学希望別にみると、中学生では、すべての進学希望先において「希望する学校や職業があるから」が30.6%、66.7%、50.7%とそれぞれ最も高くなっています。

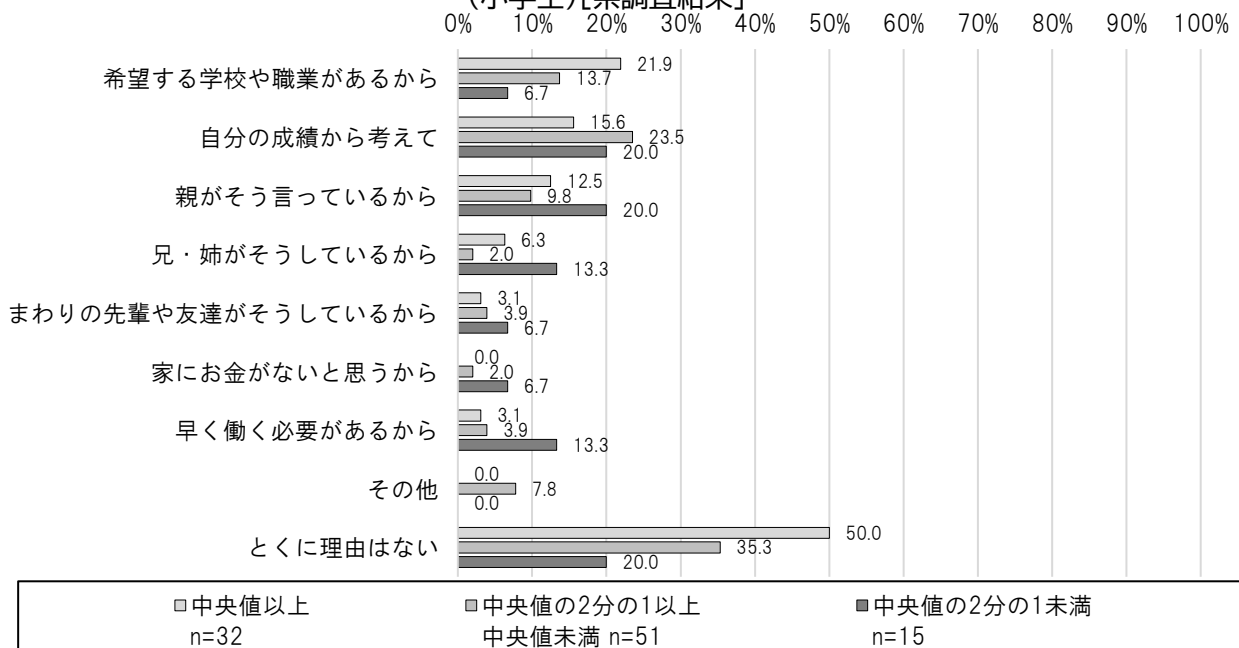


(4)等価世帯収入別・進学先を「高校まで」と考える理由・小学生（問 8. 進学先を希望する理由）

進学先を「高校まで」と考える理由は、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の 2 分の 1 未満）」の小学生では「自分の成績から考えて」が 39.5%と最も高く、他の世帯と比較して特に高くなっています。また、「家にお金がないと思うから」が 4.7%、「早く働く必要があるから」が 7.0%で、他の世帯と比較して高くなっています。

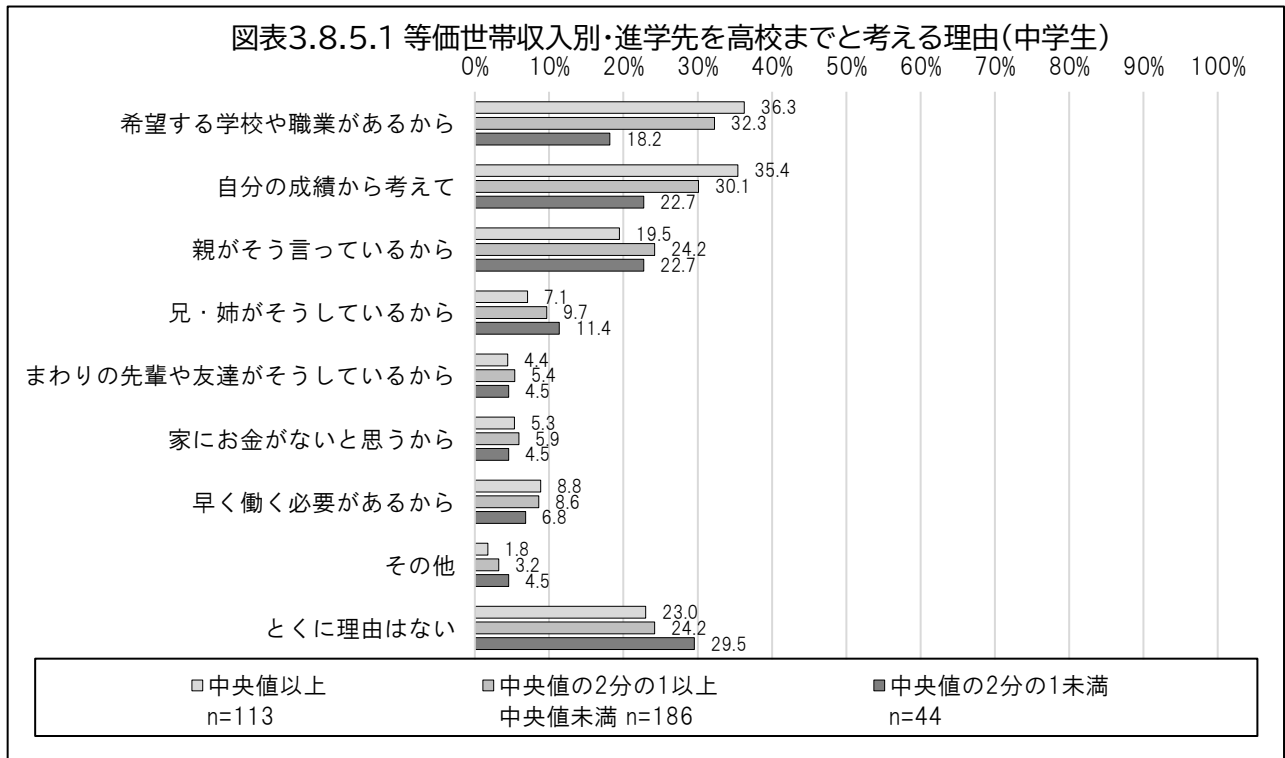


図表3.8.4.2 等価世帯収入別・進学先を高校までと考える理由
(小学生)[県調査結果]

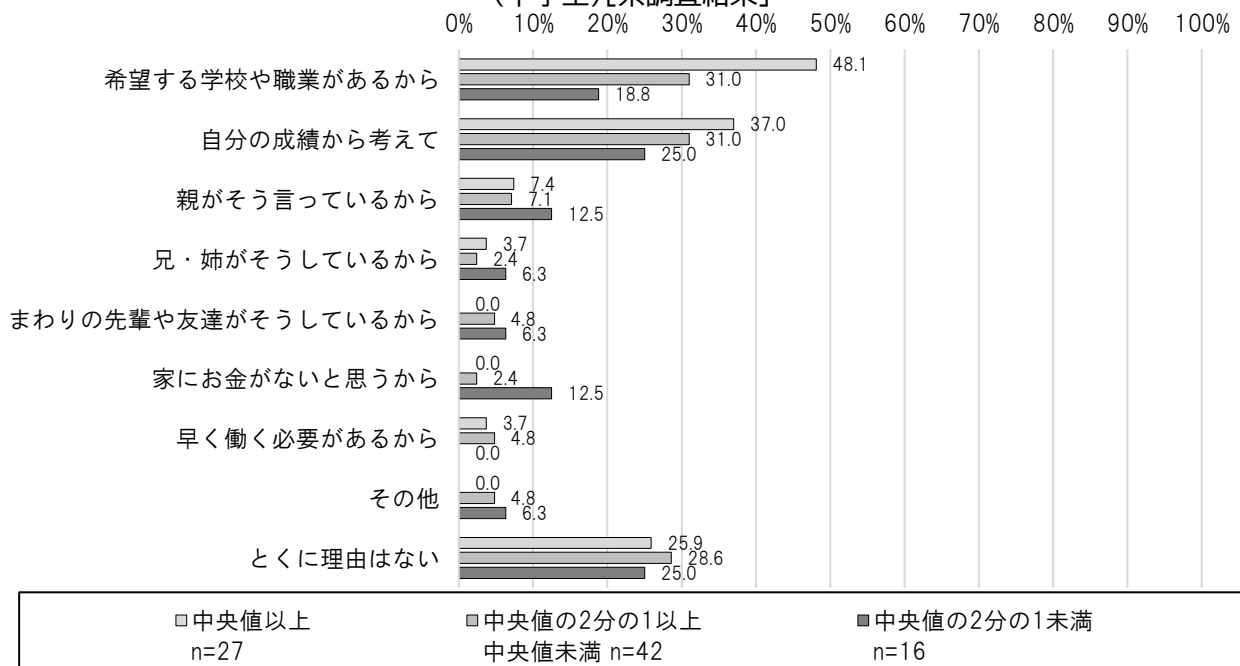


(5)等価世帯収入別・進学先を「高校まで」と考える理由・中学生（問 8. 進学先を希望する理由）

進学先を「高校まで」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の中学生では、「とくに理由はない」が29.5%と最も高く、他の世帯と比較して高くなっています。また、「兄・姉がそうしているから」が11.4%で、他の世帯と比較して高くなっています。

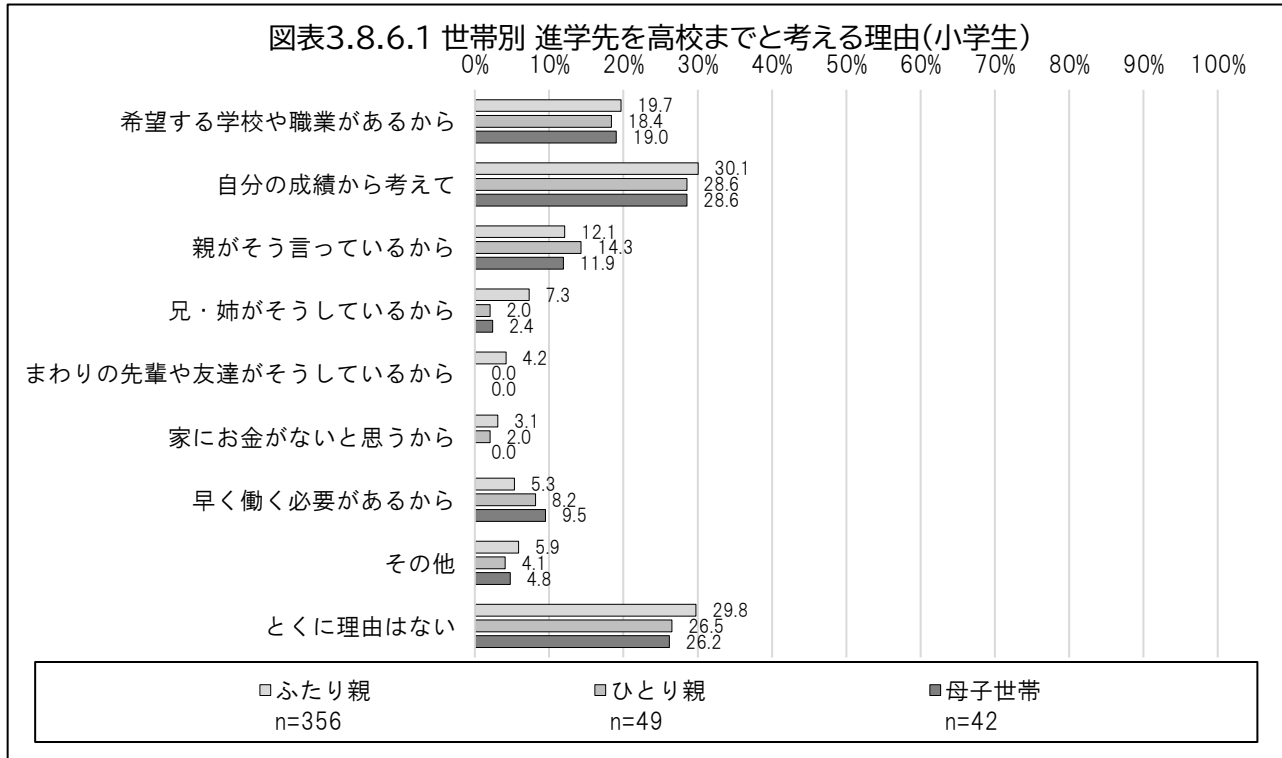


図表3.8.5.2 等価世帯収入別・進学先を高校までと考える理由 (中学生)[県調査結果]



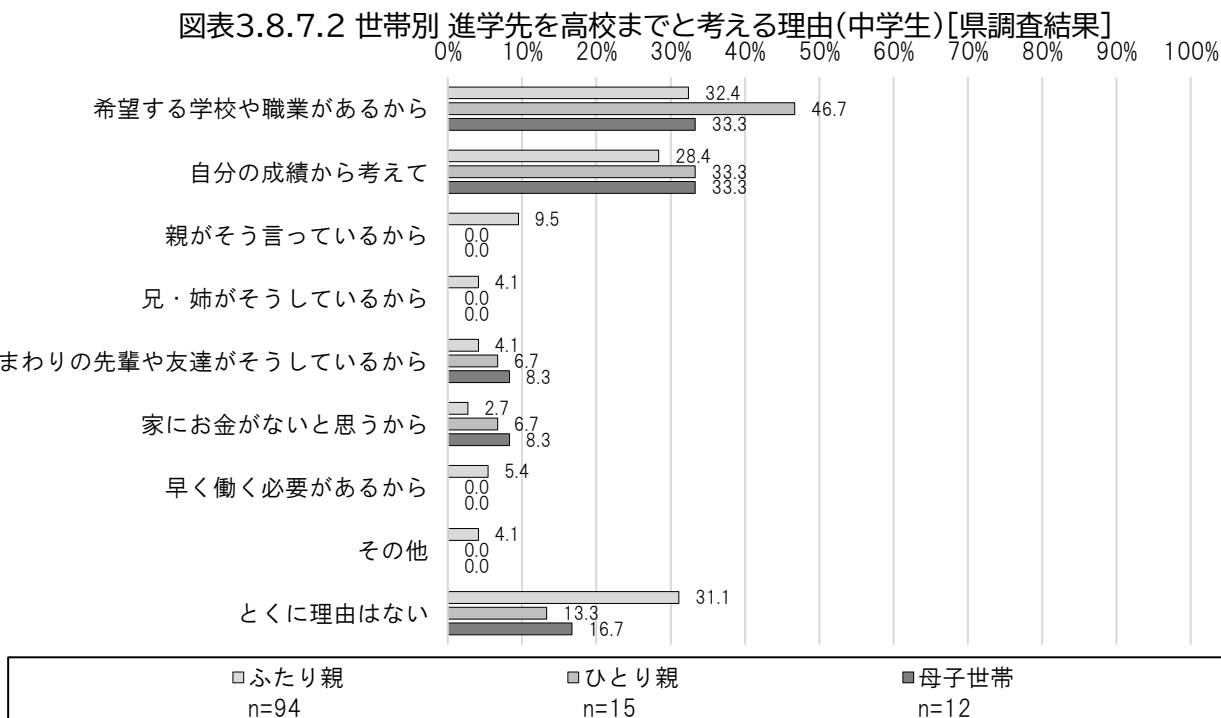
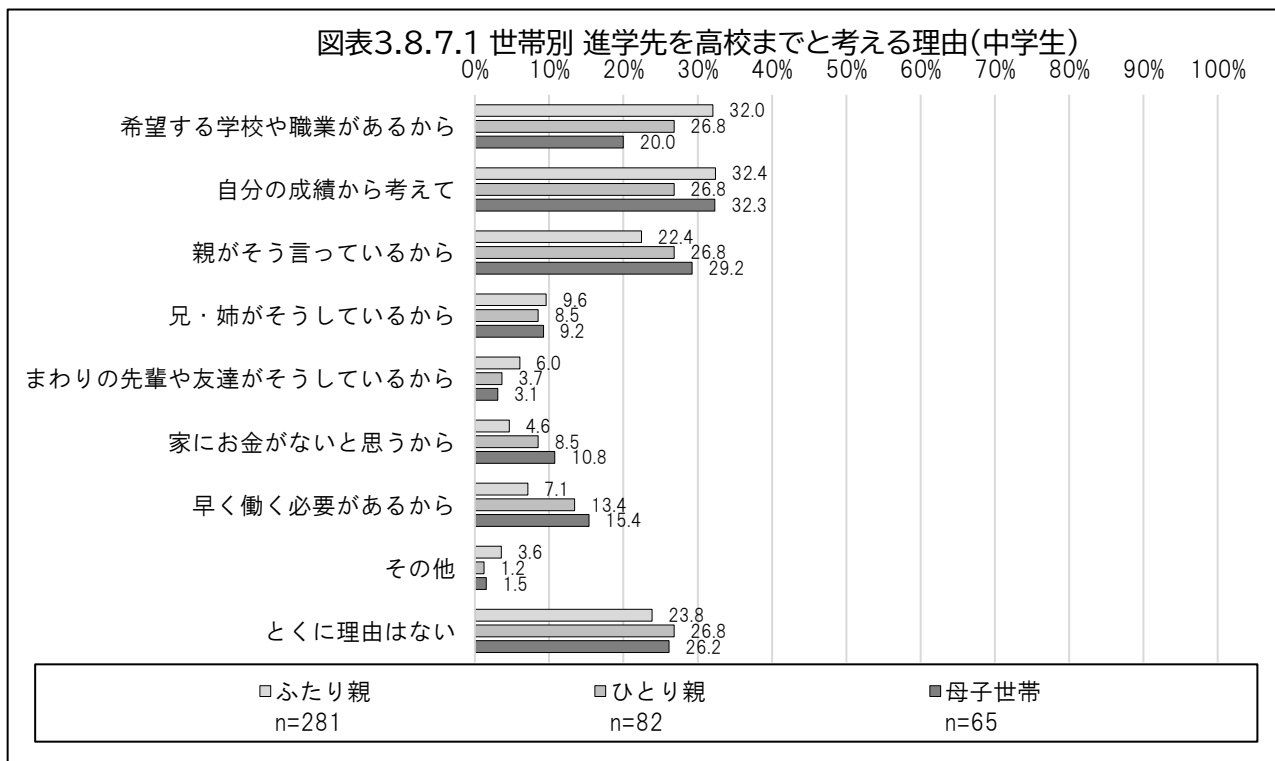
(6) 世帯別・進学先を「高校まで」と考える理由・小学生（問 8. 進学先を希望する理由）

進学先を「高校まで」と考える理由について、世帯別にみると、ひとり親世帯の小学生では「自分の成績から考えて」が28.6%と最も高く、次いで「とくに理由はない」が26.5%となっています。また、ひとり親世帯では、「親がそう言っているから」が14.3%、「早く働く必要があるから」が8.2%と、ふたり親世帯と比較してやや高くなっています。



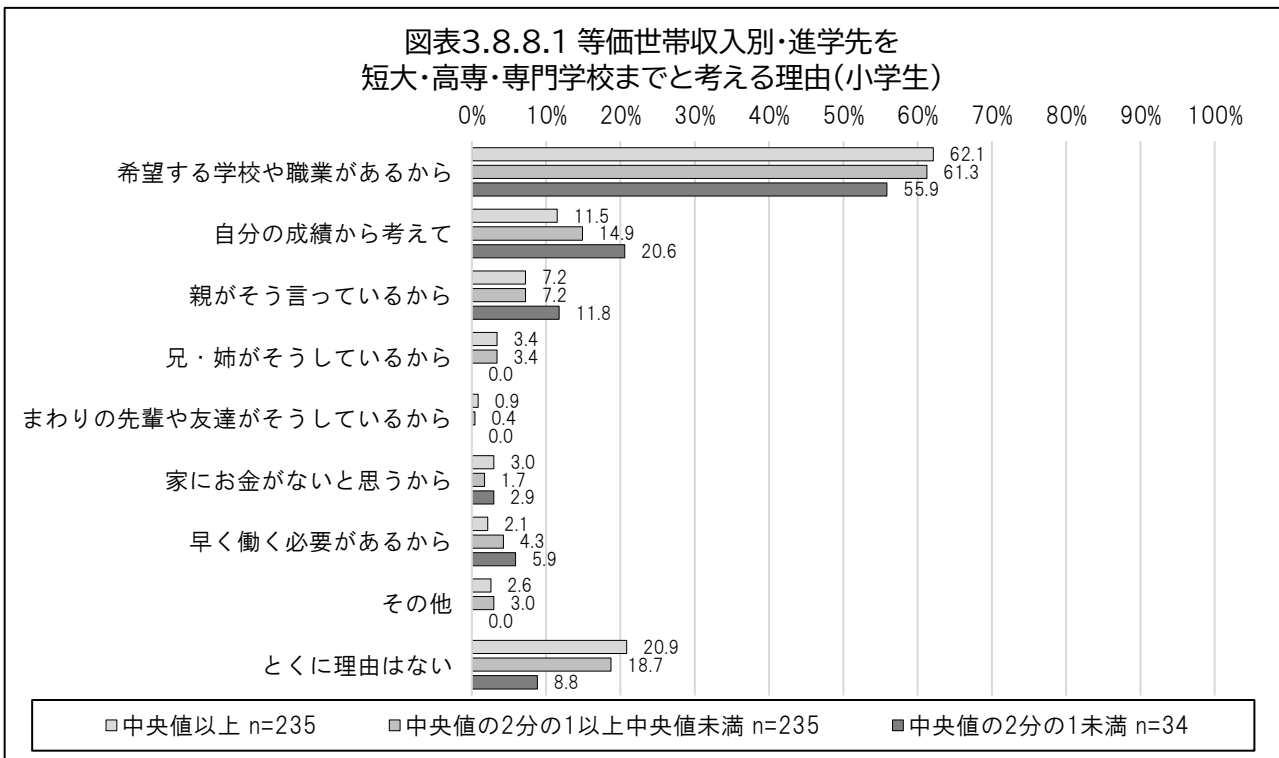
(7) 世帯別・進学先を「高校まで」と考える理由・中学生（問 8. 進学先を希望する理由）

進学先を「高校まで」と考える理由について、世帯別にみると、ひとり親世帯の中学生では「希望する学校や職業があるから」、「自分の成績から考えて」、「親がそう言っているから」、「とくに理由はない」が26.8%となっています。また、「早く働く必要があるから」が13.4%、「家にお金がないと思うから」が8.5%と、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

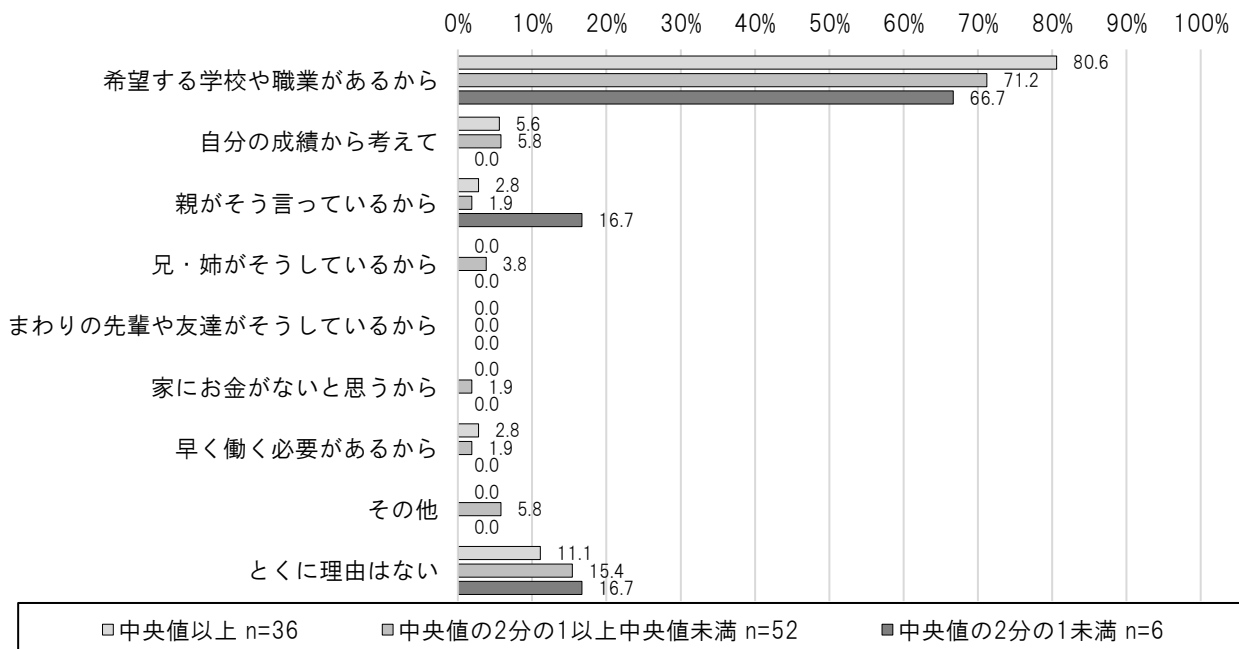


(8) 等価世帯収入別・進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由・小学生
(問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「希望する学校や職業があるから」が62.1%、61.3%、55.9%とそれぞれ最も高くなっています。

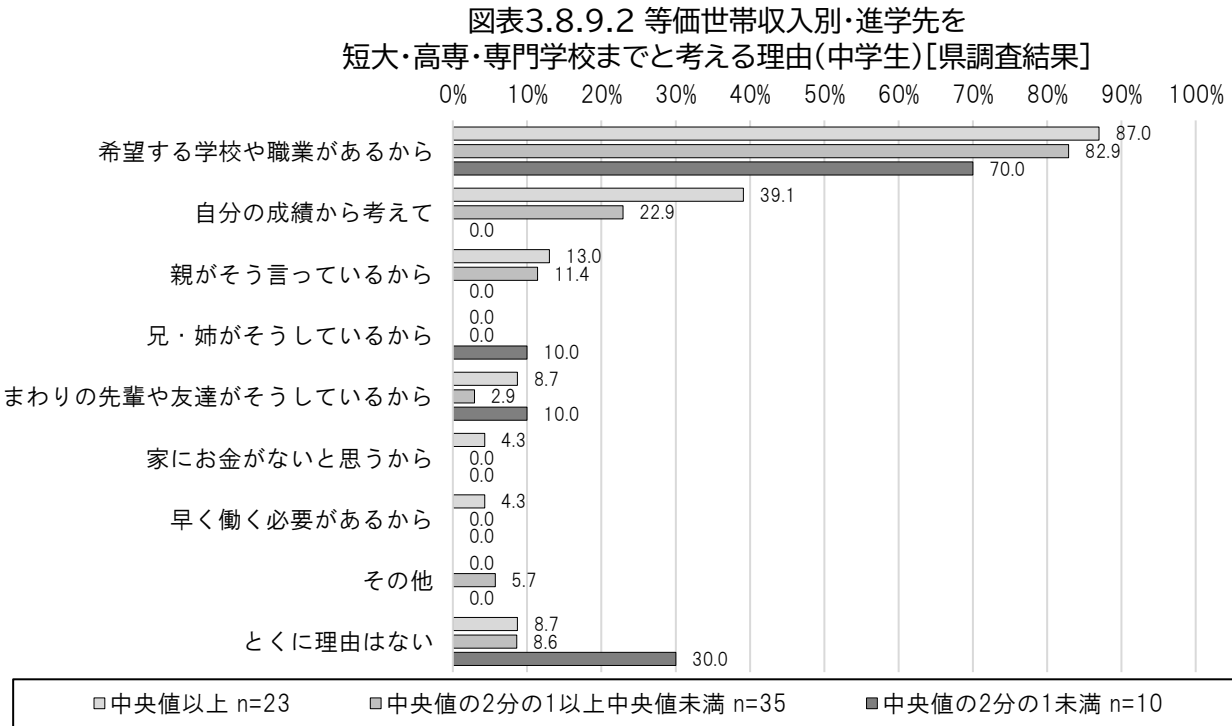
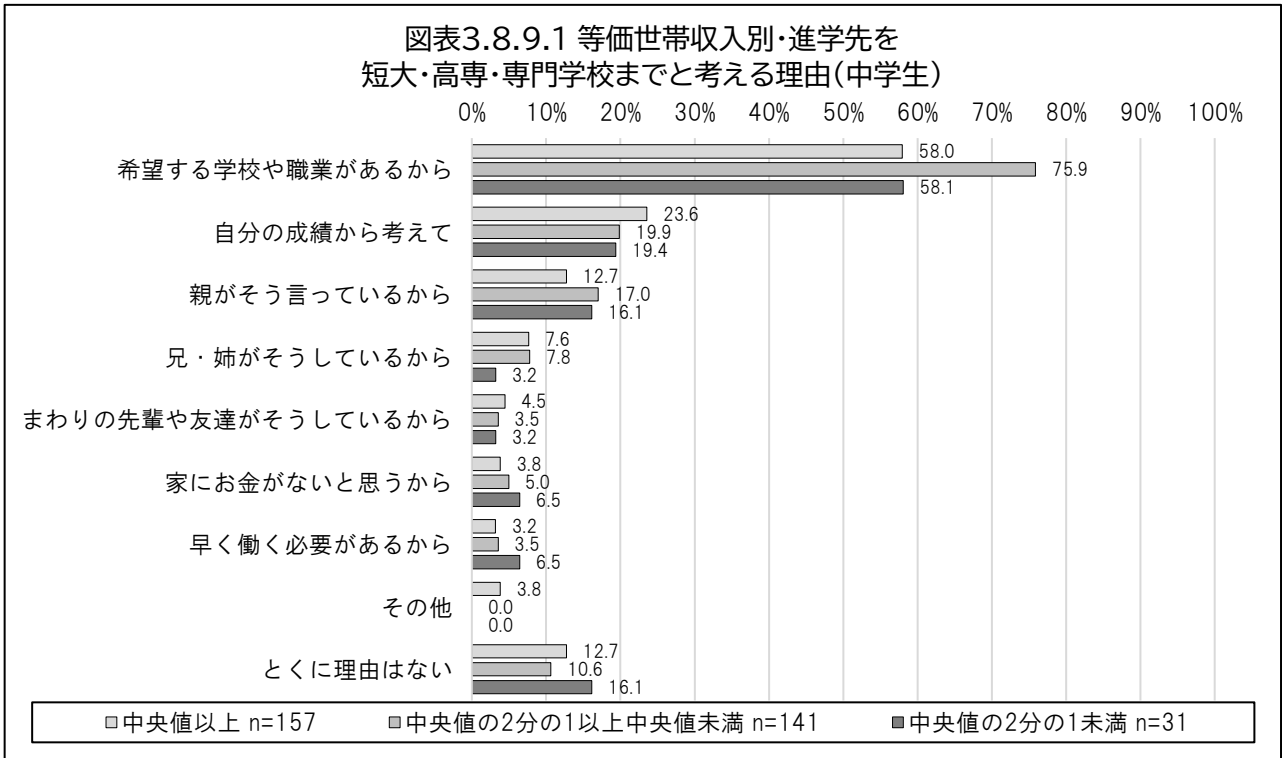


図表3.8.8.2 等価世帯収入別・進学先を短大・高専・専門学校までと考える理由(小学生)[県調査結果]



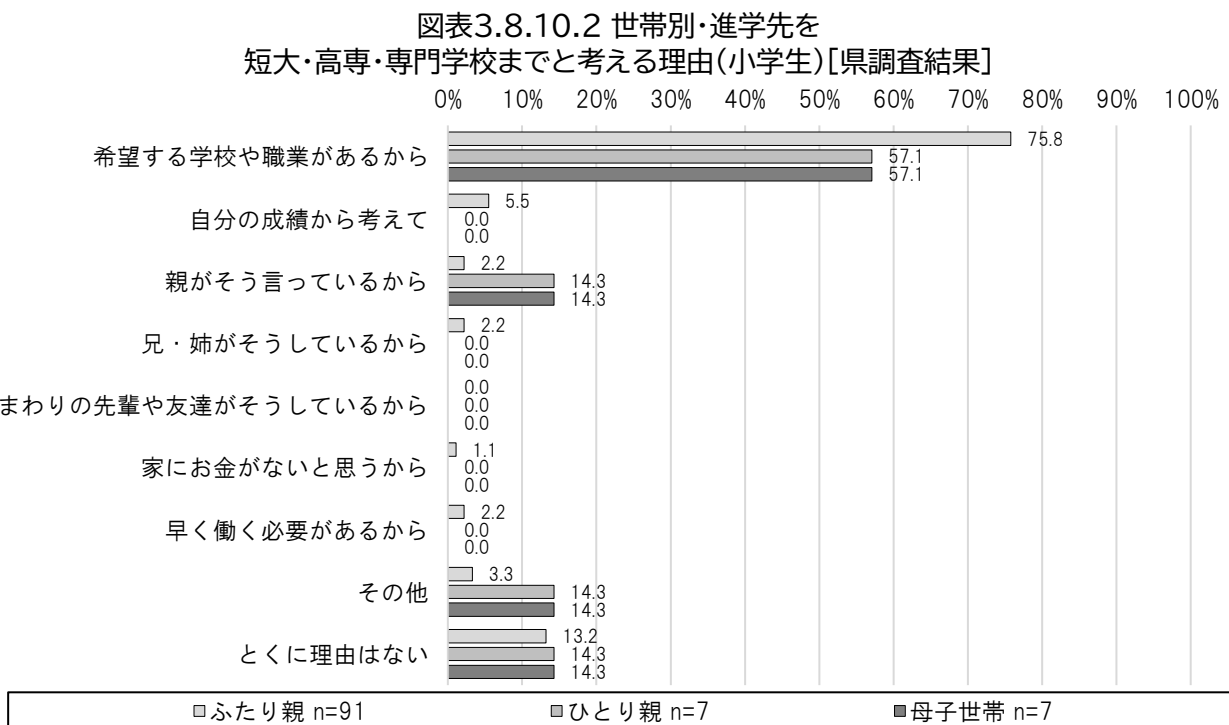
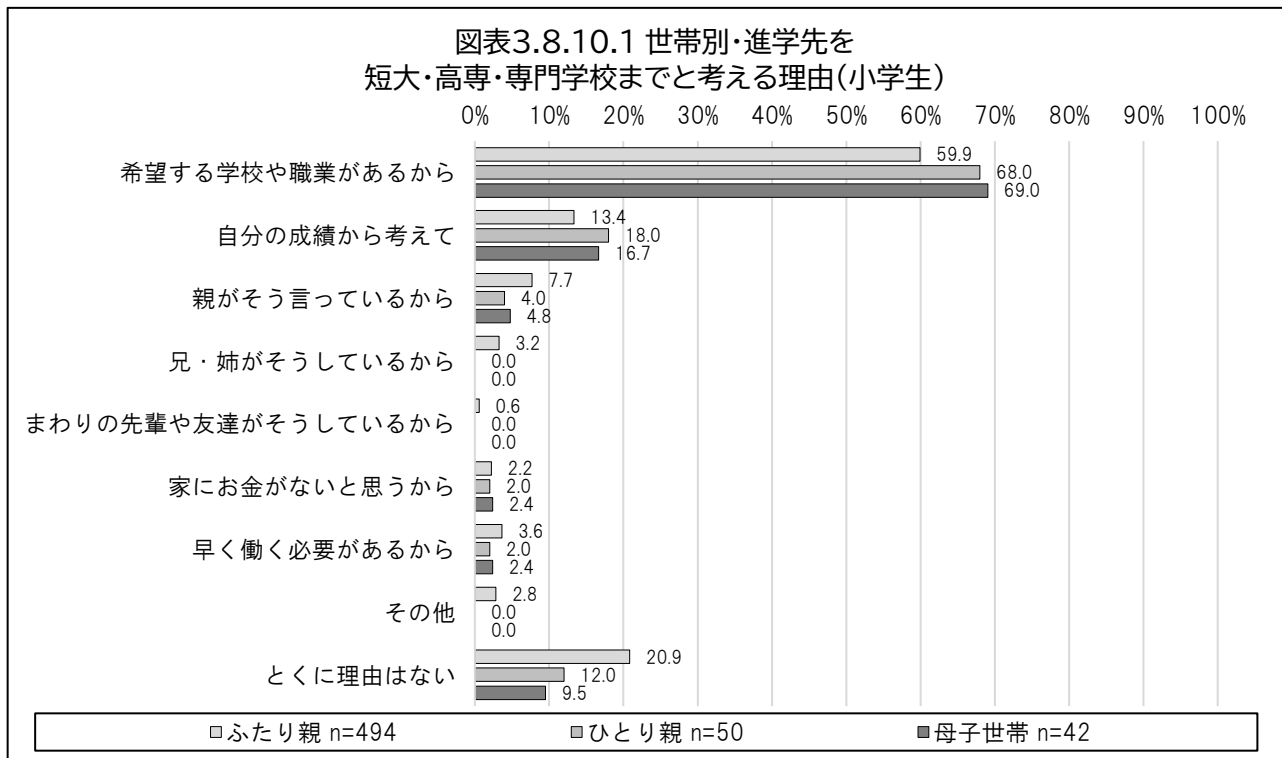
(9)等価世帯収入別・進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由・中学生
 (問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「希望する学校や職業があるから」が58.0%、75.9%、58.1%とそれぞれ最も高くなっています。



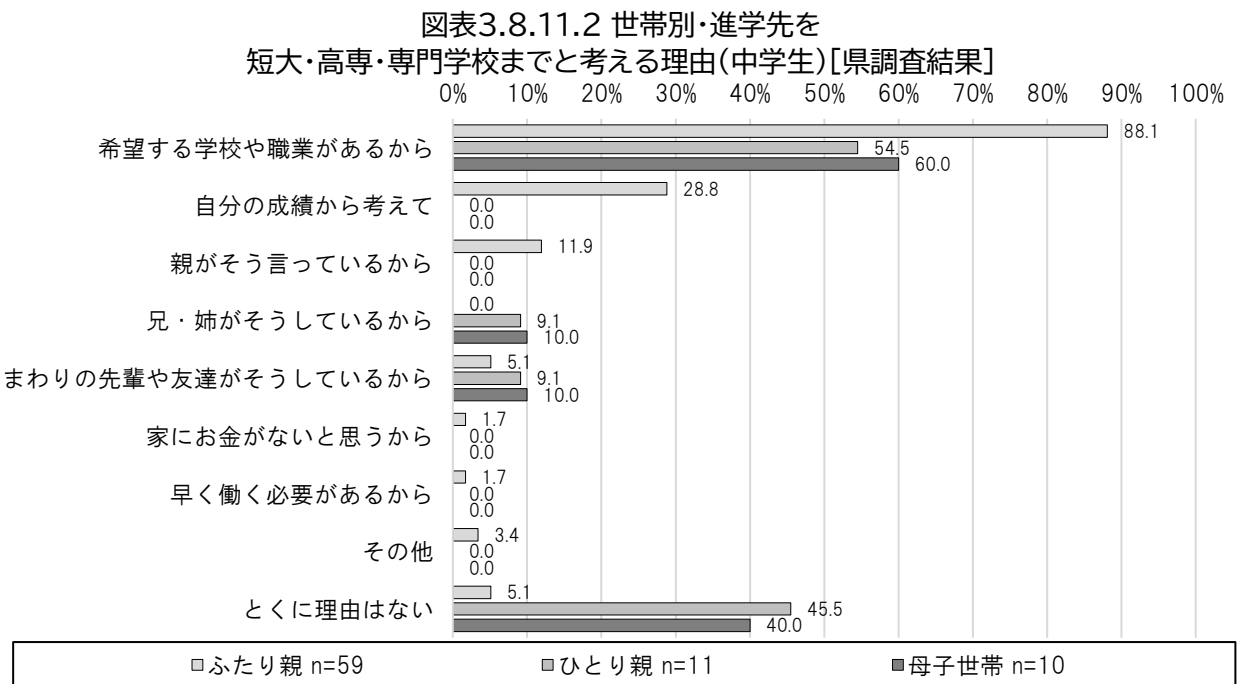
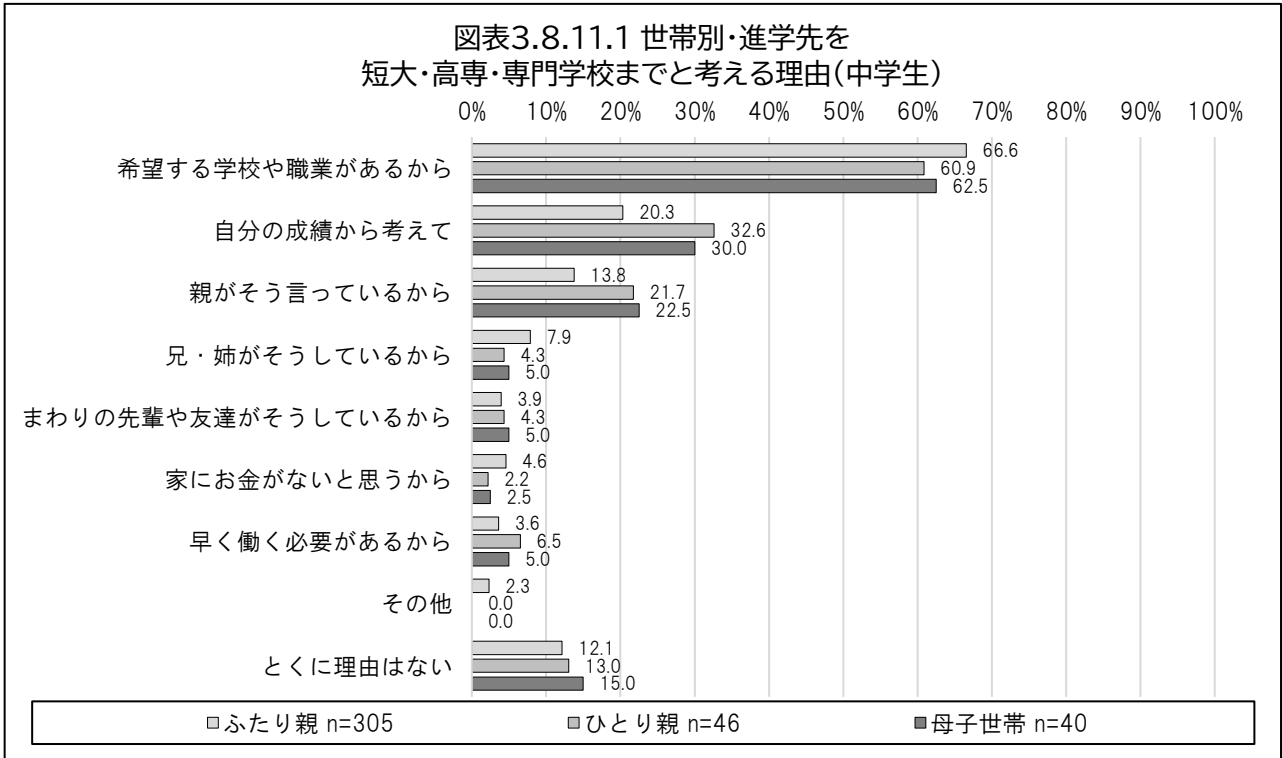
(10)世帯別・進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由・小学生
 (問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「希望する学校や職業があるから」が59.9%、68.0%、69.0%とそれぞれ最も高くなっています。



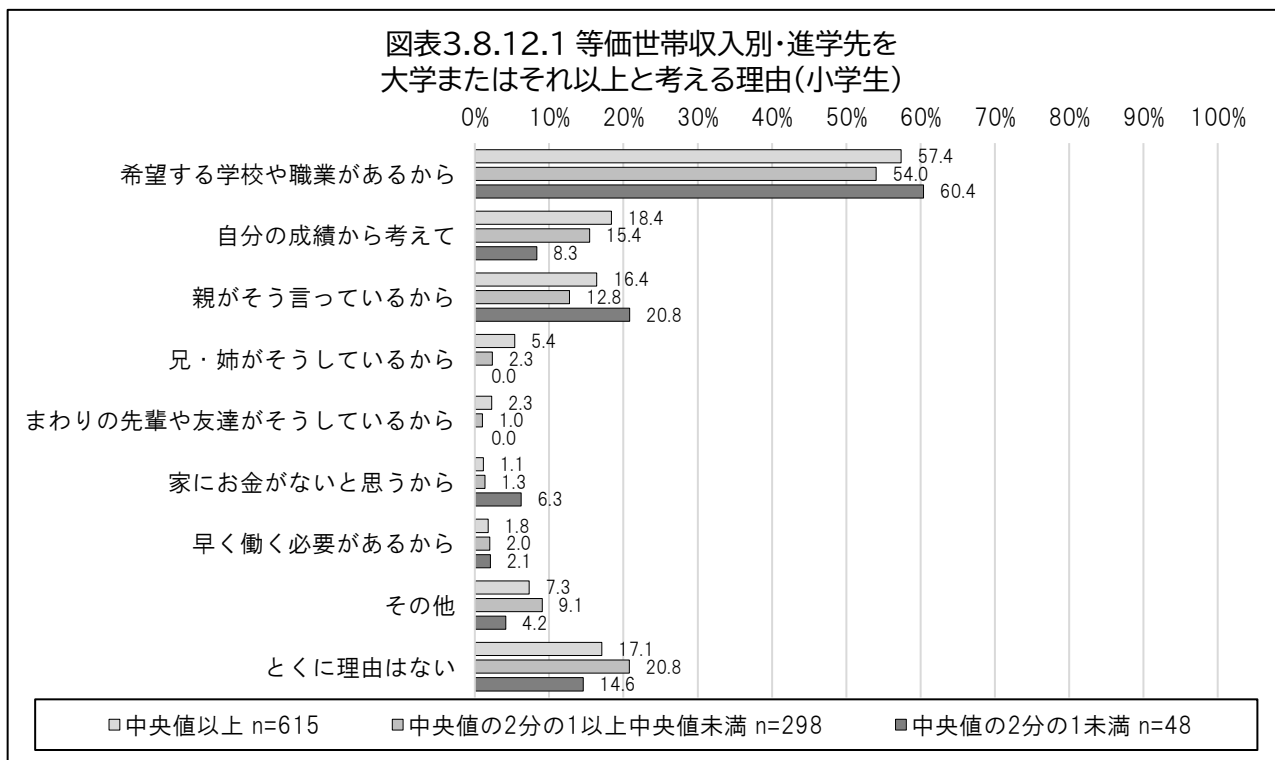
(11)世帯別・進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由・中学生
 (問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「短大・高専・専門学校まで」と考える理由について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「希望する学校や職業があるから」が66.6%、60.9%、62.5%とそれぞれ最も高くなっています。ひとり親世帯においては「自分の成績から考えて」(32.6%)、「親がそう言っているから」(21.7%)、「早く働く必要があるから」(6.5%) がふたり親世帯と比較して高くなっています。

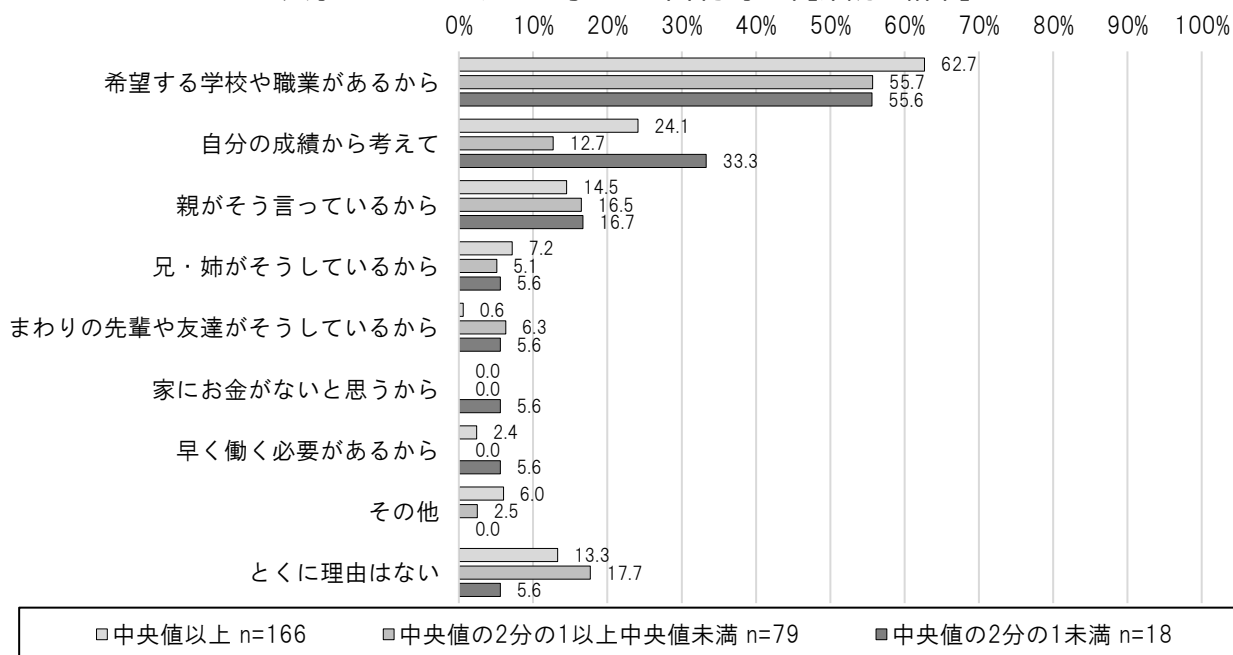


(12)等価世帯収入別・進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由・小学生
(問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「希望する学校や職業があるから」が57.4%、54.0%、60.4%とそれぞれ最も高くなっています。

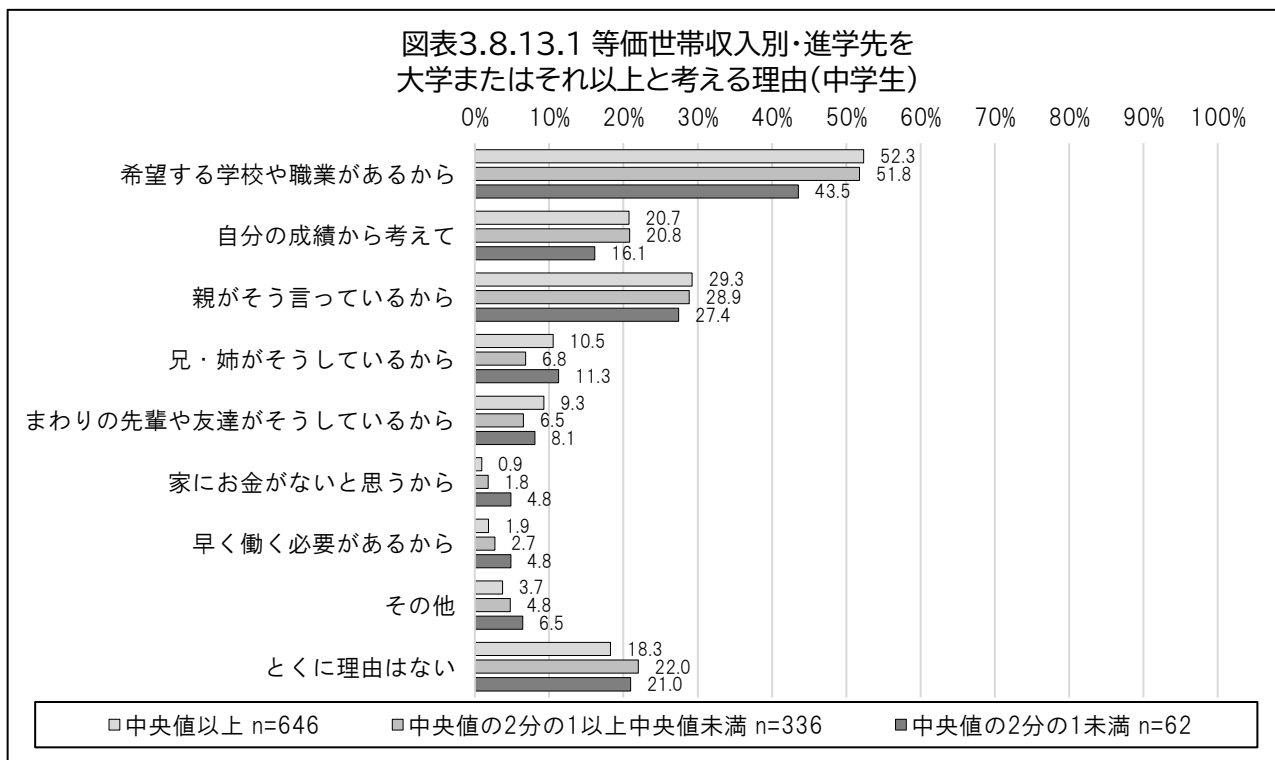


図表3.8.12.2 等価世帯収入別・進学先を大学またはそれ以上と考える理由(小学生)[県調査結果]

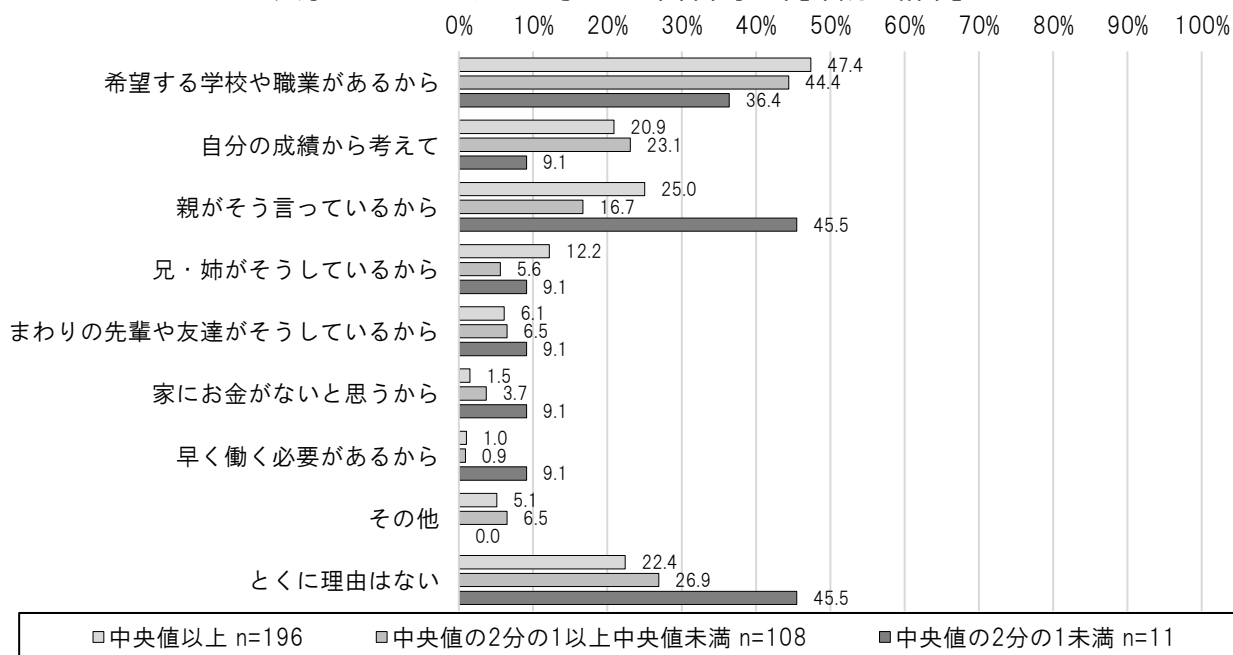


(13)等価世帯収入別・進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由・中学生
(問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由について、等価世帯収入別にみると、中学生では、いずれの水準においても「希望する学校や職業があるから」が52.3%、51.8%、43.5%とそれぞれ最も高くなっています。

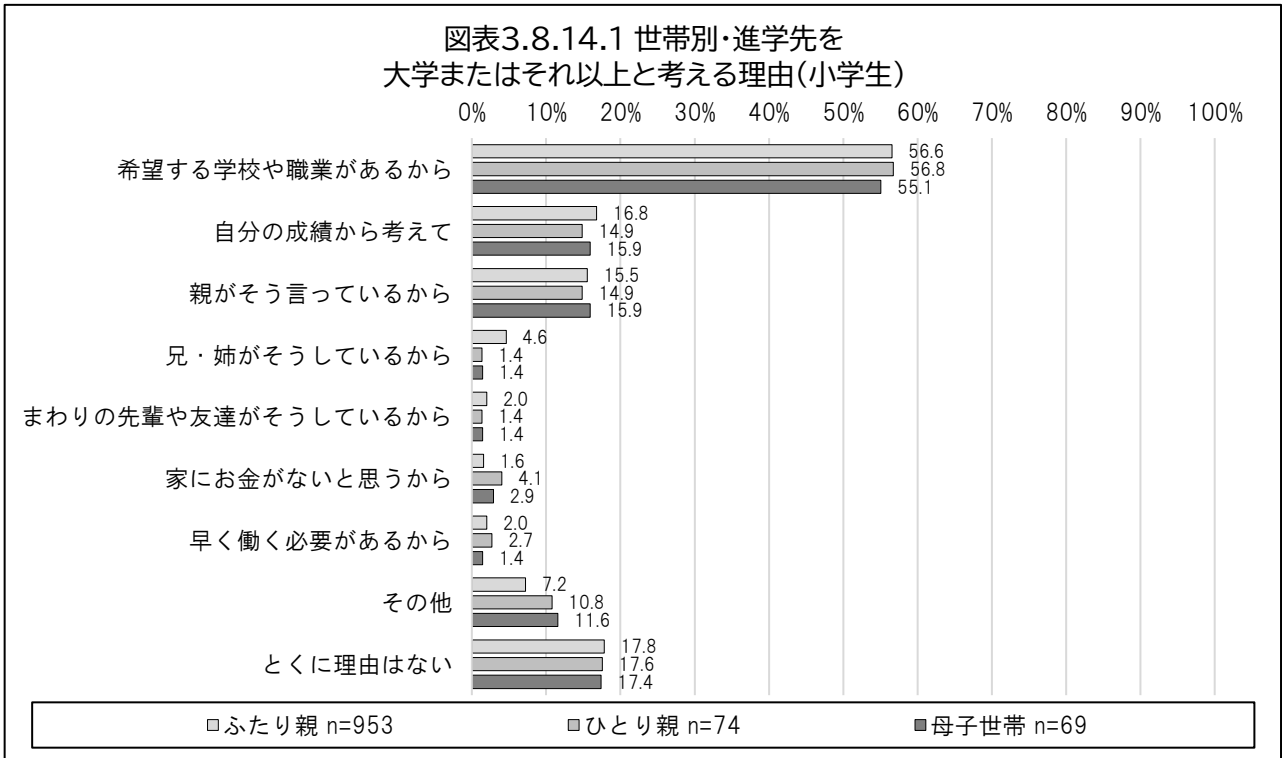


図表3.8.13.2 等価世帯収入別・進学先を大学またはそれ以上と考える理由(中学生)[県調査結果]



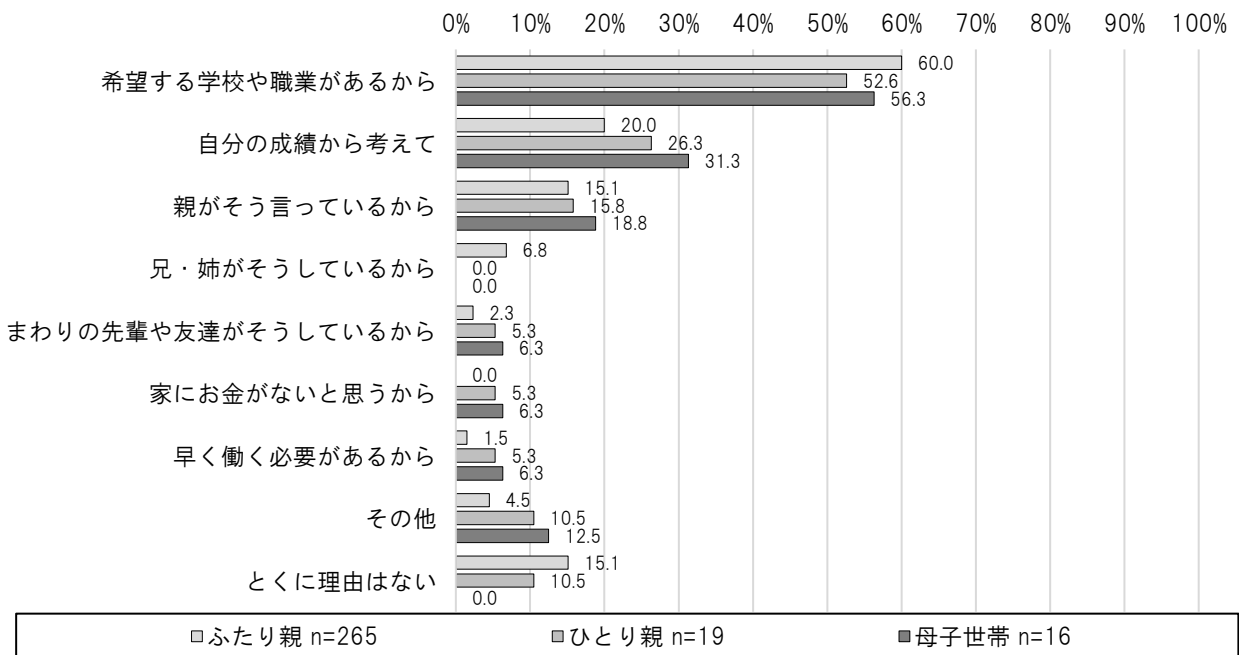
(14)世帯別・進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由・小学生
 (問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由について、世帯別にみると、小学生では、いずれの世帯においても「希望する学校や職業があるから」が56.6%、56.8%、55.1%とそれぞれ最も高くなっています。



□ふたり親 n=953 □ひとり親 n=74 ■母子世帯 n=69

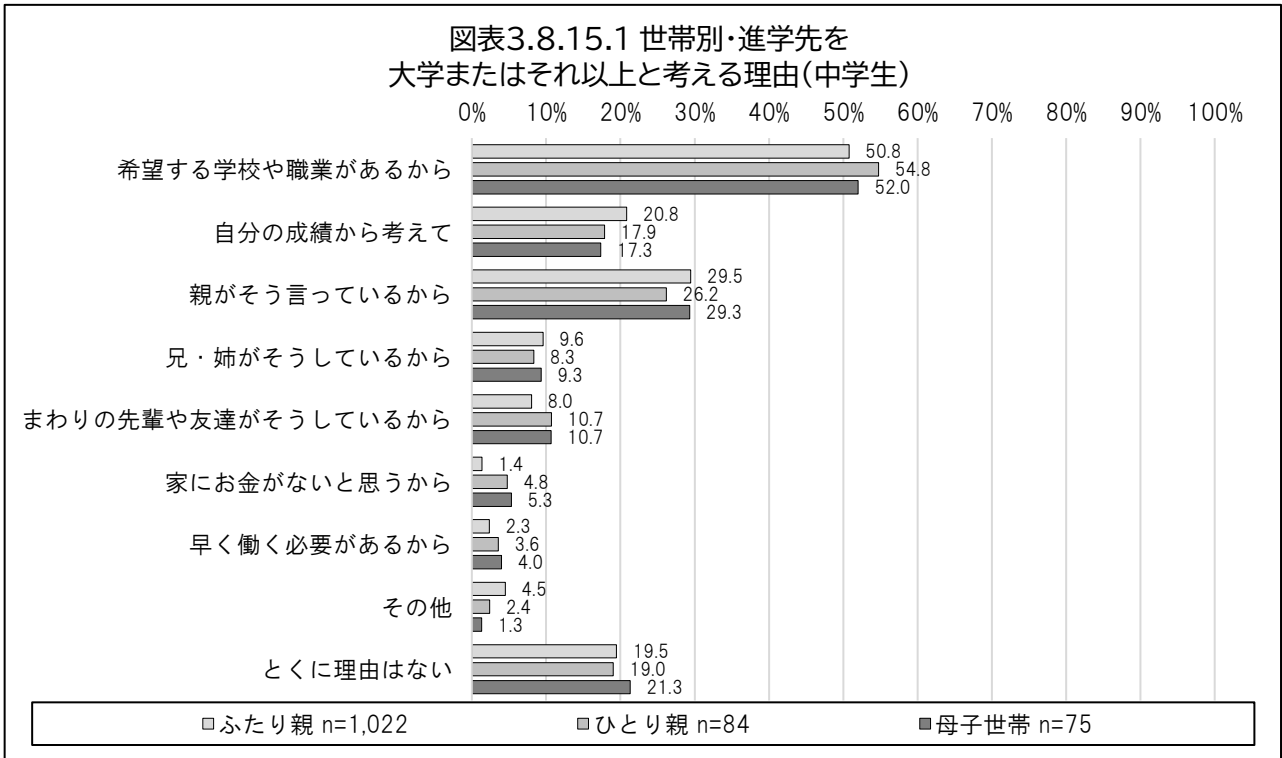
図表3.8.14.2 世帯別・進学先を大学またはそれ以上と考える理由(小学生)[県調査結果]



□ふたり親 n=265 □ひとり親 n=19 ■母子世帯 n=16

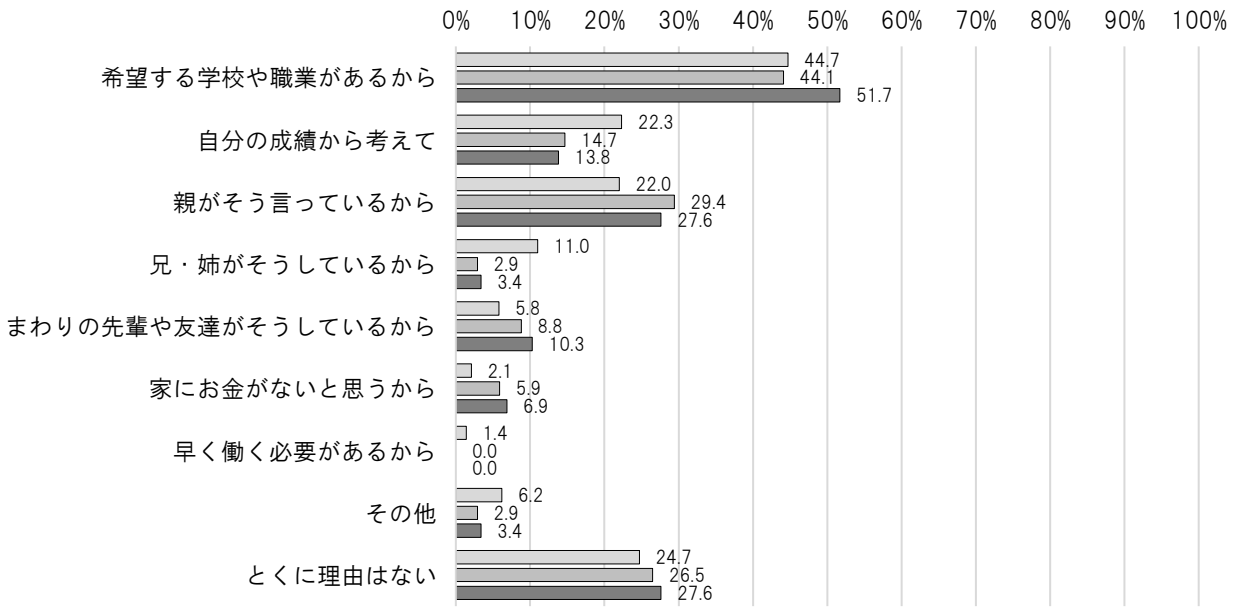
(15)世帯別・進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由・中学生
 (問 8. 進学先を希望する理由)

進学先を「大学またはそれ以上」と考える理由について、世帯別にみると、中学生では、いずれの世帯においても「希望する学校や職業があるから」がそれぞれ50.8%、54.8%、52.0%と最も高くなっています。



□ふたり親 n=1,022 ■ひとり親 n=84 ■母子世帯 n=75

図表3.8.15.2 世帯別・進学先を大学またはそれ以上と考える理由(中学生)[県調査結果]

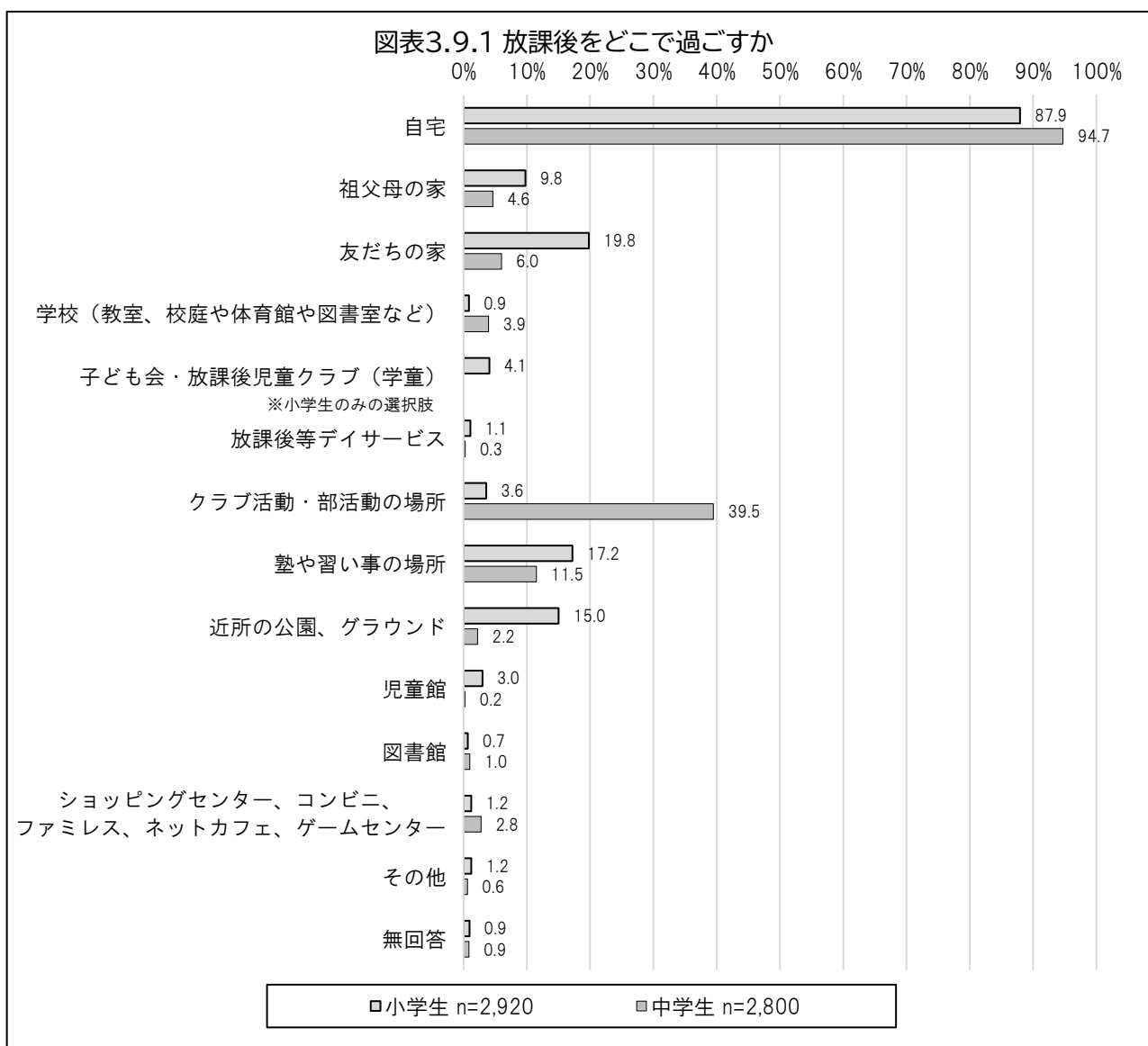


□ふたり親 n=291 ■ひとり親 n=34 ■母子世帯 n=29

問9. あなたは学校が終わってからどこで過ごすことが多いですか。

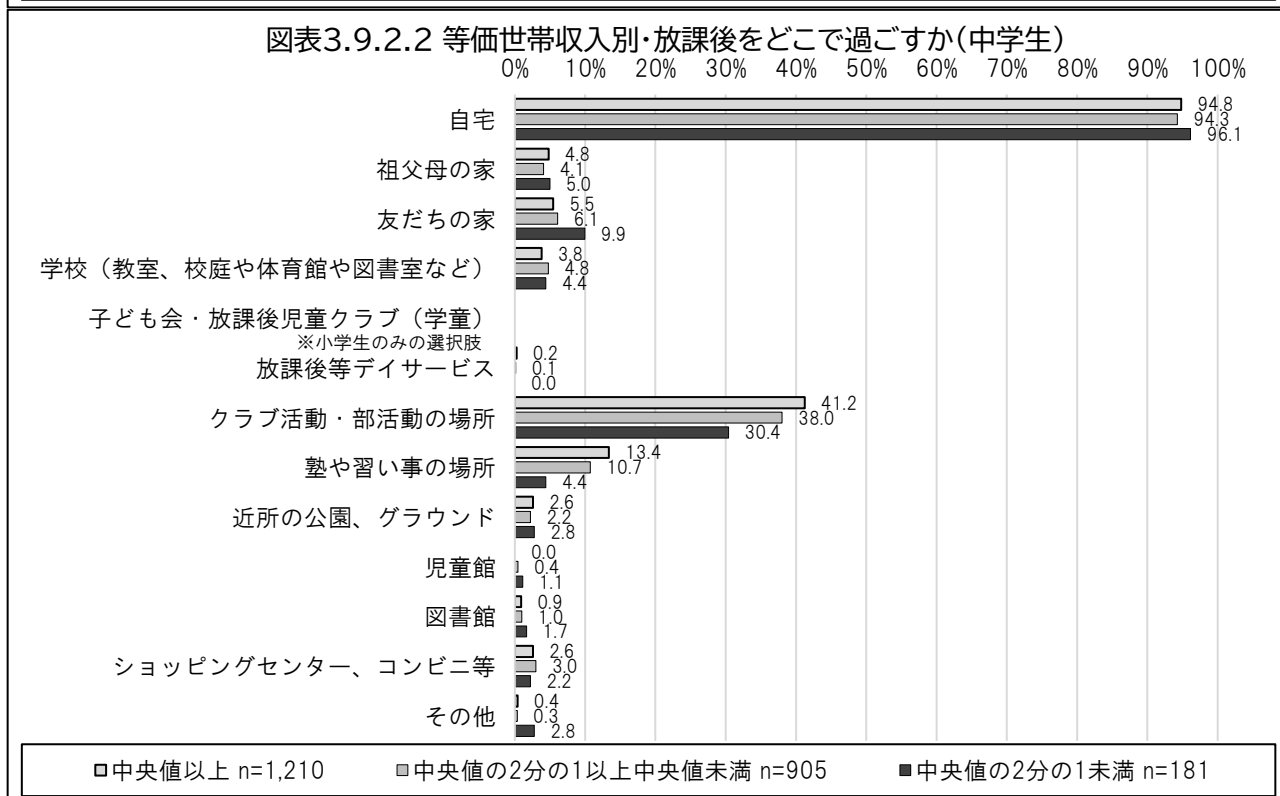
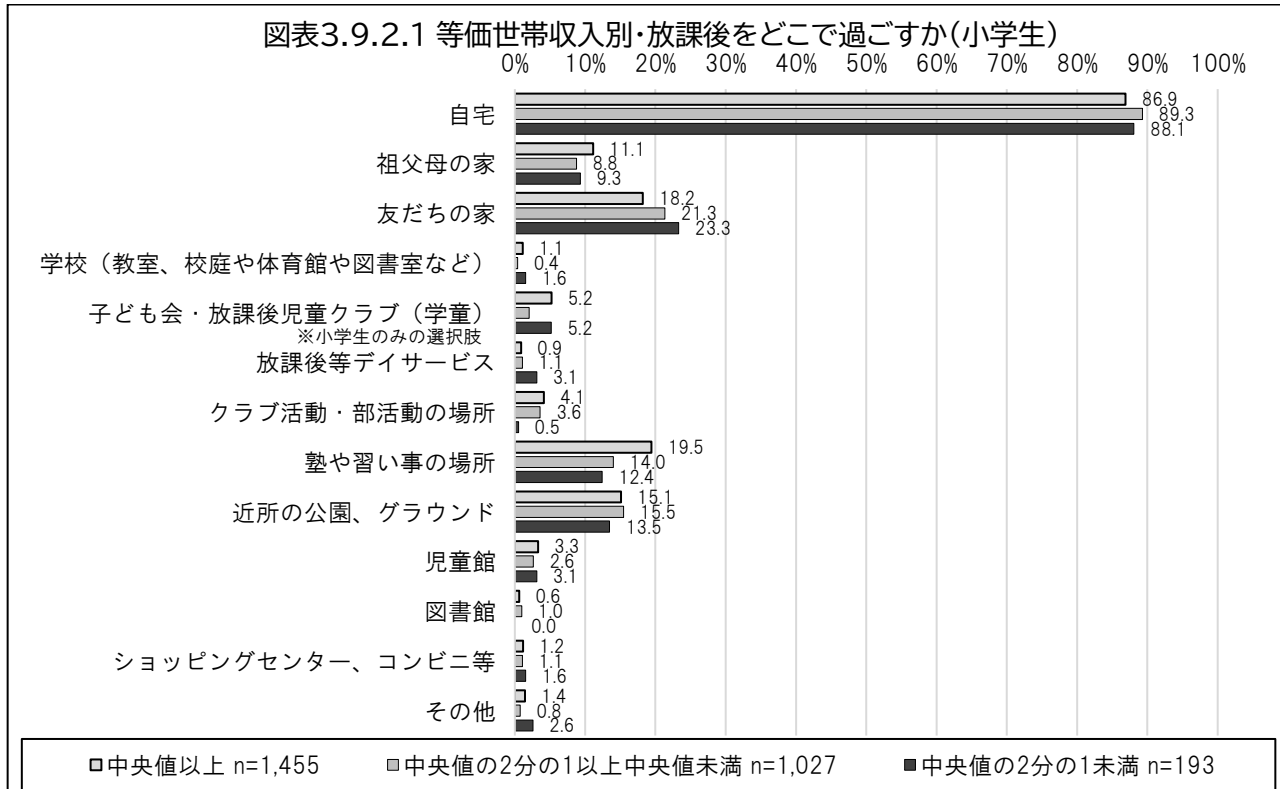
(1)全体

放課後をどこで過ごすかについて、小学生・中学生ともに、「自宅」と回答した割合が最も高く(87.9%、94.7%)なっています。小学生では、次いで「友だちの家」(19.8%)、「塾や習い事の場所」(17.2%)、「近所の公園、グラウンド」(15.0%)となっています。中学生では、次いで「クラブ活動・部活動の場所」(39.5%)となっています。



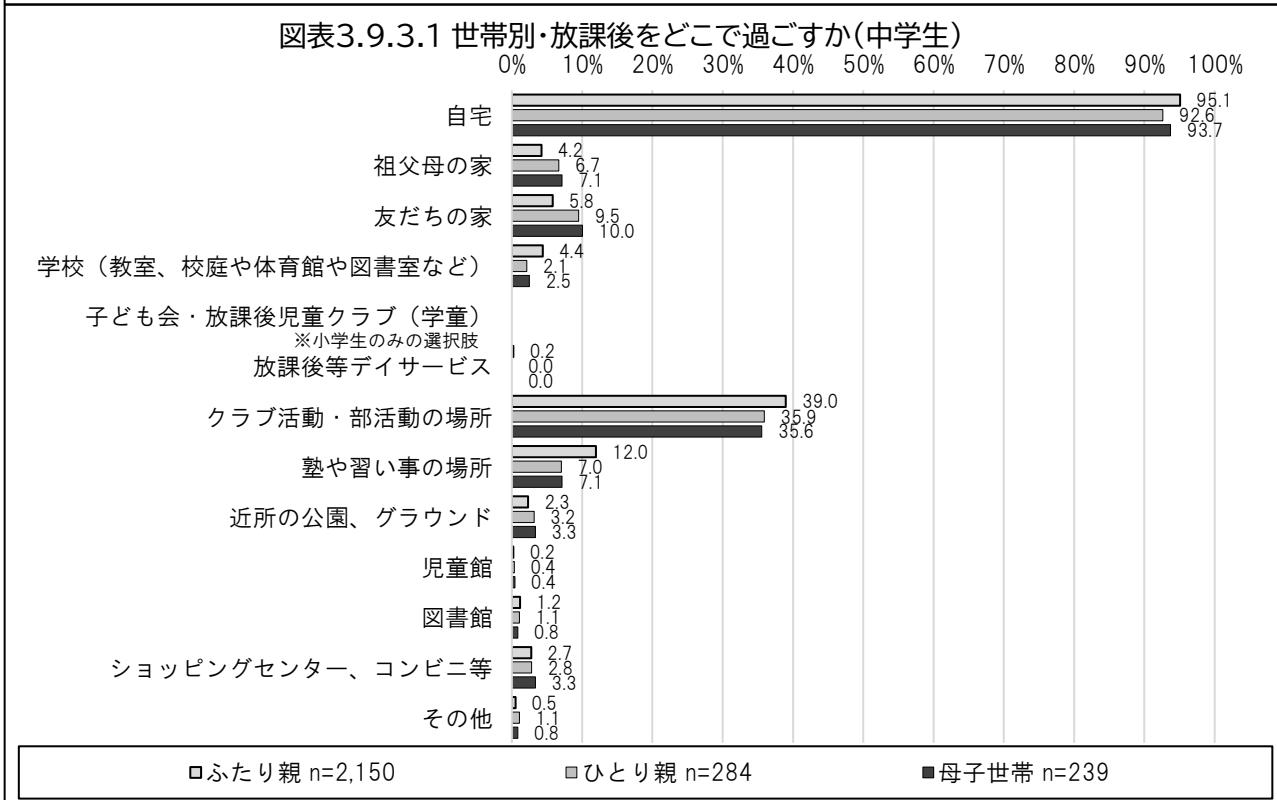
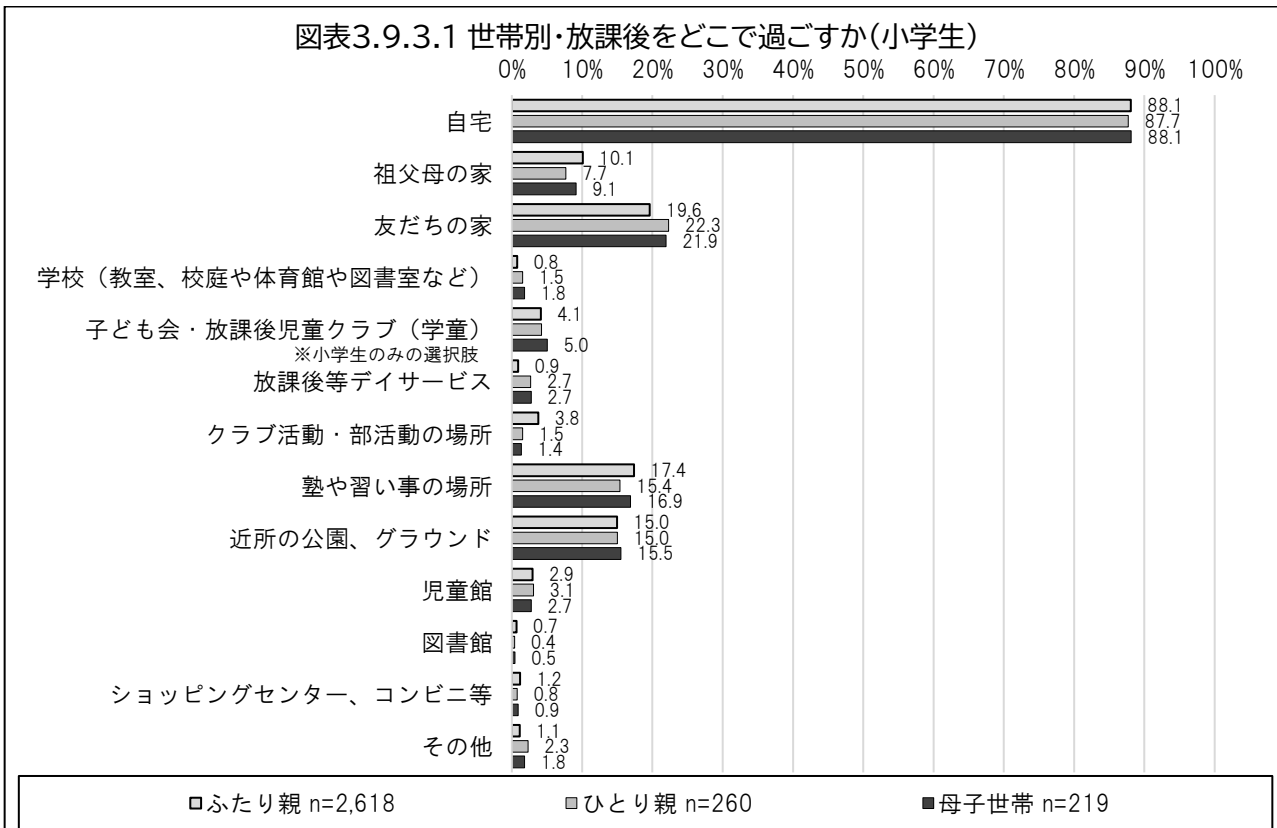
(2)等価世帯収入別

「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生・中学生ともに「クラブ活動・部活動の場所」（0.5%、30.4%）、「塾や習い事の場所」（12.4%、4.4%）と、「中央値以上」「中央値の2分の1以上中央値未満」と比較してやや低くなっています。



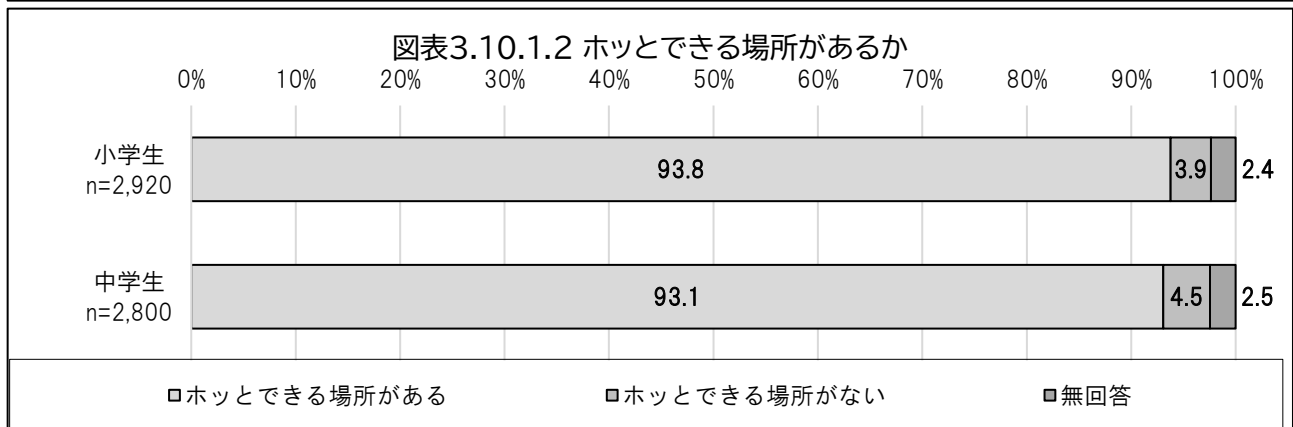
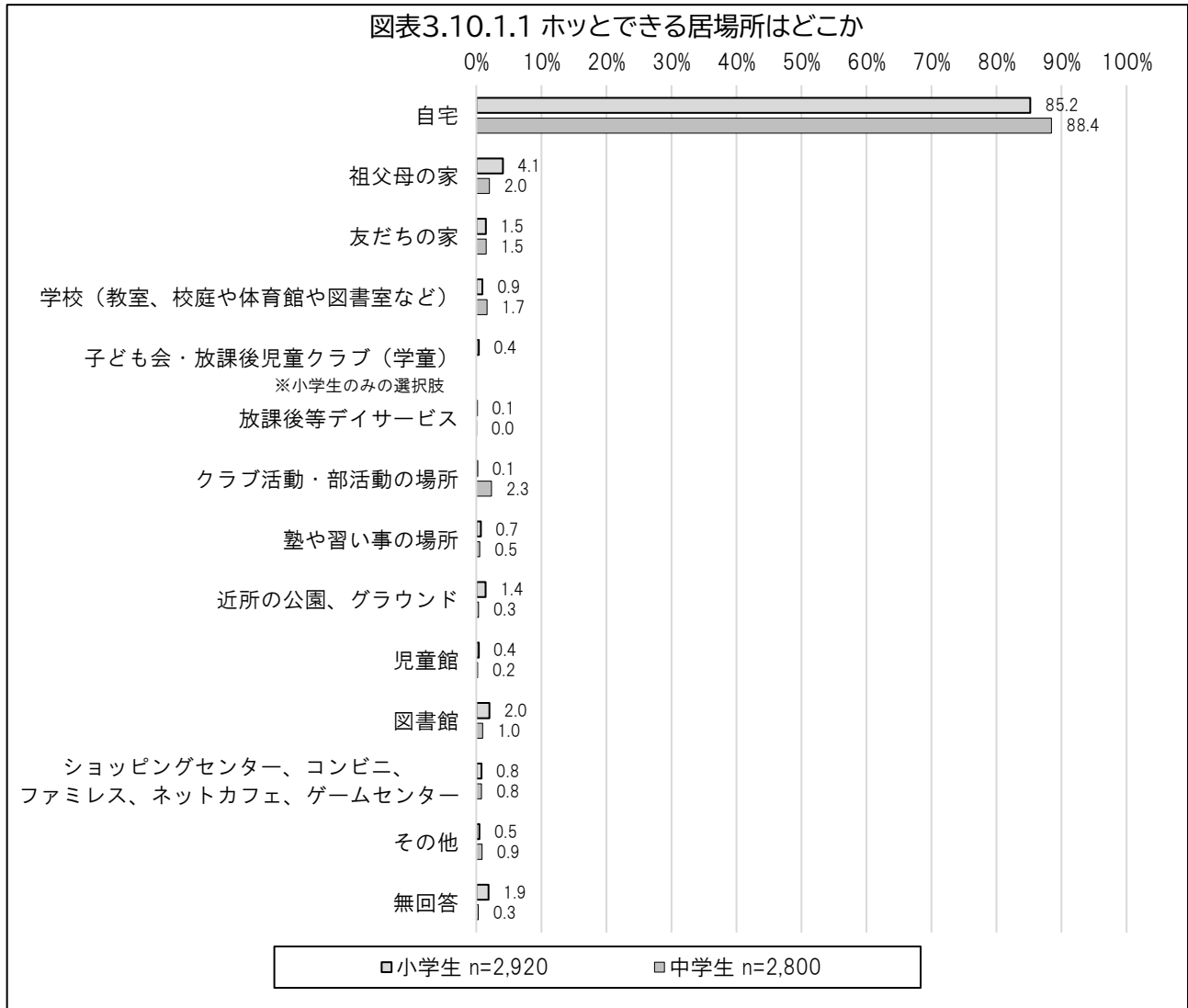
(3)世帯別

ひとり親世帯では、小学生・中学生ともに「クラブ活動・部活動の場所」(1.5%、35.9%)、「塾や習い事の場所」(15.4%、7.0%)と、ふたり親世帯と比較してやや低くなっています。



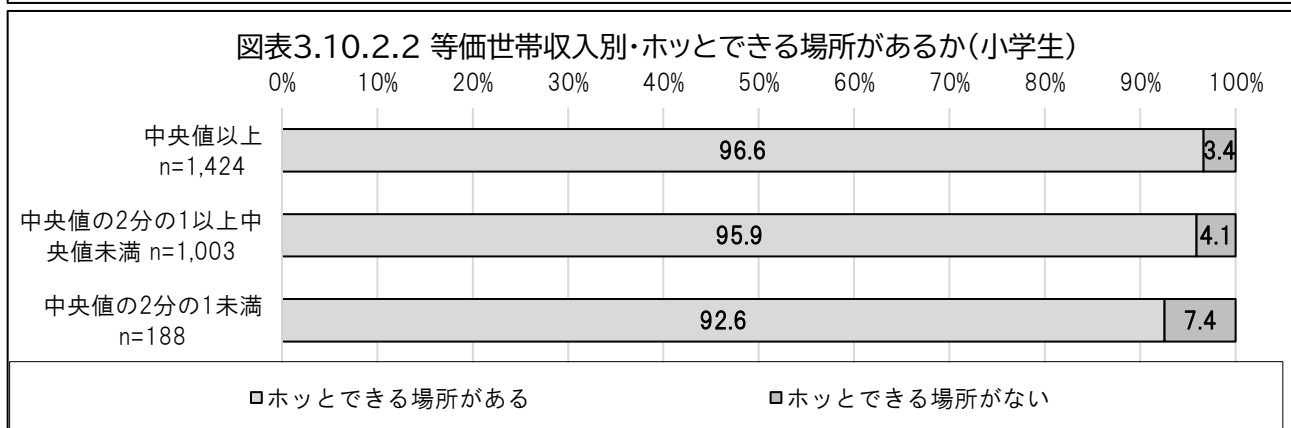
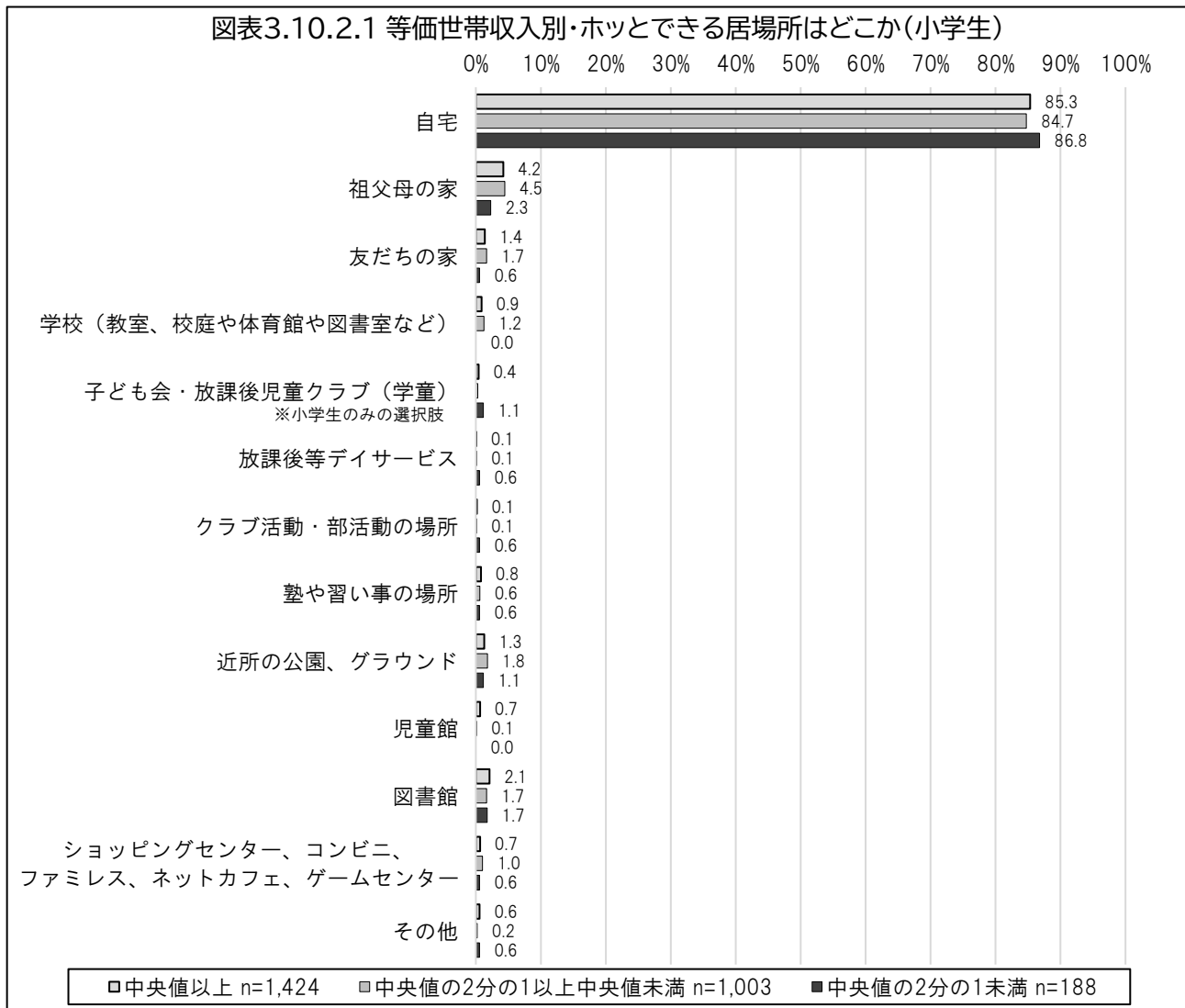
問10. 問9の1～13の中で、あなたがホッとできる居場所はどこですか。
 ホッとできる居場所がない場合は「ホッとできる居場所はない」に○をつけてください。
 (1)全体

ホッとできる居場所について、小学生・中学生ともに「自宅」(85.2%、88.4%)が最も高くなっています。また、「ホッとできる場所がある」と回答した割合は、小学生が93.8%、中学生が93.1%となっています。

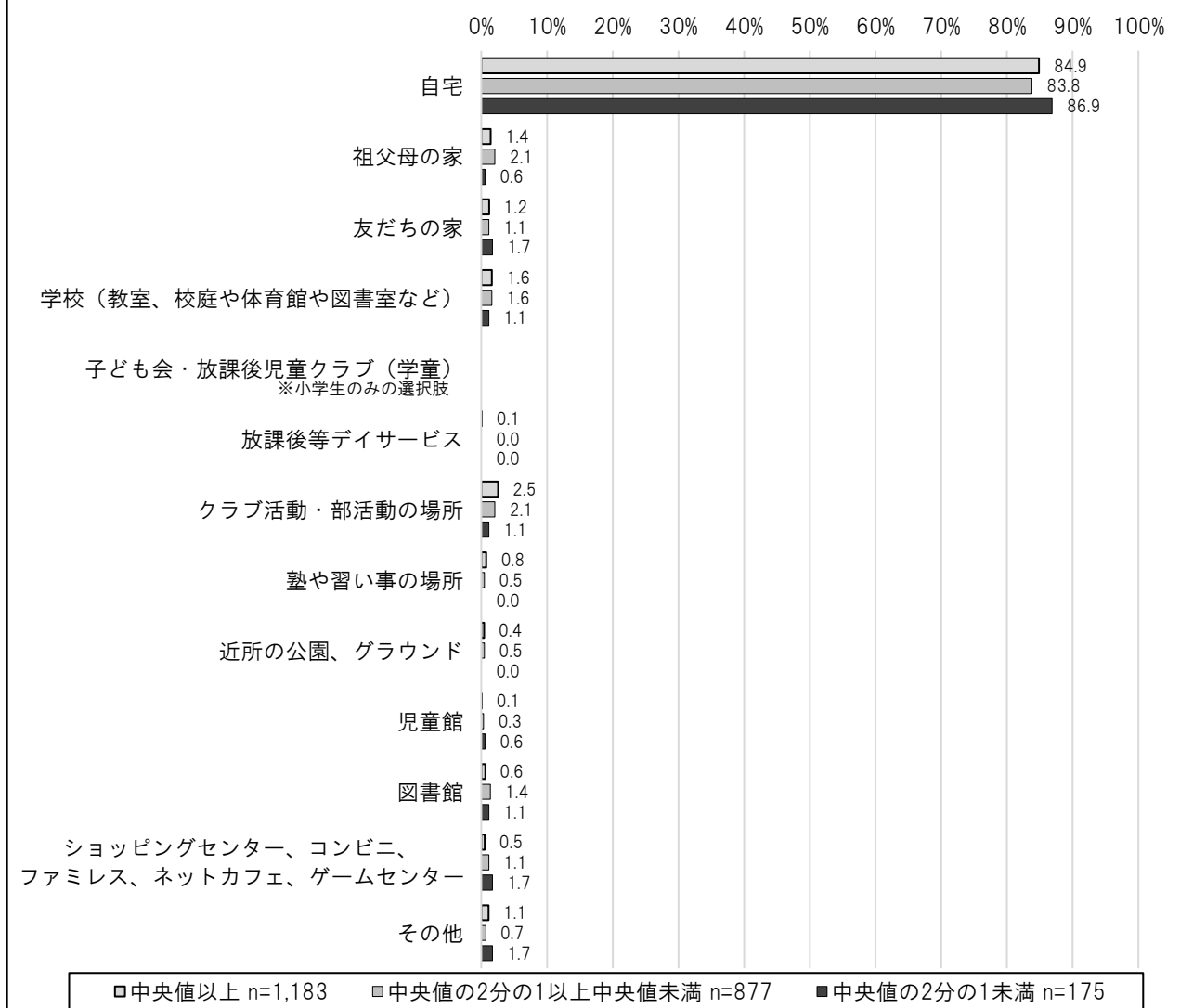


(2)等価世帯収入別

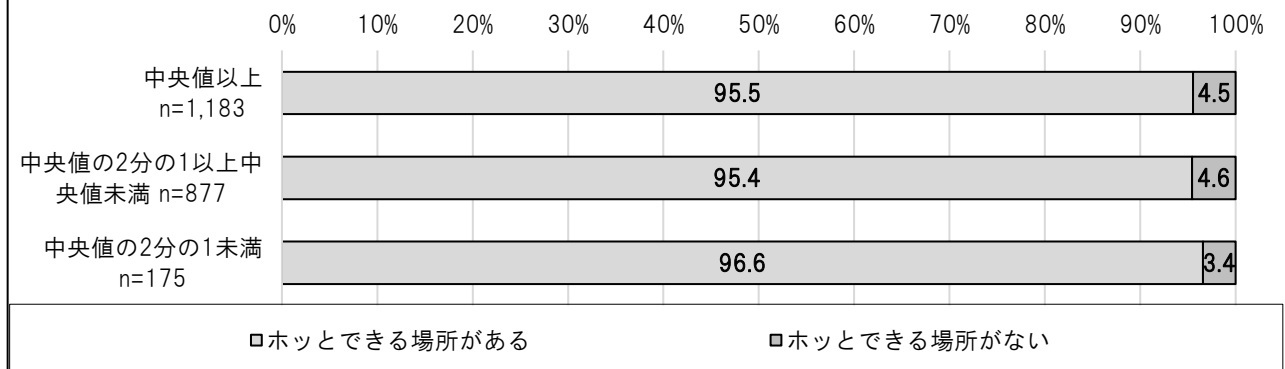
ホッとできる場所について、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生・中学生ともに「自宅」（86.8%、86.9%）が最も高くなっており、全体と大差はありません。小学生では、「ホッとできる居場所がない」と回答した割合が7.4%となっており、全体（3.9%）と比較してやや高くなっています。



図表3.10.2.3 等価世帯収入別・ホッとできる居場所はどこか(中学生)

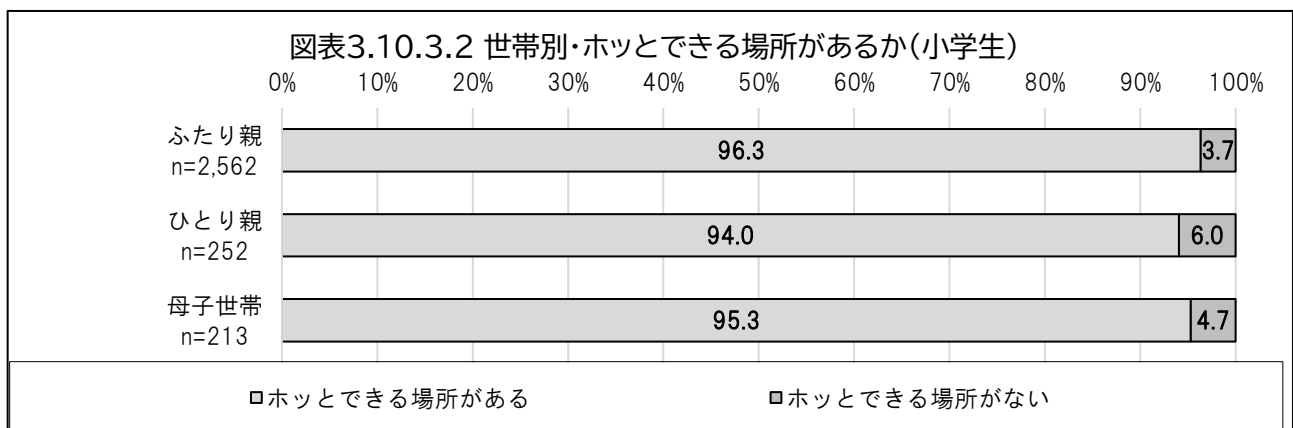
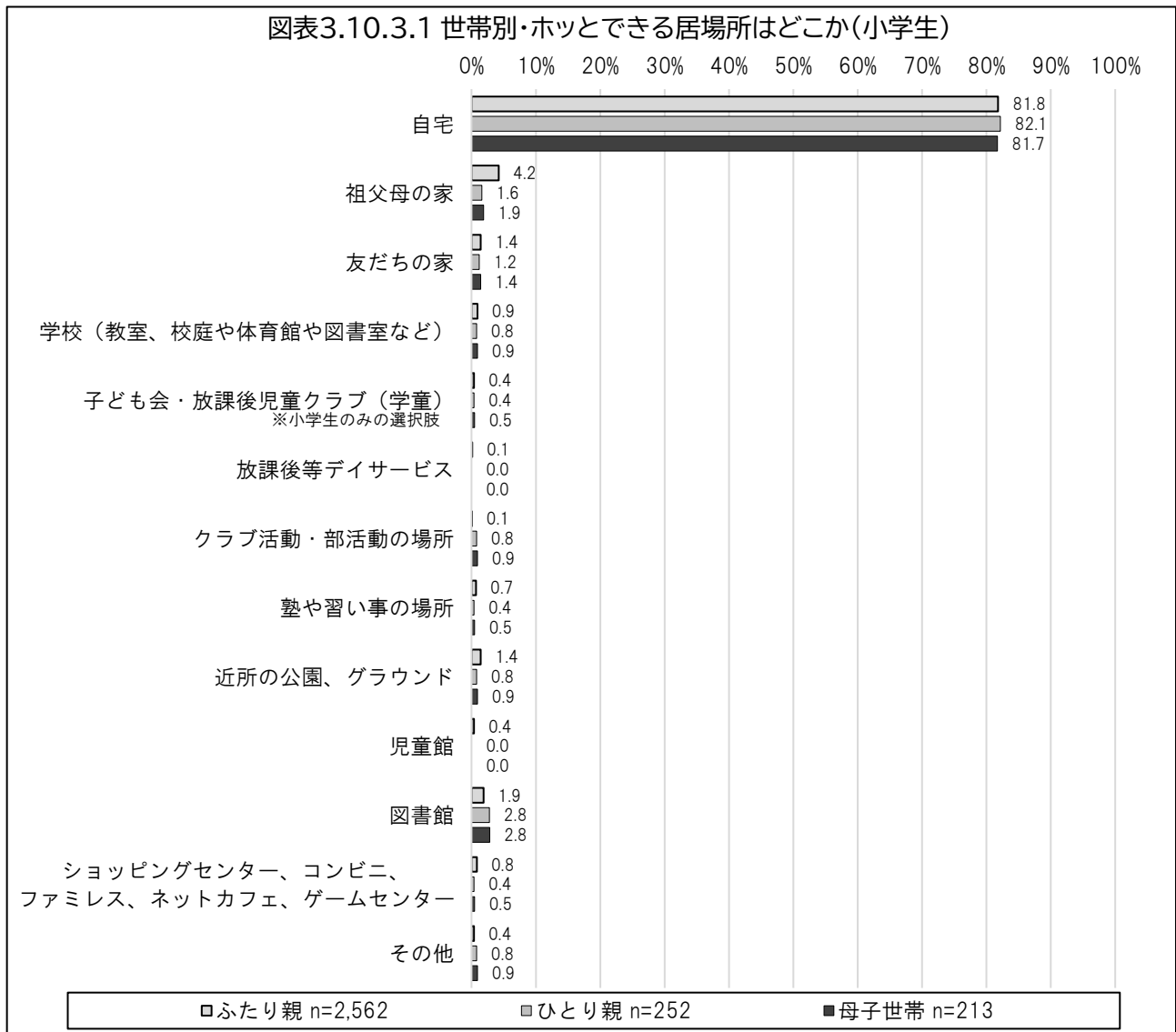


図表3.10.2.4 等価世帯収入別・ホッとできる場所があるか(中学生)

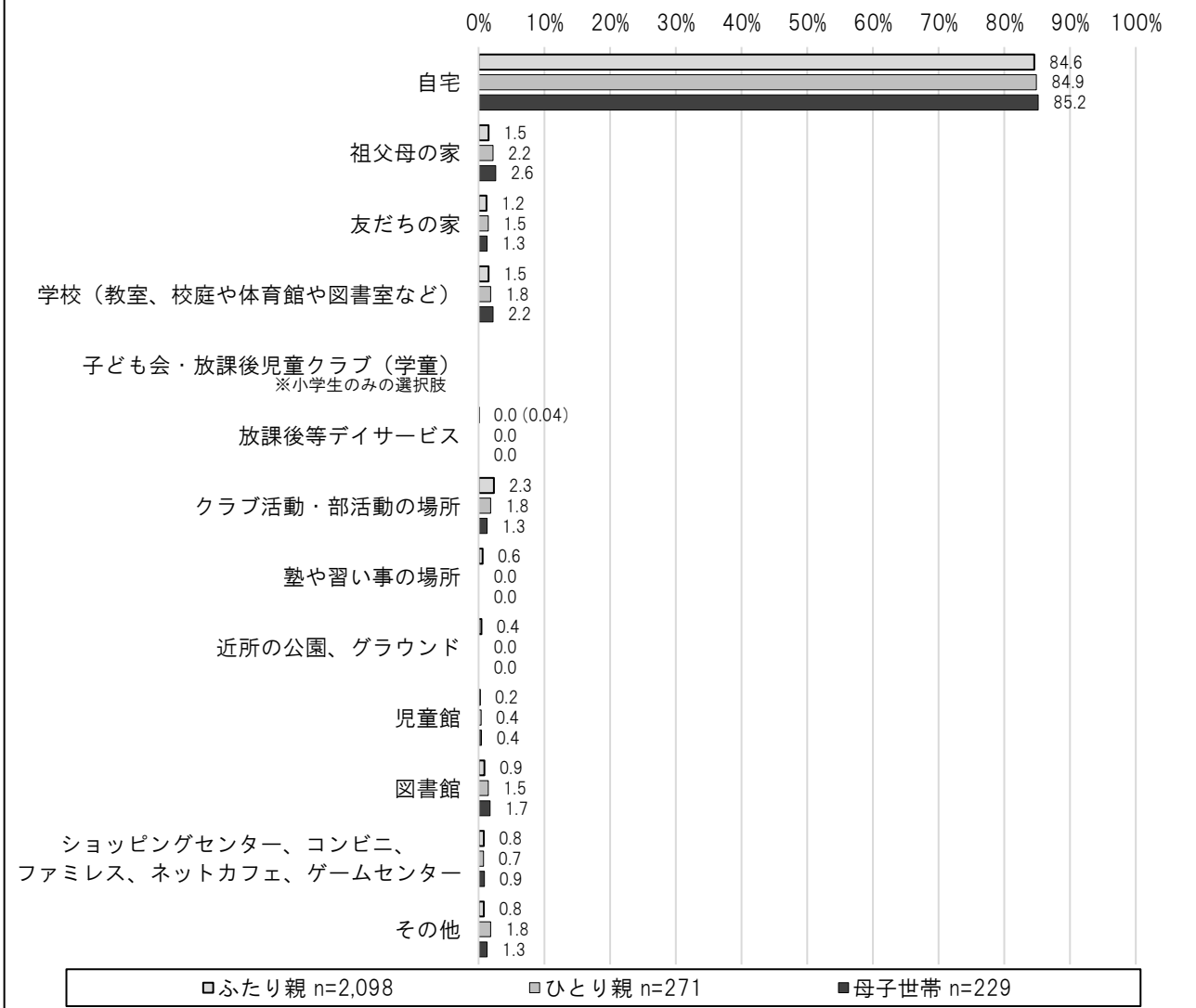


(3)世帯別

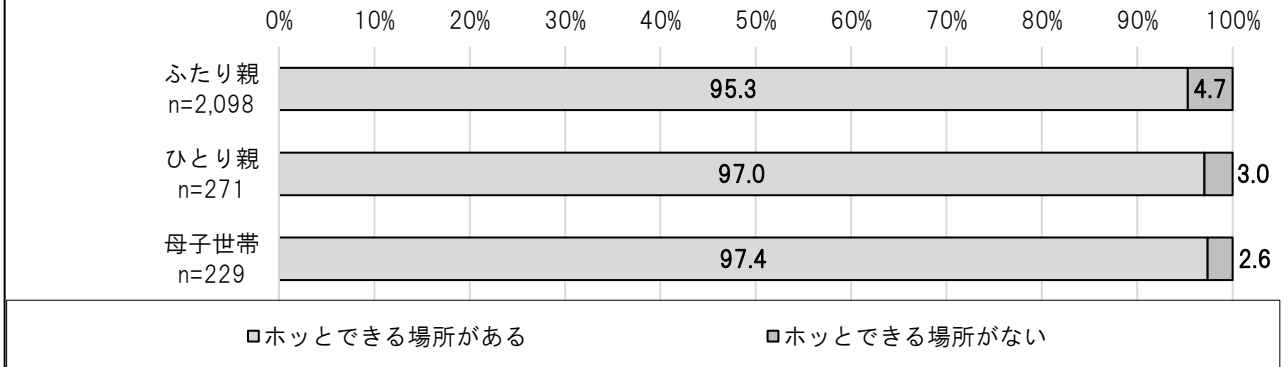
ホッとできる場所について、ひとり親世帯では、小学生・中学生ともに「自宅」(82.1%、84.9%)が最も高くなっており、全体と大差はありません。小学生では、「ホッとできる居場所がない」と回答した割合が6.0%となっており、全体(3.9%)と比較してやや高くなっています。



図表3.10.3.3 世帯別・ホッとできる居場所はどこか(中学生)



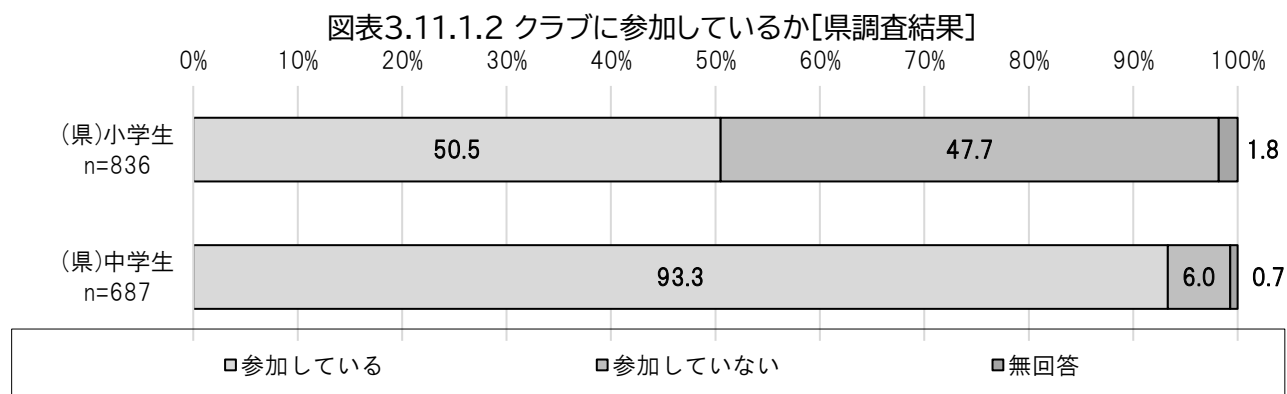
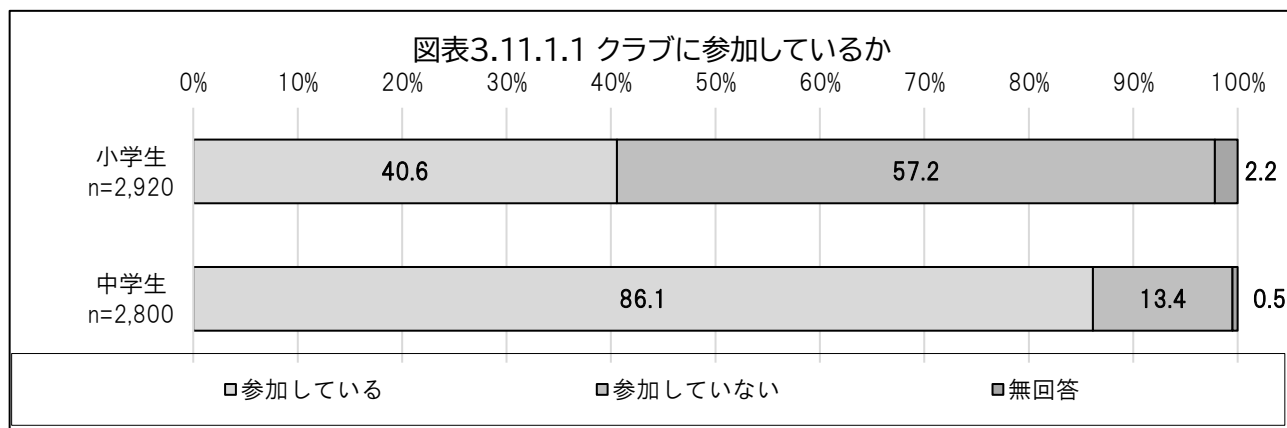
図表3.10.3.4 世帯別・ホッとできる場所があるか(中学生)



問11. あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していますか。

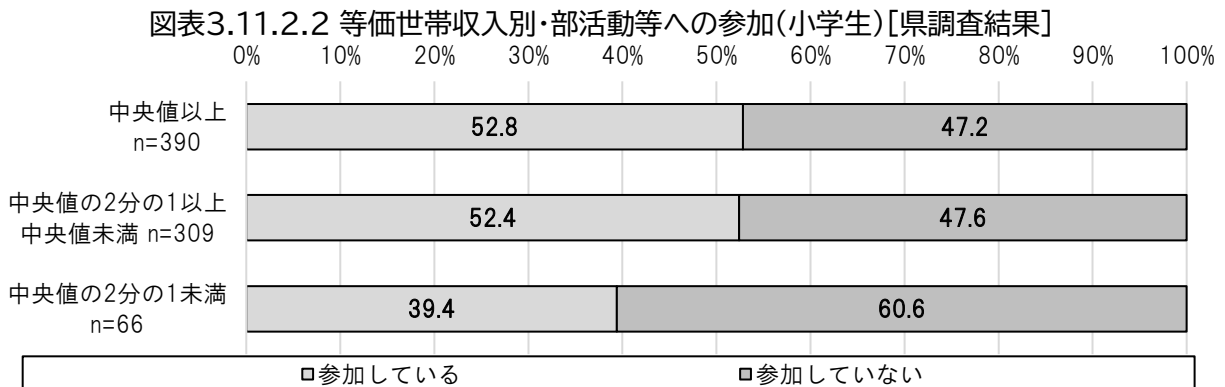
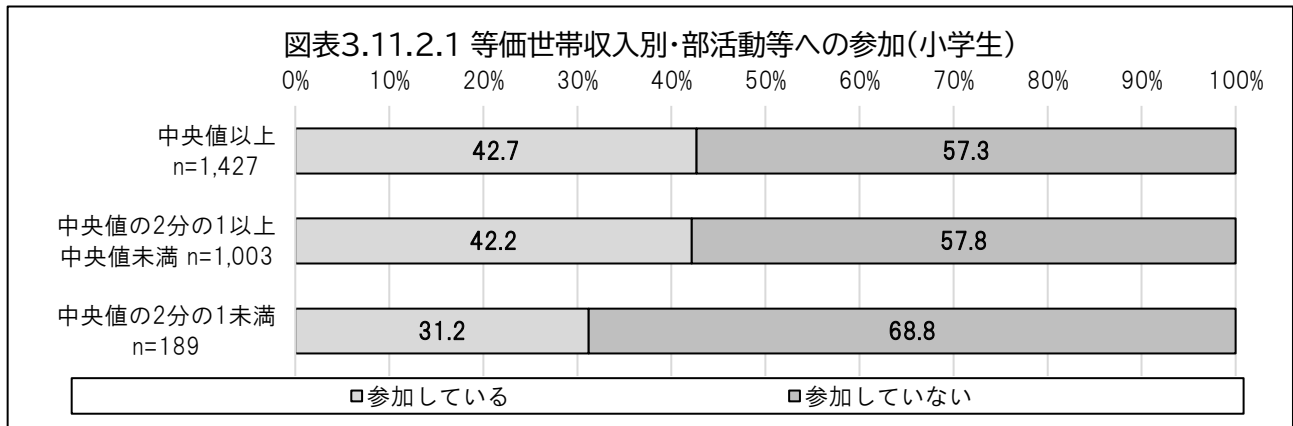
(1)全体

クラブ活動・部活動等への参加について、小学生では「参加していない」が57.2%、「参加している」が40.6%、中学生では「参加している」が86.1%、「参加していない」が13.4%となっています。



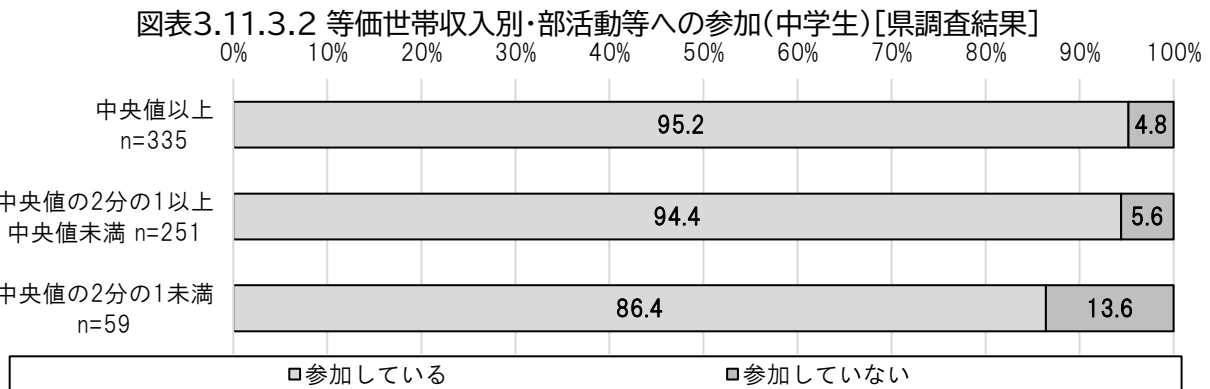
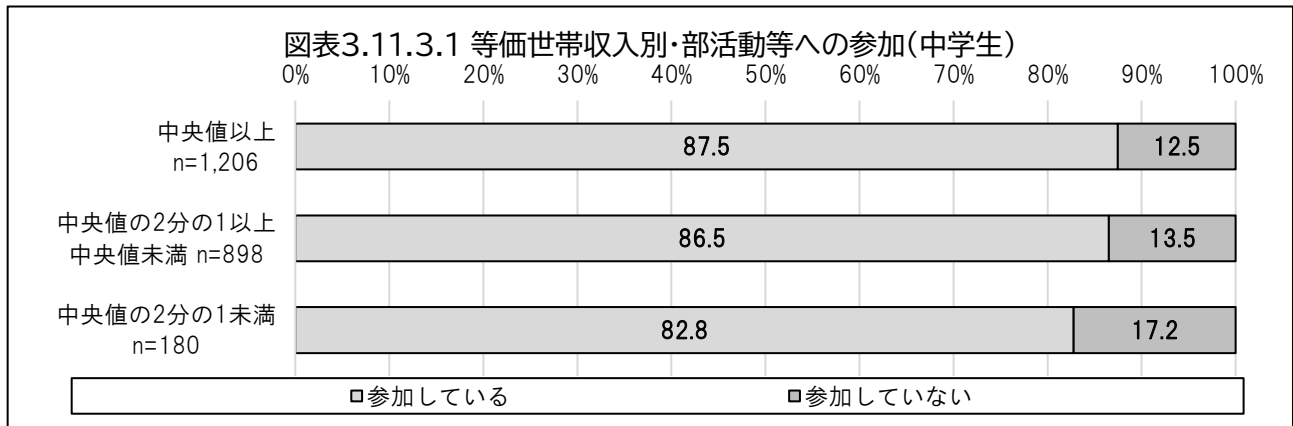
(2)等価世帯収入別・小学生（問 11. クラブ活動・部活動等への参加）

クラブ活動・部活動等への参加について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「参加している」と回答した割合は、全体では40.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では31.2%と低くなっています。また、県調査（39.4%）と比較して低くなっています。



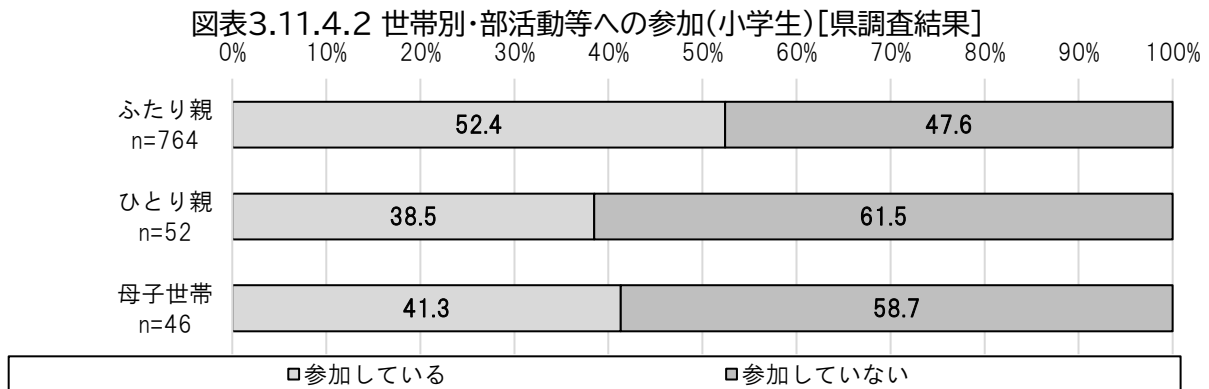
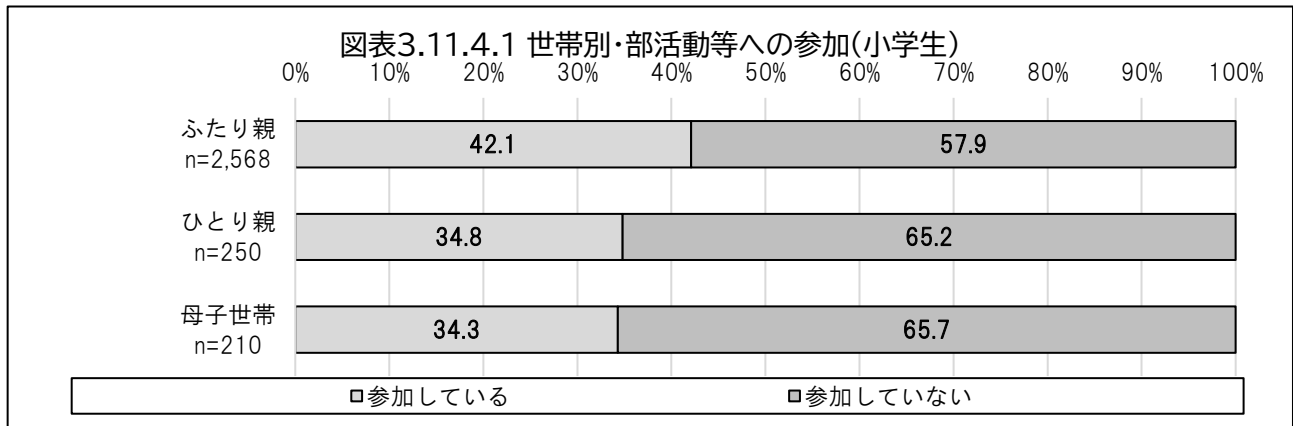
(3)等価世帯収入別・中学生（問 11. クラブ活動・部活動等への参加）

クラブ活動・部活動等への参加について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「参加している」と回答した割合は、全体では86.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では82.8%と低くなっています。また、県調査（86.4%）と比較して低くなっています。



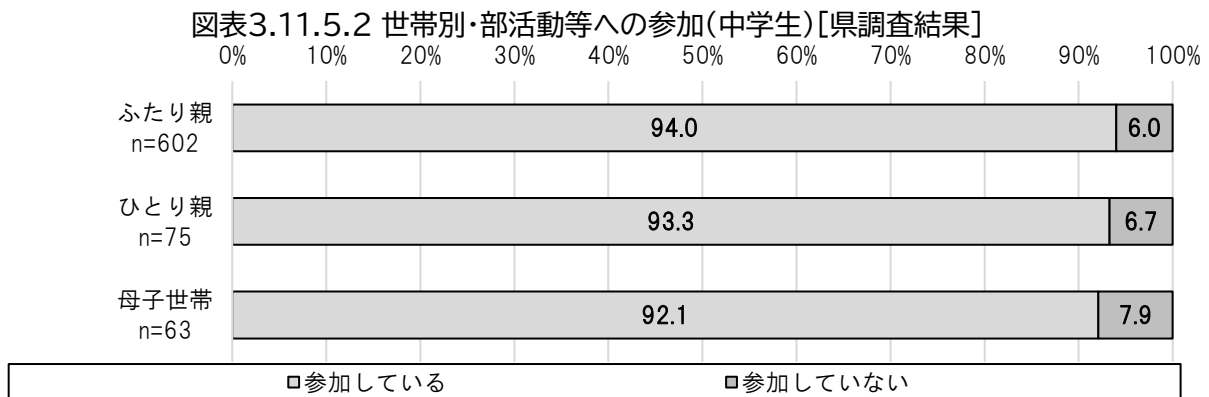
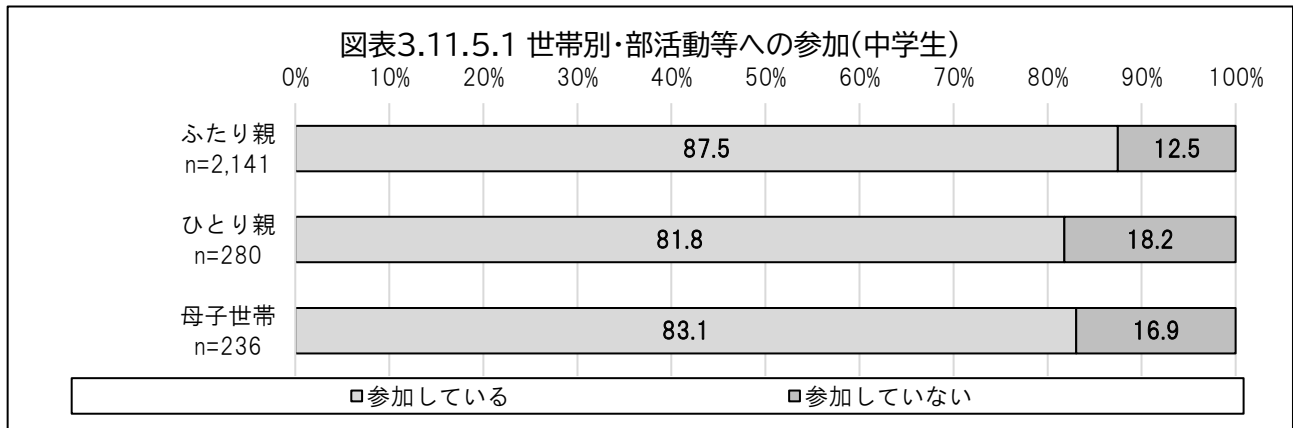
(4)世帯別・小学生（問 11. クラブ活動・部活動等への参加）

クラブ活動・部活動等への参加について、世帯別にみると、小学生では、「参加している」と回答した割合は、全体では 40.6%であったのに対し、ひとり親世帯では 34.8%と低くなっています。また、県調査（38.5%）と比較して低くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 11. クラブ活動・部活動等への参加）

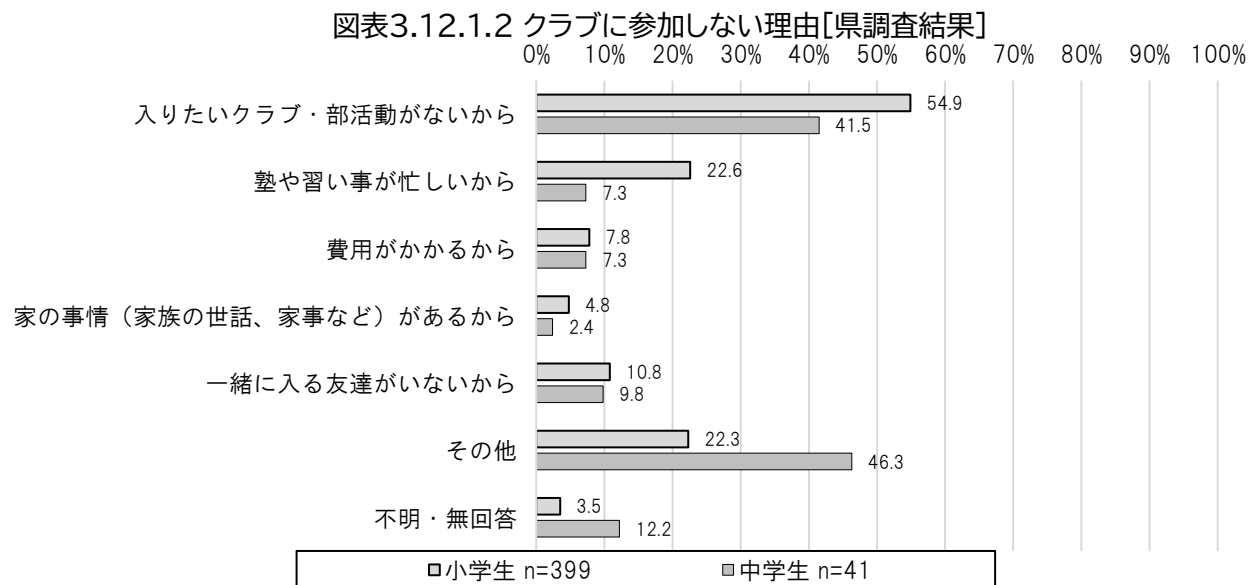
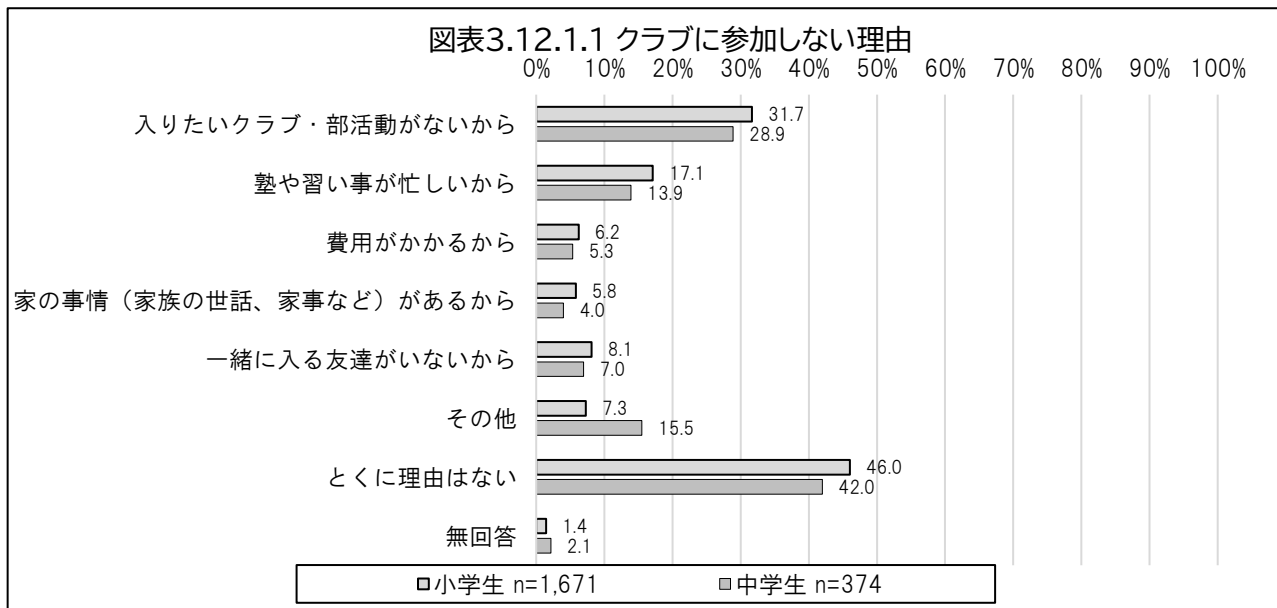
クラブ活動・部活動等への参加について、世帯別にみると、中学生では、「参加している」と回答した割合は、全体では86.1%であったのに対し、ひとり親世帯では81.8%とやや低くなっています。また、県調査（93.3%）と比較して低くなっています。



問12. 前の質問で「参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。

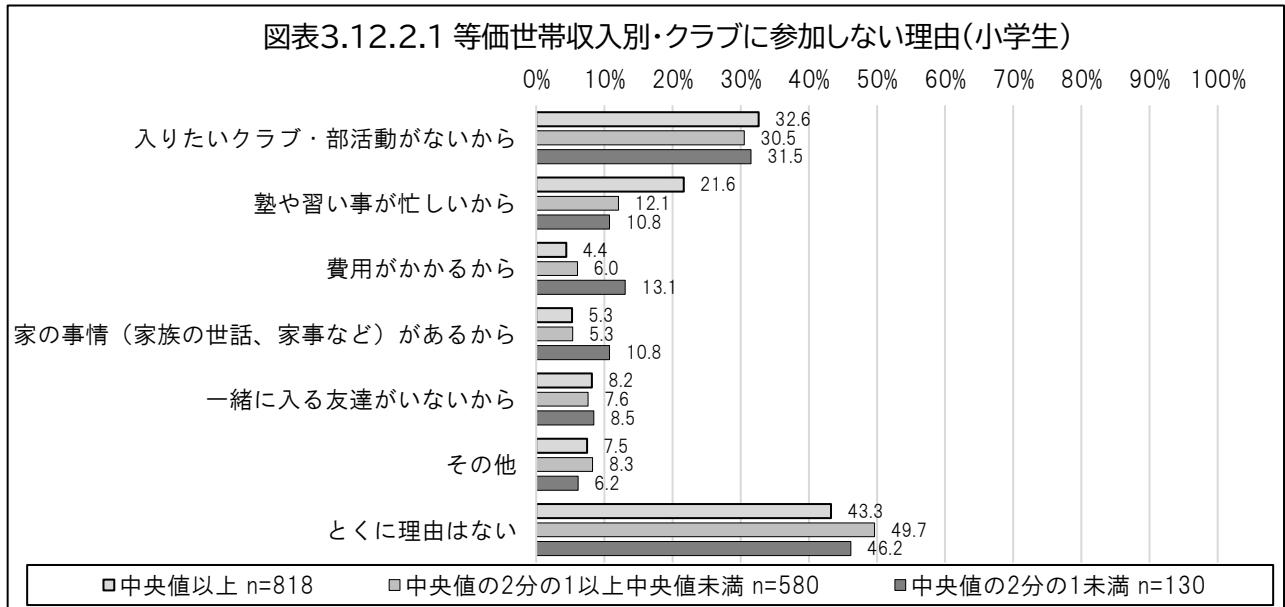
(1)全体

クラブ活動・部活動等に参加していない理由について、小学生・中学生ともに「とくに理由はない」が46.0%、42.0%と最も高くなっています。次いで、小学生は「入りたいクラブ・部活動がないから」が31.7%、「塾や習い事が忙しいから」が17.1%、中学生では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が28.9%、「その他」が15.5%となっています。

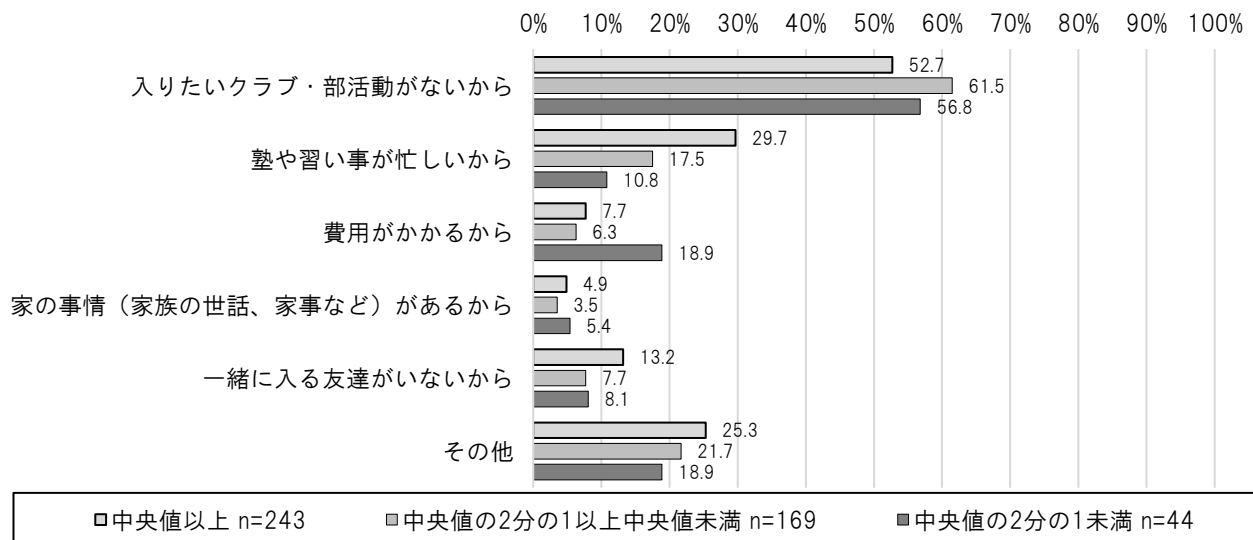


(2)等価世帯収入別・小学生（問 12. クラブ活動・部活動等への参加しない理由）

クラブ活動・部活動等に参加していない理由について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の小学生では、「費用がかかるから」が13.1%、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」が10.8%で、他の世帯と比較して高くなっています。

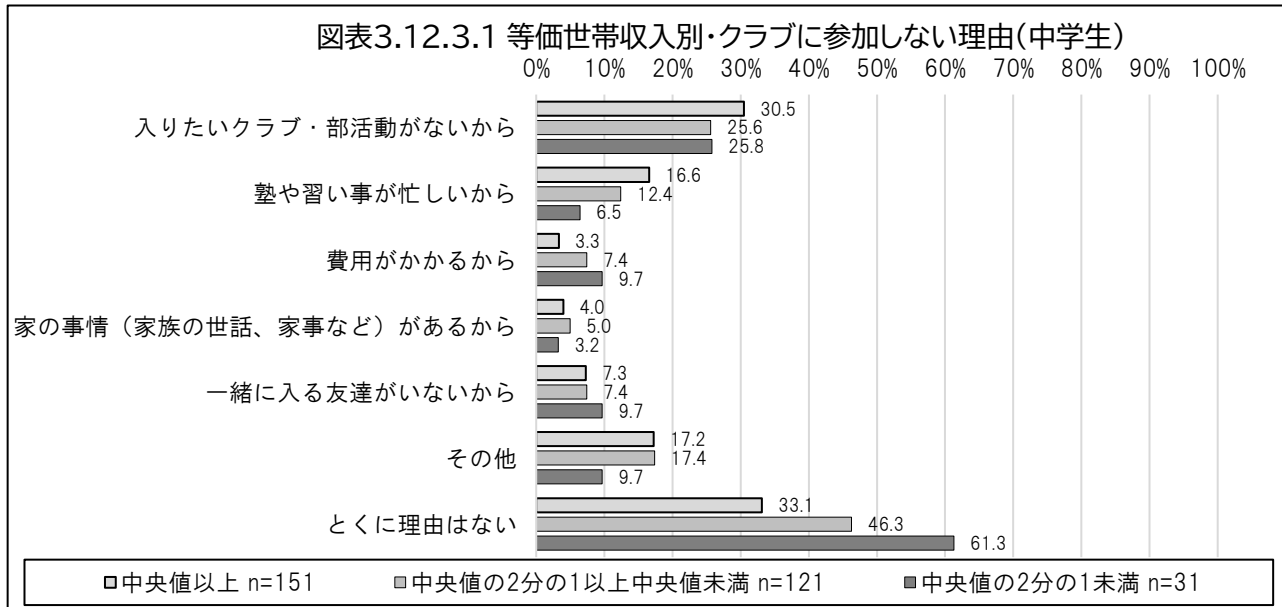


図表3.12.2.2 等価世帯収入別・クラブに参加しない理由(小学生)[県調査結果]

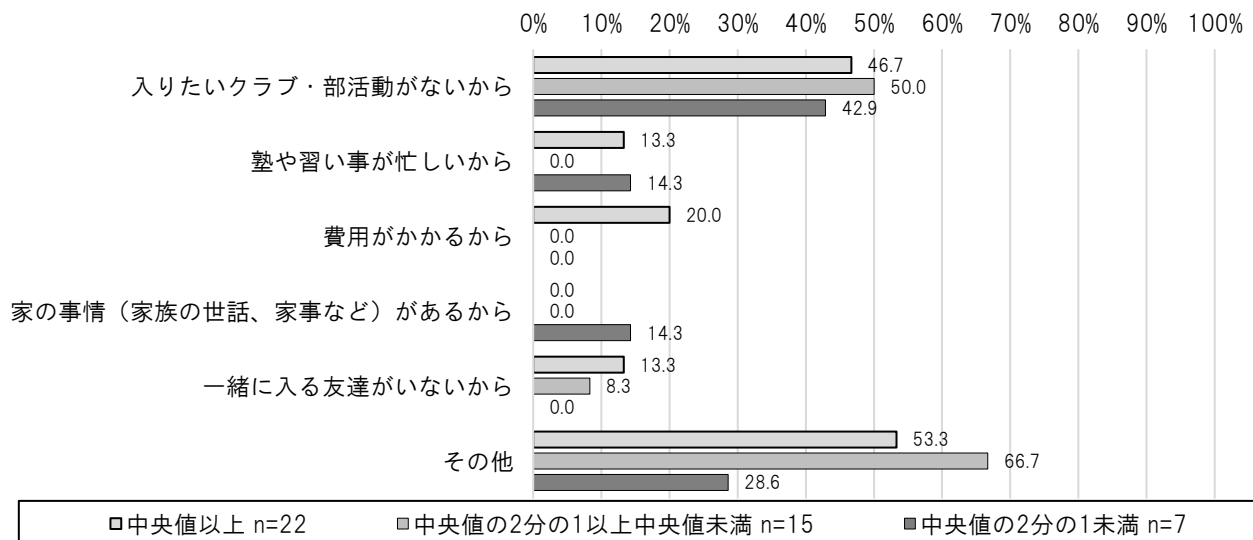


(3)等価世帯収入別・中学生（問 12. クラブ活動・部活動等への参加しない理由）

クラブ活動・部活動等に参加していない理由について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」中学生では、「とくに理由はない」が61.3%、「費用がかかるから」が9.7%、「一緒にいる友達がいないから」が9.7%で、他の世帯と比較して高くなっています。

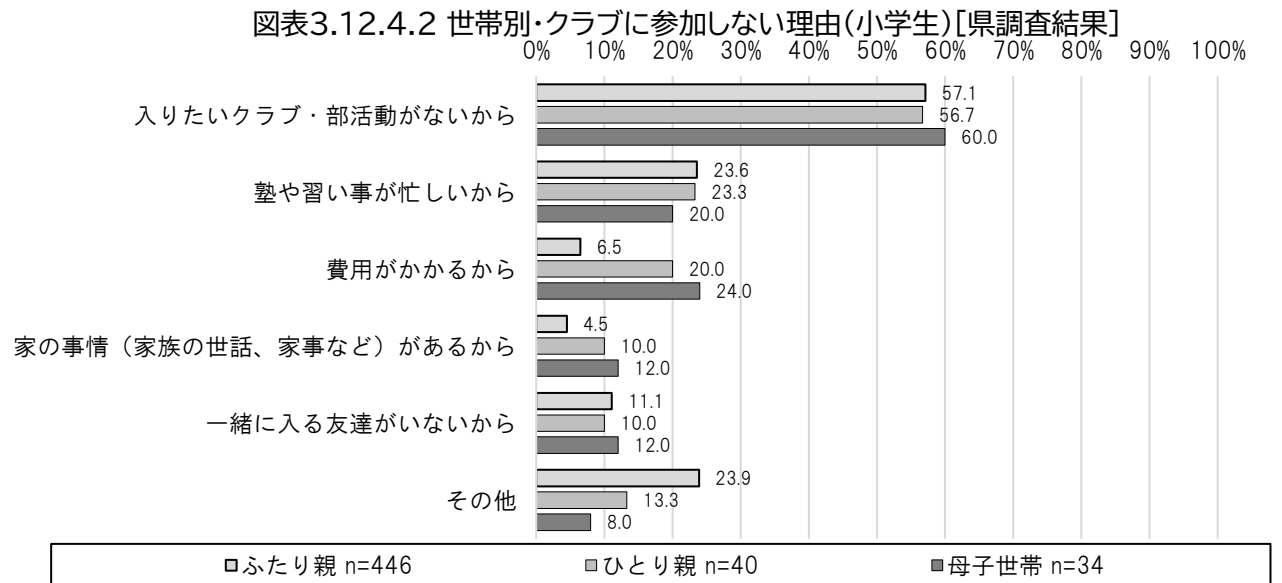
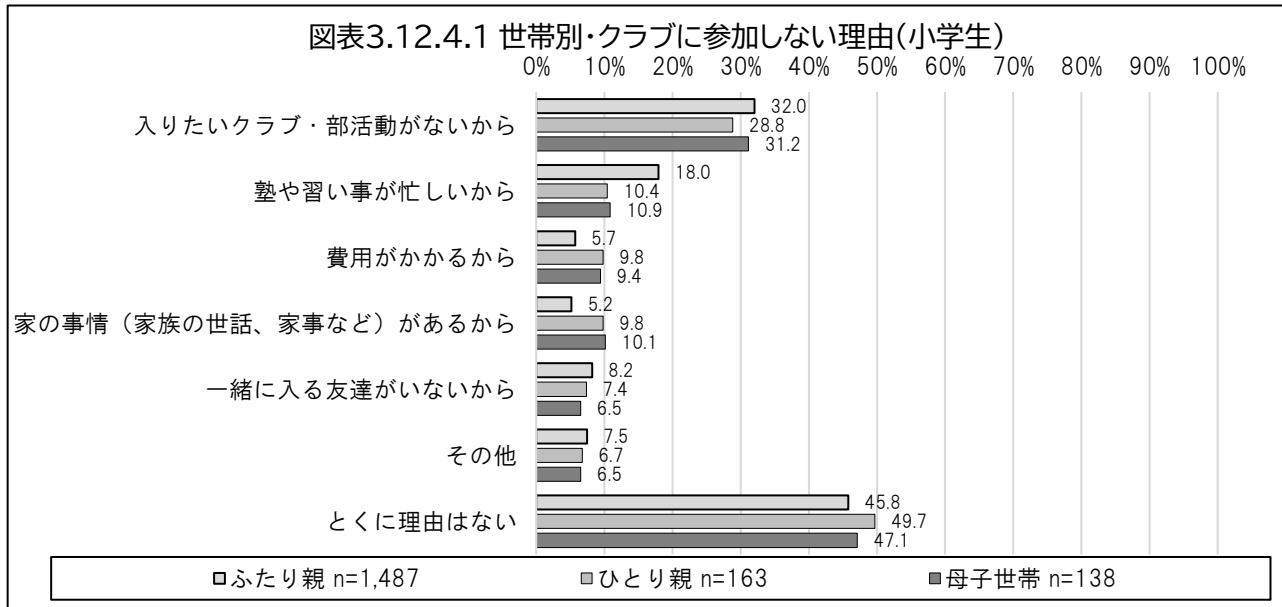


図表3.12.3.2 等価世帯収入別・クラブに参加しない理由(中学生)[県調査結果]



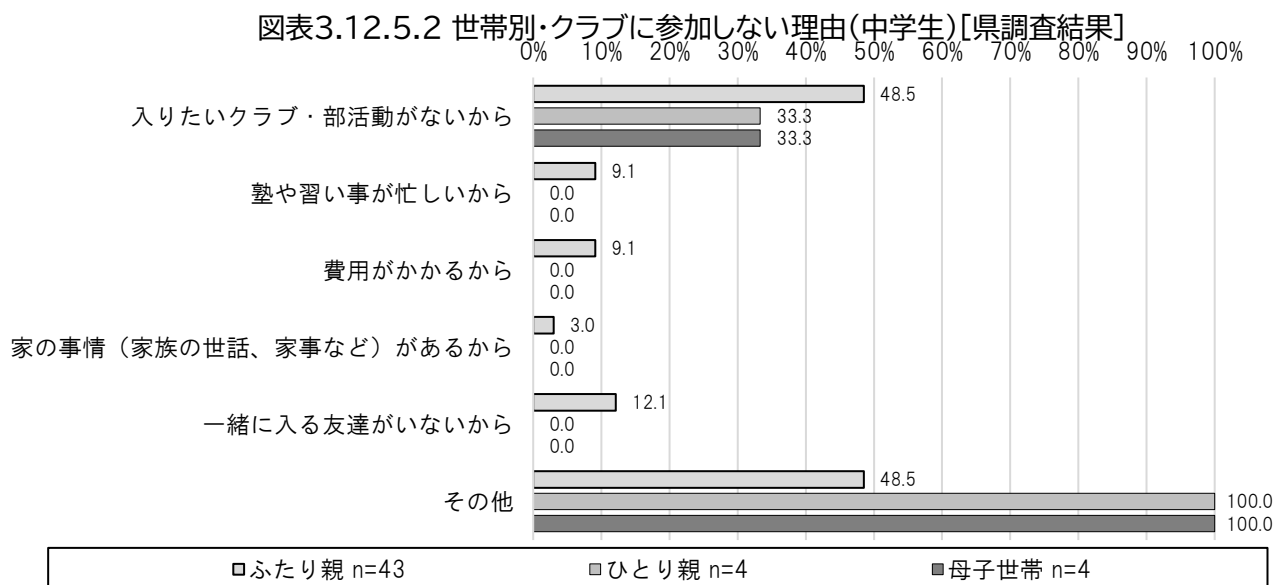
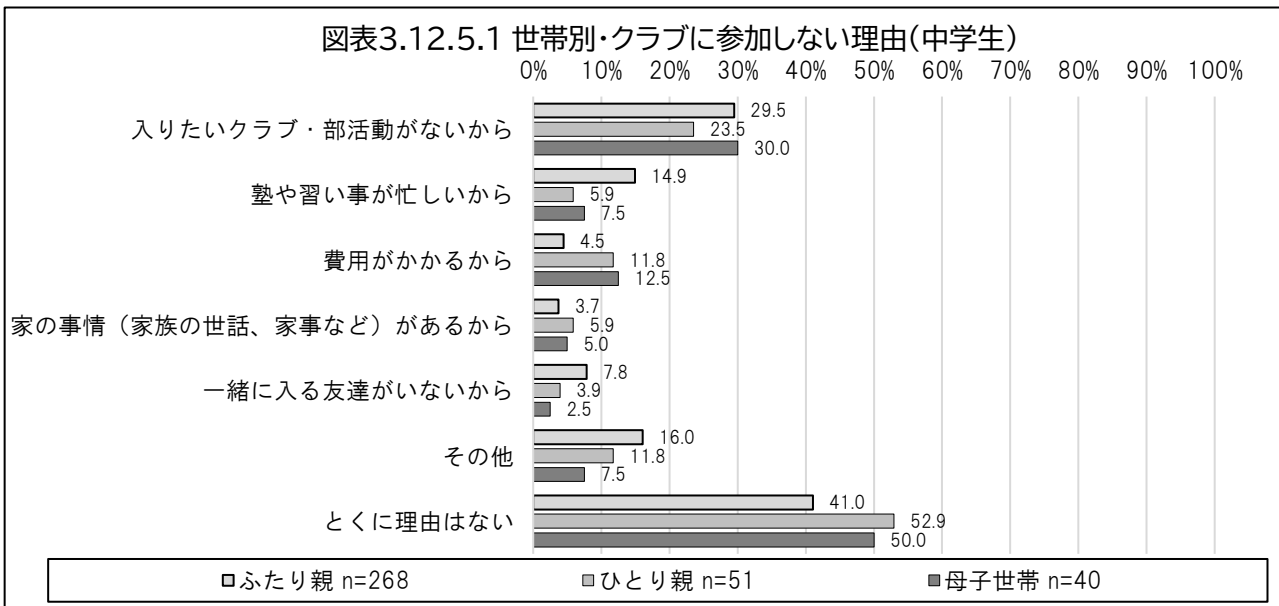
(4)世帯別・小学生（問 12. クラブ活動・部活動等への参加しない理由）

クラブ活動・部活動等に参加していない理由について、世帯別にみると、ひとり親世帯の小学生は、「費用がかかるから」、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」が9.8%と、ふたり親世帯と比較してやや高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 12. クラブ活動・部活動等への参加しない理由）

クラブ活動・部活動等に参加していない理由について、世帯別にみると、ひとり親世帯の中学生は、「とくに理由はない」が52.9%、「費用がかかるから」が11.8%で、ふたり親世帯と比較して高くなっています。

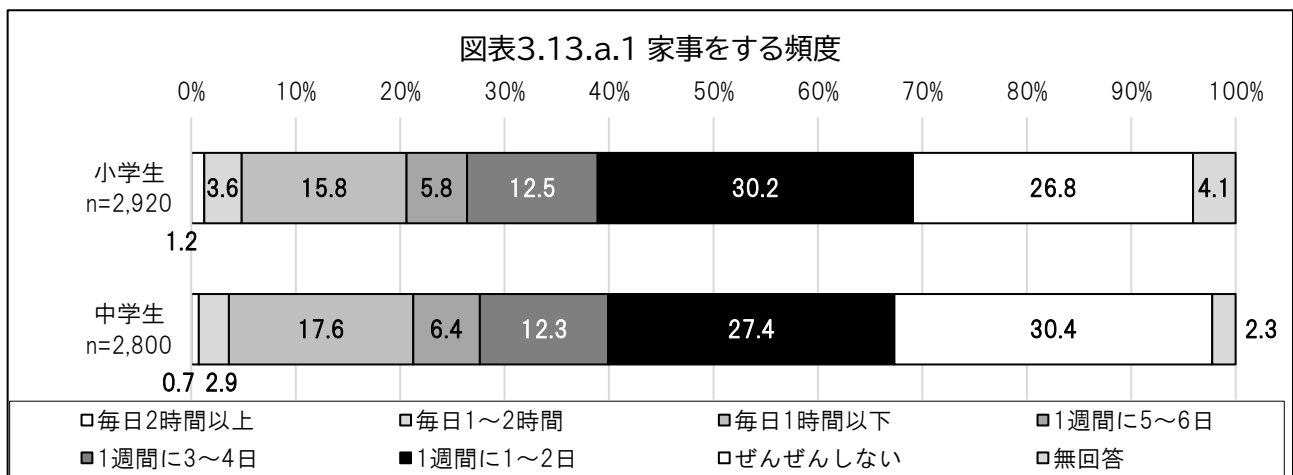


問13. あなたは次の活動をふだんどれくらいしますか。

a) 家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）

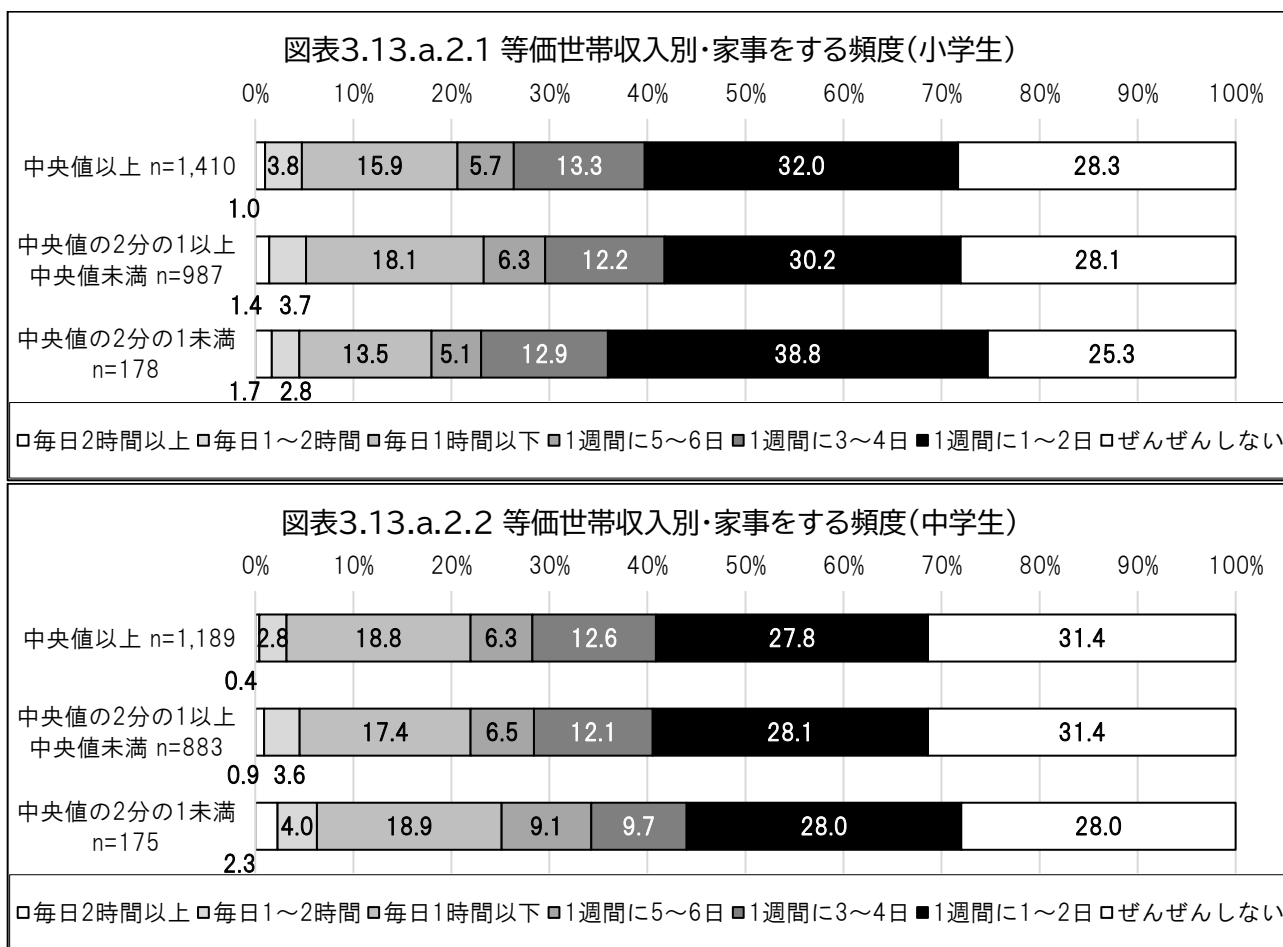
(1)全体

普段家事をする頻度について、小学生では「1週間に1～2日」が30.2%、「ぜんぜんしない」が26.8%、「毎日1時間以下」が15.8%、中学生では「ぜんぜんしない」が30.4%、「1週間に1～2日」が27.4%、「毎日1時間以下」が17.6%となっています。また、「毎日する」と回答した割合（「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計）は、小学生が20.6%、中学生が21.2%となっています。



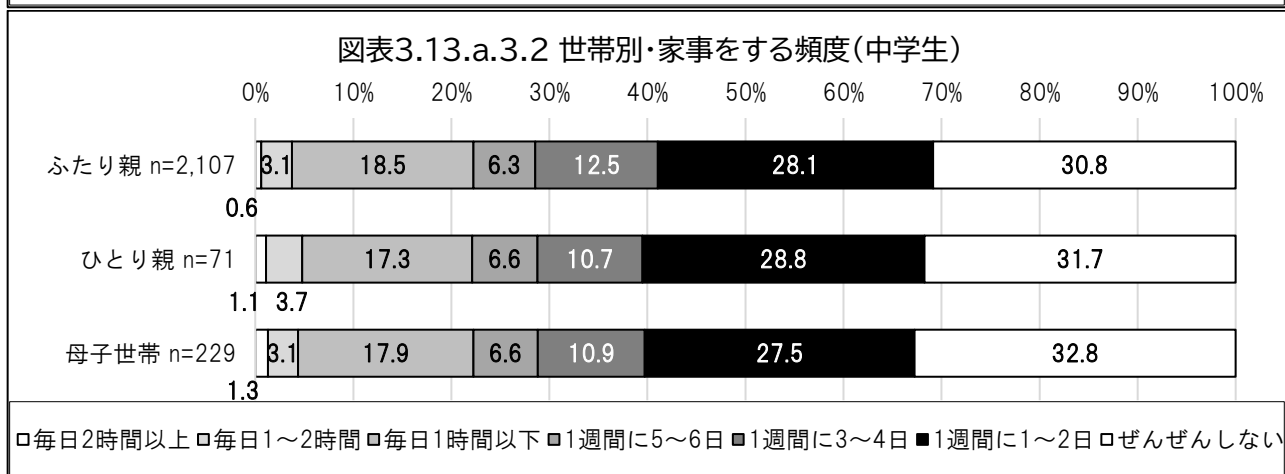
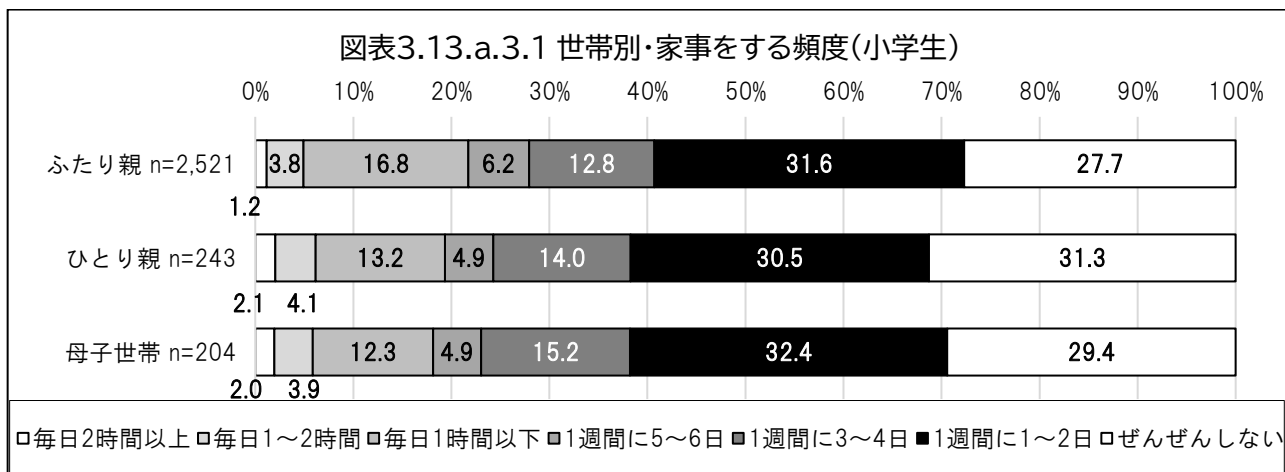
(2)等価世帯収入別

普段家事をする頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生では、いずれの水準においても「1週間に1～2日」が32.0%、30.2%、38.8%と最も高くなっています。中学生は、「中央値以上」と「中低位の水準の世帯（中央値2分の1以上中央値未満）」では、「ぜんぜんしない」が31.4%と最も高く、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「1週間に1～2日」、「ぜんぜんしない」が28.0%と最も高くなっています。また、「毎日する」（「毎日2時間以上」と「毎日1～2時間」と「毎日1時間以下」の合計）と回答した割合は、全体では小学生が20.6%、中学生が21.2%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が18.0%、中学生が25.2%となっています。



(3)世帯別

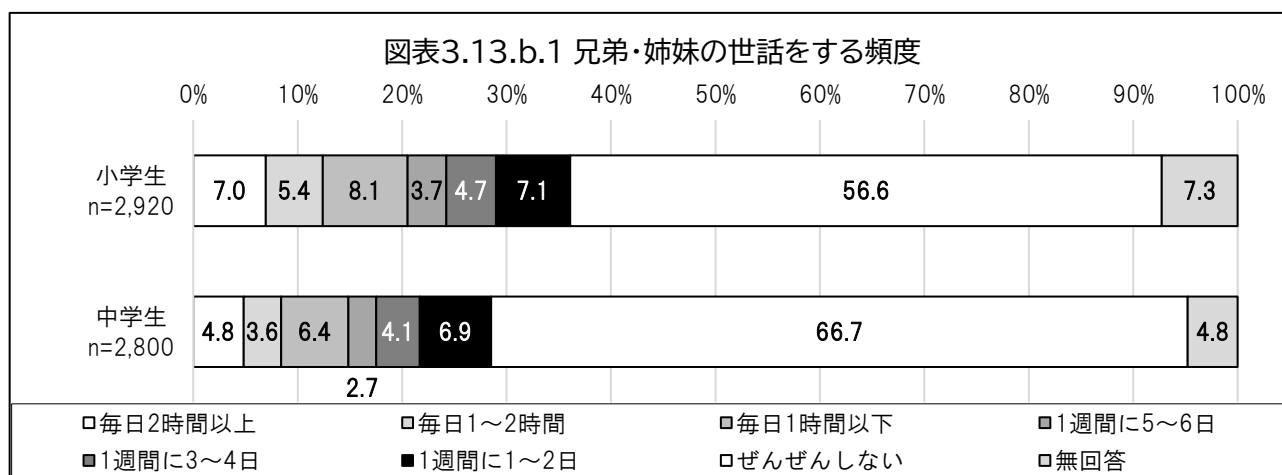
普段家事をする頻度について、世帯別にみると、小学生では、ふたり親世帯と母子世帯では「1週間に1～2日」が31.6%、32.4%、ひとり親世帯では「ぜんぜんしない」が31.3%と最も高くなっています。中学生では、ふたり親世帯・ひとり親世帯ともに「ぜんぜんしない」がそれぞれ30.8%、31.7%と最も高くなっています。また、「毎日する」と回答した割合（「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計）は、全体では小学生が20.6%、中学生が21.2%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生が19.4%、中学生が22.1%となっています。



b) 兄弟・姉妹の世話

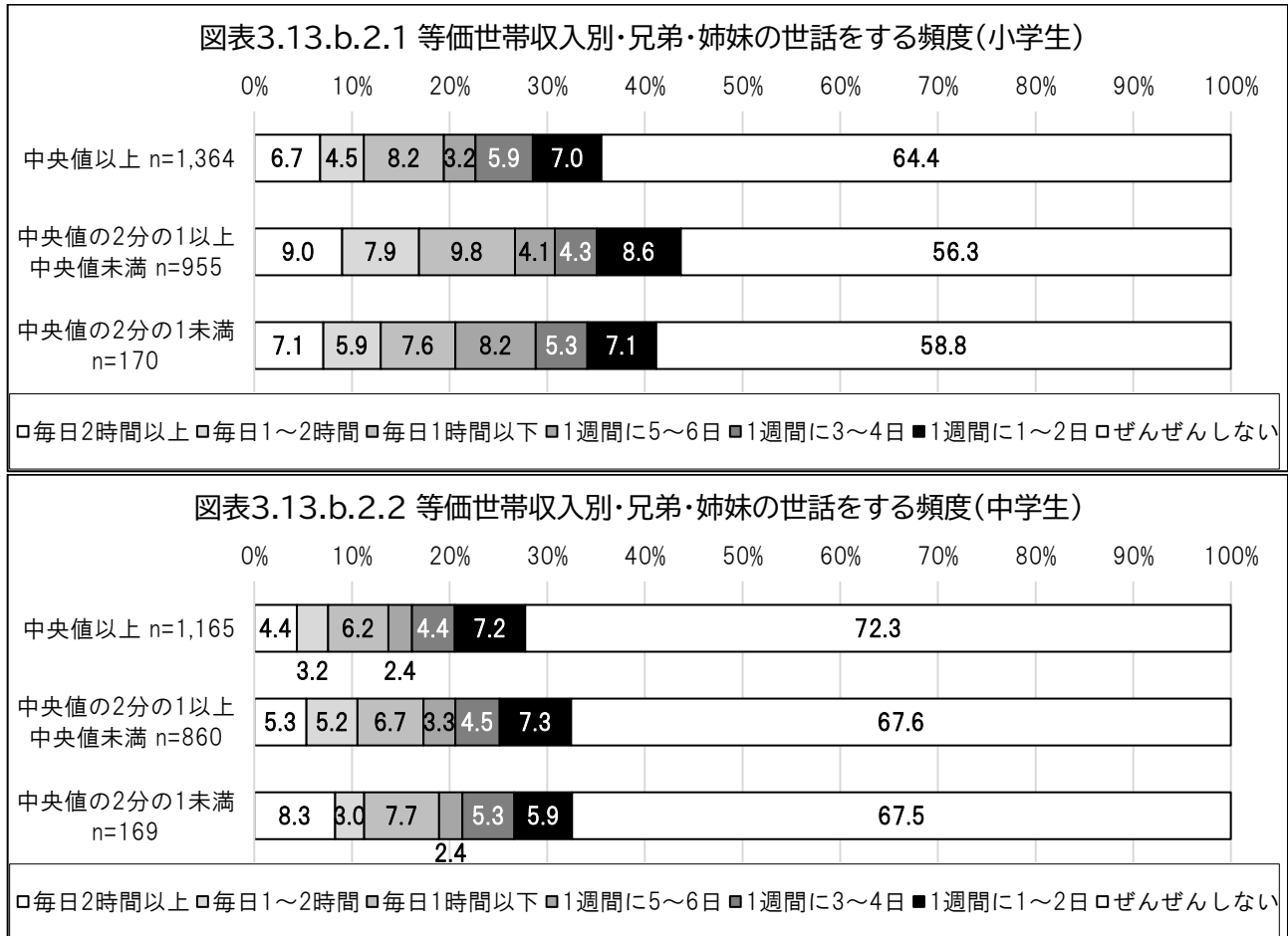
(1)全体

普段兄弟・姉妹の世話をする頻度について、小学生・中学生ともに、「ぜんぜんしない」が56.6%、66.7%と最も高く、次いで、小学生では「毎日1時間以下」が8.1%、中学生では「1週間に1～2日」が6.9%となっています。また、「毎日する」と回答した割合（「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計）は、小学生が20.5%、中学生が14.8%となっています。



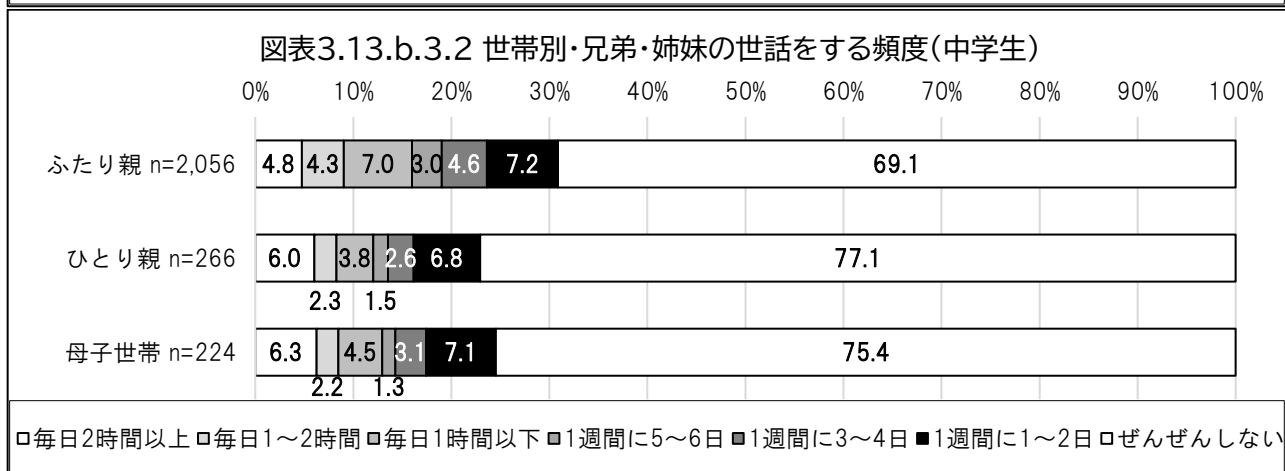
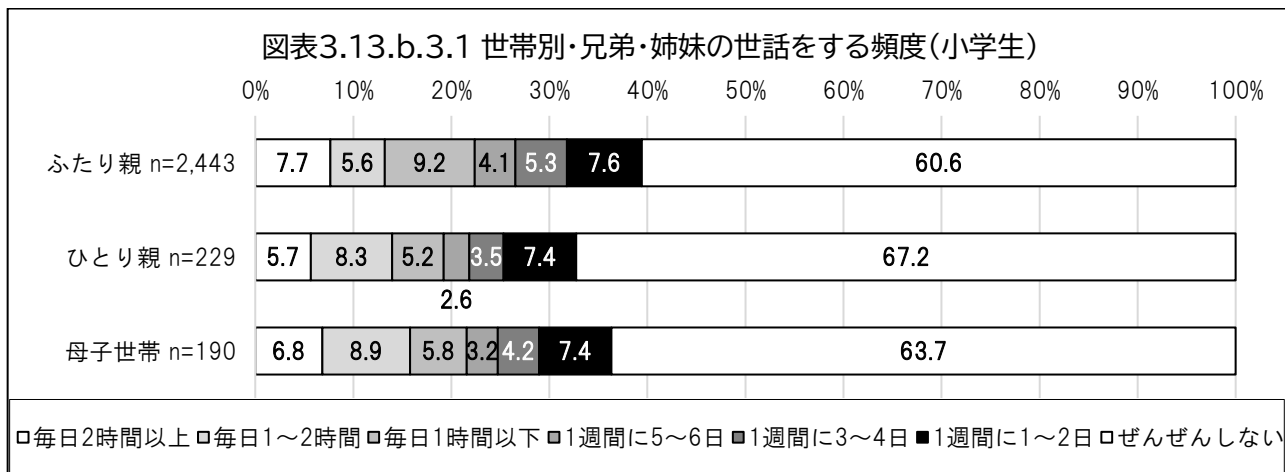
(2)等価世帯収入別

普段兄弟・姉妹の世話をする頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「ぜんぜんしない」が最も高くなっています（小学生64.4%、56.3%、58.8%、中学生72.3%、67.6%、67.5%）。また、「毎日する」と回答した割合（「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計）は、全体では小学生が20.5%、中学生が14.8%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が20.6%、中学生が19.0%となっています。



(3)世帯別

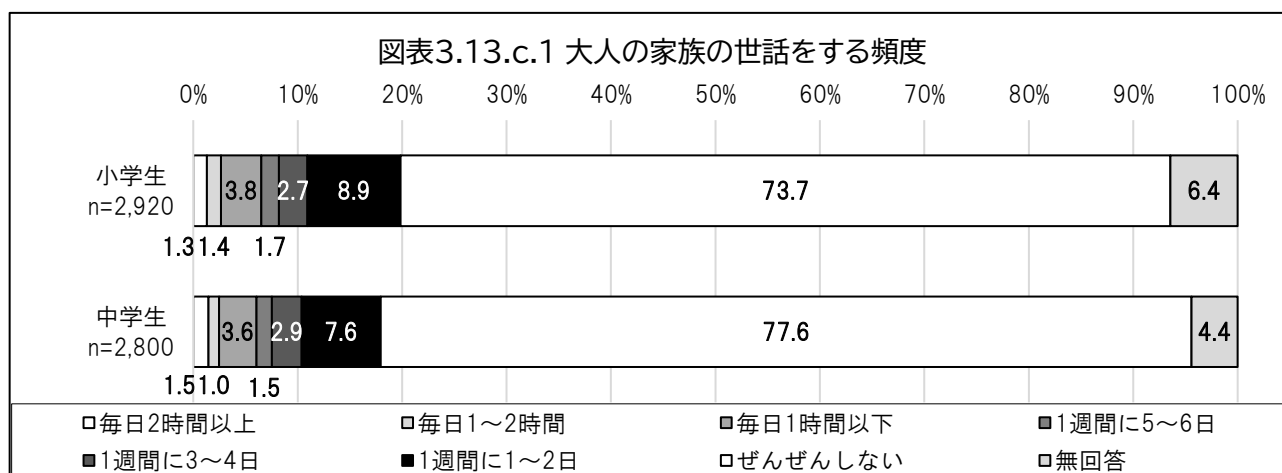
普段兄弟・姉妹の世話をする頻度について、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「ぜんぜんしない」が最も高くなっています(小学生 60.6%、67.2%、63.7%、中学生 69.1%、77.1%、75.4%)。また、「毎日する」と回答した割合(「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計)は、全体では小学生が 20.5%、中学生が 14.8%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生が 19.2%、中学生が 12.1%となっています。



c) 親や祖父母など大人の家族の世話

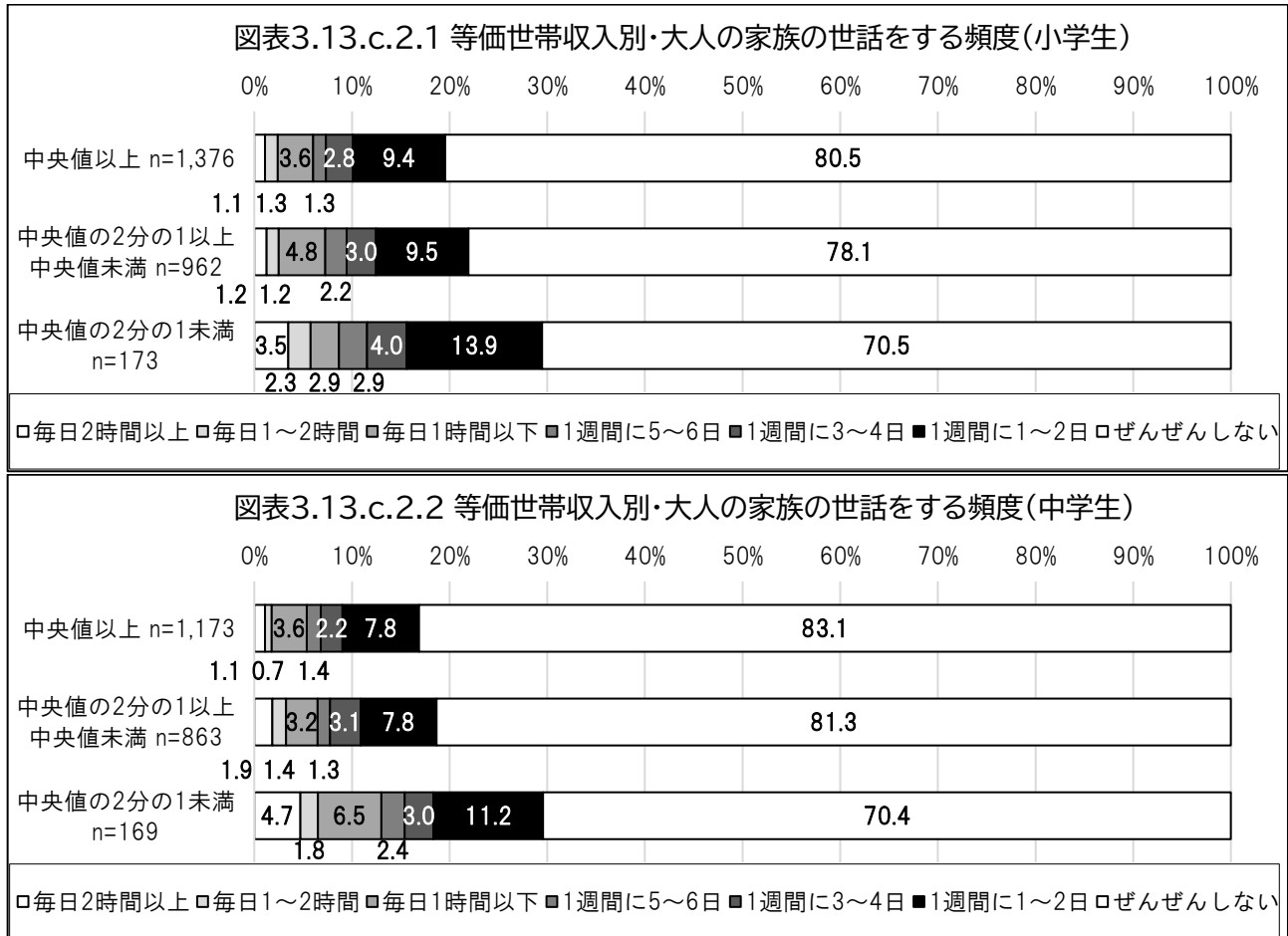
(1)全体

普段大人の家族の世話をする頻度について、小学生・中学生ともに「ぜんぜんしない」が73.7%、77.6%と最も高く、次いで「1週間に1～2日」が8.9%、7.6%となっています。また、「毎日する」と回答した割合（「毎日2時間以上」と「毎日1～2時間」と「毎日1時間以下」の合計）は、小学生が6.5%、中学生が6.1%となっています。



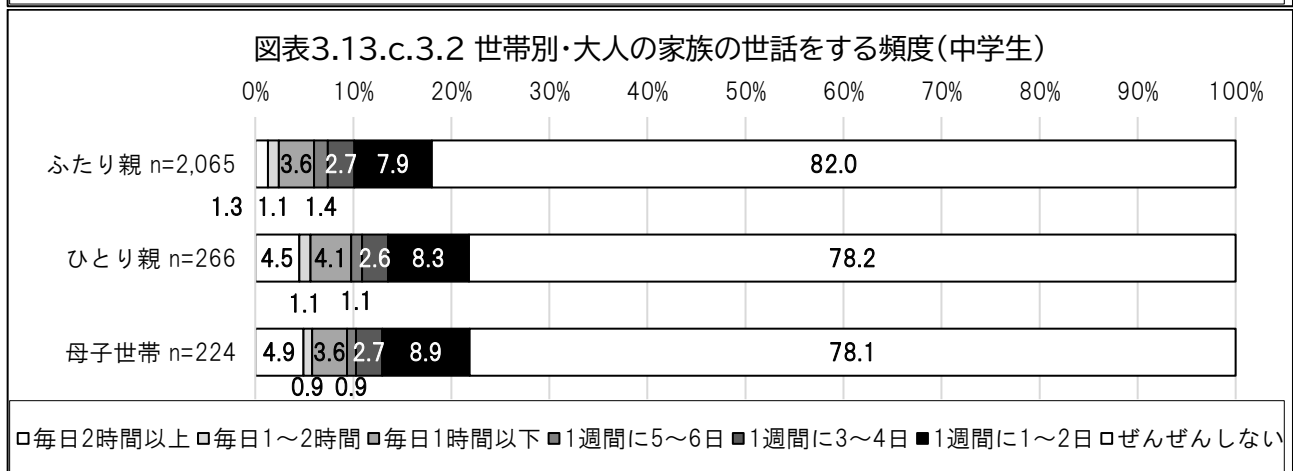
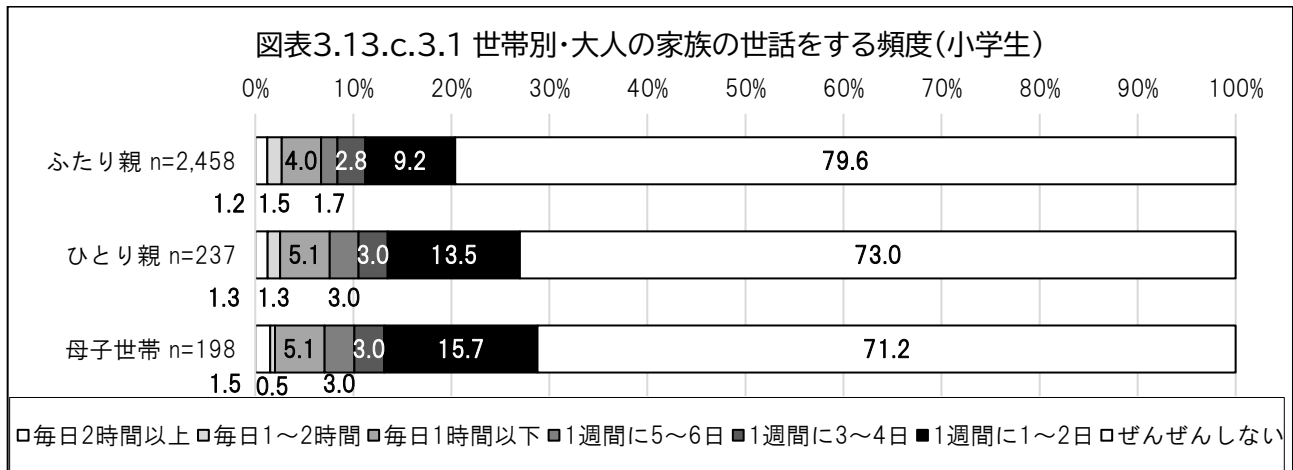
(2)等価世帯収入別

普段大人の家族の世話をする頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「ぜんぜんしない」が最も高くなっています（小学生 80.5%、78.1%、70.5%、中学生 83.1%、81.3%、70.4%）。また、「毎日する」と回答した割合（「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計）は、全体では小学生が6.5%、中学生が6.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が8.7%、中学生が13.0%となっています。



(3)世帯別

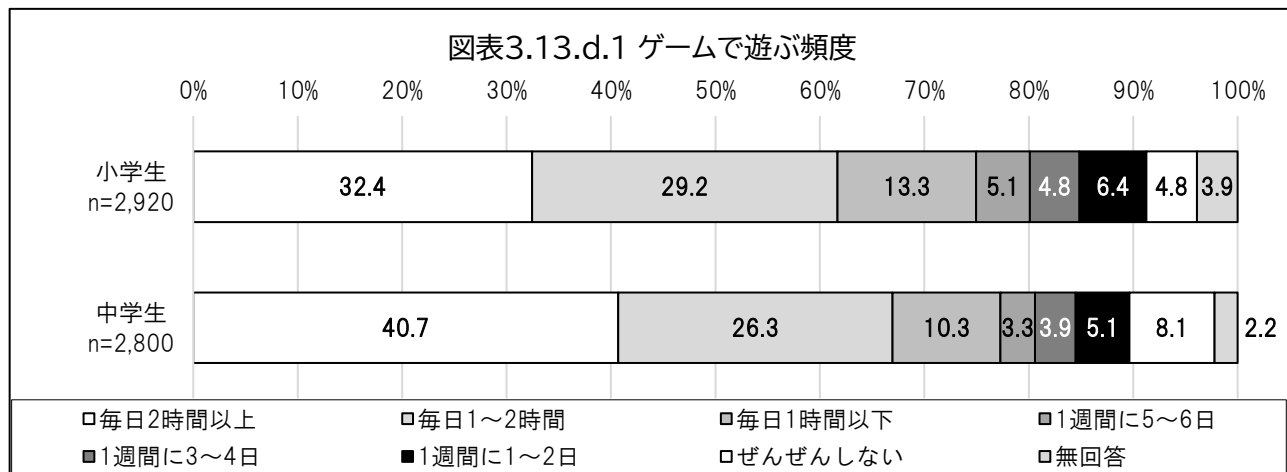
普段大人の家族の世話をする頻度について、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「ぜんぜんしない」が最も高くなっています(小学生 79.6%、73.0%、71.2%、中学生 82.0%、78.2%、78.1%)。また、「毎日する」と回答した割合(「毎日2時間以上」「毎日1～2時間」「毎日1時間以下」の合計)は、全体では小学生が6.5%、中学生が6.1%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生が7.7%、中学生が9.7%となっています。



d) ゲームで遊ぶ（パソコン、スマホ、タブレットを含む）

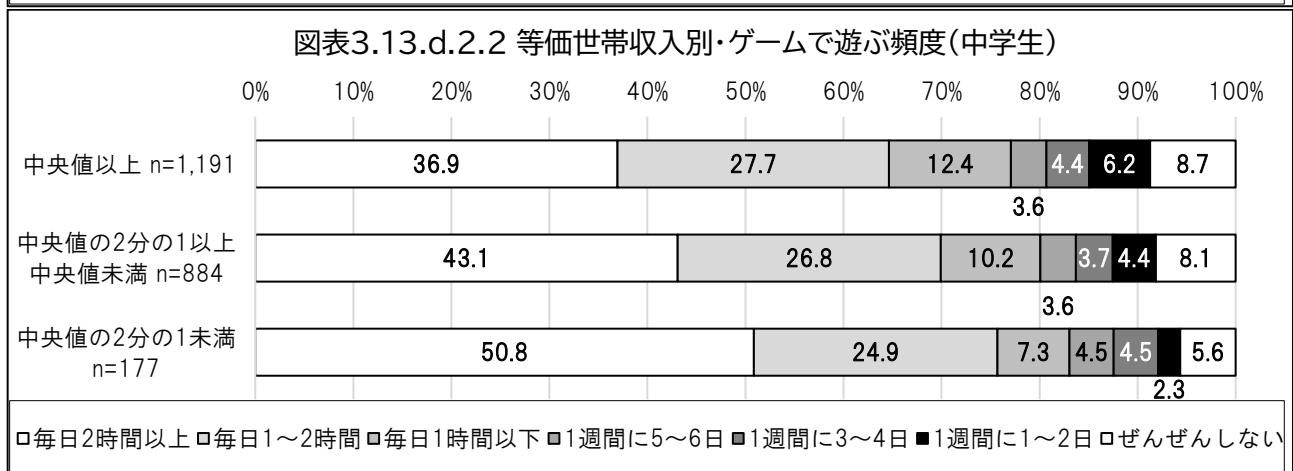
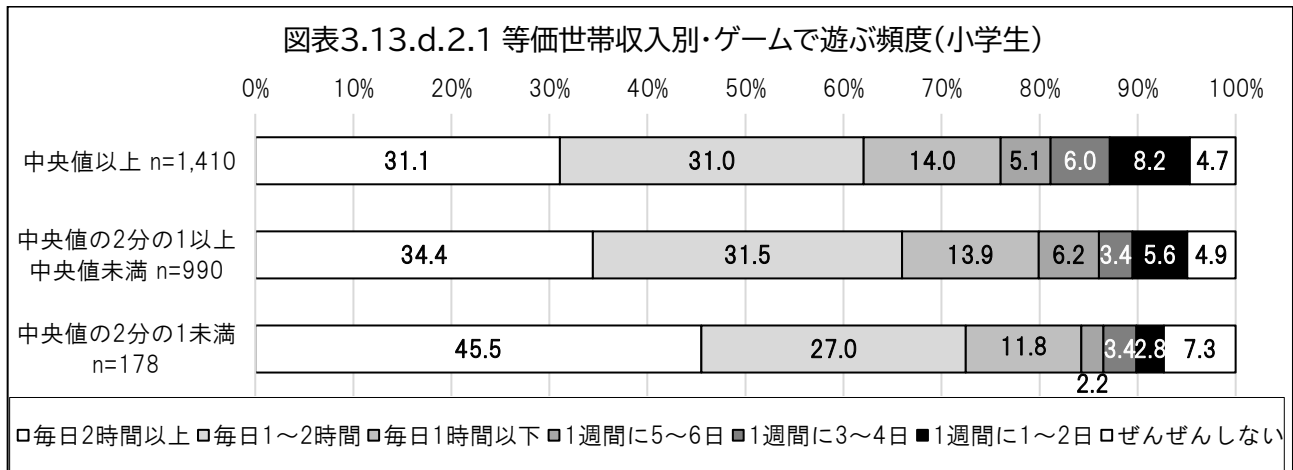
(1)全体

普段ゲームで遊ぶ頻度について、小学生・中学生ともに、「毎日2時間以上」が32.4%、40.7%が最も高く、次いで「毎日1～2時間」が29.2%、26.3%、「毎日1時間以下」が13.3%、10.3%となっています。



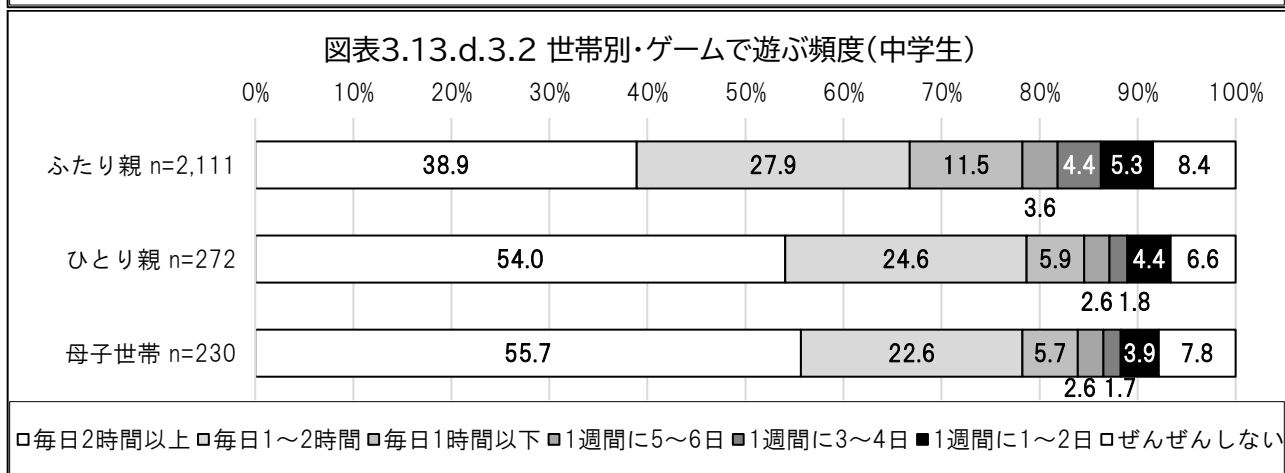
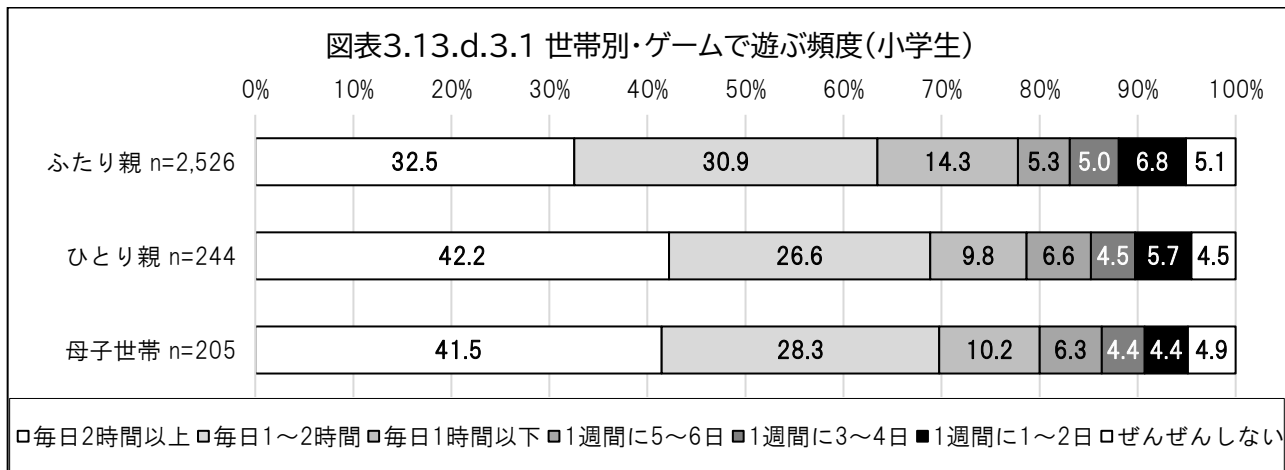
(2)等価世帯収入別

普段ゲームで遊ぶ頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「毎日2時間以上」が最も高くなっています（小学生31.1%、34.4%、45.5%、中学生36.9%、43.1%、50.8%）。また、「毎日2時間以上」と回答した割合は、全体では小学生が32.4%、中学生が40.7%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が45.5%、中学生が50.8%と高くなっています。



(3)世帯別

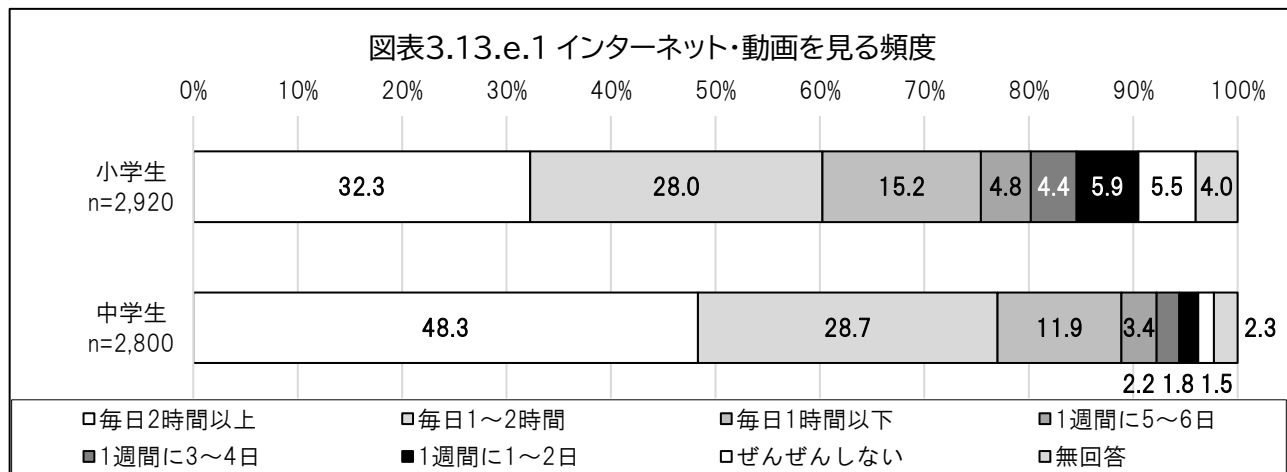
普段ゲームで遊ぶ頻度について、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「毎日2時間以上」が最も高くなっています（小学生 32.5%、42.2%、41.5%、中学生 38.9%、54.0%、55.7%）。また、「毎日2時間以上」と回答した割合は、全体では小学生が32.4%、中学生が40.7%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生が42.2%、中学生が54.0%と高くなっています。



e) インターネット・動画を見る

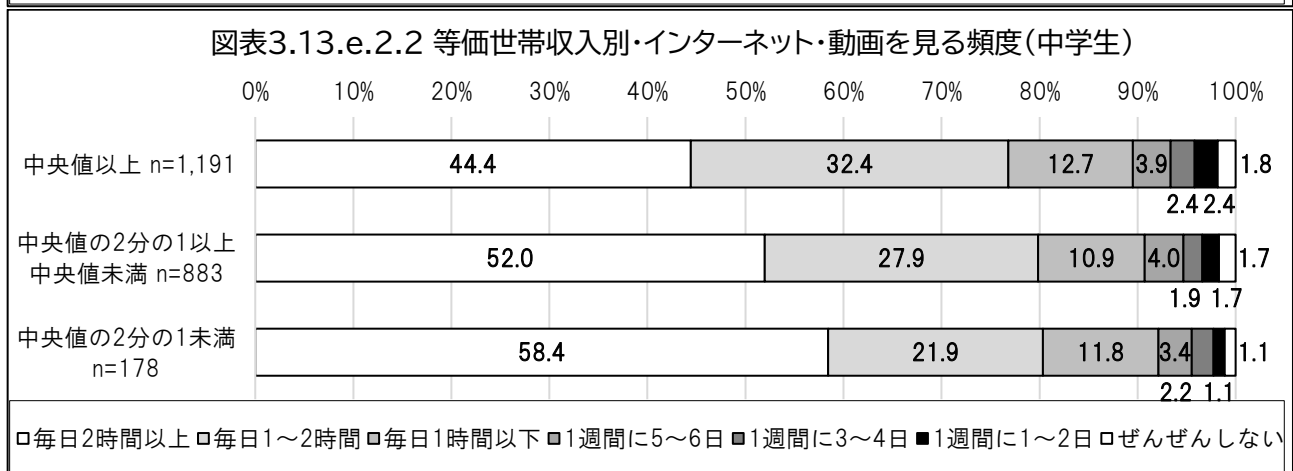
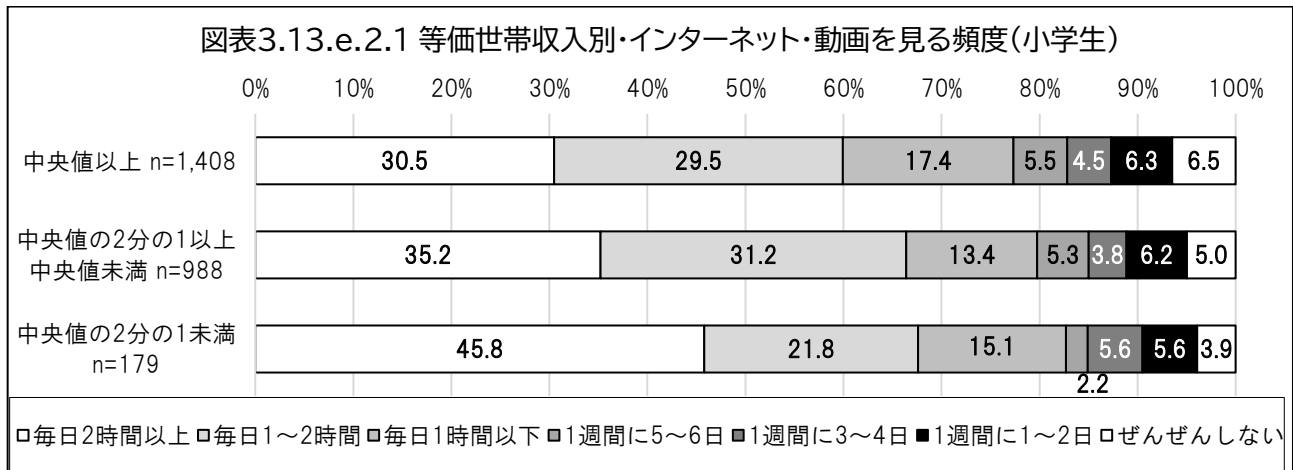
(1)全体

普段インターネット・動画を見る頻度について、小学生・中学生ともに、「毎日2時間以上」が32.3%、48.3%が最も高く、次いで「毎日1～2時間」が28.0%、28.7%、「毎日1時間以下」が15.2%、11.9%となっています。



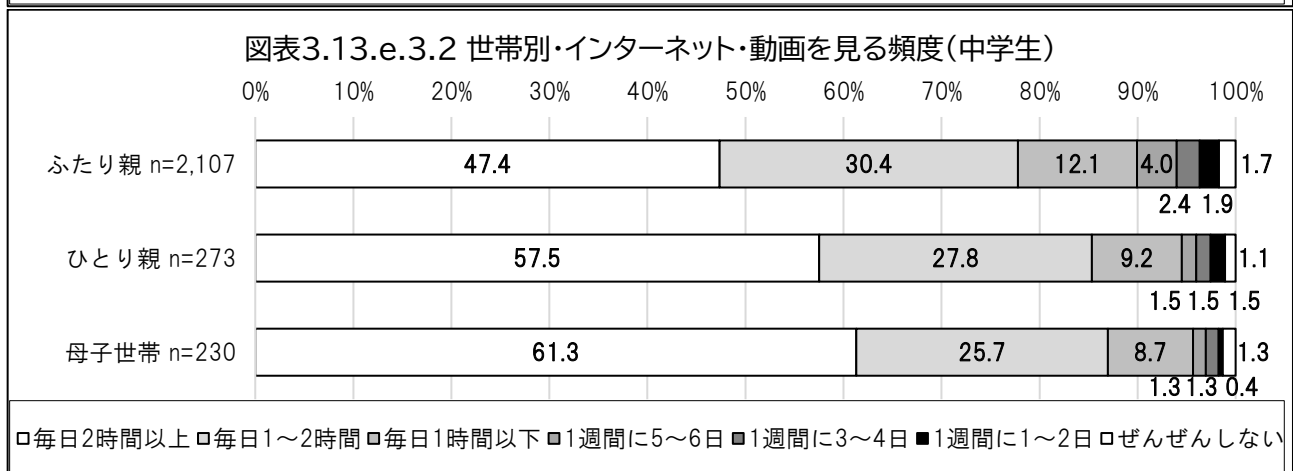
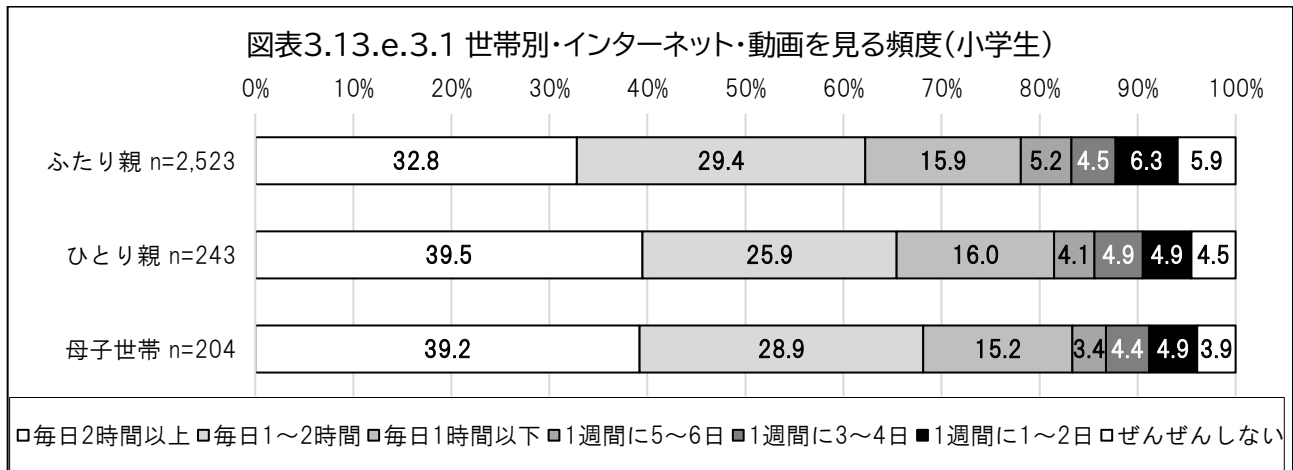
(2)等価世帯収入別

普段インターネット・動画を見る頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの水準においても「毎日2時間以上」が最も高くなっています（小学生30.5%、35.2%、45.8%、中学生44.4%、52.0%、58.4%）。また、「毎日2時間以上」と回答した割合は、全体では小学生が32.3%、中学生が48.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が45.8%、中学生が58.4%と高くなっています。



(3)世帯別

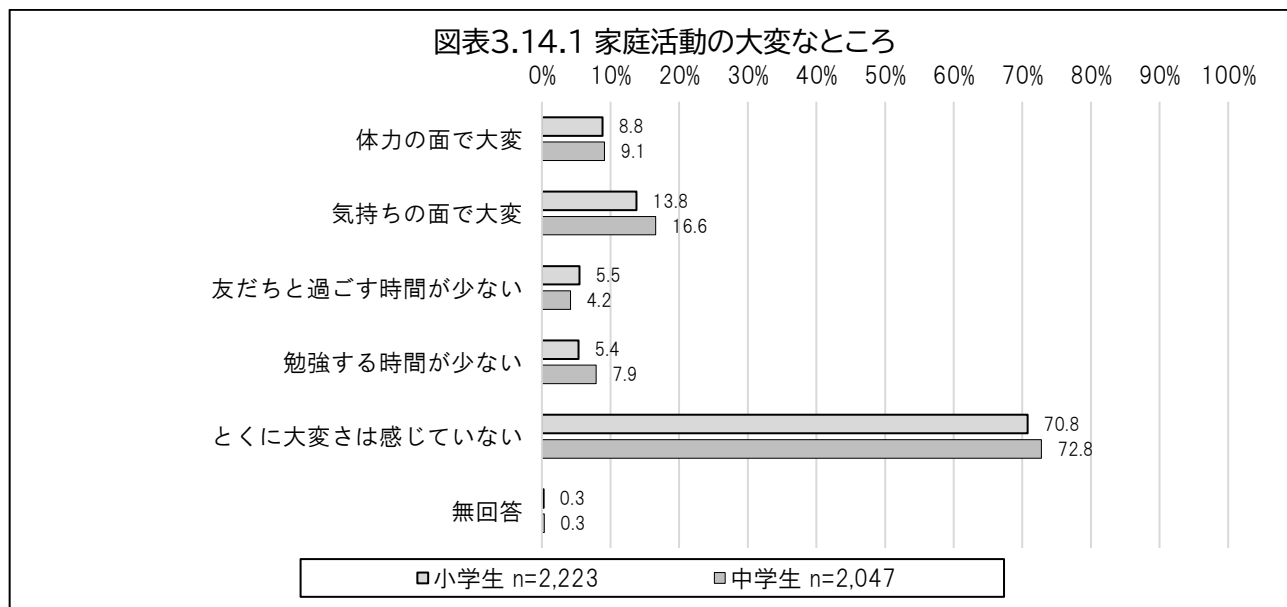
普段インターネット・動画を見る頻度について、世帯別にみると、小学生・中学生ともに、いずれの世帯においても「毎日2時間以上」が最も高くなっています（小学生32.8%、39.5%、39.2%、中学生47.4%、57.5%、61.3%）。また、「毎日2時間以上」と回答した割合は、全体では小学生が32.3%、中学生が48.3%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生が39.5%、中学生が57.5%と高くなっています。



問14. あなたは、前の質問の a~c の活動に大変さを感じていますか。

(1)全体

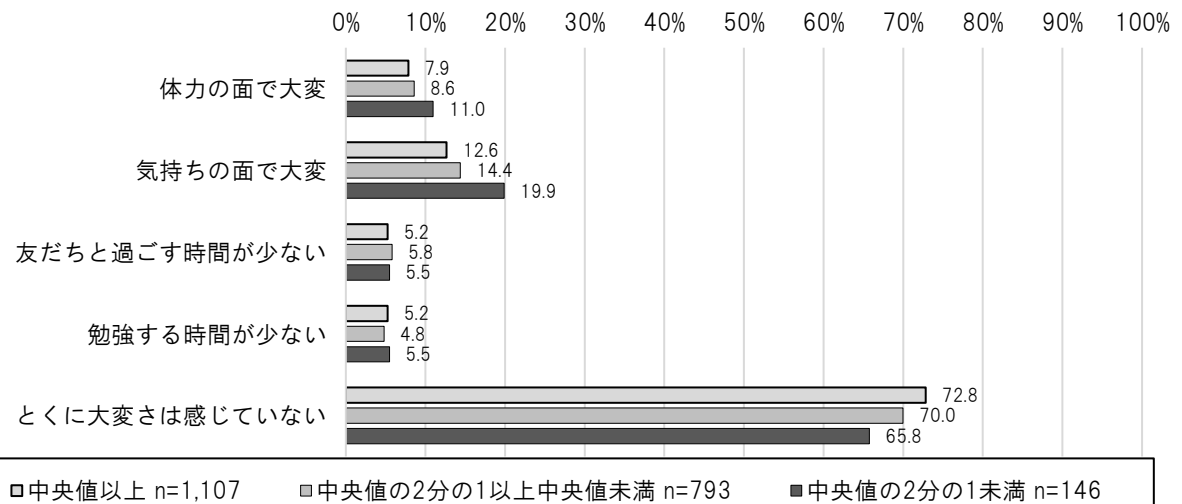
家庭活動の大変なところについて、小学生・中学生ともに「とくに大変さは感じていない」が70.8%、72.8%と最も高く、次いで「気持ちの面で大変」が13.8%、16.6%、「体力の面で大変」が8.8%、9.1%となっています。



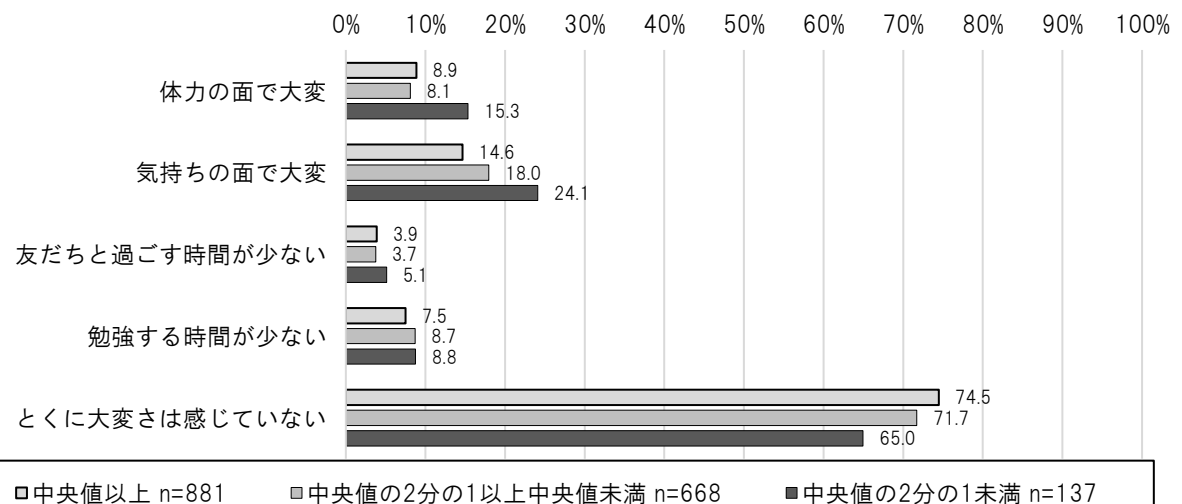
(2)等価世帯収入別

家庭活動の大変なところについて、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、「気持ちの面で大変」と回答した割合は小学生が19.9%、中学生が24.1%、「体力の面で大変」は小学生が11.0%、中学生が15.3%と、「中央値以上」「中央値の2分の1以上中央値未満」と比較して高くなっています。

図表3.14.2.1 等価世帯収入別・家庭活動の大変さ(小学生)



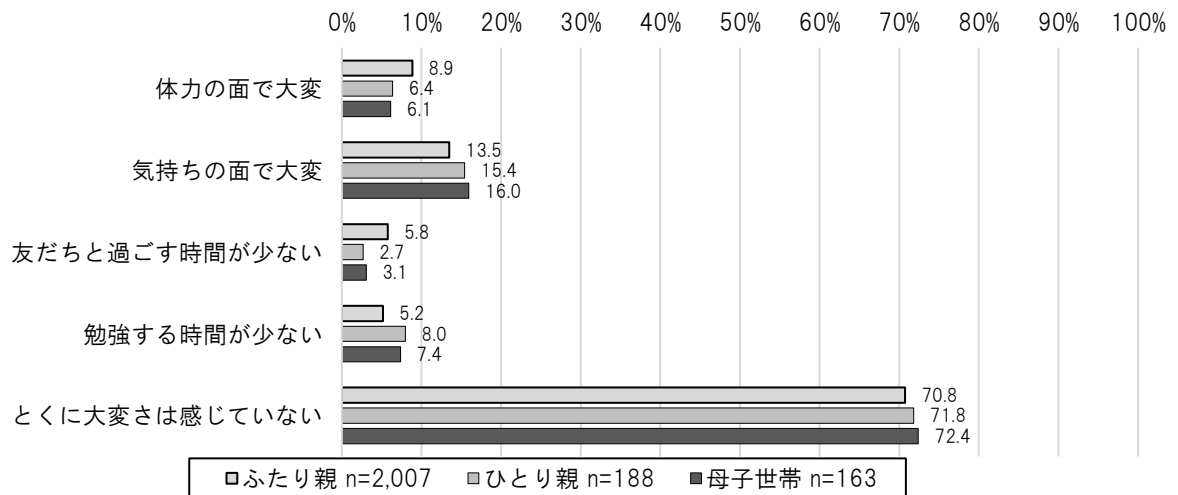
図表3.14.2.2 等価世帯収入別・家庭活動の大変さ(中学生)



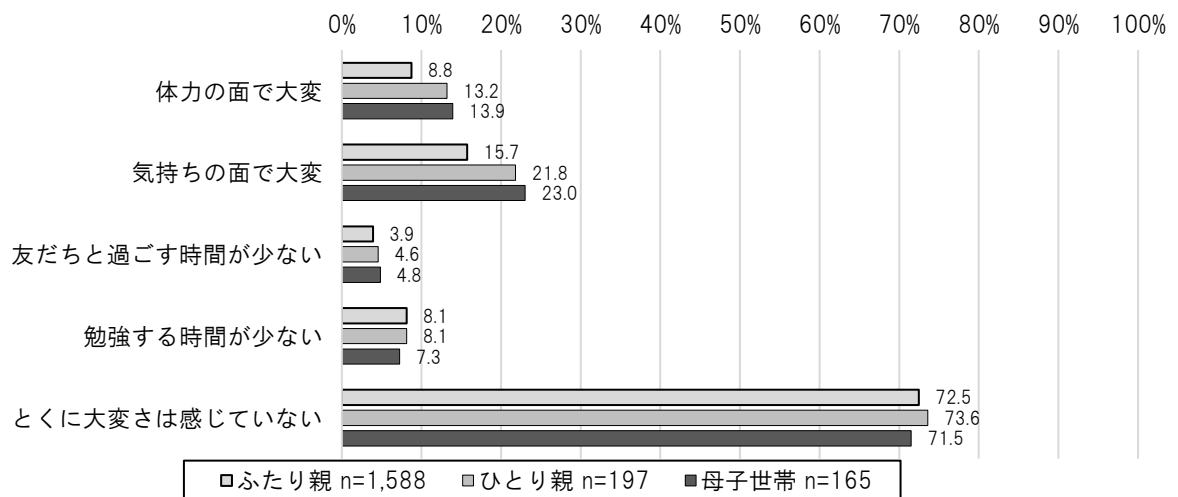
(3)世帯別

家庭活動の大変なところについて、世帯別にみると、ひとり親世帯では、「気持ちの面で大変」と回答した割合は小学生が15.4%、中学生が21.8%と、「ふたり親」と比較してやや高くなっています。「体力の面で大変」は小学生が6.4%で、「ふたり親」と比較してやや低くなっている一方、中学生が13.2%で、「ふたり親」と比較してやや高くなっています。

図表3.14.3.1 世帯別・家庭活動の大変さ(小学生)

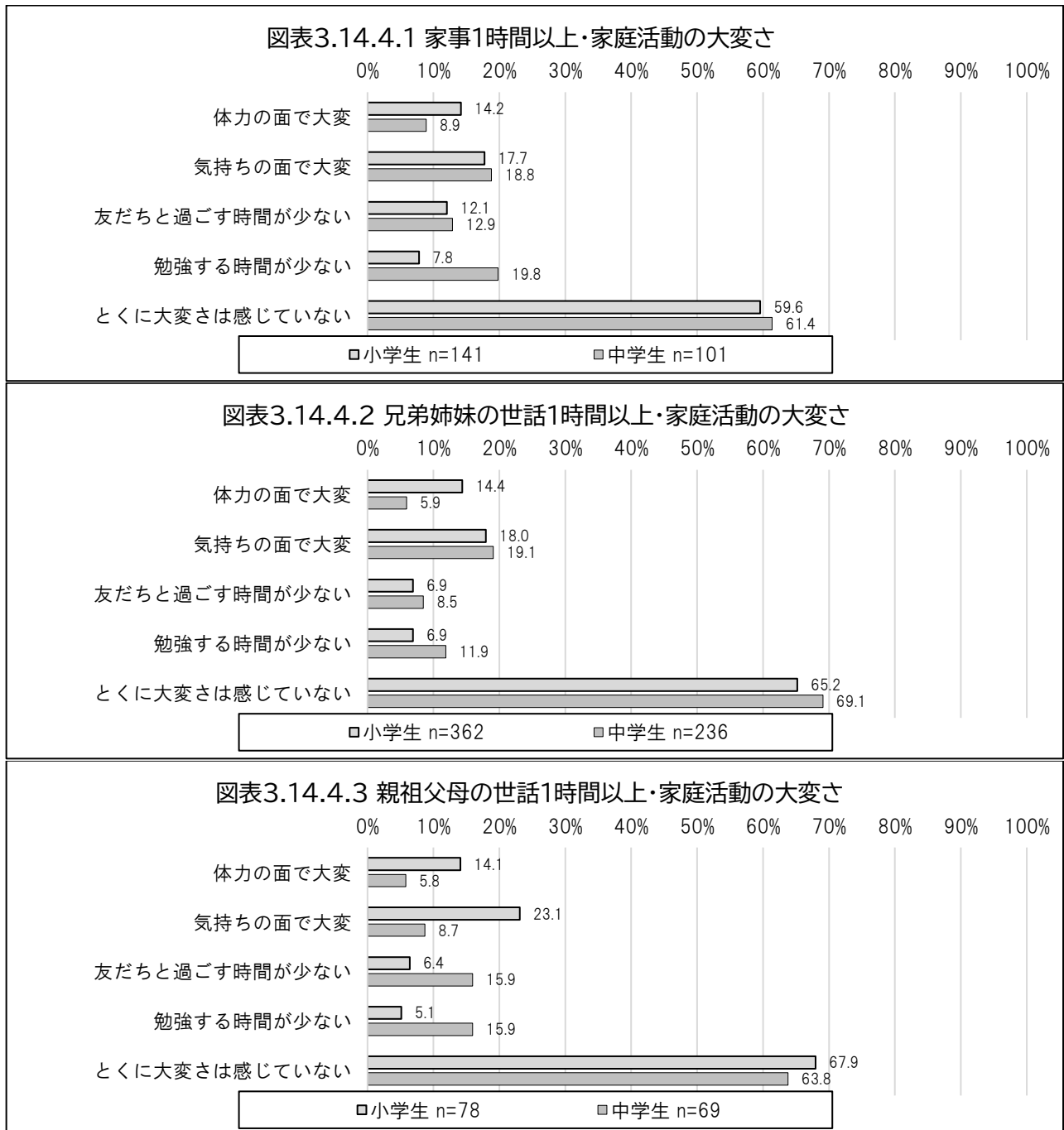


図表3.14.3.2 世帯別・家庭活動の大変さ(中学生)



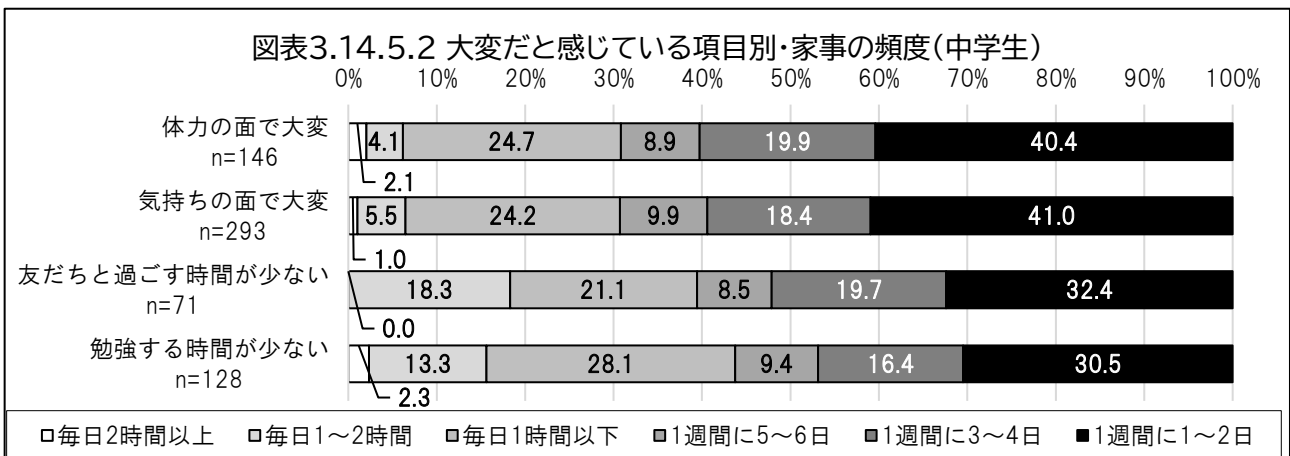
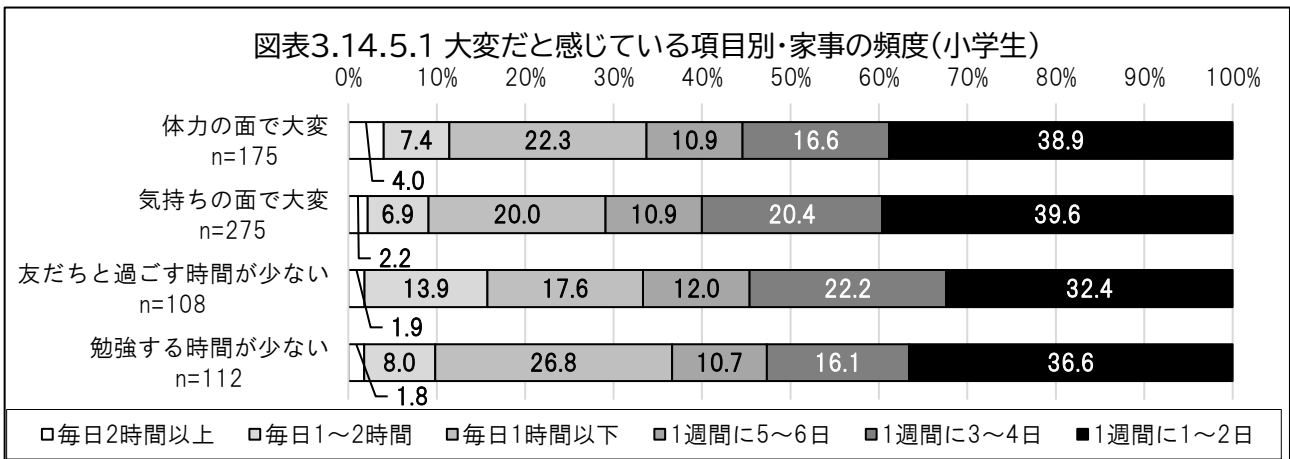
(4) 各項目を毎日1時間以上従事している場合

いずれの項目でも、小学生では、「気持ちの面で大変」(17.7%、18.0%、23.1%)、「体力の面で大変」(14.2%、14.4%、14.1%)と回答した割合が高くなっています。中学生では、「家事」と「兄弟姉妹の世話」の項目で「気持ちの面で大変」(18.8%、19.1%)、「勉強する時間が少ない」(19.8%、11.9%)と回答した割合が高く、「親祖父母の世話」の項目で「友だちと過ごす時間が少ない」(15.9%)、「勉強する時間が少ない」(15.9%)と回答した割合が高くなっています。



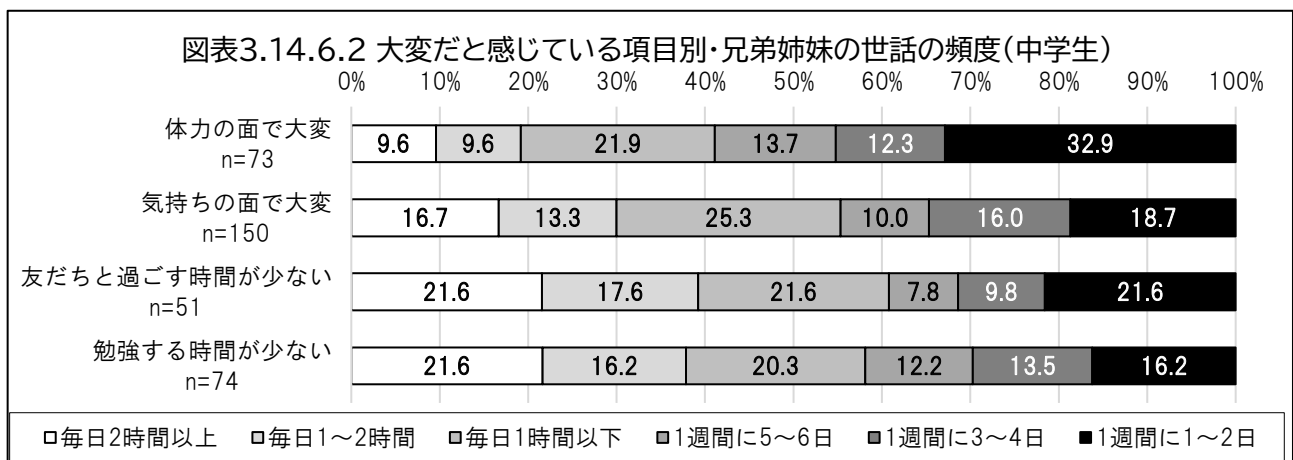
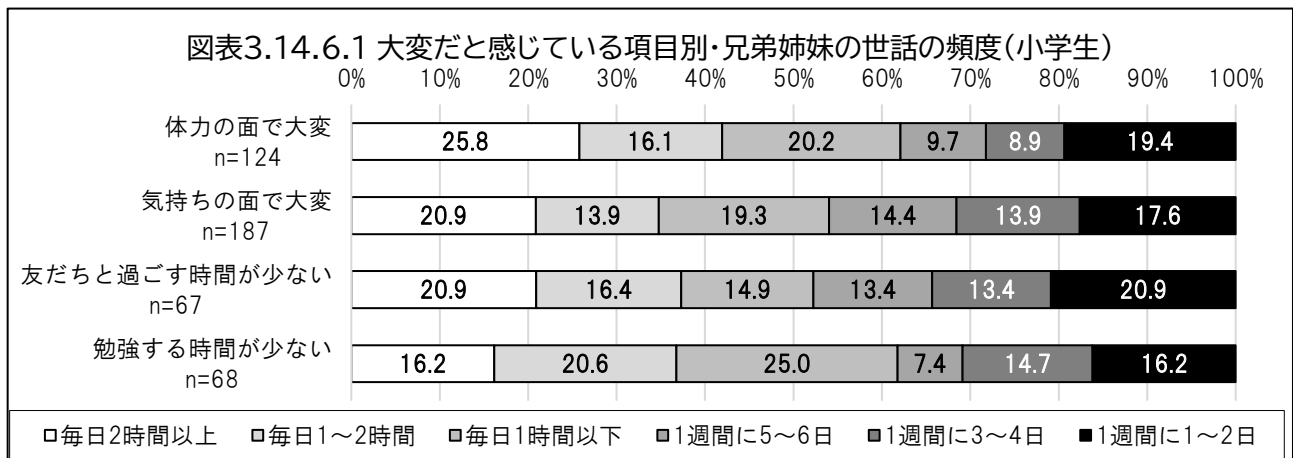
(5)大変だと感じている項目別・家事の頻度

小学生では、いずれの項目でも「1週間に1～2日」が38.9%、39.6%、32.4%、36.6%が最も高く、次いで「体力面で大変」、「勉強する時間が少ない」では、「毎日1時間以下」が22.3%、26.8%、「気持ちの面で大変」、「友だちと過ごす時間」では、「1週間に3～4日」が20.4%、22.2%となっています。中学生では、「1週間に1～2日」が40.4%、41.0%、32.4%、30.5%と最も高く、次いで「毎日1時間以下」が24.7%、24.2%、21.1%、28.1%となっています。



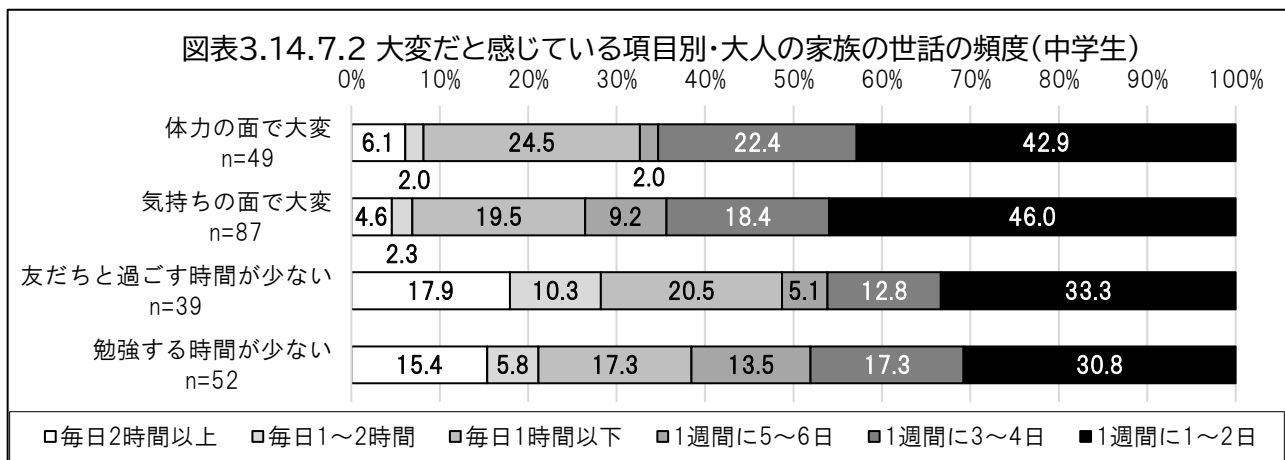
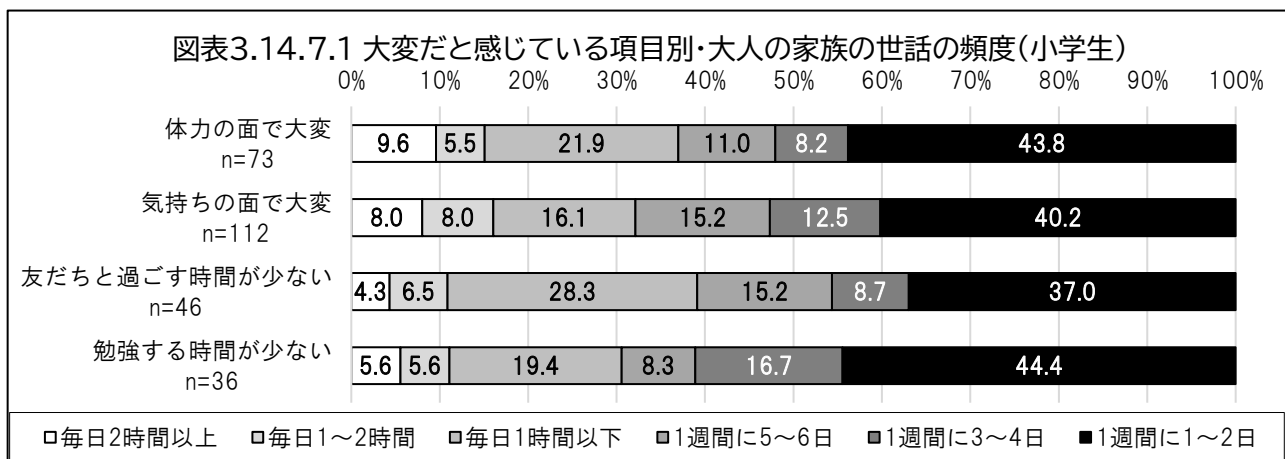
(6)大変だと感じている項目別・兄弟姉妹の世話の頻度

小学生では、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」において「毎日2時間以上」が25.8%、20.9%、「友だちと過ごす時間が少ない」において、「毎日2時間以上」、「1週間に1～2日」がともに20.9%、「勉強する時間が少ない」において「毎日1時間以下」が25.0%と最も高くなっています。中学生では、「体力の面で大変」において「1週間に1～2日」が32.9%、「気持ちの面で大変」において「毎日1時間以下」が25.3%、「友だちと過ごす時間が少ない」において「毎日2時間以上」、「毎日1時間以下」、「1週間に1～2日」がいずれも21.6%、「勉強する時間が少ない」において「毎日2時間以上」が21.6%と最も高くなっています。



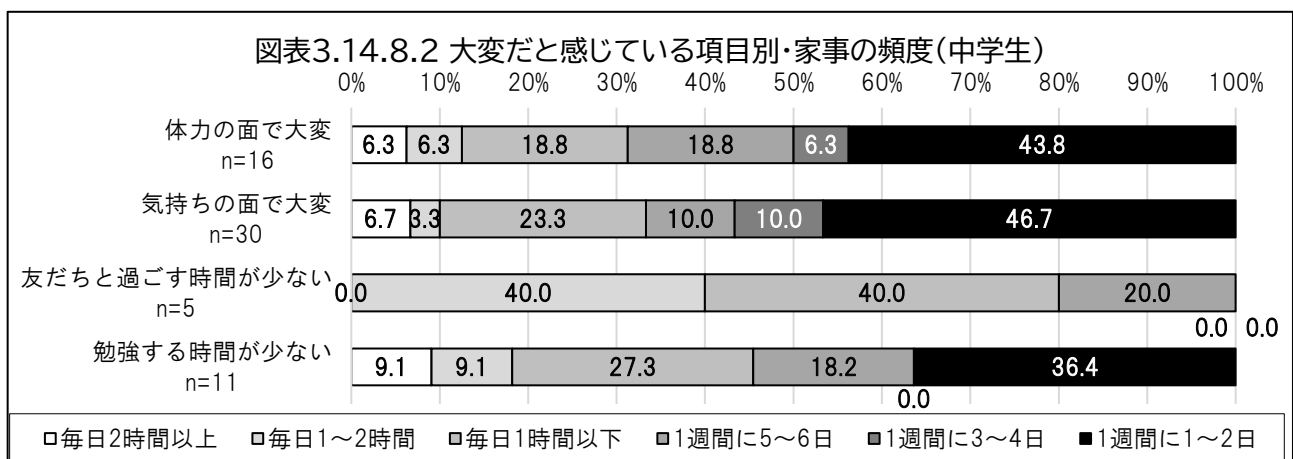
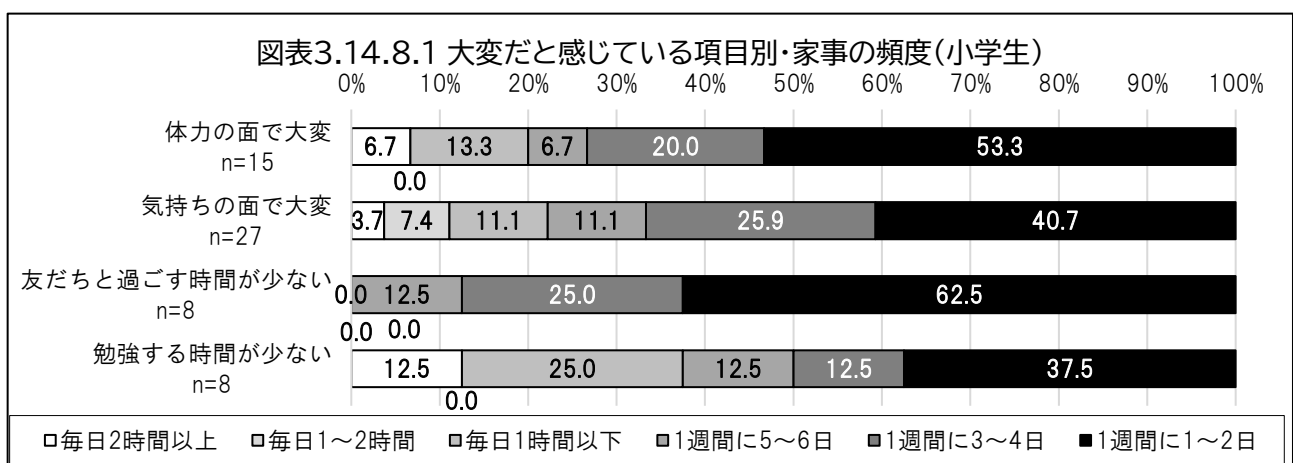
(7)大変だと感じている項目別・大人の家族の世話の頻度

小学生では、いずれの項目でも「1週間に1～2日」が43.8%、40.2%、37.0%、44.4%と最も高く、次いで「毎日1時間以下」が21.9%、16.1%、28.3%、19.4%となっています。中学生では、いずれの項目でも、「1週間に1～2日」が42.9%、46.0%、33.3%、30.8%と最も高く、次いで「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「友だちと過ごす時間が少ない」においては「毎日1時間以下」が24.5%、19.5%、20.5%、「勉強する時間が少ない」においては、「毎日1時間以下」と「1週間に3～4日」がともに17.3%となっています。



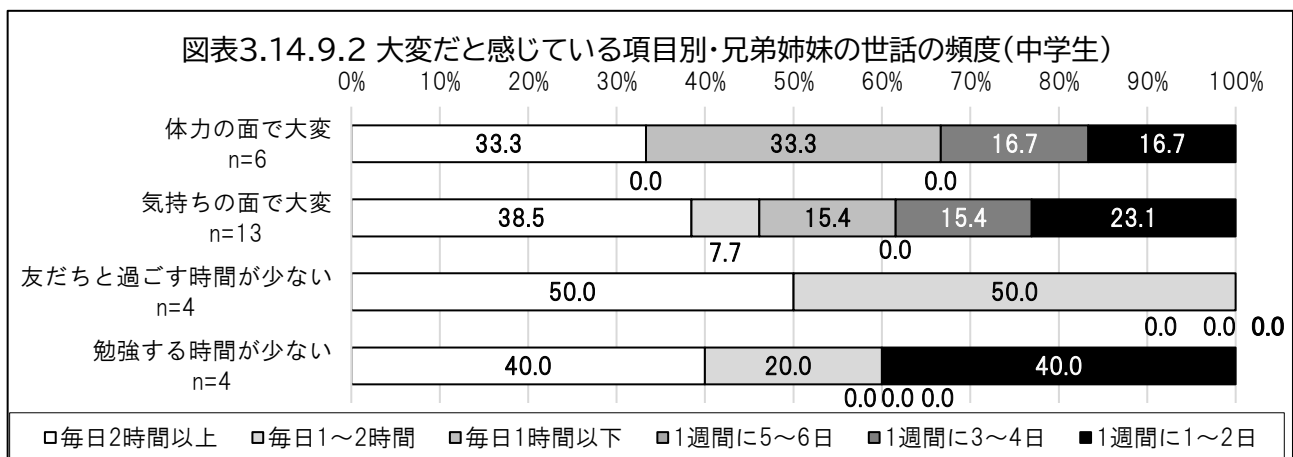
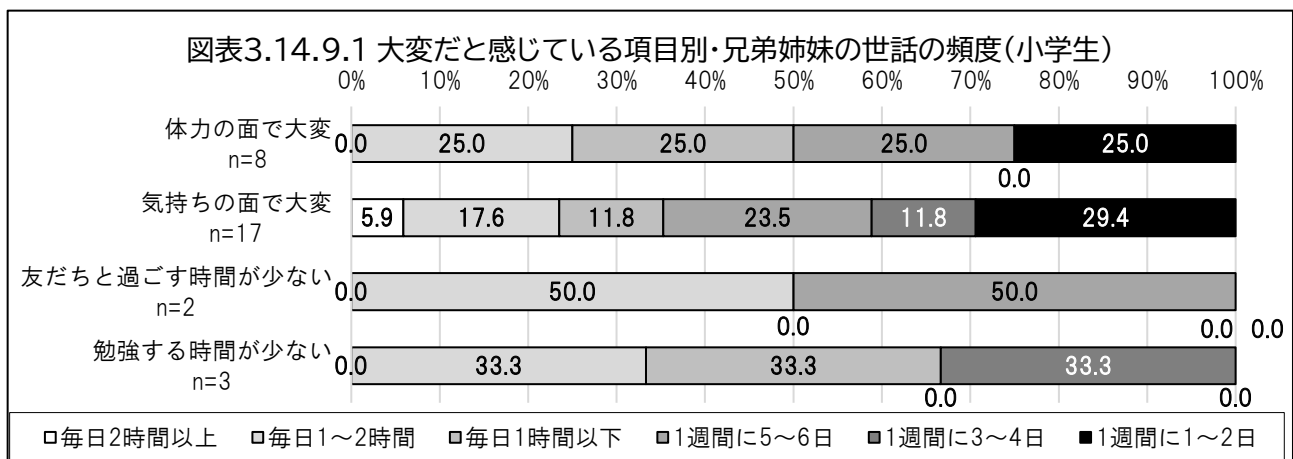
(8)大変だと感じている項目別・家事の頻度（等価世帯収入が中央値の2分の1未満の場合）

小学生では、いずれの項目でも、「1週間に1～2日」が53.3%、40.7%、62.5%、37.5%と最も高く、次いで、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「友だちと過ごす時間が少ない」においては「1週間に3～4日」が20.0%、25.9%、25.0%、「勉強する時間が少ない」においては、「毎日1時間以下」が25.0%となっています。中学生では、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「勉強する時間が少ない」において「1週間に1～2日」が43.8%、46.7%、36.4%と最も高く、次いで「体力の面で大変」においては、「毎日1時間以下」、「1週間に5～6日」がともに18.8%、「気持ちの面で大変」においては「毎日1時間以下」が23.3%、「勉強する時間が少ない」においては、「毎日1時間以下」が27.3%となっています。また、「友だちと過ごす時間が少ない」においては、「毎日1～2時間」と「毎日1時間以下」がともに40.0%と最も高くなっています。



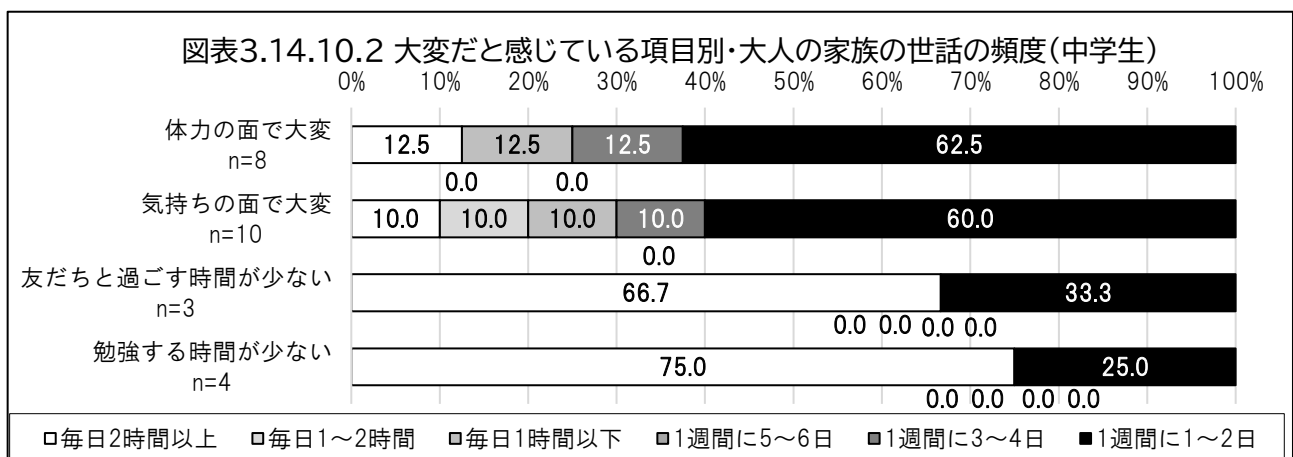
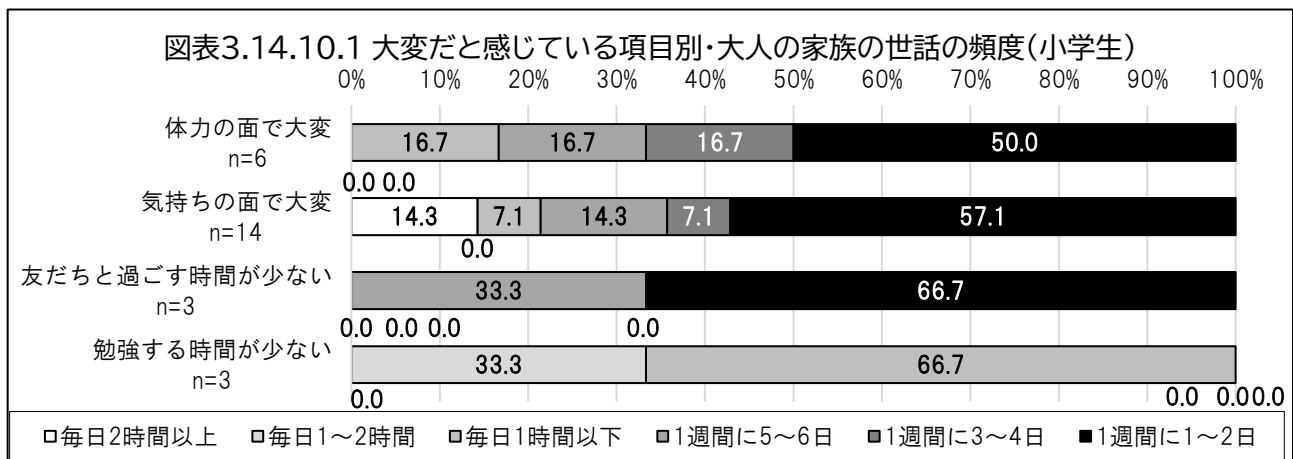
(9)大変だと感じている項目別・兄弟姉妹の世話の頻度（等価世帯収入が中央値の2分の1未満の場合）

小学生では、「体力の面で大変」において、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」、「1週間に5～6日」、「1週間に1～2日」がいずれも25.0%、「気持ちの面で大変」においては「1週間に1～2日」が29.4%、「友だちと過ごす時間が少ない」においては「毎日1～2時間」、「1週間に5～6日」がともに50.0%、「勉強する時間が少ない」においては「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」、「1週間に3～4日」がいずれも33.3%となっています。中学生では、「体力の面で大変」においては「毎日2時間以上」と「毎日1時間以下」がともに33.3%と最も高く、「気持ちの面で大変」においては、「毎日2時間以上」が38.5%と最も高く、次いで「1週間に1～2日」が23.1%となっています。また、「友だちと過ごす時間が少ない」においては「毎日2時間以上」と「毎日1～2時間」がともに50.0%、「勉強する時間が少ない」においては「毎日2時間以上」と「1週間に1～2日」がともに40.0%と最も高くなっています。



(10)大変だと感じている項目別・大人の家族の世話の頻度（等価世帯収入が中央値の2分の1未満の場合）

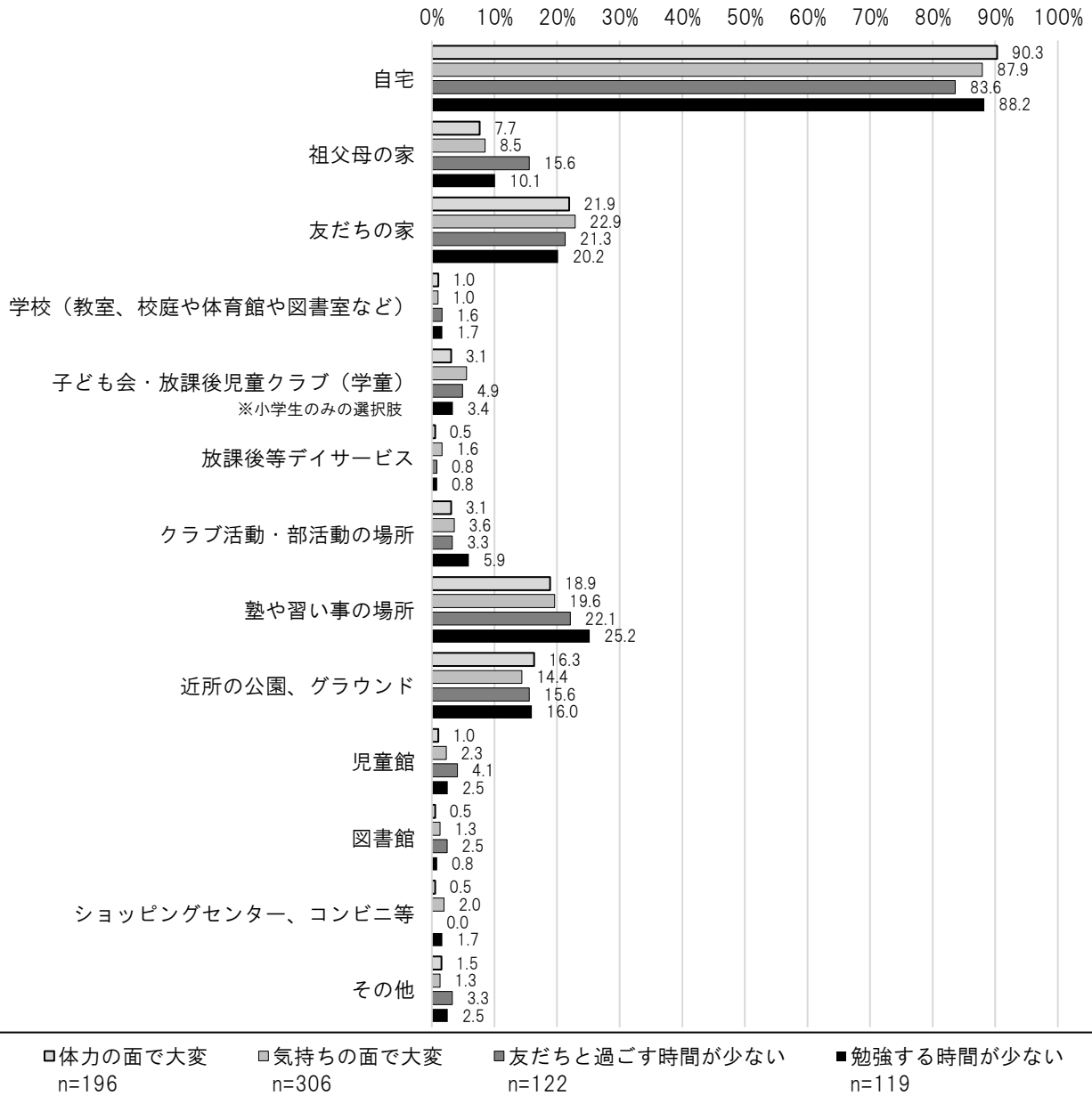
小学生では、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「友だちと過ごす時間が少ない」において、「1週間に1～2日」が50.0%、57.1%、66.7%、「勉強する時間が少ない」においては「毎日1時間以下」が66.7%と最も高くなっています。中学生では、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」において「1週間に1～2日」が62.5%、60.0%、「友だちと過ごす時間が少ない」、「勉強する時間が少ない」において「毎日2時間以上」が66.7%、75.0%と最も高くなっています。



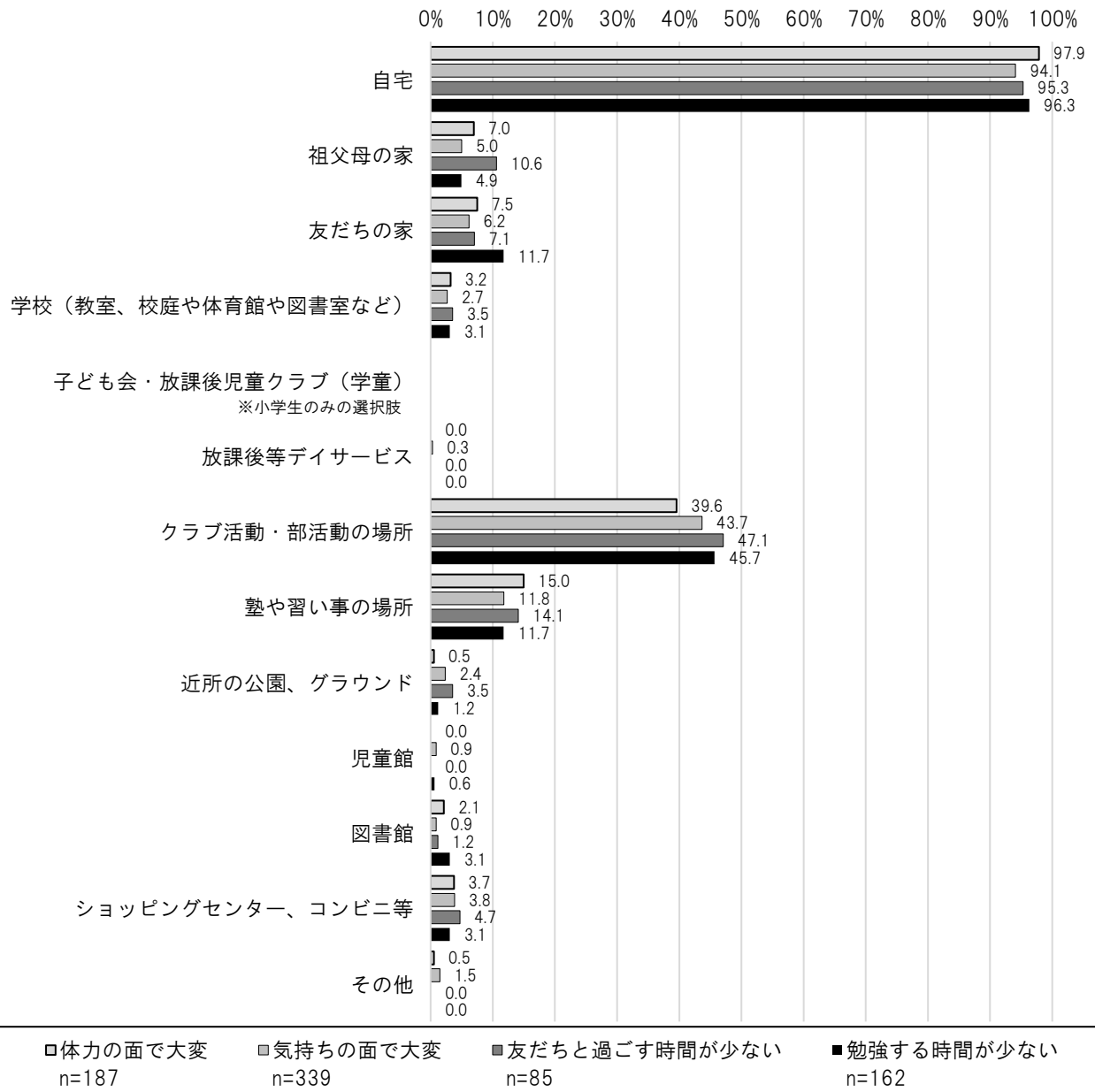
(11)大変だと感じている項目別・放課後過ごす場所（等価世帯収入が中央値の2分の1未満の場合）

いずれの項目でも、小学生では、「自宅」が90.3%、87.9%、83.6%、88.2%と最も高くなっています。中学生でも、「自宅」が97.9%、94.1%、95.3%、96.3%、と最も高くなっています。

図表3.14.11.1 大変だと感じている項目別・放課後をどこで過ごすか(小学生)

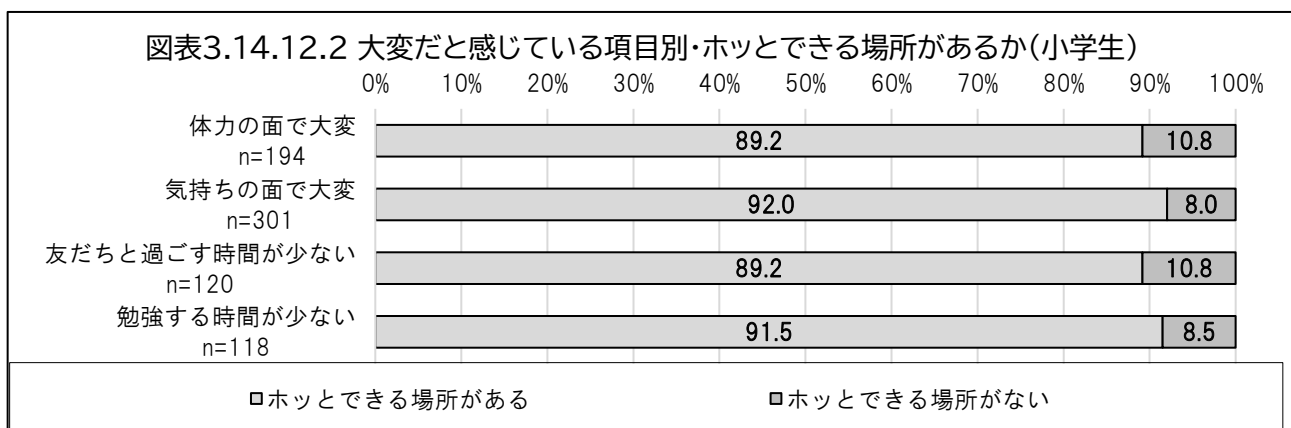
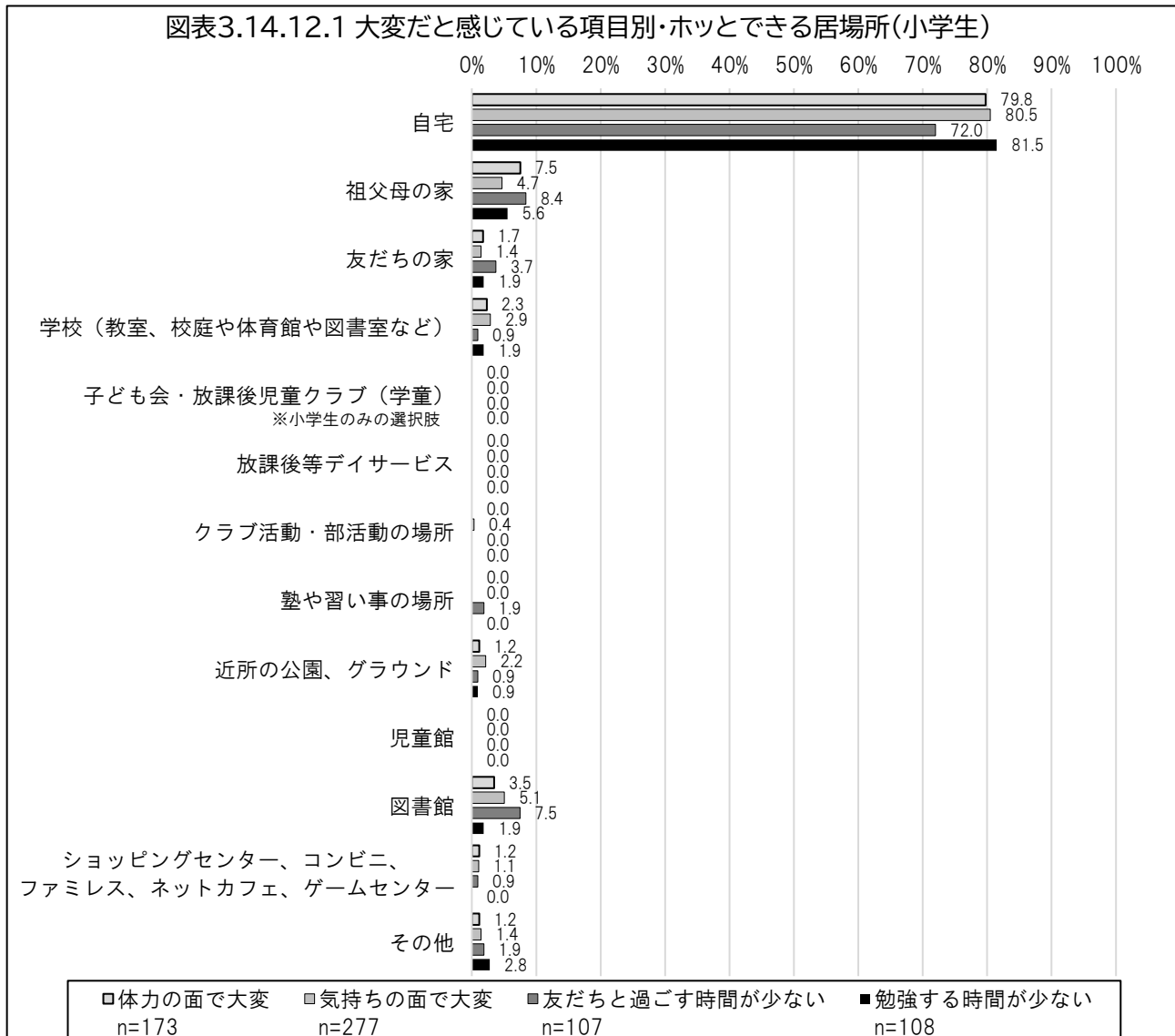


図表3.14.11.2 大変だと感じている項目別・放課後をどこで過ごすか(中学生)



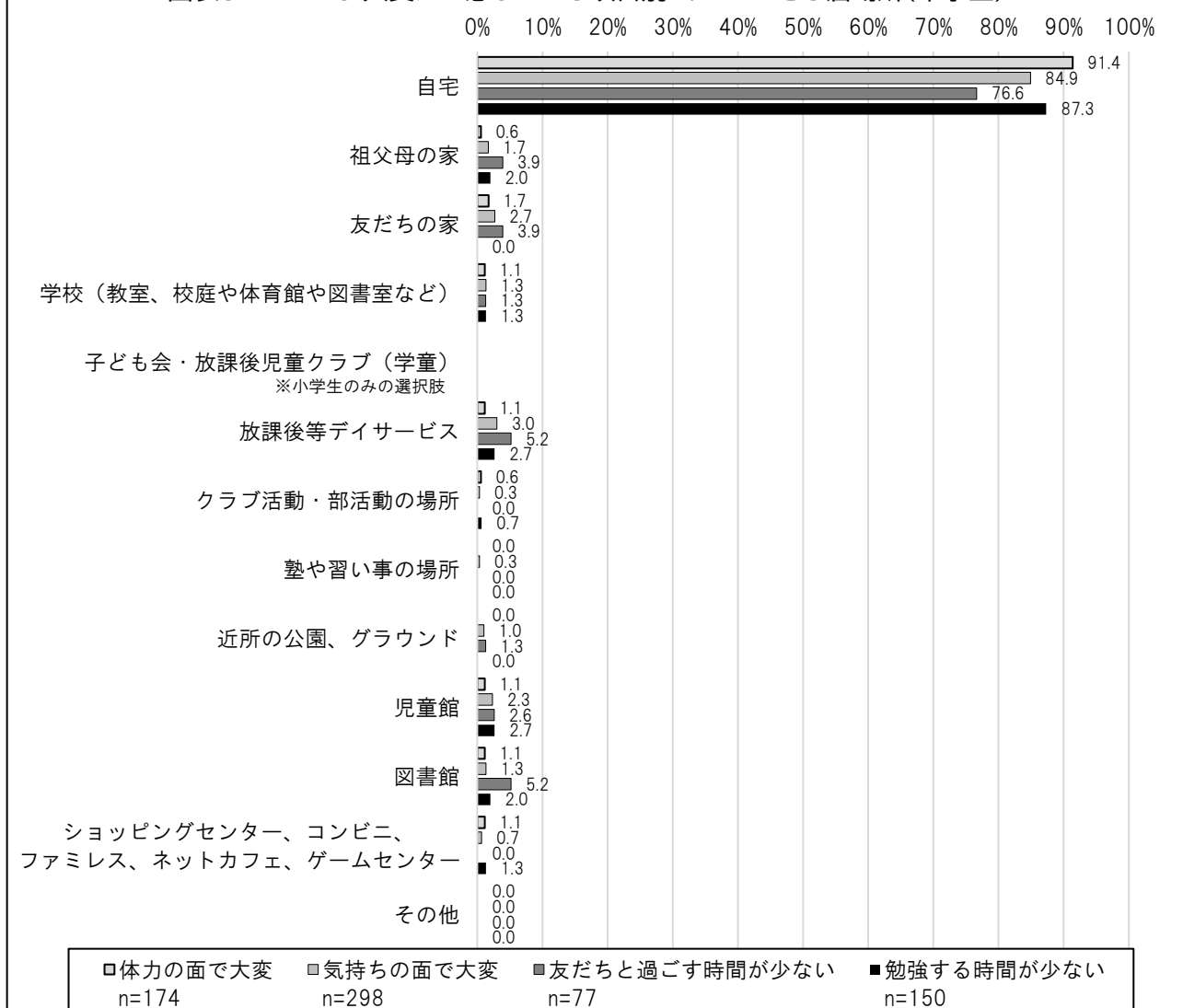
(12)大変だと感じている項目別・ホッとできる場所（等価世帯収入が中央値の2分の1未満の場合）

小学生では、いずれの項目でも、「自宅」が79.8%、80.5%、72.0%、81.5%、と最も高くなっています。また、「ホッとできる場所がある」と回答した割合は、各項目で89.2%、92.0%、89.2%、91.5%と、全体（93.8%）と比較して低くなっています。

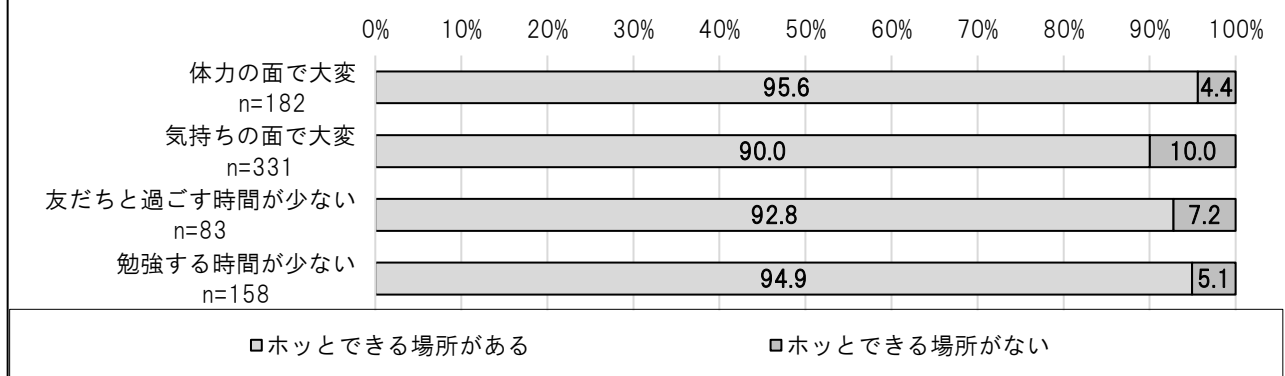


中学生では、いずれの項目でも、「自宅」が91.4%、84.9%、76.6%、87.3%と最も高くなっています。また、「ホッとできる場所がある」と回答した割合は、「気持ちの面で大変」、「友だちと過ごす時間が少ない」においてそれぞれ90.0%、92.8%となっており、全体（93.1%）と比較して低くなっています。

図表3.14.12.3 大変だと感じている項目別・ホッとできる居場所(中学生)



図表3.14.12.4 大変だと感じている項目別・ホッとできる場所があるか(中学生)

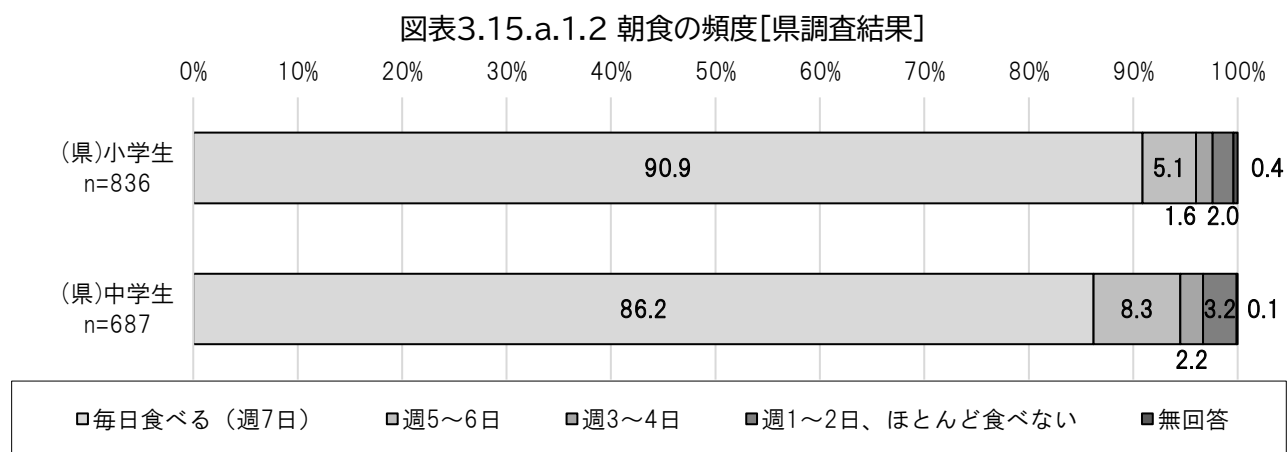
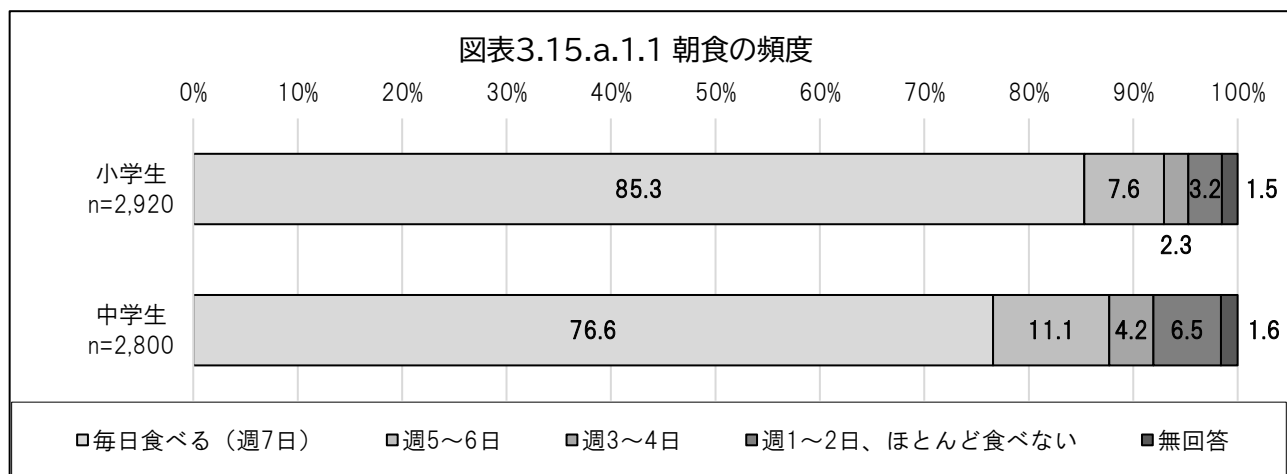


問15. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

a) 朝食

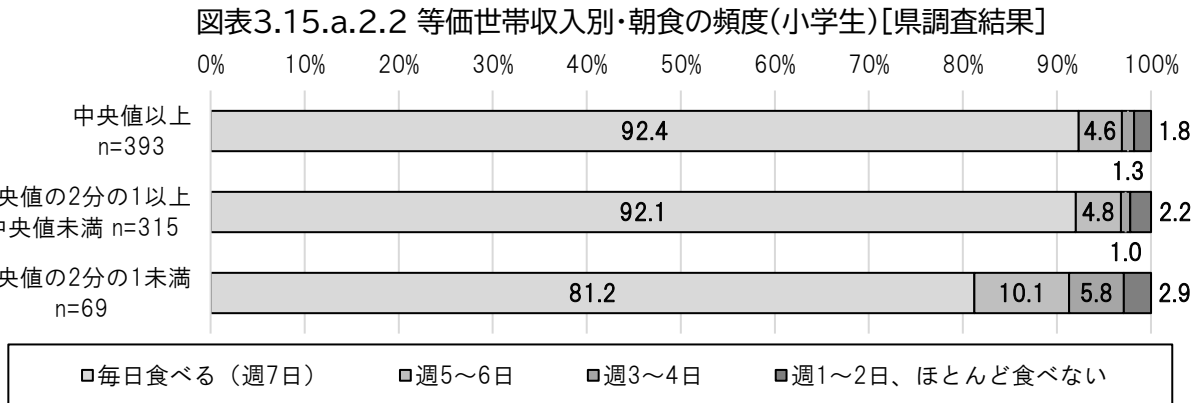
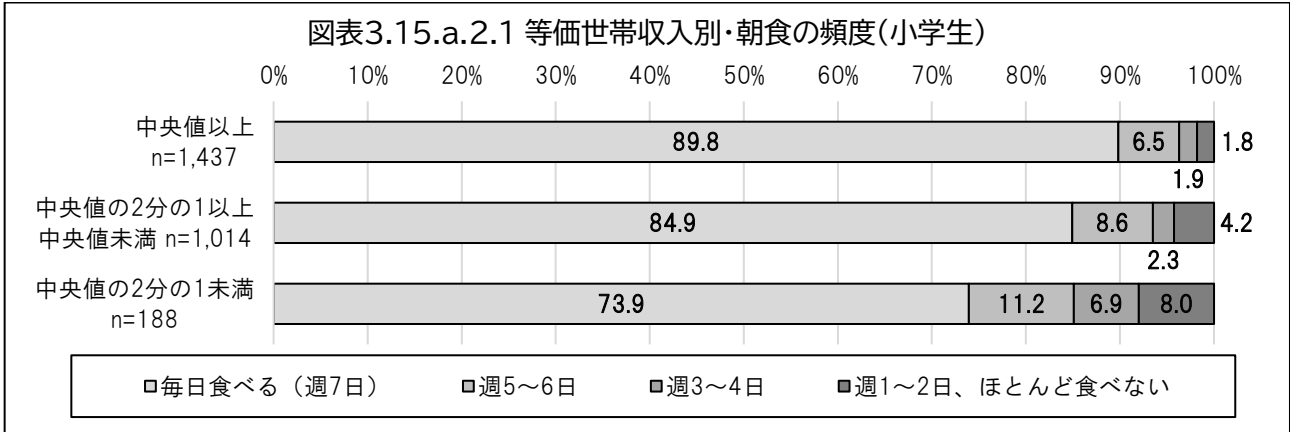
(1)全体

朝食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、小学生（85.3%）、中学生（76.6%）ともに、県調査（90.9%、86.2%）と比較して低くなっています。



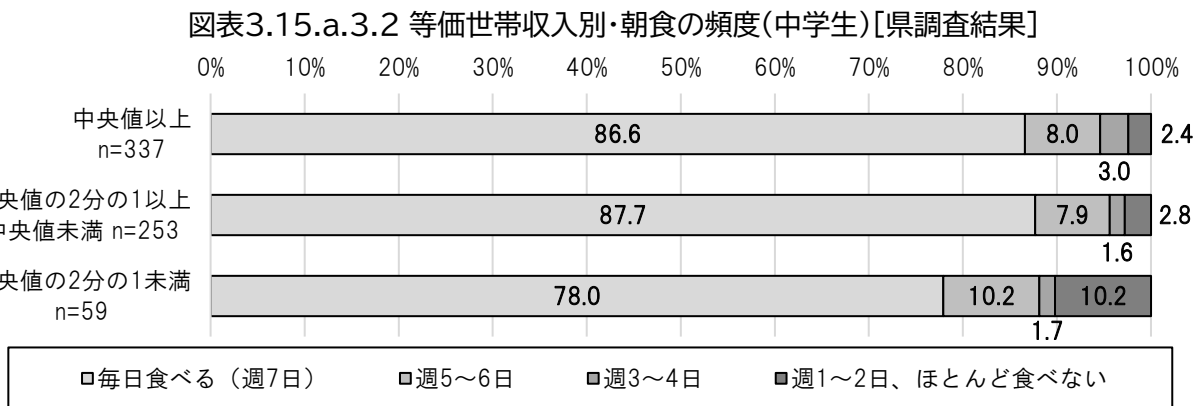
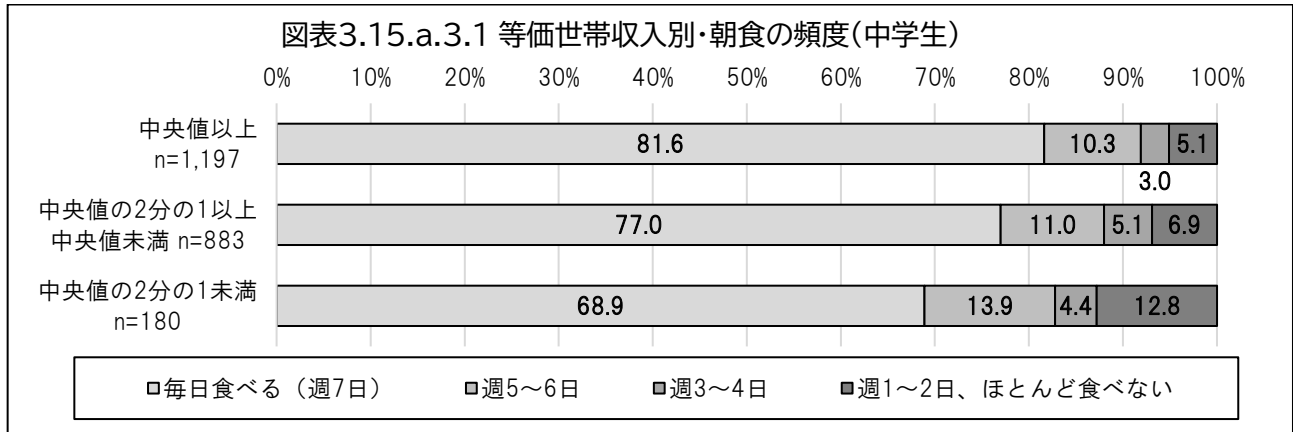
(2)等価世帯収入別・小学生（問 15.a 朝食の頻度）

朝食の頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生では、朝食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では85.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では73.9%と低くなっています。また、県調査（81.2%）と比較して低くなっています。



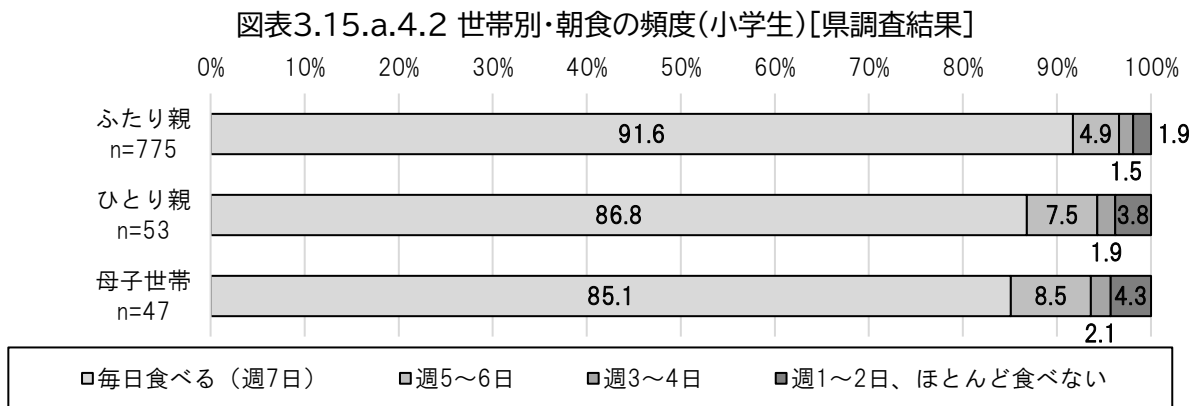
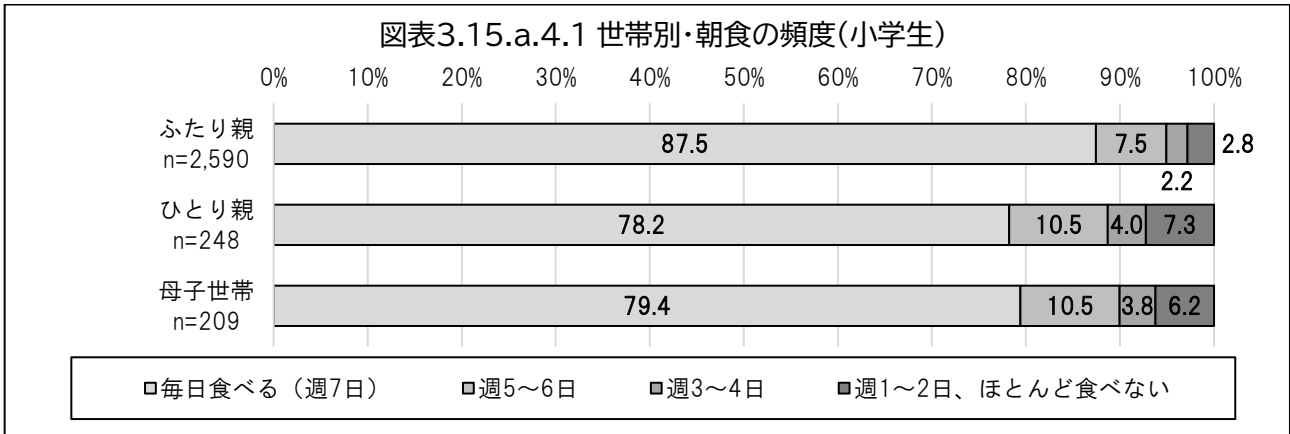
(3)等価世帯収入別・中学生（問 15.a 朝食の頻度）

朝食の頻度について、等価世帯収入別にみると、中学生では、朝食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では76.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では68.9%と低くなっています。また、県調査（78.0%）と比較して低くなっています。



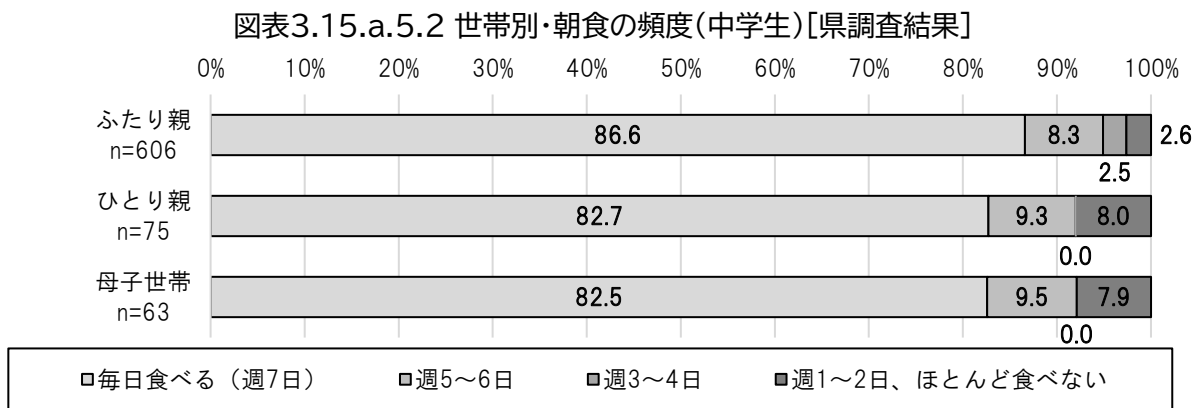
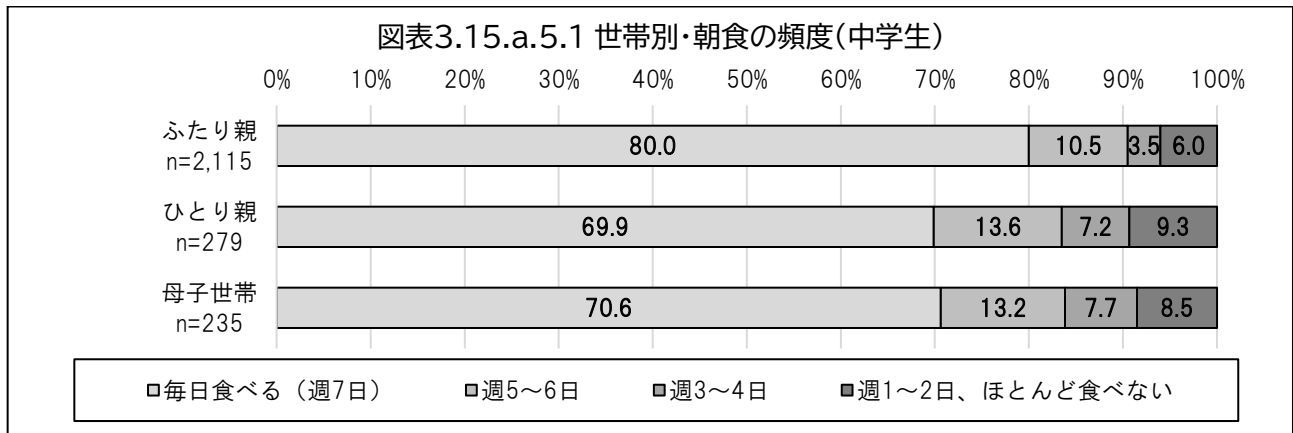
(4)世帯別・小学生（問 15. a 朝食の頻度）

朝食の頻度について、世帯別にみると、小学生では、朝食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では85.3%であったのに対し、ひとり親世帯では78.2%と低くなっています。また、県調査（86.8%）と比較して低くなっています。



(5)等価世帯収入別・中学生（問 15.a 朝食の頻度）

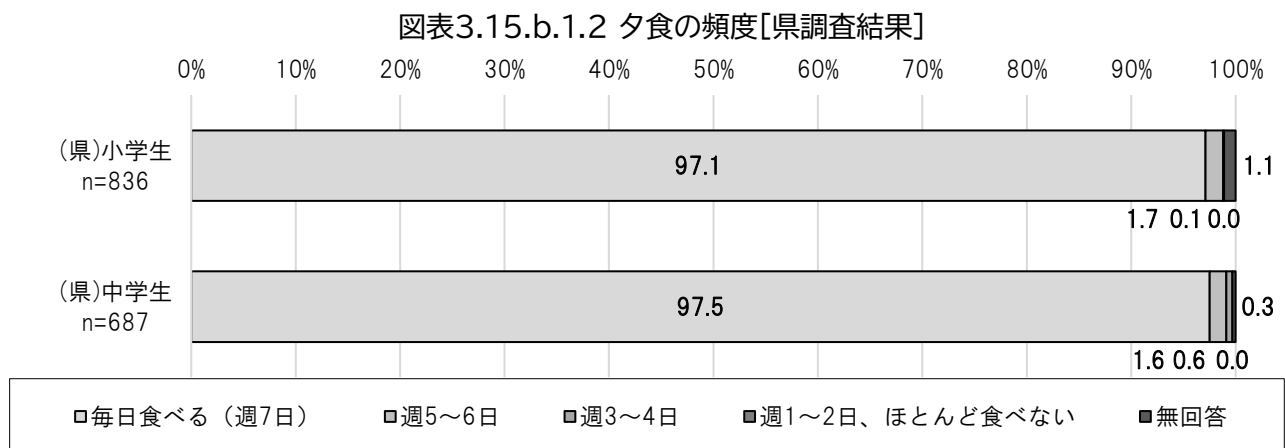
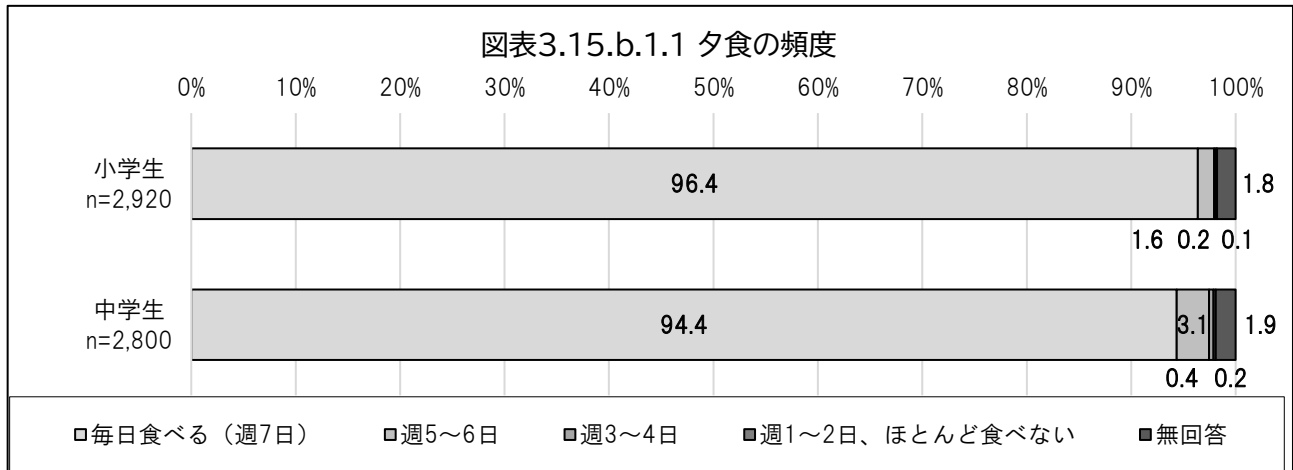
朝食の頻度について、世帯別にみると、中学生では、全体では76.6%であったのに対し、ひとり親世帯では69.9%と低くなっています。また、県調査（82.7%）と比較して低くなっています。



b) 夕食

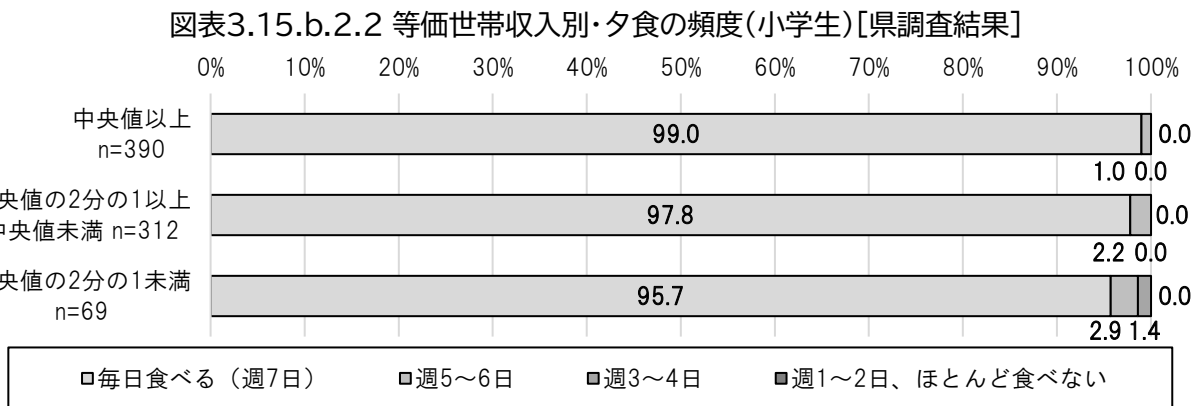
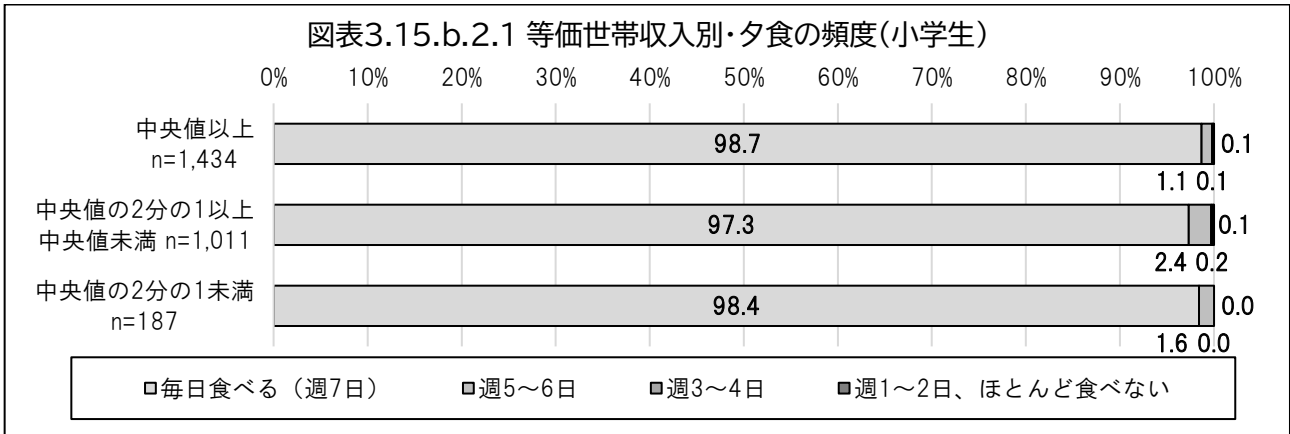
(1)全体

夕食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、小学生（96.4%）、中学生（94.4%）ともに、県調査（97.1%、97.5%）と比較して低くなっています。



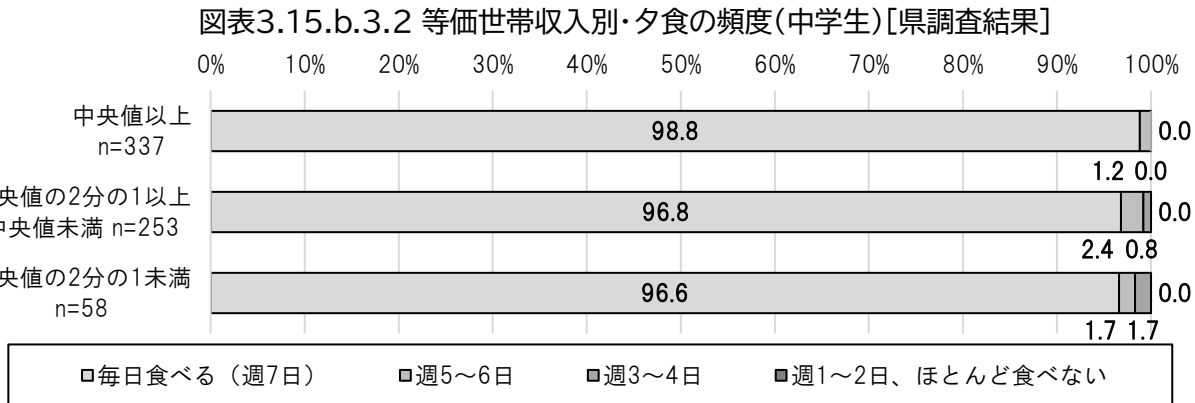
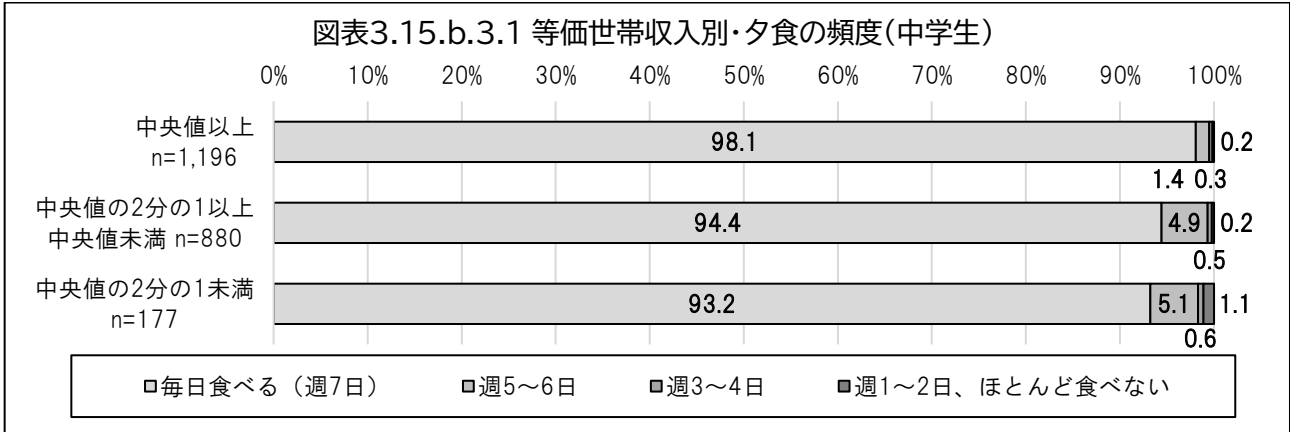
(2)等価世帯収入別・小学生（問 15.b 夕食の頻度）

夕食の頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生では、夕食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では96.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では98.4%と高くなっています。また、県調査（95.7%）と比較して高くなっています。



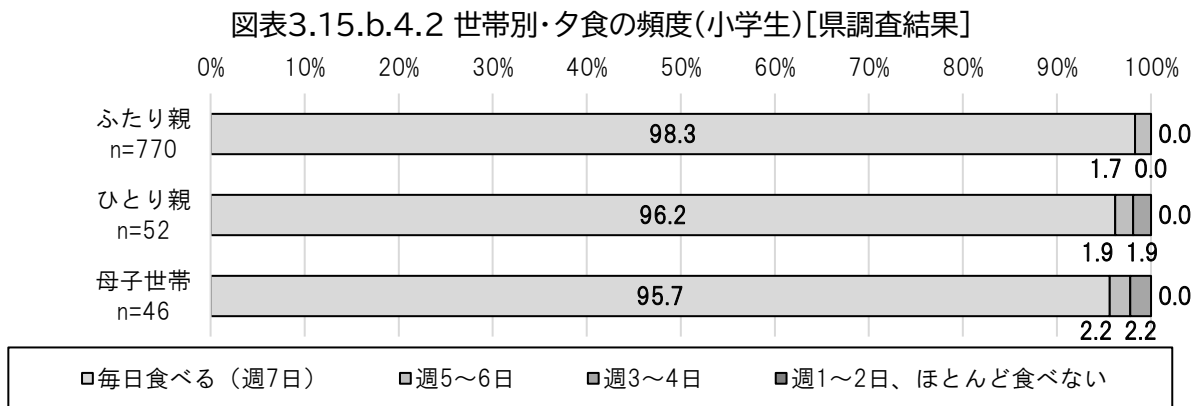
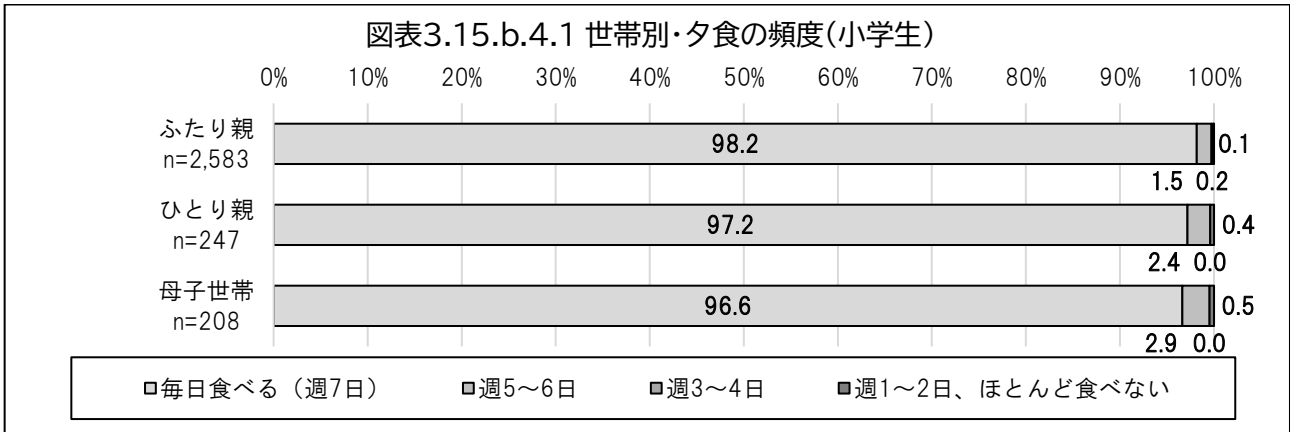
(3)等価世帯収入別・中学生（問 15. b 夕食の頻度）

夕食の頻度について、等価世帯収入別にみると、中学生では、夕食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では94.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では93.2%と低くなっています。また、県調査（96.6%）と比較して低くなっています。



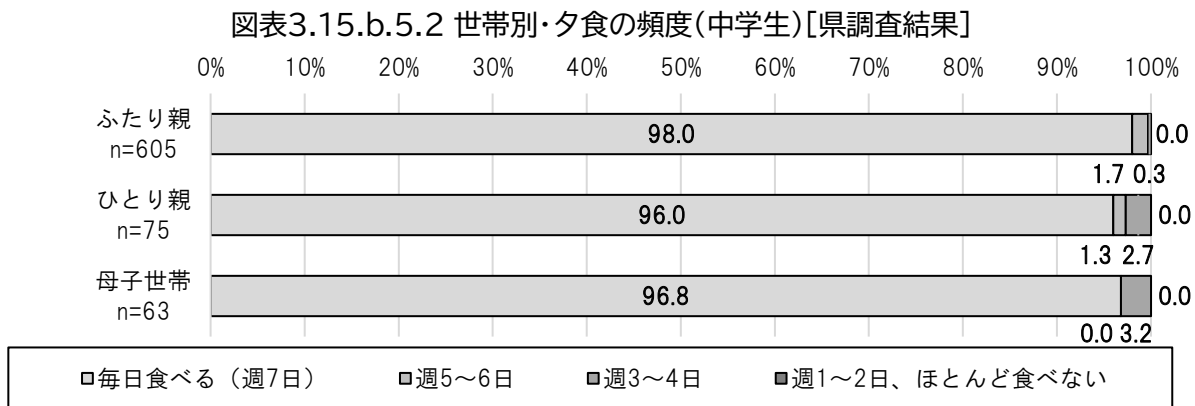
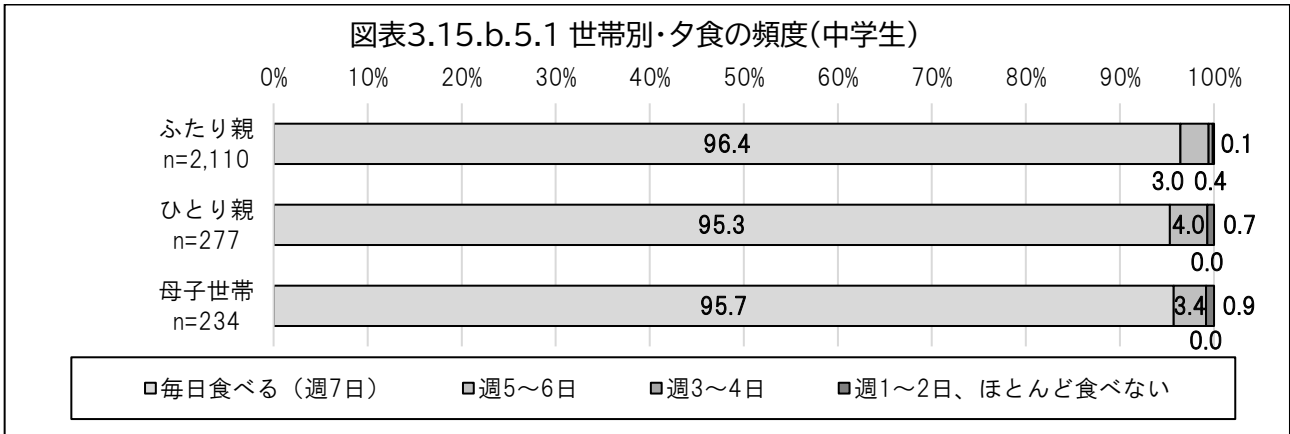
(4)世帯別・小学生（問 15.b 夕食の頻度）

夕食の頻度について、世帯別にみると、小学生では、夕食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では96.4%であったのに対し、ひとり親世帯では97.2%と高くなっています。また、県調査（96.2%）と比較して高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 15.b 夕食の頻度）

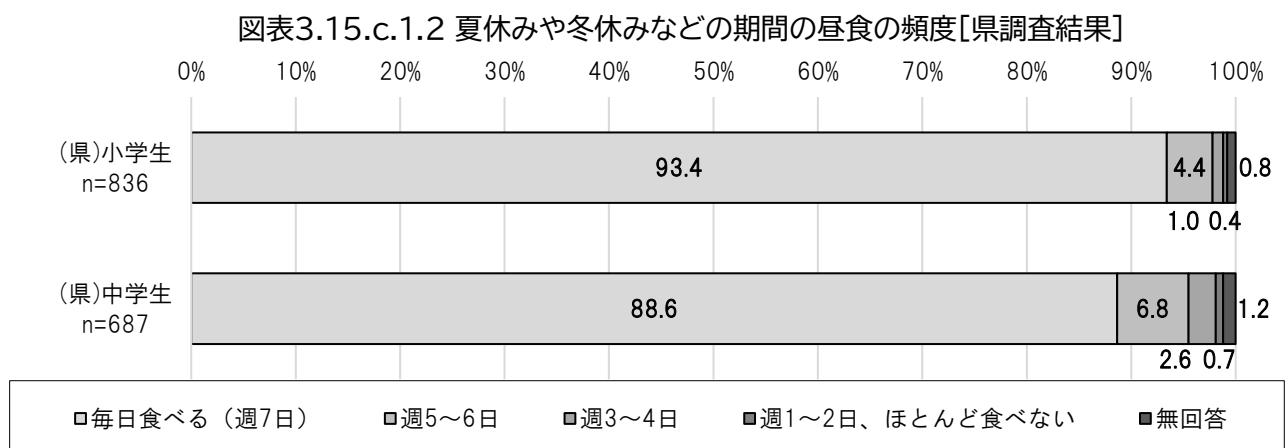
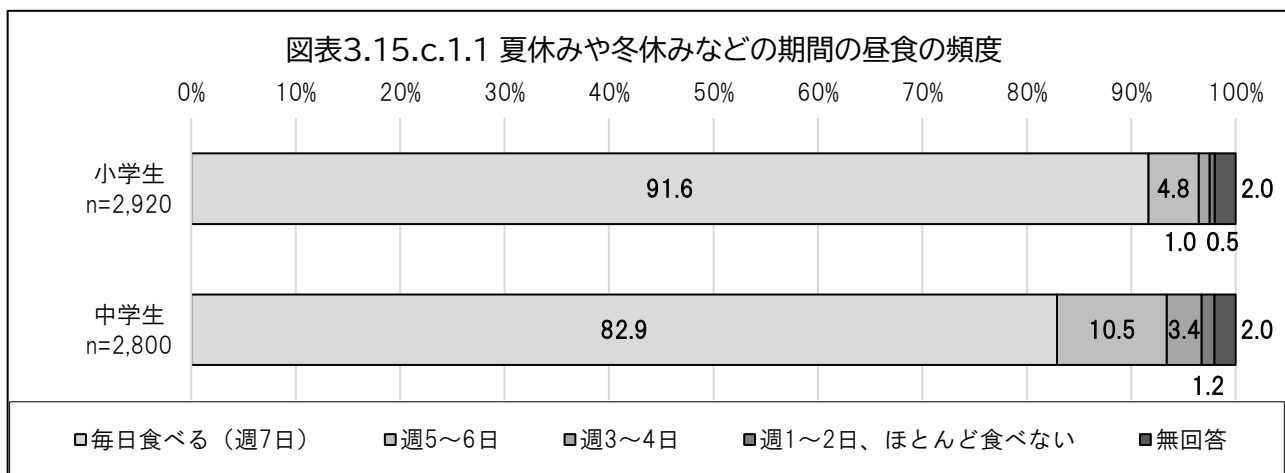
夕食の頻度について、世帯別にみると、中学生では、夕食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では94.4%であったのに対し、ひとり親世帯では95.3%と高くなっています。また、県調査（96.0%）と比較して低くなっています。



c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

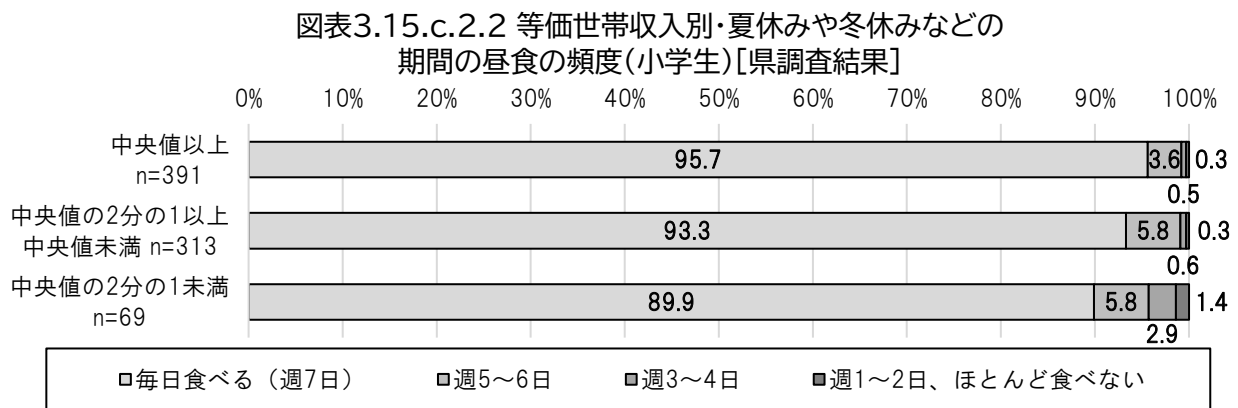
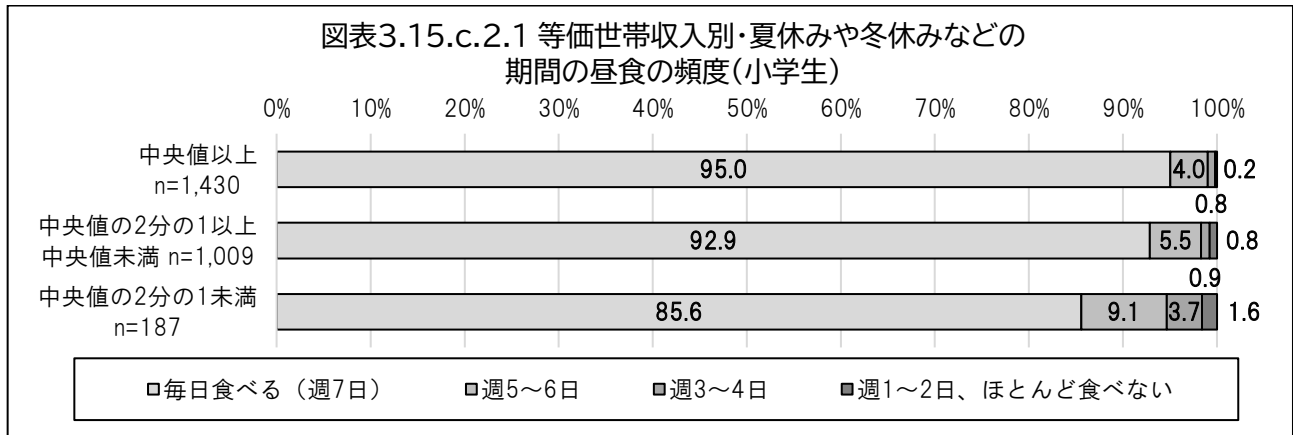
(1)全体

夏休みや冬休みなどの期間の昼食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、小学生（91.6%）、中学生（82.9%）ともに、県調査（93.4%、88.6%）と比較して低くなっています。



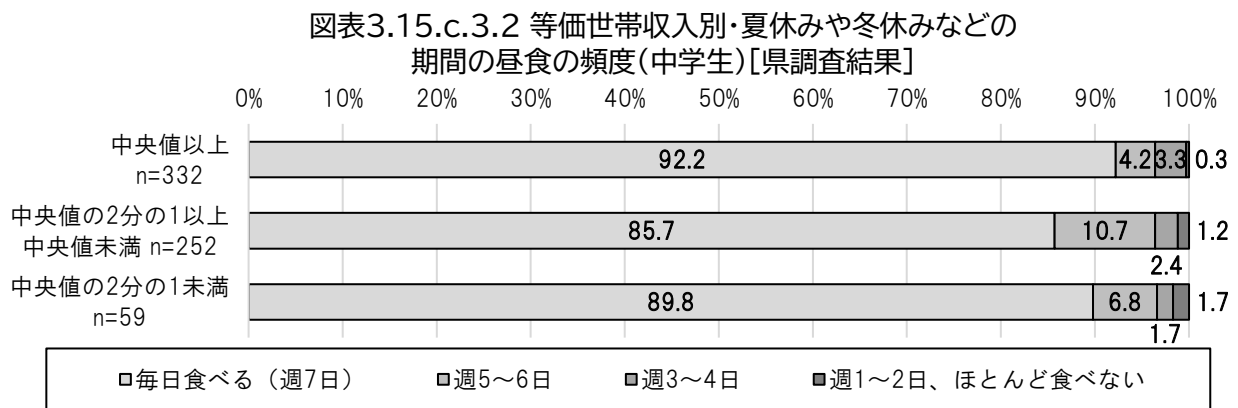
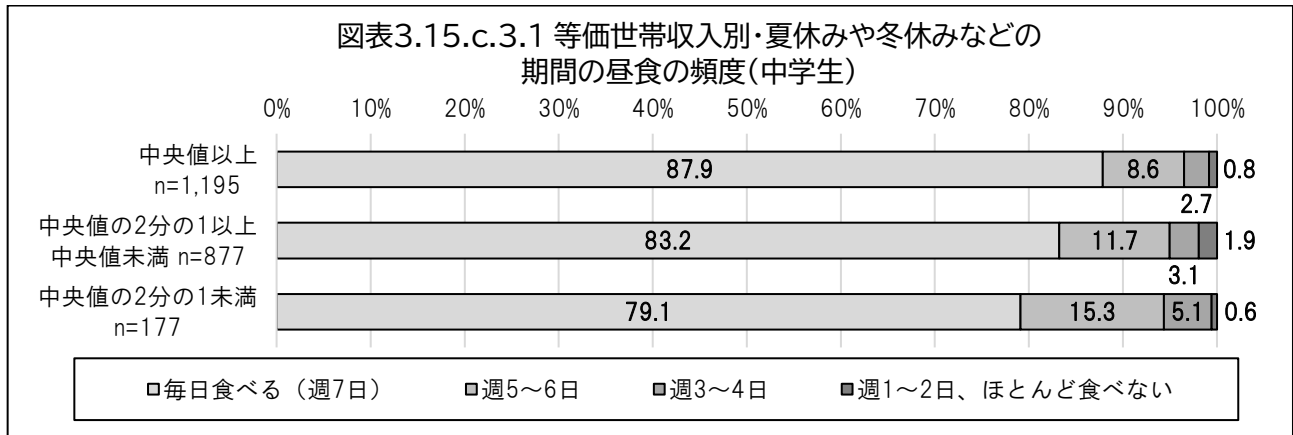
(2)等価世帯収入別・小学生（問 15.c 長期休暇期間の昼食の頻度）

夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度について、等価世帯収入別にみると、小学生では、夏休みや冬休みなどの期間の昼食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では91.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では85.6%と低くなっています。また、県調査（89.9%）と比較して低くなっています。



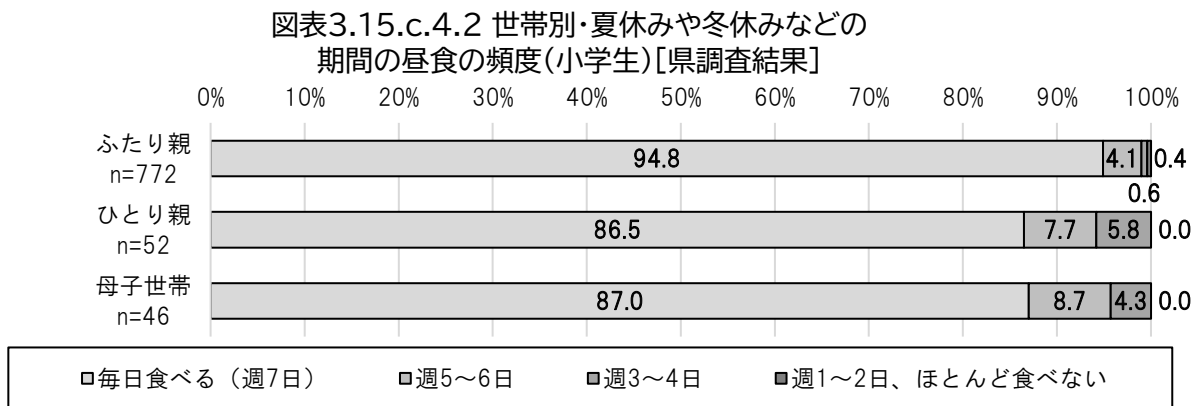
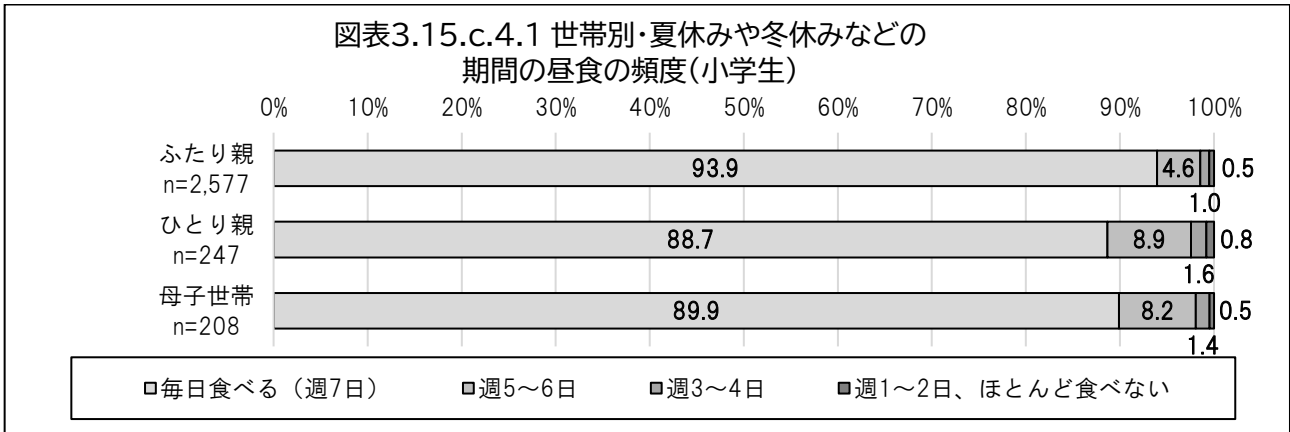
(3)等価世帯収入別・中学生（問 15.c 長期休暇期間の昼食の頻度）

夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度について、等価世帯収入別にみると、中学生では、夏休みや冬休みなどの期間の昼食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では82.9%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では79.1%と低くなっています。また、県調査（89.8%）と比較して低くなっています。



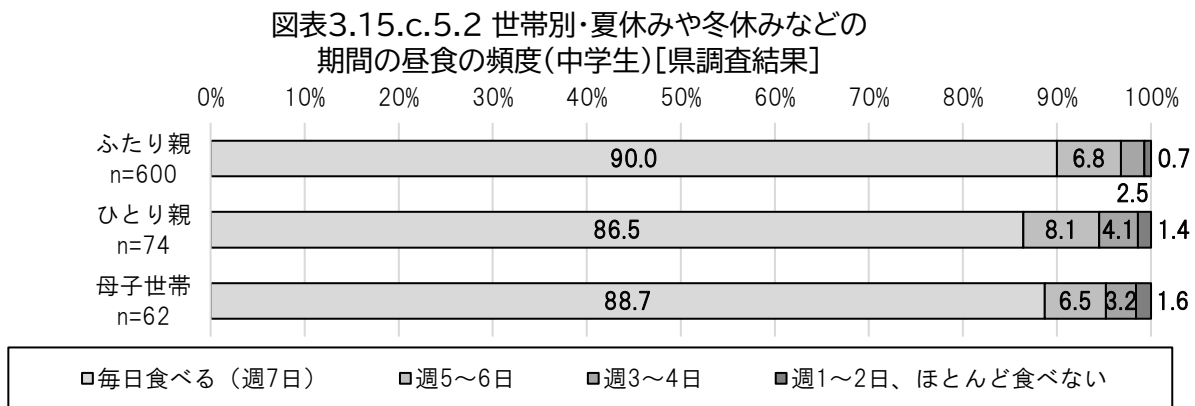
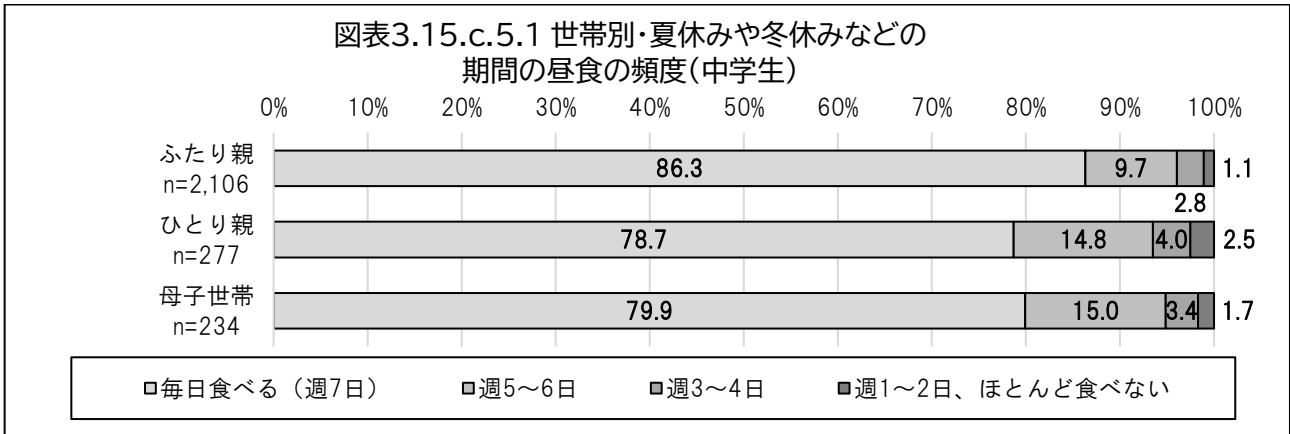
(4)世帯別・小学生（問 15.c 長期休暇期間の昼食の頻度）

夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度について、世帯別にみると、小学生では、夏休みや冬休みなどの期間の昼食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では91.6%であったのに対し、ひとり親世帯では88.7%と低くなっています。また、県調査（86.5%）と比較して高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 15.c 長期休暇期間の昼食の頻度）

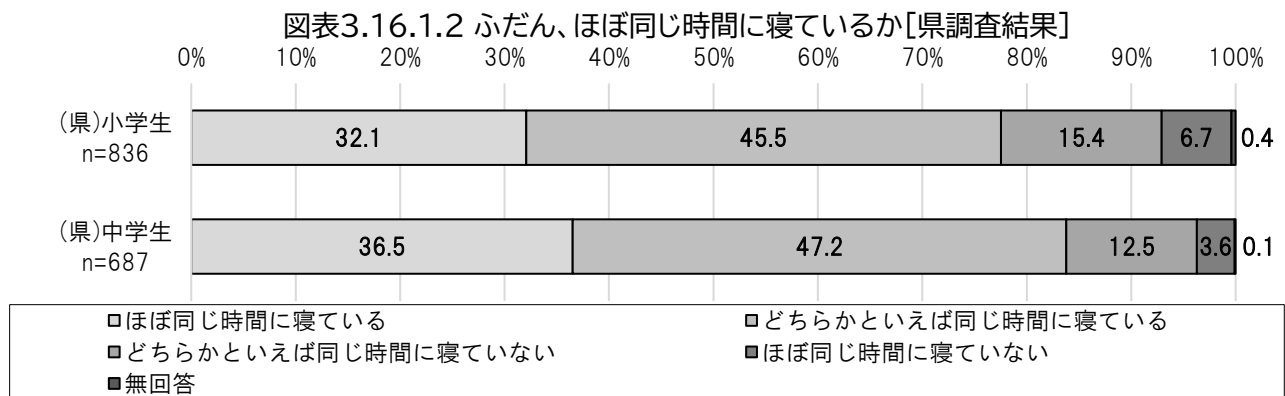
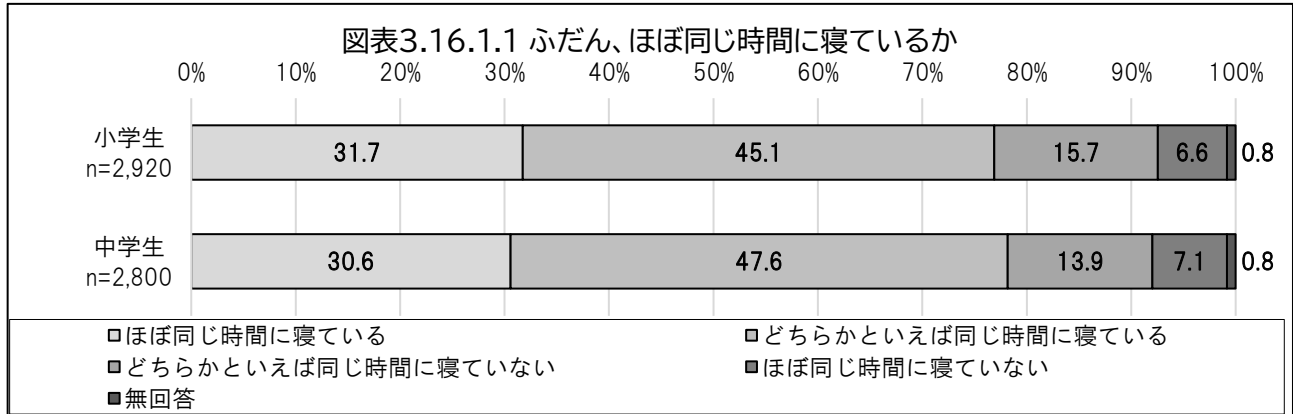
夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度について、世帯別にみると、中学生では、夏休みや冬休みなどの期間の昼食を「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では82.9%であったのに対し、ひとり親世帯では78.7%と低くなっています。また、県調査（86.5%）と比較して低くなっています。



問16. あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

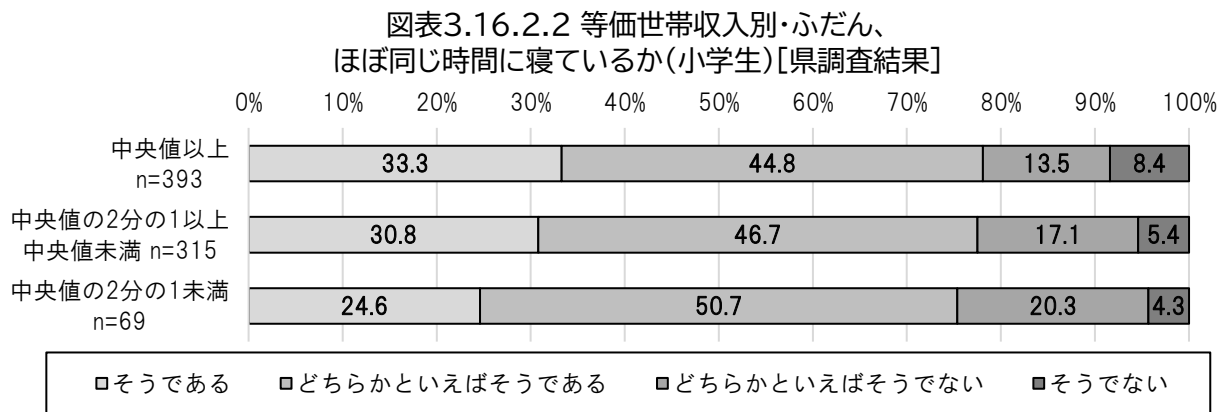
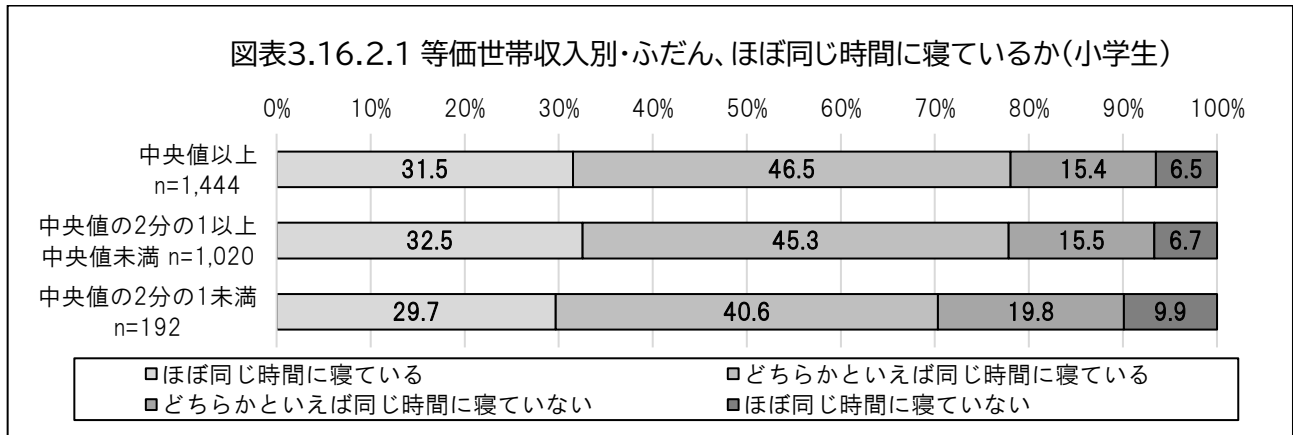
(1)全体

普段、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、小学生・中学生ともに「どちらかといえば同じ時間に寝ている」が45.1%、47.6%と最も高く、次いで「ほぼ同じ時間に寝ている」が31.7%、30.6%、「どちらかといえば同じ時間に寝ていない」が15.7%、13.9%の順となっています。



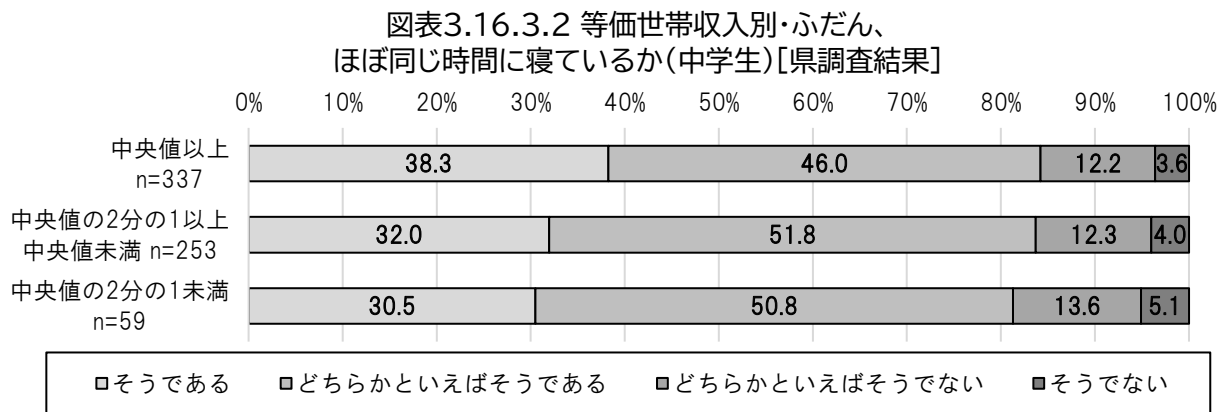
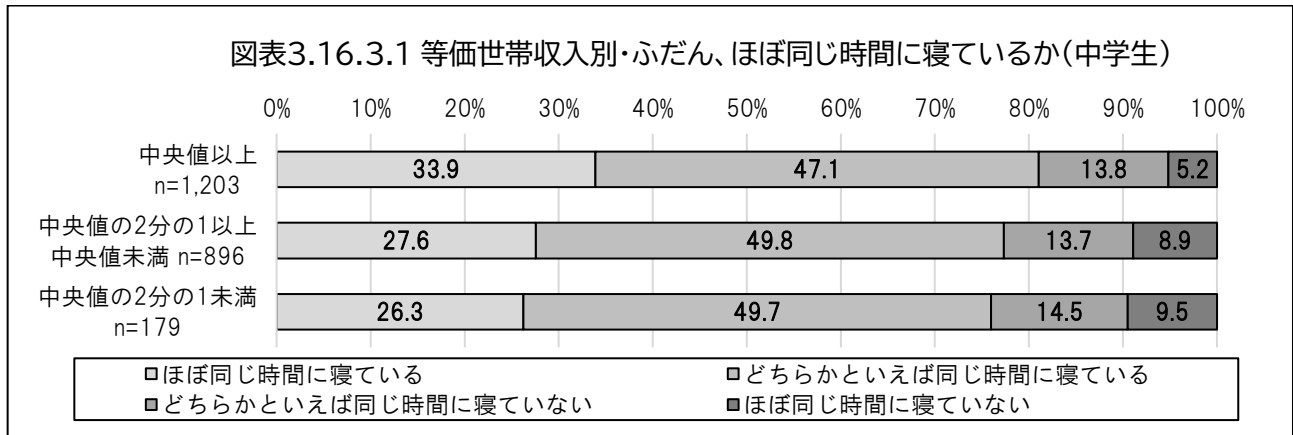
(2)等価世帯収入別・小学生（問 16. ふだん、ほぼ同じ時間に寝ているか）

普段、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「ほぼ同じ時間に寝ている」と回答した割合は、全体では31.7%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では29.7%と低くなっています。また、県調査（24.6%）と比較して高くなっています。



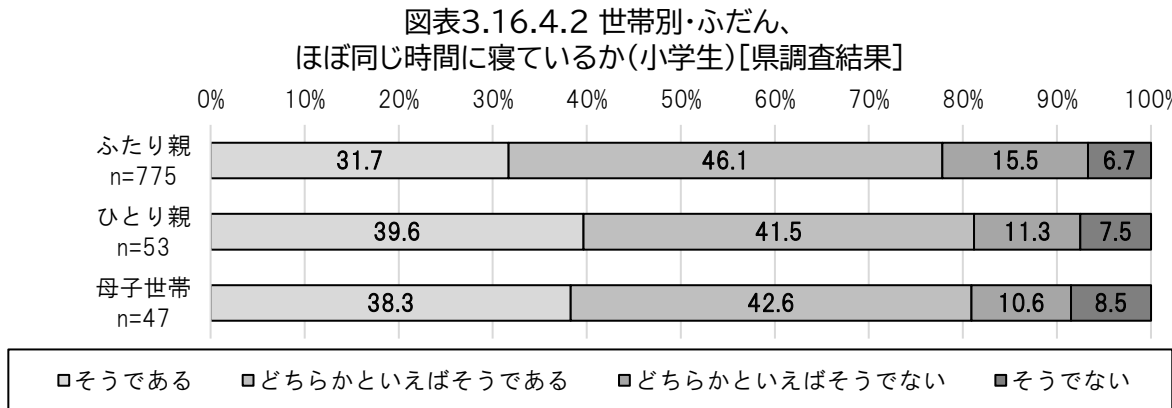
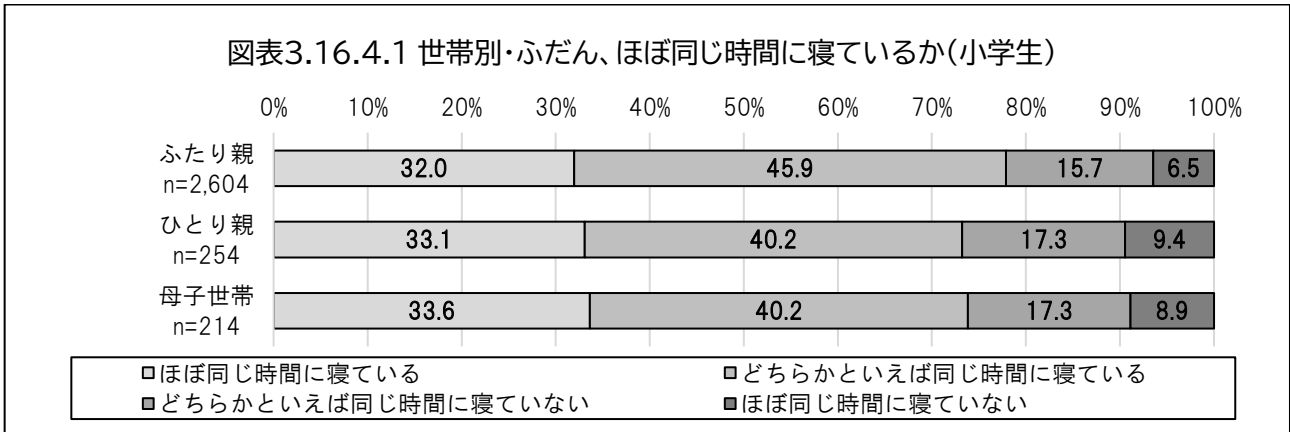
(3)等価世帯収入別・中学生（問 16. ふだん、ほぼ同じ時間に寝ているか）

普段、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「ほぼ同じ時間に寝ている」と回答した割合は、全体では30.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では26.3%と低くなっています。また、県調査（30.5%）と比較して低くなっています



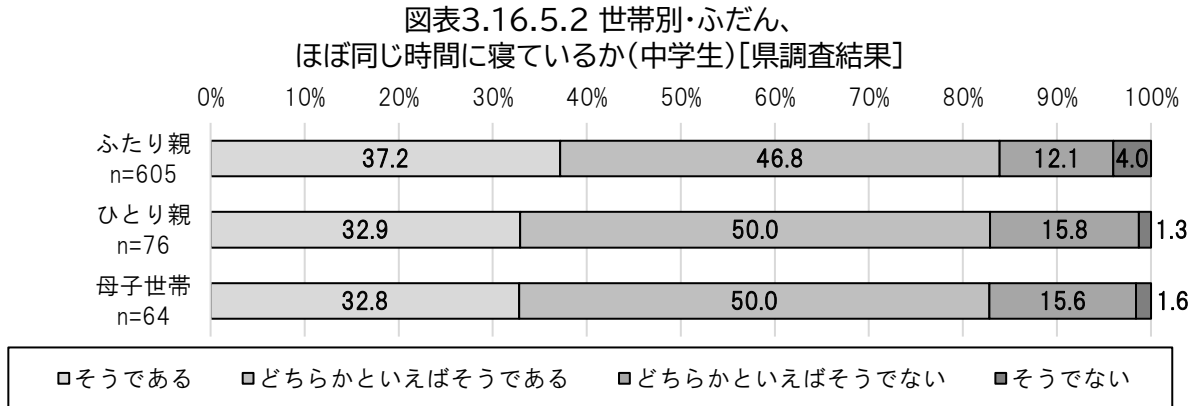
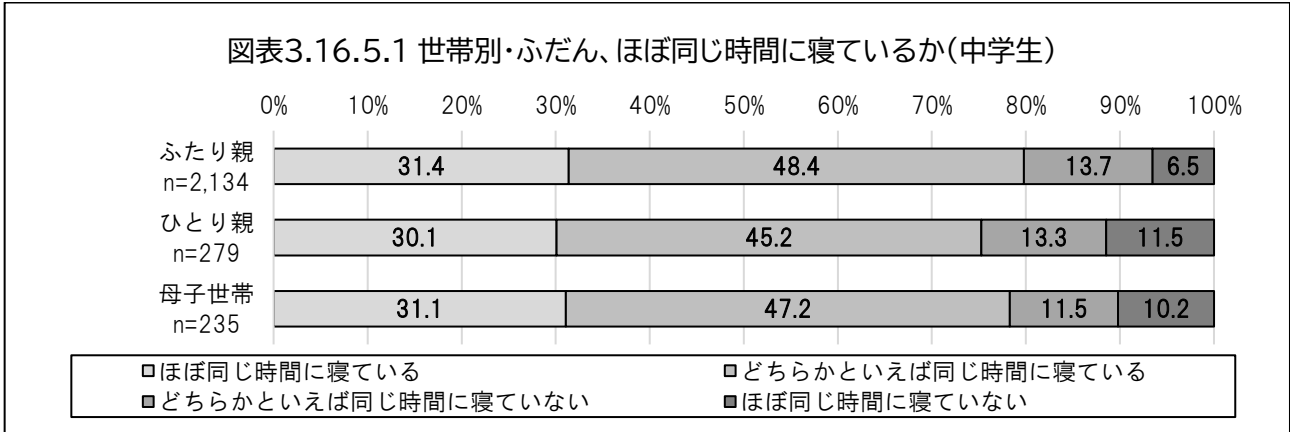
(4)世帯別・小学生（問 16. ふだん、ほぼ同じ時間に寝ているか）

普段、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、世帯別にみると、小学生では、「ほぼ同じ時間に寝ている」と回答した割合は、全体では31.7%であったのに対し、ひとり親世帯では33.1%と高くなっています。また、県調査（39.6%）と比較して低くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 16. ふだん、ほぼ同じ時間に寝ているか）

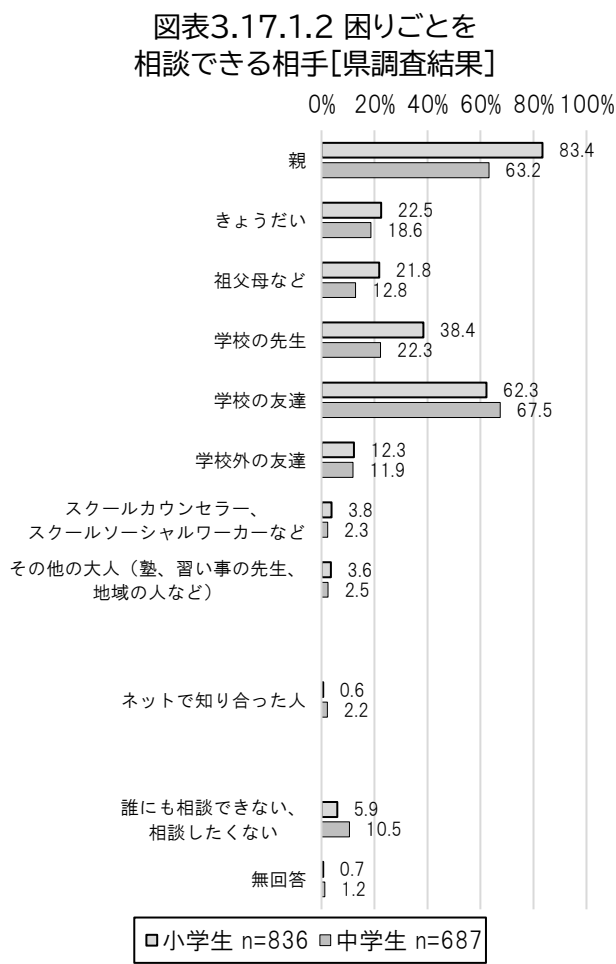
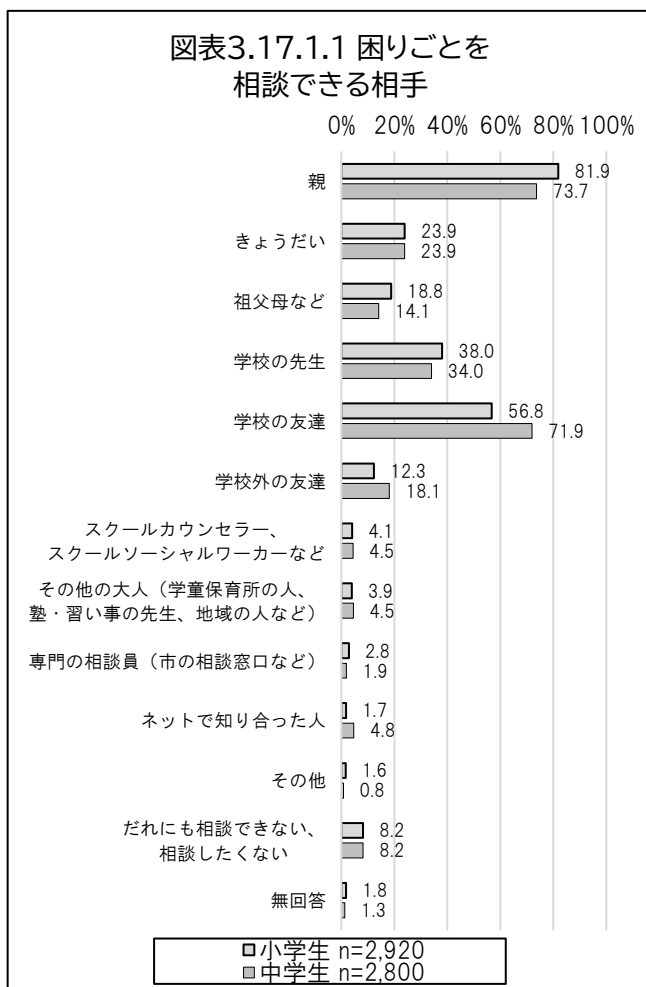
普段、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、世帯別にみると、中学生では、「ほぼ同じ時間に寝ている」と回答した割合は、全体では 30.6%であったのに対し、ひとり親世帯では 30.1%と同程度となっています。また、県調査（32.9%）と比較してやや低くなっています。



問17. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。

(1)全体

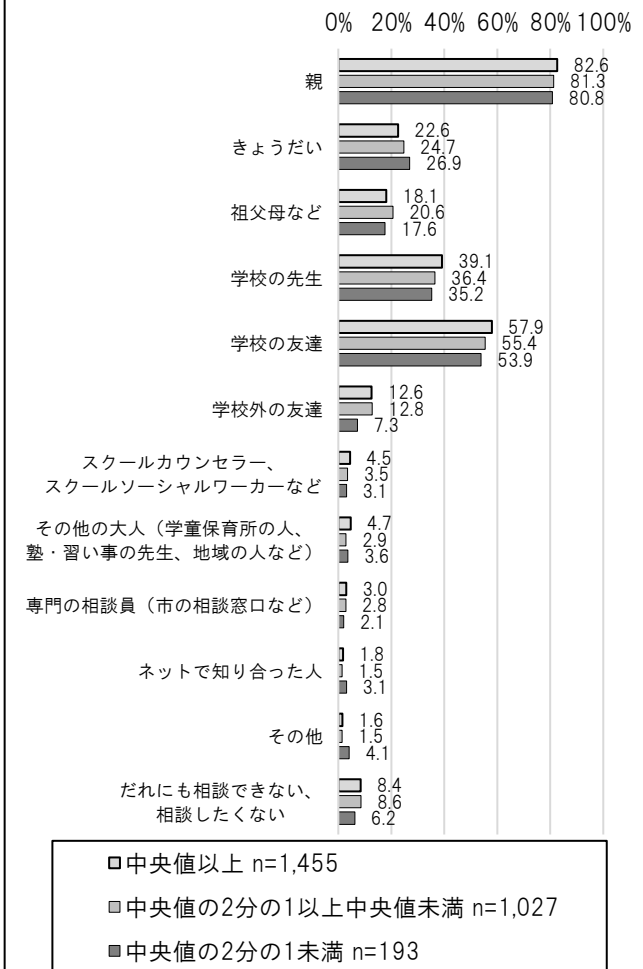
困りごとを相談できる相手について、小学生・中学生ともに「親」が81.9%、73.7%で最も高く、次いで「学校の友達」が56.8%、71.9%、「学校の先生」が38.0%、34.0%となっています。また、「誰にも相談できない、相談したくない」が、小中学生ともに8.2%となっています。



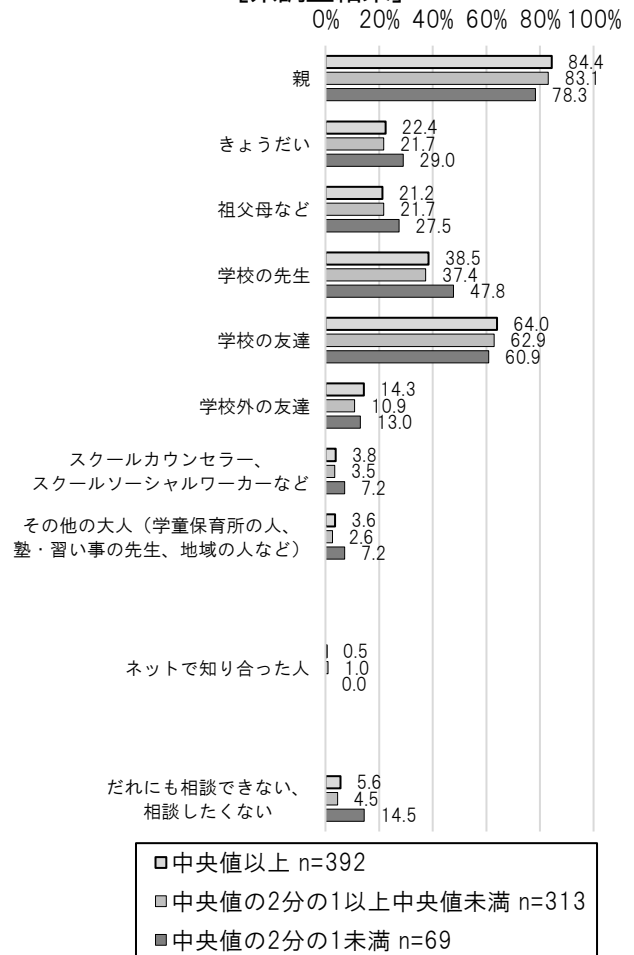
(2)等価世帯収入別・小学生（問 17. 困りごとを相談出来る相手）

困りごとを相談できる相手について、等価世帯収入別にみると、小学生では大きな違いはありませんでした。

図表3.17.2.1 等価世帯収入別
困りごとを相談できる相手(小学生)



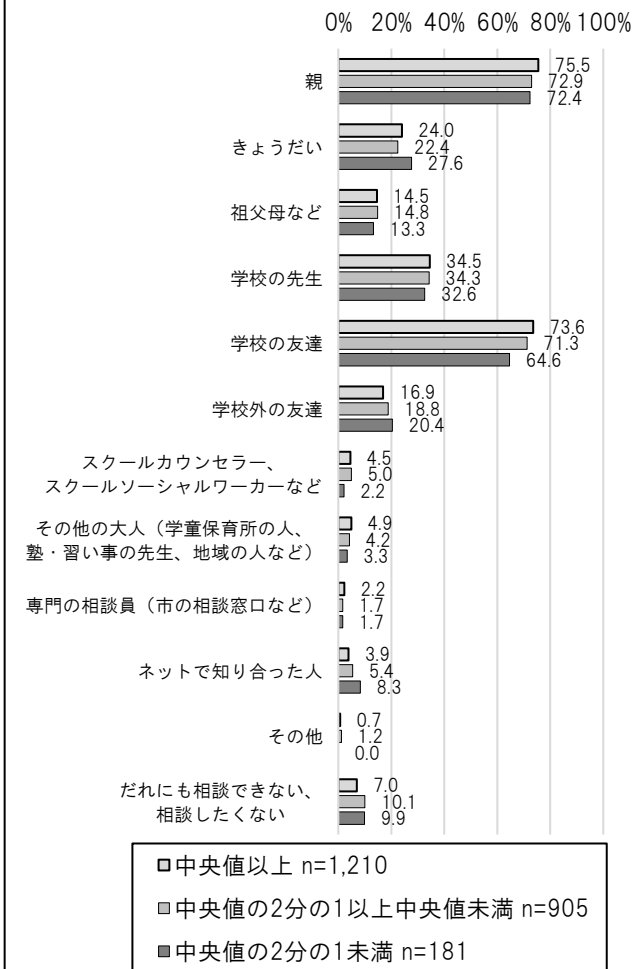
図表3.17.2.2 等価世帯収入別
困りごとを相談できる相手(小学生)
[県調査結果]



(3)等価世帯収入別・中学生（問 17. 困りごとを相談出来る相手）

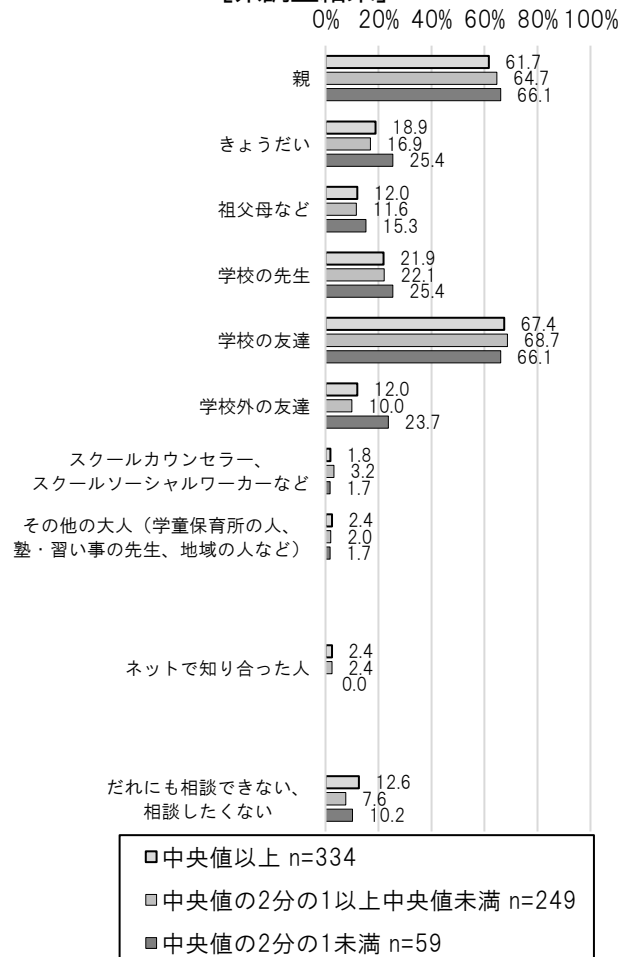
困りごとを相談できる相手について、等価世帯収入別にみると、中学生では大きな違いはありませんでした。

図表3.17.3.1 等価世帯収入別
困りごとを相談できる相手(中学生)



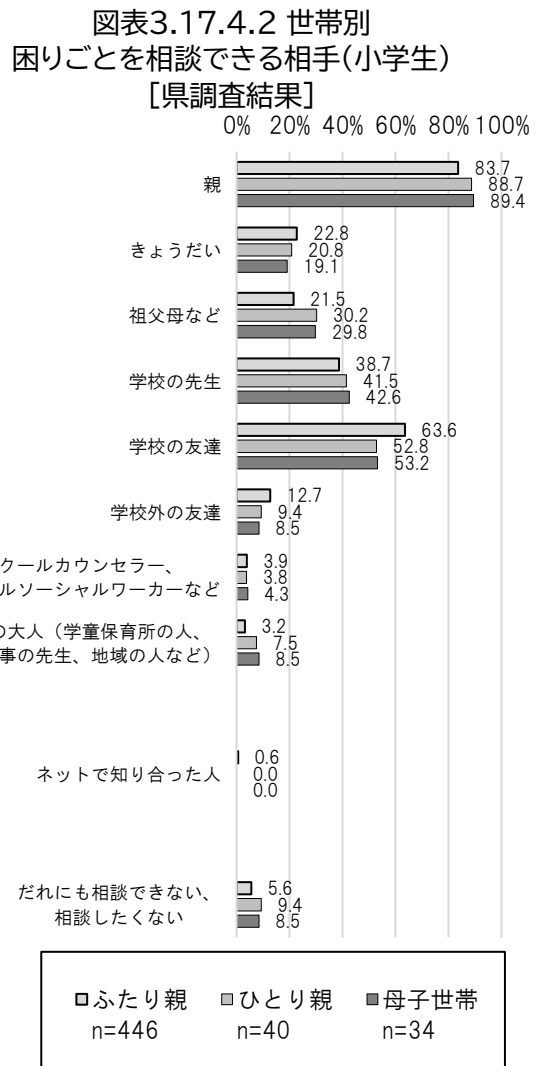
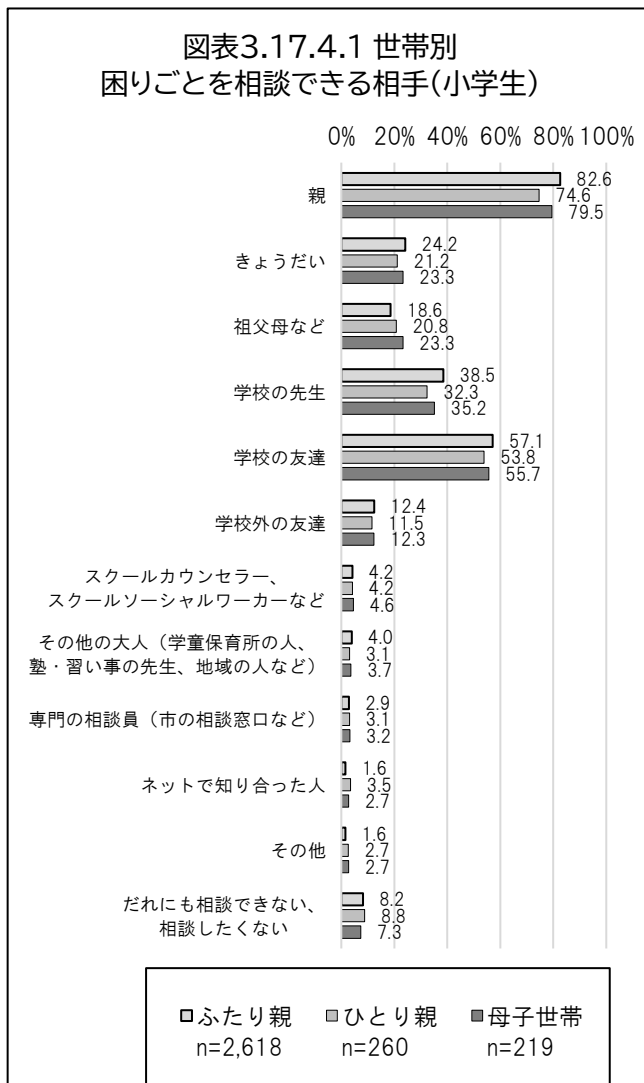
図表3.17.3.2 等価世帯収入別
困りごとを相談できる相手(中学生)

【県調査結果】



(4)世帯別・小学生（問 17. 困りごとを相談出来る相手）

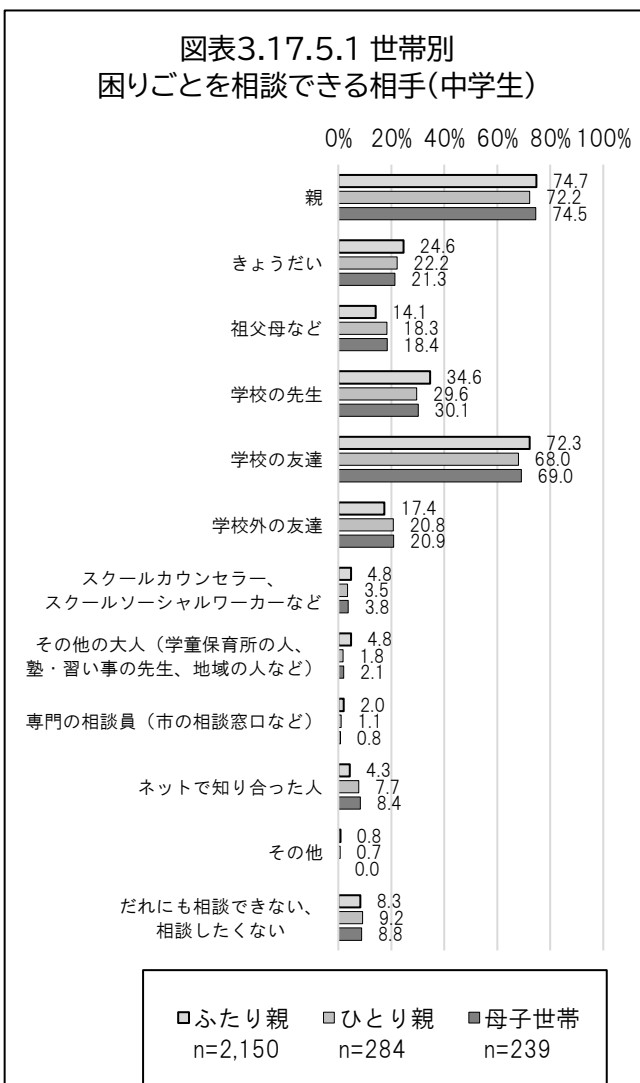
困りごとを相談できる相手について、世帯別にみると、小学生では大きな違いはありませんでした。



(5)世帯別・中学生（問 17. 困りごとを相談出来る相手）

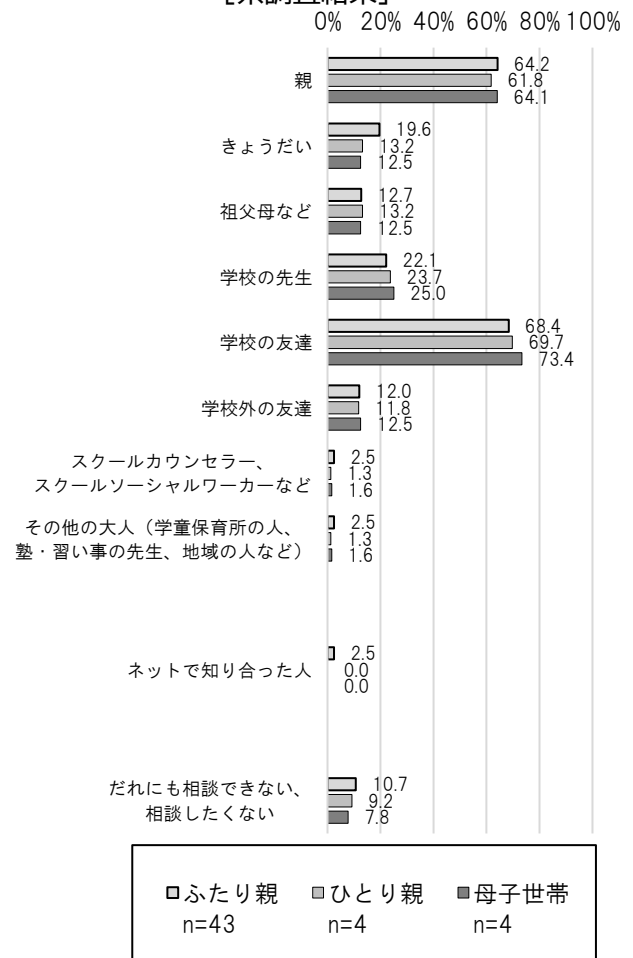
困りごとを相談できる相手について、世帯別にみると、中学生では大きな違いはありませんでした。

図表3.17.5.1 世帯別
困りごとを相談できる相手(中学生)



図表3.17.5.2 世帯別
困りごとを相談できる相手(中学生)

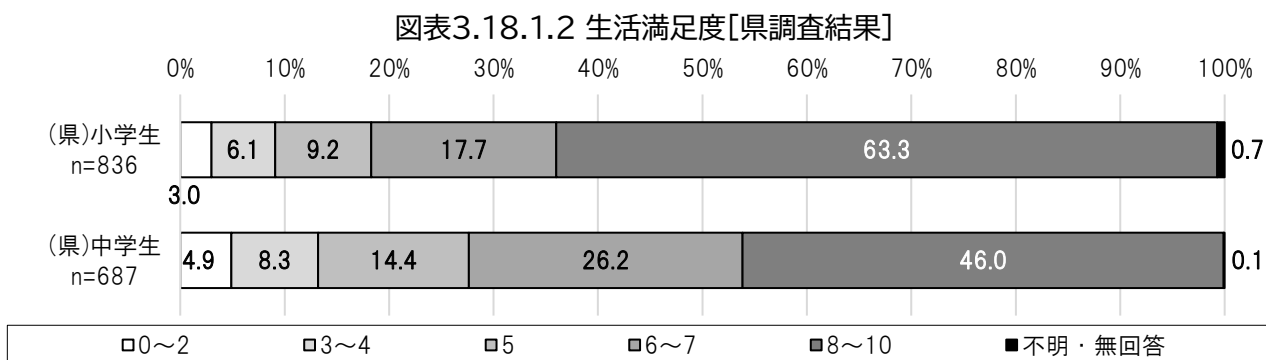
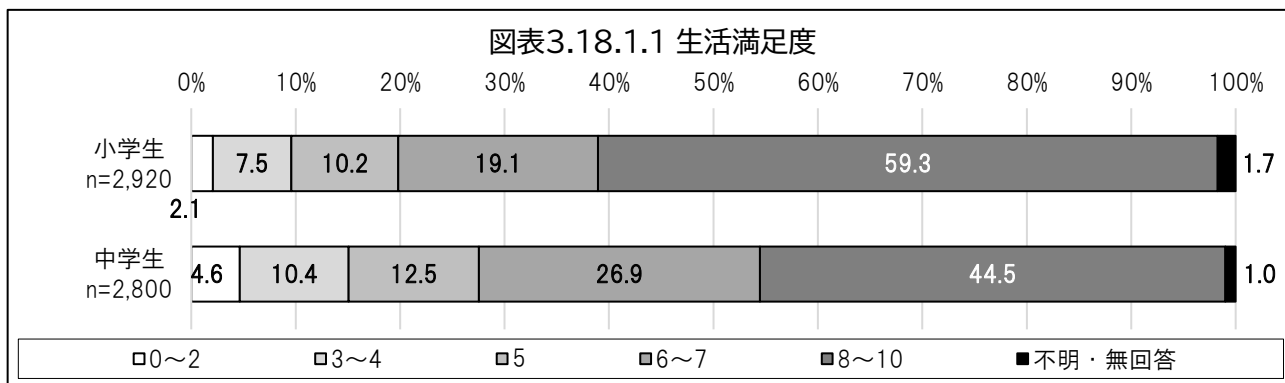
【県調査結果】



問18. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

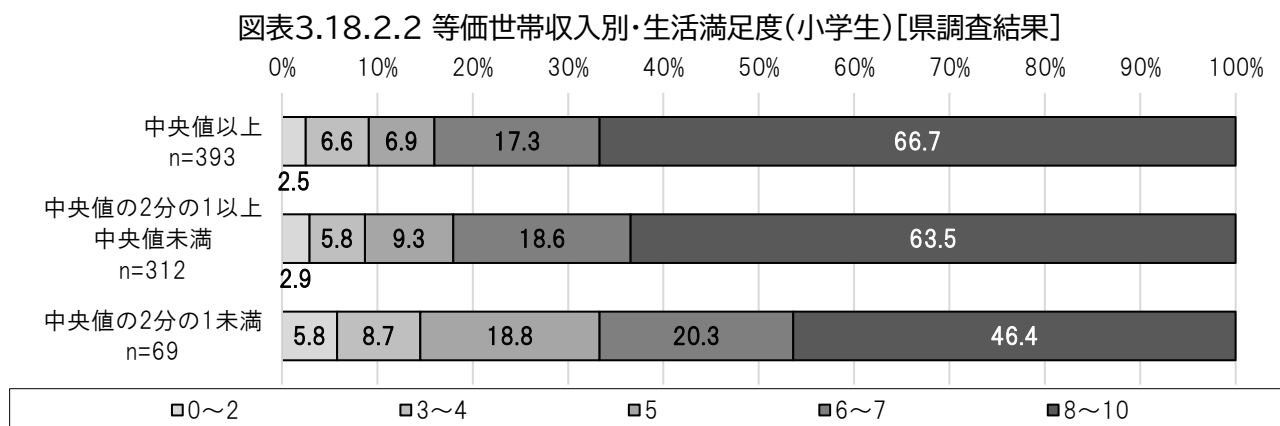
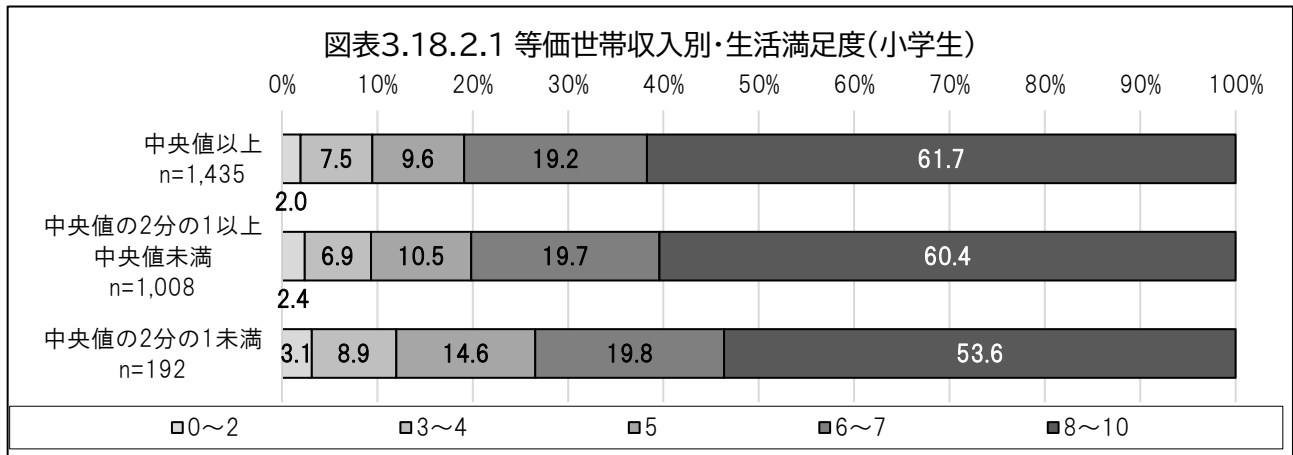
(1)全体

最近の生活満足度について、「6～10」(満足度が高い方の回答)と回答した割合は、小学生が78.4%、中学生が71.4%となっています。小学生、中学生(78.4%、71.4%)ともに、県調査(81.0%、72.2%)と比較してやや低くなっています。



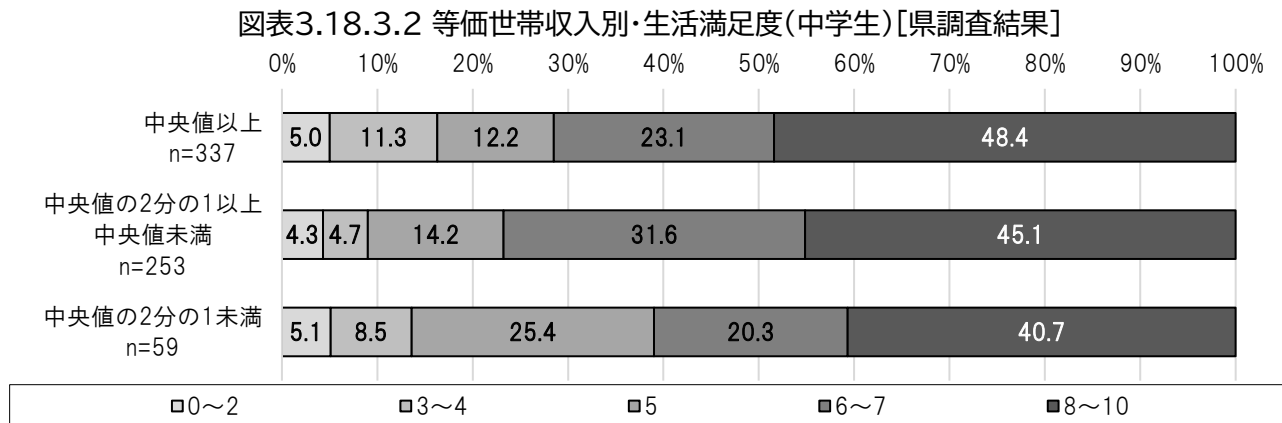
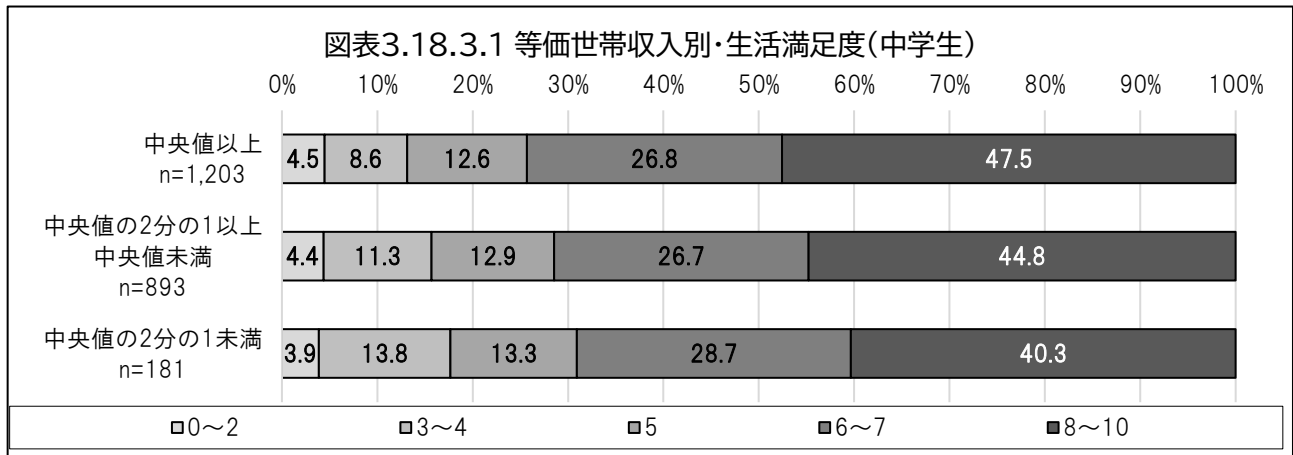
(2)等価世帯収入別・小学生（問 18. 生活満足度）

最近の生活満足度について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「6～10」（満足度が高い方の回答）と回答した割合は、全体では78.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では73.4%と低くなっています。また、県調査（66.7%）と比較して高くなっています。



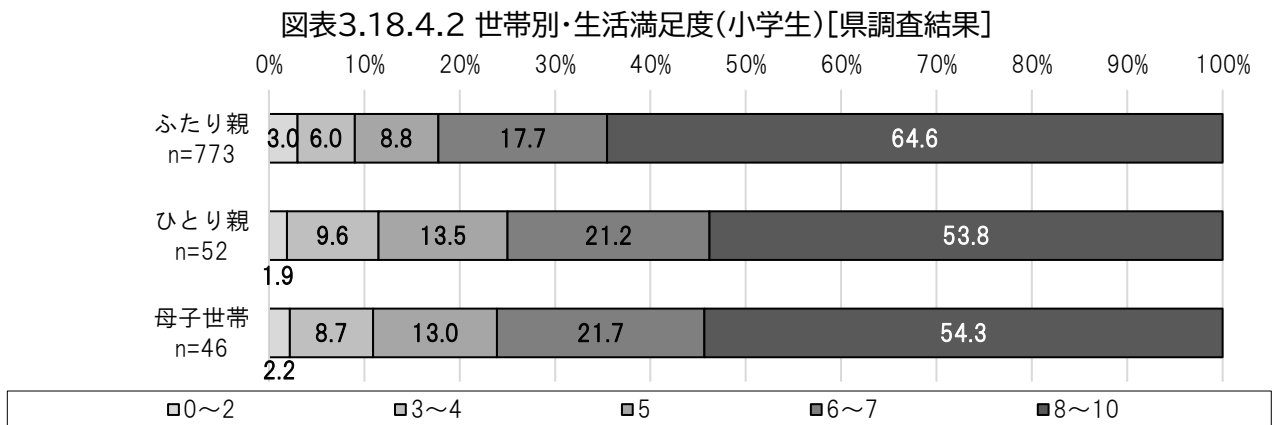
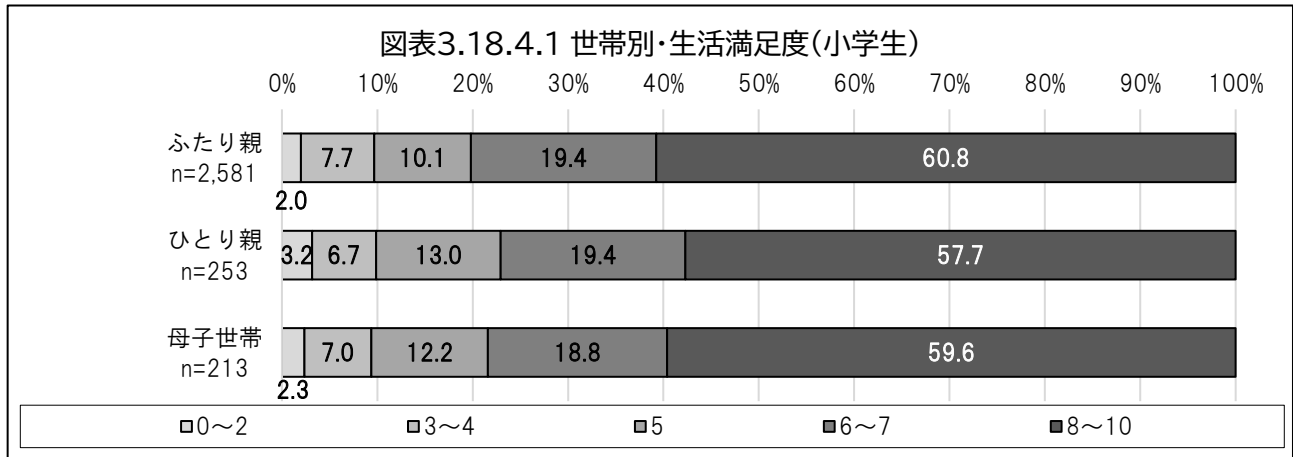
(3)等価世帯収入別・中学生（問 18. 生活満足度）

最近の生活満足度について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「6～10」（満足度が高い方の回答）と回答した割合は、全体では 71.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では 69.0%と低くなっています。また、県調査（61.0%）と比較して高くなっています。



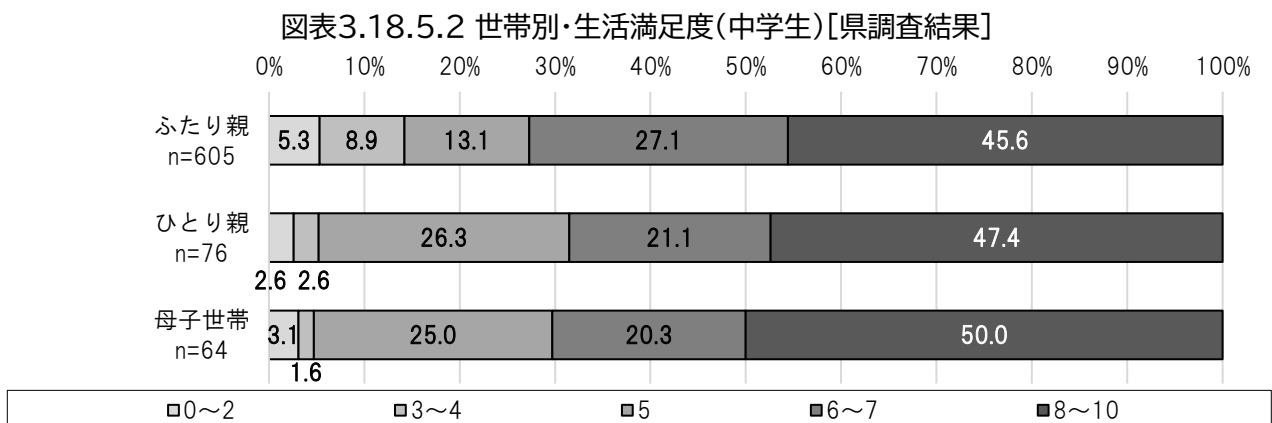
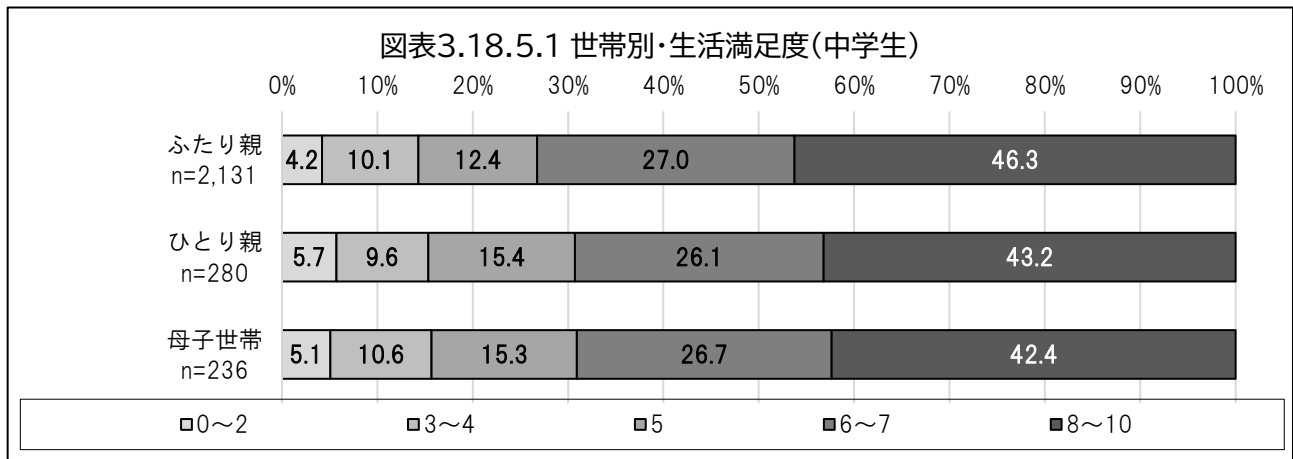
(4)世帯別・小学生（問 18. 生活満足度）

最近の生活満足度について、世帯別にみると、小学生では、「6～10」（満足度が高い方の回答）と回答した割合は、全体では 78.4%であったのに対し、ひとり親世帯では 77.1%とやや低くなっています。また、県調査（75.0%）と比較してやや高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 18. 生活満足度）

最近の生活満足度について、世帯別にみると、中学生では、「6～10」（満足度が高い方の回答）と回答した割合は、全体では71.4%であったのに対し、ひとり親世帯では69.3%とやや低くなっています。また、県調査（68.5%）と比較してやや高くなっています

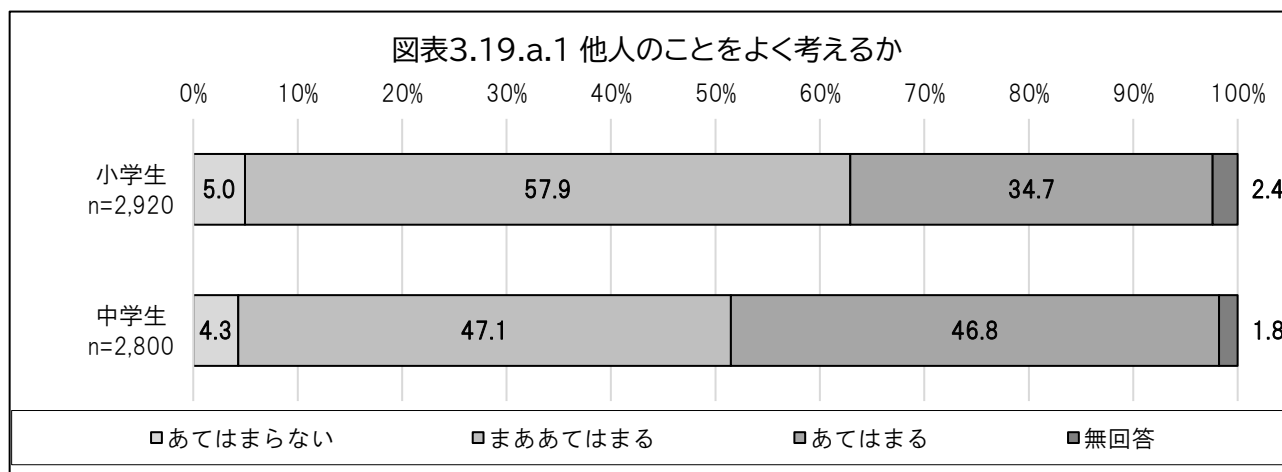


問19. 次のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれから回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。

a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。

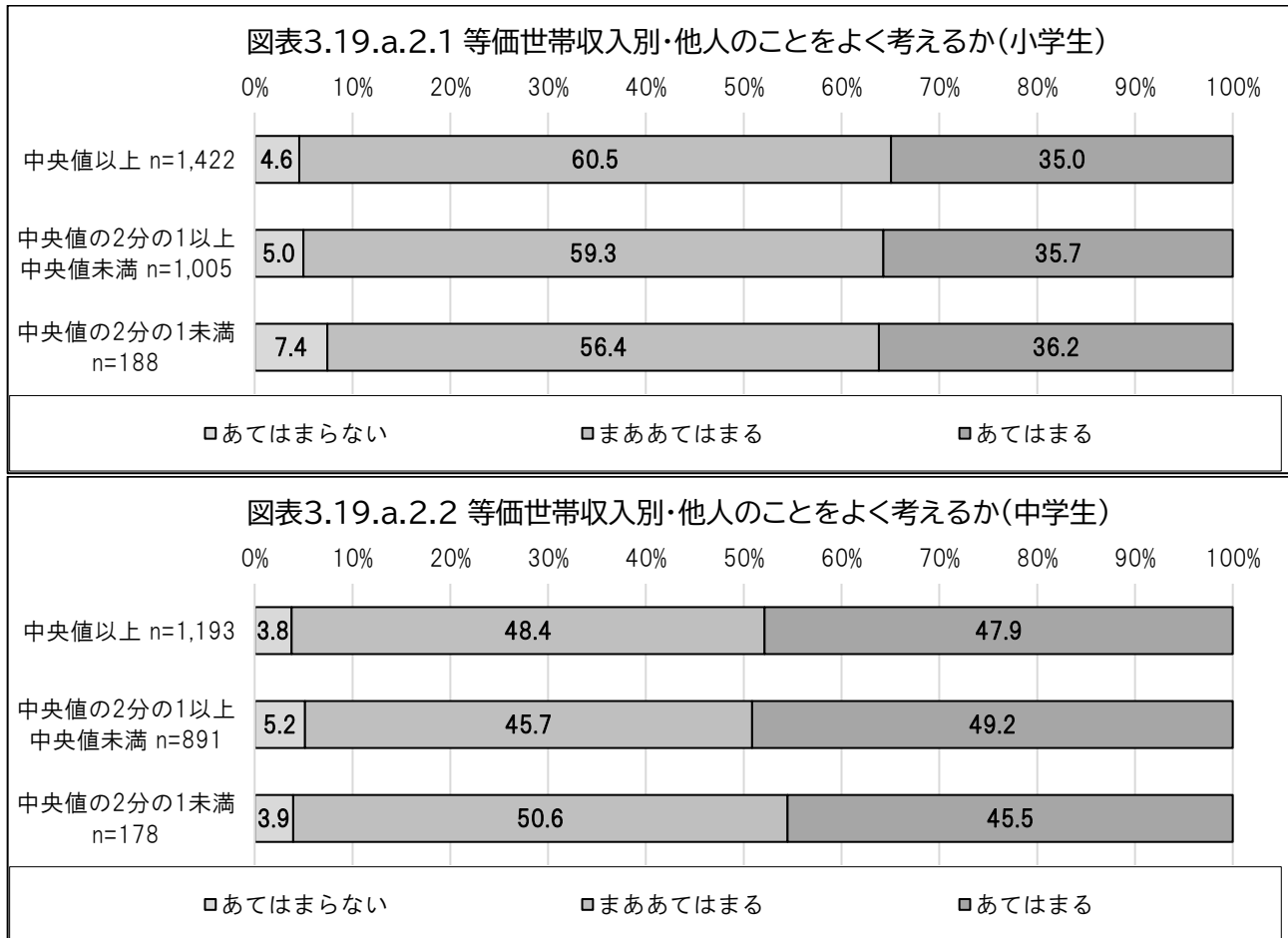
(1)全体

他人のことをよく考えるかについて、小学生・中学生ともに「まああてはまる」が57.9%、47.1%と最も高く、次いで「あてはまる」が34.7%、46.8%、「あてはまらない」が5.0%、4.3%となっています。



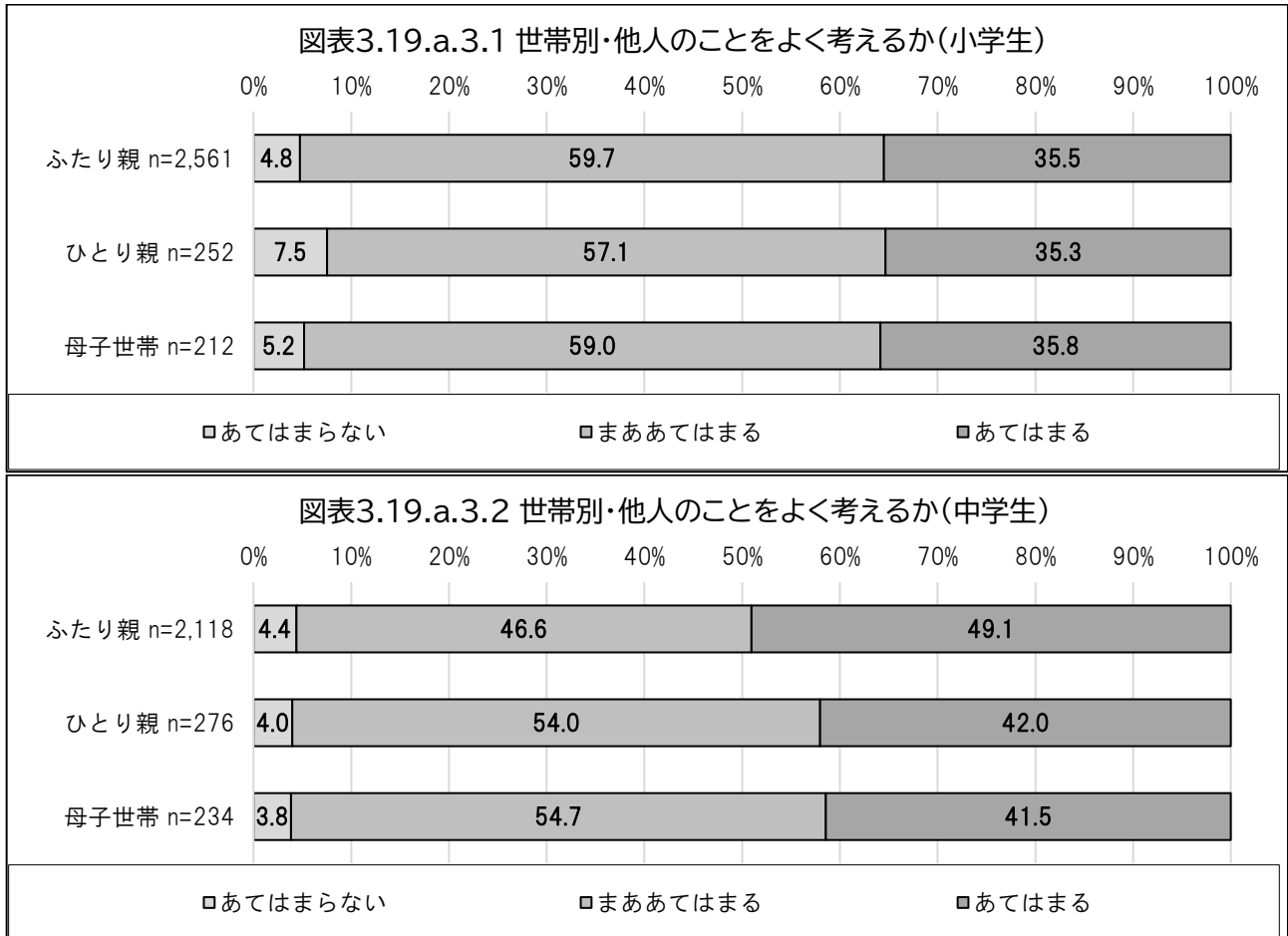
(2)等価世帯収入別

他人のことをよく考えるかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が5.0%、中学生が4.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は7.4%とやや高くなっており、中学生では3.9%と同程度となっています。



(3)世帯別

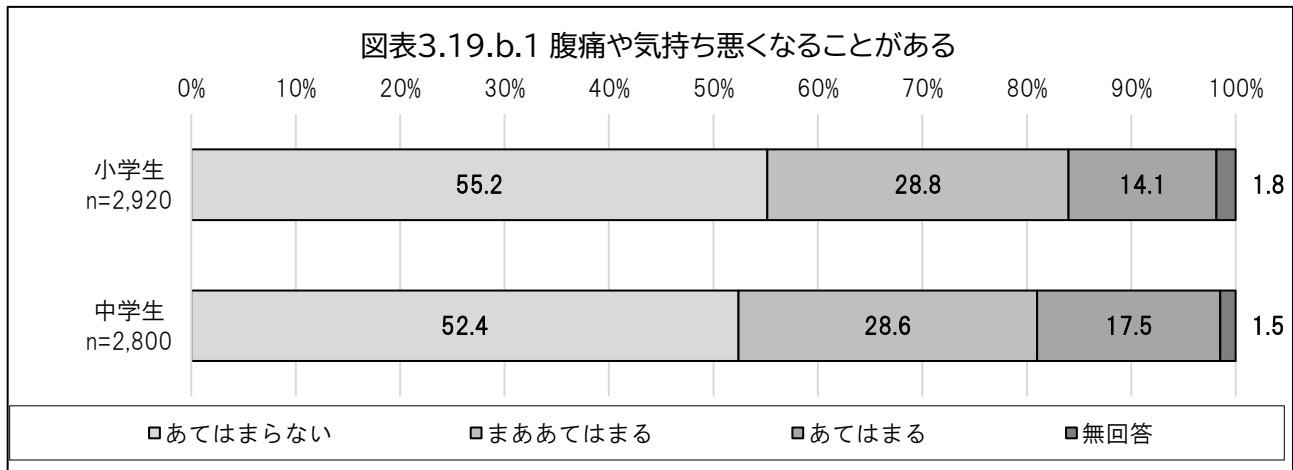
他人のことをよく考えるかについて、世帯別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が5.0%、中学生が4.3%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生は7.5%とやや高くなっており、中学生では4.0%で同程度となっています。



b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。

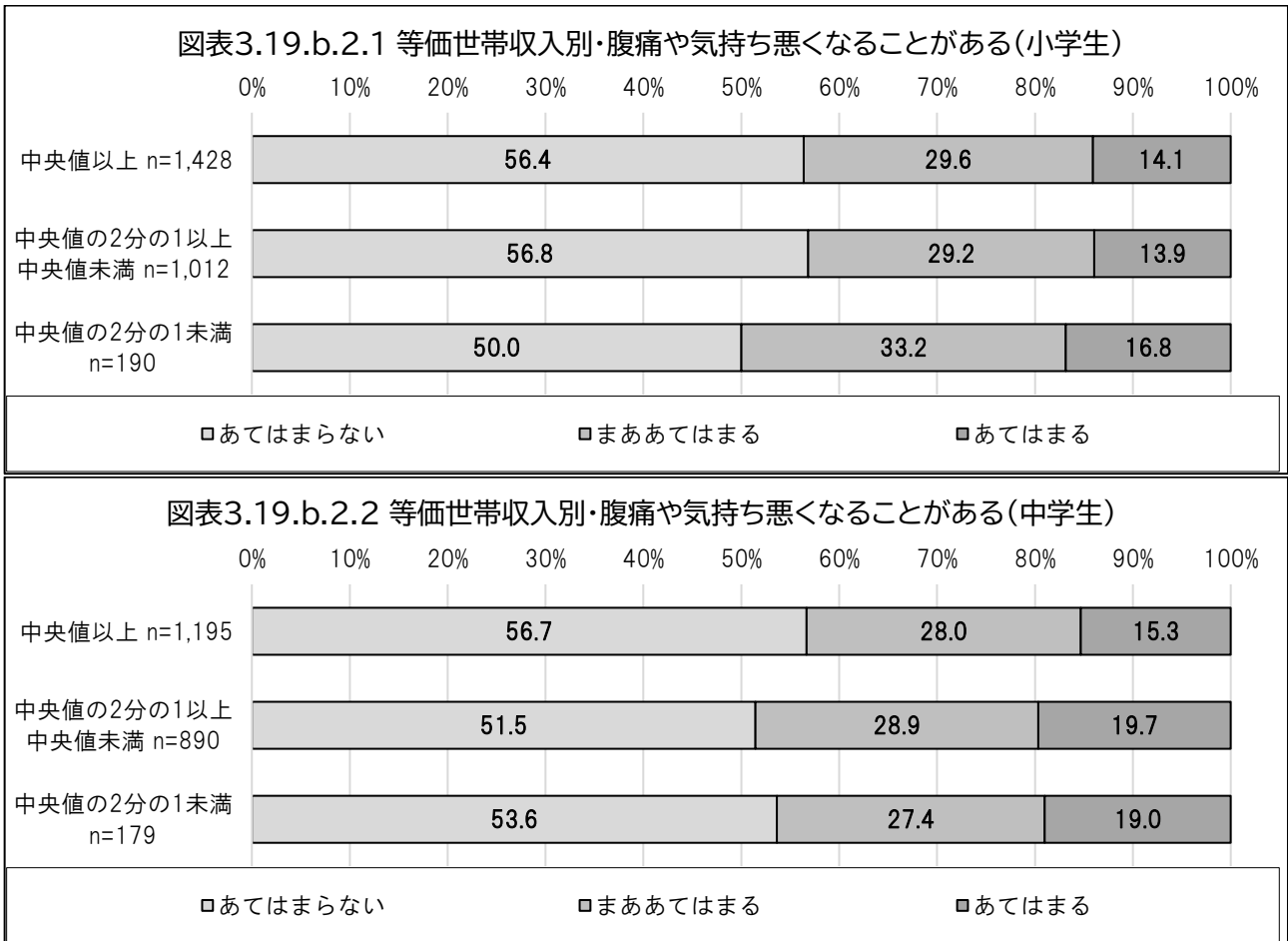
(1)全体

よく頭やお腹が痛くなったり、気持ち悪くなったりするかどうかについて、小学生・中学生ともに「あてはまらない」が55.2%、52.4%と最も高く、次いで「まああてはまる」が28.8%、28.6%、「あてはまる」が14.1%、17.5%となっています。



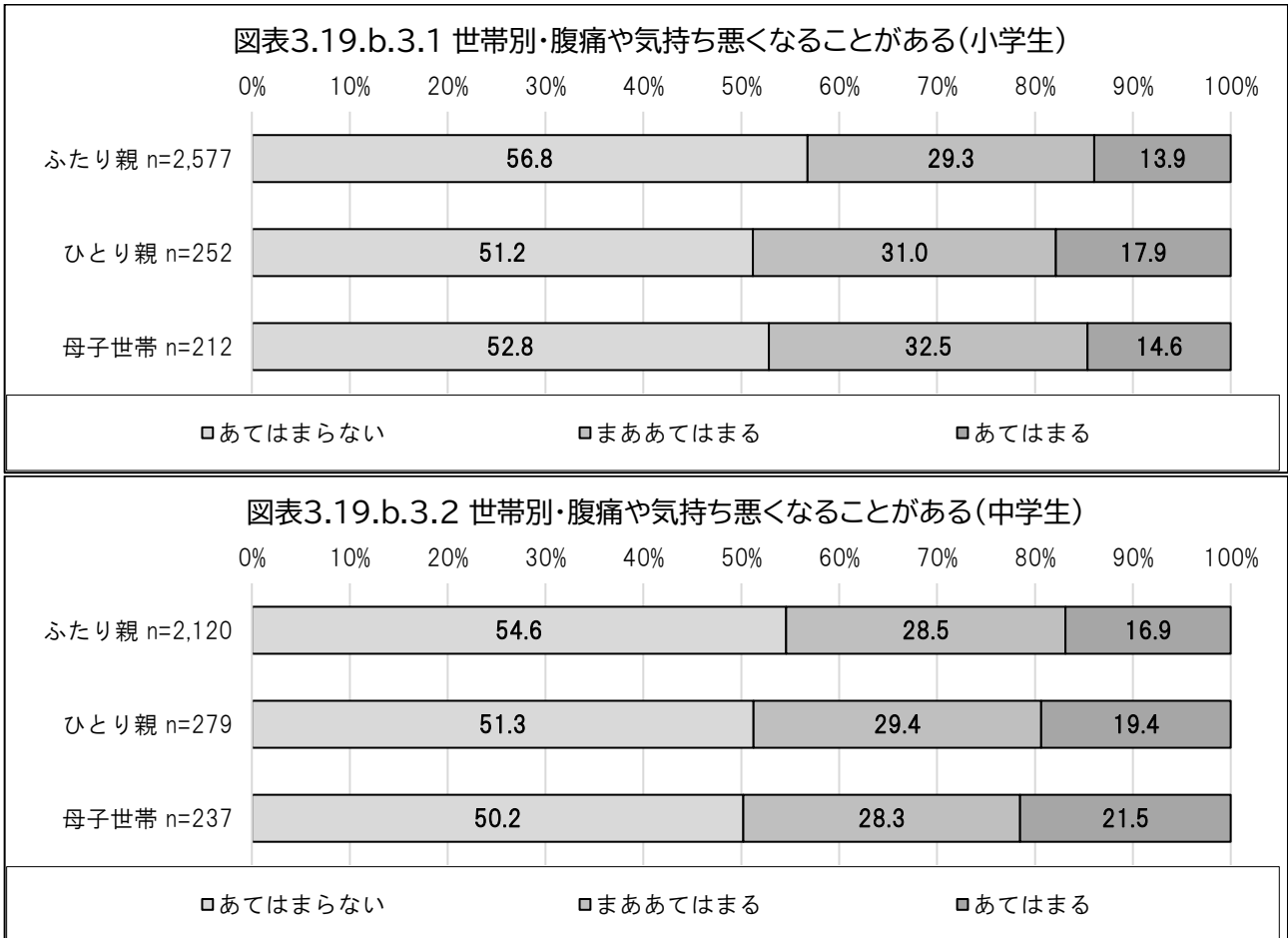
(2)等価世帯収入別

よく頭やお腹が痛くなったり、気持ち悪くなったりするかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は全体では小学生が14.1%、中学生が17.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が16.8%、中学生が19.0%とやや高くなっています。



(3)世帯別

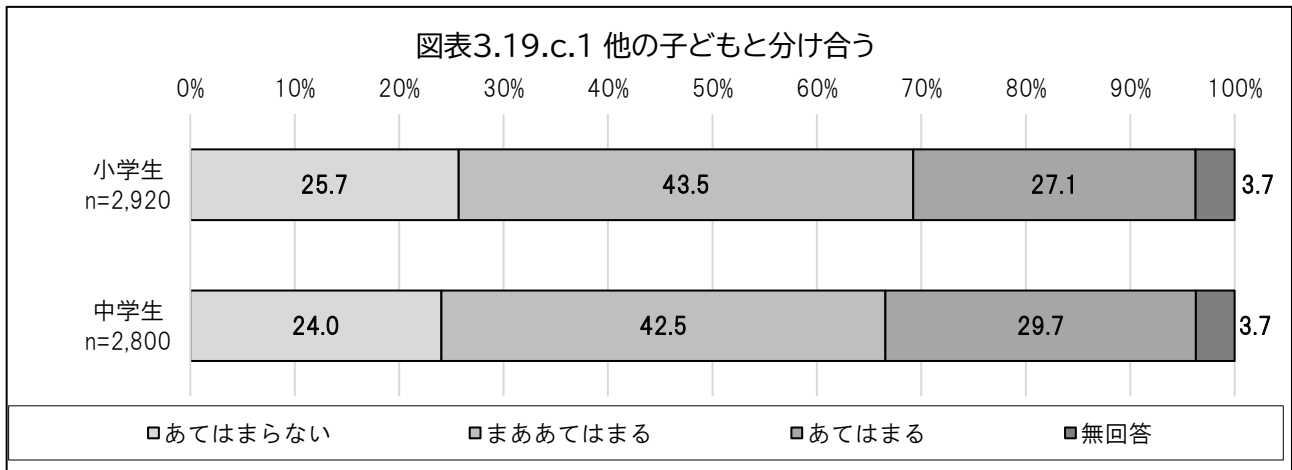
よく頭やお腹が痛くなったり、気持ち悪くなったりするかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は全体では小学生が14.1%、中学生が17.5%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が17.9%、中学生が19.4%とやや高くなっています。



c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。

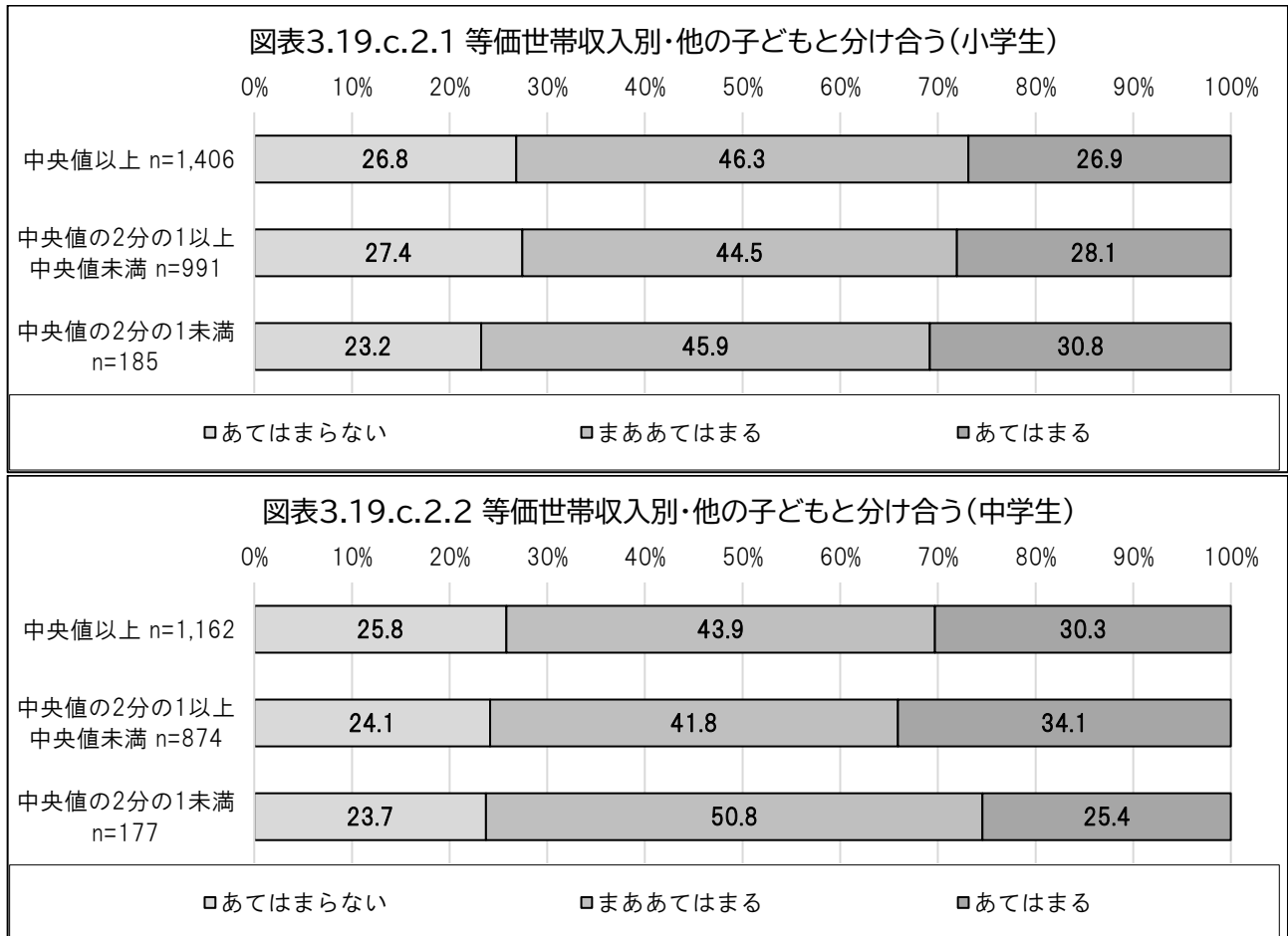
(1)全体

他の子どもとよく分け合うかについて、小学生・中学生ともに「まああてはまる」が43.5%、42.5%と最も高く、次いで「あてはまる」が27.1%、29.7%、「あてはまらない」が25.7%、24.0%となっています。



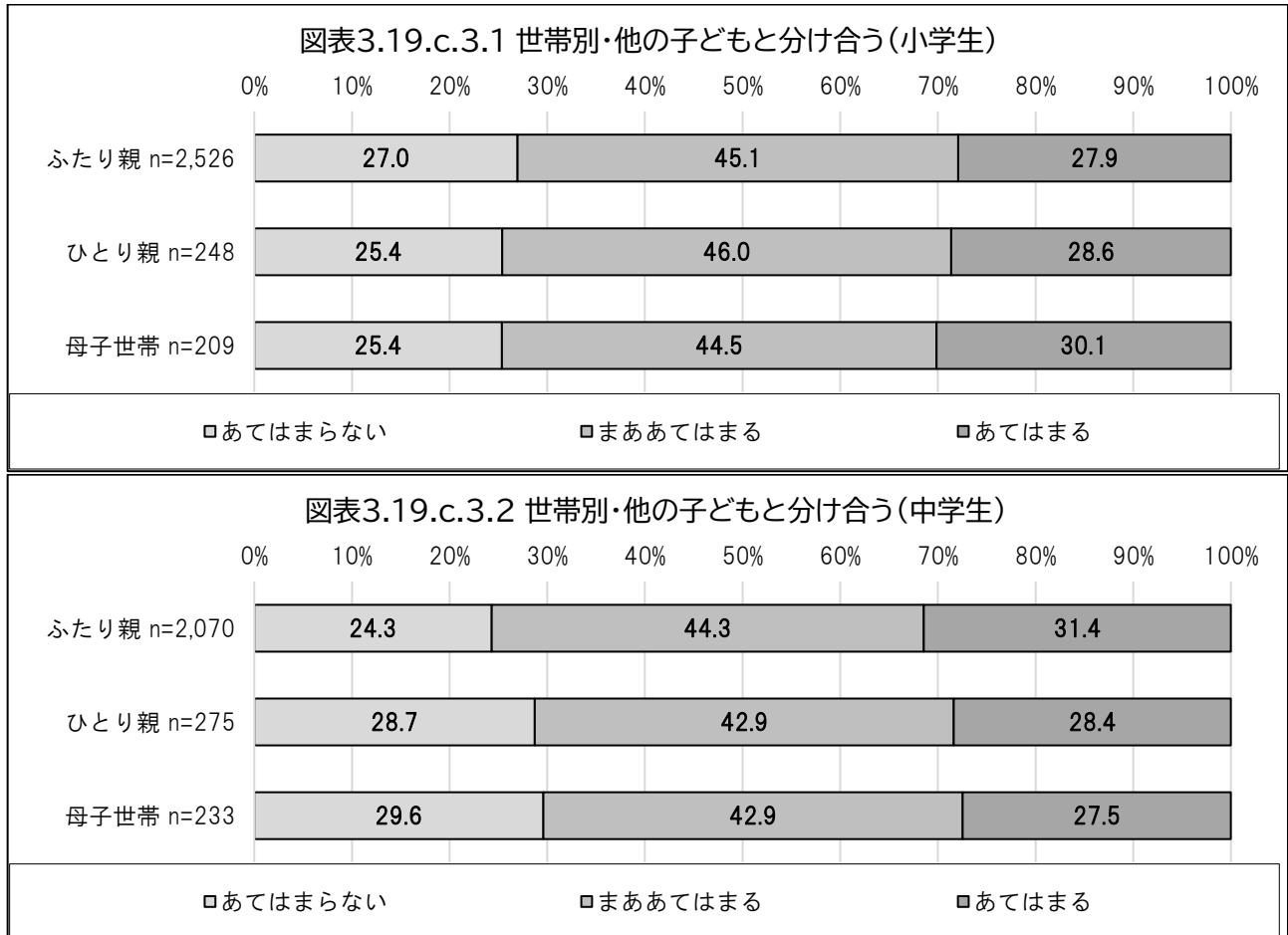
(2)等価世帯収入別

他の子どもと分け合うかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は全体では小学生が25.7%、中学生が24.0%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は23.2%とやや低くなっており、中学生では23.7%と同程度となっています。



(3)世帯別

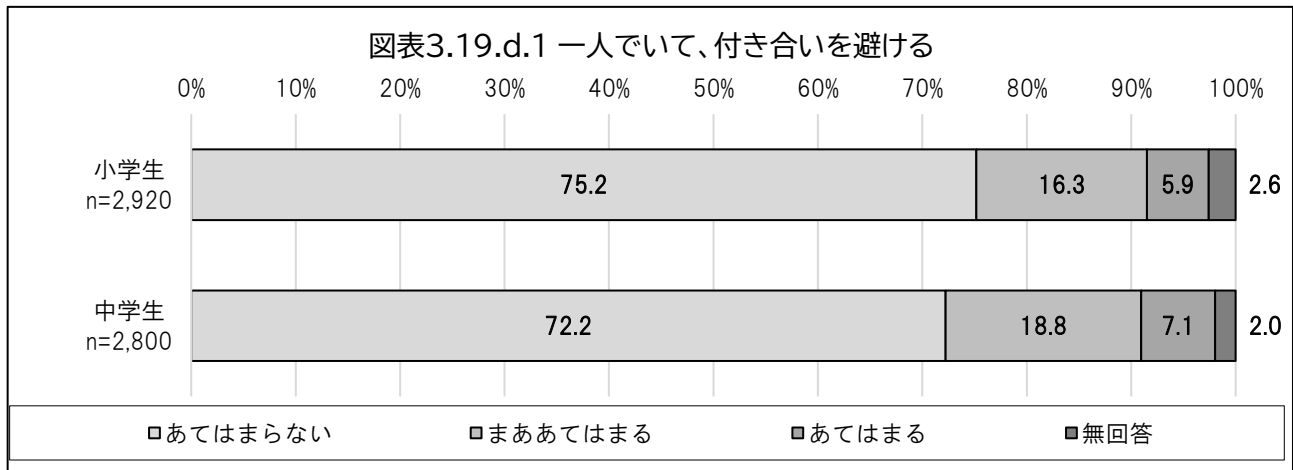
他の子どもと分け合うかについて、世帯別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は全体では小学生が25.7%、中学生が24.0%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生は25.4%と同程度、中学生では28.7%とやや高くなっています。



d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。

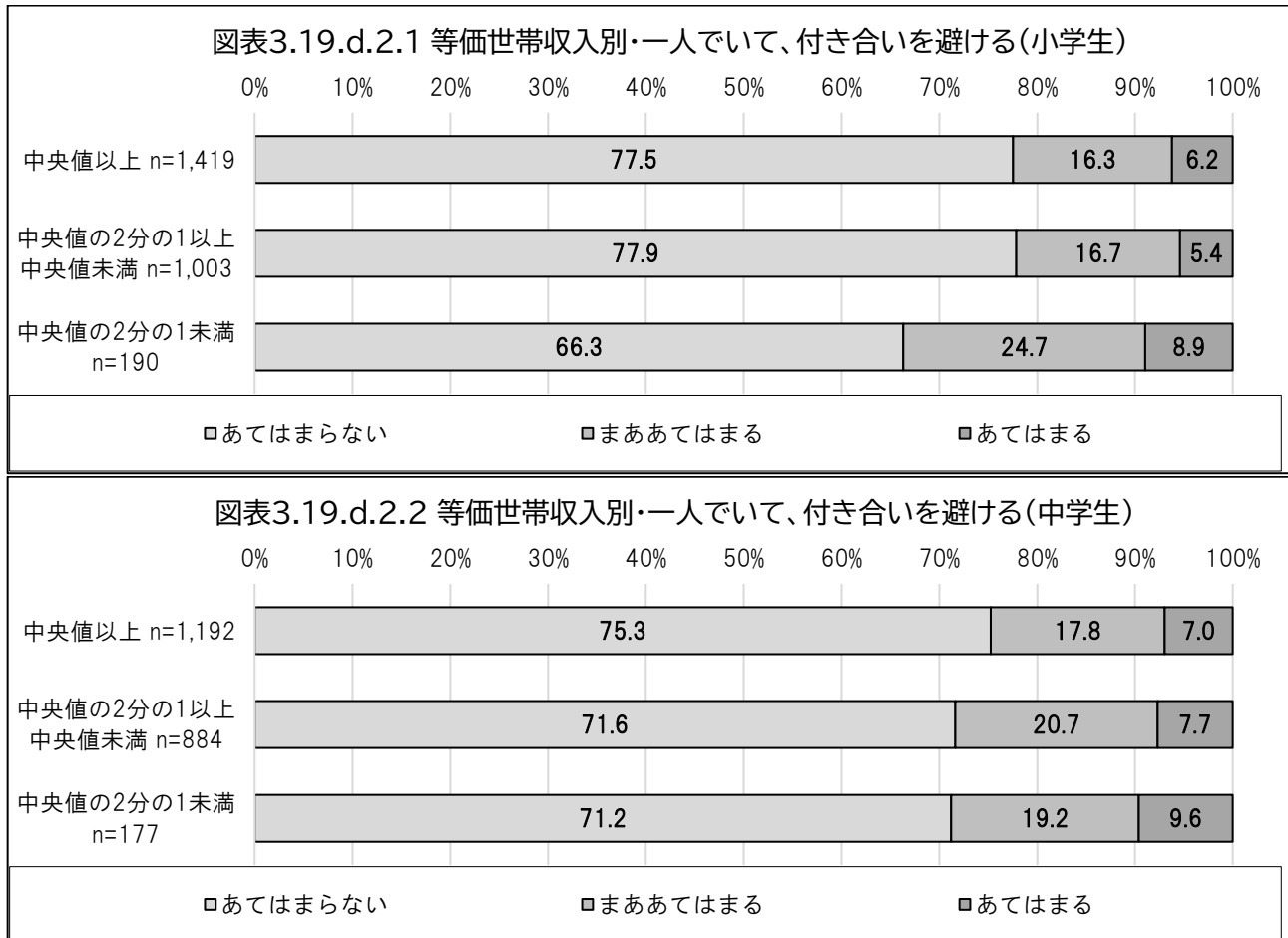
(1)全体

たいてい一人でいて、だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避けるかについて、小学生・中学生ともに、「あてはまらない」が75.2%、72.2%、「まああてはまる」が16.3%、18.8%、「あてはまる」が5.9%、7.1%となっています。



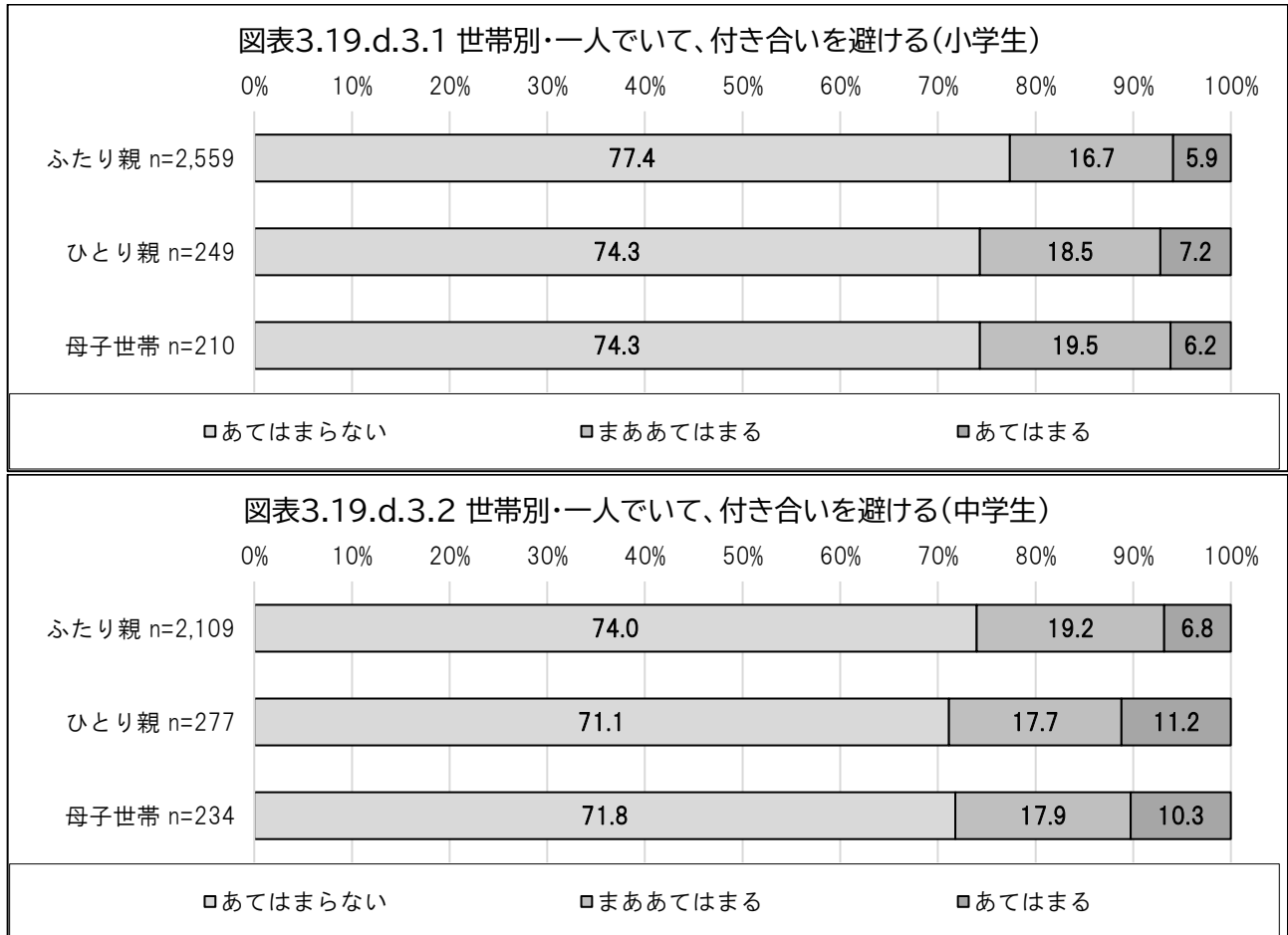
(2)等価世帯収入別

たいてい一人でいて、だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避けるかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が5.9%、中学生が7.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が8.9%、中学生が9.6%とやや高くなっています。



(3)世帯別

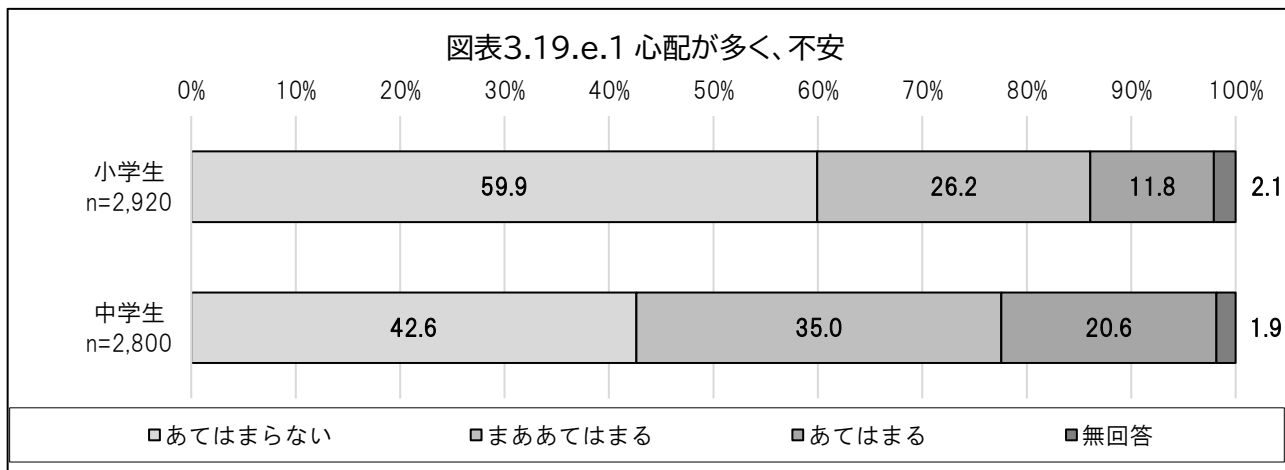
たいてい一人でいて、だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避けるかについて、世帯別に見ると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が5.9%、中学生が7.1%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が7.2%、中学生が11.2%とやや高くなっています。



e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。

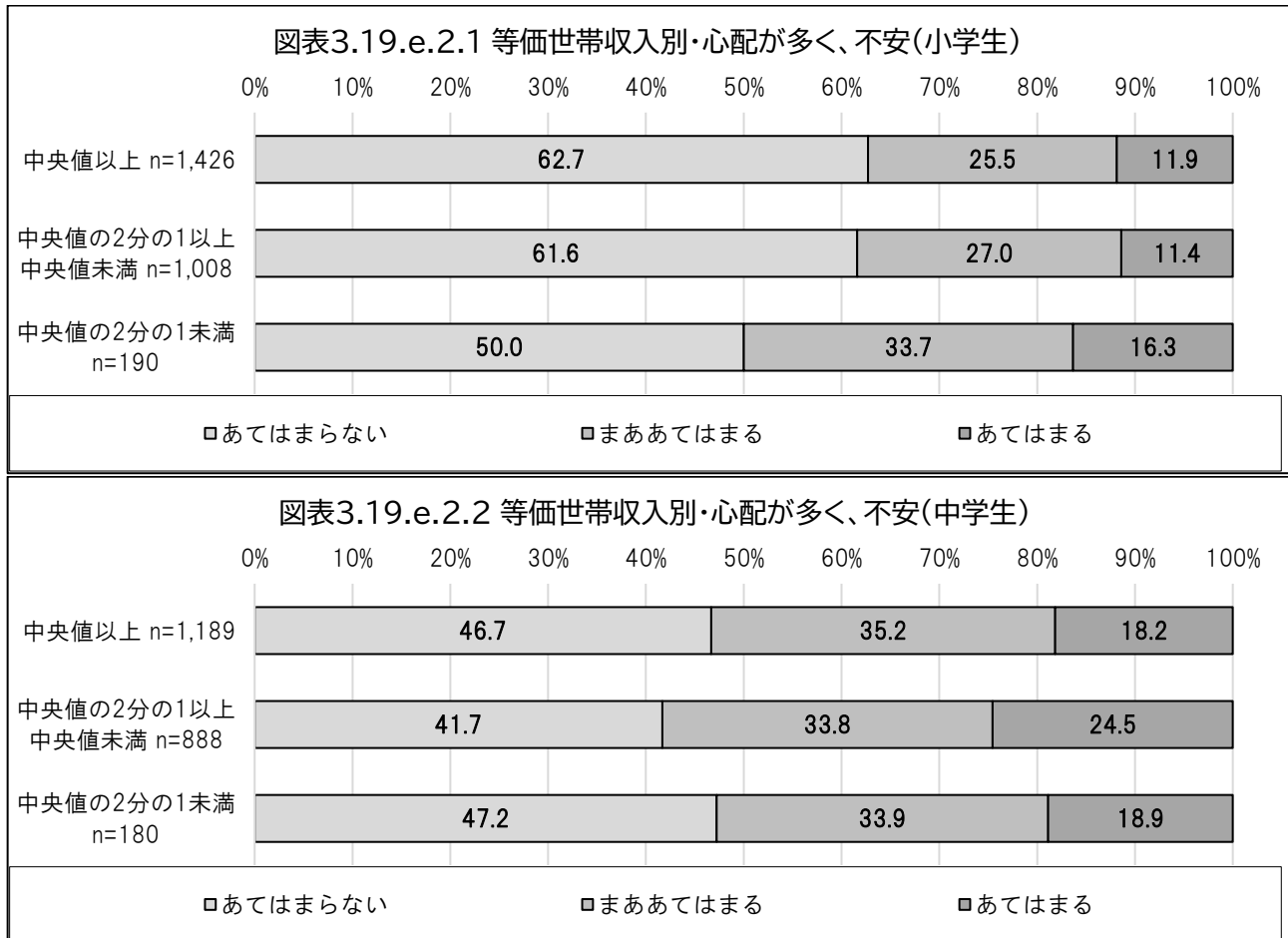
(1)全体

心配ごとが多く、いつも不安かについて、小学生・中学生ともに、「あてはまらない」が59.9%、42.6%と最も高く、次いで「まああてはまる」が26.2%、35.0%、「あてはまる」が11.8%、20.6%となっています。



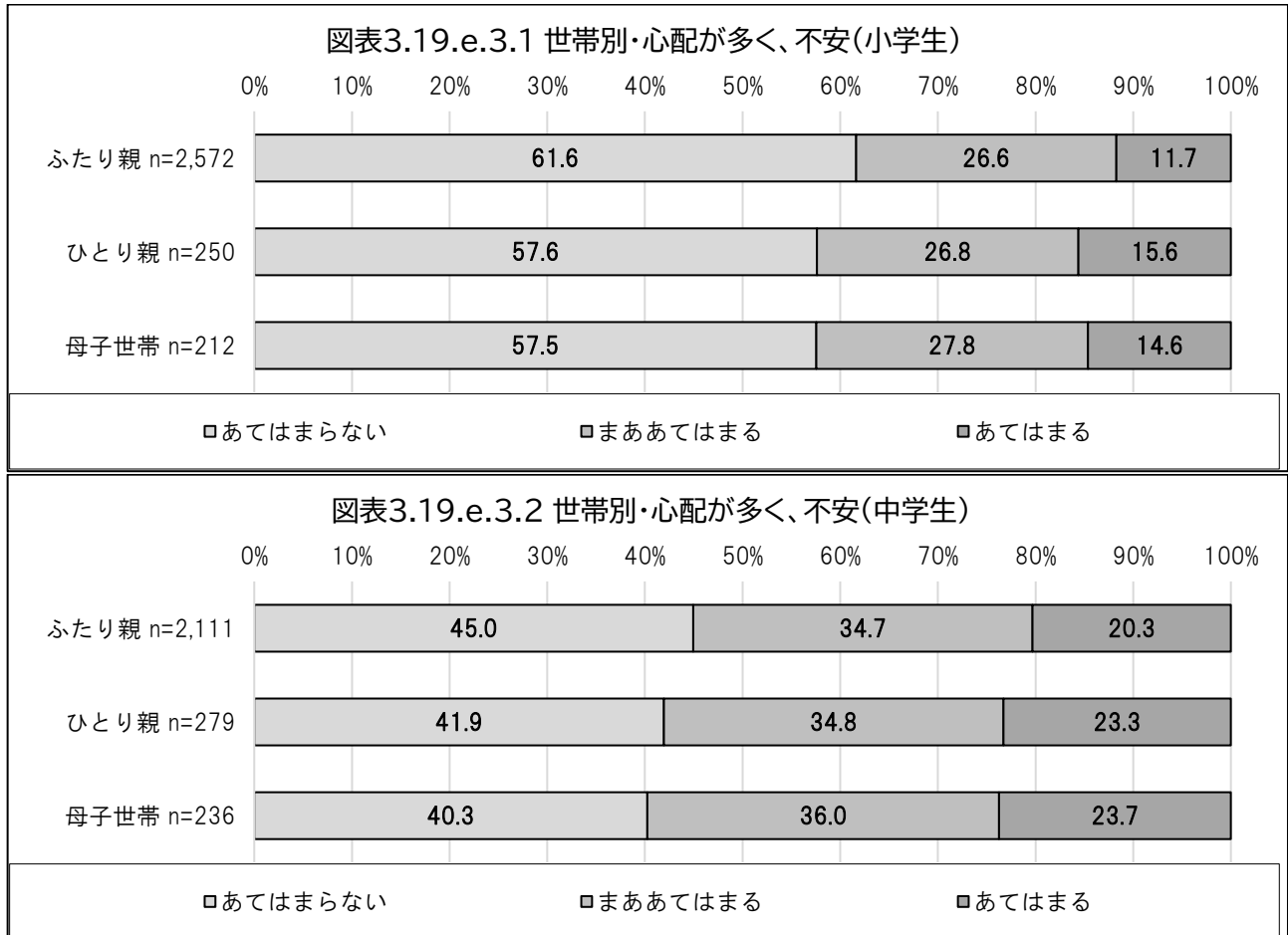
(2)等価世帯収入別

心配ごとが多く、いつも不安かについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が11.8%、中学生が20.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は16.3%と高くなっており、中学生では18.9%とやや低くなっています。



(3)世帯別

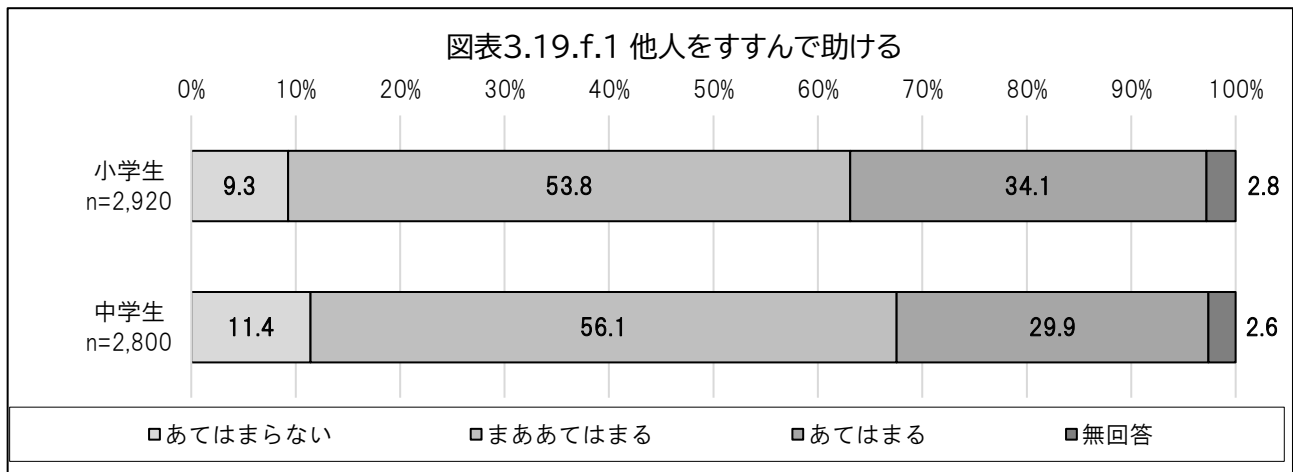
心配ごとが多く、いつも不安かについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が11.8%、中学生が20.6%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が15.6%、中学生が23.3%とやや高くなっています。



f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。

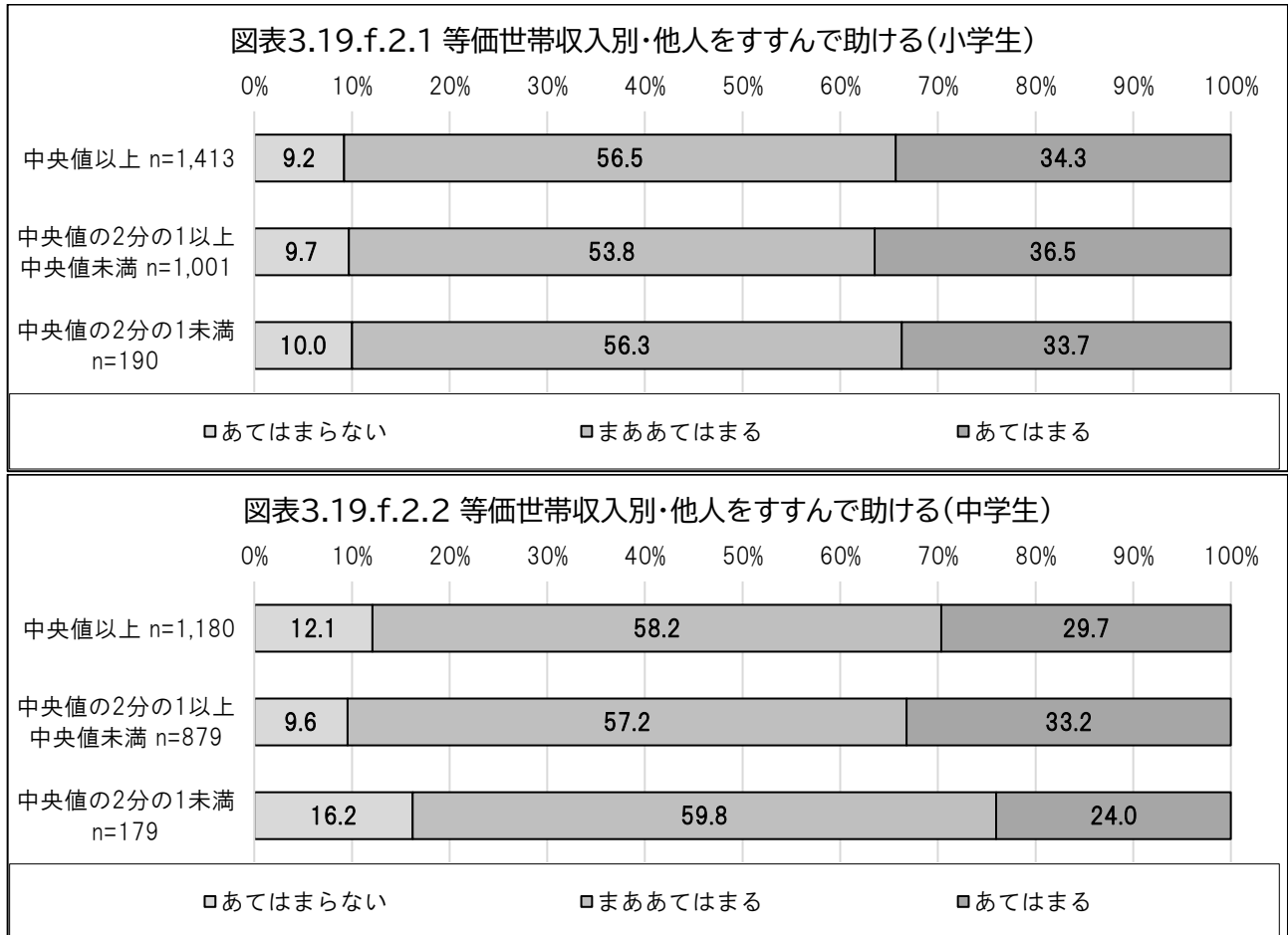
(1)全体

他人をすすんで助けるかについて、小学生・中学生ともに、「まああてはまる」が53.8%、56.1%と最も高く、次いで「あてはまる」が34.1%、29.9%、「あてはまらない」が9.3%、11.4%となっています。



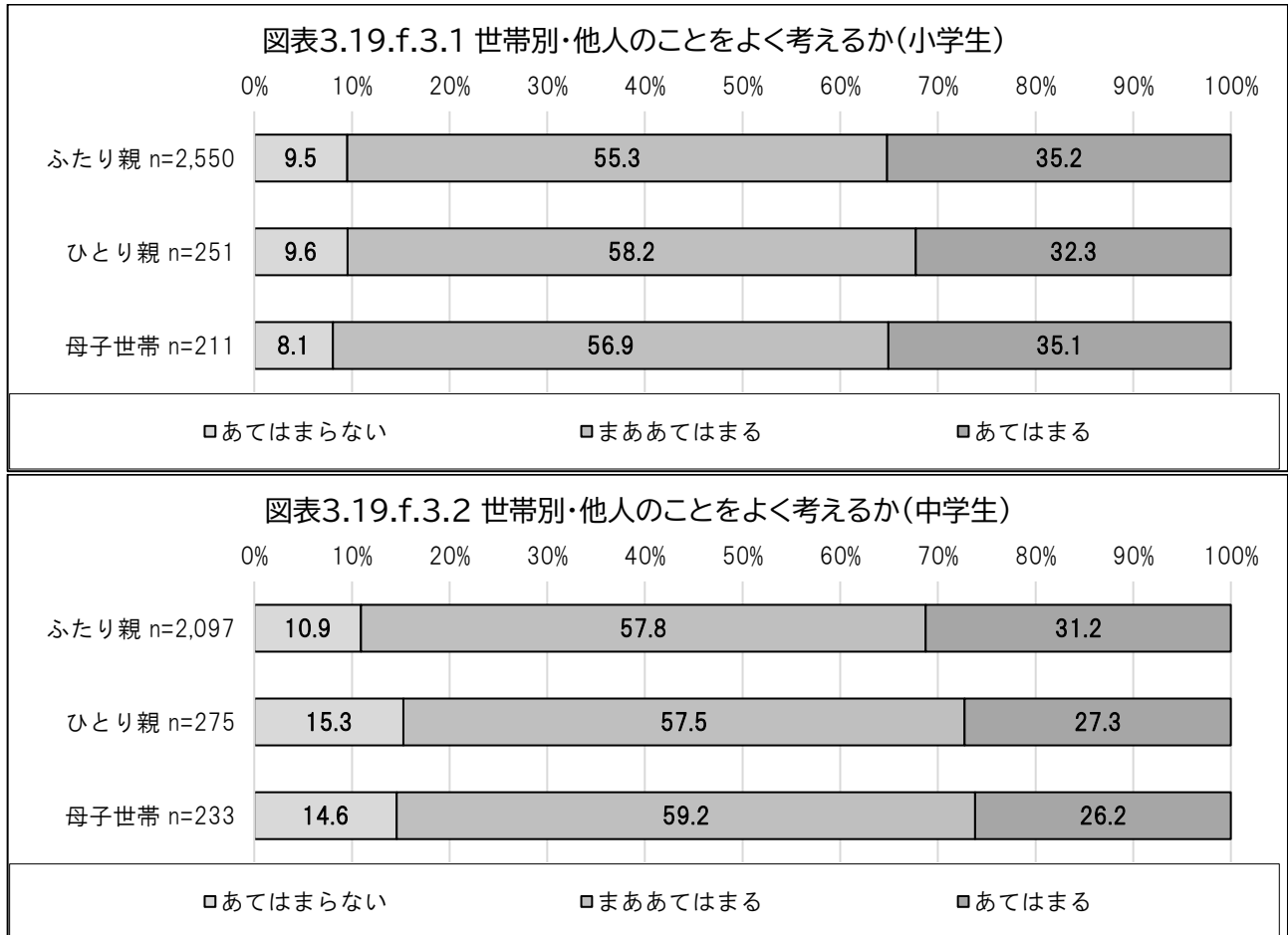
(2)等価世帯収入別

他人をすすんで助けるかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が 9.3%、中学生が 11.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は 10.0%と同程度、中学生では 16.2%と高くなっています。



(3)世帯別

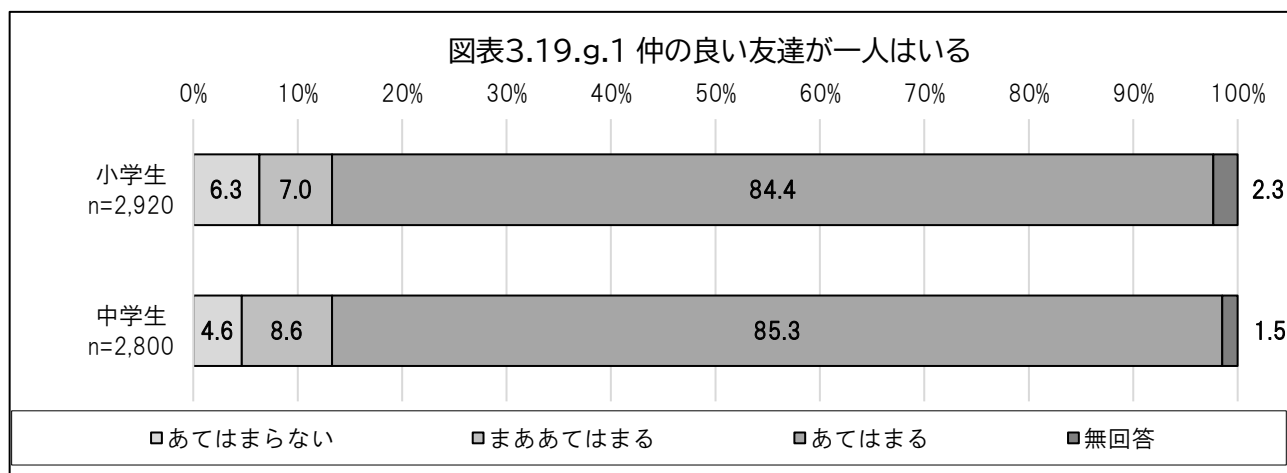
他人をすすんで助けるかについて、世帯別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が9.3%、中学生が11.4%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生は9.6%と同程度、中学生では15.3%とやや高くなっています。



g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。

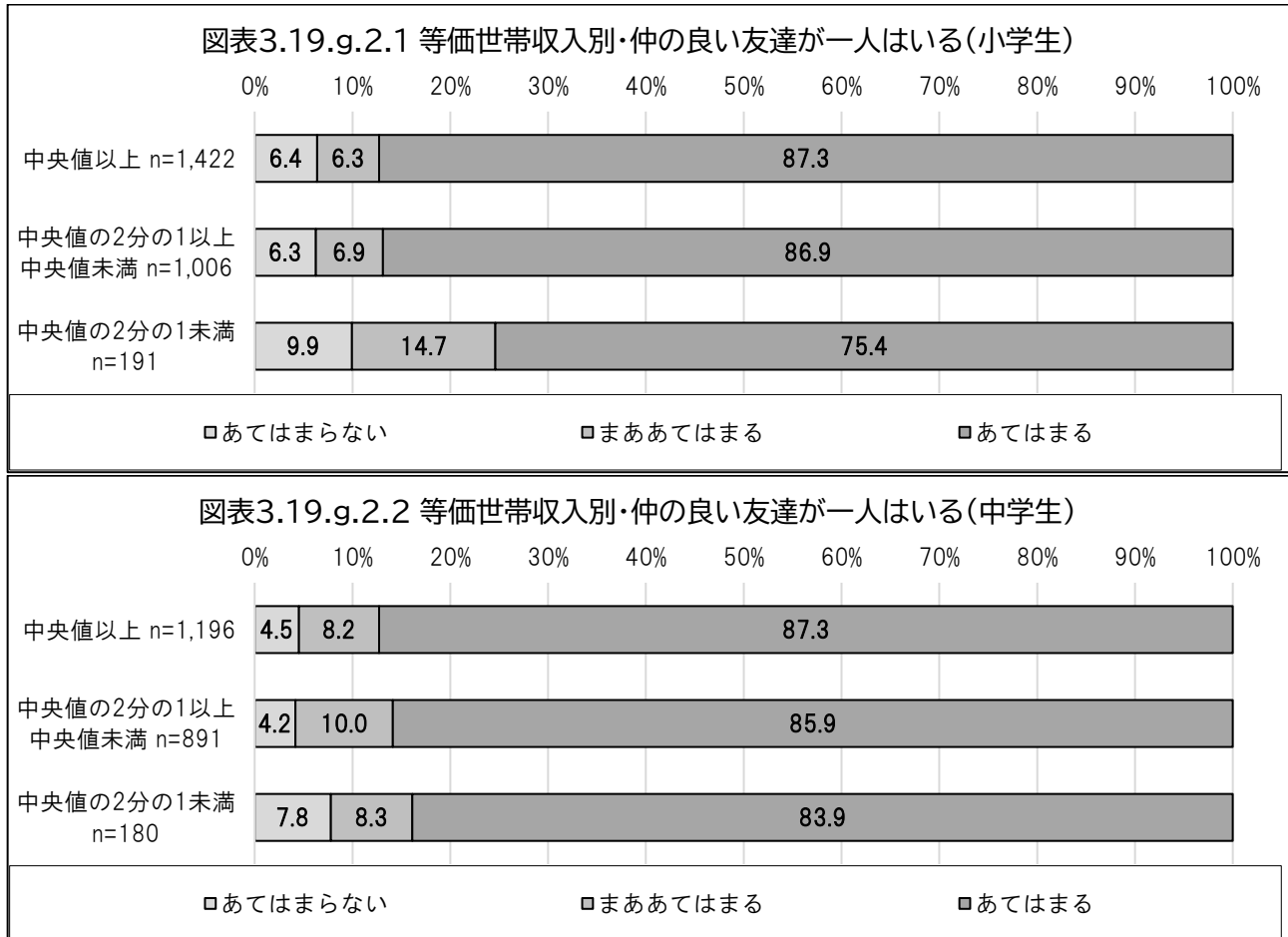
(1)全体

仲の良い友達が少なくとも一人はいるかについて、小学生・中学生ともに「あてはまる」が 84.4%、85.3%と最も高く、次いで「まああてはまる」が 7.0%、8.6%、「あてはまらない」が 6.3%、4.6%となっています。



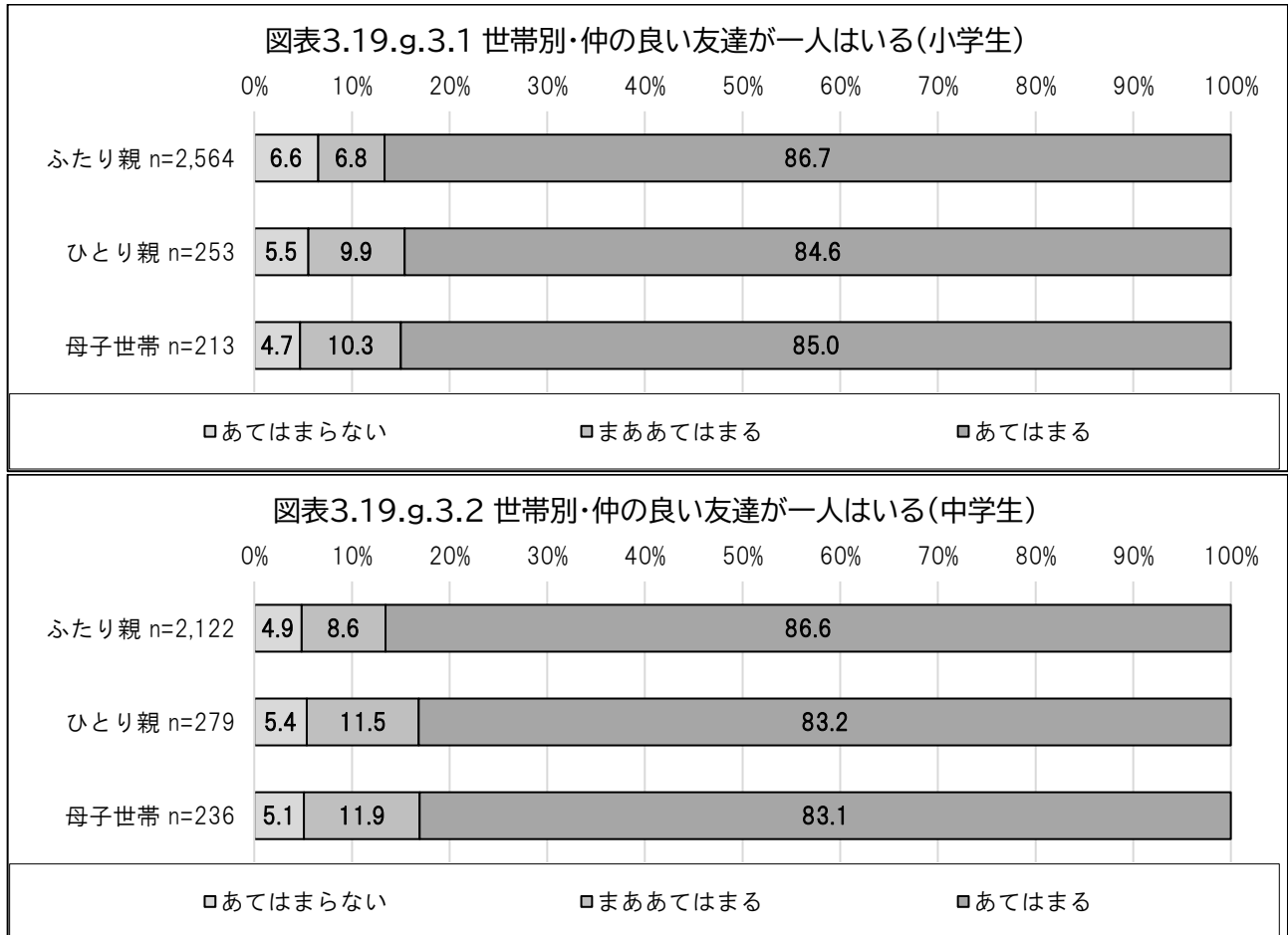
(2)等価世帯収入別

仲の良い友達が少なくとも一人はいるかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が6.3%、中学生が4.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が9.9%、中学生が7.8%とやや高くなっています。



(3)世帯別

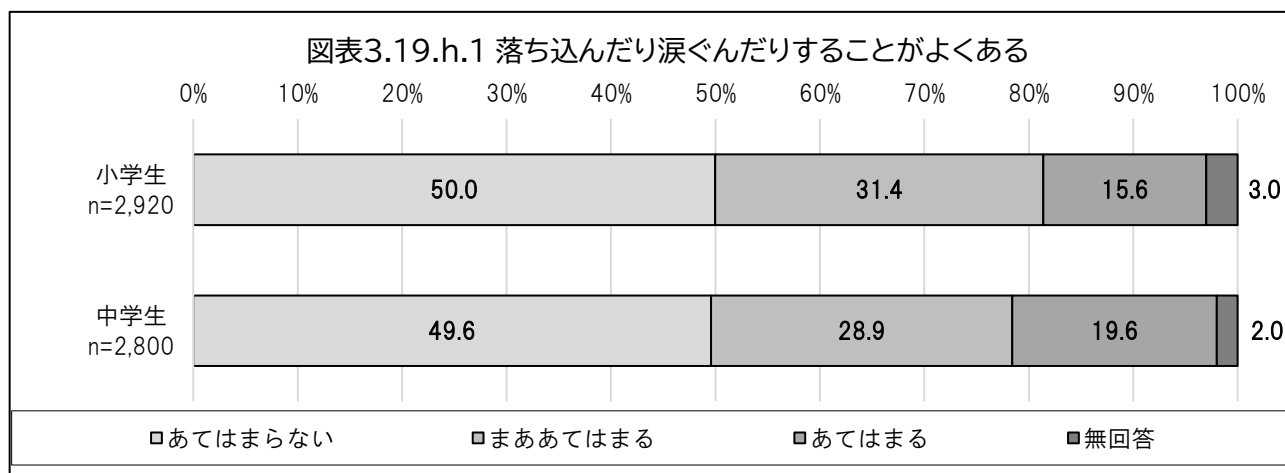
仲の良い友達が少なくとも一人はいるかについて、世帯別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が6.3%、中学生が4.6%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が5.5%、中学生が5.4%で同程度となっています。



h) 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。

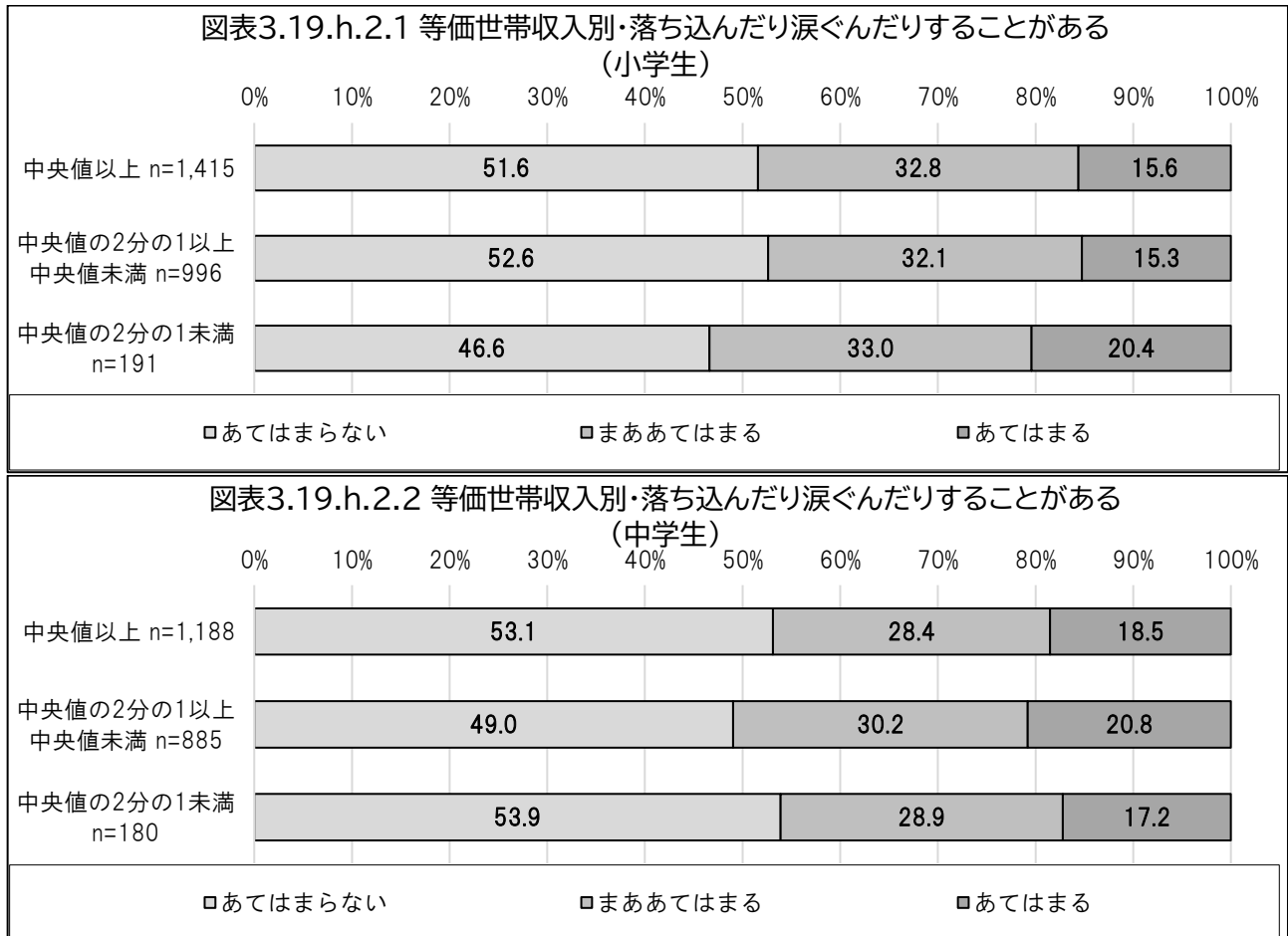
(1)全体

落ち込んだり涙ぐんだりすることがよくあるかについて、小学生・中学生ともに「あてはまらない」が50.0%、49.6%が最も高く、次いで「まああてはまる」が31.4%、28.9%、「あてはまる」が15.6%、19.6%となっています。



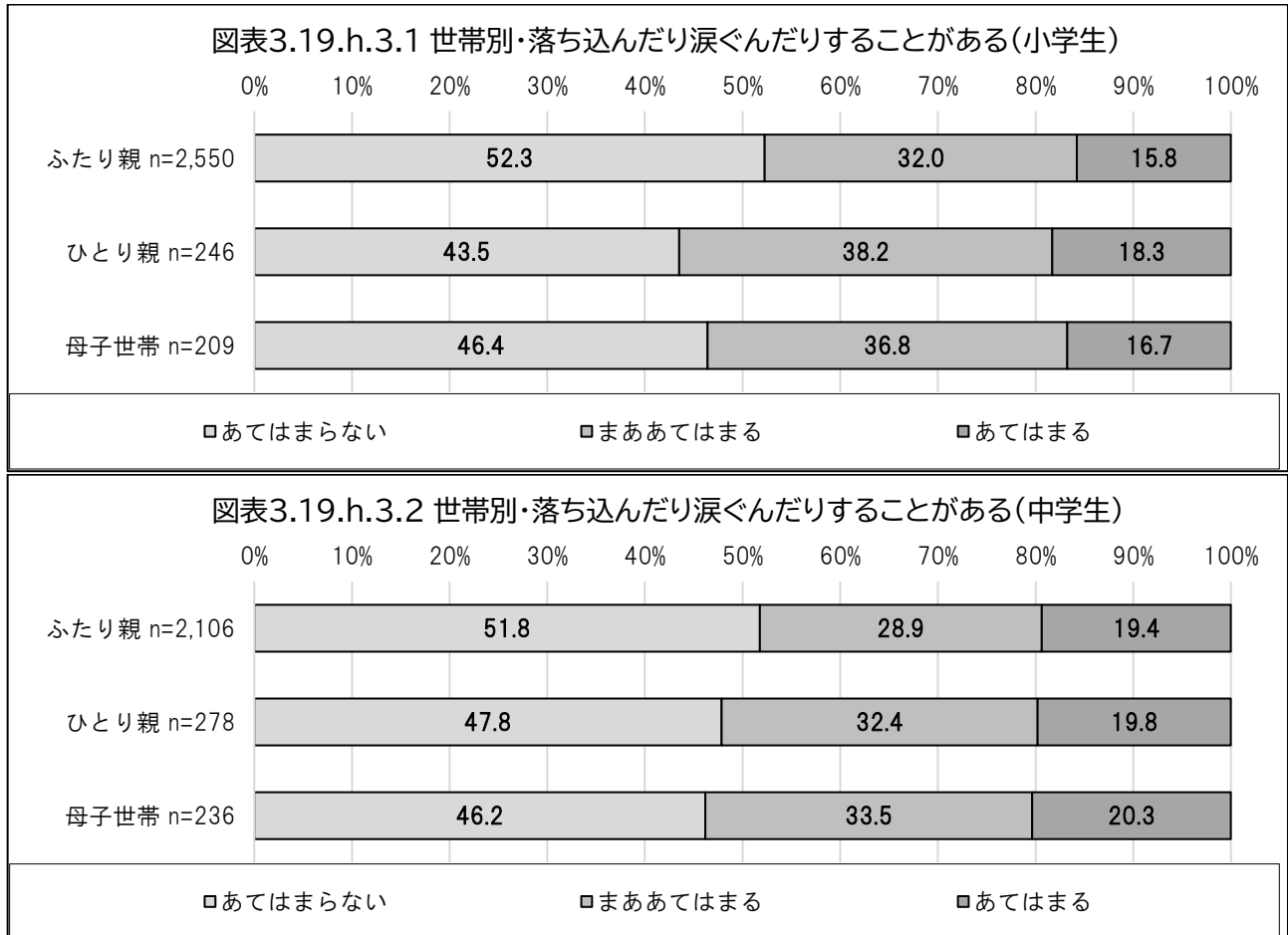
(2)等価世帯収入別

落ち込んだり涙ぐんだりすることがよくあるかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が15.6%、中学生が19.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は20.4%と高くなっており、中学生では17.2%とやや低くなっています。



(3)世帯別

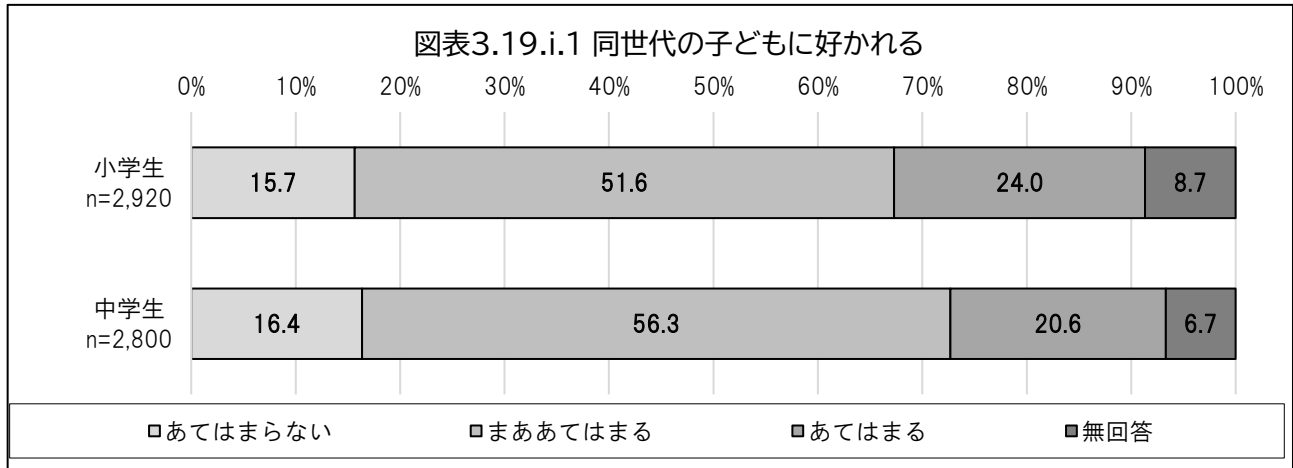
落ち込んだり涙ぐんだりすることがよくあるかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が15.6%、中学生が19.6%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生は18.3%とやや高くなっており、中学生では19.8%で同程度となっています。



i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。

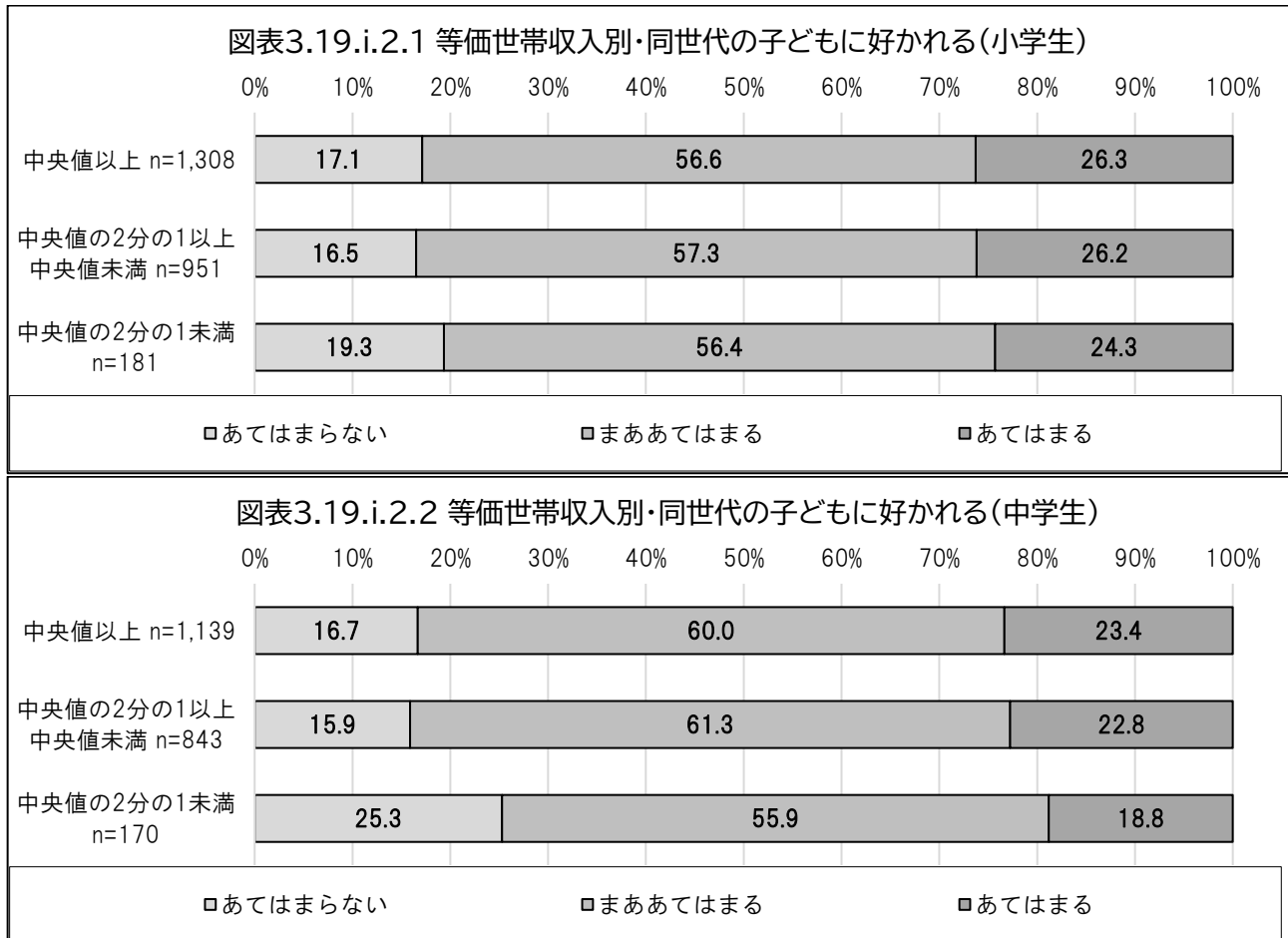
(1)全体

同じくらいの年齢の子供からだいたい好かれるかについて、小学生・中学生ともに「まああてはまる」が51.6%、56.3%と最も高く、次いで「あてはまる」が24.0%、20.6%、「あてはまらない」が15.7%、16.4%となっています。



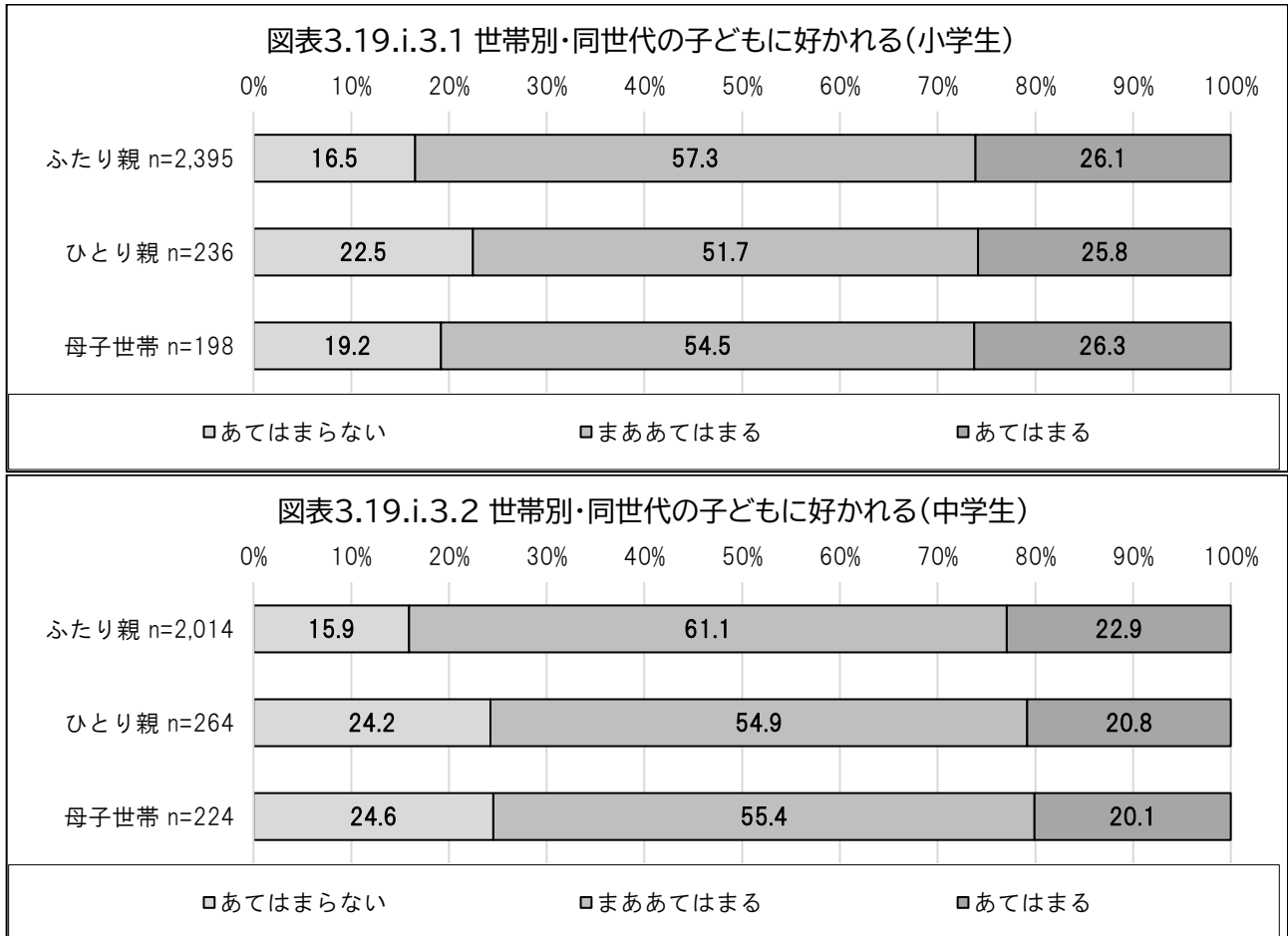
(2)等価世帯収入別

同じくらいの年齢の子供からだいたい好かれるかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が15.7%、中学生が16.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が19.3%、中学生が25.3%と高くなっています。



(3)世帯別

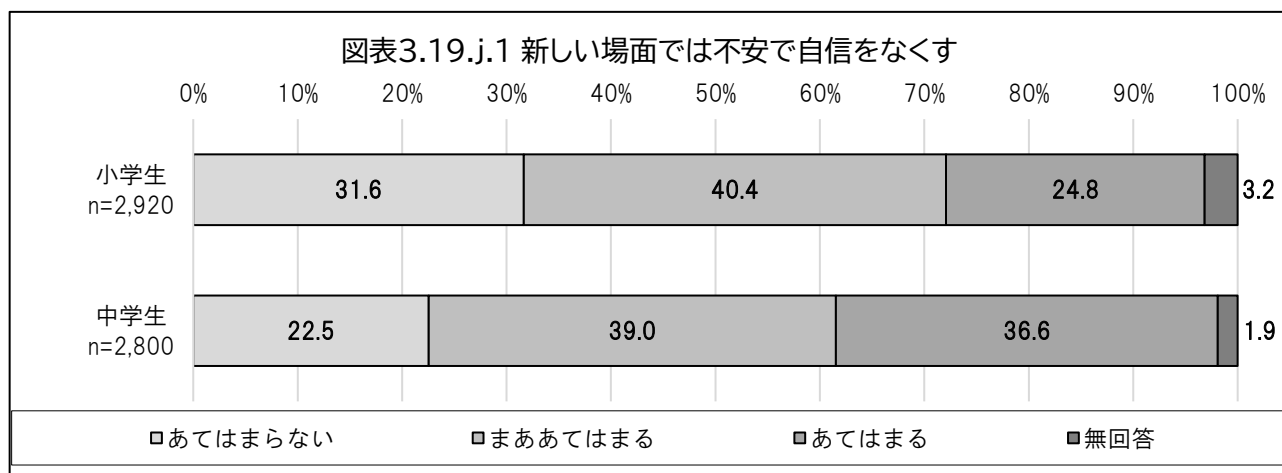
同じくらいの年齢の子供からだいたい好かれるかについて、世帯にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が15.7%、中学生が16.4%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が22.5%、中学生が24.2%と高くなっています。



j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。

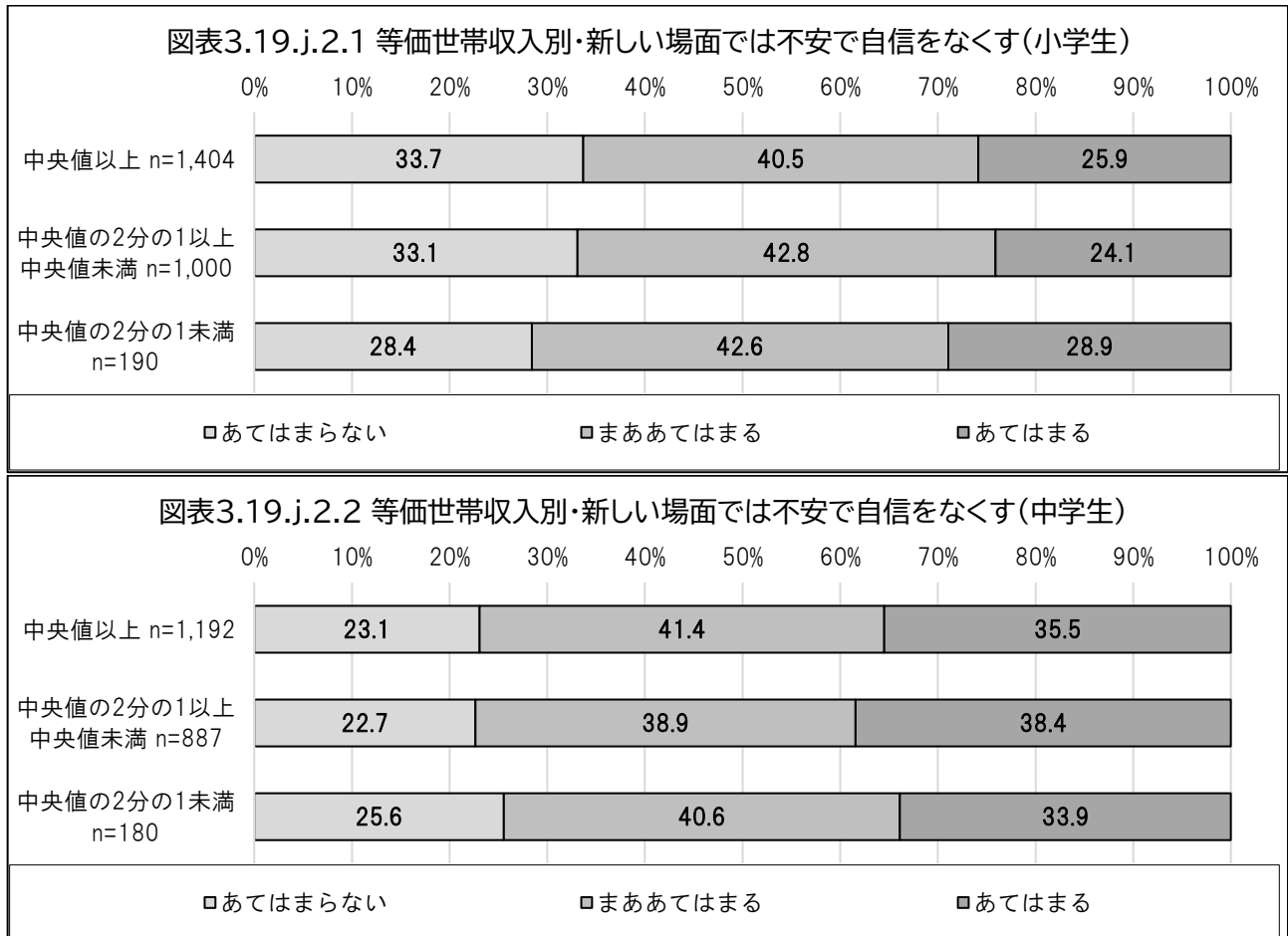
(1)全体

新しい場面では不安になり、自信をなくしやすいかについて、小学生・中学生ともに「まああてはまる」が40.4%、39.0%が最も高く、次いで小学生は「あてはまらない」が31.6%、「あてはまる」が24.8%、中学生は「あてはまる」が36.6%、「あてはまらない」が22.5%となっています。



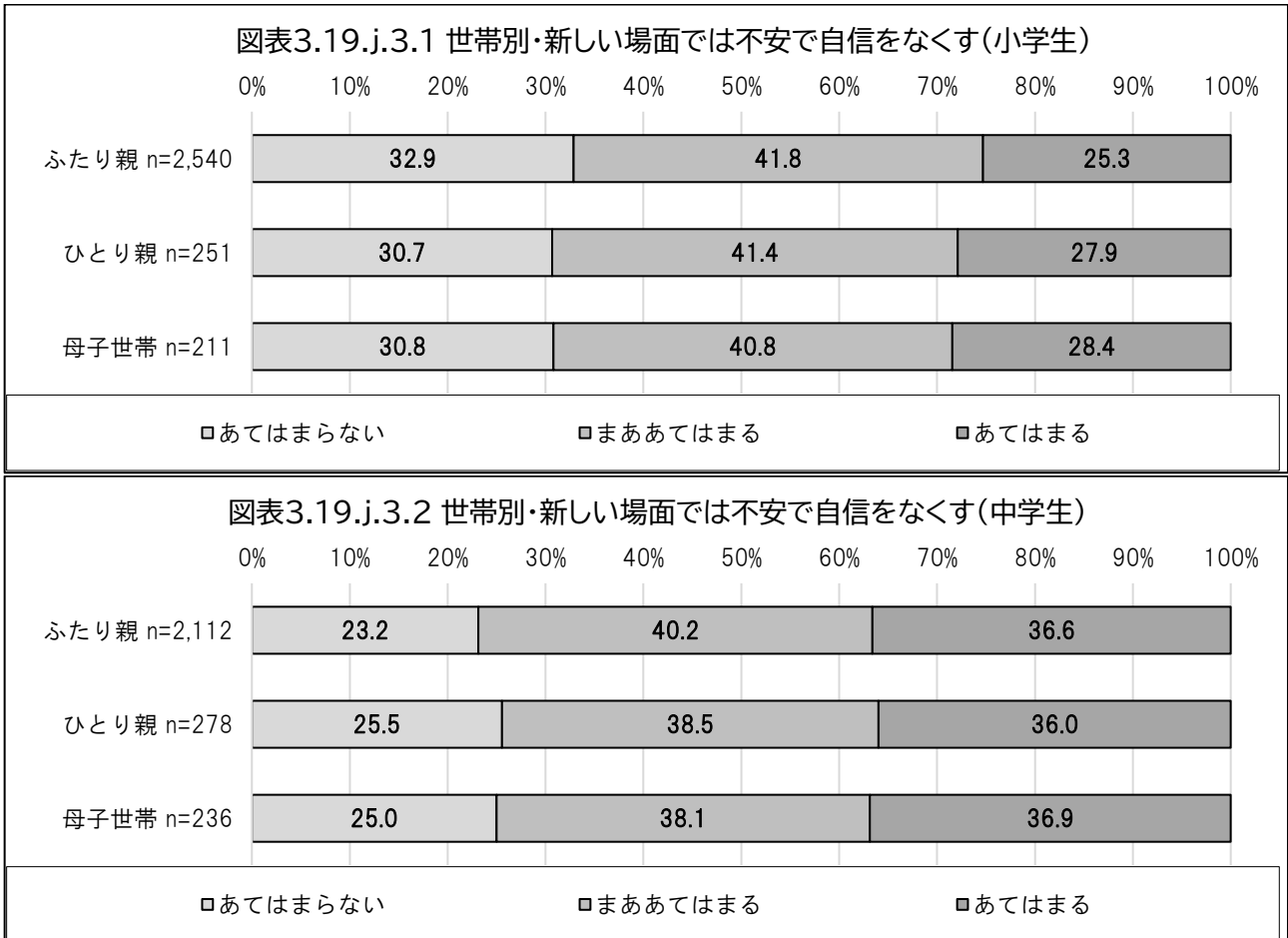
(2)等価世帯収入別

新しい場面では不安になり、自信をなくしやすいかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が24.8%、中学生が36.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学は28.9%と高くなっており、中学生では33.9%とやや低くなっています。



(3)世帯別

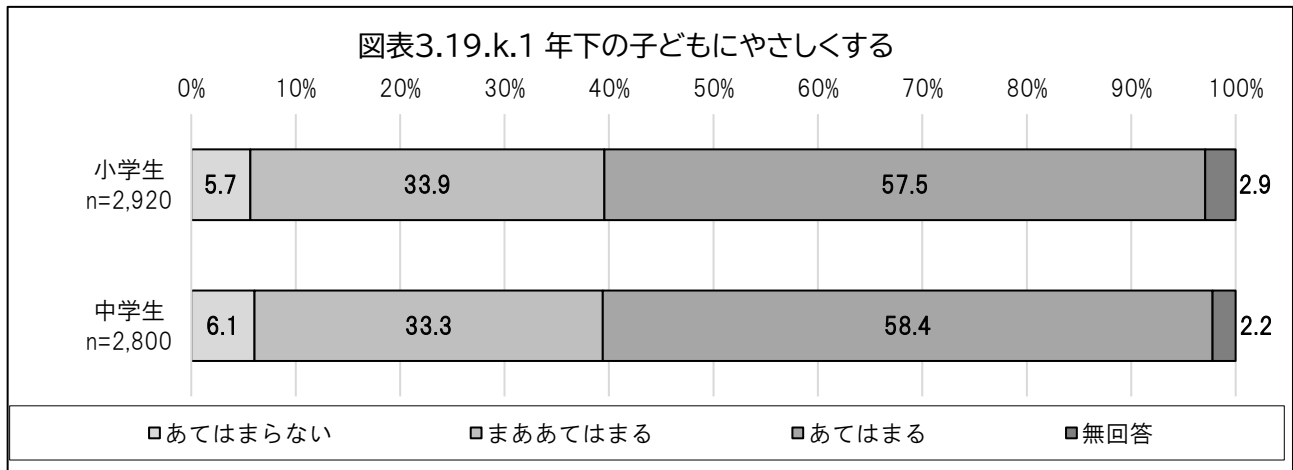
新しい場面では不安になり、自信をなくしやすいかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が24.8%、中学生が36.6%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学は27.9%とやや高くなっており、中学生では36.0%と同程度となっています。



k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。

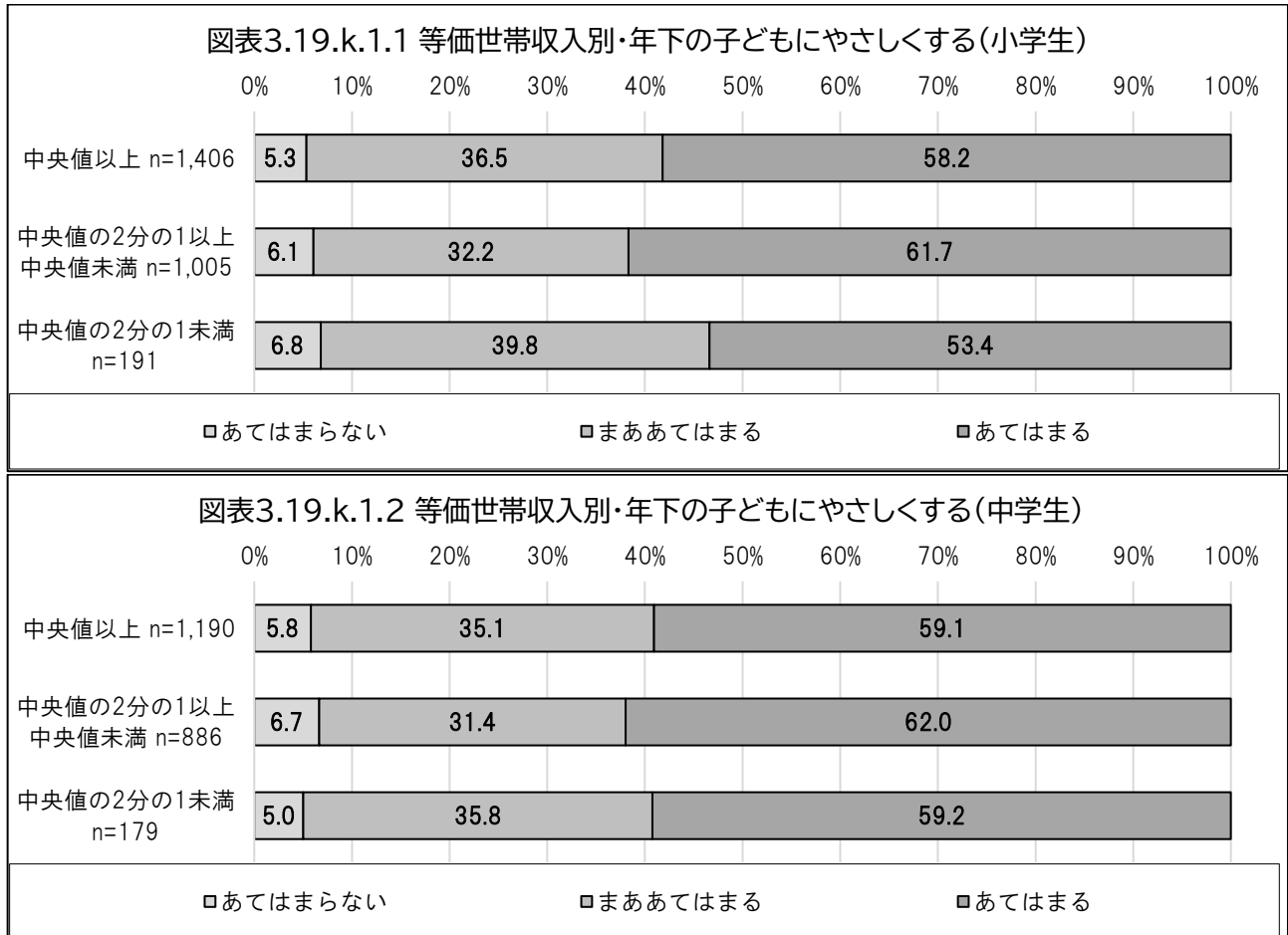
(1)全体

年下の子どもにやさしくするかについて、小学生・中学生ともに「あてはまる」が57.5%、58.4%が最も高く、次いで「まああてはまる」が33.9%、33.3%、「あてはまらない」が5.7%、6.1%となっています。



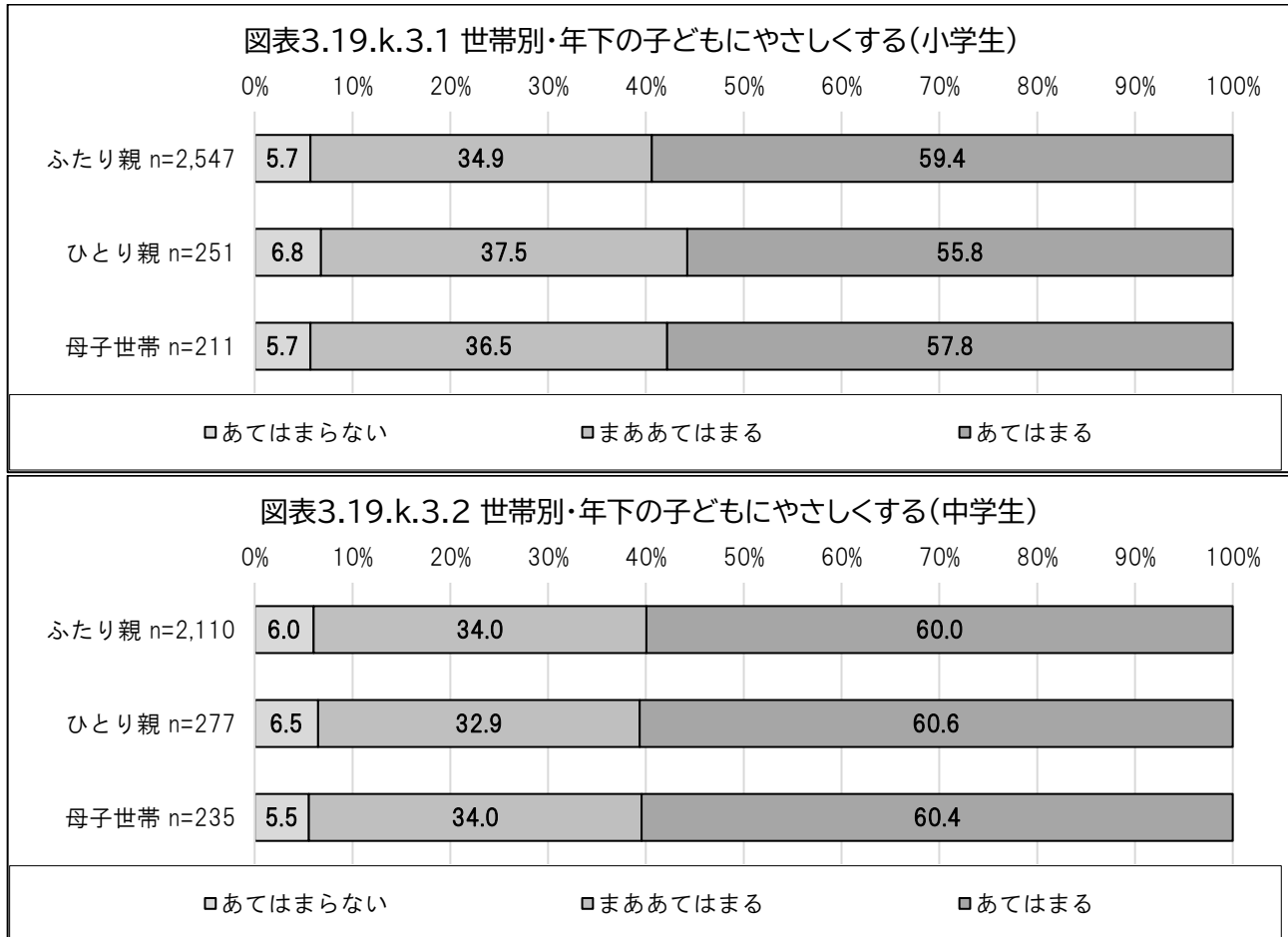
(2)等価世帯収入別

年下の子どもにやさしくするかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が5.7%、中学生が6.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が6.8%、中学生が5.0%で同程度となっています。



(3)世帯別

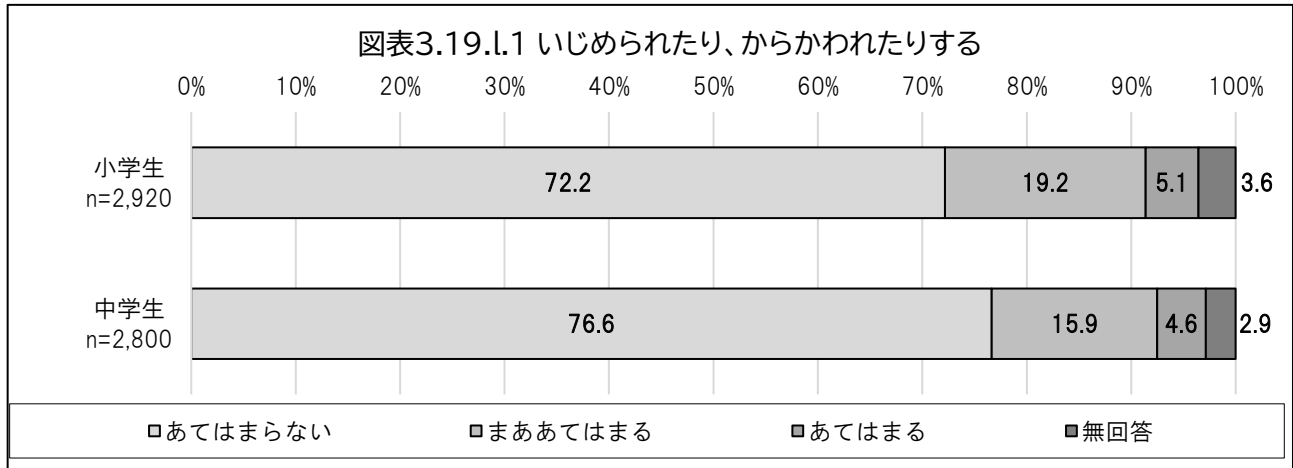
年下の子どもにやさしくするかについて、世帯別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は、全体では小学生が5.7%、中学生が6.1%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が6.8%、中学生が6.5%で同程度となっています。



l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。

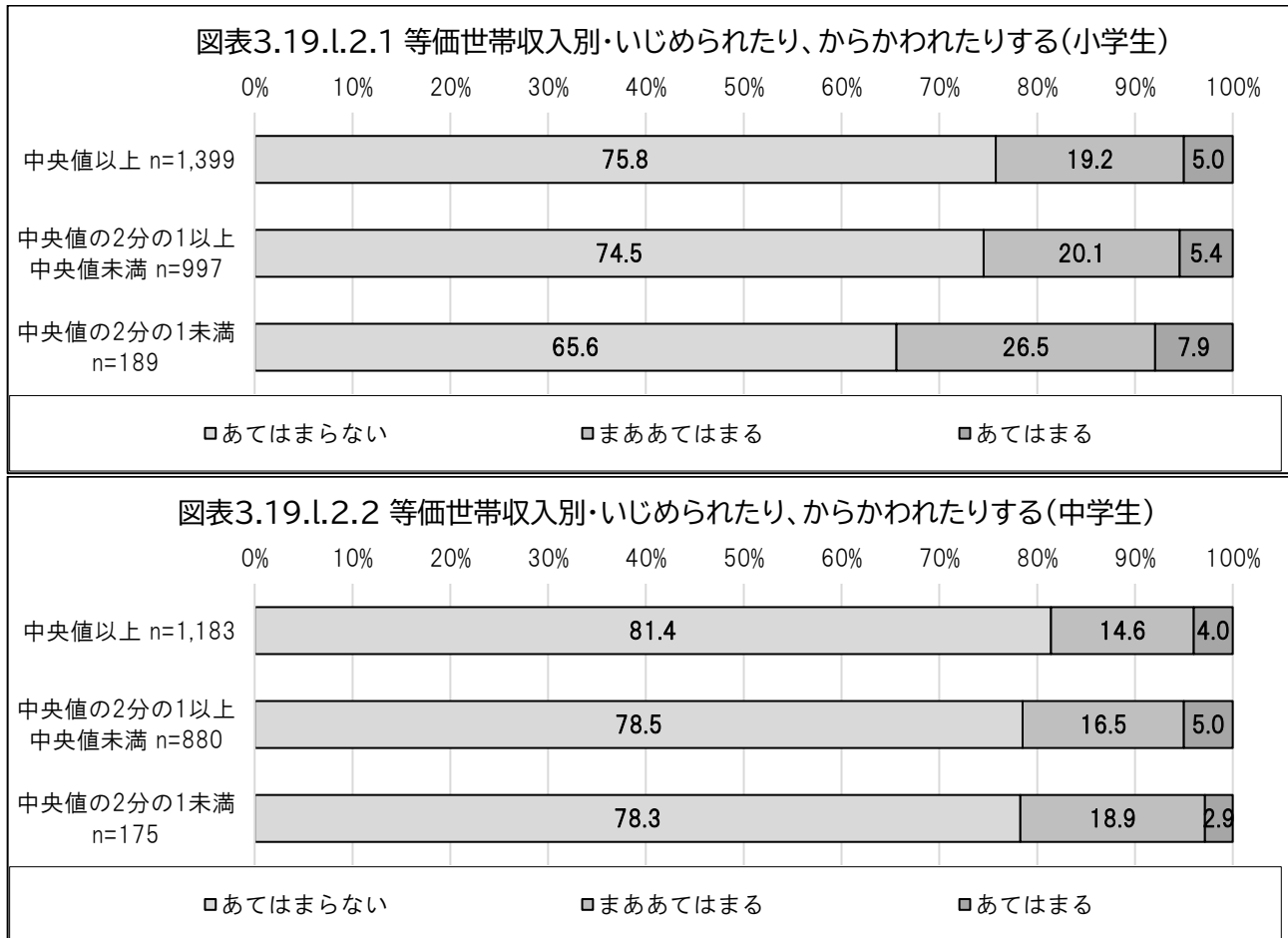
(1)全体

他の子どもからいじめられたり、からかわれたりするかについて、小学生・中学生ともに「あてはまらない」が72.2%、76.6%と最も高く、次いで「まああてはまる」が19.2%、15.9%、「あてはまる」が5.1%、4.6%となっています。



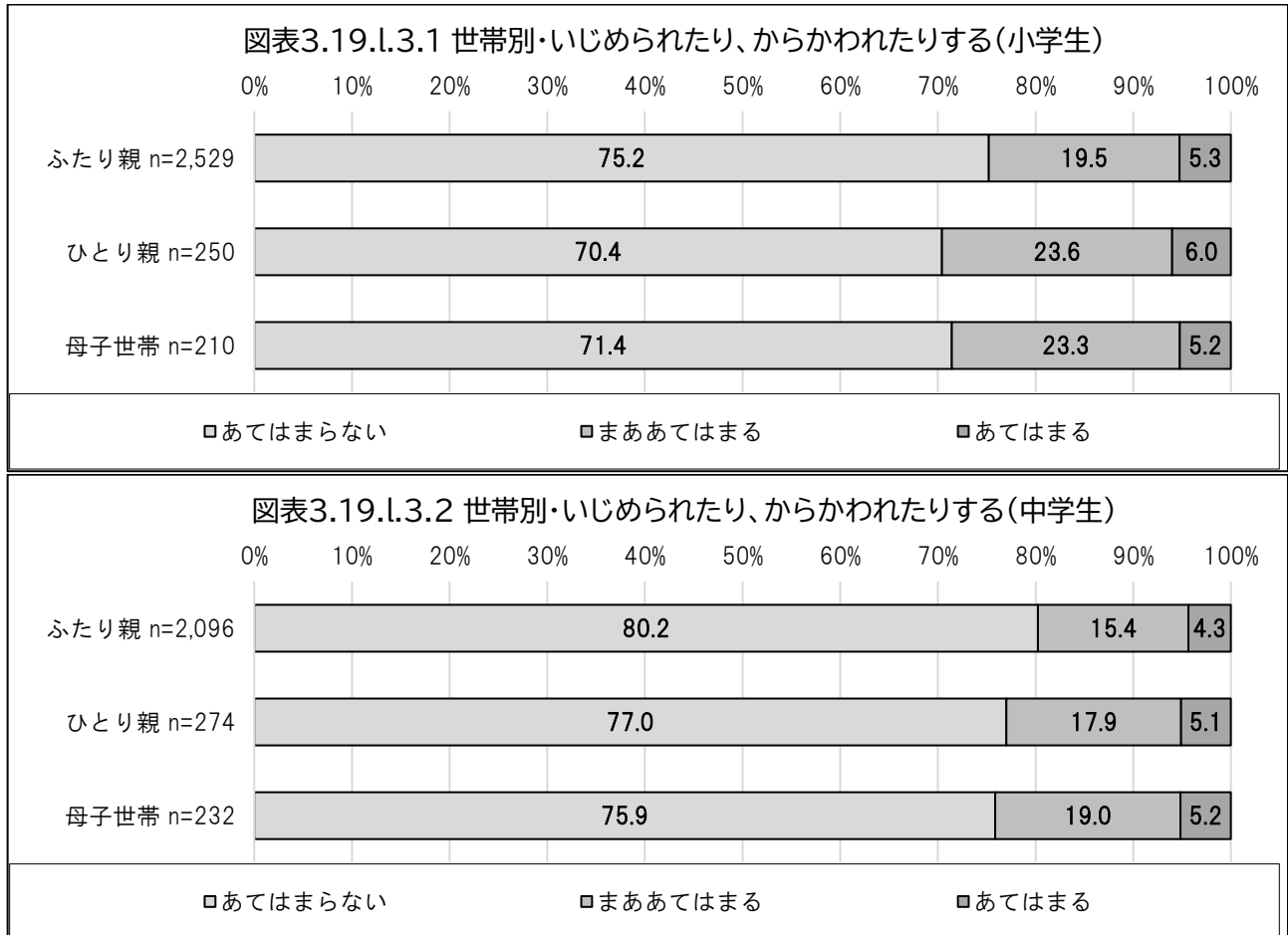
(2)等価世帯収入別

いじめられたり、からかわれたりするかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が5.1%、中学生が4.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は7.9%とやや高くなっており、中学生では2.9%とやや低くなっています。



(3)世帯別

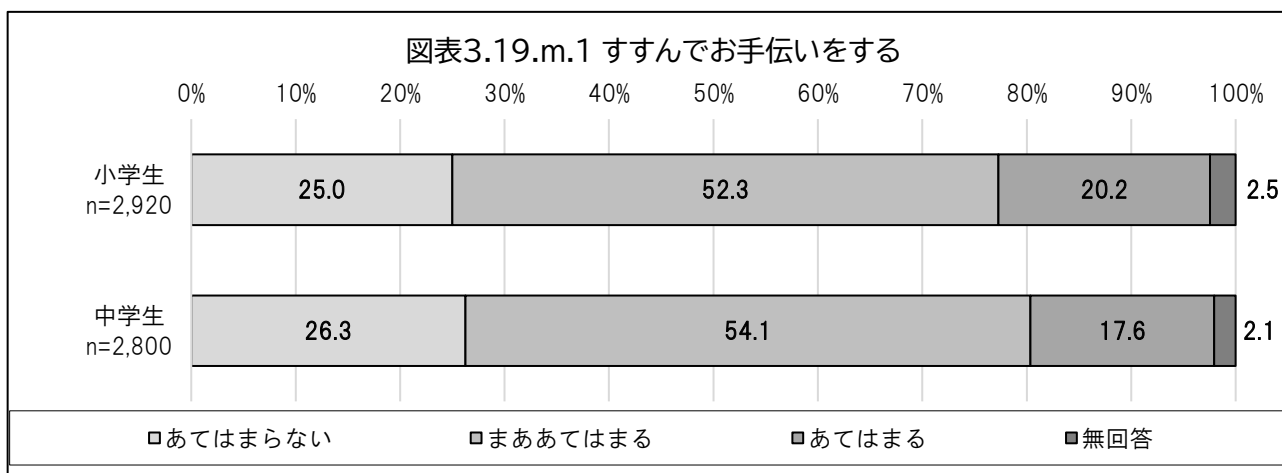
いじめられたり、からかわれたりするかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が5.1%、中学生が4.6%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が6.0%、中学生が5.1%で同程度となっています。



m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。

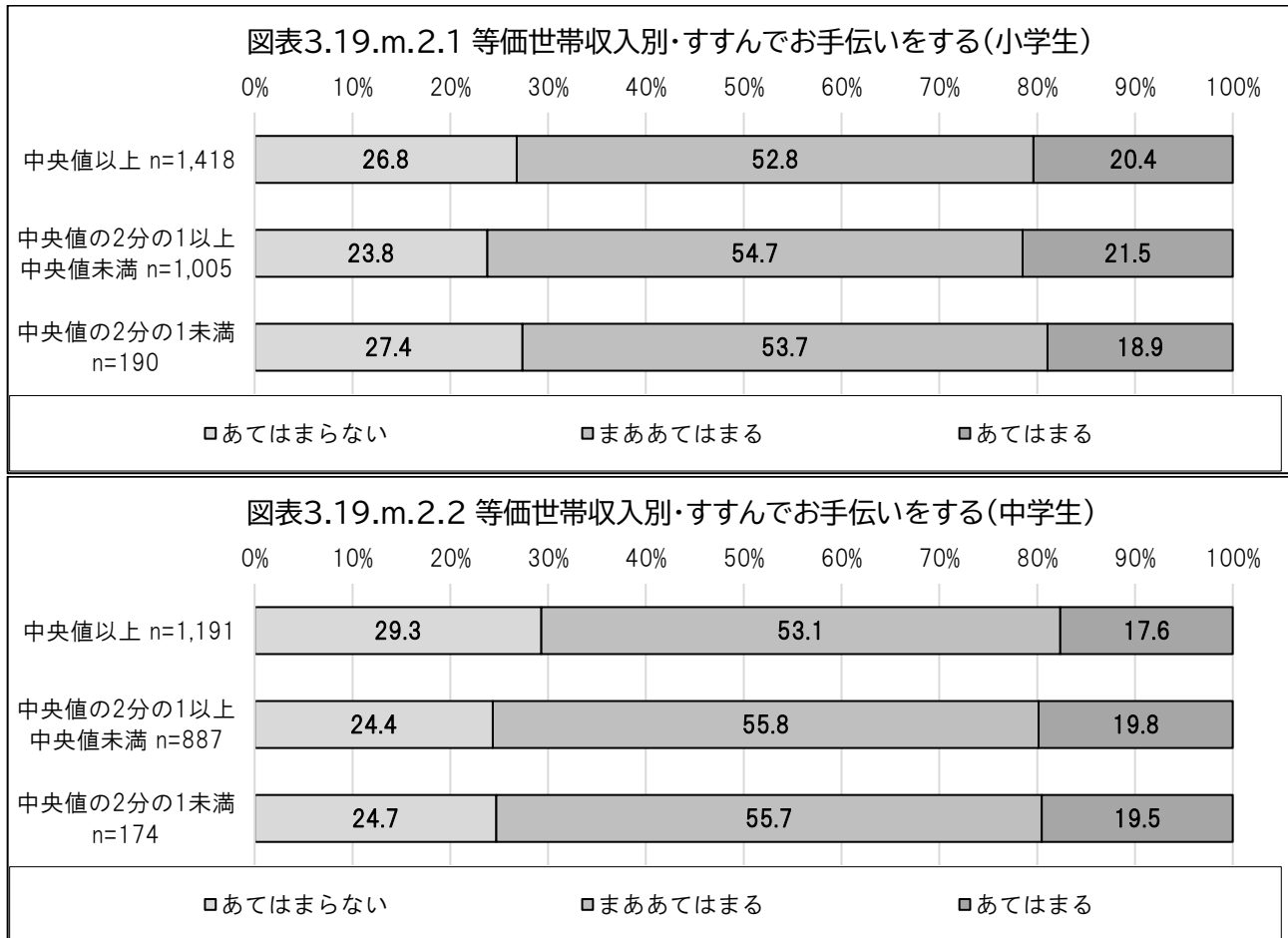
(1)全体

すすんでよくお手伝いをするかについて、小学生・中学生ともに「まああてはまる」が52.3%、54.1%と最も高く、次いで「あてはまらない」が25.0%、26.3%、「あてはまる」が20.2%、17.6%となっています。



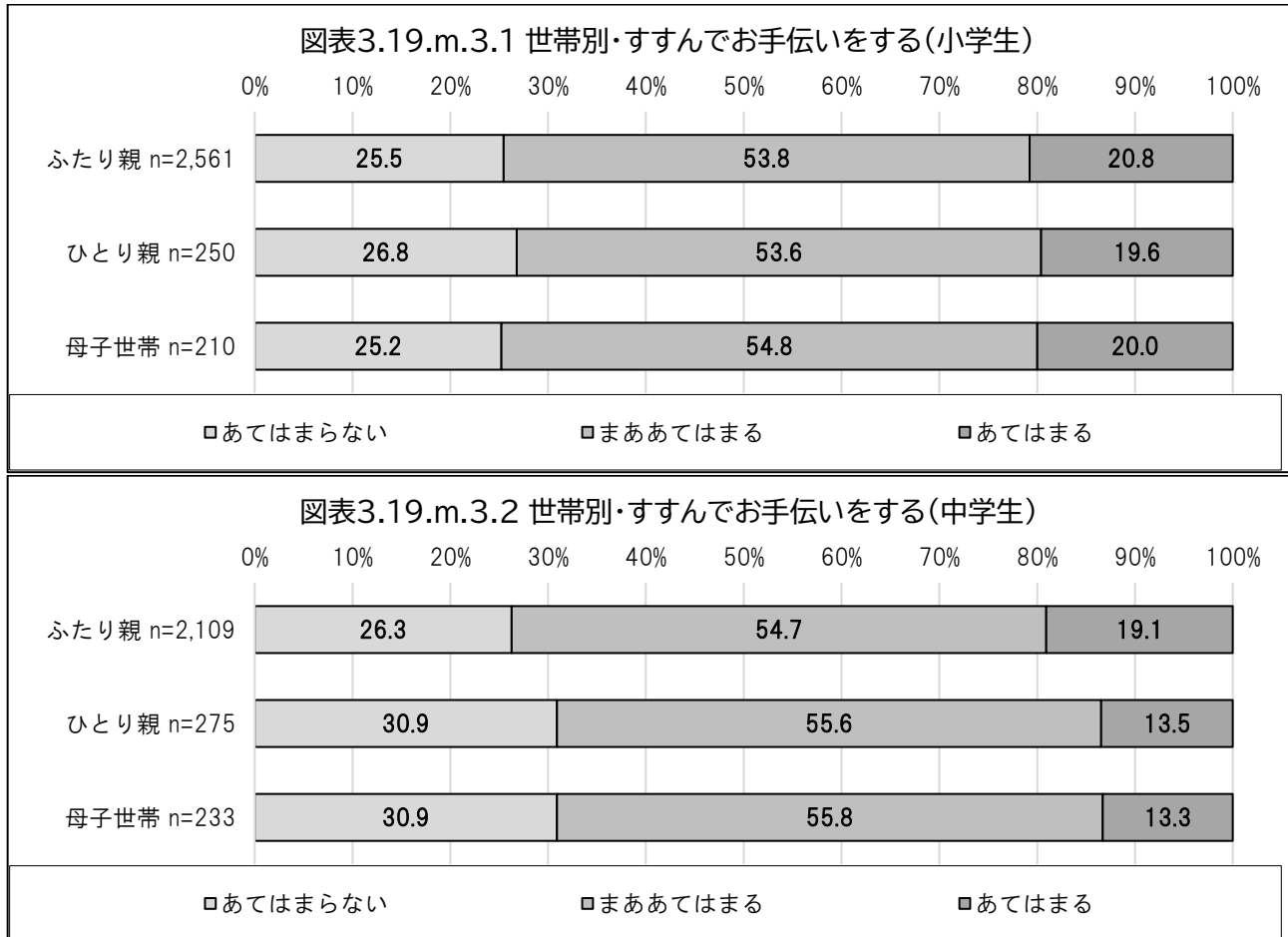
(2)等価世帯収入別

すすんでよくお手伝いをするかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が20.2%、中学生が17.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は18.9%とやや低くなっており、中学生では19.5%とやや高くなっています。



(3)世帯別

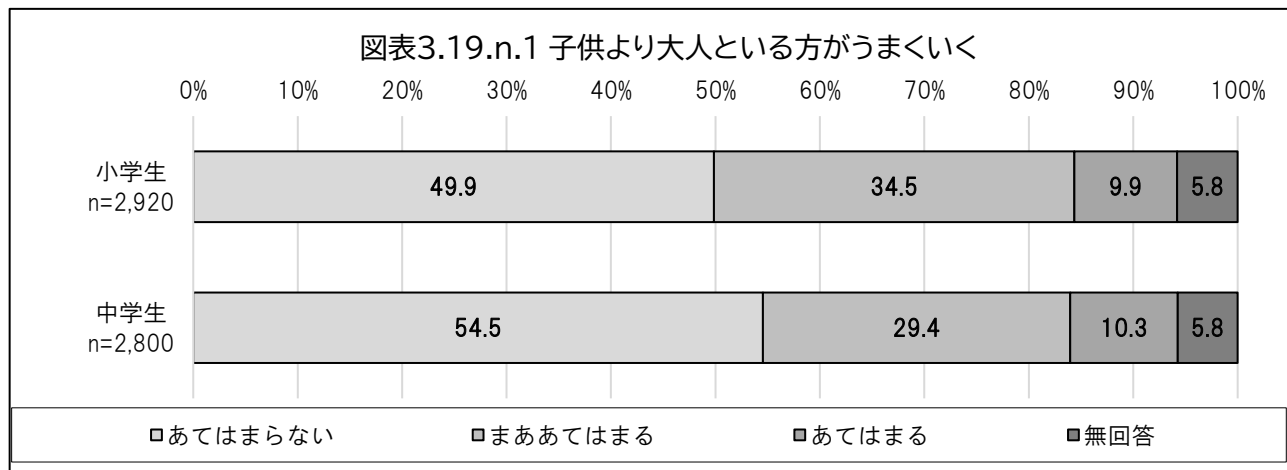
すすんでよくお手伝いをするかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が 20.2%、中学生が 17.6%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生は 19.6%と同程度、中学生では 13.5%と低くなっています。



n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまいく。

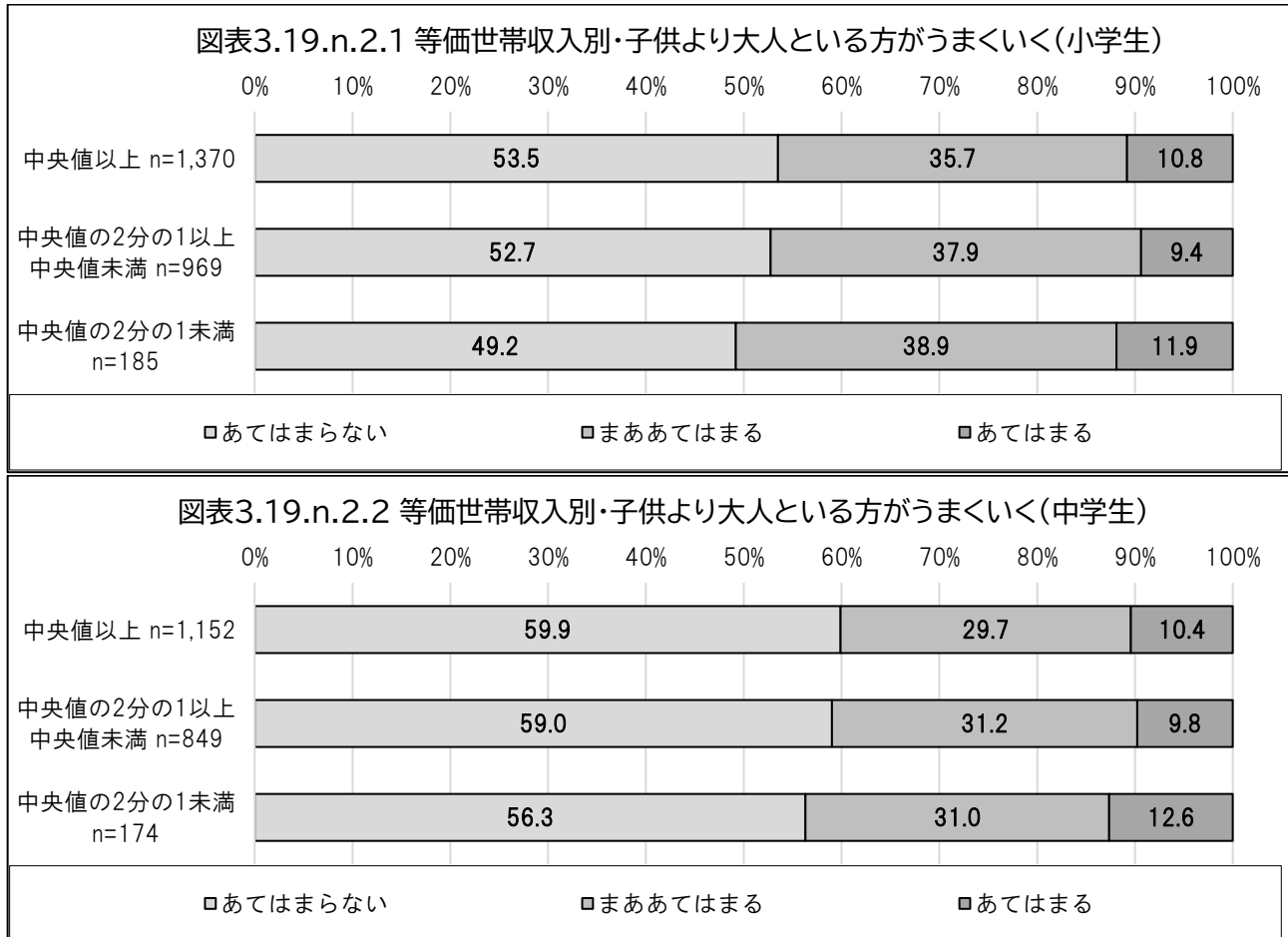
(1)全体

子供より大人という方がうまいくかについて、小学生・中学生ともに「あてはまらない」が49.9%、54.5%と最も高く、次いで「まああてはまる」が34.5%、29.4%、「あてはまる」が9.9%、10.3%となっています。



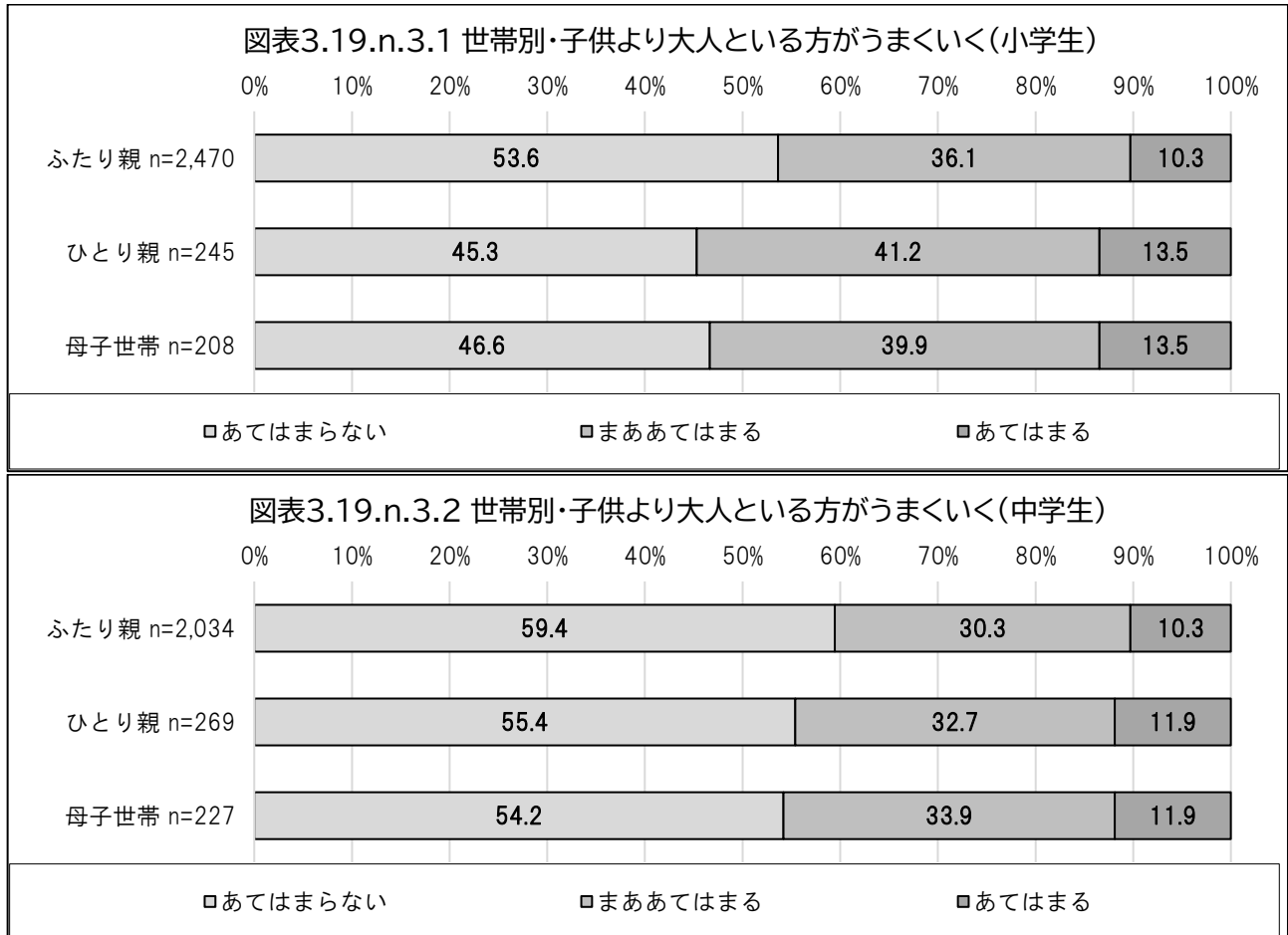
(2)等価世帯収入別

子供より大人という方がうまくいくかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が 9.9%、中学生が 10.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生が 11.9%、中学生が 12.6%とやや高くなっています。



(3)世帯別

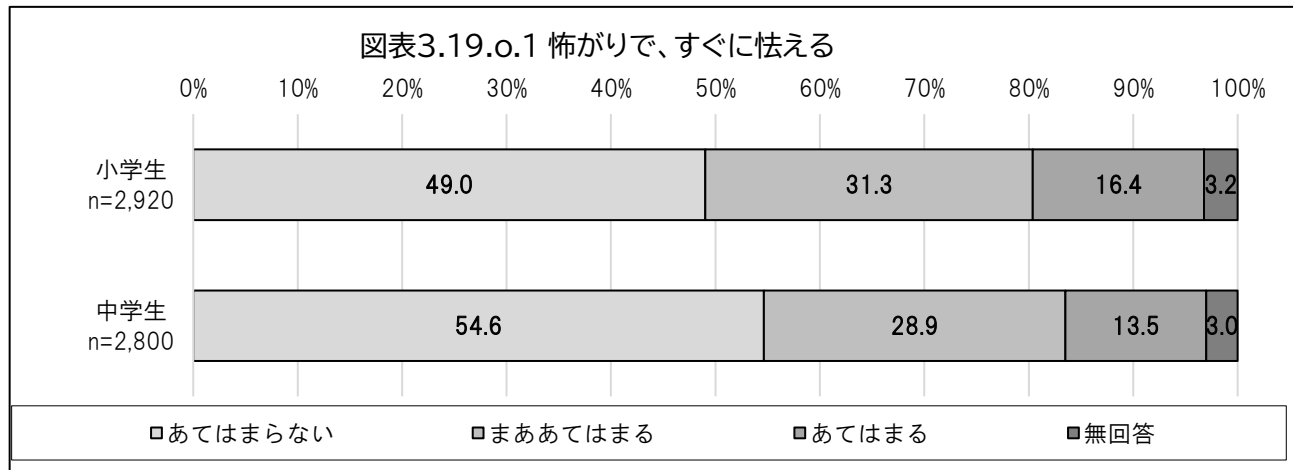
子供より大人という方がうまくいくかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が9.9%、中学生が10.3%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が13.5%、中学生が11.9%とやや高くなっています。



o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

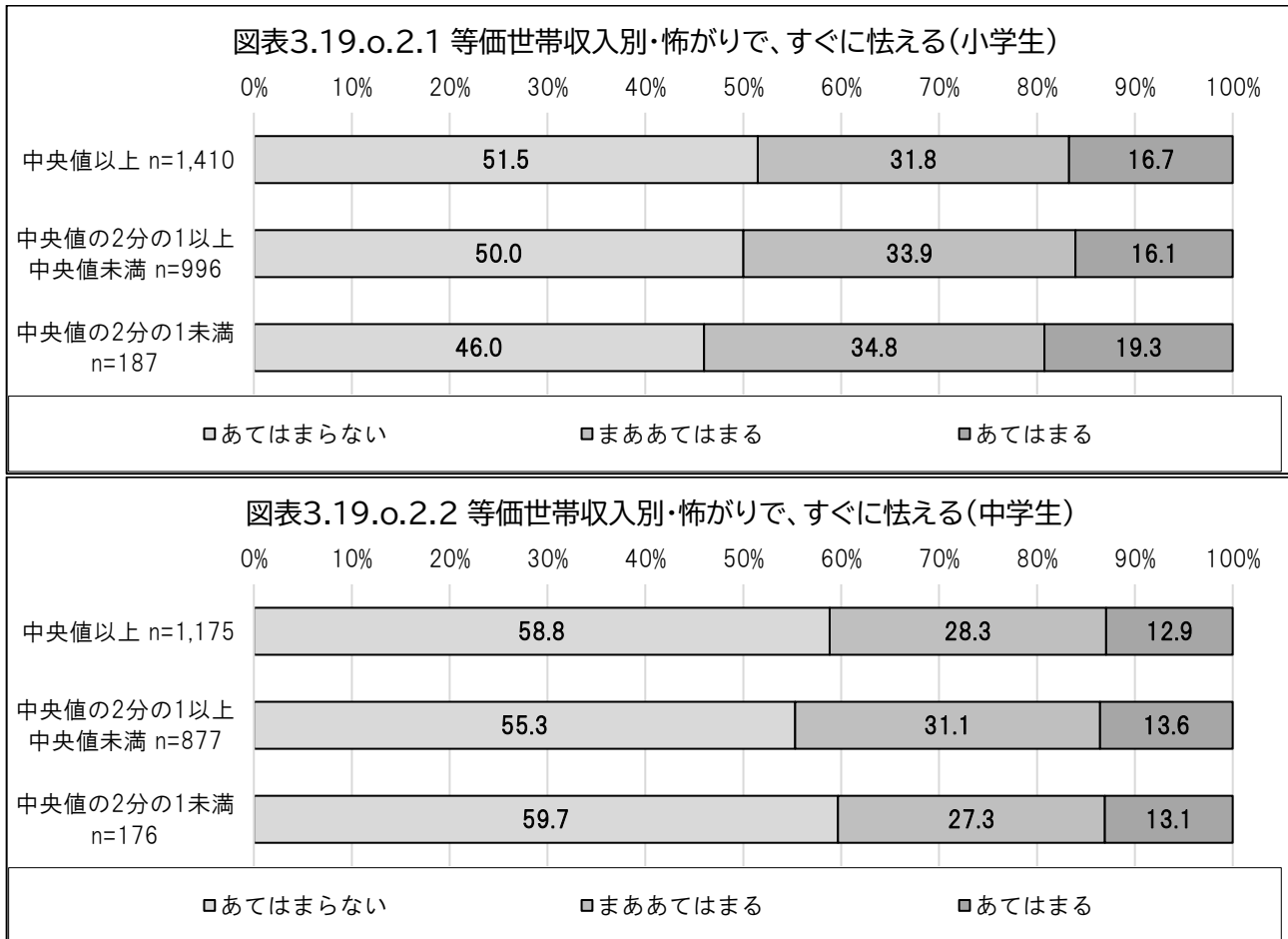
(1)全体

怖がりで、すぐに怯えたりするかについて、小学生・中学生ともに「あてはまらない」が49.0%、54.6%と最も高く、次いで「まああてはまる」が31.3%、28.9%、「あてはまる」が16.4%、13.5%となっています。



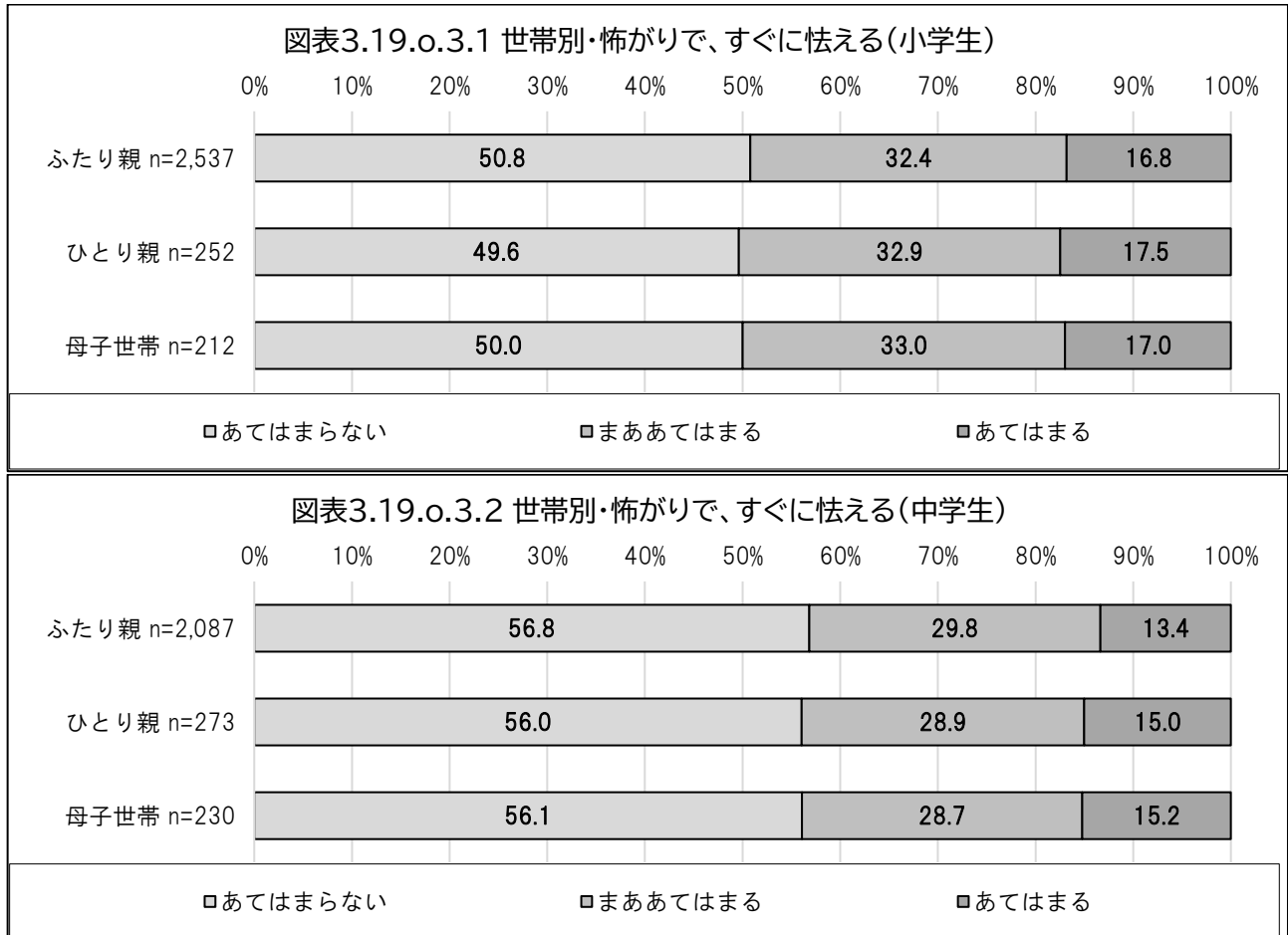
(2)等価世帯収入別

怖がりで、すぐに怯えたりするかについて、等価世帯収入別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が 16.4%、中学生が 13.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では、小学生は 19.3%とやや高くなっており、中学生では 13.1%と同程度となっています。



(3)世帯別

怖がり度、すぐに怯えたりするかについて、世帯別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、全体では小学生が16.4%、中学生が13.5%であったのに対し、ひとり親世帯では、小学生が17.5%、中学生が15.0%とやや高くなっています。



(1)情緒の問題

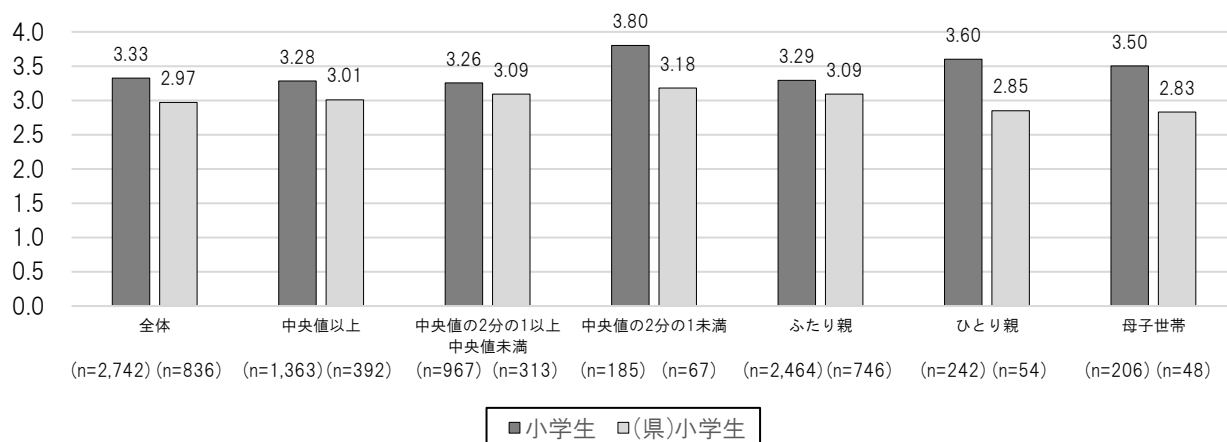
問19. 次のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。

- b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h) 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

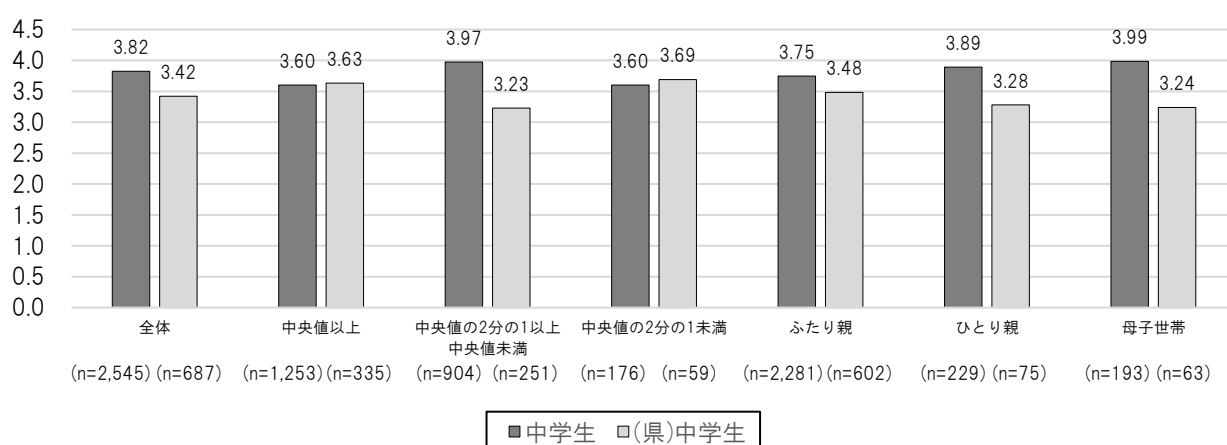
「情緒の問題」に関して、上記5項目の結果を数値化し足し合わせて情緒スコアを算出しました(0～10点、得点が高いほど問題性が高いと考えられます)。

全体の平均値は、小学生が3.33、中学生が3.82となっています。等価世帯収入別にみると、小学生では「中央値の2分の1未満」が3.80、中学生では「中央値の2分の1以上中央値未満」が3.97と最も高く、いずれも県調査(3.18、3.23)と比較して高くなっています。世帯別にみると、小学生ではひとり親世帯が3.60、中学生では母子世帯が3.99と最も高く、いずれも県調査(2.85、3.24)と比較して高くなっています。

図表3.19.1.1 情緒スコア(小学生)



図表3.19.1.2 情緒スコア(中学生)



(2) 仲間関係の問題

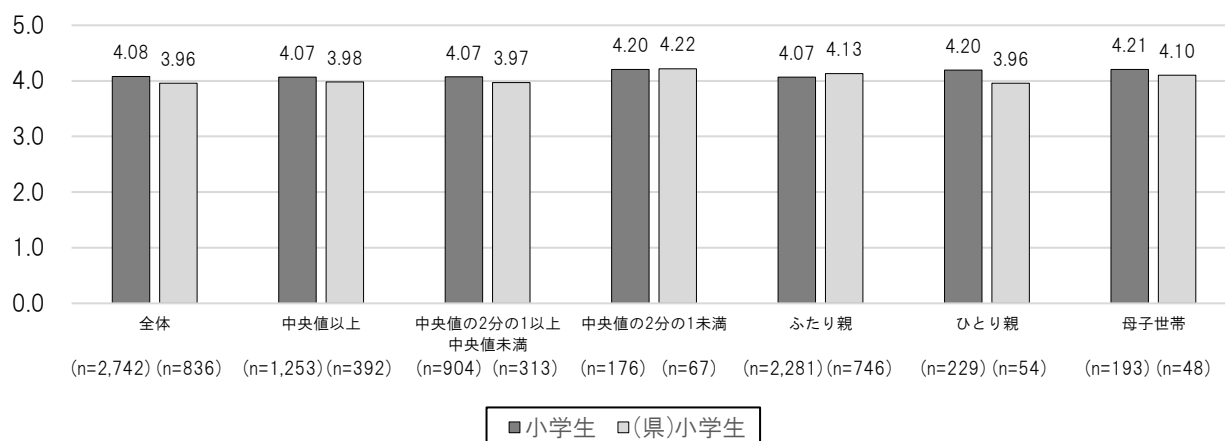
問19. 次のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。

- d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
- i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。
- l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。
- n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。

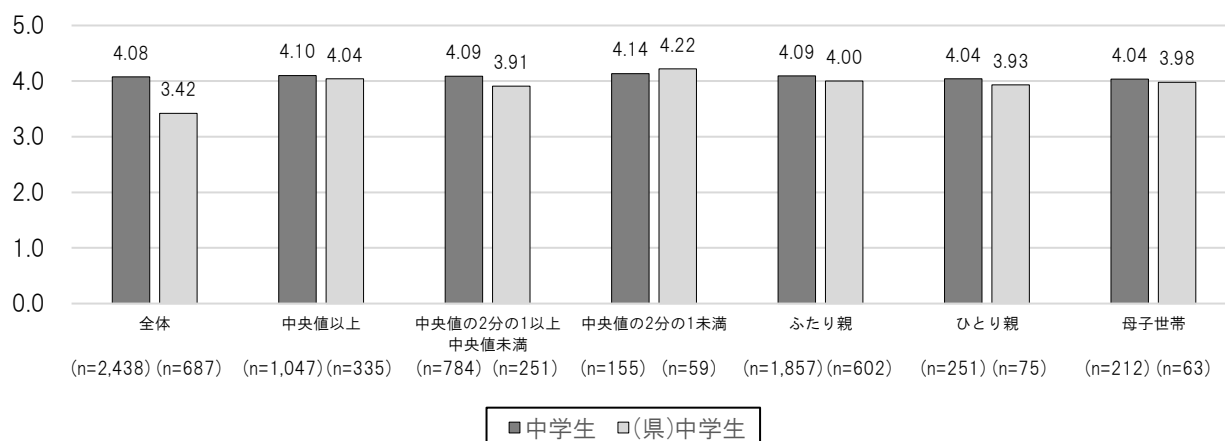
「仲間関係の問題」に関して、上記5項目の結果を数値化し足し合わせて仲間関係スコアを算出しました(0~10点、得点が高いほど問題性が高いと考えられます)。

全体の平均値は、小学生・中学生ともに4.08となっています。等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに「中央値の2分の1未満」が4.20、4.14と最も高く、いずれも県調査(4.22、4.22)と比較して大差はありません。世帯別にみると、小学生では「母子世帯」が4.21、中学生では「ふたり親」が4.09と最も高く、いずれも県調査(4.10、4.00)と比較してやや高くなっています。

図表3.19.2.1 仲間関係スコア(小学生)



図表3.19.2.2 仲間関係スコア(中学生)



(3)向社会性

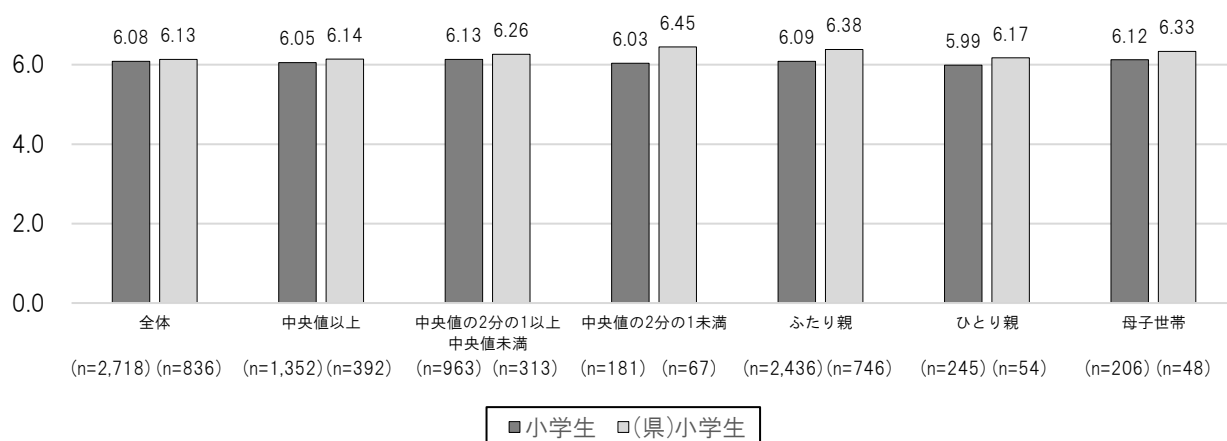
問19. 次のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれから回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。

- a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
- f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
- k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。
- m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。

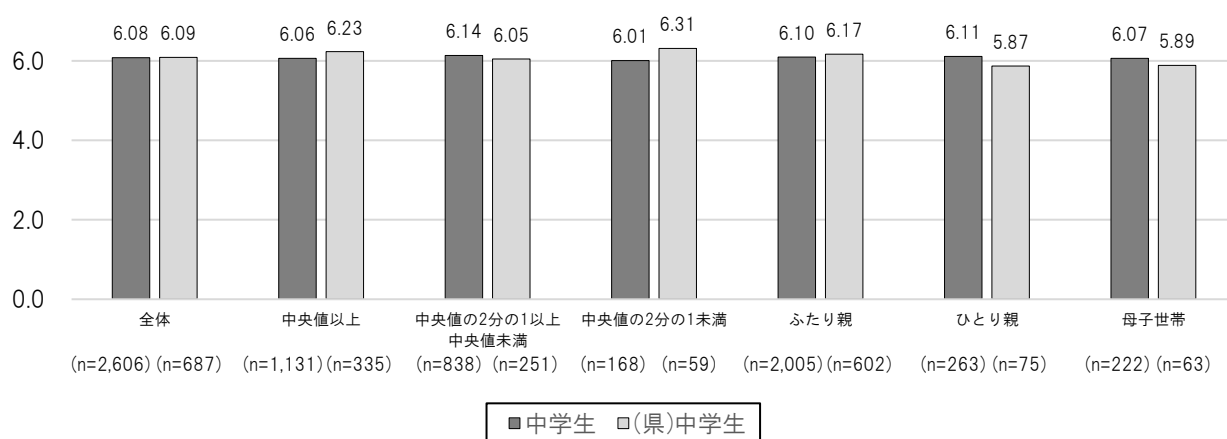
「向社会性」に関して、上記5項目の結果を数値化し足し合わせて向社会性スコアを算出しました(0～10点、得点が高いほど社会性が高いと考えられます)。

全体の平均値は、小学生・中学生ともに6.08となっています。等価世帯収入別にみると、小学生・中学生ともに「中央値の2分の1以上中央値未満」が6.13、6.14と最も高く、中学生では県調査(6.05)と比較してやや高くなっています。世帯別にみると、小学生では「母子世帯」が6.12、中学生ではひとり親世帯が6.11と最も高く、中学生では県調査(5.87)と比較して高くなっています。

図表3.19.3.1 向社会性スコア(小学生)



図表3.19.3.2 向社会性スコア(中学生)

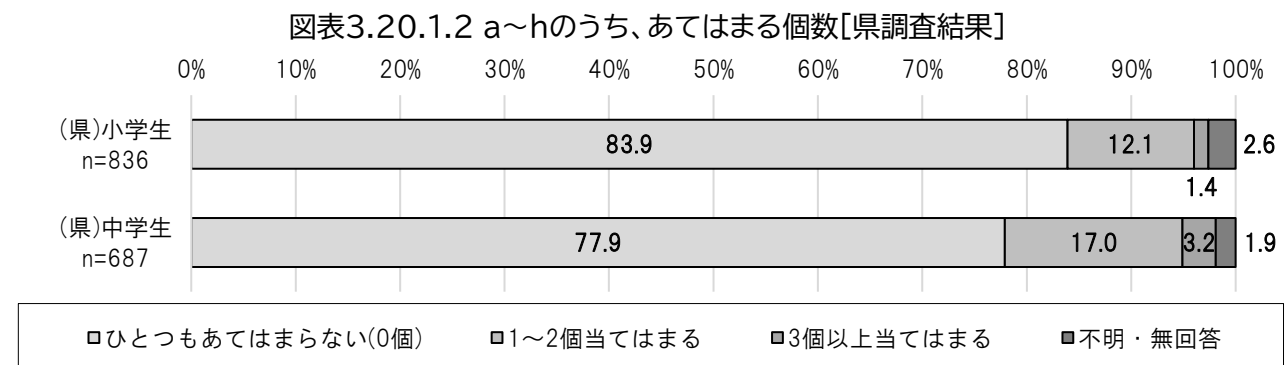
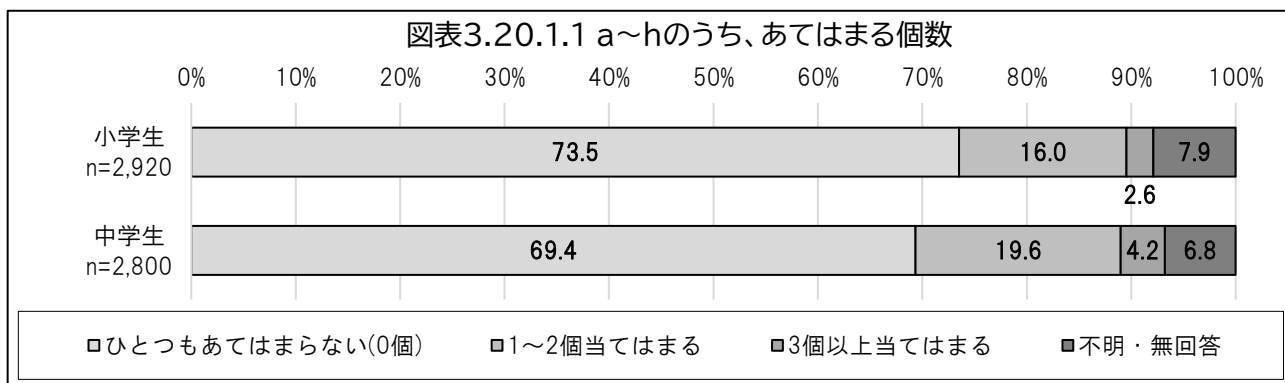


問20. あなたは今までに、次のa~hのようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んで暴れたり麻薬などの薬物を使ったことで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

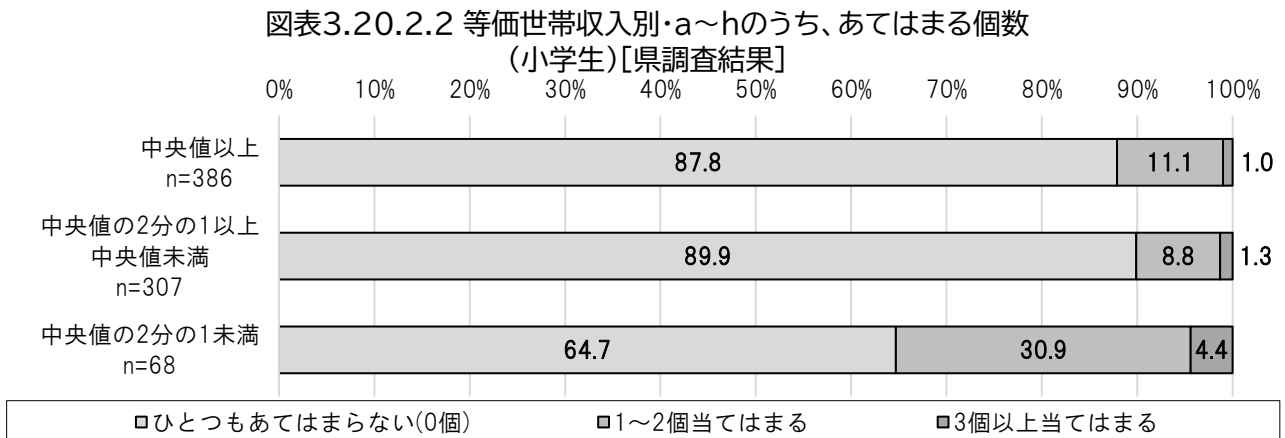
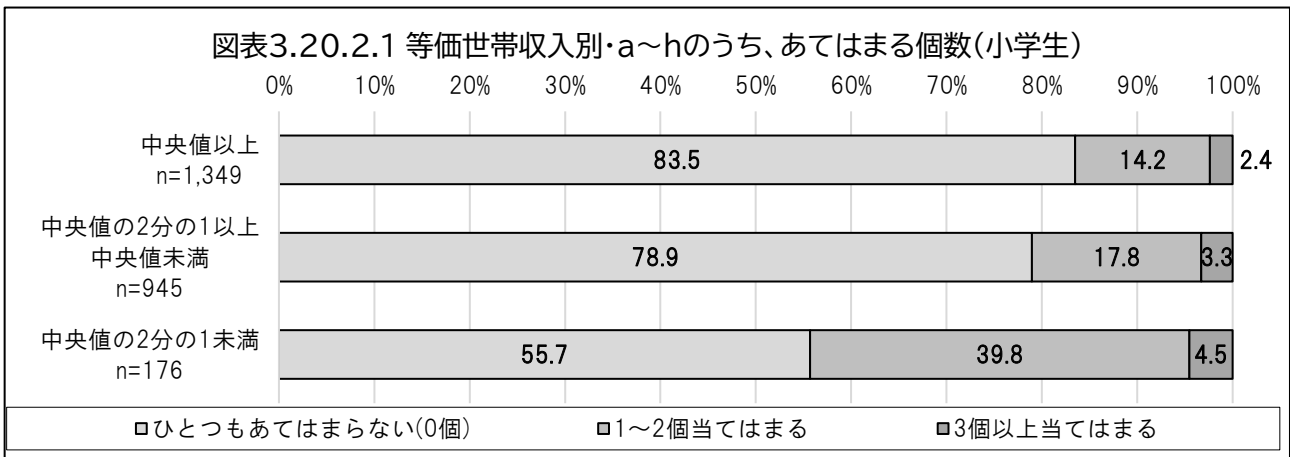
(1)全体

a~hについて、小学生・中学生ともに「ひとつもあてはまらない(0個)」が73.5%、69.4%と最も高く、次いで「1~2個あてはまる」が16.0%、19.6%となっています。



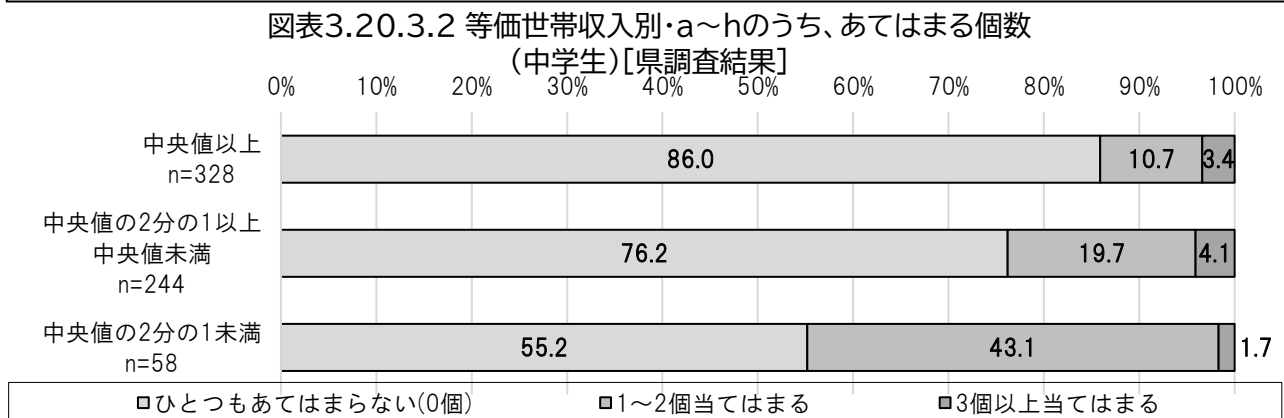
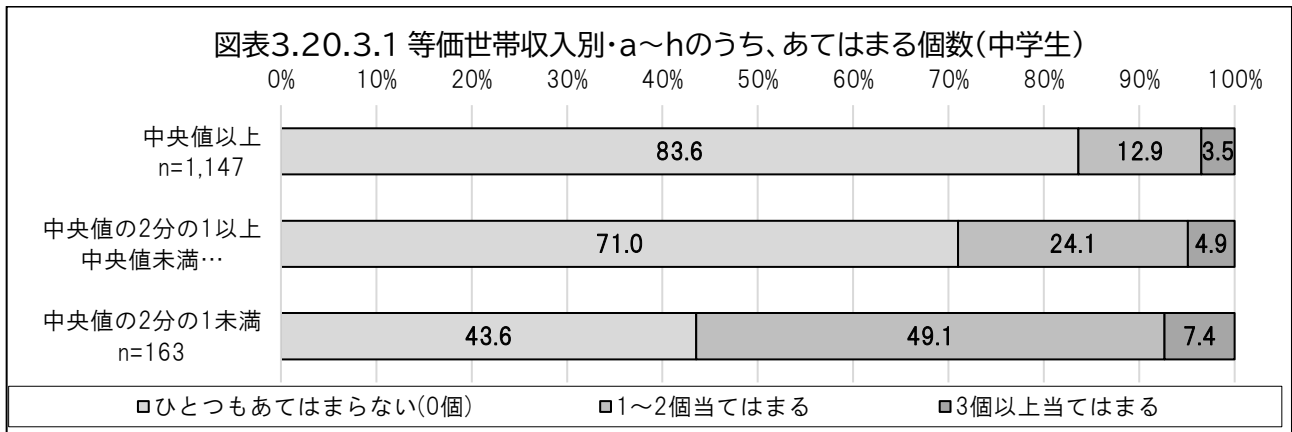
(2)等価世帯収入別・小学生（問 20. a～hのうち、あてはまる個数）

a～hについて、等価世帯収入別にみると、小学生では、「ひとつもあてはまらない（0個）」が、全体では73.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では55.7%と低くなっています。また、「1～2個当てはまる」「3個以上当てはまる」が、全体では16.0%、2.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では39.8%、4.5%とそれぞれ高くなっています。



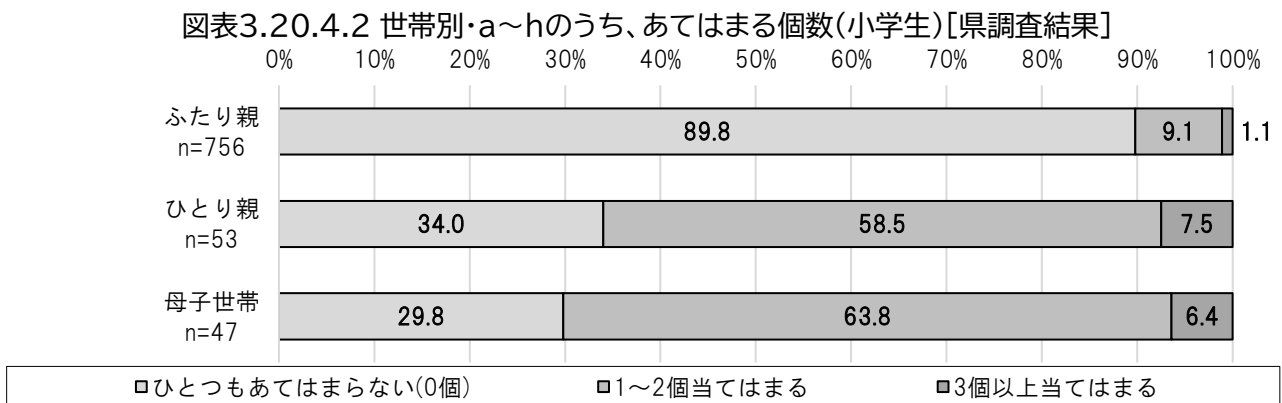
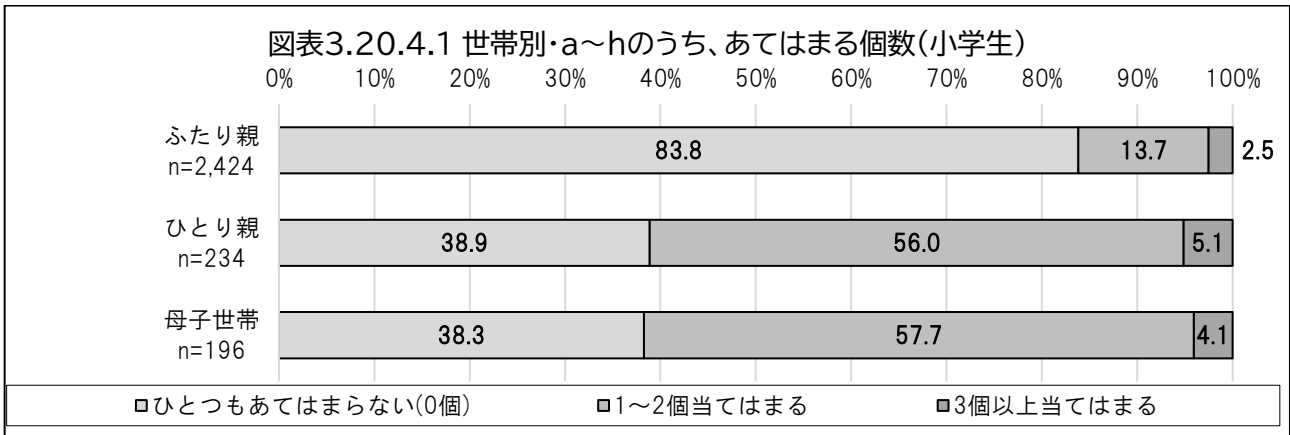
(3)等価世帯収入別・中学生（問 20. a～hのうち、あてはまる個数）

a～hについて、等価世帯収入別にみると、中学生では、「ひとつもあてはまらない（0個）」が、全体では69.4%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では43.6%と低くなっています。また、「1～2個当てはまる」「3個以上当てはまる」が、全体では19.6%、4.2%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では49.1%、7.4%とそれぞれ高くなっています。



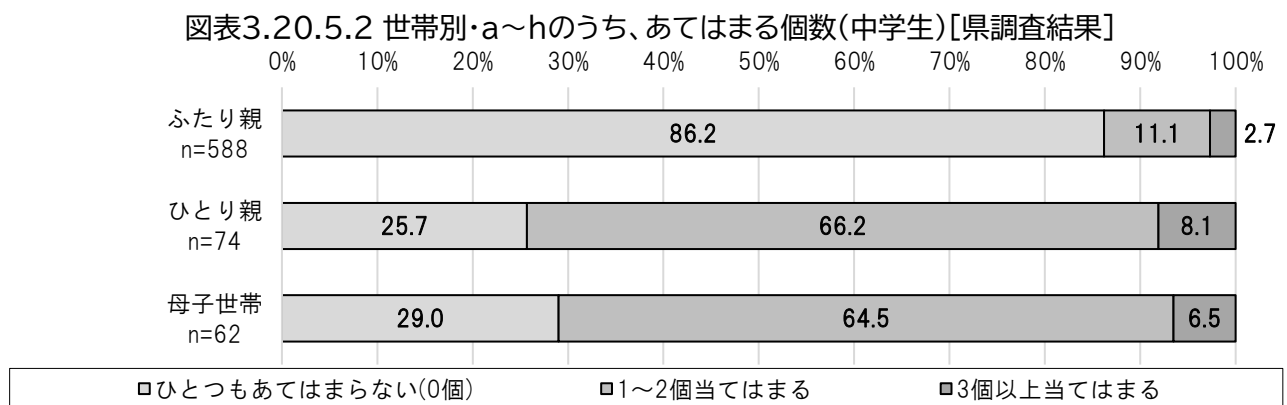
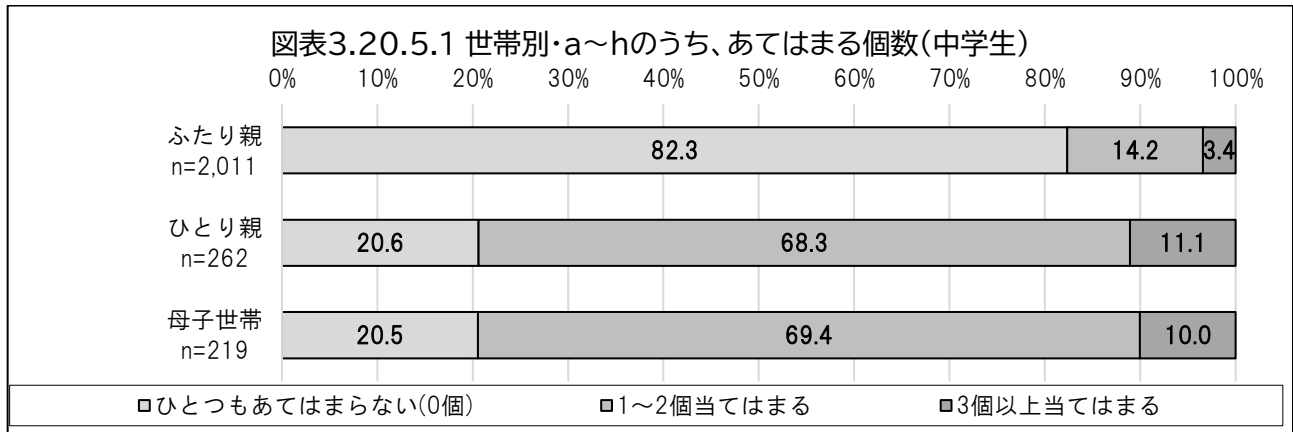
(4)世帯別・小学生（問 20. a～hのうち、あてはまる個数）

a～hについて、世帯別にみると、小学生では、「ひとつもあてはまらない（0個）」が、全体では73.5%であったのに対し、ひとり親世帯では38.9%と低くなっています。また、「1～2個当てはまる」「3個以上当てはまる」が、全体では16.0%、2.6%であったのに対し、ひとり親世帯では56.0%、5.1%とそれぞれ高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 20. a～hのうち、あてはまる個数）

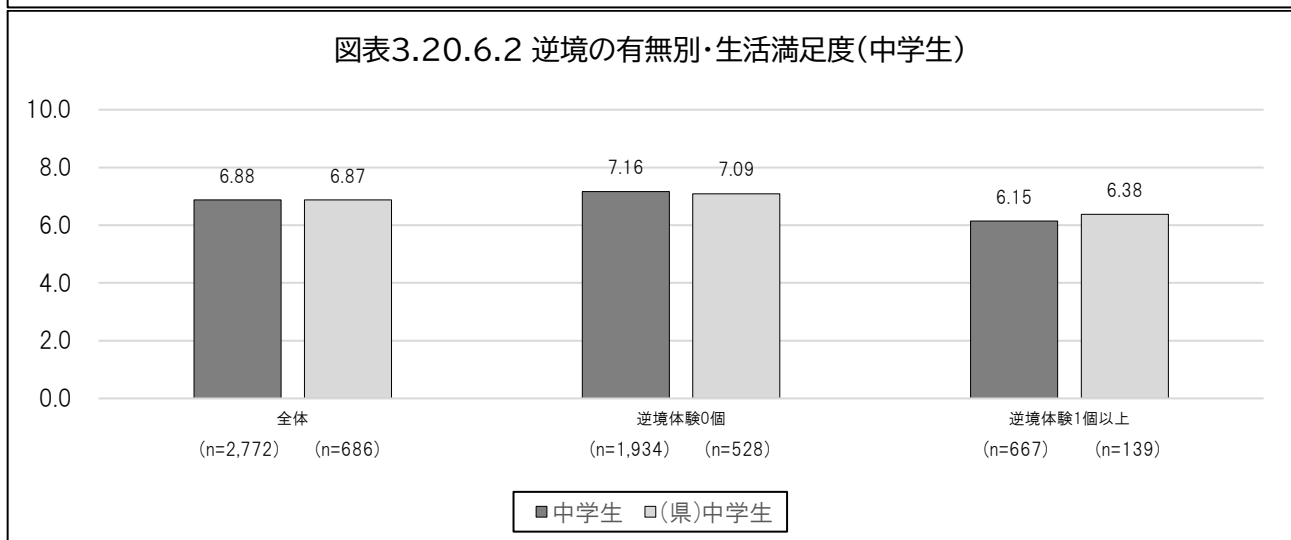
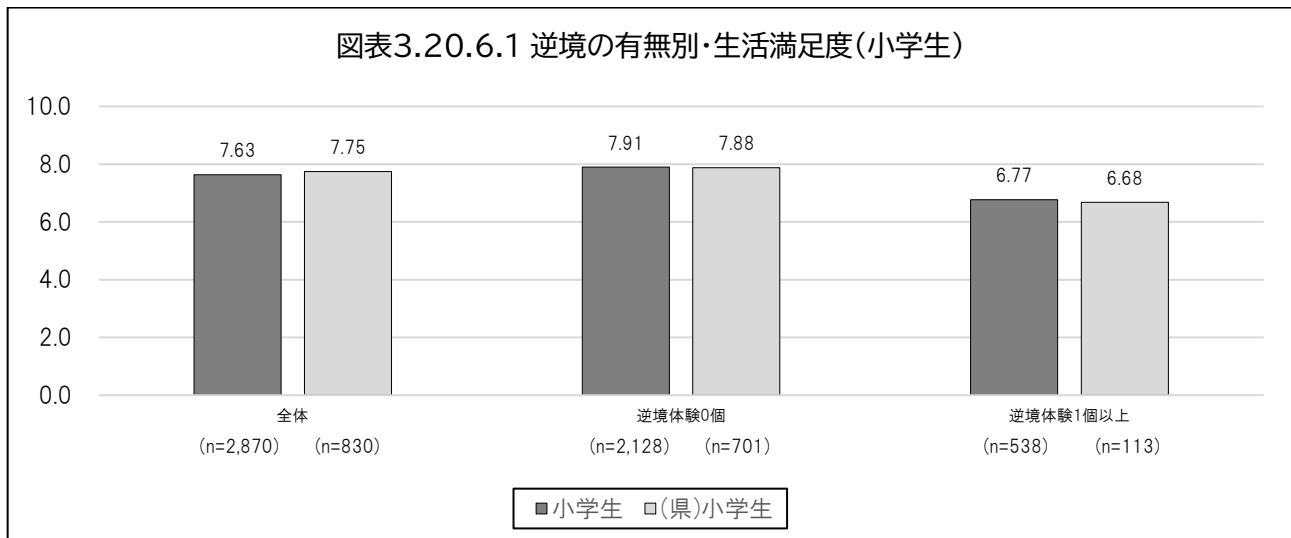
a～hについて、世帯別にみると、「ひとつもあてはまらない（0個）が、全体では69.4%であったのに対し、ひとり親世帯では20.6%と低くなっています。また、「1～2個当てはまる」「3個以上当てはまる」が、全体では19.6%、4.2%であったのに対し、ひとり親世帯では68.3%、11.1%とそれぞれ高くなっています。



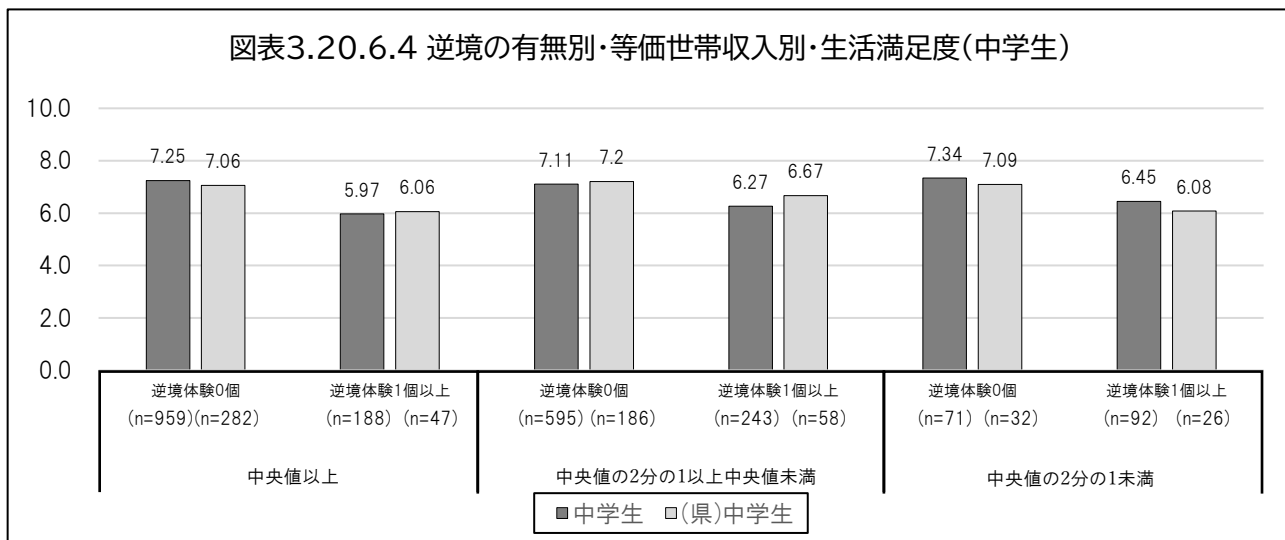
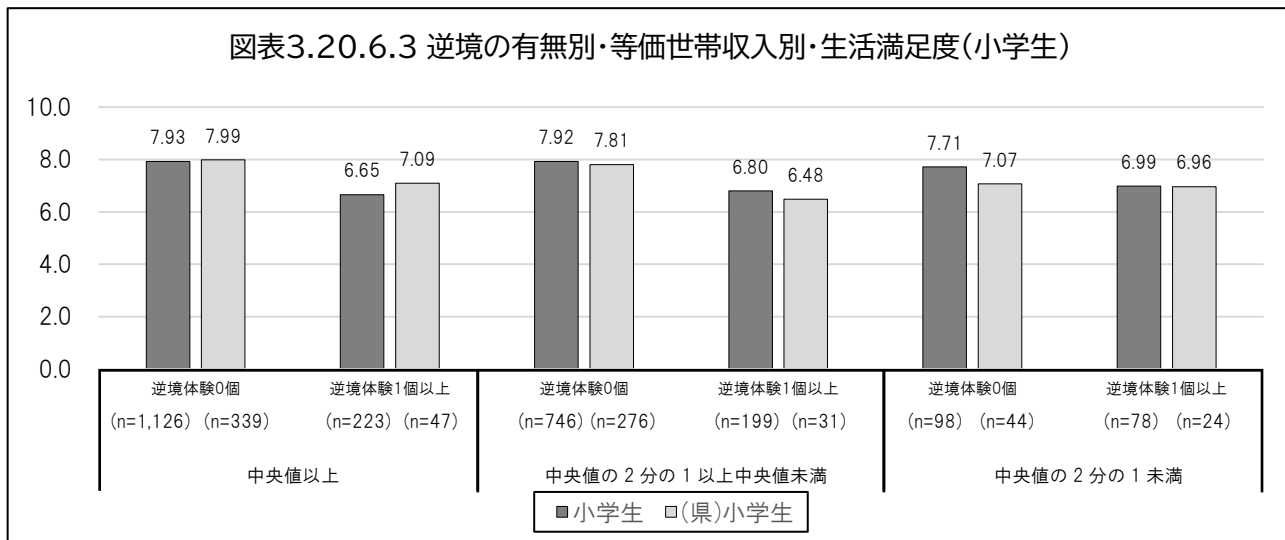
(6) 逆境の有無別、生活満足度

逆境体験の経験の有無（問 20.a~h のうちひとつもあてはまらない（0個）であるか、1個以上あてはまるか）により分類し、子どもの生活満足度の平均値を比較しました。

小学生では、全体の平均値が 7.63、「逆境体験 0 個」の場合は 7.91、「逆境体験 1 個以上」の場合は 6.77 となっています。中学生では、全体の平均値が 6.88、「逆境体験 0 個」の場合は 7.16、「逆境体験 1 個以上」の場合は 6.15 となっています。逆境体験の経験の有無別に子どもの生活満足度をみると、小学生・中学生ともに、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっています。



等価世帯収入別にみると、小学生では、「中央値以上」で「逆境体験0個」の場合が7.93、中学生では、「中央値の2分の1未満」で「逆境体験0個」の場合が7.34とそれぞれ最も高くなっています。一方、小学生・中学生ともに「中央値以上」で「逆境体験1個以上」の場合でそれぞれ6.65、5.97と最も低くなっています。また、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっています。

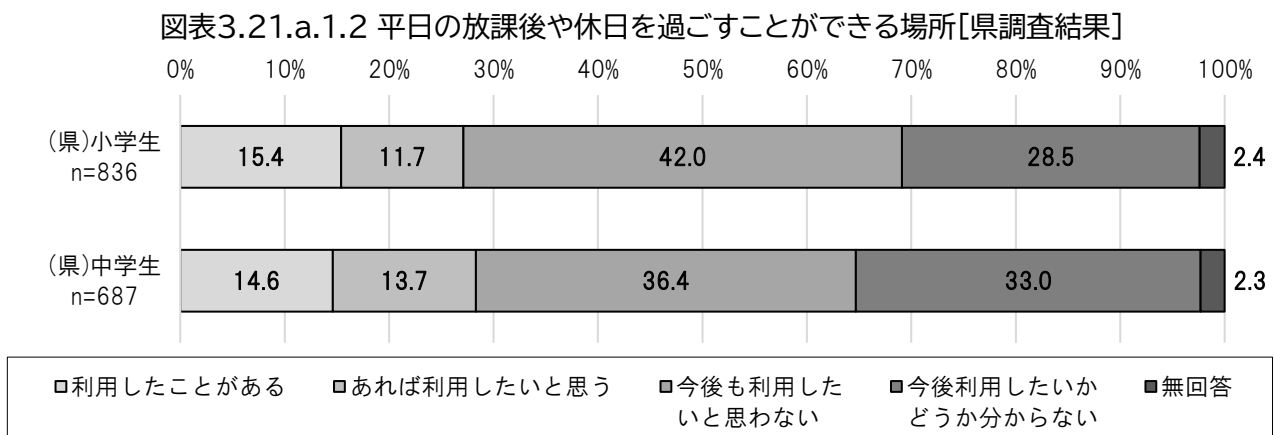
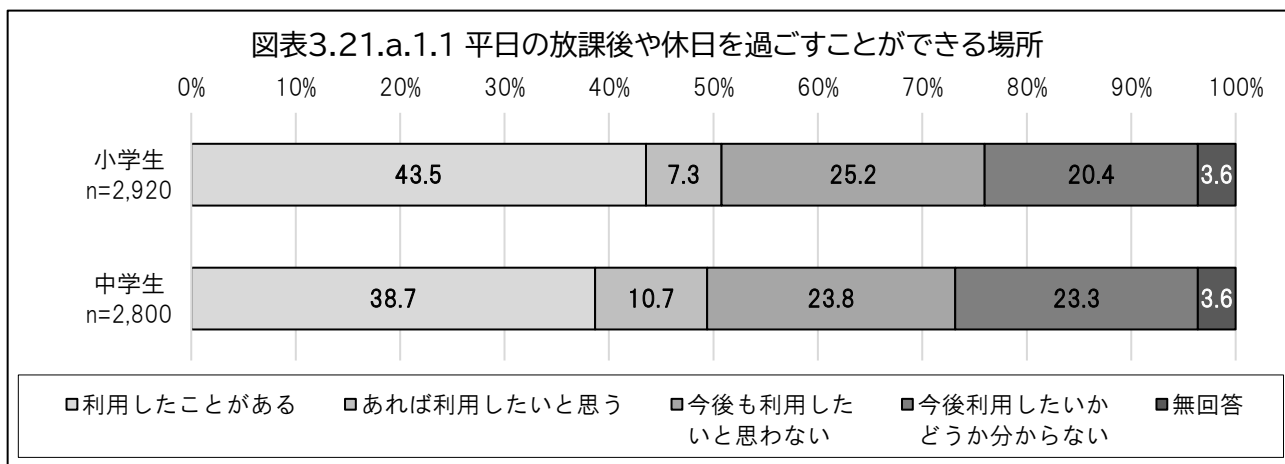


問21. あなたは、次のa~dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

a) (自分や友人の家以外で)平日の放課後や休日を過ごすことができる場所 (学童保育所など)

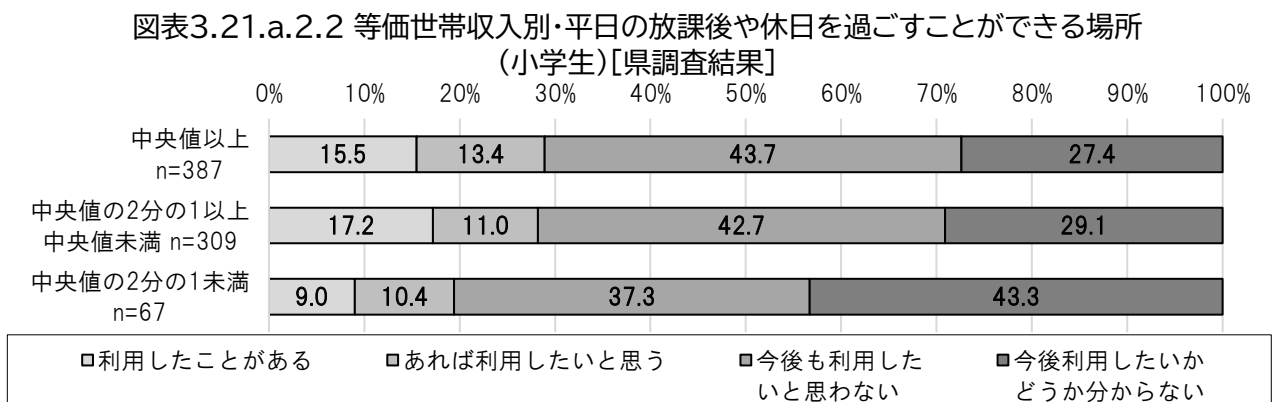
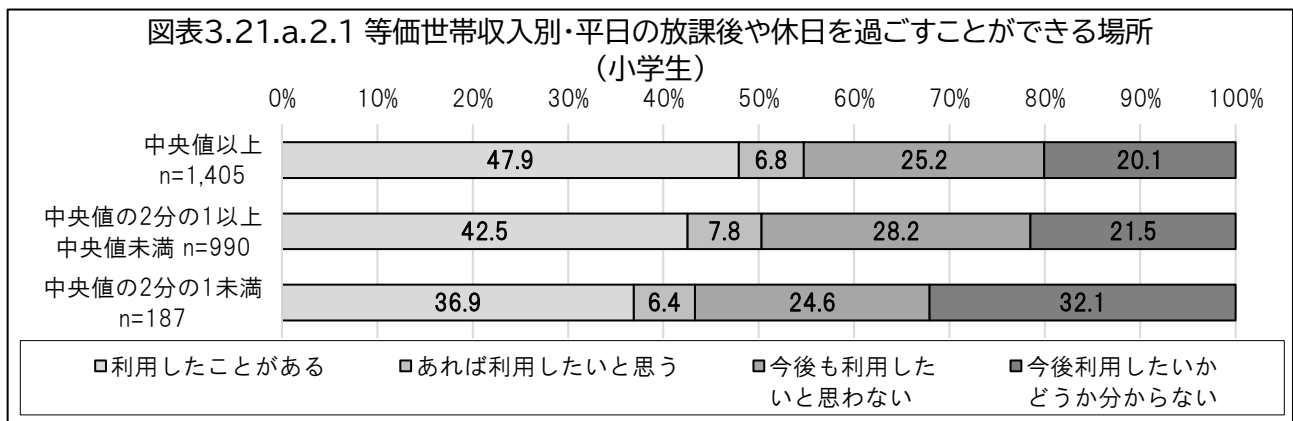
(1)全体

平日の放課後や休日を過ごすことができる場所について、小学生・中学生ともに「利用したことがある」が43.5%、38.7%と最も高く、次いで「今後も利用したいと思わない」が25.2%、23.8%、「今後利用したいかどうか分からない」が20.4%、23.3%となっています。また、「利用したことがある」の割合は、小学生・中学生ともに(43.5%、38.7%)、県調査(15.4%、14.6%)と比較して高くなっています。



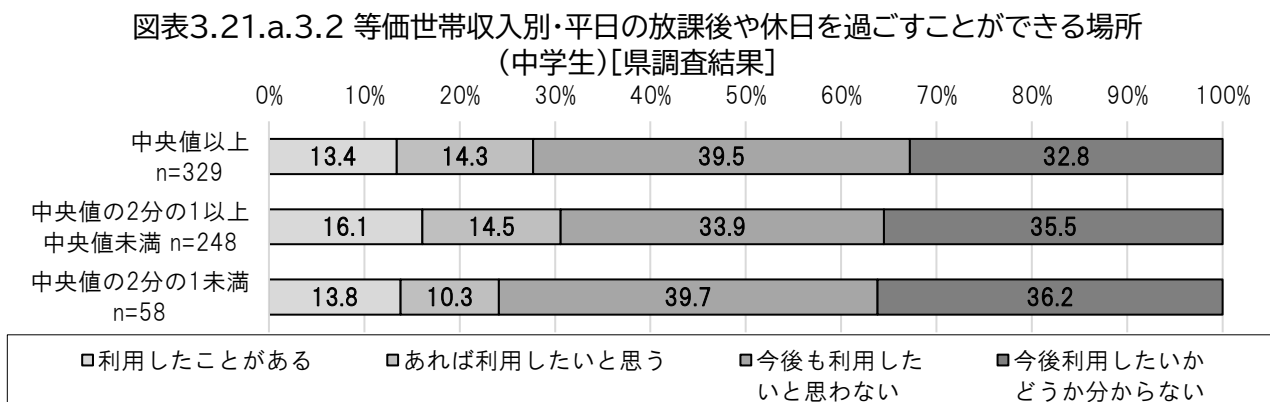
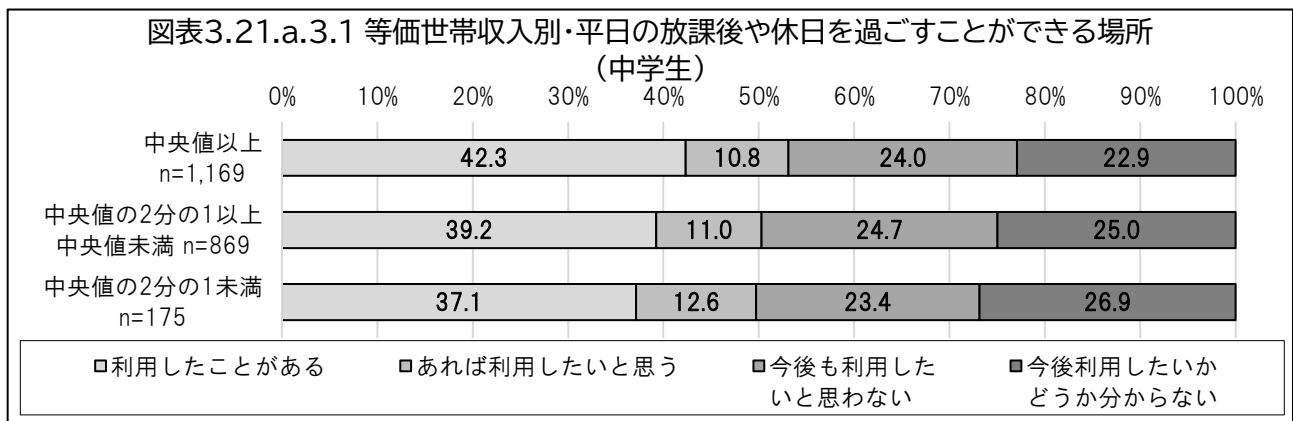
(2)等価世帯収入別・小学生（問 21. a 放課後や休日に過ごすことができる場所）

平日の放課後や休日に過ごすことができる場所について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では43.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では36.9%と低くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では7.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では6.4%と同程度となっています。



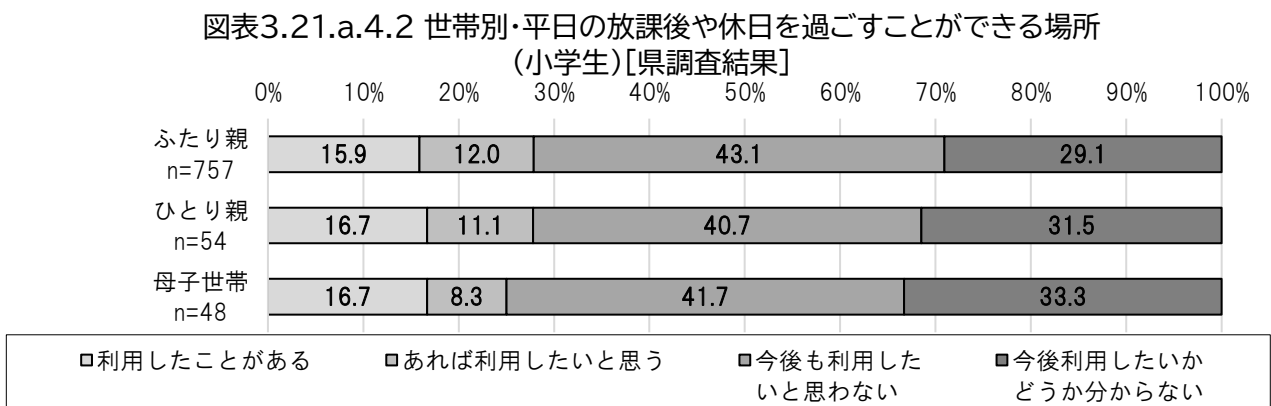
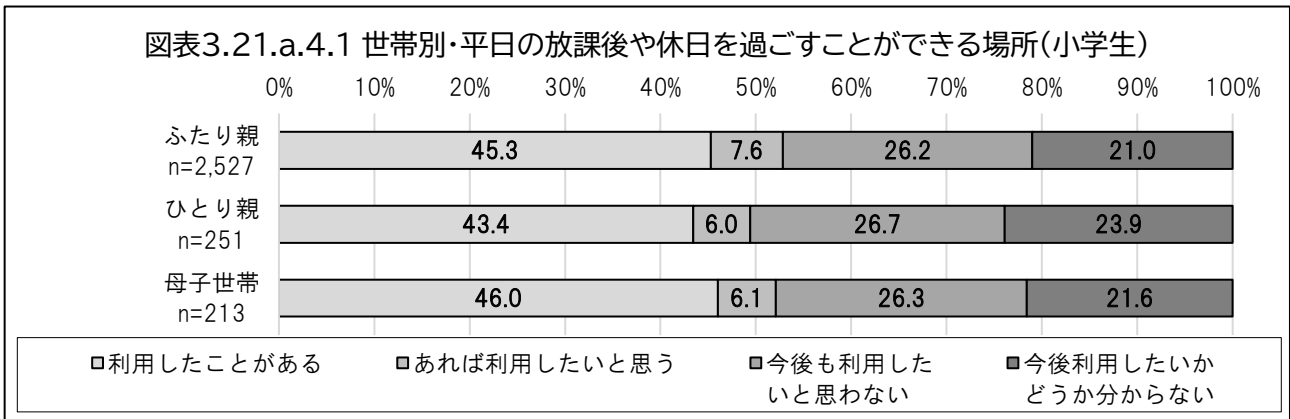
(3)等価世帯収入別・中学生（問 21. a 放課後や休日に過ごすことができる場所）

平日の放課後や休日に過ごすことができる場所について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では38.7%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では37.1%とやや低くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では10.7%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では12.6%とやや高くなっています。



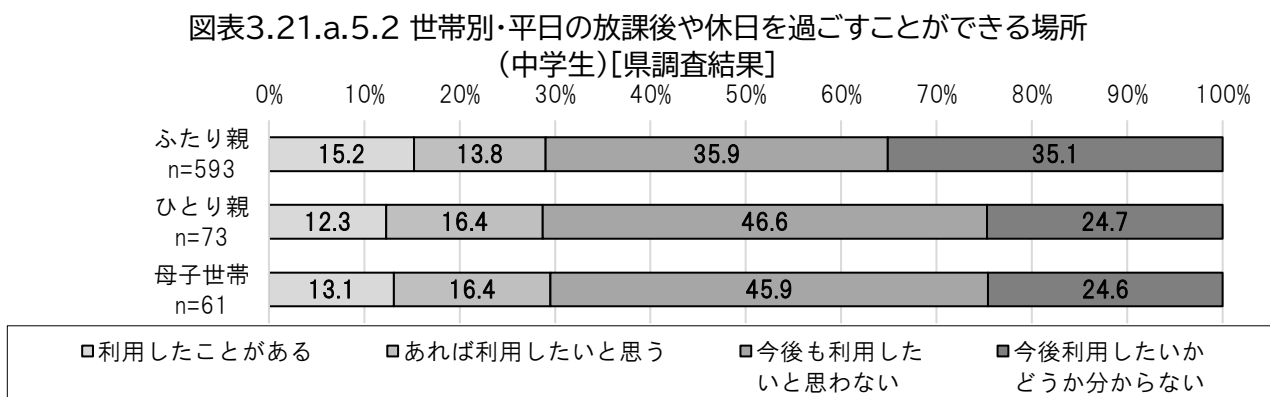
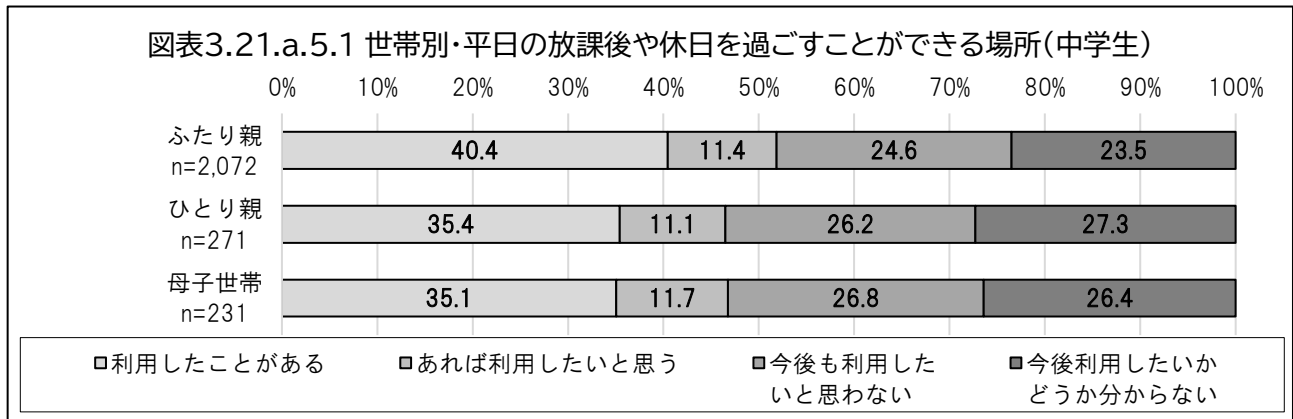
(4)世帯別・小学生（問 21. a 放課後や休日に過ごすことができる場所）

平日の放課後や休日に過ごすことができる場所について、世帯別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 43.5%であったのに対し、ひとり親世帯では 43.4%と同程度となっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 7.3%であったのに対し、ひとり親世帯では 6.0%とやや低くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 21. a 放課後や休日に過ごすことができる場所）

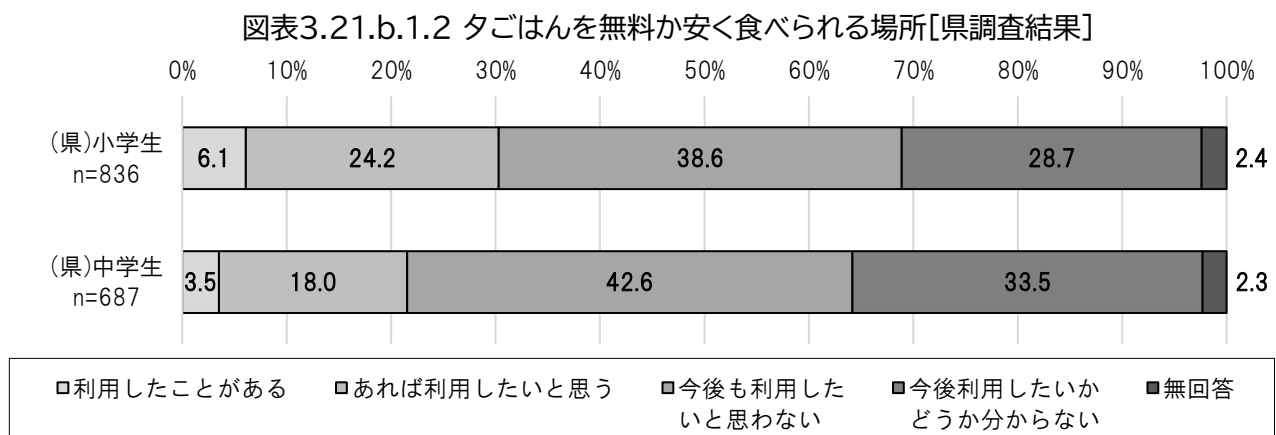
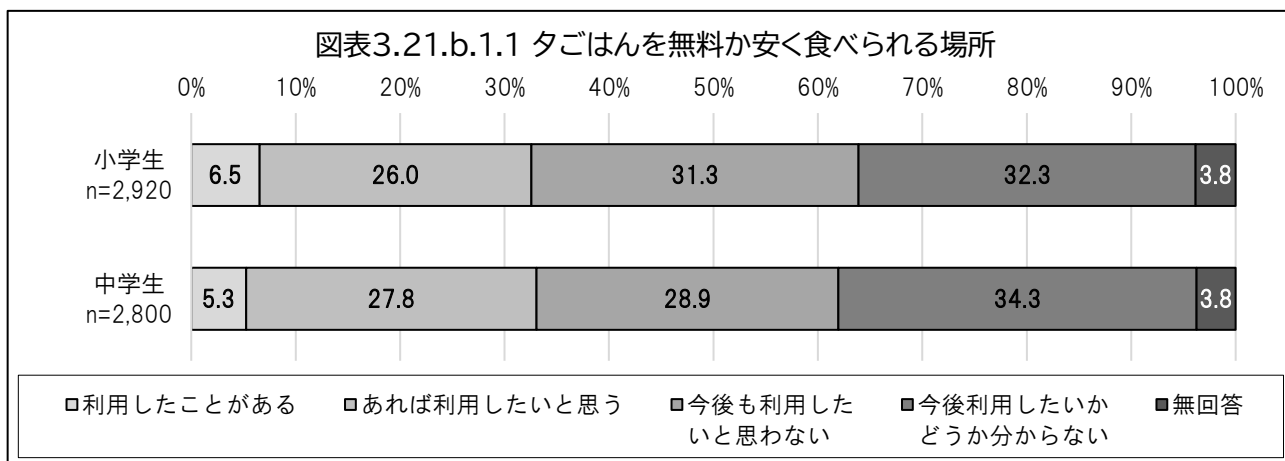
平日の放課後や休日に過ごすことができる場所について、世帯別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 38.7%であったのに対し、ひとり親世帯では 35.4%とやや低くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 10.7%であったのに対し、ひとり親世帯では 11.1%と同程度となっています。



b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など)

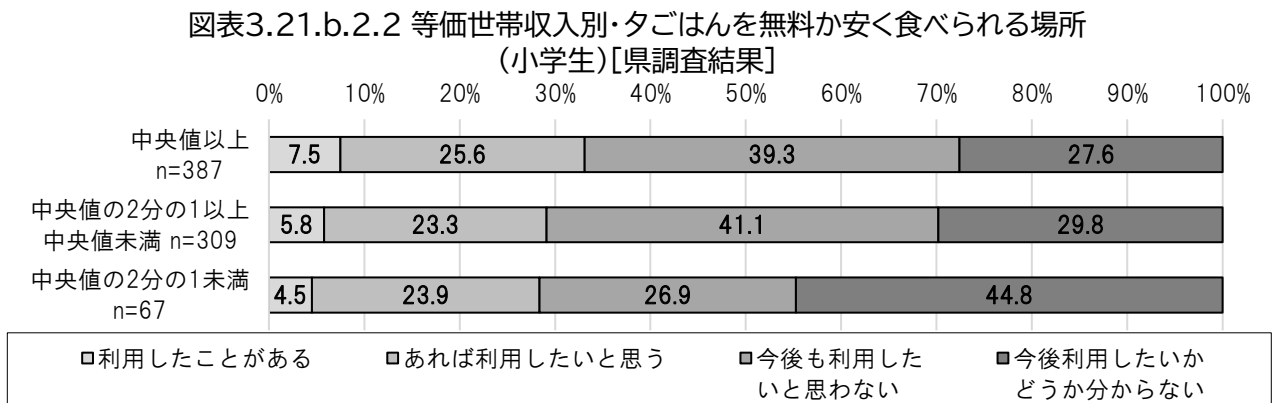
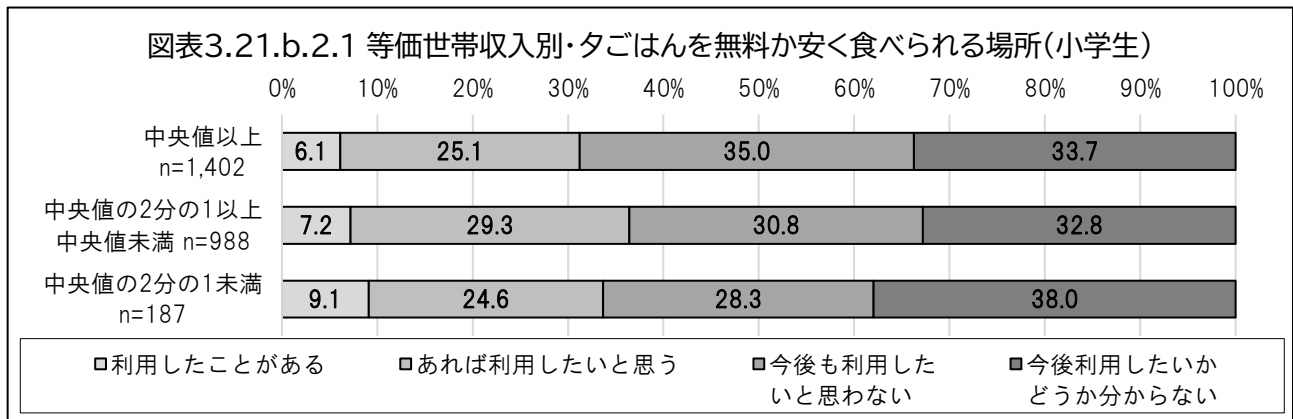
(1)全体

タごはんを無料か安く食べられる場所について、小学生・中学生ともに「今後利用したいかどうか分からない」が32.3%、34.3%と最も高く、次いで「今後も利用したいと思わない」が31.3%、28.9%、「あれば利用したいと思う」が26.0%、27.8%となっています。



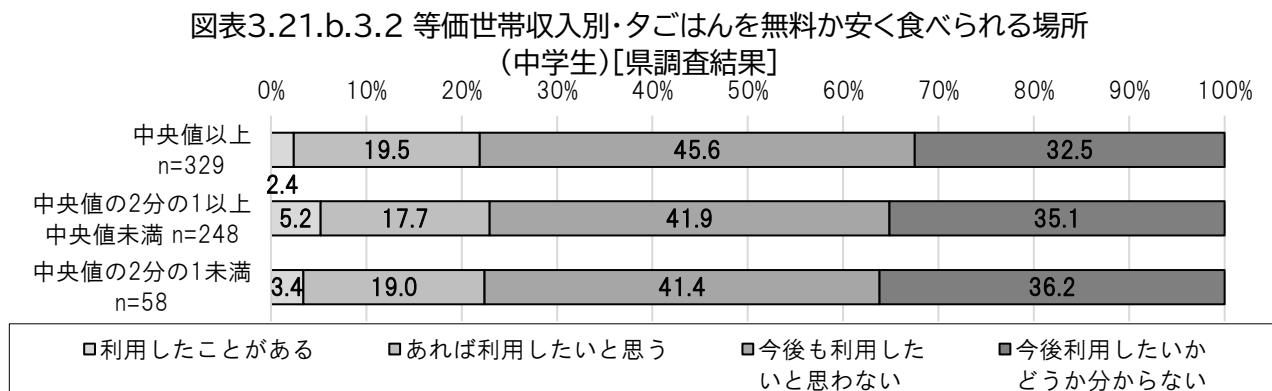
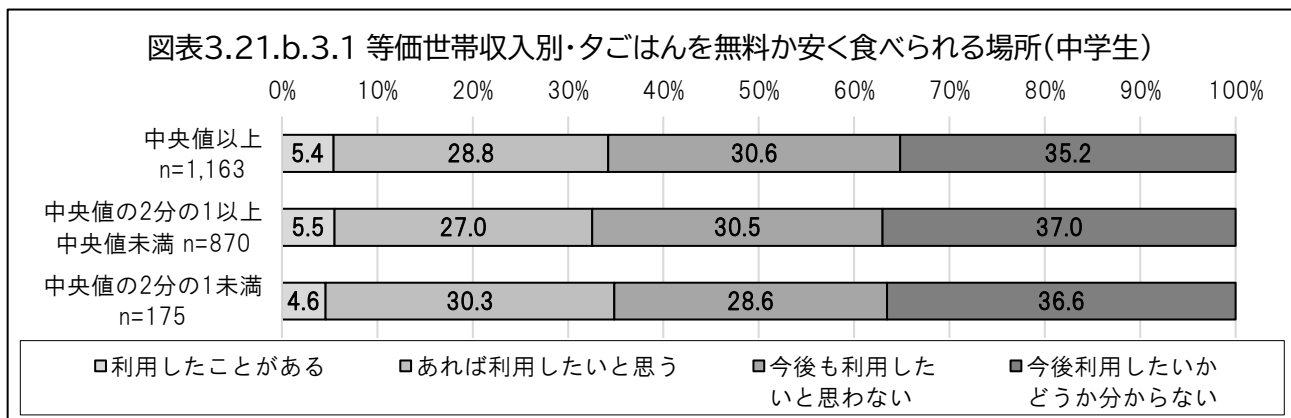
(2)等価世帯収入別・小学生（問 21. b 夕飯を無料か安く食べられる場所）

夕ごはんを無料か安く食べられる場所について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では6.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では9.1%とやや高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では26.0%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では24.6%とやや低くなっています。



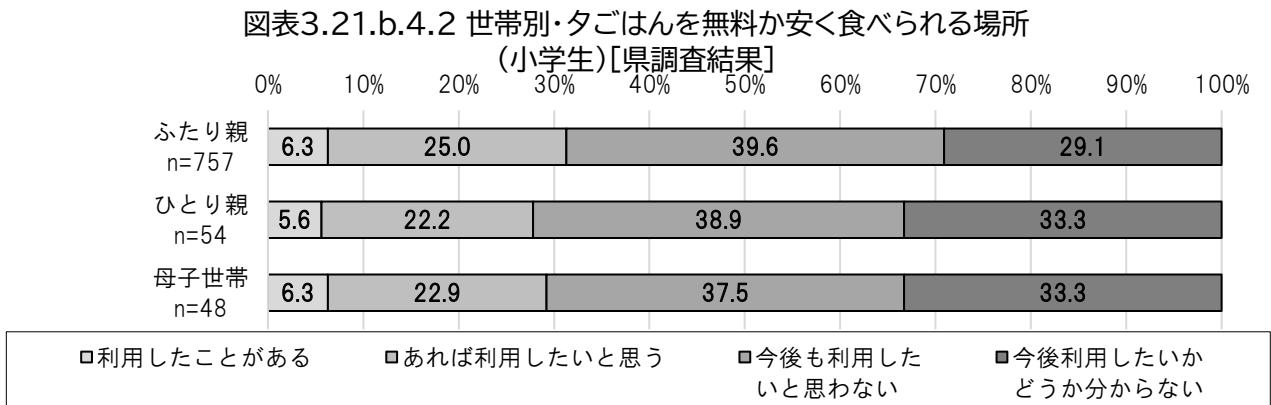
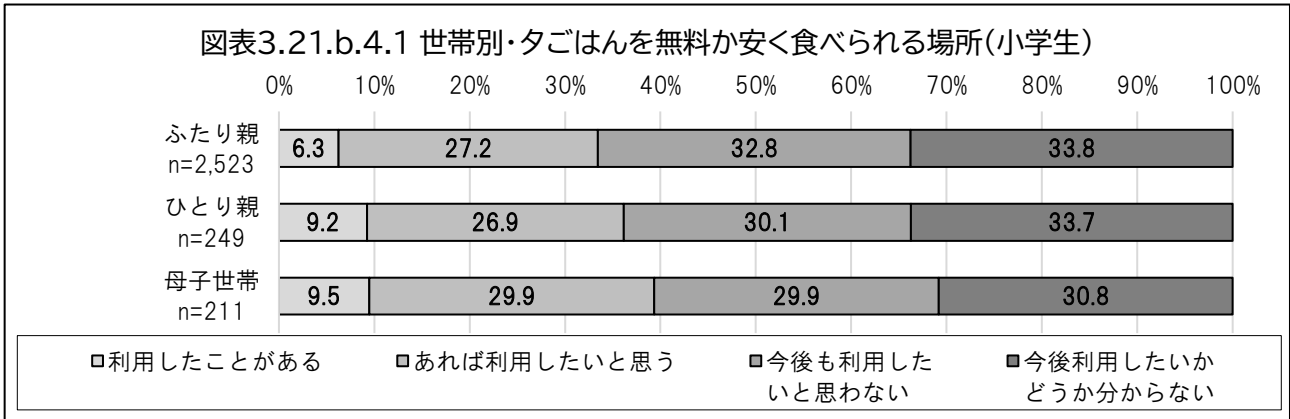
(3)等価世帯収入別・中学生（問 21. b 夕飯を無料か安く食べられる場所）

夕ごはんを無料か安く食べられる場所について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では5.3%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では4.6%と同程度となっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では27.8%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では30.3%と高くなっています。



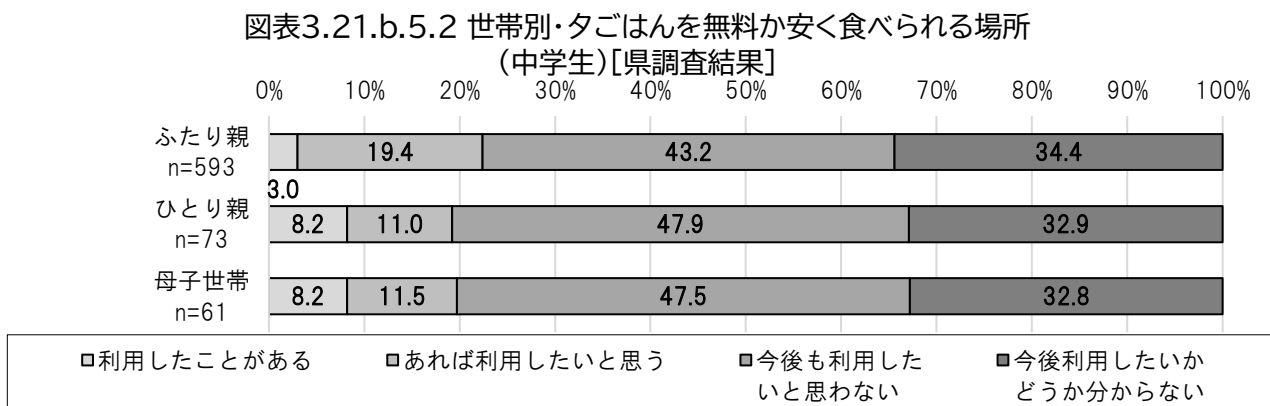
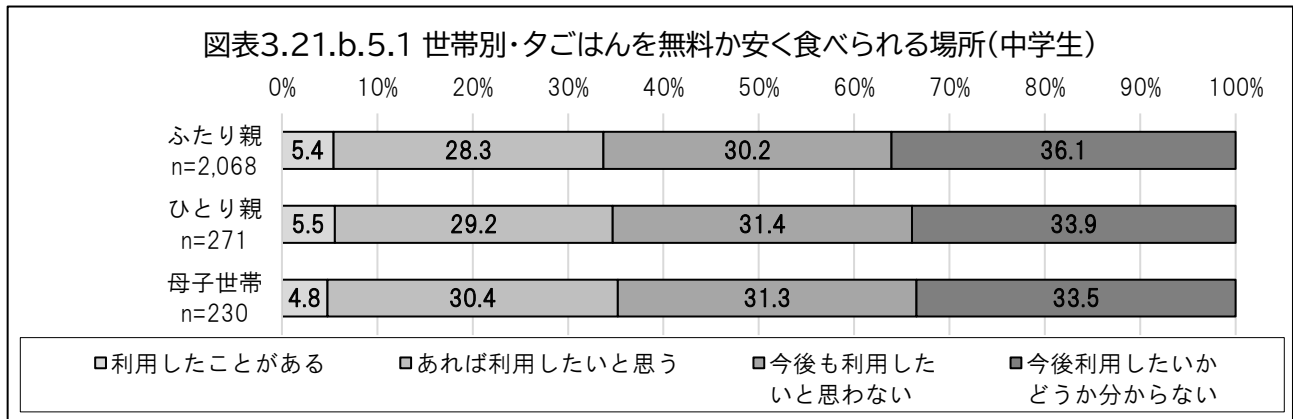
(4)世帯別・小学生（問 21. b 夕飯を無料か安く食べられる場所）

夕ごはんを無料か安く食べられる場所について、世帯別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 6.5%であったのに対し、ひとり親世帯では 9.2%とやや高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 26.0%であったのに対し、ひとり親世帯では 26.9%と同程度となっています。



(5)世帯別・中学生（問 21. b 夕飯を無料か安く食べられる場所）

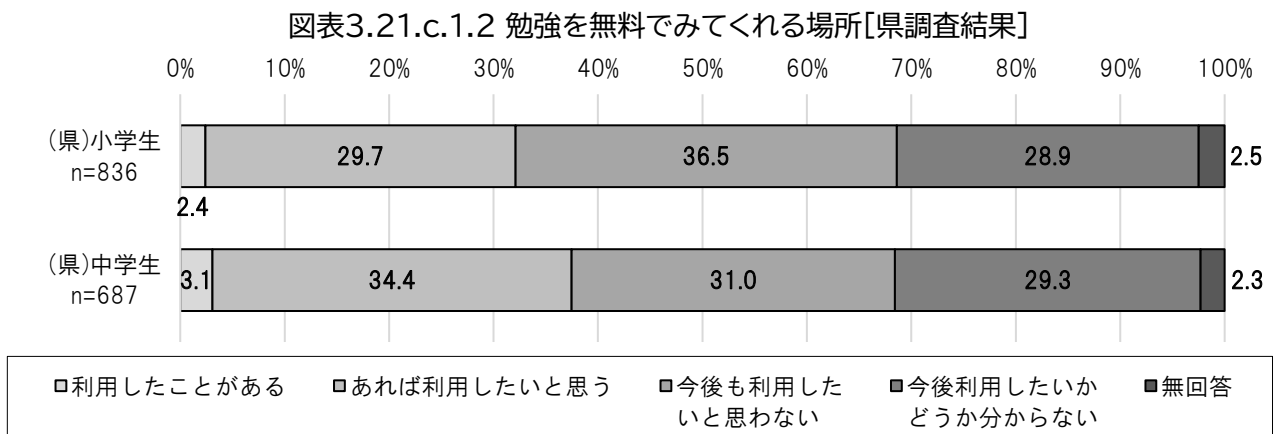
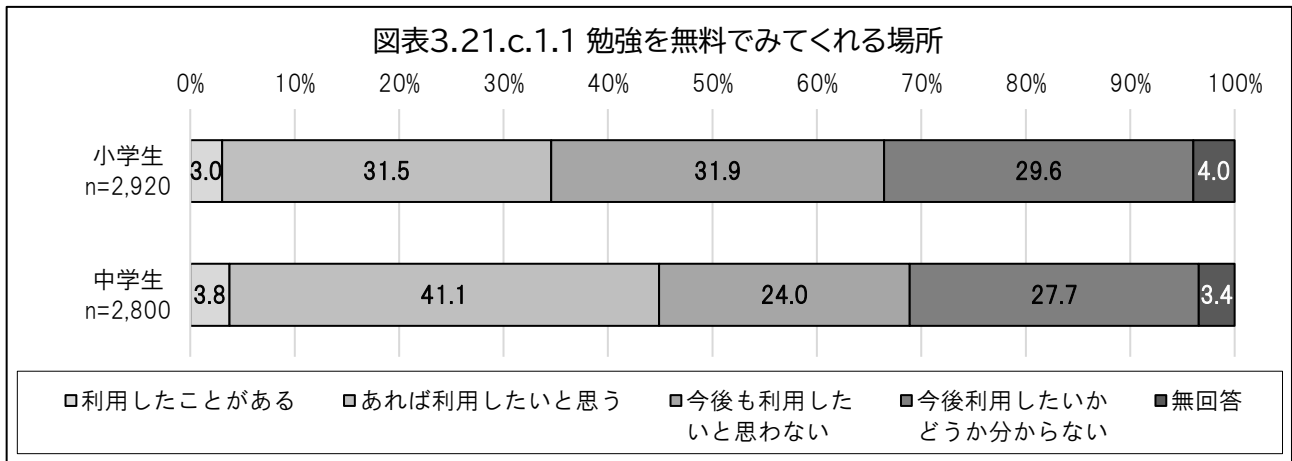
夕ごはんを無料か安く食べられる場所について、世帯別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 5.3%であったのに対し、ひとり親世帯では 5.5%と同程度となっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 27.8%であったのに対し、ひとり親世帯では 29.2%とやや高くなっています。



c) 勉強を無料でみてくれる場所

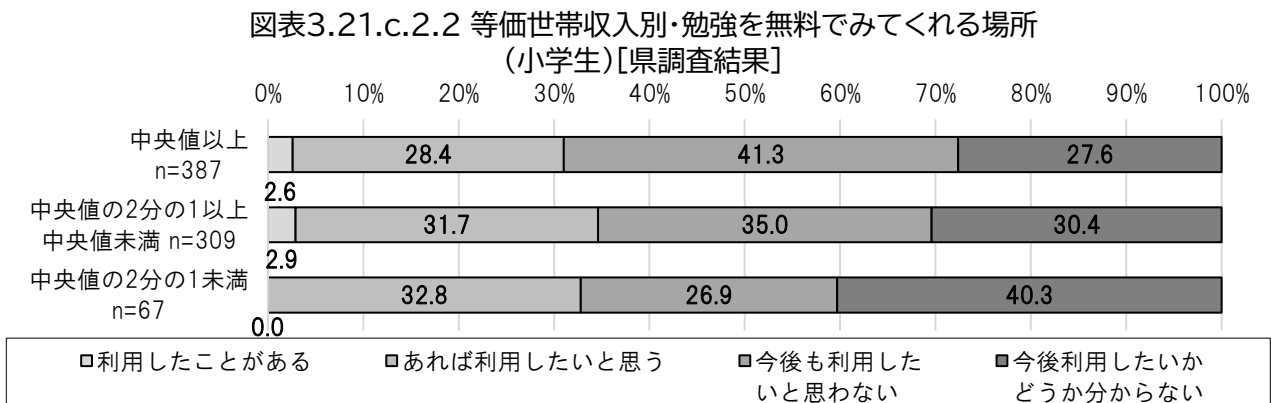
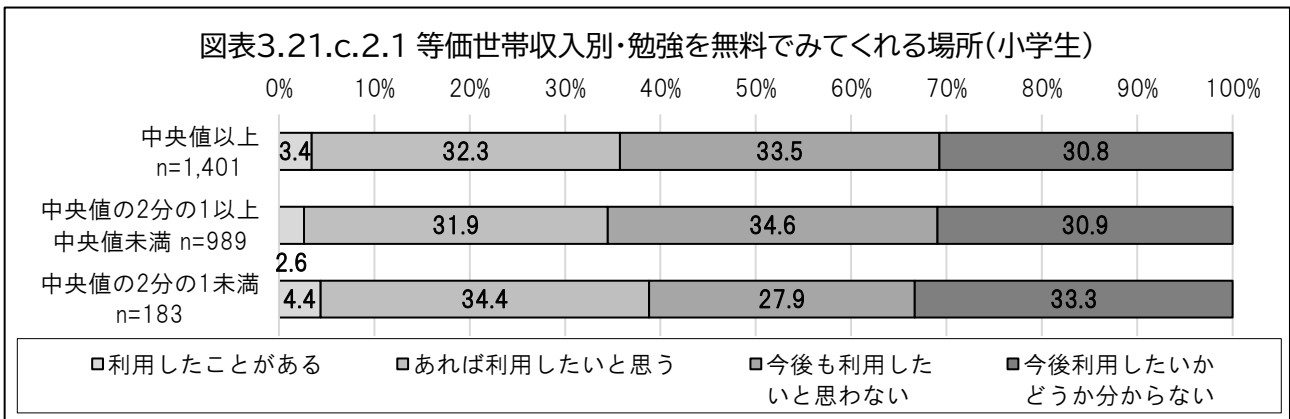
(1)全体

勉強を無料でみてくれる場所について、小学生では「今後も利用したいと思わない」が31.9%と最も高く、次いで「あれば利用したいと思う」が31.5%、「今後利用したいかどうか分からない」が29.6%となっています。中学生では「あれば利用したいと思う」が41.1%と最も高く、次いで「今後利用したいかどうか分からない」が27.7%、「今後も利用したいと思わない」が24.0%となっています。



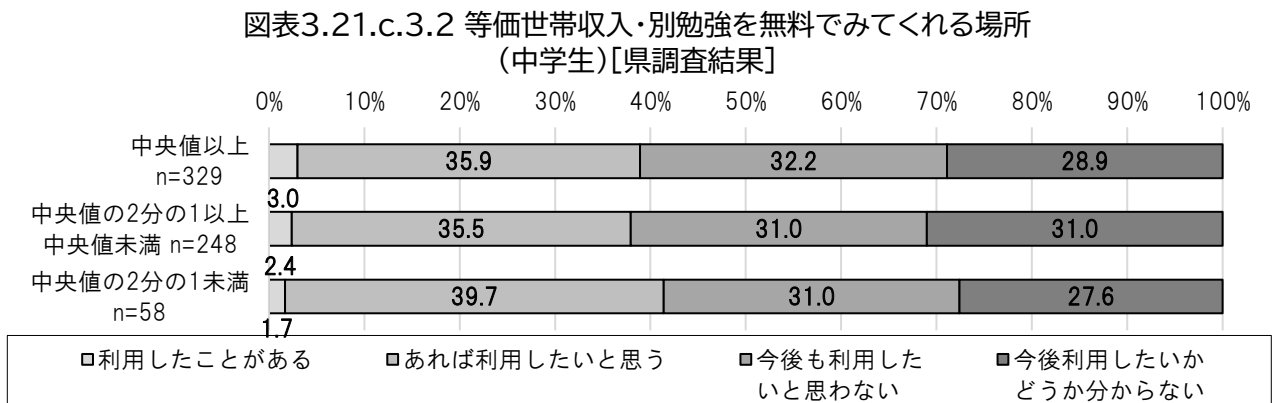
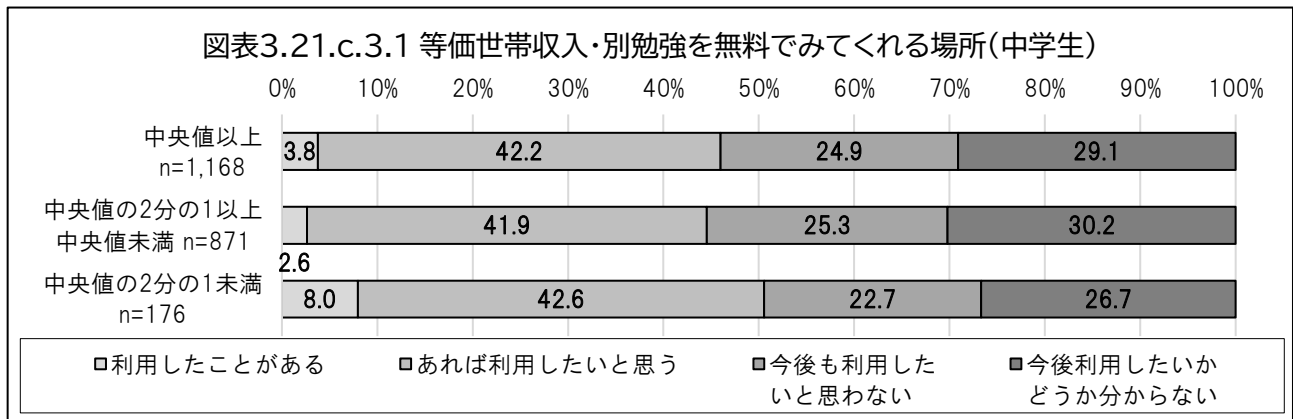
(2)等価世帯収入別・小学生（問 21.c 勉強を無料でみてくれる場所）

勉強を無料でみてくれる場所について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では3.0%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では4.4%とやや高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では31.5%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では34.4%とやや高くなっています。



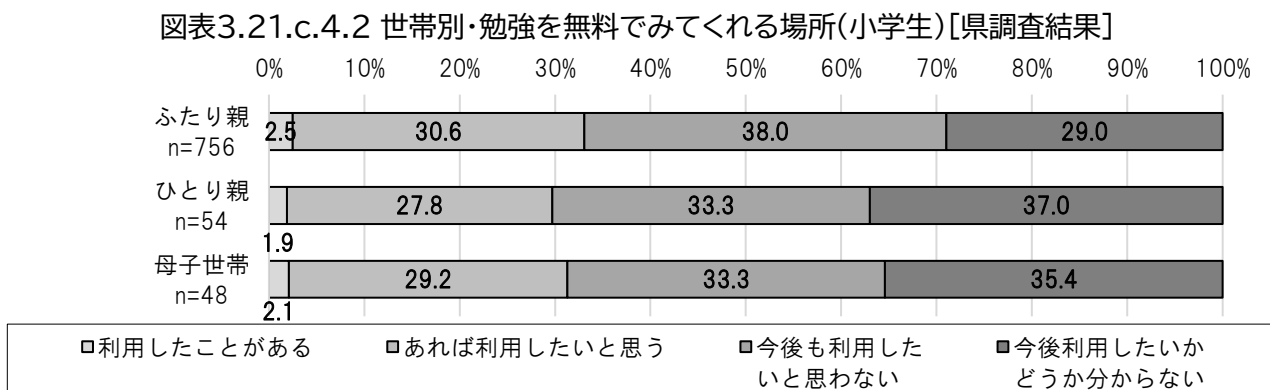
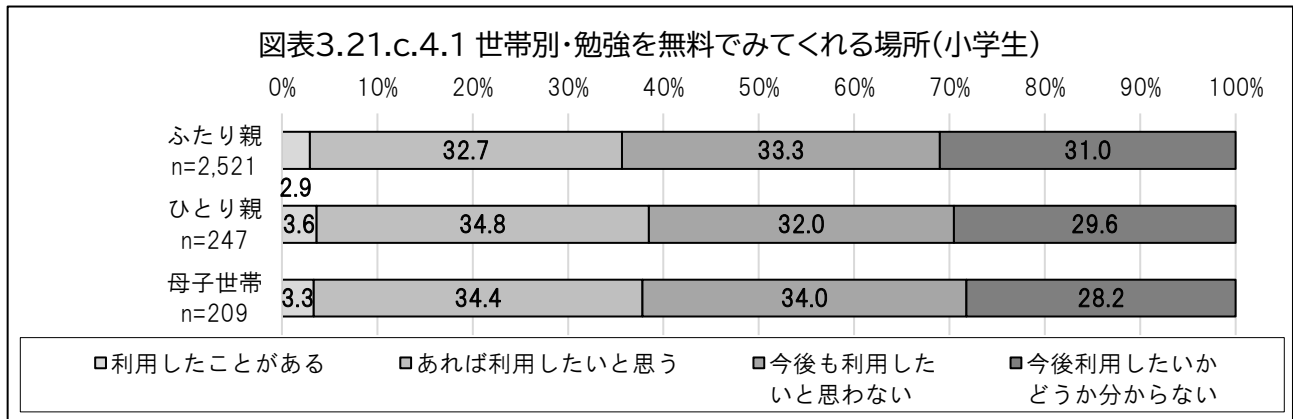
(3)等価世帯収入別・中学生（問 21.c 勉強を無料でみてくれる場所）

勉強を無料でみてくれる場所について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では3.8%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では8.0%と高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では41.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では42.6%とやや高くなっています。



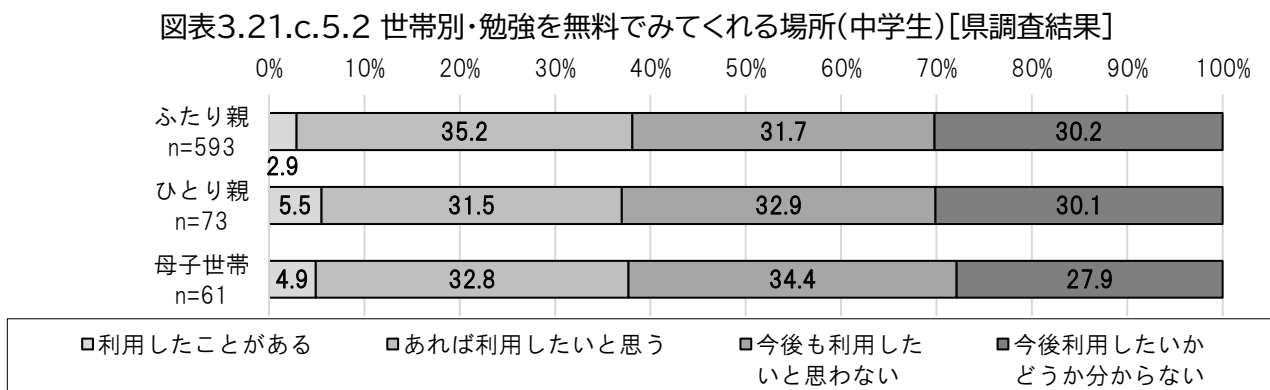
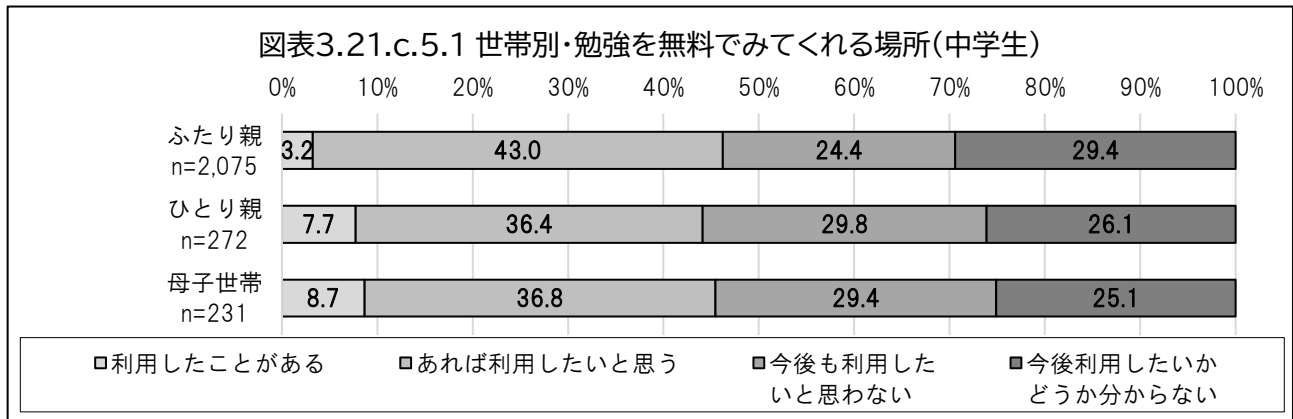
(4)世帯別・小学生（問 21.c 勉強を無料でみてくれる場所）

勉強を無料でみてくれる場所について、世帯別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 3.0%であったのに対し、ひとり親世帯では 3.6%と同程度となっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 31.5%であったのに対し、ひとり親世帯では 34.8%とやや高くなっています。



(5)世帯別・中学生（問 21.c 勉強を無料でみてくれる場所）

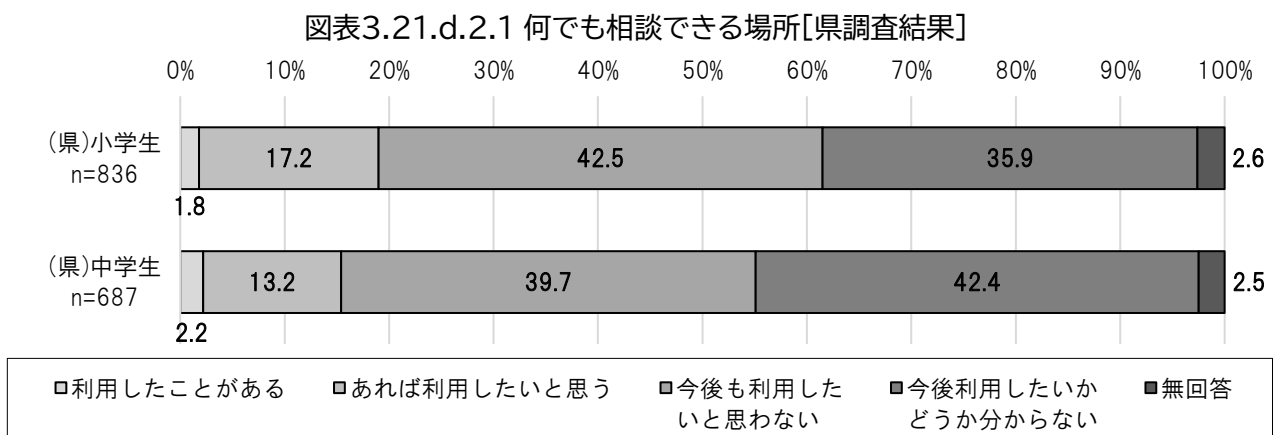
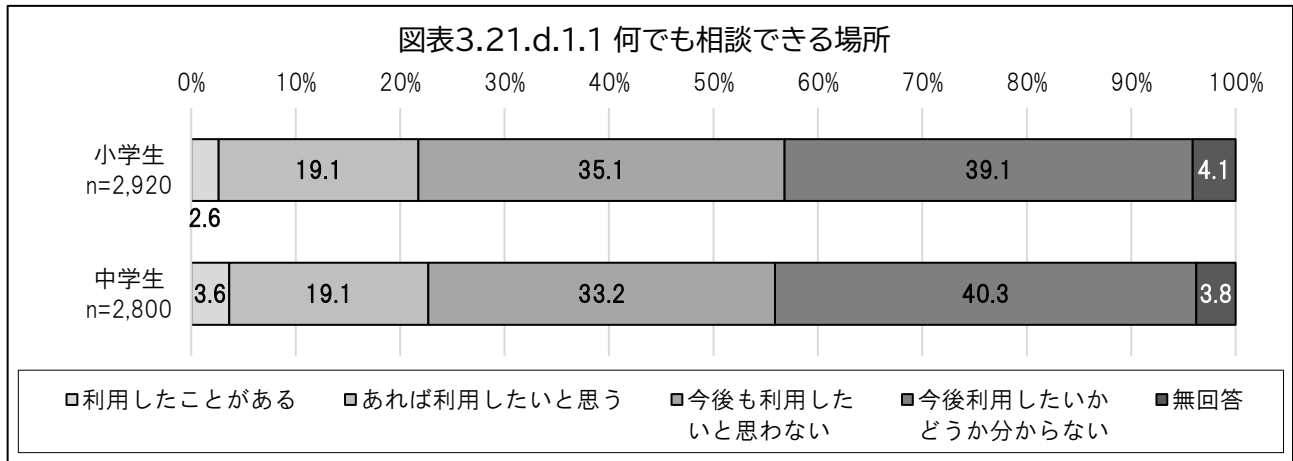
勉強を無料でみてくれる場所について、世帯別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 3.8%であったのに対し、ひとり親世帯では 7.7%とやや高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 41.1%であったのに対し、ひとり親世帯では 36.4%と低くなっています。



d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)

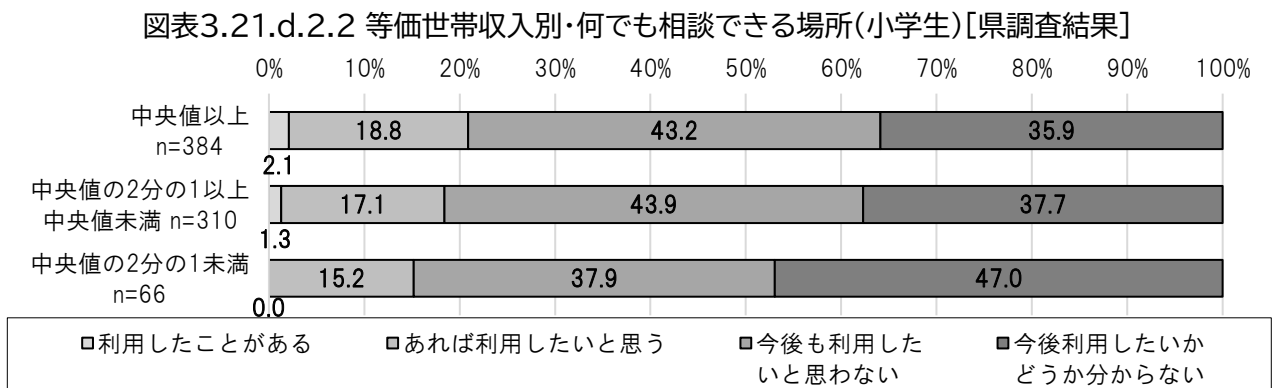
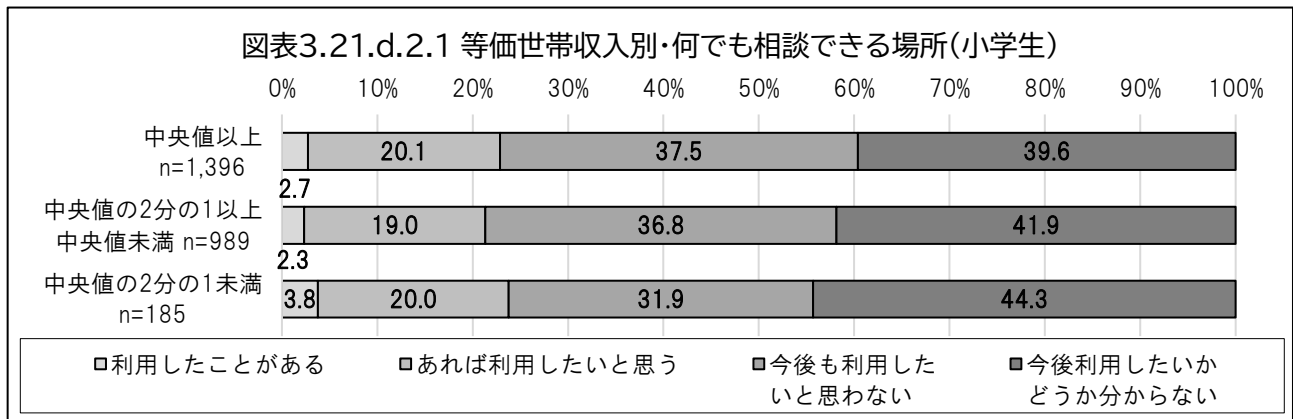
(1)全体

何でも相談できる場所について、小学生・中学生ともに「今後利用したいかどうか分からない」が39.1%、40.3%と最も高く、次いで「今後も利用したいと思わない」が35.1%、33.2%、「あれば利用したいと思う」が19.1%、19.1%となっています。



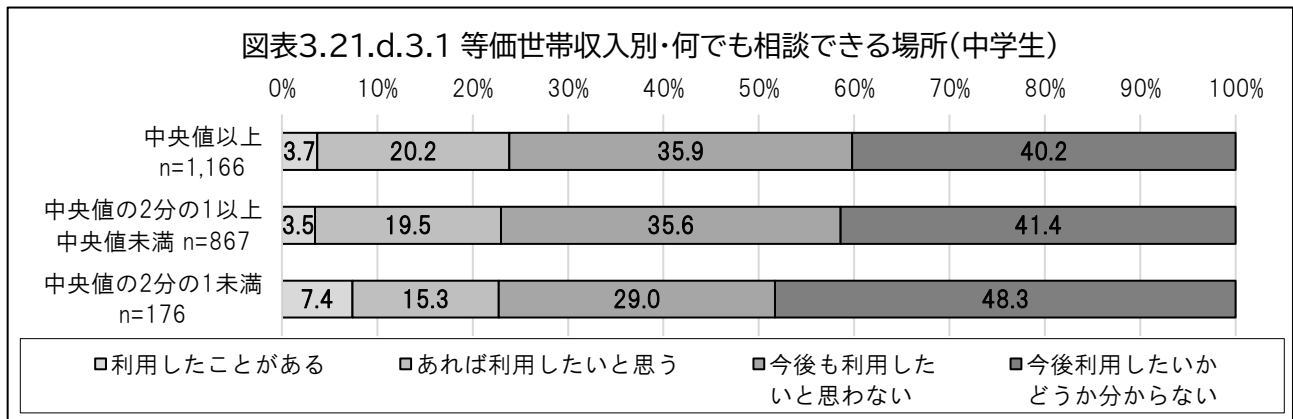
(2)等価世帯収入別・小学生（問 21.d 何でも相談できる場所）

何でも相談できる場所について、等価世帯収入別にみると、小学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では2.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では3.8%とやや高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では19.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では20.0%と同程度となっています。

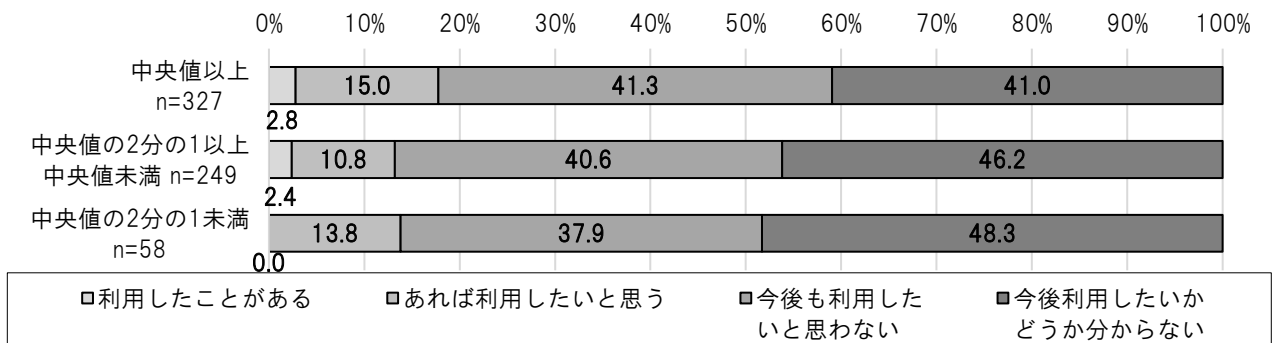


(3)等価世帯収入別・中学生（問 21.d 何でも相談できる場所）

何でも相談できる場所について、等価世帯収入別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では3.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では3.5%と同程度となっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では19.1%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では15.3%と低くなっています。

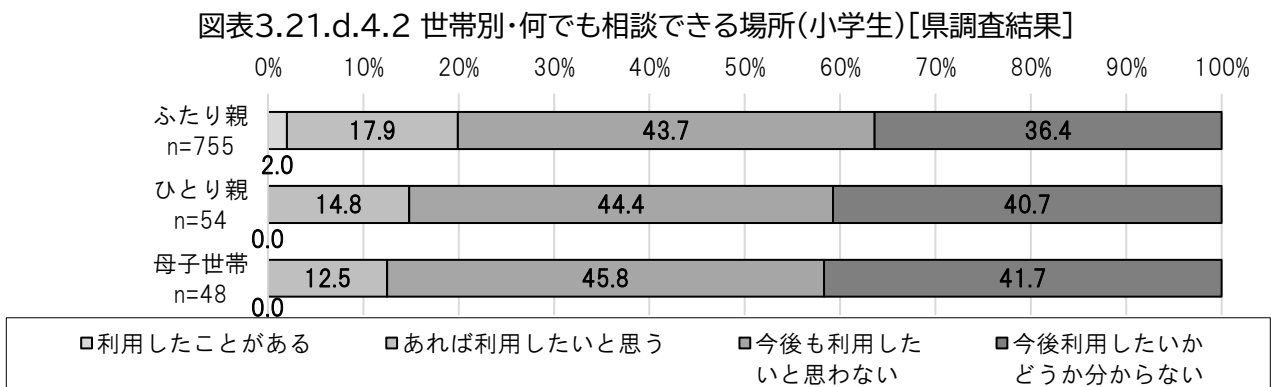
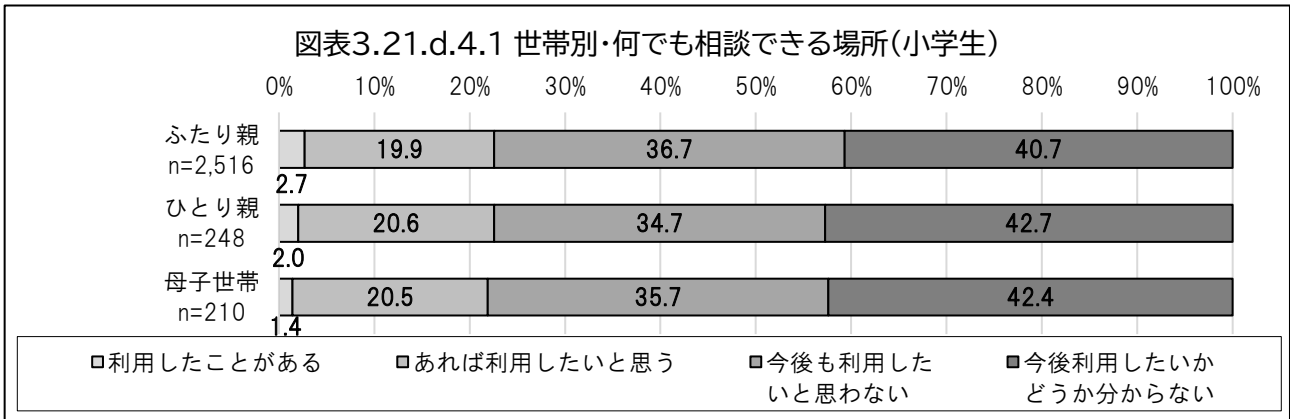


図表3.21.d.3.2 等価世帯収入別・何でも相談できる場所(中学生)[県調査結果]



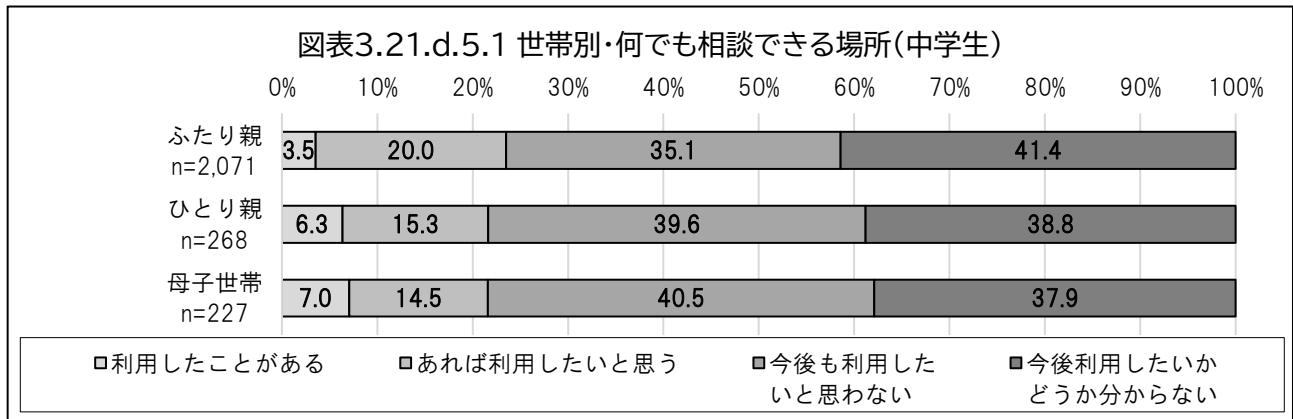
(4)世帯別・小学生（問 21.d 何でも相談できる場所）

何でも相談できる場所について、世帯別にみると、小学生では、「利用したことがある」、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体ではそれぞれ 2.6%、19.1%であったのに対し、ひとり親世帯では、それぞれ 2.0%、20.6%で同程度となっています。

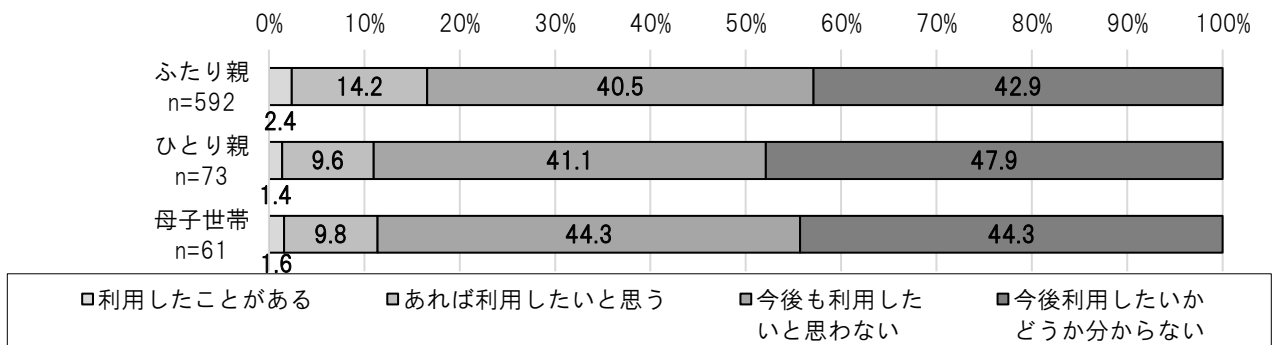


(5)世帯別・中学生（問 21.d 何でも相談できる場所）

何でも相談できる場所について、世帯別にみると、中学生では、「利用したことがある」と回答した割合は、全体では 3.6%であったのに対し、ひとり親世帯では 6.3%とやや高くなっています。また、「あれば利用したいと思う」と回答した割合は、全体では 19.1%であったのに対し、ひとり親世帯では 15.3%と低くなっています。



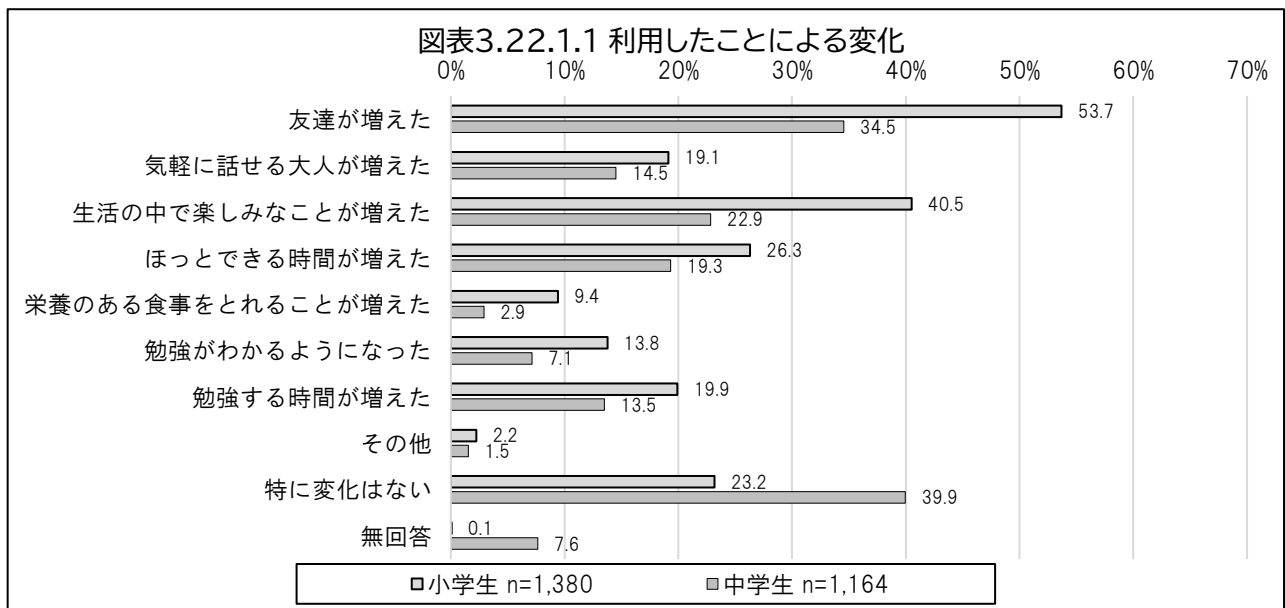
図表3.21.d.5.2 世帯別・何でも相談できる場所(中学生)[県調査結果]



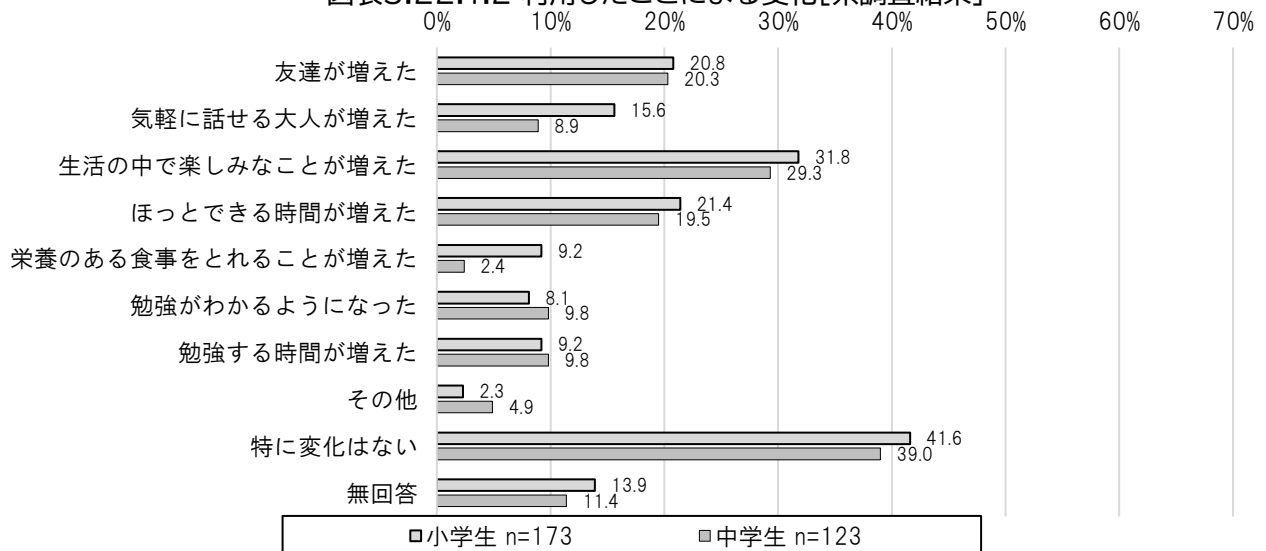
問22. 前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。

(1)全体

利用したことによる変化について、小学生では「友達が増えた」が53.7%で最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が40.5%、「ほっとできる時間が増えた」が26.3%となっています。中学生では「特に変化はない」が39.9%で最も高く、「友達が増えた」が34.5%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が22.9%となっています。

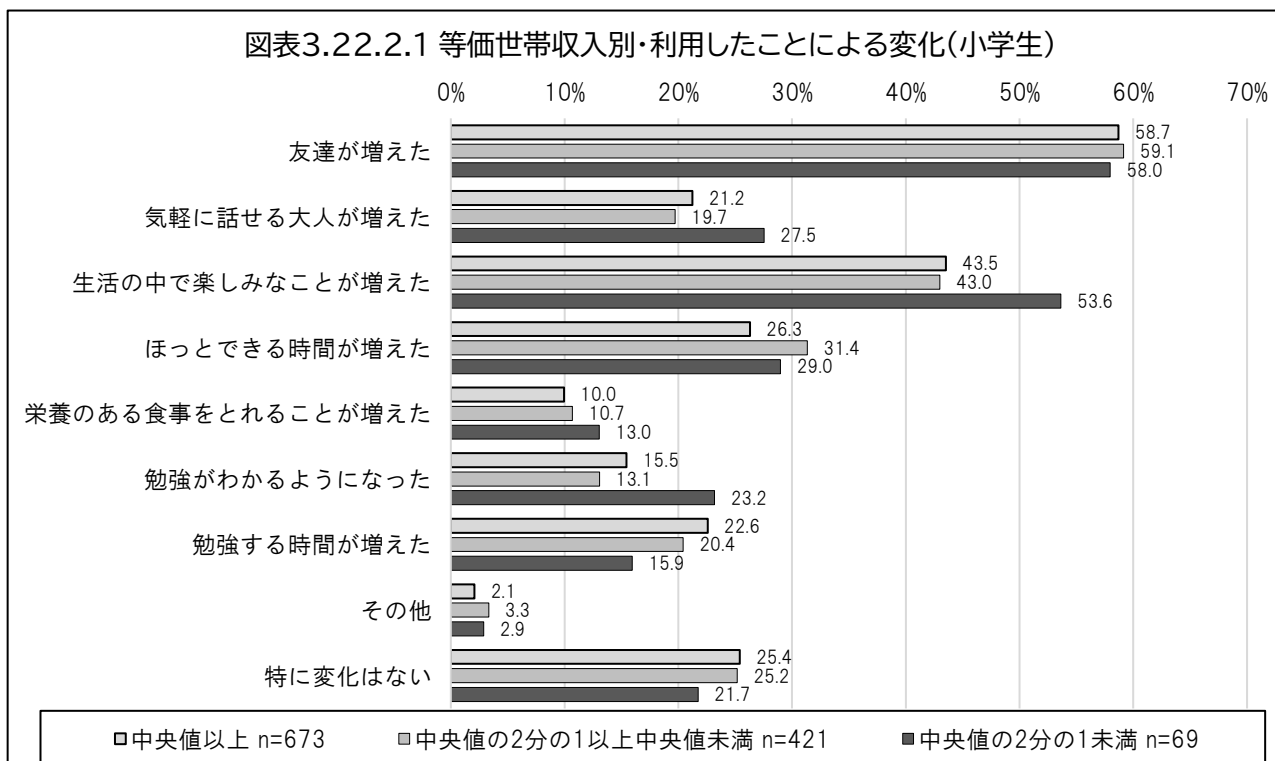


図表3.22.1.2 利用したことによる変化[県調査結果]

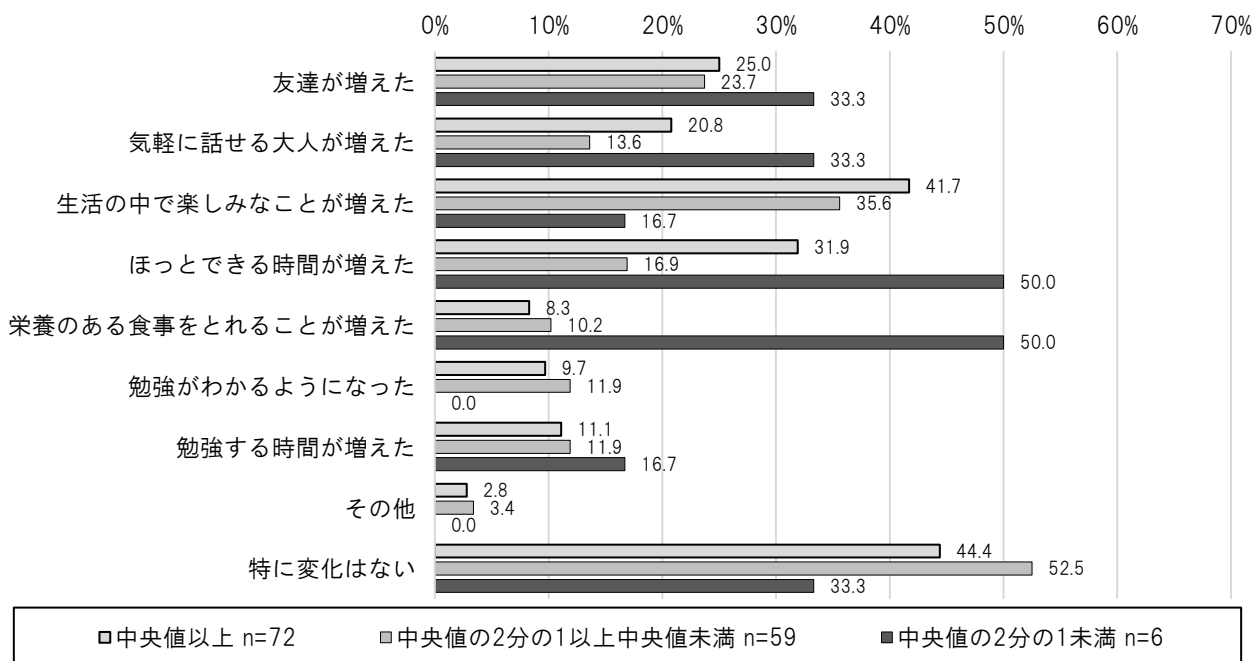


(2)等価世帯収入別・小学生（問 22 利用したことによる変化）

利用したことによる変化について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の小学生では、「友達が増えた」が58.0%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が53.6%、「ほっとできる時間が増えた」が29.0%となっています。また、「生活の中で楽しみなことが増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」、「勉強がわかるようになった」などが他の世帯と比較して高くなっています。

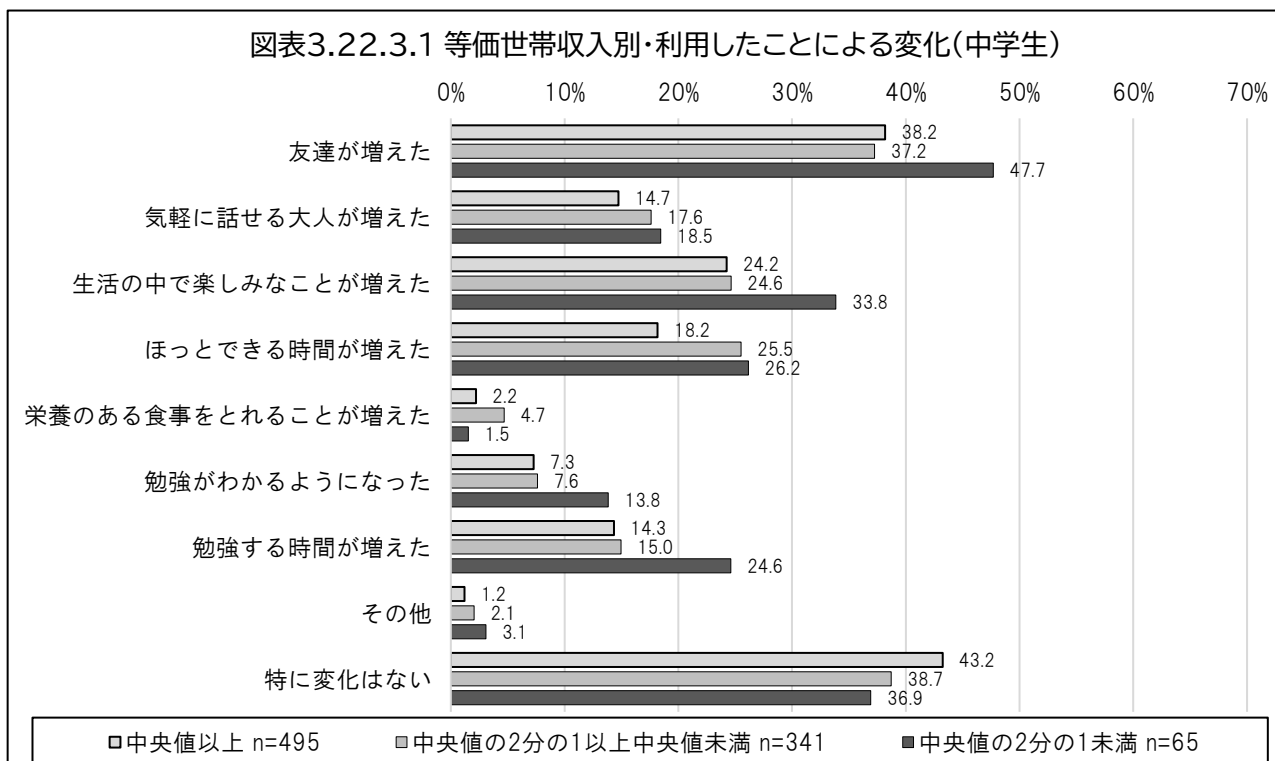


図表3.22.2.2 等価世帯収入別・利用したことによる変化(小学生)[県調査結果]

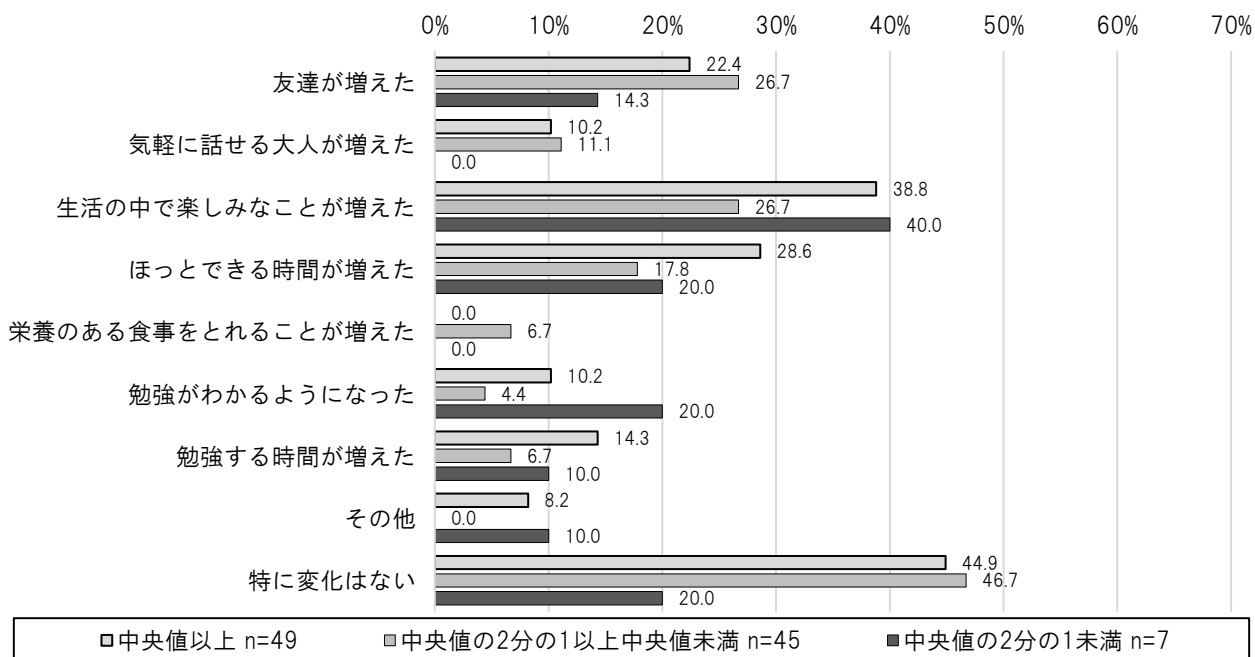


(3)等価世帯収入別・中学生（問 22 利用したことによる変化）

利用したことによる変化について、等価世帯収入別にみると、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」の中学生では、「友達が増えた」が47.7%と最も高く、次いで「特に変化はない」が36.9%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が33.8%となっています。また「友達が増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」、「勉強する時間が増えた」、「勉強がわかるようになった」が、他の世帯と比べて高くなっています。

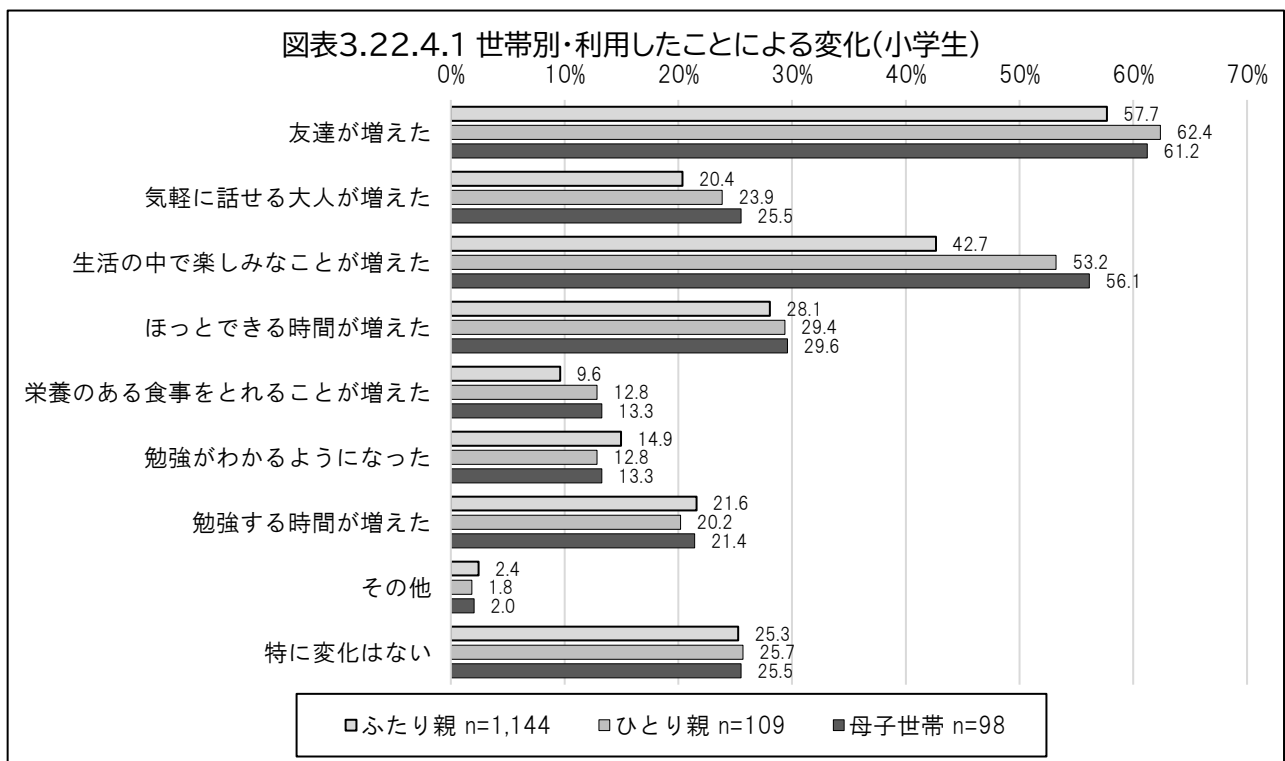


図表3.22.3.2 等価世帯収入別・利用したことによる変化(中学生)[県調査結果]

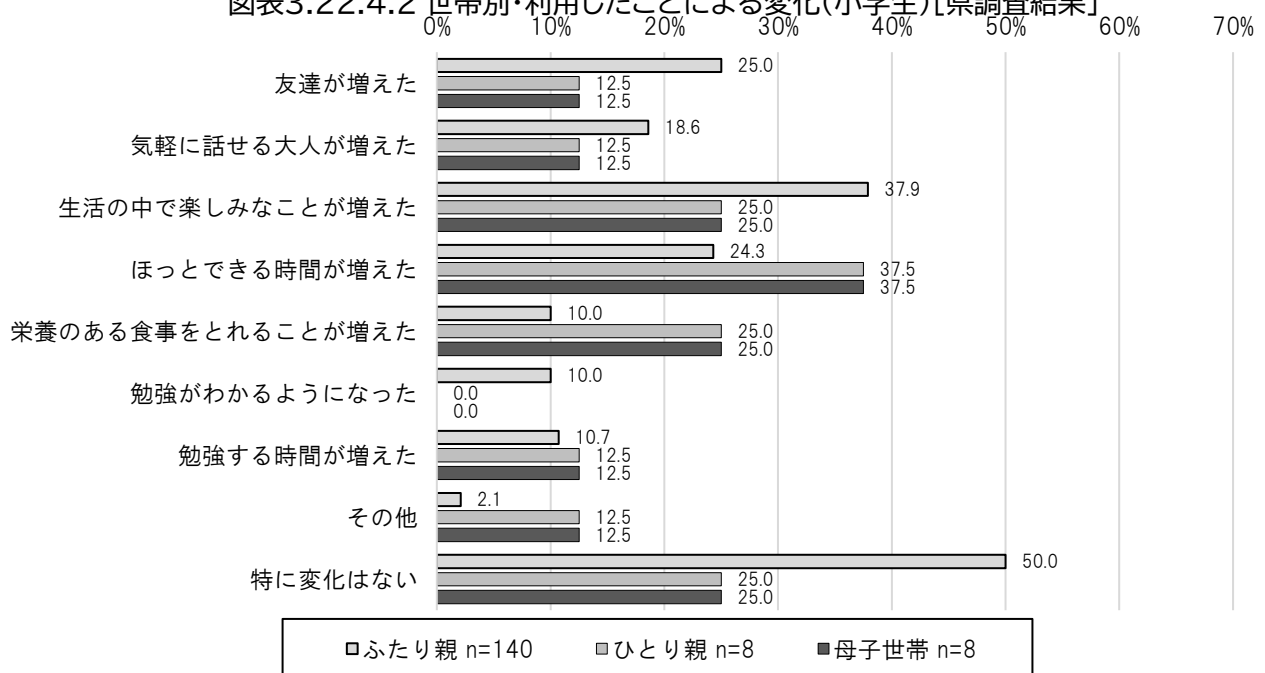


(4)世帯別・小学生（問 22 利用したことによる変化）

利用したことによる変化について、世帯別にみると、ひとり親世帯の小学生では、「友達が増えた」が62.4%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が53.2%、「ほっとできる時間が増えた」が29.4%となっています。また「友達が増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」、「ほっとできる時間が増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」、「栄養のある食事をとれることが増えた」が、ふたり親と比較して高くなっています。

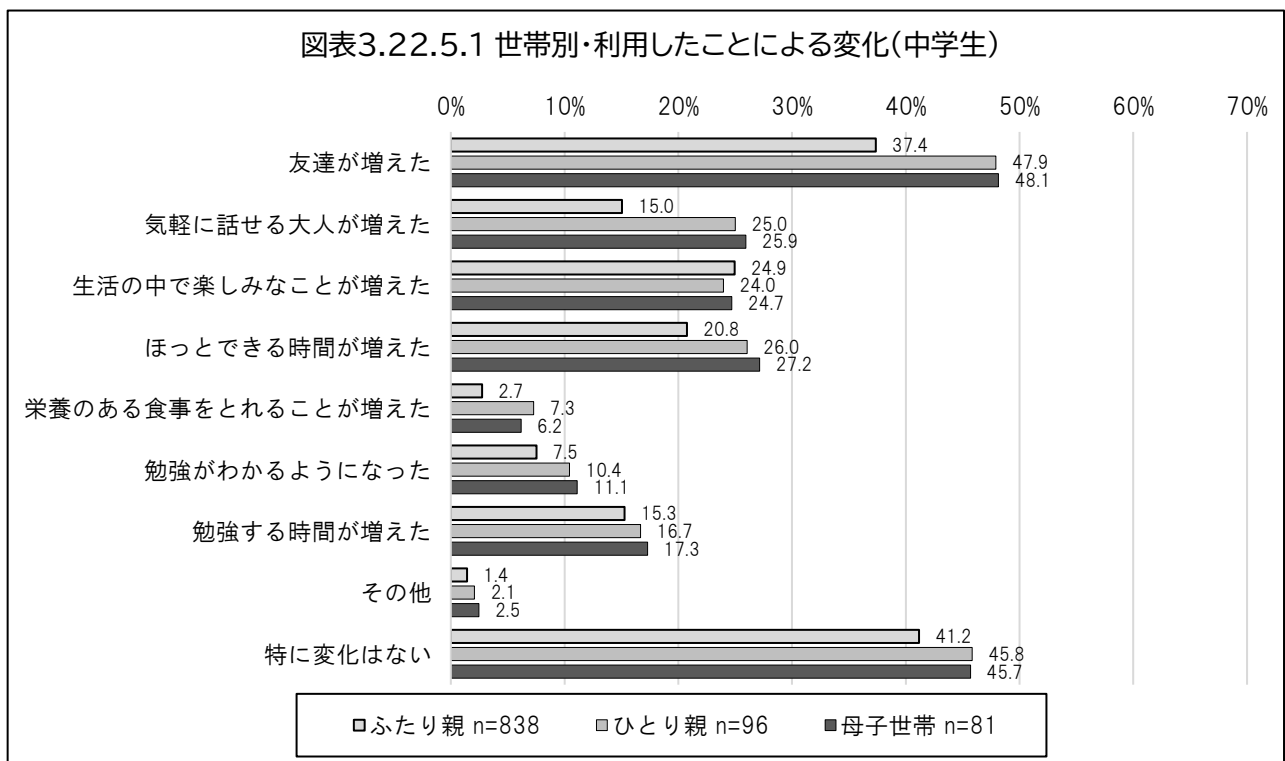


図表3.22.4.2 世帯別・利用したことによる変化(小学生)[県調査結果]

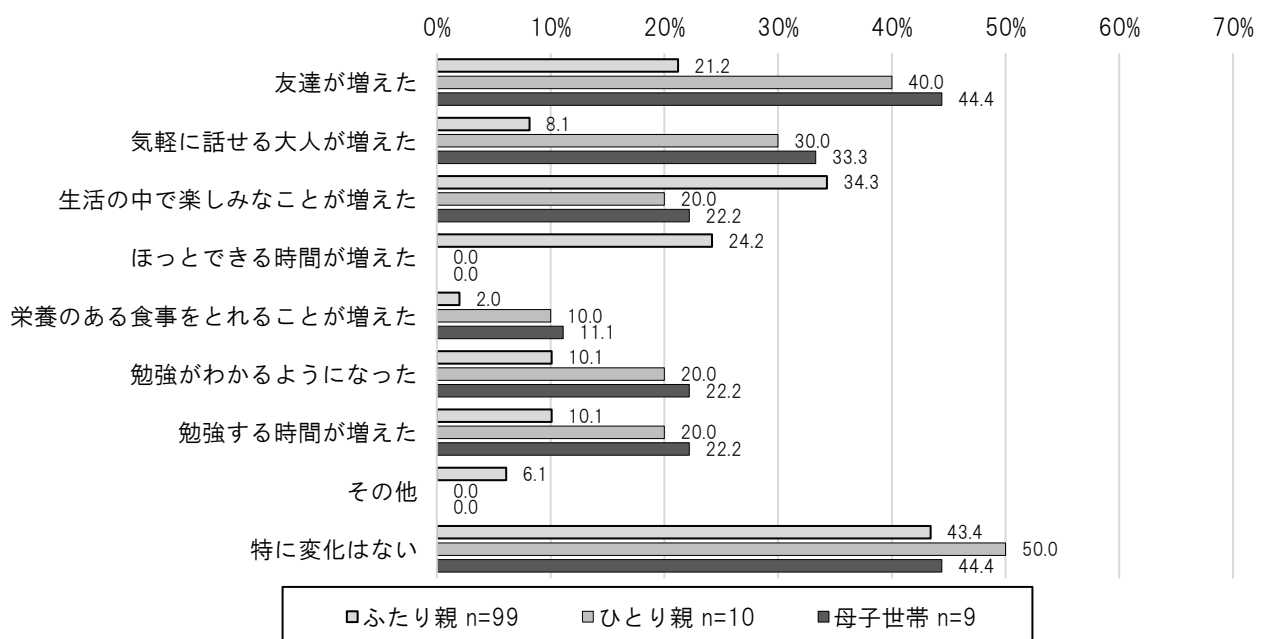


(5)世帯別・中学生（問 22 利用したことによる変化）

利用したことによる変化について、世帯別にみると、ひとり親世帯の中学生では、「友達が増えた」が47.9%と最も高く、次いで「特に変化はない」が45.8%、「ほっとできる時間が増えた」が26.0%、となっています。「友達が増えた」、「特に変化はない」、「ほっとできる時間が増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」、「勉強がわかるようになった」、「栄養のある食事をとれることが増えた」が、ふたり親と比較して高くなっています。

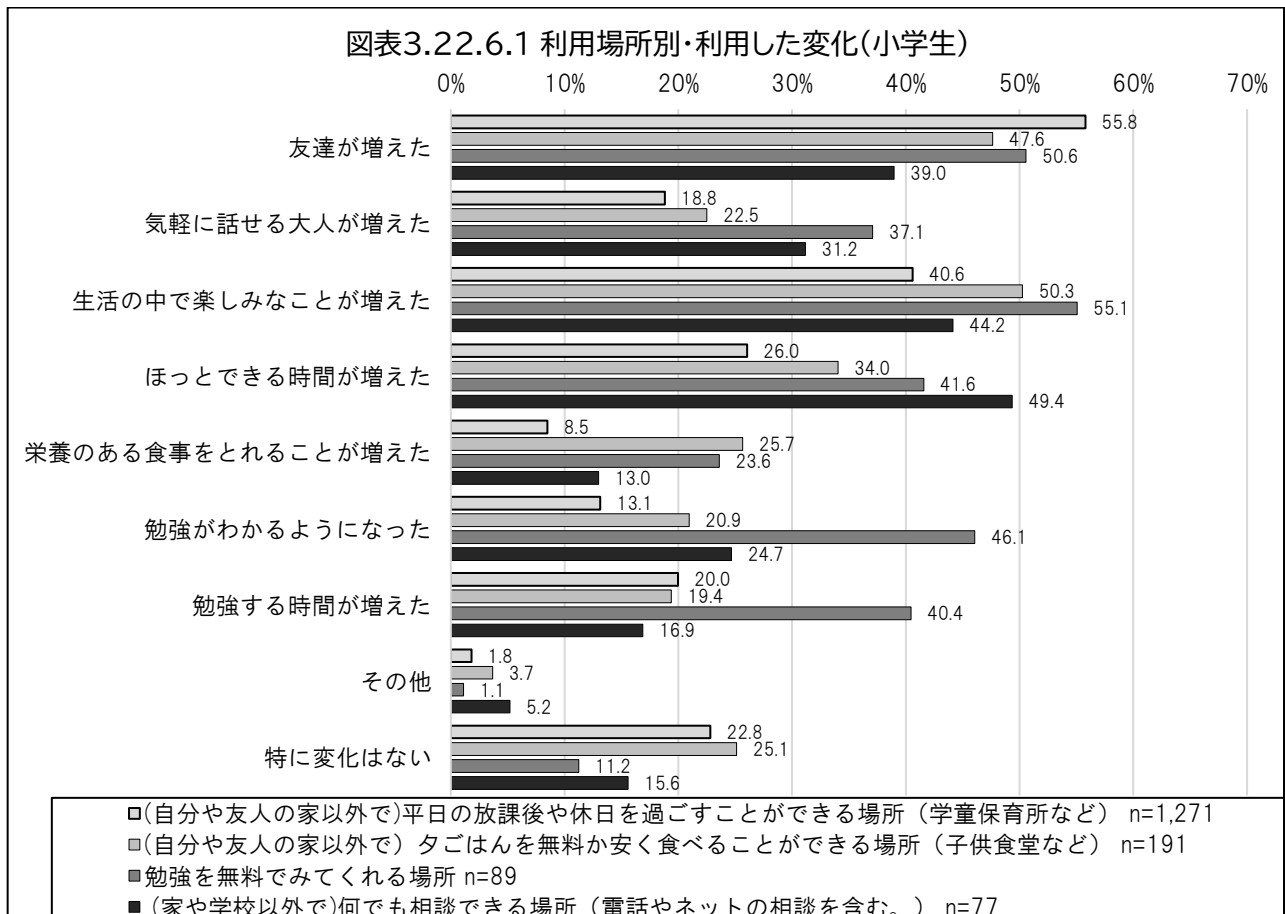


図表3.22.5.2 世帯別・利用したことによる変化(中学生)[県調査結果]

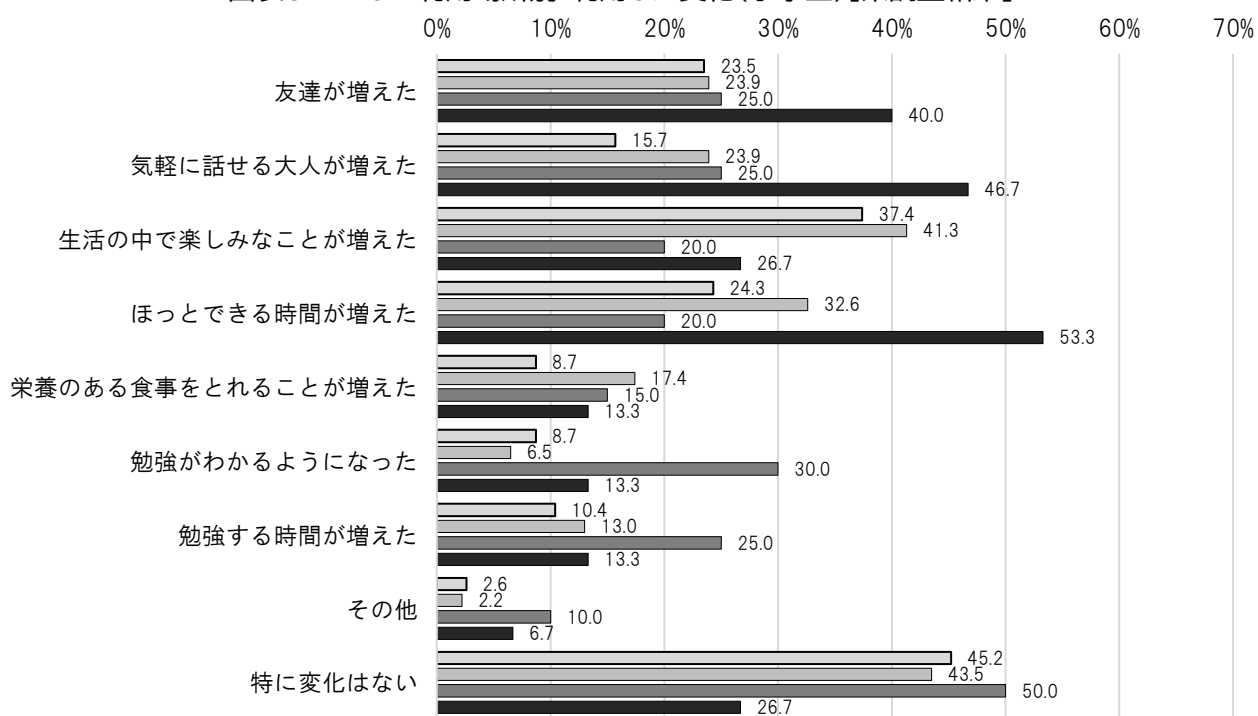


(6)利用場所別・小学生（問 22 利用したことによる変化）

利用したことによる変化について、利用場所別にみると、小学生では、「（自分や友人の家以外で）平日の放課後や休日を過ごすことができる場所（学童保育所など）」では「友達が増えた」が55.8%、「（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子供食堂など）」、「勉強を無料でみてくれる場所」では「生活の中で楽しみなことが増えた」が50.3%、55.1%と最も高くなっています。また、「（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）」では「もっとできる時間が増えた」が49.4%と最も高くなっています。



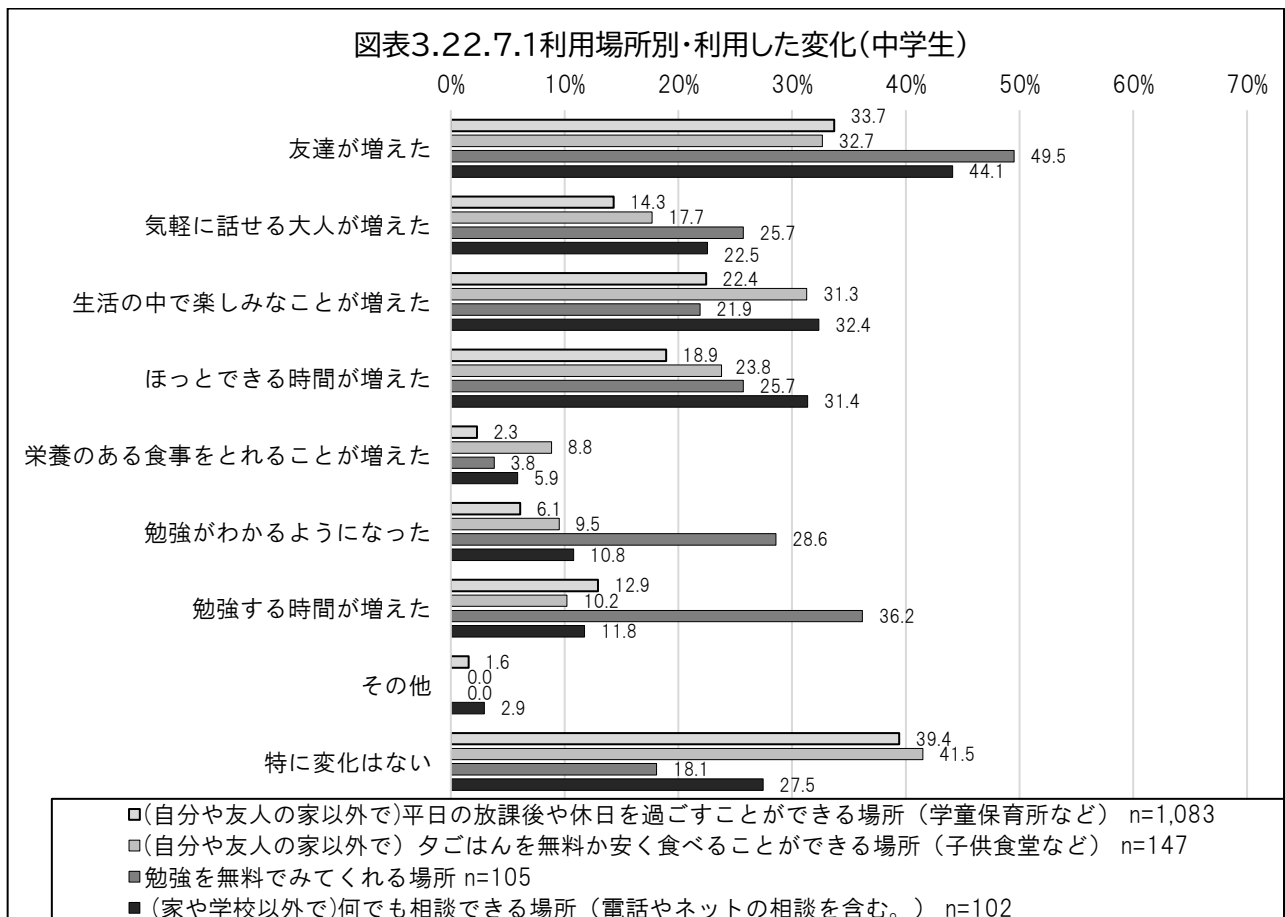
図表3.22.6.2利用場所別・利用した変化(小学生)[県調査結果]



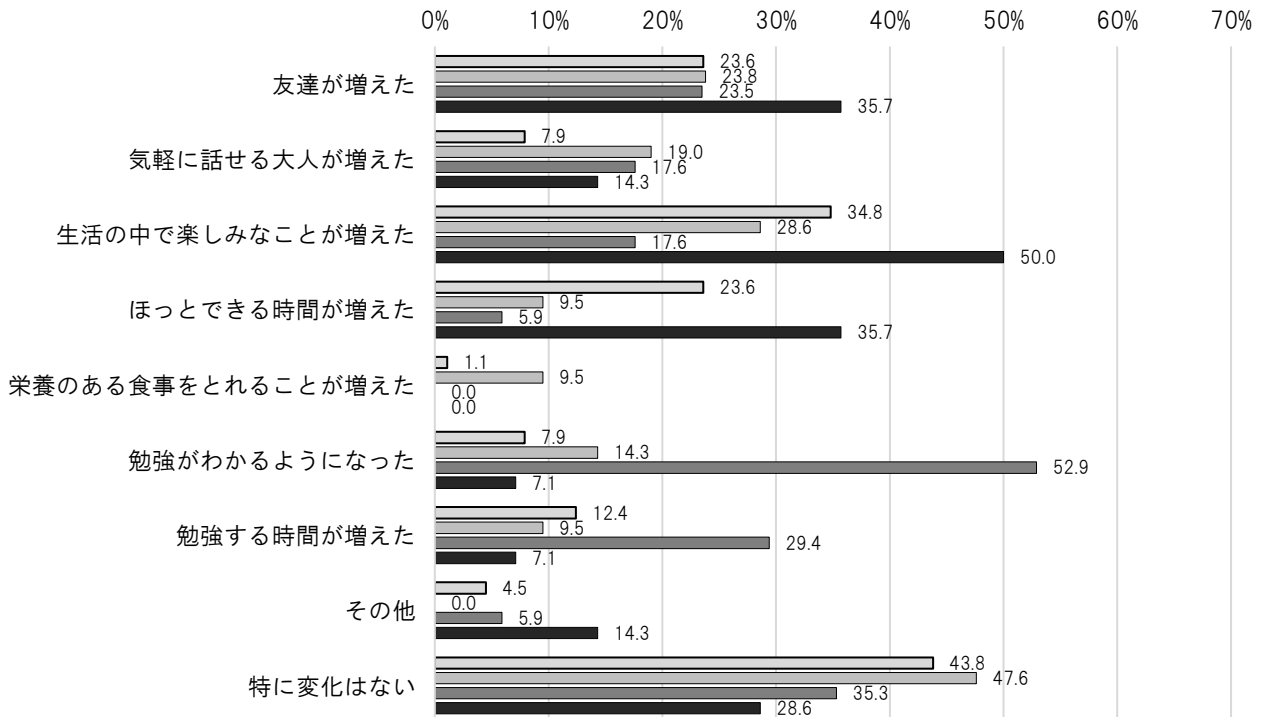
- (自分や友人の家以外で)平日の放課後や休日を過ごすことができる場所 (学童保育所など) n=115
- ▣(自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など) n=46
- 勉強を無料でみてくれる場所 n=20
- (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。) n=15

(7)利用場所別・中学生（問 22 利用したことによる変化）

中学生では、「（自分や友人の家以外で）平日の放課後や休日を過ごすことができる場所（学童保育所など）」、「（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子供食堂など）」では「特に変化はない」が39.4%、41.5%と最も高く、次いで「友達が増えた」が33.7%、32.7%となっています。また、「勉強を無料でみてくれる場所」、「（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む）」では「友達が増えた」が49.5%、44.1%で最も高くなっています。



図表3.22.7.2利用場所別・利用した変化(中学生)[県調査結果]

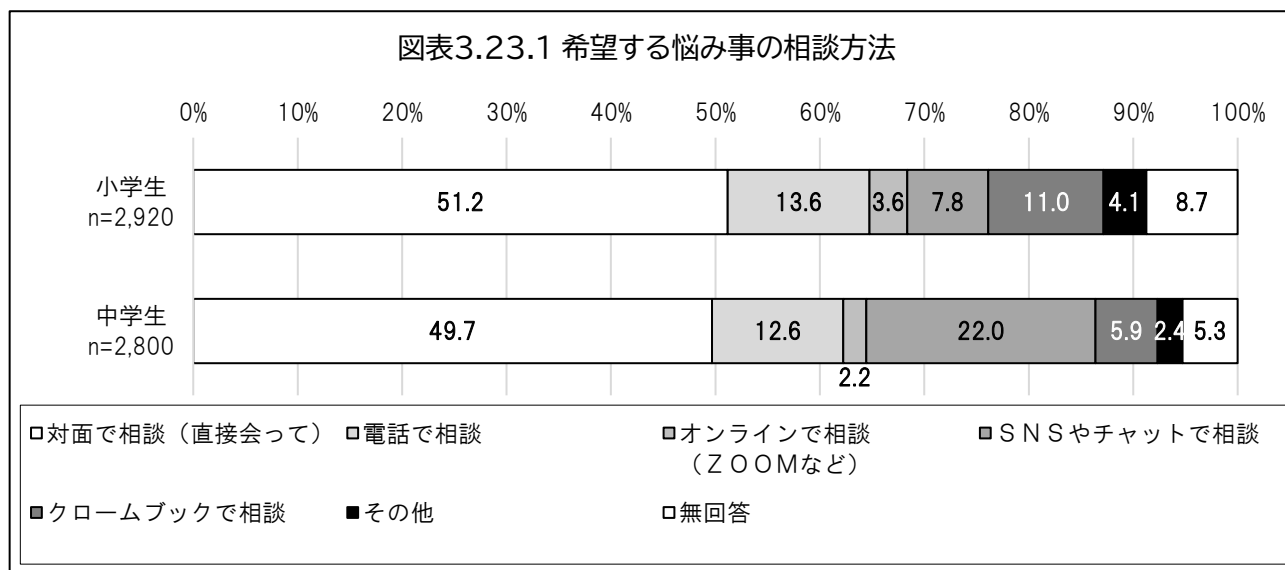


□(自分や友人の家以外で)平日の放課後や休日を過ごすことができる場所 (学童保育所など) n=89
 ▤(自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など) n=21
 ■ 勉強を無料でみてくれる場所 n=17
 ■ (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。) n=14

問23. あなたが困っていることや悩み事を相談するとしたら、どのような相談方法を希望しますか。

(1)全体

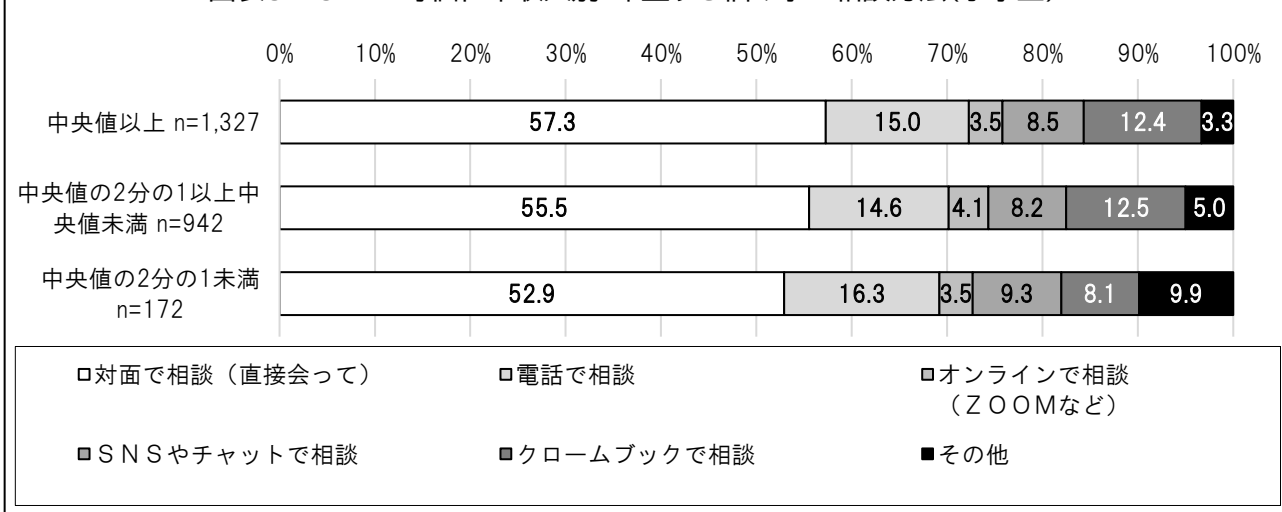
希望する悩み事の相談方法について、小学生・中学生ともに「対面で相談（直接会って）」が51.2%、49.7%と最も高くなっています。次いで、小学生は、「電話で相談」が13.6%、「クロームブックで相談」が11.0%、中学生では「SNSやチャットで相談」が22.0%、「電話で相談」が12.6%となっています。



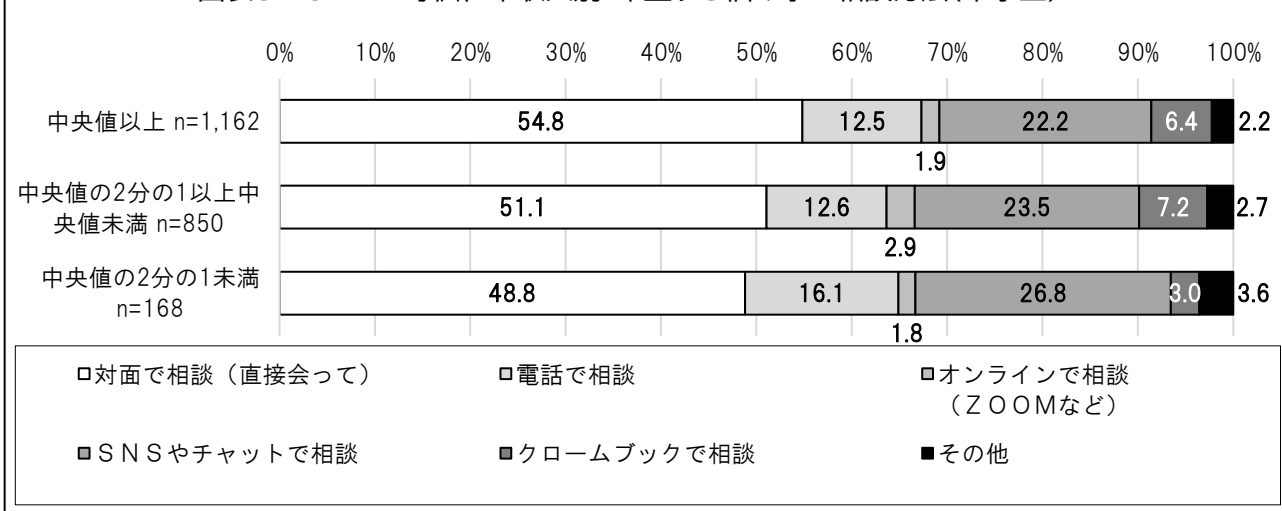
(2)等価世帯収入別

希望する悩み事の相談方法について、等価世帯収入別にみると、「対面で相談（直接会って）」と回答した割合は、全体では小学生が51.2%、中学生が49.7%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では小学生が52.9%とやや高く、中学生が48.8%とやや低くなっています。また、小学生では、「電話で相談」と回答した割合は、全体では13.6%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では16.3%と高くなっています。中学生では、「SNSやチャットで相談」と回答した割合は、全体では22.0%であったのに対し、「もっとも収入の水準が低い世帯（中央値の2分の1未満）」では26.8%と高くなっています。

図表3.23.2.1 等価世帯収入別・希望する悩み事の相談方法(小学生)



図表3.23.2.2 等価世帯収入別・希望する悩み事の相談方法(中学生)



(3)世帯別

希望する悩み事の相談方法について、世帯別にみると、小学生では、「対面で相談（直接会って）」と回答した割合は、全体では小学生が51.2%、中学生が49.7%であったのに対し、ひとり親世帯では小学生が50.7%とやや低く、中学生が50.0%とやや高くなっています。また、小学生では、「電話で相談」と回答した割合は、全体では13.6%であったのに対し、ひとり親世帯では14.1%と高くなっています。中学生では、「SNSやチャットで相談」と回答した割合は、全体では22.0%であったのに対し、ひとり親世帯では22.7%と高くなっています。

